2022年度
Sセメスター(S1・S2)
科目紹介［シラバス抜粋］

東京大学教養学部前期課程

は じ め に

この冊子には、2022 年度の S セメスターに教養学部前期課程の 1・2 年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）が記載されています。

『科目紹介』では、授業計画時点での時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい・最新の情報は、UTAS（https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/）のシラバスで公開・更新していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。

それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』のⅠ－4 に掲載されている、（表２）「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

S セメスター（S1・S2 ターム）科目紹介

この電子ブックには S セメスター（S1・S2 ターム）に開講される科目の科目紹介（シラバス抜粋）が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。各授業のシラバスは、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することで参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、必ず UTAS 上のシラバスを参照するようにしてください。

科目紹介（シラバス）例（科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります）

時間割ｺｰﾄﾞ	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥
講義題目		⑦					
目標概要							

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
S	S セメスター	概ね 4～7 月
S1	S1 ターム	概ね 4～5 月
S2	S2 ターム	概ね 6～7 月

授業日の詳細については、授業日程を参照してください。

③所属

教養学部（総合文化研究科）が開講する授業は、開講元の部会名又は学科（専攻）が掲載されています。
他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

開講所属凡例

教養学部前期課程部会
英語
ドイツ語
フランス語・イタリア語
中国語
韓国朝鮮語
ロシア語
スペイン語
古典語・地中海諸言語
法・政治
経済・統計
社会・社会思想史
国際関係
歴史学
国文・漢文学
文化人類学
哲学・科学史
心理・教育学
人文地理学
物理
化学
生物
情報・図形
宇宙地球
相関自然
スポーツ・身体運動
数学
PEAK 前期
日本語
先進科学

教養学部
統合自然科学科

総合文化研究科
言語情報科学専攻
超域文化科学専攻 表象文化論コース
超域文科化学専攻 比較文学比較文化コース
地域文化研究専攻
地域文化研究専攻 アジア・日本文化研究コース

その他（後期課程諸学部、全学センターなど）
情報メディア科学委員会
法学部
医学部
新領域創成科学研究科
先端科学技術研究センター
生産技術研究所
人間の安全保障プログラム
etc.

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6 に掲載されている内容に従います。

⑥対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6,16-18,20」のように範囲を示しています（この場合は 17 組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑦科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目１単位または２単位で、計５単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列Ｓ（アカデミック・ディスカッション）・英語二列W（アカデミック・ライティング）に分けられます（その他に総合科目Ｌ系列３単位）。
英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業です。英語二列Ｓも同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生とも FLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施します。英語二列Wは、文科生は ALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生は ALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施します。

●本冊子においては、次頁以降「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」のシラバスが掲載されています。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修します。「英語一列」「英語二列Ｓ」は習熟度別にクラスが分けられています。UTAS ログイン後の「履修登録」画面より自分のクラスを確認してください（授業期間開始までには UTAS に反映されます。）。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」の３科目をそれぞれどのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の４つのグループにあらかじめ分けられています。「（クラス指定総合科目Ｌ）」と記載されている部分については、総合科目Ｌ系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講されます。

<table>
<tr><td rowspan="2">所属クラス</td><td colspan="4">ターム・セメスター</td></tr>
<tr><td>1S1</td><td>1S2</td><td>1A1</td><td>1A2</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">1S</td><td colspan="2">1A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（8,11,22,25-26）
文三（5,7,11,14,19）
理一（1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39）
理二三（11,13,20,23）</td><td>英語一列①</td><td>英語二列 S</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td><td colspan="2">英語二列 W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（5-6,13,15,16,18-19,24）
文三（6,10,12,17）
理一（7,9,13,19,25,28,30,34,37）
理二三（6-7,18,19,22）</td><td>英語一列①</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td><td>英語二列 S</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列 W</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（1-3,7,10,17,20-21,23,27-28）
文三（1-3,9,15-16）
理一（8,11,16,21,24,27,29,33）
理二三（4,8,9,14,17,21）</td><td>英語二列 S</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td><td colspan="2">英語二列 W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（4,9,12,14）
文三（4,8,13,18,20）
理一（5-6,10,14-15,22,26,32,38）
理二三（1-3,5,10,12,15-16,24）</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>英語二列 S</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列 W</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td></tr>
</table>

外国語（英語一列）

英語一列（教養英語）

≪英語一列①（教養英語）≫

目標・概要　教養英語は本学教養学部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科生、文科生を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書『教養英語読本』を使用して行う授業である。クラスは学生の習熟度に合わせて 3 段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。

授業の方法　・教養英語が行われる曜限にはそれぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割り当てについては教務課からの掲示を参照し、必ず指定されたクラスで受講すること（他の語学クラスとは違うので注意すること）。
・教養英語では習熟度に応じて 3 つのグループを設定している。教務課からの教室割り当ての掲示にそれぞれのクラスがどのグループに該当するのかも示されている。また、グループ名称は変更になる可能性がある。
グループ 1（G1）：授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。
グループ 2（G2）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。
グループ 3（G3）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指すが、それをもとにした発展的な活動を含むこともある。
・具体的な授業の方法（教材の選択と利用方法、必要な準備、課題や小テストなど）については ITC-LMS の各クラスのページを参照し、初回授業時に担当教員から説明を受けること。

成績評価方法　・平常点 5 割、定期試験（統一試験）5 割で評価が決定される。
・定期試験を受けなかった場合は平常点のみ（つまり 50 点以下）の成績がつくことになるので必ず受験すること。
・各クラスにおける平常点の評価方法については担当教員から説明を受けること。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名	教養英語読本 II
著者（訳者）	東京大学教養学部英語部会（編）
出版社	東京大学出版会
ISBN	978-4-13-082133-9

関連ホームページ　http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/efas/

≪英語特別クラス≫

非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目 L 系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。

《英語特修クラス（第 3 学期終了時点で平均合格していない進学内定者《平均点が 40 点以上 50 点未満》対象）》
※2014 年度以前入学者対象

すでに学んだ英語科目の授業内容を復習し、不足部分を補いつつ、英語の運用能力を高めることを目指す。詳しくは UTAS 上のシラバスを参照のこと。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。旧カリキュラム科目であり、現カリキュラム生は履修不可。

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列①	教養英語担当教員	各教室	S1	火 3	1 年 文一二(13,24-25)文三(11,17)理一(1-4,9,18-19)理二三(7,13)
				火 4	1 年 文一二(6,8,18)文三(5,7,12)理一(20,30-31,34-35)理二三(11,18,22)
				水 2	1 年 文一二(5,15,19,26)文三(6,19)理一(7,12,23,28,36)理二三(6,23)
				水 3	1 年 文一二(11,16,22)文三(10,14)理一(13,17,25,37,39)理二三(19-20)
			S2	火 3	1 年 文一二(1-3,7,9,27)文三(1-3,8-9)理一(5-6,16,27)理二三(1-3,5,12,17)
				火 4	1 年 文一二(4,21,23)文三(16,18)理一(21-22,32,38)理二三(8,14-15)
				水 2	1 年 文一二(10,14,20)文三(4,13)理一(11,14-15,24)理二三(4,9-10)
				水 3	1 年 文一二(12,17,28)文三(15,20)理一(8,10,26,29,33)理二三(16,21,24)

外国語（英語二列 S）

Fluency-Oriented Workshop （FLOW）	
授業の目標・概要	The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in an academic discussion, to be aware of their weaknesses in holding a discussion in English, and to have the tools to improve autonomously.
成績評価方法	Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	担当教員	対象クラス
30376	S 1	火 3	教員未定	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30377	S 1	火 3	JUDE GRETCHEN	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30378	S 1	火 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30379	S 1	火 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30380	S 1	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30381	S 1	火 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30382	S 1	火 3	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30383	S 1	火 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30384	S 1	火 3	教員未定	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30385	S 1	火 3	マニナン ジョン	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30386	S 1	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30387	S 1	火 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30388	S 1	火 3	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30389	S 1	火 3	SENNA MANUEL	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30390	S 1	火 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30391	S 1	火 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
40154	S 2	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40155	S 2	火 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40156	S 2	火 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40157	S 2	火 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40158	S 2	火 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40159	S 2	火 3	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40160	S 2	火 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40161	S 2	火 3	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40162	S 2	火 3	マニナン ジョン	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40163	S 2	火 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40164	S 2	火 3	教員未定	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40165	S 2	火 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40166	S 2	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40167	S 2	火 3	JUDE GRETCHEN	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40168	S 2	火 3	教員未定	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40169	S 2	火 3	SENNA MANUEL	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
30489	S 1	火 4	教員未定	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30490	S 1	火 4	JUDE GRETCHEN	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30491	S 1	火 4	AKINDELE Tito	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)

外国語（英語二列 S）

30492	S 1	火 4	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30493	S 1	火 4	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30494	S 1	火 4	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30495	S 1	火 4	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30496	S 1	火 4	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30497	S 1	火 4	教員未定	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30498	S 1	火 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30499	S 1	火 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30500	S 1	火 4	SENNA MANUEL	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30501	S 1	火 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30502	S 1	火 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30503	S 1	火 4	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30504	S 1	火 4	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
40178	S 2	火 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40179	S 2	火 4	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40180	S 2	火 4	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40181	S 2	火 4	AKINDELE Tito	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40182	S 2	火 4	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40183	S 2	火 4	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40184	S 2	火 4	JUDE GRETCHEN	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40185	S 2	火 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40186	S 2	火 4	SENNA MANUEL	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40187	S 2	火 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40188	S 2	火 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40189	S 2	火 4	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40190	S 2	火 4	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40191	S 2	火 4	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40192	S 2	火 4	教員未定	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40193	S 2	火 4	教員未定	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
30615	S 1	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30616	S 1	水 2	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30617	S 1	水 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30618	S 1	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30619	S 1	水 2	教員未定	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30620	S 1	水 2	JUDE GRETCHEN	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30621	S 1	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30622	S 1	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30623	S 1	水 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30624	S 1	水 2	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30625	S 1	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30626	S 1	水 2	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30627	S 1	水 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30628	S 1	水 2	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)

外国語（英語二列 S）

30629	S 1	水 2	AKINDELE Tito	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
40213	S 2	水 2	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40214	S 2	水 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40215	S 2	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40216	S 2	水 2	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40218	S 2	水 2	JUDE GRETCHEN	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40219	S 2	水 2	教員未定	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40220	S 2	水 2	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40221	S 2	水 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40222	S 2	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40223	S 2	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40224	S 2	水 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40225	S 2	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40226	S 2	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40227	S 2	水 2	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40228	S 2	水 2	AKINDELE Tito	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
30703	S 1	水 3	JUDE GRETCHEN	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30704	S 1	水 3	教員未定	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30705	S 1	水 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30706	S 1	水 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30707	S 1	水 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30708	S 1	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30709	S 1	水 3	SENNA MANUEL	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30710	S 1	水 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30711	S 1	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30712	S 1	水 3	マニナン ジョン	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30713	S 1	水 3	教員未定	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30714	S 1	水 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30715	S 1	水 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30716	S 1	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30717	S 1	水 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30718	S 1	水 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
40229	S 2	水 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40230	S 2	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40231	S 2	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40232	S 2	水 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40233	S 2	水 3	JUDE GRETCHEN	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40234	S 2	水 3	マニナン ジョン	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40236	S 2	水 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40237	S 2	水 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40238	S 2	水 3	教員未定	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40239	S 2	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40240	S 2	水 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)

外国語（英語二列 S）

40241	S 2	水 3	SENNA MANUEL	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40242	S 2	水 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40243	S 2	水 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)

外国語（英語二列 W）ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)	開講区分	S

授業の目標・概要
This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence, and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will:
- be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view;
- understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay;
- be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.

授業の方法
Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on an issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; writing and revising; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments.
The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.

成績評価方法
Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities.

関連ホームページ
http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30045	月 2	ナオミ バーマン	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30046	月 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30047	月 2	船田 なつの	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30048	月 2	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30049	月 2	片山 晶子	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30050	月 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30051	月 2	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30052	月 2	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30053	月 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30054	月 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30055	月 2	教員未定	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30056	月 2	JUDE GRETCHEN	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30843	木 2	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30844	木 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30845	木 2	JUDE GRETCHEN	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30846	木 2	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30847	木 2	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30848	木 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30849	木 2	教員未定	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30850	木 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30851	木 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30852	木 2	片山 晶子	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30911	木 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30912	木 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30913	木 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30914	木 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30915	木 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30916	木 3	教員未定	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30917	木 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30918	木 3	SENNA MANUEL	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)

30919	木 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30920	木 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30921	木 3	JUDE GRETCHEN	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
31019	金 1	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31020	金 1	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31021	金 1	教員未定	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31022	金 1	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31023	金 1	SENNA MANUEL	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31024	金 1	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31025	金 1	教員未定	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31026	金 1	DIETZ Richard	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31123	金 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31124	金 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31125	金 3	教員未定	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31126	金 3	教員未定	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31127	金 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31128	金 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)	開講区分	S

授業の目標・概要　In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision.

成績評価方法　Grades are based on writing a research paper, speaking activities, written assignments, and participation in class activities.

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30069	月 2	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(5,13,19)
30070	月 2	神島 智子	1 年 理一(5,13,19)
30071	月 2	AKINDELE Tito	1 年 理一(5,13,19)
30072	月 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(5,13,19)
30073	月 2	マニナン ジョン	1 年 理一(5,13,19)
30074	月 2	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(5,13,19)
30075	月 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(5,13,19)
30113	月 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30114	月 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30115	月 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30116	月 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30117	月 3	SEDDON Ryan John	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30118	月 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30119	月 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30120	月 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30121	月 3	ナオミ バーマン	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30122	月 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30123	月 3	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30124	月 3	船田 なつの	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30125	月 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30126	月 3	神島 智子	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30127	月 3	マニナン ジョン	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30201	月 4	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30202	月 4	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30203	月 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30204	月 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30205	月 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30206	月 4	タヴァレス ヴァスケス ジエーゴ	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30207	月 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30208	月 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30285	火 1	AKINDELE Tito	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30286	火 1	神島 智子	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30287	火 1	SEDDON Ryan John	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30288	火 1	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(10)理二三(12,19)

30289	火 1	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30290	火 1	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30291	火 1	ナオミ バーマン	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30570	水 1	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(6,22,32,38)
30571	水 1	ナオミ バーマン	1 年 理一(6,22,32,38)
30572	水 1	船田 なつの	1 年 理一(6,22,32,38)
30573	水 1	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(6,22,32,38)
30574	水 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(6,22,32,38)
30575	水 1	AKINDELE Tito	1 年 理一(6,22,32,38)
30576	水 1	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(6,22,32,38)
30577	水 1	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 理一(6,22,32,38)
30578	水 1	タヴァレス ヴァスケス ジエーゴ	1 年 理一(6,22,32,38)
30579	水 1	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 理一(6,22,32,38)
30882	木 2	SENNA MANUEL	1 年 理一(26)
30883	木 2	ナオミ バーマン	1 年 理一(26)
30884	木 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(26)
31043	金 1	TSAI Aurora Marjorie	1 年 理二三(5-6,18)
31044	金 1	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理二三(5-6,18)
31045	金 1	SEDDON Ryan John	1 年 理二三(5-6,18)
31046	金 1	RUIZ TADA Elisa	1 年 理二三(5-6,18)
31047	金 1	PEEBLES GRAHAM	1 年 理二三(5-6,18)
31048	金 1	AKINDELE Tito	1 年 理二三(5-6,18)
31157	金 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理二三(7,22)
31158	金 3	SEDDON Ryan John	1 年 理二三(7,22)
31159	金 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 理二三(7,22)
31160	金 3	マニナン ジョン	1 年 理二三(7,22)
31161	金 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 理二三(7,22)
31202	金 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31203	金 4	神島 智子	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31204	金 4	マニナン ジョン	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31205	金 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31206	金 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31207	金 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31208	金 4	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 理一(37)理二三(16,24)

基礎科目（ドイツ語）

ドイツ語	開講区分	S

授業の目標・概要　一列・二列では共通教材『Einblicke』（東京大学教養学部ドイツ語部会編）を用いて、週二回の授業により、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。
履修者は必ず、同一クラスの一列と二列を履修すること。一列もしくは二列のみの履修は認められない。
なお、L 系列のドイツ語科目も積極的に履修することを勧める。

成績評価方法　平常点および試験等によって行う。なお、1 年生 S セメスターの一列・二列には同一の成績がつく。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ドイツ語共通教科書『Einblicke』
著者（訳者）　東京大学教養学部ドイツ語部会編
出版社
ISBN
その他
関連ホームページ　http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30064	月 2	ドイツ語一列①	森 芳樹	1 年 文三(15)
30087	月 2	ドイツ語一列①	高橋 宗五	1 年 理一(32)
30147	月 3	ドイツ語一列①	石原 あえか	1 年 理一(29)
30187	月 4	ドイツ語一列①	森井 裕一	1 年 文一二(21)
30427	火 3	ドイツ語一列①	石田 勇治	1 年 文三(16)
30446	火 3	ドイツ語一列①	針貝 真理子	1 年 理一(31)
30447	火 3	ドイツ語一列①	竹峰 義和	1 年 理一(33)
30517	火 4	ドイツ語一列①	長木 誠司	1 年 理二三(19)
30545	火 5	ドイツ語一列①	梶谷 真司	1 年 理二三(18)
30668	水 2	ドイツ語一列①	稲葉 治朗	1 年 理二三(20)
30732	水 3	ドイツ語一列①	斉藤 渉	1 年 理一(30)
30861	木 2	ドイツ語一列①	一條 麻美子	1 年 文一二(20)
30863	木 2	ドイツ語一列①	三宅 晶子	1 年 文一二(22)
30885	木 2	ドイツ語一列①	川喜田 敦子	1 年 理一(28)
30958	木 4	ドイツ語一列①	平松 英人	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
31165	金 3	ドイツ語一列①	田中 純	1 年 理二三(17)
30188	月 4	ドイツ語二列	三宅 晶子	1 年 文一二(22)
30216	月 4	ドイツ語二列	稲葉 治朗	1 年 理二三(20)
30272	火 1	ドイツ語二列	Ｉ・カウフマン	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
30445	火 3	ドイツ語二列	久保 哲司	1 年 理一(28)
30488	火 4	ドイツ語二列	一條 麻美子	1 年 文一二(20)
30646	水 2	ドイツ語二列	森 芳樹	1 年 文三(15)
30667	水 2	ドイツ語二列	田中 純	1 年 理二三(17)
30862	木 2	ドイツ語二列	森井 裕一	1 年 文一二(21)
30886	木 2	ドイツ語二列	針貝 真理子	1 年 理一(31)
30887	木 2	ドイツ語二列	高橋 宗五	1 年 理一(32)
30973	木 4	ドイツ語二列	有信 真美菜	1 年 文三(16)
31154	金 3	ドイツ語二列	瀬尾 文子	1 年 理一(33)
31166	金 3	ドイツ語二列	工藤 達也	1 年 理二三(18)
31167	金 3	ドイツ語二列	長木 誠司	1 年 理二三(19)

基礎科目（ドイツ語）

31200	金 4	ドイツ語二列	石原 あえか	1 年 理一(29)
31201	金 4	ドイツ語二列	斉藤 渉	1 年 理一(30)

基礎科目（フランス語）

フランス語	開講区分	S

授業の目標・概要　文科生クラス、理科生クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。
文科生は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
理科生には、文科生の演習に相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が自由選択できるので、積極的に参加してほしい。

成績評価方法　平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
関連ホームページ　http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30062	月 2	フランス語一列①	藤岡 俊博	1 年 文一二(24)
30065	月 2	フランス語一列①	郷原 佳以	1 年 文三(18)
30088	月 2	フランス語一列①	斎藤 かぐみ	1 年 理一(37)
30151	月 3	フランス語一列①	斎藤 かぐみ	1 年 理一(38)
30152	月 3	フランス語一列①	小西 英則	1 年 理一(39)
30189	月 4	フランス語一列①	佐々木 悠介	1 年 文一二(23)
30197	月 4	フランス語一列①	森元 庸介	1 年 文三(17)
30198	月 4	フランス語一列①	伊達 聖伸	1 年 文三(19)
30199	月 4	フランス語一列①	郷原 佳以	1 年 文三(20)
30273	火 1	フランス語一列①	ドゥルマジュール ラウル	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
30451	火 3	フランス語一列①	関俣 賢一	1 年 理二三(21)
30452	火 3	フランス語一列①	斎藤 かぐみ	1 年 理二三(23)
30453	火 3	フランス語一列①	渡邊 淳也	1 年 理二三(24)
30506	火 4	フランス語一列①	松村 剛	1 年 文一二(25)
30507	火 4	フランス語一列①	星埜 守之	1 年 文一二(26)
30508	火 4	フランス語一列①	関俣 賢一	1 年 文一二(27)
30509	火 4	フランス語一列①	赤羽 悠	1 年 文一二(28)
30539	火 5	フランス語一列①	赤羽 悠	1 年 理一(34)
30540	火 5	フランス語一列①	桐谷 慧	1 年 理一(35)
30541	火 5	フランス語一列①	増田 一夫	1 年 理一(36)
30546	火 5	フランス語一列①	渡邊 淳也	1 年 理二三(22)
30659	水 2	フランス語二列	黒木 秀房	1 年 理一(37)
30660	水 2	フランス語二列	飛嶋 隆信	1 年 理一(38)
30661	水 2	フランス語二列	小西 英則	1 年 理一(39)
30753	水 4	フランス語二列	森元 庸介	1 年 文三(17)
30864	木 2	フランス語二列	松村 剛	1 年 文一二(23)
30868	木 2	フランス語二列	渡邊 淳也	1 年 文三(18)
30869	木 2	フランス語二列	伊達 聖伸	1 年 文三(19)
30870	木 2	フランス語二列	松井 裕美	1 年 文三(20)

基礎科目（フランス語）

30889	木 2	フランス語二列	三浦 篤	1 年 理一(35)
30890	木 2	フランス語二列	井口 俊	1 年 理一(36)
30896	木 2	フランス語二列	坂本 さやか	1 年 理二三(22)
30928	木 3	フランス語二列	松村 剛	1 年 文一二(25)
30929	木 3	フランス語二列	増田 一夫	1 年 文一二(26)
30930	木 3	フランス語二列	治山 純子	1 年 文一二(27)
30931	木 3	フランス語二列	片岡 大右	1 年 文一二(28)
30959	木 4	フランス語二列	ビゼ	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
30966	木 4	フランス語二列	増田 一夫	1 年 文一二(24)
30987	木 4	フランス語二列	片岡 大右	1 年 理二三(23)
31050	金 1	フランス語二列	関俣 賢一	1 年 理二三(21)
31155	金 3	フランス語二列	鈴木 順子	1 年 理一(34)
31168	金 3	フランス語二列	治山 純子	1 年 理二三(24)

基礎科目（中国語）

中国語	開講区分	S

授業の目標・概要　中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。
●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。
●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい。（木５に開講）

成績評価方法　期末試験、小テストなどで評価をするが、具体的には学期途中で指示をするので各教員の指示に従うこと。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　漢語課本
著者（訳者）　小野秀樹・賈黎黎・吉川雅之・小嶋美由紀・李佳樑 著
出版社　白帝社
ISBN
その他

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30081	月 2	中国語一列①	大橋 義武	1 年 理一(24)
30196	月 4	中国語一列①	瀬地山 角	1 年 文三(14)
30294	火 1	中国語一列①	山影 統	1 年 理一(26)
30513	火 4	中国語一列①	石村 広	1 年 理一(27)
30655	水 2	中国語一列①	張 政遠	1 年 理一(19)
30658	水 2	中国語一列①	波多野 真矢	1 年 理一(22)
30666	水 2	中国語一列①	李 佳リョウ	1 年 理二三(16)
30719	水 3	中国語一列①	波多野 真矢	1 年 文一二(19)
30723	水 3	中国語一列①	朝倉 友海	1 年 文三(13)
30748	水 4	中国語一列①	韓 燕麗	1 年 文一二(18)
30859	木 2	中国語一列①	下出 宣子	1 年 文一二(14)
30881	木 2	中国語一列①	松本 秀士	1 年 理一(25)
30922	木 3	中国語一列①	河野 直恵	1 年 文一二(16)
30942	木 3	中国語一列①	下出 宣子	1 年 理二三(15)
30960	木 4	中国語一列①	賈 黎黎	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
30964	木 4	中国語一列①	河野 直恵	1 年 文一二(15)
30986	木 4	中国語一列①	渡辺 剛	1 年 理二三(13)
31038	金 1	中国語一列①	王 英輝	1 年 理一(20)
31142	金 3	中国語一列①	石井 剛	1 年 文三(11)
31150	金 3	中国語一列①	谷垣 真理子	1 年 理一(23)
31164	金 3	中国語一列①	毛 興華	1 年 理二三(14)
31186	金 4	中国語一列①	岩月 純一	1 年 文一二(13)
31199	金 4	中国語一列①	賈 黎黎	1 年 理一(21)
30284	火 1	中国語一列①(TLP)	菊池 真純	1 年 理一(3)理二三(3)
30638	水 2	中国語一列①(TLP)	田原 史起	1 年 文一二(17)
30645	水 2	中国語一列①(TLP)	吉川 雅之	1 年 文三(12)
30139	月 3	中国語二列	大橋 義武	1 年 理一(20)
30145	月 3	中国語二列	賈 黎黎	1 年 理一(26)
30186	月 4	中国語二列	田原 史起	1 年 文一二(19)

30274	火 1	中国語二列	毛 興華	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
30293	火 1	中国語二列	教員未定	1 年 理一(22)
30426	火 3	中国語二列	教員未定	1 年 文三(13)
30440	火 3	中国語二列	石村 広	1 年 理一(21)
30443	火 3	中国語二列	岩月 純一	1 年 理一(24)
30444	火 3	中国語二列	山影 統	1 年 理一(25)
30486	火 4	中国語二列	山影 統	1 年 文一二(14)
30583	水 1	中国語二列	青木 正子	1 年 理一(23)
30664	水 2	中国語二列	青木 正子	1 年 理二三(14)
30665	水 2	中国語二列	朝倉 友海	1 年 理二三(15)
30702	水 3	中国語二列	張 政遠	1 年 文一二(13)
30722	水 3	中国語二列	WANG QIN	1 年 文三(11)
30737	水 3	中国語二列	瀬地山 角	1 年 理二三(13)
30943	木 3	中国語二列	松本 秀士	1 年 理二三(16)
30965	木 4	中国語二列	劉 青	1 年 文一二(18)
30971	木 4	中国語二列	松本 秀士	1 年 文三(14)
31037	金 1	中国語二列	石井 剛	1 年 理一(19)
31040	金 1	中国語二列	山口 早苗	1 年 理一(27)
31187	金 4	中国語二列	谷垣 真理子	1 年 文一二(15)
31188	金 4	中国語二列	毛 興華	1 年 文一二(16)
30195	月 4	中国語二列(TLP)	白 春花	1 年 文三(12)
30860	木 2	中国語二列(TLP)	李 彦銘	1 年 文一二(17)
30974	木 4	中国語二列(TLP)	鄧 芳	1 年 理一(3)理二三(3)

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目（ロシア語）

ロシア語	開講区分	S

授業の目標・概要　ロシア語文法の基礎の修得。
成績評価方法　定期試験と平常点。
S セメスターの期末テストは、「ロシア語一列」と「ロシア語二列」を 1 回に統一して行う。
適宜小テストを行うことがある。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ロシア語をはじめよう
著者（訳者）　西中村浩、朝妻恵理子
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-255-55504-1
その他
関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30109	月 3	ロシア語一列①	奈倉 有里	1 年 理一(4)
30110	月 3	ロシア語一列①	鳥山 祐介	1 年 理一(5)
30392	火 3	ロシア語一列①	浜田 華練	1 年 文一二(4)
30423	火 3	ロシア語一列①	乗松 亨平	1 年 文三(4)
30514	火 4	ロシア語一列①	浜田 華練	1 年 理二三(4)
30275	火 1	ロシア語一列①(TLP)	笹山 啓	1 年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4)
30871	木 2	ロシア語二列	乗松 亨平	1 年 理一(4)
30872	木 2	ロシア語二列	細川 瑠璃	1 年 理一(5)
30984	木 4	ロシア語二列	細川 瑠璃	1 年 理二三(4)
31122	金 3	ロシア語二列	渡邊 日日	1 年 文一二(4)
31141	金 3	ロシア語二列	丸山 由紀子	1 年 文三(4)
30676	水 3	ロシア語二列(TLP)	鳥山 祐介	1 年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4)

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目（スペイン語）

スペイン語	開講区分	S

授業の目標・概要

S セメスターは週２回、A セメスターは週１回の授業が必修です。共通教科書を用い、１年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習します。同時にスペイン語文化圏の豊かで多彩な文化と社会への関心を深めていきます。S セメスターでは内容を一列（文法）と二列（講読）に分け、A セメスターでは一列で文法・講読の両方を扱います。文系学生はこの他に外国人教員が担当するクラス指定の演習を履修します。理系学生にもこれに対応する「スペイン語初級（演習）」（理科生限定）が開講されています。これらの演習科目では、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行います。他にも初級作文と初級会話の科目を開講しているので、積極的に参加してください。
スペイン語を集中的に勉強したい学生のためには、インテンシブクラスを週２回開講します。これらを履修すれば、スペイン語の運用能力をいっそう高めることができます。

成績評価方法
各教師より説明があります。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名	Brújula−スペイン語学習の羅針盤
著者（訳者）	東京大学教養学部スペイン語部会
出版社	朝日出版社
ISBN	978-4-255-55111-1
その他	各人が大学生協駒場書籍部を通じて初回までに購入すること。

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30079	月 2	スペイン語一列①	相田 豊	1 年 理一(9)
30136	月 3	スペイン語一列①	岡本 年正	1 年 理一(12)
30435	火 3	スペイン語一列①	相田 豊	1 年 理一(10)
30437	火 3	スペイン語一列①	半澤 忠彦	1 年 理一(14)
30543	火 5	スペイン語一列①	棚瀬 あずさ	1 年 理二三(7)
30582	水 1	スペイン語一列①	相田 豊	1 年 理一(17)
30614	水 2	スペイン語一列①	川崎 義史	1 年 文一二(9)
30630	水 2	スペイン語一列①	倉田 量介	1 年 文一二(12)
30643	水 2	スペイン語一列①	上 英明	1 年 文三(9)
30653	水 2	スペイン語一列①	石橋 純	1 年 理一(13)
30654	水 2	スペイン語一列①	宮地 隆廣	1 年 理一(18)
30663	水 2	スペイン語一列①	竹村 文彦	1 年 理二三(8)
30679	水 3	スペイン語一列①	竹村 文彦	1 年 文一二(10)
30730	水 3	スペイン語一列①	川崎 義史	1 年 理一(15)
30731	水 3	スペイン語一列①	倉田 量介	1 年 理一(16)
30733	水 3	スペイン語一列①	久住 真由	1 年 理二三(9)
30734	水 3	スペイン語一列①	石橋 純	1 年 理二三(10)
30735	水 3	スペイン語一列①	棚瀬 あずさ	1 年 理二三(11)
30736	水 3	スペイン語一列①	若林 大我	1 年 理二三(12)
30752	水 4	スペイン語一列①	棚瀬 あずさ	1 年 文三(8)
30866	木 2	スペイン語一列①	若林 大我	1 年 文三(10)
30875	木 2	スペイン語一列①	相田 豊	1 年 理一(11)
30425	木 4	スペイン語一列①	相田 豊	1 年 文三(7)
30962	木 4	スペイン語一列①	木﨑 孝嘉	1 年 文一二(8)
31133	金 3	スペイン語一列①	和田 佳浦	1 年 文一二(7)
31185	金 4	スペイン語一列①	和田 佳浦	1 年 文一二(11)

基礎科目（スペイン語）

30058	月 2	スペイン語二列	栗林 ゆき絵	1 年 文一二(8)
30080	月 2	スペイン語二列	岡本 年正	1 年 理一(16)
30138	月 3	スペイン語二列	三浦 麻衣子	1 年 理一(18)
30182	月 4	スペイン語二列	渡辺 暁	1 年 文一二(11)
30191	月 4	スペイン語二列	石橋 純	1 年 文三(7)
30192	月 4	スペイン語二列	岡本 年正	1 年 文三(8)
30193	月 4	スペイン語二列	三浦 麻衣子	1 年 文三(9)
30209	月 4	スペイン語二列	竹村 文彦	1 年 理一(14)
30277	火 1	スペイン語二列	丸山 共恵	1 年 文一二(12)
30292	火 1	スペイン語二列	川上 英	1 年 理一(13)
30483	火 4	スペイン語二列	相田 豊	1 年 文一二(7)
30484	火 4	スペイン語二列	棚瀬 あずさ	1 年 文一二(9)
30516	火 4	スペイン語二列	半澤 忠彦	1 年 理二三(9)
30544	火 5	スペイン語二列	上 英明	1 年 理二三(11)
30581	水 1	スペイン語二列	丸山 共恵	1 年 理一(10)
30662	水 2	スペイン語二列	丸山 共恵	1 年 理二三(7)
30756	水 4	スペイン語二列	久住 真由	1 年 理一(11)
30877	木 2	スペイン語二列	倉田 量介	1 年 理一(15)
30879	木 2	スペイン語二列	愛場 百合子	1 年 理一(17)
30936	木 3	スペイン語二列	若林 大我	1 年 理一(12)
30940	木 3	スペイン語二列	倉田 量介	1 年 理二三(8)
30941	木 3	スペイン語二列	木﨑 孝嘉	1 年 理二三(12)
30963	木 4	スペイン語二列	松浦 芳枝	1 年 文一二(10)
30976	木 4	スペイン語二列	若林 大我	1 年 理一(9)
31163	金 3	スペイン語二列	有田 美保	1 年 理二三(10)
31189	金 4	スペイン語二列	有田 美保	1 年 文三(10)

基礎科目（韓国朝鮮語）

韓国朝鮮語	開講区分	S

授業の目標・概要
●1 年生初修クラス
文科生クラス、理科生クラスともに、一列・二列の授業では、共通教材『ことばの架け橋 精選版』を用いて授業を行います。はじめの数回の授業において文字と発音を完全に習得した後、引き続き、さまざまな文法事項と語彙を学んでいきます。
この授業では、一年間を通じて、基礎文法を完全に習得し、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また簡単な内容ならば、自分の考えや意見を表現できる程度の力を身につけることを目指します。
文科生はこのほか、韓国人教員が担当する「初級（演習）①」を履修し、基礎知識の応用をはかっていきます。理科生には、文科生の「初級（演習）①」に相当する「初級（演習）」が設けられているので、積極的に参加して下さい。

成績評価方法
定期テストと平常点（出席、小テスト、課題など）

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ことばの架け橋（精選版）
著者（訳者）　生越直樹，三ツ井崇，チョ・ヒチョル
出版社　白帝社
ISBN　9784863984066
その他　【入力不可】

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30077	月 2	韓国朝鮮語一列①	李 英蘭	1 年 理一(6)
30175	月 4	韓国朝鮮語一列①	三ツ井 崇	1 年 文一二(5)文三(5)
30515	火 4	韓国朝鮮語一列①	河崎 啓剛	1 年 理二三(5)
30677	水 3	韓国朝鮮語二列	三ツ井 崇	1 年 文一二(5)文三(5)
30938	木 3	韓国朝鮮語二列	河崎 啓剛	1 年 理二三(5)
31036	金 1	韓国朝鮮語二列	齊藤 良子	1 年 理一(6)

基礎科目（イタリア語）

イタリア語	開講区分	S

授業の目標・概要

●初修クラス
「一、二列」では、発音からはじまり、初級文法を、S セメスターから A セメスターの前半までの期間に習得することが目標です。A セメスター後半は、比較的平易な現代文を中心としたテクストの読解と、文法知識の整理にあてます。教科書は東京大学イタリア語教材編集委員会編の『イタリア語のスタート』（白水社）と、中級読解用テクスト『ピアッツァ』（東京大学出版会）を使用します。
あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための「演習」が文科生には必修科目として開講されています。理科生は総合科目 L の「イタリア語初級（演習）」として選択できます。積極的に履修・参加して、表現力を身につけてください。
S セメスターの基本的な学習項目は以下のようになります。
１）発音 ２）イタリア語の文の基本的な成り立ち ３）名詞の性と数 ４）主語人称代名詞と動詞 essere ５）形容詞 ６）指示代名詞と指示形容詞 ７）動詞 avere ８）規則動詞の現在活用形 ９）不規則動詞 １０）疑問詞 １１）前置詞と冠詞の結合形 １２）補助動詞 １３）近過去 １４）再帰動詞 １５）未来
●既修クラス
総合科目 L として開講されている中・上級の演習・会話・作文・表現練習・読解・インテンシヴの授業を組み合わせて受講することが可能です。イタリア語の習得を通して、音楽、芸術、映画、デザインなど、文化のさまざまな分野に関して、新しいテーマを素材に用い、現代社会のさまざまな側面についてもふれます。
●さらに選択可能な総合科目 L の科目として、初級・中級の会話・作文・表現練習も開講されているので、積極的に受講してください。（意欲的な履修者は、A セメスター以降、選択可能な総合科目 L の科目の中級イタリア語を受講することも可能です。）特に集中的に少人数のクラスでイタリア語を身につけ定着させたい履修者のためのインテンシブコースとして、文法事項の定着練習（１コマ）とネイティブによる表現力の演習（１コマ）を初級（１年生）・中級（２年生、ただし A セメスタには意欲的な１年生も受講可）ともに開講しています。ぜひ積極的に受講してください。
●S セメスターにはイタリア語初級（第３外国語）３コマが開講されていますが、そのうち１コマ（金５限）は秋始まりで文法をはじめたい履修者のためのもので、S セメスターはイタリア語初級文法後半になります。詳しくはシラバスを参照のこと。

成績評価方法　平常点と定期試験

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名	Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習
著者（訳者）	東京大学イタリア語教材編集委員会編
出版社	白水社
ISBN	ISBN978-4-560-01763-0
その他	

関連ホームページ　http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30111	月 3	イタリア語一列①	大崎 さやの	1 年 理一(7)
30112	月 3	イタリア語一列①	岡本 太郎	1 年 理一(8)
30214	月 4	イタリア語一列①	岡本 太郎	1 年 理二三(6)
30394	火 3	イタリア語一列①	藤崎 衛	1 年 文一二(6)
30424	火 3	イタリア語一列①	山﨑 彩	1 年 文三(6)
30651	水 2	イタリア語二列	岡本 太郎	1 年 理一(8)
30764	水 4	イタリア語二列	岡本 太郎	1 年 理二三(6)
30865	木 2	イタリア語二列	山﨑 彩	1 年 文三(6)
30909	木 3	イタリア語二列	藤崎 衛	1 年 文一二(6)
30975	木 4	イタリア語二列	大崎 さやの	1 年 理一(7)

基礎科目（日本語）

日本語	開講区分	S

授業の目標・概要

[注意事項]
・基礎科目一列①、基礎科目二列を、一年次 S セメスターに履修すること。
・日本語科目（基礎科目一列、二列 C、二列 P、総合科目 L 系列、選択必修科目）の履修方法やカリキュラム等について、基礎科目一列①の初回授業で説明があるので、必ず出席すること。
・基礎科目一列①、および、基礎科目二列のクラス指定に関して、教養学部 HP や UTAS 上の指示に留意し従うこと。
・基礎科目一列①、および、基礎科目二列の第 1 週初回授業に関して、教養学部 HP や UTAS 上の指示に留意し従うこと。
・様々なガイダンス・導入活動のため、基礎科目一列、および、基礎科目二列の初回授業に必ず出席してください。
・基礎科目二列(S1) の初回授業に必ず出席し日本語能力テストを受験すること。日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、或は、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、授業開始時に日本語能力テストを受ける必要がある。
・総合科目 L 系列科目(S1, S2)の希望登録について、UTAS 上の指示にも留意してください。

● 基礎科目 日本語一列① 1 年生 既修外国語（および「初修扱い既修外国語」）
『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in Academic Japanese for Arts and Sciences-』
文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ、読解・聴解、資料収集、調査、協働タスク、ディスカッション、プレゼンテーション等、様々な能動的な協働活動を通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を適格に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、能動的学習力を養う。
一列授業と二列授業とは、連動しつつ相互に相補的な活動を行う。
『基礎科目 日本語一列』で扱うテーマやそのテーマでの読解・聴解・協働タスク・ディスカッション等の活動と連動して、『基礎科目 日本語二列 C』（正確な精読、構文・語彙習得中心）、および、『基礎科目 日本語二列 P』（アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション中心）の授業を行う。
● 基礎科目 日本語二列 C 1 年生 既修外国語（および「初修扱い既修外国語」）
『テーマで考え議論する日本語 ： 正確な精読、構文・語彙習得中心』
『基礎科目日本語一列』でのテーマや読解テクスト・活動と連動して、構文・語彙増強、正確な精読や要約・ライティング等を行う。
● 基礎科目 日本語二列 P 1 年生 既修外国語（および「初修扱い既修外国語」）
『テーマで考え議論する日本語： アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション中心』
『基礎科目日本語一列』でのテーマや読解テクスト・活動と連動して、アクティブラーニングのプレゼンテーション・レポート執筆を行う。

○ 総合科目 L 系列 「日本語中級」『滑らかに話すための日本語発音』
伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要な発音の習得を目指す。
○ 総合科目 L 系列 「日本語上級」『文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その 5』(S1)
総合科目 L 系列 「日本語上級」『文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その 6』(S2)
日本の近代から現代にかけての文学に焦点をあて、作品に親しみながら、読む力、まとめる力、伝える力を養う。
○ 総合科目 L 系列 「日本語上級」『論文執筆を戦略的に計画する（準備編)』
○ 総合科目 L 系列 「日本語上級」『論文執筆を内省的に遂行する（実践編)』
○ 総合科目 L 系列 「日本語上級」『 読解を通じ，日本の歴史を考える』
日本の歴史について書かれた論説文・歴史小説等の読解を通じ，日本史における事象やその文化的背景についての理解を深め，現代との関わりについて批判的に検討する。

成績評価方法

「成績評価方法」は、科目・授業列により異なるので、UTAS 上のそれぞれの科目のページを参照すること。
全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価する。詳細については第一回目の授業で配布するシラバスで説明する。

教科書

その他。／Other

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30314	S	火 2	日本語一列①	藤井 聖子	1 年 文科 理科
31057	S	金 2	日本語一列①	藤井 聖子	1 年 文科 理科
30827	S 1	木 1	日本語二列 C	奥川 育子	1 年 文科 理科
31229	S 1	金 5	日本語二列 C	奥川 育子	1 年 文科 理科
40107	S 2	木 1	日本語二列 P	奥川 育子	1 年 文科 理科
40130	S 2	金 5	日本語二列 P	奥川 育子	1 年 文科 理科

情報

情報	開講区分	S

授業の目標・概要

現代社会においては，すべての人が多様な場と状況において，情報システムとかかわらざるをえない．
その際に正しくかつ適切な対応をするためには，情報の技術面だけでなく，その人間的および社会的な側面の正しい理解が必要である．
これは情報社会人の基本的素養であり，“知ることによって無知から自由になることができる”という意味であるリベラルアーツそのものと言うことができる．
本科目の目的は，このような素養を，講義と演習とを通じて身に付けることである．
具体的には
・情報の人間に関連する側面
表現，認知，伝達
・情報の社会に関連する側面
情報システム，情報関連の法，技術と社会
・情報の問題解決に関する側面
データと計算のモデル，計算の複雑さ
のそれぞれを，独立にではなく，他の側面の理解が可能なレベルまで掘り下げて学ぶ．

この科目の目的は，いわゆる「利用・活用」の方法を習うことではない．
なお，高等学校の教科「情報」で学ぶ項目のうち，機器操作の方法，Web ブラウザ，電子メール，ディジタルの概念，著作権・知的財産権の基本，などは「既習」であることを前提とする．

成績評価方法

成績評価の方法は期末試験やレポートを加味など，教員によって異なる．なお，状況によって変更される可能性はある．

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　情報 第２版（Introduction to the New Information World, 2nd Edition）
著者（訳者）　山口和紀[編]
出版社　東京大学出版会
ISBN　978-4-13-062457-2

関連ホームページ

https://sites.google.com/site/iebtokyouniv/home/edu/information

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30059	月 2	原田 至郎	1 年 文一二(9-11)
30078	月 2	辰己 丈夫	1 年 理一(8,18,34)
30137	月 3	金子 知適	1 年 理一(13,21-22)
30142	月 3	辰己 丈夫	1 年 理一(24,33,35-36)
30184	月 4	森畑 明昌	1 年 文一二(14,16,20)
30210	月 4	柴山 悦哉	1 年 理一(17)理二三(16,19)
30276	火 1	松島 慎	1 年 文一二(7)文三(6,8,17)
30283	火 1	蓮池 隆	1 年 文三(18-20)
30419	火 3	飯高 隆	1 年 文一二(15,18,26,28)文三(15)
30487	火 4	飯高 隆	1 年 文一二(17)文三(4,9-10)
30538	火 5	道畑 正岐	1 年 理一(25-27)
30542	火 5	鵜川 始陽	1 年 理二三(4-5,13,15)
30580	水 1	山川 雄司	1 年 理一(7,15,30)
30642	水 2	村上 祐子	1 年 文三(1-3,7,11,14,16)
30650	水 2	定兼 邦彦	1 年 理一(5,29)理二三(22)
30725	水 3	落合 秀也	1 年 理一(1-3,23,31)理二三(1-3,14)
30749	水 4	柳本 潤、高木 周	1 年 文一二(19,21-22)
30751	水 4	山口 泰	1 年 文一二(23-25)文三(12)
30858	木 2	植田 一博	1 年 文一二(8,12-13)
30891	木 2	羽山 博	1 年 理一(37)理二三(11,18)
30933	木 3	飯尾 淳	1 年 理一(6,14,19)
30939	木 3	石井 健太郎	1 年 理二三(6-7,21)

30977	木 4	田中 哲朗	1 年 理一(10-12)
30985	木 4	石井 健太郎	1 年 理二三(10,12,24)
31033	金 1	秋光 淳生	1 年 理一(4,9,16)
31041	金 1	福永 アレックス	1 年 理一(38-39)理二三(17)
31140	金 3	川崎 真弘	1 年 文一二(27)文三(13)
31153	金 3	蔡 東生	1 年 理一(28)理二三(8-9,23)
31178	金 4	川崎 真弘	1 年 文一二(1-6)文三(5)
31197	金 4	蔡 東生	1 年 理一(20,32)理二三(20)

情報α	開講区分	S

授業の目標・概要

＊＊トピックについて＊＊
深層学習（ディープラーニング）は、近年発展著しい AI（人工知能）技術の中核を為す技術である。この技術は高い性能と汎用性を持つことから、自動運転や新薬創造などの社会の多くの領域に応用され、それぞれの分野で革新的な成果を出すことが期待されている。
また、この深層学習のメカニズムを理解するために、数学をベースにした理論も急速に発展している。AI 技術を効率的に制御・理解するためには、これらの理論の発展が必要不可欠である。

＊＊講義の目標＊＊
この講義の目的は、以下の三つである。
1. 基礎的な情報の技術・社会的側面について学ぶ。
2. データ解析の基礎を理解し、その一ツールとしての深層学習の使い方をプログラミング演習を通して学ぶ。
3. 深層学習の理論を、数学演習を通して学ぶ。

＊＊講義の概要＊＊
最初の数回で、基礎科目「情報」に該当する内容を速習する。加えて、各回の講義の中で随時「情報」の内容をカバーする。
その後、機械学習の問題設定の基礎を学び、python を用いた演習で深層学習の実装を行う。後半では、数学的な理論を学び演習を通して定着を図る。
前半での演習では python を使うスキルが必要だが、知識は授業中に身につける前提で、意欲さえあればこれまでの経験は問わない。

＊＊システム＊＊
受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時（4 月 8 日（金）6 限、Zoom 開催）にプログラミング・数学などに関する基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う。その結果、一週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板もしくはオンライン上に発表する。

成績評価方法　学期中と期末に課すレポートおよび出席状況をもとに評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30271	月 6	今泉 允聡	1 年 文科 理科
31256	金 6	今泉 允聡	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習 I

身体運動・健康科学実習I	開講区分	S

授業の目標・概要
週 1 回の授業を通じて
1.身体および身体運動に関する知識を習得する。
2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。
3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。
4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。

授業計画
下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。
第 1 回 教室で教科書を用いた授業 （教室は掲示を参照）
第 2 回 体力テスト
第 3 回 教室で教科書を用いた授業
種目選択
第 4 回から 選択した種目での授業
セメスター中に 2 度、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を行う。共通授業はコミュニケーションプラザ北館 3 階の身体運動実習室で行う。
この他天候等により体育館種目が別の場所に移動し、外種目を体育館で行うこともあるので、9 号館前の掲示板を見ること。

授業の方法
下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。
第 3 回目の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/を参照のこと。
種目選択以降は、各種目に分かれて行う。
基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。
セメスター中に 2 回、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を、通常とは別の場所で行う。教室での授業、身体運動の科学的理解のための授業だけでなく、通常の授業でも教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくること。毎回の授業における心拍数、体力テストの結果等も教科書に記入する。
通常授業での説明、教室での授業内容、科学的理解の授業、体力テスト等によって、セメスター末にレポートを提出する。

成績評価方法
下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。
1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。
2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。
3 体力テスト 4 月と 12 月に行い、評価に含める。
4 レポート 通常授業での説明、教室での授業内容、体力テストの結果等を受けて、セメスター末にレポートを提出する。
5 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　教養としての身体運動・健康科学
著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室編
出版社　東京大学出版会
ISBN

履修上の注意
種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。

学習上のアドバイス
盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。

関連ホームページ
http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30044	月 2	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(4,23)文三(16-17)理一(7,10-11,17,20,26,38)
30428	火 3	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文三(18)理一(22-23,29-30,32,34-37,39)
30485	火 4	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(13)文三(8,14,19-20)理一(24-25)理二三(1-3,7,10,17,21)
30678	水 3	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(8,14,27)文三(9)理一(12,18-19,27)理二三(5-6,8)
30747	水 4	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(16)理一(8,13-15)理二三(9,11-12,14-15)
30853	木 2	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(5-6,24-25)文三(5,11)理一(1-3,6,21)理二三(4,16)
30910	木 3	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(9)文三(4,6)理一(4-5,9,16)理二三(13,18,22-24)
31121	金 3	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(1-3,11,15,18-20,26,28)文三(1-3,7,10,12)理二三(20)
31179	金 4	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(7,10,12,17,21-22)文三(13,15)理一(28,31,33)理二三(19)

身体運動・健康科学実習 I

身体運動・健康科学実習I	開講区分	S

授業の目標・概要
週 1 回の授業を通じて
1.身体および身体運動に関する知識を習得する。
2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。
3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。
4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。

授業計画
下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。
第 1 回 教室で教科書を用いた授業 （教室は掲示を参照）
第 2 回 体力テスト
第 3 回 教室で教科書を用いた授業
種目選択
第 4 回から 選択した種目での授業
セメスター中に 2 度、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を行う。共通授業はコミュニケーションプラザ北館 3 階の身体運動実習室で行う。
この他天候等により体育館種目が別の場所に移動し、外種目を体育館で行うこともあるので、9 号館前の掲示板を見ること。

授業の方法
下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。
第 3 回目の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/を参照のこと。
種目選択以降は、各種目に分かれて行う。
基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。
セメスター中に 2 回、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を、通常とは別の場所で行う。教室での授業、身体運動の科学的理解のための授業だけでなく、通常の授業でも教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくること。毎回の授業における心拍数、体力テストの結果等も教科書に記入する。
通常授業での説明、教室での授業内容、科学的理解の授業、体力テスト等によって、セメスター末にレポートを提出する。

成績評価方法
下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。
1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。
2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。
3 体力テスト 4 月と 12 月に行い、評価に含める。
4 レポート 通常授業での説明、教室での授業内容、体力テストの結果等を受けて、セメスター末にレポートを提出する。
5 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名 教養としての身体運動・健康科学
著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室編
出版社 東京大学出版会
ISBN

履修上の注意
種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。

学習上のアドバイス
盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。

関連ホームページ
http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30044	月 2	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(4,23)文三(16-17)理一(7,10-11,17,20,26,38)
30428	火 3	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文三(18)理一(22-23,29-30,32,34-37,39)
30485	火 4	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(13)文三(8,14,19-20)理一(24-25)理二三(1-3,7,10,17,21)
30678	水 3	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(8,14,27)文三(9)理一(12,18-19,27)理二三(5-6,8)
30747	水 4	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(16)理一(8,13-15)理二三(9,11-12,14-15)
30910	木 3	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(9)文三(4,6)理一(4-5,9,16)理二三(13,18,22-24)
31121	金 3	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(1-3,11,15,18-20,26,28)文三(1-3,7,10,12)理二三(20)
31179	金 4	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(7,10,12,17,21-22)文三(13,15)理一(28,31,33)理二三(19)

身体運動・健康科学実習 II

身体運動・健康科学実習II	開講区分	S

授業の目標・概要	週１回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 第 1 回 月曜３限または火曜２限で開講されている総合科目Ｄ系列「スポーツ・身体運動実習」の種目選択を実施する場所に集合し（場所は９号館前掲示板を参照)、この授業用に開講されている１種目（開講種目は未定）に登録手続きを行い、担当教員からガイダンスを受ける。 第２回以降 この曜限で開講されている種目での通常授業 ＊セメスター中に２度、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を行う。
授業の方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 基本的には自分の身体を動かして実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。 セメスター中に２回、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を、通常とは別の場所で行う。教室での授業、身体運動の科学的理解のための授業だけでなく、通常の授業でも教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくること。 通常授業での説明、科学的理解のための共通授業等によって、セメスター末にレポートを提出する。
成績評価方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 体力テスト （未定） 4 レポート 通常授業での説明、共通授業等を受けて、セメスター末にレポートを提出する。 5 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　　教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室編 出版社　　東京大学出版会 ISBN
履修上の注意	１Ａセメスターでクラス指定された「身体運動・健康科学実習 II」の履修登録を削除した者（２Ｓで履修するために)、および１Ａセメスターの「身体運動・健康科学実習 II」の単位未取得者が対象となります。
学習上のアドバイス	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。傷害保険に加入することが望ましい。
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30160	月 3	身体運動・健康科学実習II(2S)	実技担当	2 年 文科 理科
30315	火 2	身体運動・健康科学実習II(2S)	実技担当	2 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）

身体運動・健康科学実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）	開講区分	S

授業の目標・概要	週 1 回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 第 3 回目までの授業は、クラス指定された身体運動・健康科学実習の曜限で受講する。体力テストは見学する。第 3 回目の種目選択で、履修する曜限を決め、第 4 回目以降からそのメディカルケアの曜限で受講する。 各自の状態に合わせて、実習を行う。
授業の方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各自の状態により様々なアプローチがなされる。 教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくること。セメスター末にレポートを提出する。
成績評価方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自の学習達成度について評価を行う。 3 レポート 授業での説明、実習内容、その結果等を受けて、セメスター末にレポートを提出する。 4 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室編 出版社　東京大学出版会 ISBN
履修上の注意	第 1 ～ 3 回目まで、クラス指定された身体運動・健康科学実習の授業に参加する。第 4 回目からメディカルケアコースの曜限に移行する。
学習上のアドバイス	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30234	月 5	身体運動・健康科学実習I（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	1 年 文科 理科
30235	月 5	身体運動・健康科学実習 II （ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	2 年 文科 理科
30584	水 1	身体運動・健康科学実習I（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	1 年 文科 理科
30585	水 1	身体運動・健康科学実習 II （ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	2 年 文科 理科
30009	月 1	身体運動・健康科学実習I（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科
30010	月 1	身体運動・健康科学実習 II （ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	2 年 文科 理科
30295	火 1	身体運動・健康科学実習I（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科
30296	火 1	身体運動・健康科学実習 II （ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	2 年 文科 理科

初年次ゼミナール文科の履修について

初年次ゼミナール文科はクラス指定の必修科目であり、以下の共通目標が定められている。

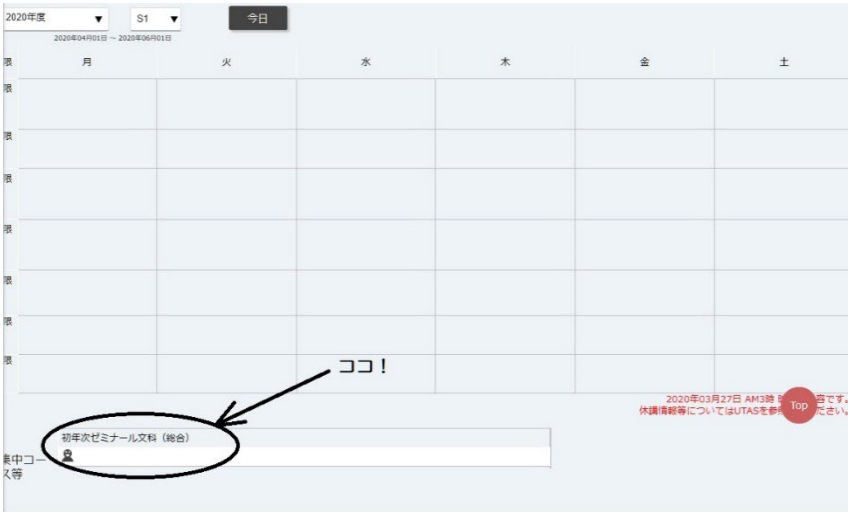
> 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
>
> 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 週の合同授業で学ぶ。

クラスごとに指定されたグループ（各 2 曜限）に開講されている授業のうち、1 授業を選択して受講する。希望が集中した場合は抽選となる。教務課前期課程のホームページに掲載される「【重要】履修登録について」の該当箇所にしたがって、登録期間内に必ず履修希望登録を行うこと。なお、履修希望は必ず第 8 希望まで登録すること。初年次ゼミナール文科の抽選結果は、抽選で履修が決まる総合科目（英語中級等）の抽選結果より優先される。同じ曜限に他の授業と重複して当選した場合は、初年次ゼミナール文科以外の科目の履修は取り消されるので注意すること。

文科の 2 年生で初年次ゼミナール文科の単位を未取得の者は、科目登録方法が通常の他クラス聴講等の手続きとは異なるので、同じく「【重要】履修登録について」を注意して読んでおくこと。

＊教務課前期課程ホームページ： http://www.c.u-tokyo.ac.jp/zenki/index.html

第 1 週は、同一の曜限に開講されるすべての初年次ゼミナール文科の授業合同で、ガイダンス（オンライン）を実施する。**ガイダンスの ZoomURL は、**ITC-LMS にログインした後、時間割の下に表示される「集中コース等」の中にある**「初年次ゼミナール文科（総合）」コース（下図参照）に掲載**する。各教員のシラバスや ITC-LMS コースには、第 1 週の合同ガイダンスの URL は掲載されないので注意すること。なお、2022 年度に限り、火曜日の授業のガイダンスは同じグループの別曜限のガイダンス内で実施する。グループ 2, 3, 4 に編入されたクラスの学生は 4 月 7 日、8 日の該当時限に開催されるガイダンスで 2 曜限分の授業説明が行われるので、必ず出席のこと。またグループ 2, 3, 4 向けのこれらのガイダンスのみ特例で 105 分授業となることにも留意してほしい。



（参考）ITC-LMS のログイン後画面上の「初年次ゼミナール文科（総合）」コースの表示位置

第 2 週は、アカデミックマナーおよびアカデミックスキルに関するレクチャーと情報検索実習を行う。詳細は ITC-LMS の「初年次ゼミナール文科（総合）」コースに掲載される。オンラインでの情報検索実習の受講日がクラスごとに指定されるので、4 月 11 日までに必ず ITC-LMS の総合コースの掲載情報を確認しておくこと。第 2 週の合同授業では、Zoom や動画へのアクセス状況や課題の提出にもとづいて出欠席が記録される。

なお、ITC-LMS の「初年次ゼミナール文科（総合）」のコースには 4 月 3 日頃からアクセス可能となる予定である。

第 3 週からは、少人数に分かれたクラスで授業が行われる。UTAS にて履修授業を確認し、その**授業のシラバスを、PDF 版だけでなくオンライン版で必ず確認**すること。また別途情報が掲載されているかもしれないので、①ITC-LMS の履修する授業のコースと、②ITC-LMS「初年次ゼミナール文科（総合）」コース、また、③教務課前期課程のホームページをよく確認しておくこと。

この授業の共通教材として『読む、書く、考える　－東京大学　初年次ゼミナール文科　共通テキスト－』の電子版が全員に配布される。4 月 12 日までに ITC-LMS「初年次ゼミナール文科（総合）」コースにアップロードされるので、積極的に利用してほしい。

この授業に関する授業外サポートとして、「**ラーニングコモンズ**」をオンラインで開く。ラーニングコモンズでは、各授業のティーチング・アシスタント（TA）とは別に、大学院生がラーニングコモンズ TA として待機し、履修生の学習相談や質問に応じる。どの初年次ゼミナール文科の授業を履修している学生でも、予約不要で利用できる場である。開室時間や URL、利用方法等については、ITC-LMS の「初年次ゼミナール文科（総合）」コースで通知する。

クラスごとの指定グループは下表のとおりである。

グループ名	開講曜限	対象クラス
グループ 1	月 4・水 4	1 年文一・二（4,6-7,28）， 文三（4,16,18）
グループ 2	火 1・木 2	1 年文一・二（10,19,26-27）， 文三（7,9,13）
グループ 3	火 3・木 3	1 年文一・二（8,12,14,17）， 文三（10,12,14）
グループ 4	火 4・金 1	1 年文一・二（1-3,5,11,15-16,22）， 文三（1-3,11,15）
グループ 5	水 2・金 3	1 年文一・二（13,21,24-25）， 文三（5,8,20）
グループ 6	水 3・金 4	1 年文一・二（9,18,20,23）， 文三（6,17,19）

クラス編成によって、上記グループが変更される場合がある、教務課前期課程のホームページに変更のお知らせが出ていないかどうか、学期開始前に必ず確認しておくこと。

グループ１　１年 文一二(4,6-7,28)文三(4,16,18)

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31700	月 4	イメージの歴史哲学 ──ホロコーストの表象文化論	田中 純	ドイツ語
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 ナチによる大量虐殺（ホロコースト、ショアー）の現場であるアウシュヴィッツ＝ビルケナウ強制収容所で囚人のひとりが隠し撮りした 4 枚の写真をめぐる、フランスの哲学者・美術史家ジョルジュ・ディディ＝ユベルマンの著書『イメージ、それでもなお』の講読を通じ、ホロコーストという極限的な歴史的事件の表象（不）可能性を問うイメージ論（イメージの歴史哲学）に触れ、哲学とイメージ論（芸術学・美術史）が交錯する表象文化論への導入とする。 4 枚の写真という具体的対象から出発しながら、「イメージ」なるものの根源的性格を問おうとする著者の思考のダイナミズムに果敢に挑戦してもらいたい（ちゃんと道案内はします)。なお、この 4 枚の写真およびディディ＝ユベルマンとの密接な関係のもとに制作された絵画作品《ビルケナウ》を中心とする、ドイツの画家ゲルハルト・リヒターの大規模な展覧会が 6〜10 月に東京国立近代美術館で開催されるため、その作品分析も授業内容に組み込む予定である。 【学術分野】表象文化論（哲学・美術史） 【授業形態】文献批評型（《ビルケナウ》の鑑賞というフィールドワークを含む）		
31701	月 4	近世日本と世界－－「国境」を越えた人々	渡辺 美季	歴史学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】史料および関連する文献（先行研究）の分析に基づいて立論するという歴史学の手法を、初歩的なレベルで身に付ける。具体的には、重要史料の抜粋に解説を付した『世界史史料集』（岩波書店）12「近世日本と世界」に収録された史料（特に日本の「国境」を越えた人々に関わる史料）の中から、各自が興味・関心を持つものを選び、それに関する先行研究を読みつつ興味・関心を発展させ、報告および小論文の形でまとめ、発信する手法を学ぶ。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型、文献批評型		

31702	月 4	上田秋成『雨月物語』を読む	高山 大毅	国文・漢文学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 『雨月物語』という作品の名称はどこかで聞いたことがあるのではないでしょうか。『雨月物語』は、江戸時代中期の学者である上田秋成の書いた、いわば「怪談小説集」です。広い意味での「古文」に含まれる文章で書かれていますが、高校の古典の知識があれば、注を頼りにして読むことは難しくありません（受験勉強で鍛えられた皆さんにとっては、むしろ「易しい」といっても良いでしょうし、現代語訳もあります）。九篇の物語のうちには、恋の妄念の話もあれば、友情や政治にまつわる話もあり、誰でも一篇は「面白い」と思える物語があるのではないかと思います。このように『雨月物語』は現代の読者にも「読み物」としてとっつきやすい一方で、作品自体は、日本・中国の様々な典籍の知識が融合することで展開した江戸時代の学問・文学の世界に深く根差しています。『雨月物語』は、間口が広く、かつ奥行きが深い傑作であるといえるでしょう。 授業では、『雨月物語』各編の解釈について報告してもらい、それを土台にして、どのような「読み」が可能で、そして妥当なのかについて議論していきます。報告準備の過程で、重厚な『雨月物語』研究の蓄積の一端に触れることになるでしょうが、先ずは古典作品を楽しく熟読玩味することに重きを置いています。報告と議論を通じて、「読む」という一見単純な営為の複雑さに自覚的になってもらうことを目標としています。 【学術分野】国文・漢文学 【授業形態】文献批評型		

31703	月 4	民族・宗教と紛争	鶴見 太郎	国際関係
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回目の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 今日の国際関係を占ううえで、民族や宗教にまつわる紛争の制御が依然として重要な課題であることは、昨今の難民問題やテロ事件に言及するまでもなく明らかである。 しかし、とりわけ国際関係を久しく賑わせてきたこうした紛争が、いかなるメカニズムによって発生し、いかに制御・解消できるのかについては、いまだ十分に解明されていない。そもそも論者によって各紛争の捉え方は大きく異なることが常であり、何が客観的で正しい捉え方であるのか判断に窮することも多い。その一因は、民族や宗教がすぐれて主観的な営みであることにある。この授業では、日本国内のものを含む世界の様々な事例を受講生が取り上げながら、人間社会の主要課題の一つである民族・宗教紛争の捉え方を学ぶ。そのことを通じて、人文・社会科学固有の対象である、曖昧さや両義性、主観と客観の不分明さがつきまとう事象への様々なアプローチ方法を体得することを目標とする。 【学術分野】国際関係、社会学 【授業形態】ディシプリン型		

31704	月 4	「自然」と「人間」をめぐる東西の環境倫理思想	田中 有紀	東洋文化研究所

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
近代以降、西洋社会では飛躍的に技術が進歩すると同時に、様々な問題が生じますが、環境問題もそのひとつです。自然環境保護が重視される現在、東洋的な「自然」と「人間」の関係が注目を浴びるようになりました。環境倫理学の分野では、西洋社会が解決できなかった様々な問題の答えを、儒教・仏教・道教の思想の中に見出そうとする傾向が見られます。ただし、前近代の東洋の社会においては「環境」あるいは「環境倫理学」という概念は見られません。それでは何故改めて東洋に注目するのでしょうか。古くから発達した文明を有する中国は、常に「開発」に向き合ってきたと言えます。また、たとえば儒教は、天の祭祀や、山や川をまつるための祭祀を細かく規定します。祭祀のあり方を儒者が議論する際、「自然」とはどのような存在であり、どのように「人間」が向き合うべきかという問いを避けることはできません。この授業では、まず西洋における環境倫理学の歴史を俯瞰した上で、科学・技術の歴史もふまえながら、西洋そして東洋において「自然」や「人間」という概念が、どのように論じられてきたのかを確認し、これからの私たちに必要な環境倫理とはどのようなものかを考えたいと思います。
【学術分野】哲学・科学史
【授業形態】文献批評型

31730	水 4	北一輝『国体論及び純正社会主義』（1906 年）を読んで調べて議論して書く。	岡本 拓司	哲学・科学史

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
北一輝『国体論及び純正社会主義』（1906 年）を読み、よくわからない事項については自分で調べ、さらに演習の時間中にほかの人々と議論し、最終的に関連する課題を発見してそれについてレポートを書けるようになることを目指す。文章は難しく、書かれている内容には承服しがたい点も多いが、主張やその背景について調査や考察を深めることにより、人文社会科学のみならず自然科学についても多様な知識を得ることができる。将来どのような学問分野に進んでも、この本一冊を読み終えた経験は、重要な礎となるものと期待できる。
【学術分野】哲学・科学史
【授業形態】文献批評型

31731	水 4	地図から社会を考える	田中 雅大	人文地理学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
情報通信技術（ICT）と地理情報技術（GPS など）の発達・普及に伴い、多種多様なものの地理的位置を特定し、地図で表現することが重要視されるようになった。一方、物事を「地図で見えるようにする」ことには様々な社会的・倫理的問題がある。また、誰もが「地図による可視化」の恩恵にあずかれるとは限らない。
この授業では、地理学・地図学・地理情報科学の立場から、世の中に存在する様々な地図（新聞、雑誌、テレビ、ウェブサイトなどで目にする地図）について批判的に思考し、「地図で見せる」ことの社会的・倫理的含意について考える。具体的には、担当教員による地図批評に関する講義、受講生による研究テーマの設定、先行研究のレビュー、地図批評の実践（必要に応じてフィールドワークを実施)、それらの結果に関する報告と討論を行う。最終的にそれらを踏まえて小論文を作成してもらう。
【学術分野】人文地理学
【授業形態】ディシプリン型・フィールド型

31732	水 4	法からみる世界と日本	北村 朋史	法・政治

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
日本は、安全保障、領土問題、戦後補償、通商紛争、難民問題等、様々な国際的課題に直面している。こうした課題について検討する視点もまた様々あるが、この授業では、法的な観点からこれら課題について考察する。こうした作業を通じて、学問的な「問い」の立て方やそれへの取り組み方、また報告や論文執筆の方法を学ぶ。リサーチと報告は、3〜4 名程度のグループで行う。小論文は、各受講生がさらにリサーチを進め、個人で執筆する。
【学術分野】法・政治
【授業形態】ディシプリン型 文献批評型

31733	水 4	指標から社会を見る	岡田 晃枝	教養教育高度化機構

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
国民がどれくらい幸せなのかを示す幸福度、国内社会がどのくらい民主的なのかを示す民主化度、国民がどのくらい自分の将来を自由に選択できる社会かを示す人間開発指数等、社会の質的側面を表す指標に注目する。それらの指標がどのような要素から構成されているかを知り、同程度の国家間の制度や社会状況を比較するなど、学術的な議論ができるようになることを目指す。
【学術分野】法・政治
【授業形態】ディシプリン型、フィールド型

31741	水 4	感情制御の脳科学－レビュー論文を執筆する－	小澤 幸世	教養教育高度化機構

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
本授業では、感情や感情制御の脳科学的メカニズムの基礎知識を学び、自ら「問い」（テーマ）を見出して設定する。研究史の中で、どのようにその問いが検討されてきたか、文献レビューを行い、小論文にまとめる。
目標①感情や感情制御の脳科学的メカニズムや脳活動の計測方法に関する基礎知識を理解する。
目標②「問い」（テーマ）を設定し、脳科学の論文の文献レビューからその問いを明らかにし、レビュー論文を執筆する。
課題の発見：自分なりの問い（テーマ）を見出す。文献レビュー：脳科学の研究史の中でその問いがどのような方法で検討され、どのような知見が見出されてきたか、先行研究のレビューを行う（主に英語論文）。考察：先行研究の研究動向をメタ的に把握し、残された課題や将来期待される研究などを議論する。発表：研究成果をまとめて、他者に論理的に説明する。論文の作成：研究成果を論文にまとめる。
目標③ グループで学び合う。
研究の進め方や方法についてアイデアを出し合う。コミュニケーション能力を身に着ける。
【学術分野】心理・教育学
【授業形態】ディシプリン型 文献批評型

グループ２　１年 文一二(10,19,26-27)文三(7,9,13)

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31705	火 1	ライフヒストリーから学ぶ植民地朝鮮	外村 大	歴史学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
1910〜1945 年、日本の植民地支配下にあった朝鮮半島、朝鮮民族、そこで暮らした日本人の歴史について学ぶ。その際、個人の伝記や回想、聞取りからの証言など、ライフヒストリーの史料を用いる。それをもとに、植民地支配が人びとにどのような影響を与えたのか、そこでの社会活動、人びとの生活、意識がどのようなものであったかを把握し、議論していく。
その際、関連するほかの史料を参照して、書かれていることの正確性や書かれていない事実、そのことの意味などについても把握してく。そうした作業を通じて、歴史学の初歩的な手法を習得する。
【学術分野】歴史学
【授業形態】ディシプリン型

31706	火 1	スピノザ『エチカ』研究	國分 功一郎	哲学・科学史

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
17 世紀の哲学者スピノザの主著『エチカ』を、いくつかのテーマを通じて読んでいく。『エチカ』は難解な哲学書として知られている。実際、何の準備もなく冒頭から読み始めるならば、最後まで読み通すのはなかなか難しいであろう。そこでこのゼミではテーマごとに対応する箇所を取り上げた独自の読解プログラムを作り、それに基づいて『エチカ』の全体像に近づくことを試みる。身体、精神、意志、意識、善悪、原因、目的、徳などのテーマが取り上げられる予定である。最終的には、アントニオ・R・ダマシオによる脳神経科学へのスピノザ哲学の応用にまで話を進めたい。現代の哲学としてスピノザ哲学を経験することがこのゼミの最終的な目標である。
【学術分野】哲学・科学史
【授業形態】文献批評型

31707	火 1	心理実験初級	四本 裕子	心理・教育学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
「心理学」と聞いて、何をイメージしますか？
心理学という学問の中には、臨床心理学、教育心理学、認知心理学、感情心理学、学習心理学、生理心理学、などなど、多くのカテゴリーに分かれています。そして、それら全ての分野において、科学的手法を用いた研究が行われています。
担当教員は、感覚知覚に関する脳情報処理を専門としており、脳機能計測や行動実験により研究を行っています。
この初年次ゼミナールでは、身近なテーマに対して仮説を立て、実験を計画して実施し、結果を解析して報告する心理実験の一連の流れを経験しながら学びます。
日々の暮らしの中で不思議に思っていることを、いかに科学的な実験手法に落とし込んでいくか、楽しみながら学べるようなゼミにしたいと思っています。
【学術分野】心理・教育学
【授業形態】ディシプリン型

31708	火 1	東アジアの歴史問題に関する歴史学的検証	川島 真	国際関係

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
担当者は、教養学部で国際関係史を教えています。専門は、アジア政治外交史、特に中国や台湾に外交の歴史、国際関係の歴史です。ディシプリンは歴史学、外交史学になります。また、昨今は中国や台湾の現状分析もしており、こちらの面ではディシプリンは地域研究だとも言えます。このほか、皆さんとの関係で言えば、高等学校用の世界史 B（東京書籍）の執筆者でもありました。この 4 月から始まる歴史総合（東京書籍）の執筆者でもあります。
この初年次ゼミナールの授業では、高校を卒業したばかりの学生諸君に何かしらのディシプリンを体験してもらいながら、「学問」に触れてもらうということを目標としています。自ら「問い」を立てて、最終的に小論文を書くわけです。こうしたことに鑑みますと、地域研究は現地での調査はできませんし、難しいと判断し、やはり歴史学、外交史学で授業ができればと考えました。歴史学は、史料に依拠しながら問いをたて、その史料に依拠して立論していく学問です。ですので、「歴史の物知り」、「歴史クイズを極める」ことが目的ではなくて、史料に基づいて実証していくという方法論に触れるということが目標になります。また、その対象についてなんでも受け入れるということもできませんので、ここでは特に昨今東アジアにおいて問題となっている歴史問題について取り上げたいと思います。歴史をめぐる問題というのは色々ありますが、南京虐殺問題、慰安婦問題、「強制」労働問題、遺棄化学兵器問題などをはじめとして数多くあります。
歴史をめぐる問題をどのように「解決」するのかということは難しいですし、何が解決かということも多様です。ただ、⑴その事件がどのように生じたのか、⑵その問題がどのように形成されて行ったのか、ということをある程度史料に基づいて歴史学的に検証することは可能です。前者は、例えば南京虐殺事件なら、その事件がいつどのように生じたもので、実際にどのようなことがあったと考えられるか、ということを史料に基づいて検証し、その上で歴史をめぐる問題においてそれがどのように議論されているのかを考察するということができるでしょう。また、後者であれば、その南京で生じた事件が、戦中・戦後に大きな問題として認識され、外交問題にまでどのように発展して行ったのか、それについてどのような交渉があったのかということを検証、考察することができるでしょう。
個々の参加者は、これらの問題について問いをたて、アジア歴史資料センターの資料や図書館の資料などを参考にしながら「実証」の訓練をし、また可能な範囲で先行研究を批判的に検討して、オリジナリティを出すことを目指します。また、議論をする際に、どのように議論することが求められているのかということを知るのも大切なことと思います。そして、学期末に小論文をまとめてもらいます。
授業には大学院生の TA が参加して、皆さんの相談に応じるでしょうし、教員も授業時間、またそれ以外の時間などに面談をすることも可能です。歴史学とは何か、歴史をめぐる問題とはどのような問題か、言説と事実との関係はどのようになっているのか、といったことに関心のある学生を歓迎します。
【学術分野】国際関係
【授業形態】ディシプリン型 フィールド型 文献批評型

31709	火 1	感情の心理学－レビュー論文を執筆する－	小澤 幸世	教養教育高度化機構

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
本授業では、人の感情に関する諸側面の基礎知識を理解し、自ら「問い」（テーマ）を見出して設定する。研究史の中で、どのようにその問いが検討されてきたか、文献レビューを行い、小論文にまとめる。
目標① 感情の心理学に関する基礎知識を理解する。
目標②「問い」（テーマ）を設定し、心理学の論文の文献レビューからその問いを明らかにし、レビュー論文を執筆する。
課題の発見：自分なりの問い（テーマ）を見出す。文献レビュー：心理学の研究史の中でその問いがどのような方法で検討され、どのような知見が見出されてきたか、先行研究のレビューを行う（英語論文を含む）。考察：先行研究の研究動向をメタ的に把握し、残された課題や将来期待される研究などを議論する。発表：研究成果をまとめて、他者に論理的に説明する。論文の作成：研究成果を論文にまとめる。
目標③ グループで学び合う。
研究の進め方や方法についてアイデアを出し合う。コミュニケーション能力を身に着ける。
【学術分野】心理・教育学
【授業形態】ディシプリン型 文献批評型

31734	木 2	読むことを学ぶ ——文学理論の歴史をたどって	村上 克尚	国文・漢文学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 このゼミナールでは、「読む」とはどういう営みなのかを考えます。今後、皆さんがどのような専門に進むとしても、研究の中心には、テクスト、あるいは現実や他者そのものを「読む」という営みが存在することと思います。そして、文学研究以上に、「読む」という営みについて自己反省を続けてきた研究領域はちょっと見当たりません。教科書として、ピーター・バリーの『文学理論講義』を用いて、文学理論の歴史をたどりつつ、それらを私たちはどのように自分の専門領域に活かしていけるのか、自由に議論したいと思います。 【学術分野】国文・漢文学 【授業形態】文献批評型		

31735	木 2	あるく・みる・きく —身の周りに刻まれた歴史について考える—	塚原 伸治	歴史学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、それぞれの受講者の身近な場所（家、大学、バイト先のまわりなど）で気になる事がらを取り上げ、調査・分析をおこなうというもっともシンプルな形のフィールドワークを体験する。特に今年度のテーマとして歴史を取り上げる。 担当者が専門とする民俗学は、「あるく・みる・きく」、すなわち、自らの身体と五感を使ってさまざまな土地に暮らす人びとの生活を理解しようとする方法を、学問の中に位置づけようとしてきた。本ゼミナールでは、過去に民俗学者や隣接分野の研究者たちが実践してきた「あるく・みる・きく」を補助線として紹介しながら、各自が問いに取り組み、何かしらの発見をそこから導くことをサポートする。 最終レポートに向けては、以下の 4 つを求めたい。①対象の具体性にこだわり、詳細に調べ記述すること。②それをより一般的・普遍的な文脈にそって解釈するために、先行研究と対話をすること。③「紙に書かれた文字」以外の情報を素材（の一部）として活用すること。④対象について自身が愛着を持つこと。 なお、フィールドワークでは直接人に会って話を聞く（聞き書き)、人びとの生活の中に入っていって参加させてもらう（参与観察)、などの方法を中心に置くことが多いが、新型コロナウィルス感染症との兼ね合いもあるため、「あるく」「みる」を中心においたアプローチも大歓迎である。 【学術分野】民俗学／歴史学／文化人類学 【授業形態】フィールド型		

31736	木 2	近代日本政治史・外交史研究入門	酒井 哲哉	国際関係
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 近代日本の政治史・外交史を社会科学的手法で読み解くための入門授業。基本文献の読み方、報告や討論の仕方、自由方向のテーマ設定、小論文の作成方法について学習する。自由報告の内容は各自の選択にゆだねるが、担当者の専門領域に近い国際関係・政治学・歴史学・近現代日本研究などが、とりあえずは念頭に置かれている。 【学術分野】国際関係 【授業形態】ディシプリン型、フィールド型、文献批評型		

31737	木 2	ディレンマとつきあう平和構築	中村 長史	教養教育高度化機構

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
武力のせいで平和がこわれることもある一方で、武力によって平和がつくられることもある。このすっきりとは割り切れないディレンマこそ、戦争と平和の学問として出発した国際政治学が抱え続けてきた最も大きな難問の一つといってよいだろう。そして、このようなディレンマは、国際政治の至るところにみつけることができる。
この授業では、国際政治学の一分野である広義の「平和構築」に焦点を当て、そこにみられるディレンマの分析を通して、国際政治の構造自体を理解することを目指す。具体的には、平和な状態の回復を目指す政策（人道的介入、対テロ武力行使、人道支援、仲介など)、維持を目指す政策（平和維持活動など)、定着を目指す政策（狭義の平和構築活動＝国家建設、国際刑事裁判、和解など）を扱う。
履修者が学期末に到達することを期待される目標は、以下の 6 点である。
①平和構築に関する専門的な文献の意義や問題点を指摘することができる（課題文献の輪読で訓練⇒小論文に活かす)
②平和構築に関する資料や文献を自ら適切に収集することができる（課題文献の輪読で訓練⇒小論文に活かす)
③懐疑的な読者の存在を常に意識して、予想される反論にあらかじめ応答することができる（簡易ディベートで訓練⇒小論文に活かす)
④平和構築のあらゆる段階に存在するディレンマについて、何が問題かを事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす)。
⑤平和構築のあらゆる段階に存在するディレンマについて、それが生じる原因を事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす)。
⑥平和構築のあらゆる段階に存在するディレンマについて、それを管理したり解決したりする方法を事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす)。
【学術分野】国際関係
【授業形態】ディシプリン型

31752	木 2	日本語の「常識」を問い直す	矢田 勉	国文・漢文学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
学術研究に第一に求められるものは「客観性」である。しかし、人間の思惟以前の存在を研究対象とする自然科学など以上に、人間の主観性とその産物を研究対象とする人文科学では、何によって客観性が担保されるのかが際どい問題として立ち起こってくる。ともすれば、単に広く人口に膾炙していること、何となく皆がそうだと信じ込んでいることが、客観性の根拠と誤解されることも多い。一方で、正しい科学的手続きの結果として明らかにされてきたことまでも無闇に疑うことは、研究の停滞を招くどころか、時としては思惟を「疑似科学」へと導きかねない原因にもなる。正しい研究の第一歩は、既存の知識がそのいずれに属するのかを正しく峻別する力である。
「日本語」という対象は、日本語母語話者にとっては水や空気と同等のものであり、そのために、ただ何となくそのように信じられている、という事象も多い。科学的な論証手続きが求められる「日本語学」と、場合によっては主観的な物言いが許されている「日本語論」との境界線が分かりづらいこともある。日本語について考え直すことは、そうした、研究に関する基礎的スキルを身につけるのに恰好の訓練である。受講者には、それぞれ担当する日本語に関わる既存知識を再検討する中で、（日本語という）日常不断に接する対象に対する捉え返し、先行言説の批判的再検討、新たな着眼点の発掘、研究成果を簡潔に分かりやすく伝える技法、といった諸能力の涵養も求められる。
これらは、今後、いずれの研究分野に進むに当たっても必要な、「基礎体力」となるであろう。
【学術分野】国文・漢文学
【授業形態】文献批評型

グループ３　１年 文一二(8,12,14,17)文三(10,12,14)

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31711	火 3	九鬼周造『偶然性の問題』を読む	星野 太	哲学・科学史
授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、九鬼周造の『偶然性の問題』(1935）をテクストとして、哲学書の読み方を学ぶ。本ゼミナールでは哲学書を一種の「山」に見立て、その「山登り」のための道具やノウハウを能うかぎり伝えることを試みたい。そのため、授業の序盤にあたる第 3 回から第 5 回にかけては、教員および TA がこの「山」に接近するための具体的な方策をなるべく丁寧に示したいと思う。 第 6 回目からは、各章ごとに担当者を決めて『偶然性の問題』を精読する。参加者には割り当てられた課題の遂行と、授業中の発表・討議への積極的な参加が求められる。以上を通じて学術的な調査方法の基礎を身につけることが、本授業の最大の目的である。 【学術分野】哲学・科学史 【授業形態】文献批評型		
31712	火 3	東京はどのように変化してきたのか	梶田 真	人文地理学
授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標】 （1）設定した問題に即して，必要な検討材料を自ら探し出し，分析していく能力を身につける，（2）第三者に対して説得的な形で自分の主張を報告し，文章化する能力を身につける． 【学術分野】人文地理学 【授業形態】フィールド型		

31713	火 3	「グローバル化」における「不平等」と「貧困」を考える グローバル化が進行する中，ビッグ・データ分析，AI 技術，遺伝子工学の急速な発展によって，今世紀の社会は大きな変貌が予想される。その中で，日本そして発展途上国はどのような問題に直面するのか，そして，それらはどのようにすれば解決できるのであろうか。「不平等」と「貧困」にかかわる問題を中心に議論したい。	中西 徹	経済・統計
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 「グロバール化」が進む中，ピケティやハラリが指摘したように，地球規模での「不平等」と「貧困」の問題が深刻化しつつある。この授業では，この問題を様々な観点から考察したい。 【学術分野】経済・統計 【授業形態】ディシプリン型		

31714	火 3	SDGs について考える	岡田 晃枝	教養教育高度化機構
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、国際社会が直面している地球規模問題群のうち、国連の「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に指定されたものについて、現状やこれまで（SDGs 制定以前含む）の国際的取組、その思想的背景など多角的に検討し、各自がこれらの問題に対するさまざまなアクターの取組について「問題」を設定して「検証」を行い、それを論文にまとめる。国際関係論や国際機構論、開発に関する学術論文だけでなく、国際機関の文書や報告書、資料の探し方や使い方についても学ぶことになる。 【学術分野】法・政治 【授業形態】ディシプリン型、フィールド型		

31716	火 3	駒場の歴史を歩く	田中 創	歴史学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 駒場キャンパス内外にある歴史的モニュメントや遺構をきっかけとして、東京大学駒場キャンパスとその前身である旧制第一高等学校の歴史および渋谷・目黒・世田谷といった周辺地域の歴史を調べる。最終レポートでは、単に細かな地域史の調査で終わるのではなく、日本や世界の歴史のなかに駒場および周辺地域の歴史を位置づけることを目指す。 授業内の報告発表の準備を通じて、過去の研究文献を探し出し、自分なりの関心・問題を設定するための基礎的な方法を身につける。また、レジュメとパワーポイントを使った口頭発表を通じて、自分の意見の伝え方を訓練するほか、参考文献・脚注を伴う最終レポートの作成を通じて、学術論文の基本的な要素・作法を学ぶことを目指す。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型		

31738	木 3	フィールドワークに触れる	浜田 明範	文化人類学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
文化人類学は、数年に渡るフィールドワークに基づいて人びとの生活について学び、その学びをもって自らの生の基盤を問い直し、これまでにない思考のあり方を導いていく学問分野です。
20 世紀に実施された文化人類学の重要な研究の多くは、アフリカ、オセアニア、ラテンアメリカ、アジアといった非西洋において行われてきました。そこで重視されてきたのは、言語も常識も異なる人びとの生のあり方を、可能な限り臆見を廃して記述・分析・説明するための方法の洗練でした。近年は、この方法をより自覚的に応用することにより、ヨーロッパや北アメリカ、それに日本国内の様々な現場（医療施設、科学実験室、企業 etc.）を対象とする研究も増えてきています。また、例えば医療やアートの現場でも、文化人類学的なフィールドワークという方法への注目が高まってきています。
文化人類学のフィールドワークが数年を費やすものである以上、この授業を履修しただけでフィールドワークのやり方をマスターすることはできません。しかし、その一端に触れておくことは、文化人類学という学問分野の枠を超えた重要な意義を持っています。
そこで、この授業では、（1）各自が自身の経験や身の回りのことがらからテーマを見つけ、（2）関連する文献と結びつけて思考した上で、（3）それまでとは異なる新しい気づきを文章の形で説明するというプロセスを経ることによって、文化人類学におけるフィールドワークという方法の一端を実際に体験してみることを目的とします。
なお、この授業ではグループワークや教室外での作業を部分的に取り入れながら行いますが、本格的なフィールドワークの実施を受講生に求めることはありません。
【学術分野】文化人類学
【授業形態】フィールド型

31739	木 3		河合 玲一郎	経済・統計

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
経済、経営、金融、保険といった社会科学分野において、非確定的な現象を整合的に理解するため、たびたび確率統計モデルが用いられる。この授業では、講義・輪読・演習問題を通して確率統計の基礎事項を学び、数値実験・プレゼンテーションを通して特定の結論を導く技能を身に着けることを目指す。
【学術分野】経済・統計
【授業形態】ディシプリン型

31740	木 3		坂井 晃介	社会・社会思想史

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
歴史社会学における「問い」や「理論」の意義、資料・データの扱い方をはじめとした研究方法について学ぶ。社会学の特性のひとつは、分析者もまた「社会」の一員であるという自己言及性にある。歴史社会学は、「革命」「ナショナリズム」「民主化」「福祉国家」「家族」といった近代社会の成立と関わる歴史事象の分析を通じて、そうした自己言及性の「起源」（すなわち「社会」という想像力の形成プロセス）そのものを個別具体的な事象から対象化するアプローチである。本授業では、こうした歴史社会学の代表的テキストを批判的に読解し、多様で豊穣な歴史研究の中で社会学的アプローチが有する固有の意義などについて討論する。その上で、自身の研究プロジェクトを設定し、小論文を執筆する。
【学術分野】社会・社会思想史 歴史学
【授業形態】ディシプリン型 文献批評型

31742	木 3	丸山眞男を読む	酒井 智大	法学部

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
丸山眞男という人物は、東京大学法学部で「日本政治思想史」を担当した教員としてよりも、所謂「戦後知識人」、或いは戦後民主主義の旗手として、その名を知られている（いた？）観がある。しかしこの授業では、そうした先入見からは自由に、彼が自らの本業である日本政治思想史の分野で著した論文を精読し、その思考の筋道を追跡してゆくことを目的とする（八十年前の論文ともなると、そこには今日もはや従い得ない前提に基づいた論述も含まれ得るから、もとより知識の摂取を目的に読むのではない)。併せて、法学や政治学の視点から前近代の日本を研究することの意味についても、考えたい。
【学術分野】法・政治
【授業形態】文献批評型

グループ４　１年 文一二(1-3,5,11,15-16,22)文三(1-3,11,15)

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31710	火 4	日本史論文の読み方・書き方	桜井 英治	歴史学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
歴史学の方法は主に史料の分析と先行研究の検討の 2 つからなるが、本授業では後者の方法に触れ、その実践力を向上させることを目的とする。具体的には『岩波講座日本歴史』全 22 巻（岩波書店、2013-2016 年）所載の概説的論文のいくつかを読むことを通じて、高校の日本史とは異なる、日本史研究の最新の成果や議論に触れるとともに、あわせて学術論文一般の読み方・書き方を身につける。
【学術分野】歴史学
【授業形態】ディシプリン型 文献批評型

31717	火 4	哲学の古典を読む	山本 芳久	哲学・科学史

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
哲学の古典を原典に即しながら丁寧に読み解いていく力を身につけていくことを目標とします。具体的には、西洋を代表する哲学書の一つであるトマス・アクィナス(1225-1274)の『神学大全』を、日本語訳で講読します。テーマは「感情について」です。一人では読み解きにくい哲学書を読み解くための技法を、みなさんが毎日抱く具体的な「感情」という身近なテーマに即しながら説明していきます。
【学術分野】哲学・科学史
【授業形態】文献批評型

31718	火 4	国際関係の事象ををを理論的・実証的に考えてみる	吉本 郁	国際関係

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
国際社会には、貿易・金融・環境・公衆衛生など、国境を越えた協力を必要とする様々な分野において、多くはフォーマルな国際機構の形態を伴う「国際制度」が存在する。国際関係論（国際政治学）では、このような国際制度への過度な期待や失望からは一旦距離をとって、国際的な協力を難しくする根本的な問題は何か、現実に存在する制度はそれらの問題に対しどのような解決法を提示しているか（あるいはなぜ失敗しているのか）を理論的に考察する。
本ゼミナールでは、初めに実際の研究者によって書かれたアカデミックな論文を読み、国際関係論のディシプリンに則った問いの立て方・理論構築と実証の在り方を理解し、その上で自分自身の研究を行い、論文を書いてもらう。
本ゼミナールの目的は、各自の関心に沿った学術文献を探し、読んで理解するとともに、自分なりの問いを立て、それに答えるためのリサーチ能力も養うことである。
【学術分野】国際関係
【授業形態】ディシプリン型 文献批評型

31719	火 4	日本倫理思想史の古典を読む	長野 邦彦	文学部
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、参加者が日本倫理思想史の古典と向き合い、他の参加者と議論をする中で、自分なりの（自分勝手という意味ではない）「問い」を立て、それにもとづいて自らの論を展開できるようになることを目指す。参加者は、教科書として指定した相良亨編『日本思想史入門 第二版』（ぺりかん社、1986 年）に抄録されている古典テクスト（ただし近代のものを除く）のうち一つを選び、それについて内在的に読むことに注意したうえで、解釈や考察を報告する。この報告をもとにクラス全体で議論を行う。議論の内容を踏まえつつ、また授業中に紹介された先行研究を適宜参照しながら、最終的に小論文をまとめる。 【学術分野】日本倫理思想史 【授業形態】文献批評型		

31748	火 4	日常生活の「当たり前」を再考する	関谷 雄一	文化人類学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 フィールドで要領よく情報収集をし、オリジナリティーにとんだ「発見」を導き出すためには、一定のアカデミックスキルに従って「問い」を組み立て、論理的に「答え」てゆく必要がある。 この授業では、文化人類学というディシプリンにおいて育まれてきた「問い」の立て方を学びながら、自らの生活時間・空間をフィールドに見立て、情報収集を行い、オリジナルで、かつアカデミックに意味のある「問い」を立て、それに対する「答え」を導き出す作業を行ってゆく。 この授業で枢要な部分をなすフィールドワークは、日常生活の中で出会う場、空間、時間を援用しながら行ってみる。毎日乗る通学電車、好きな授業、部活動やサークル、アルバイト先、隣近所、SNS、行きつけのカフェ等が具体的には思い当たる。 こうした身近な生活時間・空間が、ちょっとしたアカデミックスキルや文化人類学的な視座を通して見つめなおすことにより、大きく「化ける」発見こそ、この授業を通して獲得してほしい事柄である。いまのところ、授業時間を使って皆でフィールドに出かけたり、特別な場を設けてフィールドワークをする予定はない。 自らの生活に埋め込まれている思わぬ「発見」は、地道なアカデミックスキルの獲得作業と先行研究分析により、かなり大きな確率で導かれることを理解してもらう。加えて、フィールドワークが、単なる量的な情報収集などではなく、人々との信頼関係や自らのフィールドへの持続的な働きかけにより、質的に大きく変わってゆくダイナミックな作業であることも理解してもらえるよう、個々の学生の継続的かつ積極的な参加を促したい。 【学術分野】文化人類学 【授業形態】ディシプリン型 & フィールド型		

31743	金 1	国語が好きだった人と、嫌いだった人のために	谷口 洋	国文・漢文学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
入学おめでとう。新たな学びに胸ふくらませているときに、もうおさらばしたはずの国語の授業を思い出させるなんて、なんと無粋なと思うだろうが、それは話のきっかけにすぎず、別に国語の授業をするわけではない。
高校には国語という教科があり、大学には文学部というところがある。両者はなんとなく似ているようであり、文学部（あるいは教養学部の関連領域）には、高校で国語が好きだったという理由で進学する人も多いようだ。結構である。ただ、大学まで来て高校と同じことをするのも芸のない話だし、一方で進学してから「思ってたのと違う」というようなことは、できれば避けたい。
国語の授業ではいろいろなことをするが、せっかくだから堅い論説文はやめて、教科書にも載っていそうな文学作品を手始めに読んでみよう。担当者の専門の関係で、漢文になったりするが、内容は皆さんご存じのものだ。それよりも、それについて文学研究者が書いた論文を、連休中に読んでもらう。彼らは、「登場人物の気持ち」なんてまず考えない。その代わり、国語の授業ではあまり考えないようなことが、いろいろ書いてある。論文と感想文はどう違うのか、鑑賞と研究はどうつながるのかといったことを考えるのが、第一の目標である。そして、そこから得た問題について自ら資料を集めて考え―それは既に研究に一歩足を踏み入れたことになる―文章にまとめることが、第二の目標になる。さらに、それを受講者相互で批評することを行いたい。教員に教えられるのでなく、自ら学ぶこと、相互に学び合うことを、態度として身につけてほしいと願うからで、それが第三の、究極の目標である。
【学術分野】国文・漢文学
【授業形態】ディシプリン型と文献批評型の折衷。学生各自のテーマの立て方によって、一つのテキストにがっつり取り組むことも、ひろく文学、言語、国語教育などの諸問題に重点を置いて考えることも可能である。

31744	金 1	古典をいかに読むのか ―井筒俊彦の読み方を手がかりに	三村 太郎	哲学・科学史

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
大学での学習では、文献を批判的に読み解いたうえで問いを立てることがたえず求められる。とはいえ、文献の批判的な読解はみなさんにとってなじみのないものかもしれない。そこで本授業では、様々な文明圏において残されてきた古典を精密に読み解いてきた先人たちの読み方を学ぶことで、文献の批判的な読解の手がかりを得ることを目指す。具体的には、稀代の古典の読み手である井筒俊彦がイスラームの聖典『クルアーン』を精密に読み解いた『クルアーンにおける神と人間』を読みたい。
【学術分野】哲学・科学史
【授業形態】文献批評型

31745	金 1	本（テクスト）を読む、とは何をすることなのか —E.H.カー『危機の二十年』・『歴史とは何か』を題材に—	馬路 智仁	社会・社会思想史

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
人文・社会科学を学ぶ上で最も基本的かつ重要な作業は、本や論文を読むということです。では本を読む、とは一体何をすることなのでしょうか。単に自身にとって利用価値の高い情報を入手することなのでしょうか。自身の人生にとっての教訓を見つけることなのでしょうか。あるいは筆者の主張を発見し、それを記憶することなのでしょうか。この授業では、本（テクスト）を読むという根本的作業の意味を検討します。具体的には、テクストを文脈（コンテクスト）の中に位置づけ、そのコンテクストの中でテクストの発話的意図や意味を読解するという作業の訓練を行います。また、テクストが初発のコンテクストを離れて別のコンテクストに置き換えられたとき、そのテクストがいかなる新たな意味を帯びるのかについて考えます。総じて、本を読むという作業は、多元的に織り成されるコンテクストの中でテクストを創造的に読解することであるという姿勢を身に着けることを目標とします。
本授業では、以上のようなテクストとコンテクストが形成する螺旋的連関を、20 世紀における最も著名な歴史学者の一人であり、草創期国際関係論を担った人物でもある E.H.カーの『危機の二十年』（原著 1939 年）と『歴史とは何か』（同 1961 年）を通じて学びます。今日まで読み継がれている『危機の二十年』と『歴史とは何か』ですが、もともとはどのような政治的・文化的・言語論的コンテクストの中で書かれたのでしょうか。カーは誰に向かって、あるいはいかなる現象を念頭に執筆し、語っていたのでしょうか。そして、それらはどのように読まれたのでしょうか。その読まれ方は、カー自身が込めた意味や意図を正しく反映したのでしょうか、あるいはどのように違っていたのでしょうか。読まれ方、解釈のされ方が読者や時代によって異なっているとしたら、それはなぜなのでしょうか。なぜ、著者自身の意図と異なった読まれ方が許容されるのでしょうか。このような疑問を導きの糸として、『危機の二十年』と『歴史とは何か』を読解していきます。なおこれら 2 冊は、今後大学で学ぶ中で幾度もその名前や中身に出くわすことになると思います。その意味で、人文・社会科学的教養の一つでもあります。
本授業は、主に歴史や政治・社会思想史、国際関係論に関心のある学生を念頭に置いています。ただし限定はしません。

【学術分野】社会・社会思想史、国際関係
【授業形態】文献批評型

31746	金 1		高見 典和	経済・統計

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
マーティン・ウルフやダイアン・コイルのような著名な経済ジャーナリストの英文記事を読解し，議論します。英文読解の技術および内容の解説をおこない，現在の世界の政治経済をどのようにとらえるべきかを考えます。
【学術分野】法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係
【授業形態】文献批評型

31747	金 1	紛争と介入をめぐる諸問題	岡田 晃枝	教養教育高度化機構

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
現代の国際社会が直面するさまざまな問題のうち、紛争と介入をめぐる諸議論をとり上げ、文献を読み、批判的に検討しながら、学術的な論文の書き方と議論のあり方を学ぶ。主観的・直感的に「正邪」を議論するのではなく、事実関係を整理し、既存の議論をふまえた上で、「自分の」議論を説得的に展開できるようになることがこの授業の目標である。
【学術分野】法・政治
【授業形態】ディシプリン型

グループ５　１年 文一二(13,21,24-25)文三(5,8,20)

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31720	水 2	デジタル版『渋沢栄一伝記資料』で歴史学の扉を開いてみる	山口 輝臣	歴史学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
2024 年から 1 万円札の顔となることもあって、渋沢栄一がちょっとしたブームになっているようだ。渋沢について語るべきことは数多くあるが、歴史学の研究という点でいうと、その生涯に関わる史料の重要部分がデジタル化されている稀有な存在であることを、まず挙げねばなるまい。
この授業の目標は、そのデジタル版『渋沢栄一伝記資料』を活用することにより、歴史学の作法を体験することにある。それにより、本を読んでお勉強する歴史から、史料を読んで考える歴史学の扉を開こうという試みである。
具体的には、デジタル版『渋沢栄一伝記資料』に触れることからはじめ、ほかの史料なども照合していくことで、受講生がそれぞれの研究課題を導く。次いで先行研究を探索して参考にしながら自らの議論を構築し、報告する。さらにその際に受けた批評に応えつつ、小論文へとまとめる。
『渋沢栄一伝記資料』を取り上げるのは、オンライン授業に転換したり、あるいは図書館等の利用制限などがかかった場合の影響が比較的少ないことに加え、なんといっても、渋沢栄一という人物の多面性によるところが大きい。実業家として知られる渋沢だが、慈善活動などを通じて、経済以外のさまざまな領域にも関わった。官僚の経験もあり、論語に一家言あるなど、多彩な人物である。そうした人物が残した史料とあなたの関心事がどう歴史研究と切り結ぶのか、この授業で実践してみようではありませんか。
【学術分野】歴史学
【授業形態】ディシプリン型

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31721	水 2	〈旅〉をめぐる学問的射程 ――あなたの出発のために	今橋 映子	フランス語・イタリア語

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
本授業は、学術的活動の第一歩としての個人発表、討議を経て、最終論文を仕上げることを目的とする。
そのために掲げる共通テーマは〈旅〉である。本授業はあえて、狭い学問分野のディシプリン（学術的訓練）の第一歩を授けることを目的としない。その代わり、ある共通テーマから各人がいかに、自分の将来進みたいと希望する分野に近い個別の研究テーマを導き出し、それについての先行研究を探索調査して読み込み、そこからいかに自分の「論」を立て、わずかな一歩でも先行研究に新たな知見を加える「論文」をかけるかーーそのすべての営みを体験する。その途中で、小論文を仕上げる手前の段階として、（論文内容についての）個別発表を行い、互いに学術的批評と議論を行い、それを自分の論文制作の糧とする。
〈旅〉から導き出される学術研究の参考具体例としては、「夏目漱石の満洲旅行の意味」「地方観光行政と外国人旅行者」「昭和時代における四国巡礼」「大航海時代の船旅」「テレビ旅番組の功罪」「藤田嗣治のメキシコ滞在と壁画制作の関連」「パリ表象と異文化理」「自転車で旅すること」「観光都市長崎の課題」「草津温泉とスポーツツーリズム」「インナートリップとは何か」ーーなど（以上、あくまでも例示)、実際には各自の関心に応じて、実の幅広い分野や地域、時代などを扱うことができるだろう。
本授業の参加希望者には、上記の様な具体的テーマがすでに決まっていることを条件としない。むしろ多くの仲間と語り合い、学術的思考方法を積極的に学ぶ中から、何かの探究していこうとする意欲ある参加者を期待する。
【学術分野】文学、比較文化論、芸術論、社会学、社会史、歴史文化論など。
【授業形態】ディシプリン型

31722	水 2	伝統の現在について考える	沖本 幸子	国文・漢文学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
「伝統文化」というと、「古くさいもの」「昔からずっとこのままにあるもの」と思う人も多いでしょう。しかし、どんな「伝統」も、「昔のまま」ではありません。そして、はじまりは、流行の最先端。それが、さまざまな偶然、必然、さまざまな人々の努力により、何百年もの時を超えて生きてきたのです。
日本の場合、最近の大きな変化は、近代にありました。
西洋文化が一気に流入し、人々の価値観を激変させることが求められたからです。たとえば、歌舞伎は江戸文化の象徴として目の敵にされましたが、西洋のオペラを目指し、三倍もの集客数を誇り、「近代化」した大きな劇場を作り、それに合わせた演出を行うなどして、生き残りをはかりました。日本全国で愛好されながら、卑猥、低俗な習慣として、盛んに禁止令が出された盆踊りは、清く正しく美しい伝統であることを標榜するなどして、各地で生き残りが試みられました。茶道は、主要な担い手を男性から女性へと変化させながら拡がっていきました。
本講義では、みなさんそれぞれに関心のある伝統文化ーたとえば、能や歌舞伎と言った舞台芸術、茶道、華道などの伝統芸能、盆踊りや祭りなどの地域の芸能など、なにか一つを選んで、そうした伝統の近現代における「変化」を見つめていきたいと思います。
みんさんそれぞれの「変化」を寄せ集める中で、私たちがどこから来て、どういう「今」を生きているか見つめ直すことも大きな目標です。

【学術分野】 歴史学 国文・漢文学
【授業形態】ディシプリン型 フィールド型 文献批評型

31723	水 2	障害と社会的マイノリティを考える	石原 孝二	哲学・科学史

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
障害(disability)と社会的マイノリティについて哲学的に考えることを目標とする。哲学的に考えるということは、必ずしも哲学者の文献に依拠して考えるということを意味するのではなく、根拠にもとづきながら根本的に考えるということを意味している。(もちろん哲学者の文献に依拠しながら考えることも含まれる。）障害とは何か、社会的マイノリティとはどのような事態を指すのかを、授業参加者の発表と討論を通して考えていく。発表にあたっては、テーマとなる障害と社会的マイノリティに関する多様な視点を意識すること、とりわけ当事者の視点を意識することを重視する。また討論においては、授業参加者の間に様々な視点や捉え方があることを尊重し、討論を通じて新たな視点が生まれることを目指したい。
発表テーマについては、障害（身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、認知症）もしくは社会的マイノリティ（性的マイノリティ、エスニックマイノリティ、貧困など）に関連するテーマを自由に選択する。発表内容に関しては、概念分析、歴史分析、関連する政策の政治哲学的分析、社会構造の分析、障害と社会的マイノリティに関わる人間関係の分析などが考えられる。発表をグループ発表とするか個人発表とするかは、第 3 週に相談したい。
【学術分野】哲学・科学史
【授業形態】文献批評型

31724	水 2	国際政治について理論的に考える	湯川 拓	国際関係
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 国際関係論（国際政治学）という学問の見地から、国家間の協調と対立について理論的に考察する。具体的には、戦争・国際機構・地域主義・人権・内戦（平和構築）などのテーマについて考えることになる。 最初に、研究者によって書かれた学術論文を読むことで「リサーチとは何か」という点を実感してもらったうえで、自分たち自身で研究を行い、それを報告し、最終的にはペーパーとしてまとめる。 「国際関係論」の専門的知識を養うことだけではなく、こうした作業を通して基本的なアカデミックスキル（適切なリサーチデザインを立てる、報告する、論文を執筆する）、特に論理的思考を身につけることを重視する。 【学術分野】 国際関係 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型		

31715	金 3	都市／文学のかたち	大石 和欣	英語
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では都市をテーマに文学を読んでいきます。文学の読み方はさまざまです。登場人物や物語の構造に着目して読むこともできますし、作家論のなかで読み解くこともできます。今回は都市という空間が文学作品のなかにどう現れ出ているのか、その意味は何かを考えながら、都市論や都市史とつなげながら文学を読むことの面白さを追求すると同時に、研究の初歩的な技法を確認してみたいと思います。 都市は時の経過にしたがってかたちを変える、と言ってしまえば陳腐な理のように聞こえますが、都市は語りにしたがってかたちを変える、と言い直してみると文学の問題になります。歴史的時間のなかで都市が盛衰を繰り返すように、文学作品に描かれた都市は語りの展開とともに新たな姿を現し、ときに表情を変え、変貌していきます。そのかたちは言語上どのように捉えられ、表象されているのでしょうか。そこから導き出される問題にはどのようなものがあるのでしょうか。授業では都市論や都市史の議論を俯瞰しながら、都市のかたちを、物語という虚構のなかで捉えて考えてみたいと思います。 毎回、都市の文学的表象の事例を東西の文学作品からとりあげ、虚構の中で語られた都市のかたちを言語構築物として解きほぐしていきます。記憶のなかに埋没してしまった都市、時代に取り残された都市、祝祭的時間を永遠に湛えた都市、常に新たな記号と意味を生成し続けるパリンプセストのような都市、群衆が行き交い、混沌を深める都市、スラム化し、犯罪を増殖させ、闇を深めていく都市。それぞれの都市を語り紡ぐとき、そこには特殊な空間が構成されていきます。それをどのように味わい、解釈したらいいのでしょうか。フィクションであれ、あるいは歴史的記述であれ、言説によって描かれる都市は過去や現在に固定されているわけではなく、語りが紡ぎ出す言葉と筋によって構築されていきます。生命体としての都市のかたちと語りの言葉は、交渉と分裂を繰り返しながら虚構内に新たな時空間を構築していきます。 【学術分野】文学、都市論、都市史 【授業形態】ディシプリン型 フィールド型 文献批評型		

31749	金 3	ガーンディーとネルーの自叙伝を読む	井坂 理穂	歴史学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、「インド独立の父」と呼ばれ、非暴力・不服従運動を率いた人物として知られる M・K・ガーンディー（1869-1948）と、独立後に初代首相の座に就いたジャワーハルラール・ネルー（1889-1964）の自叙伝を読む。文献の内容について考察するとともに、同時代やその後のインドおよび世界の政治・経済・社会にかかわるさまざまな問いをたて、それらの問いに対する答えを出すためにどのような調査をすればよいのかを検討する。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型		

31750	金 3	アメリカ合衆国を対象とする社会科学分析	平松 彩子	法・政治
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 アメリカ合衆国では、例えばコロナ禍でのマスク着用やワクチン接種を政府が強制することに対する抗議活動、ブラックライブズマター運動、世界一高い刑務所収監率など、日本に暮らす私たちの目から見ればなぜ？と首を傾げたくなる政治や社会の諸現象が起きている。本授業ではアメリカの政治と社会に関する事象について、なぜ起きるのか、あるいは他の国や地域で起きている似た事象と比べてどのような差異や共通点があるのかを、社会科学的に説明し分析することを試みる。また文献の講読、ゼミ内での口頭報告や討論、小論文の執筆を通じて、大学で必要とされる学問上の色々なマナーを身につける。 【学術分野】法・政治 【授業形態】ディシプリン型		

31751	金 3	無味乾燥な暗記を辞め、興味深い仮説を立ててしゃきっと検証しよう	鍾 非	経済・統計
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 「日本で豆腐販売量（1 人当たり）が一番多い都道府県はどこ？」という純粋な「物知りクイズ」（or 蘊蓄）には、私は欠伸を連発しがちだ。正直、私の蘊蓄（≈常識+非常識）量は「物知りおばあちゃん」を遥かに下回っている。でも、「日本で大豆の栽培面積が大きくて水も綺麗な都道府県はどこ？」という少し意地悪なクイズも聞かれると、（正答が分からなくても）別人のように興味津々である。大豆と水（因）が、豆腐（果）を決める重要な要素であり、二つのクイズを結びつける因果関係（関連性）を考えると興味深いだからだ。したがって、私は、物知りおばあちゃんのように蘊蓄を傾けるのではなく、（単独だと）得てして無味乾燥な蘊蓄の背後に潜んでいる因果関係を究明する（上述の例では、「日本で大豆の栽培面積が大きく水が綺麗な都道府県における豆腐販売量（1 人当たり）も多い」という仮説を立てて検証する）ことこそ、物事を的確に理解・判断する際の決め手だと固く信じている。物知りおばあちゃんが知っているか否かは知らないものの、因果関係（の強さ）を語る数学の入門（統計学）は、普通の（「加減乗除」ができ、必要最低限の思考力がある）子供でも取っ付き易い。老婆心だが、「共分散を始めとする因果関係の強さ」「相関係数の絶対値の大きさ」「最小二乗法」の求め方すらちんぷんかんぷんだと、将来、論文は書けそうもなく、せいぜい「豆腐販売量が日本一の都道府県名をわけもわからず暗記できるだろう。しかし、（物知りおばあちゃんのように）加齢とともに必ずや落ちる記憶力をずっと自慢しても、仕方あるまい(AI を除く)。そこで、言わずと知れた、表計算ソフトの「横綱」・Excel で「関数」という機能（統計を含む）に着目し、データを示す散布図の作成を皮切りに、回帰線の切片と傾き（最小二乗法）の求め方を明示（備考：ソフトの杓子定規な操作より、IQ 指数に直結する計算方法を遥かに重視)。ソフト≠学問。その意味で、表計算ソフトの「大関」・ロータス 123 も当然 OK。上述を踏まえて言えば、ソフトはつまらぬ蘊蓄（でも有用）に過ぎない。数の間の因果関係をとことん解明する数学こそ、真の学問)。「政治」「社会」「経済」「法律」「哲学」（社会科学）の全貌やその一部を浮き彫りにするための「プロの料理人」としての技の基本（サッカーで言えば、lifting）を、しっかり身に付けさせたい。講義の醍醐味を表せるクイズを一問出題しよう（但し、偏差値 37）:「よちよち歩きの一歳児」とかけて、「はじめ」ととく。その心は？答え：第一歩。 【学術分野】法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 国文・漢文学 文化人類学 哲学・科学史 心理・教育学 人文地理学 【授業形態】ディシプリン型 フィールド型 文献批評型		

グループ６　１年 文一二(9,18,20,23)文三(6,17,19)

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31725	水 3	国際法の視点から現代の国際的課題を分析する	キハラハント 愛	法・政治
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 世界は今、紛争の形態の変化、テロリズム、増える難民、安全保障制度の変化、気候変動など、様々な課題を抱えている。これらの課題について、法的な観点から考察し、その作業を通じて、文献の批判的な読解、学問的な「問い」の立て方、「問い」への答えの追求の仕方、批判的かつ建設的なディスカッション、研究の過程・結果の報告や論文執筆の方法を学ぶ。 【学術分野】法・政治 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型		
31726	水 3	人工社会を作ろう：マルチエージェント・シミュレーション入門	阪本 拓人	国際関係
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 マルチエージェント・シミュレーション（MAS）と呼ばれるコンピュータ・シミュレーションの技法を使って、社会現象の理解を目指す授業である。MAS は、コンピュータの中に「エージェント」と呼ばれる多数の人工的な「生き物」を配置して相互作用をさせることで、いかなる集合的な秩序や動態が生成されるかを観察するシミュレーション手法である。個人や集団の間のネットワークの形成、市場での競争や独占、あるいは国家間の戦争や平和といった様々な現象を、コンピュータの中で実際に「作って理解する」ことを可能にする。 この授業では、まず、既製のソフトウェアを使った実習を通じて MAS というツールを身につけてもらう。その上で、各々の学生が関心を持つ社会現象を、関連する先行研究も踏まえながら、MAS を使ってモデル化する作業を行ってもらう。そして、コンピュータの中に作られた各自の「人工社会」の観察・分析を通じて、当該の社会現象に対し、理解を深めたり新たな知見を得たりしてもらう。 なお、本授業は文科系の初学者を想定しているため、MAS はもちろん、プログラミング等の知識・経験は前提にしていない。 【学術分野】社会科学全般 【授業形態】実習型		

31727	水 3	最高裁判所が下した 1 つの判決を通じて、判決の読み方を学ぶ／判決に潜む問題を発見する／問題の原因を探る／問題の解決策を考える	小粥 太郎	法・政治
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 テーマは裁判です。裁判は、国の統治構造のなかで一定の役割を担っており、有名事件の裁判がしばしばメディアでとりあげられています。しかし、法学部を卒業した人であっても、裁判所の下した判決を正確に読み取った上で、評価できる人は、決して多くありません。 この初年次ゼミナールでは、実際の判決を素材として、その正確な読み方を学び、また、判決に対する法学研究者やメディアによる批評を通じて、社会における裁判の意味ないし裁判の受け止め方を学びます。参加者各自は、以上の学びをふまえ、自らが関心をもつ裁判事例を探索し、これに対する論評を整理し、自分の意見をまとめる作業を、ゼミナールでの意見交換を行いつつ進め、最終的には小論文にまとめることになります。 【学術分野】法・政治 【授業形態】ディシプリン型		
31728	水 3	ミュージアム展示のオンライン／オフラインを考える	永井 久美子	国文・漢文学
授業の目標・概要		【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 2020 年以降、コロナ禍で臨時休館を余儀なくされた美術館や博物館の多くが、バーチャルツアーの公開やギャラリートークの配信などを実施した。これらの企画には、オフライン展示の代替措置の意味しかなかったのであろうか。デジタル化時代のミュージアムの情報発信のあり方について、現在の課題、今後のあるべき形などを、関心のある例を各自自由に選択し、議論してもらう。 主な分析対象は一人一件を原則とするが、問題を論じるうえで必要な場合は、複数の展示の比較対照を行ってもよい。美術館、博物館、文学館、歴史館などのほか、動物園や水族館、植物園の問題を取り上げてもよい。授業形態は、人文学全般に通じる小論文の書き方を学ぶディシプリン型であると同時に、特に展示解説の内容を論じる場合には文献批評型でもあり、現実もしくはサイバー空間の展示会場を訪れるフィールド型でもある。課題を互いに発表することを通して、プレゼンテーションおよび小論文の完成度を高めてゆく。 【学術分野】国文・漢文学（ただし、広く展示に関わる内容を対象とする） 【授業形態】ディシプリン型・フィールド型・文献批評型の複合形態		

31729	水 3	史料/資料から読む歴史	河野 正	社会科学研究所

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
歴史学における重要な 2 本の柱は、①先行研究の整理と②史料読解である。本ゼミナールでは双方を通じて歴史学の研究手法を初歩的に理解することを目指す。
①については諸分野の近年の研究成果について検討をおこなう。ここでは、参加者自身が自分の問題関心のもとに文献を自ら探してくることも想定している。②については歴史学研究会編『世界史史料』（岩波書店、2006～2013）所収の史料や教員自身が翻訳した史料など、日本語で読む事ができる史料について読解をおこなう。
参加者に対しては①か②について発表を義務付ける。そのため本授業は上で挙げた目標のほか、レジュメ作成や発表方法を身につけることも目標とする。
なお、ゼミナールで取り上げる論文等については参加者自身が探してくることを前提としたいが、昨今の情勢を受け、図書館の利用等に困難が生じる場合は教員側で準備する可能性もある。
【学術分野】歴史学
【授業形態】ディシプリン型 文献批評型

31754	金 4	名著から考える世界史	大塚 修	歴史学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
歴史学における重要な作業の一つは、史料を正確に読解・分析し、それに基づいて論じることです。この授業では、歴史学研究で用いられる史料がどのようなものかを実際に体感し、それをどのような手法で扱い、分析していくのかについて学びます。具体的には、高校の世界史に登場する史料の中でも特に著名なもの（例えば池田嘉郎他編『名著で読む世界史 120』山川出版社、2016 年に収録されている書物）の中から各自興味のある史料を選び、その日本語訳を一定の分量、通読します。そして、関連研究の成果を参照しながら、史料の性格について考察した上で、その史料を通じてどのような歴史が書けそうか、について考えます。さらに、その成果について報告・討論を行い、小論文を作成する作業を通じて、自分の考えを論理的に発信する能力を向上させることを目指します。
【学術分野】歴史学
【授業形態】ディシプリン型 文献批評型

31755	金 4	憲法の判例の読み方	福岡 安都子	法・政治

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
これから法学を学んでいきたいと思っている初学者たちが、議論しながら、比較的少数の基本判例をじっくりと読み解いていくためのゼミです。判例によっては、最終結論としての最高裁判決だけでなく、第 1 審判決なども取り上げていきますので、せっかちな人、広く浅く手早く結論を得たい人などには、向かないかもしれません。しかし、「事実は小説よりも奇なり」と言います。それぞれ個性的な事案を前に、担当裁判官がどのように考え、どのように法を解釈し当てはめたかを、判決のテクストを通じて追体験することは、スリリングとも言える楽しみがあります。また、複雑な文章の背後に基本となる考え方が掴めたときは、熟読した者のみが体験できる醍醐味があります。取り上げる判例は、主に憲法の分野から選ぶ予定です。
【学術分野】法・政治
【授業形態】文献批評型

31756	金 4	心理学の研究動向―人の心の研究に関するシステマティックレビュー―	小澤 幸世	教養教育高度化機構

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
本授業では、人の感情、記憶、思考などに関する心理学の諸側面に関し、自ら「問い」（テーマ）を見出して設定する。研究史の中で、どのようにその問いが検討されてきたか、文献レビューを行う。文献レビューでは、検索用語や検索期間などを設定した科学的な文献抽出の手法であるシステマティックレビューを行う。得られた文献リストから、必要なデータを抽出して表などにまとめ、メタ的な観点からデータが示す傾向性について考察する。
目標① システマティックレビューの方法を学ぶ。
目標②「問い」（テーマ）を設定し、心理学の論文の文献レビューからその問いを明らかにし、レビュー論文を執筆する。
課題の発見：自分なりの問い（テーマ）を見出す。文献レビュー：システマティックレビューの方法に従い論文を検索する。論文を読解して必要なデータを抽出し、表などに整理する。考察：先行研究の研究動向をメタ的な観点から捉え、これまでの研究の傾向性や残された課題、将来期待される研究などを議論する。
発表：研究成果をまとめて、他者に論理的に説明する。論文の作成：研究成果を論文にまとめる。
目標③ グループで学び合う。
研究の進め方や方法についてアイデアを出し合う。コミュニケーション能力を身に着ける。
【学術分野】心理・教育学
【授業形態】ディシプリン型 文献批評型

31780	金 4	青年期の心理社会的問題を探究する	石垣 琢麿	心理・教育学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
・青年期は「疾風怒濤の時代」とも言われ、精神面での急激な変動が生じやすい時期である。
・このゼミでは、青年期の人々を取り巻く心理社会的問題について調べ、発表し、まとめる作業を行う。心理学では 18～30 歳程度の時期を青年期と呼ぶことが多いが、本ゼミでは 13～18 歳の時期も青年期として扱うこととする。
・青年期に生じてくる心理社会的問題の中には、心理的不適応のような臨床心理学的な問題も含まれるだろう。また、学校生活や対人関係を通しての成長など、教育心理学的な課題も重要である。さらに、青年期の人々をとりまく社会の在り方にも注目する必要があるだろう。このように非常に幅広い範囲から、短い時間でテーマを決めるのは難しいと思われる。そのため、あらかじめこちらで準備したテーマをいくつか候補として挙げる。基本的に、こちらで準備したテーマの中から興味のあるものを選び、調査・発表してもらうことになる。
テーマの候補
・青年期における対人関係
・学校における教師/教員と生徒/学生のより良い関係
・発達障害に対するステレオタイプ
・就職活動と青年期の心
・少年非行
・社会の変化と「青年期」という概念の歴史的推移
・調査と発表はグループで行う。何人のグループになるか（何組のグループが作られるか）は参加学生数による。希望としては 4 人～5 人 1 組。
・いずれかのテーマに人数が偏った場合など、グループの人数の調整を行うことがある。
・テーマ決めが重要であり、時間がかかると思われるので、調査前に教員とのミーティングを十分行うこと。
・発表の方法など具体的な課題に関しては、石垣か TA とよく相談すること。
【学術分野】心理・教育学
【授業形態】ディシプリン型 フィールド型

初年次ゼミナール理科の履修について

初年次ゼミナール理科はクラス指定の必修科目である。クラスごとに指定されたグループ（各 2 曜限）に開講されている授業のうち、1 授業を希望選択して受講する。希望が集中した場合は抽選となる。入学手続き時に配布されたプリント「【重要】履修登録について」の該当箇所にしたがって、登録期間内に必ず履修希望登録を行うこと。

第 1 回授業時には合同のガイダンスを行う。リアルタイム・オンラインで実施し、授業 URL は ITC-LMS の「集中コース等」＞「初年次ゼミナール理科（総合）」に掲載する。各授業の開講される曜限で授業担当教員が授業紹介を行う。指定されたグループに割り当てられた 2 曜限のうち、履修を検討している授業の曜限のガイダンスに出席すること。

第 2 回授業時には、サイエンティフィック・スキルに関する導入の共通講義をオンデマンドで学習する。、ITC-LMS の「集中コース等」＞「初年次ゼミナール理科（総合）」＞「教材」を参照すること。

第 3 回目からは、少人数に分かれたクラスで授業が行われる。原則対面で実施するので、UTAS にて決定された履修授業と教室を確認すること。各回の開講情報は、UTAS および ITC-LMS に掲載される。

この授業の教科書として『科学の技法―東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト―』がある。必要に応じて購入し、プレゼンテーション準備やレポート・論文執筆の際に参照すること。

初年次ゼミナール理科のウェブサイト FYS portal（http://fye.c.u-tokyo.ac.jp/）にてオンライン教材や教務情報、機材使用法等の情報を提供するので活用してほしい。また、ITC-LMS の初年次ゼミナール理科共通エリアで教材やお知らせを掲載することもある。

この授業に関する授業外サポートとして、オンライン（Zoom）でラーニングコモンズを開室し、TA による学習相談を行う。開室時間等は、ITC-LMS の「初年次ゼミナール理科」の総合コース上で告知する。

グループ名	開講曜限	対象クラス
グループ 1	月 4・水 4	1 年 理一(1-6,10,16,18-19)理二三(4,7)
グループ 2	火 1・木 2	1 年 理一(9,12,14,20,39)理二三(6,8,15,20)
グループ 3	火 3・木 3	1 年 理一(7-8,11,13,15,17)理二三(9-10,14,19)
グループ 4	火 4・金 1	1 年 理一(23,26,28-29,33,36-37)理二三(12,16,24)
グループ 5	水 2・金 3	1 年 理一(21,25,27,30-32)理二三(1-3,5,11,13,21)
グループ 6	水 3・金 4	1 年 理一(22,24,34-35,38)理二三(17-18,22-23)

第 1 回・第 2 回合同授業：ITC-LMS の総合コースで告知します。特に、火曜開講予定の授業の初回オンラインガイダンスは、同グループの他の開講曜限（火 1 授業のクラスは 4/7（木）2 限、火 3 授業のクラスは 4/7（木）3 限、火 4 授業のクラスは 4/8（金）1 限）に行うので注意する事。

グループ１　１年 理一(1-6,10,16,18-19)理二三(4,7)

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31600	月 4	周期表の化学と物理	山内 薫、本山 央人	理学部

授業の目標・概要

私たちの身の回りの物はすべて元素から構成されている。現在知られている 118 種類の元素は、元素の周期表という形でまとめられている。これらの元素を発見する過程で、我々人類が自然観を深めてきたことは周知の事実である。これまで、元素を発見するための先人の努力を通じて、そして、その発見に基づいて展開した基礎研究を通じて、自然科学のフロンティアが大きく広がってきた。
この初年次ゼミでは、一つ一つの元素がどのようにして発見されたのか、その発見にいたる道程はどのようなものであったのか、どのような測定を行ったことによってその存在が確認されたのか、その計測結果を理解するために原子や原子核についてどのような理解が必要であったのか、など、さまざまな観点からの議論を通じ、受講生が元素についての理解を深めることを目指す。
これまでに出版されている学術文献を調査し、その文献を理解するために必要となる化学、物理学を学び、学んだ成果を発表し合い議論することを通じて、受講生の一人一人が、自然科学研究が如何に進められてきたかを体感し、目の前に研究の最前線が広がっていることを理解することを目指す。

31601	月 4	社会のためのロボティクス	山下 淳	工学部

授業の目標・概要

（授業の紹介資料）
http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture/2022/society/guidance.pdf
（授業の概要）
医療・福祉・生産から極限環境調査や災害対応まで、さまざまな現場でロボット技術（Robot Technology）が活用されています。
本授業では、ロボットについて初めて学ぶ学生のために、世界の第一線で活躍中のロボット研究のトップランナーたちが、社会とロボットの関わり、社会のための最先端ロボット技術について解説します。また、文献調査、グループ討論、プレゼンテーション実習などを行い、社会のためのロボット技術に関する理解を深め、ロボットの役割について考えます。ロボット実習では、実際のロボット技術に触れ、最新のロボットについて学習します。更に、これらの体験を通じて学習した内容に関してプレゼンテーションやグループ討論を行い、科学技術に関するコミュニケーション能力の向上を図ります。
ロボティクスは、精密工学、情報科学、機構学、運動学、制御工学、計測工学、人工知能などの幅広い内容を含む総合的な学問です。
授業を通じてロボットに関する基礎知識を身に付け、ロボット研究の奥深さや面白さを感じとって下さい。また、社会とロボットの関わりについて、考えてみて下さい。
本授業はきっかけを与える入口です。自分から積極的に情報収集をすることにより、ロボットに対する理解と興味が更に深まることでしょう。
（授業の目的）
・社会のためのロボット技術に関する理解を深め、最先端ロボット技術に関する知識を身につけます。
・ロボット実習の結果を解析し、そこから導かれる結論を論理的かつ客観的に考察する力を身につけます。
・自分の考えを他人に分かりやすく伝える科学技術プレゼンテーション能力と、他人とディスカッションを行うコミュニケーション能力の基礎を身につけます。

31602	月 4	スピンの量子科学	三輪 真嗣	物性研究所

授業の目標・概要

本講義では物性研究所所属の教員と一緒にナノサイエンス、特にスピントロニクスと呼ばれる研究舞台を題材にして「自分で調べること」「自分で考えること」「他人に説明（プレゼンテーション）すること」「他人と議論すること」を覚え、研究引いては社会で生きていくために必要な力を培うことを目標とします。
電子には電荷とスピン（磁石としての性質）の２自由度があります。スピンの性質がナノの世界で顕著に現れることに着目し、高度なレベルでエレクトロニクスを実現する研究分野をスピントロニクスと呼びます。しかし、スピントロニクスは本講義では題材にすぎず、スピントロニクスに詳しくなることは本講義の目的ではありません。従って、物理学を深く学ぼうとしている学生のみならず、化学・生物学を主に学ぶ学生の参加も歓迎します。

31604	月 4	数値計算法とその数理	田中 健一郎	工学部

授業の目標・概要

（授業の概要）
皆さんがこれまで行ってきた数学的計算、例えば方程式の求解や微分・積分などの計算は、手計算で結果を導くものがほとんどであったと思います。しかし、物理現象のシミュレーション、天気予報、航空機の設計などの現実的な場面で必要になる計算は、大規模かつ複雑で、手計算で実行するのは極めて困難です。このような場合に使われるのが、計算機を使った数値計算です。本授業では、基本的な数値計算の方法と性質について、基本的な専門書を皆で講読し、計算機を用いて易しい数値計算ができるようになることを目指します。その上で、数値計算に関する課題をグループで設定し、その課題の解決に取り組んでもらうことを予定しています。
（授業の目標）
・専門書を講読して理解した内容を、分かりやすく他人に伝える能力の基礎を身につける。
・自分の考えを分かりやすく他人に伝え、情報を共有し、新たなアイデアや知見を得るための、コミュニケーション能力の基礎を身につける。
・学んだ知識を基に、その知識を応用して取り組めそうな課題を設定し、それを解決する方法を考える能力を身につける。

31605	月 4	化学で生命の謎解き ～COVID-19 とその周辺技術を題材にして～	岡本 晃充	工学部
授業の目標・概要	開講場所：先端科学技術研究センター3 号館 6 階 対面授業で行う。 化学を通じて、COVID-19 とその周辺技術の原理を学び、理解することを目標とする。			
31606	月 4	生物の生き様を支える遺伝子/タンパク質	有村 慎一、奥田 傑	農学部
授業の目標・概要	我々人類を含め、動物、植物、微生物はそのゲノム情報に従って発生し生きている。ゲノムに書かれている多様な遺伝子群が、どのようにそれぞれの生物の特徴に関わっているのか、参加者学生は少数のグループにわかれて、教員からのサジェスチョンのもと、エポックメイキングな原著論文を探し、調べ、理解し、これをお互いに説明することで、深い理解とエビデンスベースの科学的理解と相互理解サイエンティフィックコミュニケーションについて実践する。開講場所は駒場Ⅰキャンパス並びに、zoom オンラインで、グループワーク、インターネットを使った調査、共同プレゼンテーションと相互質問を行う予定である。			
31607	月 4	自然災害の予測：台風・高潮について考える	下園 武範、南出 将志	工学部
授業の目標・概要	【概要】 近年，強大な台風の来襲が相次ぎ，日本各地に大きな被害をもたらしている．今後も気候変動に伴う台風災害の増大が懸念されており、被害を軽減するためには複雑な自然現象を理解・予測することが重要となる．この授業では，台風および高潮を対象として，講義，文献調査、ディスカッションを通じて，台風・高潮の基本的なメカニズム，現象予測・防災の現状について学んでもらう．また，簡易的な予測モデルによる台風および高潮シミュレーションを通じて，自然現象の複雑さや予測・防災対策の難しい側面について理解を深めてもらう． 【目標】 ・台風，高潮の基本的なメカニズムを理解する． ・自然現象の予測・防災に関する基本知識を習得する． ・グループワークを通じて協働して課題に取り組む能力を身につける． ・分析結果を整理，正しく解釈して他者に分かりやすく伝える．			
31608	月 4	模擬ランダム化比較試験をやってみよう	大庭 幸治	医学部
授業の目標・概要	（授業の概要） 医学分野において、目の前の患者さんを治療する際に参照すべきエビデンスは、人を対象とした研究（臨床研究）から得られる。なかでも最もエビデンスレベルが高いとされる研究デザインがランダム化比較試験である。この 2 年、世界中に混乱を引き起こしている新型コロナウイルス感染症に対する治療法についても様々なエビデンスが報告されているが、その中でも最も重要視されるものがランダム化比較試験から得られるエビデンスである。 本ゼミナールでは、模擬ランダム化比較試験を通じ、臨床研究の計画から実施・データ解析・報告までの一連の流れを経験してもらう。自分たちで試験デザインを考え、実際に自分たちが被験者となってデータを取り、解析し、発表することで、効果の検証にどのようなことが必要であるのかを学ぶ。 （授業の目標） ・人を対象とした研究を行う際に、どのようなことを考えておく必要があるのかを理解する。 ・ランダム化比較試験においてどのようにデータを取得するのかを理解する。 ・得られたデータをどのように解析するのかを理解する。 ・エビデンスを批判的に吟味する基礎を身につける。			
31612	月 4	私たちの身近にあるワンパクなタンパク質を科学する	伏信 進矢、片岡 直行	農学部
授業の目標・概要	生体内で起こるほとんどすべての生命現象はタンパク質を必要としています。タンパク質はアミノ酸が連結した高分子ですが、その配列によって機能が異なります。例えば、代謝（化学反応）にかかわるタンパク質（酵素）、物質輸送にかかわるタンパク質、貯蔵にかかわるタンパク質、運動に必要なタンパク質、生体構造を維持するタンパク質、情報を伝えるタンパク質など多様なものが存在します。我々は、これらのタンパク質を取り出し、食べることによって栄養素として、あるいはいろいろな産業応用をして、実生活に役立てています。そこで本講義では、私たちの身近にある事柄から興味深いタンパク質を選び、その性質を調べて利用法などを考えると同時に、その重要性を体験してもらいます。この経験をもとに、他の人たちに、そのタンパク質の重要性を納得してもらえるようなツールを作ることを目標とします。 【授業の目標】 ・グループワークを通じて、集団での問題設定、情報共有、討論、役割分担などコミニュケーションスキルを身につけます。 ・自分たちの知りたい科学情報を検索する手法を習得します。			

31603	水４	木材利用の新しい可能性 －リグニンから建築まで－	横山 朝哉	農学部

授業の目標・概要

（授業の概要と目的）
木材は我々の身近にある材料であり、古くから様々に活用されてきた。現在、地球温暖化防止の観点からも木材の利活用が注目されており、木造建築や紙パルプだけでなく、セルロースやリグニンの利用といった新たな分野にも注目が集まっている。本授業では、木材を更に有効利用していく方策を皆さんとともに考え、最終的にプレゼン資料にまとめ、発表してもらいます。
（授業の目標）
グループワークを通して、木材の利活用に関する課題を設定し、各自で調査・分析する。その結果を互いに情報共有しながら討論し、最終的に課題解決策にまとめてプレゼンをする。

31609	水４	分子の形を知り、物質をデザインする	宮島 謙	教養学部（化学部会）

授業の目標・概要

（授業の概要）
水分子が、１個の酸素原子と２個の水素原子からなり、折れ曲がった二等辺三角形のかたちをとることはよく知られています。このように非常に小さな分子の構造はどのようにして決定されたのでしょうか。本初年次ゼミでは，この疑問から出発し，分子の形がどうすればわかるのかを調べ、なぜわかるのかを考えてもらいます。具体的にどのような測定データにもとづき分子の構造が決まるのかを、様々な文献やデータベースにもとづいて調べます。そのあと、それぞれ１個の元素を選び、その元素のもつ特徴を明らかにしながら、どういう物質を構成しうるのかを考えます。授業の進行は，４，５人のグループで行い，グループ毎にテーマを設定してもらいます。グループ中で様々なアイデアを出してもらい，また議論してもらい，最終的にグループ毎にまとめた結果を発表してもらいます。
（授業の目標）
１．分子のかたちはそうすればわかるかという素朴な問いから，この疑問を解き明かすというアカデミック体験をしてもらいます。
２．グループごとに１つの元素を選択し、その元素からどのような物質ができそうかを考えます。
３．問題を解決するにあたって，グループワークをしてもらい，お互い疑問点を出し，議論し，分からない部分は教え合いコミュニケーション能力を身につけます。
４．最終的に自ら設定した課題について，その結果を発表してもらい，プレゼンテーションの能力を身につけます。

31610	水４	未来のエネルギーを考える	大宮司 啓文、鈴木 雄二	工学部

授業の目標・概要

エネルギー問題の解決には，技術的な側面だけではなく，環境への配慮，経済性，地域特性といった多方面からの検討が必要です．本ゼミナールでは，現実の社会問題にはこういった複雑な背景があることを理解しながら，エネルギー問題の解決策や未来予測を行うことを通じて，問題解決能力の向上を図ることを目的とします．
まず，日本と世界のエネルギー事情を概観した後，(1)ガスタービン，エンジンなどのエネルギー変換の基盤技術，(2)カーボンニュートラルの考え方や日本の CO2 排出量削減に必要な水素燃料，(3) 自動車をめぐるエネルギー技術、の 3 つのテーマについて学習し，関連の学内研究施設の見学を行います．これら基本的な仕組みや原理に関する学習の後，グループに別れ，研究段階の技術から実用化された技術までの調査を行い，調査結果のプレゼンテーションを行います．現状のエネルギーに関する状況を把握した上で今後の課題を抽出し，将来展望を参加者全員で議論します．

31611	水４	エネルギーと環境：人類社会の持続性のための工学技術を考える	小林 肇	工学部

授業の目標・概要

（授業の概要）
地球温暖化の進行を緩和しつつ、社会を維持するために十分なエネルギーの供給を続ける事は、一つの領域の技術や対策だけでは成し遂げることは出来ません。新たな技術オプションを創出して行くと共に、多様な技術群を結びつけ総体として最適に機能させるシステム思考的アプローチが必要となります。本ゼミでは、エネルギーと環境に関わる現行から最先端の多様な技術の小実験を行い、それら技術の基礎学理を学習するとともに、実験・データ解析・考察手法を習得します。さらに、そこで学習した知見と最新の技術動向を基に未来の新技術システムを自分たちでデザインし、持続可能性へ寄与する新たな方法論を提案・議論します。
小実験では、具体的には火力発電、太陽光発電、風力発電、燃料電池、水素エネルギー、ヒートポンプ、二酸化炭素地中貯留、温度差発電、バイオエネルギー変換に関するそれぞれ基礎的な実験を行います。単に技術の原理を学習するだけでは無く、当該技術の現状を学んだり、課題を考察したりします。
また、エネルギー・環境に関わる最新の動向を調査・学習し、課題を正しく把握する事を通した上で、それらを解決する為の未来の技術システムをデザインします。システムとは、一つの技術をより良く機能させる方法論、または複数の技術を組み合わせたもの、あるいはある技術を中心としたビジネスモデルも含みます。このデザインを小グループで独自に考案する事で、グローバルな問題に対するシステム思考的アプローチを身につけます。
（授業の目的）
・エネルギー・環境に関わる多様な技術を深く掘り下げて研究する事により、工学的な方法論や考え方を学ぶ。
・エネルギー・環境に関わる最新の動向、課題を正しく把握する事を通し、これからの学習・研究の基盤知識とすると共に、グローバルな問題に対するシステム思考的アプローチを身につける。
・実際に動作する装置を組み立て、実験する事により、問題解決能力を養う。
・小グループで独自に調査、立案、検証、議論し、創造する楽しさを体験する。

31613	水 4	天体物理の研究事始め	鈴木 建	教養学部（宇宙地球部会）
授業の目標・概要	天文学・宇宙物理学の研究に触れることで、問題の設定、解決方法を学び、自らの調査・研究内容を他の人々に伝えるスキルを身に付ける。			
31614	水 4		加藤 真平	理学部
授業の目標・概要	UTAS web シラバス参照			
31616	水 4	モーションコントロール入門---ロボットや車両を上手に動かす科学	古関 隆章、大西 亘	工学部
授業の目標・概要	すでに高校の物理で習ってきたように、目の前のものから、天体に至るまで世にあるものは力学に関する物理法則にしたがって動いている。ニュートンにより提唱 された力学の法則は数学的表現では、時間に関する二階の微分方程式の形をとり、ものをうまく動かすために、その微分方程式に基づく「動的な性質」を理解し 取り扱うことが重要になる。ものの「動的な性質」に着目して対象をモデル化し、状態を計測し、リアルタイムに情報を処理して、入力をうまく決め、「思った ように物を動かす」一連の手法を制御という。ここでは、倒立振子という、そのままでは倒れてしまうものを例題に、上手にものを動かすモーションコントロール＝運動制御について、グループでの議論、数値計算、実験を通じて学び、数式に基づいて論理的に考えることの大切さを体験することを目的とする。 講義内容を説明した以前（2020 年 4 月）の動画を参考資料として、暫定的にお示しします。以下のリンクでご覧ください。 https://drive.google.com/drive/u/0/folders/1tj0xHbOnnMZkIq3KiuhaGKnCcVSNEBNp（g.ecc アカウントが必要です。）			
31647	水 4	都市防災とリスクコミュニケーション	沼田 宗純	生産技術研究所
授業の目標・概要	開講場所：生産技術研究所 As 棟 As301・302 過去、日本列島改造論など様々な日本の国土の発展方策が考えられてきた。現代において、新型コロナウイルスの影響と自然災害のリスクが高まる中で、我々の価値観も変化し、情報通信技術などの飛躍的な発展も踏まえたうえで、未来の日本の姿や都市のあり方を考えることが求められる。正解のない中で、現代が抱える社会課題の解決のアイデアを探り、人々が安全で安心して暮らし続けることが出来る社会をどのように実現できるのかを考えることが必要である。 そこで本講義では、未来に向けて現代の社会課題を整理し、解決に向けたアイデアや構想を考えたいと思う。その中で、新型コロナウイルスの影響について、どのように感染症のリスクを軽減できるのか、これまでの経済・感染症対策の政策や効果は、地域によりどのように異なるのかなど、感染者数のデータ、政府の対応の時系列分析、住民アンケートなど感染症に特化した内容も考えたい。この時、SDGs や仙台フレームワークなども考慮して、政策の国際比較なども有効である。 また、都市については、戦後復興と関東大震災からの復興など、我が国に大変革を求められた歴史的な活動が現代にどのように生かされているのかも考えたい。 受講者には、東京大学の災害対策トレーニングセンター（DMTC、Disaster Management Training Center）が提供している、災害対策の基礎コースも学び、災害対策の基礎知識を習得する。			

グループ２　１年 理一(9,12,14,20,39)理二三(6,8,15,20)

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31618	火 1	ナノバイオ・ディープテック	坂田 利弥	工学部
授業の目標・概要	＜授業の概要＞ これまで材料科学分野で未解決の課題や将来こんな材料があればといった課題設定に対して調査し議論することで教科書に載っていない問題や社会的意義についてまとめプレゼンテーションを行う。教員から設定された以下の 3 つのサブテーマに対し、その背景から問題の抽出や発展させるための研究方法などグループに分かれ調査・討議し、最終プレゼンテーションをグループごとに行う。 ＜サブテーマ＞ サブテーマ 1「生物に学ぶ機能性高分子材料」 ・人類は古くから自然や生物にヒントを得て材料を開発してきました。近年の分子生物学やナノテクノロジーの進展は生物の分子レベル・ナノレベルでの理解を大きく深めたため、生物模倣技術も新展開を迎えています。本サブテーマでは生物に学ぶ機能性高分子材料の開発例を調査した後、どのような未来材料が考えられるかを議論します。 サブテーマ 2「ナノメートルしかないモノをどうやって測る？」 ・電子デバイスはナノメートルのサイズで加工されて高集積化されて動作していますが，これを支えているのは，原子や分子のスケールで正確に構造を制御する材料科学です。この講義ではナノメートルの厚さで形成された材料を正しく評価する様々な測定手法について，その測定原理と装置の仕組みを学び，実際にナノメートルのサイズが正しく計測できることを体感してもらいたい。 サブテーマ 3「ものづくりから考える健康診断」 ・糖尿病患者が合併症を引き起こさないためには日頃の血糖値を自己管理する必要があります。また、アレルギーの発症は乳幼児で最も高く、その検査には多くの血液を採取する必要があります。このような自身の健康状態を診断するために様々なテクノロジーを駆使したバイオセンサが使われ、金属、半導体、高分子といった特徴ある機能を持った材料が使われています。本サブテーマでは、ものづくりの視点に立って健康診断の現状と課題について議論したい。		
31619	火 1	ヒッグス粒子のみつけかた	石野 雅也、奥村 恭幸、田中 純一	素粒子物理国際研究センター
授業の目標・概要	古代ギリシャの哲学者たちが 「万物の根源・原初的要素は何者か？」と問い,「土・水・空気・火」と答えた数千年前から，素粒子物理学は人類共通の興味の対象であり続けている．その深遠な問いに対する答えをみつけるために，研究者たちは実験的に検証をするための道具（加速器，検出器，計算機）の性能を向上させ続け，実験的データとして記録・解析し，新しい人類共通の知として成果をまとめ，再解釈してきた． この繰り返しにより，特に過去 40 年間，素粒子物理学の研究は急速な進歩を遂げ，素粒子の相互作用についての理解，初期宇宙に関する知見（科学的な推論を含む）を得てきた．「ヒッグス粒子の発見」は，2012 年夏に成し遂げられた歴史的なイベントで，翌年，ノーベル賞が授与された．これをきっかけに，素粒子物理学は次の大きな問いに挑戦するスタートラインに立ったところである． これまでの素粒子物理学が理解してきた世界，そこで使われる道具の原理，今後 どのような問いがあって どのようなアプローチをかけていくのか? 授業中のやりとりを通じて，これらの事を理解し，また，それらのことが 意外と少数の基本原理から理解できることを実感できる様にしたいと思う．		
31620	火 1	体験で学ぶ電磁気学	関野 正樹	工学部
授業の目標・概要	【授業の概要】 磁気浮上は，将来の高速鉄道への応用に関して注目を集めています．磁気による安定な浮上を実現する代表的な方法として，電磁力と制御技術の使用，超電導，反磁性効果などが知られています．電磁場を直接的に利用した現象である磁気浮上を通じて，目に見えない電磁場を体験的に理解することができます．本ゼミナールでは，科学おもちゃや，カエルを磁気浮上させた実験，超電導体など，様々な磁気浮上現象を題材として，磁気浮上の原理や，安定な浮上を実現する条件を考察します．磁場分布の測定も行い，電磁場を可視化することによって，理解を深めます．小グループに分かれて，グループ毎に題材を選んで理論的検討や実験を行い，その結果を発表します．電磁気学は，理科系の広い分野と関係しており，本ゼミナールで身につけた電磁気学の理解や，現象をモデル化する技法は，様々な場面で役に立つことが期待されます． 【授業の形態】 本授業は「体験」を目的とすることから、対面で実施します． 【授業の目標】 ・自らの力で課題を定義し，それを解決するプロセスを体験する． ・物理学の理論を，実際の問題の解決に活用するための応用力を養う． ・現象の本質を抽出して単純なモデルで表現し，その振る舞いを考察する技法を身につける． ・自分の考えをまとめて分かりやすくプレゼンテーションする能力を身につける．		

31621	火 1	どうしてこんなに違うのか？哺乳類の種差を考える	松脇 貴志	農学部
授業の目標・概要		同じ哺乳類の中で、身体の大きさや構造、行動様式、繁殖様式、食性、などの種差について学習し、それらの違いがなぜ存在するのかについて、「原因」（ホルモンレベル、DNA レベルなど）と「意義」（生活環境の違い、生存戦略など）について考える。 後半では最近の遺伝子組換え技術について簡単に紹介し、種の特性を変化させてしまうようなそれらの技術を我々の生活にどのように活かすことができるか、その際の注意点などもあわせてについて考察してもらう。		
31622	火 1	ビッグデータを扱うソフトウェア技術「データベース」を実践する 「データベース」技術は大規模データ（所謂ビッグデータ）の安全な管理と迅速な処理を実現する基幹的なソフトウェア技術である。「データベース」なしに今日の社会・経済は決して成り立たない。本授業では、「データベース」なるソフトウェアが如何にビッグデータを管理し処理しているのかを学ぶと共に、最新鋭のパブリッククラウド等を利用して実際に「データベース」を操作しその挙動を分析することを通じ、ソフトウェアならびにコンピュータシステムを発展させる実験的アプローチを習得する。	合田 和生	生産技術研究所
授業の目標・概要		本授業では、「データベース」なるソフトウェアが如何にビッグデータを管理し処理しているのかを学ぶ。また、最新鋭のパブリッククラウド等を利用して実際に「データベース」を操作しその挙動を分析する。これらを通じて、ソフトウェアならびにコンピュータシステムを発展させる実験的アプローチを習得する。とりわけ、ビッグデータの大規模性を克服するためのアルゴリズム、データ構造、性能管理、実験管理等のスキルの習得を目指す。 本授業は対面を基本とし、駒場リサーチキャンパス生産技術研究所 An 棟 An401,402 室に於いて実施する予定である。		
31623	火 1	環境に優しい化学のものづくりを考えよう	秋月 信	工学部
授業の目標・概要		（授業の概要） 化学は我々の生活を豊かにする様々な物質をつくることに貢献しています。その過程においては、地球規模の環境問題や公害問題など様々な環境問題を引き起こし、また現在でもそれらの要因となっている例も少なくありません。一方で、環境に優しい化学のものづくりを目指したグリーンケミストリーやサステナブルエンジニアリングといった考え方が生まれ、近年の環境問題への関心の高まりからそれらの重要性はさらに高まっています。 このゼミナールでは、環境に優しいものづくりを目指す化学の考え方を学び、それを活用して、課題の発見と解決策の提案ができるようになることを目標とします。 まず前半で、ある化学製品の合成プロセスを例として取り上げ、それが環境に優しいかどうかをどのように考え、評価し、改善策を提案するかについての基礎的な考え方を、議論や演習を通じて身につけます。 後半では、グループごとにテーマを設定し、対象とするものづくりの評価と改善策の提案に取り組んでもらいます。テーマについてもグループで議論して設定してもらいます。身近な化学製品に注目するのも良いですし、化学のものづくりを幅広に捉えた対象（例えばエネルギーや料理など）に設定するのでも構いません。 （授業の目標） ・環境に優しいものづくりを目指す化学の考え方に触れ、課題の発見と解決策の提案ができるようになる ・自身の考えを他人に伝え、また他人の考えを理解し、それらを課題解決等に役立てるコミュニケーションの基礎を身につける		

31624	火 1	地球の鼓動を聴いてみよう	西田 究	地震研究所

授業の目標・概要

今から約 100 年前 Alfred Wegener は、世界地図の上で大西洋を挟んだアフリカ・南アメリカ大陸両海岸線の類似した形を見て、大陸移動のアイデアを思いつきました。このアイデアは、当初大陸を移動させる駆動力について明確な説明ができず、地球科学界では忘れ去られてしまいます。しかし 1950 年代以降、地球科学上の新しい証拠によって再評価され、プレートテクトニクス理論の確立へとつながりました。その間にも地形や地震・火山の分布の特徴や規則性から、地球のダイナミクスや歴史について様々な発見がされています。近年では、地震計や地殻変動の記録を調べることによって、地球の表面だけでなく内部についても色々な事が明らかとなってきました。

現在、私たちは Wegener の時代とは比較にならない膨大な地球情報を手にしています。地球については理解尽くされてしまったのでしょうか？そんなことはありません。地球に関する理解が進む一方、新たな問題が明らかとなってきました。例えば、海溝型地震・津波が超巨大になる要素は何か、地球磁場ななぜ逆転するのか、生物大量絶滅はなぜ起きたのか、などの根源的な問題はまだ理解されていません.

我々が手にする情報の量は膨大なだけに、例えば地震計の記録一つとっても、まだ誰にも注目されていない現象も多く残されています。本ゼミナールでは、最新のデジタル地球データを駆使して、その特徴が語る地球の歴史や未来の姿を描き出します。新しい規則性の発見や、斬新な仮説がこのゼミナールから生まれることを期待します。

（目標）

○「どのようになっているか」を知るため，情報を収集・分析するスキルを身につける.
○「なぜそのようになっているか」という問題意識を持ち，解決に向けて取り組む姿勢を身につける.
○ グループで問題設定，情報共有，議論を行い，考えをまとめるグループワークを経験する.

31635	火 1	薬学を支える有機化学の貢献と役割	川島 茂裕、金井 求	薬学部

授業の目標・概要

大学での研究、世界へ向けた成果の発信の流れを学ぶとともに、天然物合成、触媒化学、生物有機化学など、薬学における有機化学の主な内容に関する講義をアクティブラーニング形式で行う。これを通じて、最先端の研究に触れるとともに、文献調査力、理解力、討論力、発信力を強化し、研究者への第一歩を踏み出すことを目標とする。

31625	木 2	”原発事故”を科学する	村上 健太	工学部

授業の目標・概要

現代社会が抱える複雑で不確かさが大きな問題を解決するには、問題にグループで取り組むことが必要です。相互に尊重し合いながら「リーダーシップ」を発揮できる人になるには、継続的な訓練が必要です。

受講生は，原発事故を例題に，大きなグループによる科学的な調査研究を模擬的に体験してもらいます。

この講義の最終的なゴールは、福島第一原子力事故に関する最新の科学的知見を国際社会に発信するためのシンポジウムのプログラム案を提案してもらうことです。原発事故は、人によって捉え方が大きく異なるデリケートな問題です。また、工学だけでなく文理両方の幅広い学問分野にまたがる問題でもあります。一つのシンポジウムで領域を包絡することはできませんが、なるべく多くの人が関心のある論点を整理し、かつそれに対して様々な背景に基づく意見が展開され、新しい気付きが関係者全体に共有されることが望ましい姿です。

このように、社会的な影響が大きな問題を科学的に取り扱うには，概ね次のようなステップを繰り返すことが必要です。

1) そもそも，誰のために，何を知る必要があるのかを関係者全員で話し合って合意すること
2) 利用可能かもしれないデータや，知識を持っている人，それが入手できる時期を把握すること
3) 各自の責任範囲や，得意な領域を踏まえて，役割分担を決め、それを調査・研究すること
4) 定期的に研究成果を持ち寄って意見交換すると共に，全体計画を軌道修正すること
5) 今はグループに入っていない関係者にも情報を広げて，必要に応じて加わってもらうこと

授業では 1~5 のステップを順に体験します。

国際シンポジウムは「発表会」ではなく「コラボレーション」の場です。この授業で取り上げるリーダーシップとは、良いコラボを生み出す力だと思ってください。授業を通じて、そのために必要な、調査・分析・コミュニケーション等のスキルを身に付けます。

31626	木 2	ペットボトルと紙ではじめるエアロスペースエンジニアリング入門	中谷 辰爾、水口 周	工学部

授業の目標・概要

飛行機や宇宙機において，重力に反して高速で飛行するためには，機体重量や強度，推進性能などが厳しく要求され，システムの成立には．限界近くまで極限まで無駄を無くすのに加え，様々な制約条件に対して最適化される必要があります．航空宇宙工学プロジェクトにおいて，対象とするシステムにおいては多くの物理や工学が融合し，力学，流体力学，制御工学，推進工学，材料力学，構造力学などを含む総合工学のアプローチが必要となります．そのため，プロジェクトにおいては，それら全体を俯瞰することに加え，様々な要素の役割が重要であり，各機能を統合しシステムを構築していきます．プロジェクト（グループ）内のマネジメント，要求の調整，各要素のインターフェース調整およびディスカッションが必須です．本講義義においては，航空宇宙工学につながるトイプロブレムとして，ペットボトルを用いた水ロケットやペーパーブリッジといった軽量構造体に関する二テーマに関して，様々な制約条件下においてミッション（課題）を設定し，計画策定，スケジューリング，基本設計，詳細設計，試験（実践・計測），結果検証，改善案の考察を行います．グループワークとして課題に取り組み，役割分担，課題解決にあたり背景にある物理や現象の調査，課題抽出，コンセプトの策定，設計および製作方針に関してディスカッションを行い，各段階において計画や経過についてプレゼンテーションを行い，課題等に対して議論し，解決し，実践いたします．その結果を評価し，発表し改善していくことを目指します.

テーマ①:水ロケットプロジェクト
テーマ②:ペーパープリッジプロジェクト

31627	木 2	数式の可視化・直感的理解・訴求力	齋藤 晴雄	教養学部（物理部会）
授業の目標・概要	目標 1 数式を含む定理、法則について可視化を用いた説明の能力を身に着けること 目標 2 定理、法則の意味を他者に分かるように伝える能力を身に着けること 目標 3 授業で取り扱わなかった定理、法則については、自分の理解のレベルが自分で判断できるようになること。 高度情報化社会の中で、我々に求められる「知」の形が変化しつつあるということがしばしば語られています。一方、理系学問の骨組みであり、主要言語でもあるところの「数式」については、社会の中での受け取られ方にまったく変化が見られません。 高度情報化以前も以後も、一般社会の中での「数式」は、まったく意味不明なものであり、敬遠すべきものの代表格とされています。一方、その意味を理解するものにとっては、「数式」には深い意味があり、物理では世界観の一部をなしています。しかし「数式」の意味を理解していると自負している「専門家」はともすれば、本来の意味を超えて使ってしまいがちで、それが再び一般社会での敬遠傾向を強め不信を招いているようです。 このように、「数式」をとりまく状況は、社会の高度情報化の影響を今のところまったく受けていないように見えます。したがって、もし 1 年生の皆さんが、数式の意味を正確に他人に伝達する能力を 身に着けたとすれば、それは今後の皆さんの人生にとって、大きな武器となる可能性があります。言い換えれば、ＡＩでは代替できない仕事が出来るようになる、ということです。 この授業では、数学の定理や物理法則をテーマとして選び、それを他人に分かるように説明する方法を皆さんに考えてもらいます。その際「可視化」が重要な方法となりますので、多少のプログラミングが必要になります。もちろん「可視化」以外の視点も必要になるでしょう。		

31628	木 2	歴史的木造建築の構造性能と活用 ／Structural Performance and Utilization of Historic Timber Architecture	藤田 香織	工学部
授業の目標・概要	歴史的木造建築を対象とし、その構造性能と活用事例について学ぶ。 木造建築の様々な要素や接合部について、講義と大学院生をまじえた演習形式で学ぶ。 ／The objective of the course is to understand the structural performance of historic timber architecture and to learn the examples of existing hitsoric architecture in use. Examples of strcutrual elements and joints are introduced through lectures and excercises with graduate students specializing in the field.			

31629	木 2	locomotion の科学	柳原 大	教養学部（スポーツ身体運動部会）
授業の目標・概要	【授業の概要と目標】 私たちの生命活動及び行動において、様々な身体運動のなかでもとりわけ歩行や走行(locomotion)はその基盤となります。本ゼミナールでは、歩行や走行が脳を含めた生体のどのような仕組みにより発現し、調節されているのか、また、外部環境とどのように相互作用し、協調しているのかについて、実際の実験と観察を交えながら学習していきます。グループ内で討議を行い、「参考資料及び文献の収集」、「問いあるいは仮説の設定」、「研究方法の設定」、「論述の組み立て」などのアカデミックスキルを学びます。それらの内容はゼミナール時間中にプレゼンテーションします。これらを通して、仮説から結論に至るまでの科学的な思考における基礎的な能力の習得を目指します。 【学術分野】神経生理学、運動生理学、計算論的神経科学、バイオメカニクス、ロボティクス			

31630	木 2	解析学の基礎	阿部 紀行	理学部
授業の目標・概要	高校における微分や積分の単元では，まず極限の概念を学びます．その際の極限の定義は，「限りなく近づく時」といったやや曖昧なものです．ニュートンやライプニッツが微積分学を創始した際も極限の扱いはそのようなものでしたが，その曖昧さ故に間違った結論を導いてしまうこともありました．19 世紀に入るとこれらを克服するためにより厳密に極限や実数の概念を定義する試みがなされ，長い議論の末に最終的に「ε-δ（イプシロン-デルタ）論法」という形で極限の定義がなされました．19 世紀中頃に生み出された ε-δ 論法は，その後の数学の発展において他の概念に上書きされるものもなく生き残ってきたタフな概念で，今なお微積分学（解析学）の基礎として大学で学びます． この ε-δ 論法はすでに述べたとおり現代の解析学には必須な概念です．しかし，一方で特に学び立ての初学者に対しては悪名高い概念でもあります．その理由として，定義が込み入っていて一見してわかりにくいからであると思われます．本講義の目標は，グループワークを通してこの ε-δ 論法を深く学び，理解することです． また，ε-δ 論法だけでなく，「デデキントの切断」，および発展的な内容として「p 進数」を扱います．デデキントの切断は，ε-δ と同じく解析学を厳密に再構築する努力の上で生まれた概念であり，実数の厳密な定義を与えるものです．p 進数は整数論的な問題に端を発して考えられた，実数とは異なる別の「数」の概念です． 本講義では，まず全体を小さなグループに分け，上で述べた三つのテーマの一つを深く掘り下げていき，最終的に班で一つの短い「講義」を作ることを行います．このような体験を通じて，テーマへの理解を深めるほか，文献・資料の収集法，グループによる共同学習の手法などについても習得することも目標とします．		

31631	木 2	ホルモンからヒトの行動を考える	坪井 貴司	教養学部（生物部会）
授業の目標・概要	（授業の概要） わたしたちの複雑な生命活動は、多種多様なホルモンが、環境変化に応じて、適切に血液中へ分泌されることによって調節されています。この多種多様なホルモンは、ごく微量で驚くべき作用をします。例えば、「恋」や「食欲」、そして「睡眠」もこのホルモンによって調節されます。 本ゼミナールでは、ホルモンの生理作用やその生理作用を利用した先端医療への応用の可能性、そして生命倫理に関する課題について、各グループ内で討議を行い、その中で、仮説を設定し、そして結論を導き出し、その内容をゼミナール時間中にプレゼンテーションします。これらを通して、仮説から結論に至るまでの科学的な思考における基礎的な能力の習得を目指します。 （授業の目標） ・研究課題における目的や問題点を認識し、その解決のための手段を考えるという活動を行います。 ・仮説をたて、結論に至るまでに必要な科学的プロセスを考え、行動します。 ・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、コミュニケーション能力の基礎を身につけます。		
31632	木 2	化学触媒の分子デザイン	岩井 智弘	教養学部（化学部会）
授業の目標・概要	医薬品や電子デバイス材料に代表される現代社会を支える化学物質は、化学的性質を失わない最小構成単位である「分子」からできています。望みの分子を効率よく合成するためには、化学反応を促進する「触媒」が欠かせません。さて、触媒とは何でしょうか？これまでに触媒とは「自身は変化せずに化学反応を促進するもの」と学んできましたが、本当にそうでしょうか？ 本講義では、触媒を題材に有機化学的アプローチから分子の世界に触れるとともに、自然科学の研究に必要な論理的思考力と研究発表力の習得を目指します。具体的には、2010 年のノーベル化学賞の受賞研究対象である「クロスカップリング反応」に代表される金属錯体触媒を取り上げます。前半では、講義により当該分野の研究背景と基礎的知識を学び、学術論文の講読を通じて既存触媒の問題点を整理します。後半では、それら課題を解決するオリジナルな化学触媒の分子デザインに挑戦します。また、研究室見学会を実施し、実際の研究活動の最前線を体感してもらいます。授業形態は、駒場キャンパス内での対面にて実施します。		
31633	木 2	こころの支援におけるダイバーシティとインクルージョン	笠井 清登、里村 嘉弘	医学部
授業の目標・概要	近年、多様性（ダイバーシティ）と包摂（インクルージョン）の推進は各方面で重要視されており、2015 年に国連サミット加盟国で採択された持続可能な開発目標（SDGs）においても、「『誰一人取り残さない』持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」がその中核的な位置づけとして掲げられています。一方、医学・医療分野におけるダイバーシティやインクルージョンの推進は未だ十分といえる状況ではありませんが、たとえば精神科領域など、いくつかの領域においては、当事者としての経験をもちながら患者をサポートする「ピアサポートワーカー」の活躍の場が広がりつつあるなど、少しずつではありますが状況は変化しています。 精神疾患は、日本における生涯有病率が 20%程度、つまり約 5 人に 1 人が経験するごく身近なものであり、その大半は思春期や青年期までに発症します。本コースでは、差別や偏見など、精神疾患をもつ人が支援を受ける中でときに生じる（不利益をうける）問題や、その問題を解消していくために必要な、ダイバーシティーとインクルージョンの推進、共同創造（Co-production）、トラウマインフォームドケア、values-informed care といった考え方や取り組みについて、その意義や、実践・普及の観点から議論・検討を行い、理解を深めることを目指します。 関連 HP https://cdmer.jp http://npsy.umin.jp https://co-production-training.net		

グループ３　１年 理一(7-8,11,13,15,17)理二三(9-10,14,19)

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31617	火 3	生物多様性と生態系の持続可能性	日浦 勉、吉野 邦彦	農学部
授業の目標・概要		地球上には記録されているだけで 200 万種近い生物がいます。私たち人類はただ 1 種の生物に過ぎないことを考えれば、驚くべきことです。ところが、ここ 50 年位の間で生物の多様性は著しく減じています。このままのペースで進むと将来は大量絶滅の時代を迎えることになります。そうならないために、私たちは、生物多様性が維持されている仕組みを解き明かし、生物がもたらす恩恵を様々な観点から理解する必要があります。こうした理解が進めば、生態系や生物多様性を保全し、持続的に利用しようというモチベ―ションが高まるはずです。このゼミでは、生物多様性のしくみや機能を理解し、持続可能な社会を創るためのアイディアを皆さんと考えていきます。 全体構成は 2 つのユニットからなります。ユニット 1 では生物多様性の一般書を題材に、各グループで課題を設定し、文献調査などを通して本の内容を発展させたプレゼンテーションを行います。ユニット 2 では、日本での一般的な環境アセスメントでの生態系の現状把握の方法を理解して，その方法論の長短所を議論し，自然環境の把握の重要性，方法論を理解して欲しいと考えています。 さらにユニット 1 と 2 の間の回では、明治神宮に出向いて自然観察を行い、生態系や生物多様性の実態を体感してもらいます。		
31634	火 3	日常生活の視点から食料と農山村を考える	松本 武祝	農学部
授業の目標・概要		都市で生活する学生にとって農業や農山村は身近な存在ではない。日常的にはもっぱら食料の消費者として間接的に農業にかかわっている。今日の日本の食料消費に関しては、肥満・食品ロスなど過剰にかかわる問題と、こども食堂など不足にかかわる問題とが併存している。コロナ禍の下で、都市生活者の食の形態も大きく変化している。 また、都市生活者は、農山村から木材を調達するだけにとどまらず、治水機能、森林レクリエーション機能などの恩恵も間接的に享受してきた。農山村の急激な人口減少によって森林がもつ様々な機能が弱体化し、都市生活に影響を及ぼしており、都市と農山村との関係が改めて問われているといえる。 この授業では、日常的な食料消費および農山村の生活に焦点を当てることを通じて、身近な視点から食料問題・資源環境問題に接近してゆく。		
31636	火 3	疾患克服を目指した医科学研究の実際 ー疾患の分子病態から予防、診断、治療法を考えるー	南谷 泰仁	医科学研究所
授業の目標・概要		がんや感染症などの難病の原因や発症メカニズムを探索することは、疾患の治療法の開発につながる手がかりを得るための大事なプロセスとなります。現在、医学研究の手法はめざましい発展を遂げており、スパコンやAIを用いた膨大な情報処理を用いた疾患因子の同定や、発生工学を用いた病態解明が進められています。この講義では、ゲノム医科学、発生工学、感染症の 3 つをテーマとして、3 名の担当教官から現代の医学の研究の手法と応用について学びます。与えられたテーマについて自分で調べ、他人にわかりやすく発表する機会を多く設け、情報の収集、論理的思考、プレゼンテーションを経験することで、医学研究の一端に触れます。 「ゲノム解析による腫瘍病態の解明と臨床応用（担当教官：南谷泰仁)」 がんの本態解明に関する最新の研究分野であるゲノムシークエンスや情報解析についての概要を学びます。初回の授業では、ゲノム医科学を理解するために必要な基礎的知識を学び、ゲノム解析がどのように医学の発展に寄与してきたかについて、代表的な事例を用いて学習します。さらに、次世代シークエンサの原理と、それを用いたゲノム解析研究の例について学びます。その後グループにごとにテーマを決め、次世代シークエンサの応用について、技術的な側面と臨床的な側面から調査し、発表を行っていただきます。 「個体の発生、iPS 細胞を題材にエピゲノム制御について学ぶ（担当教官：山田泰広)」 我々の体を構成する 200 種類以上に分化した細胞から構成されています。細胞の分化は DNA の変化を伴わず、基本的には不可逆的な現象です。しかし分化した細胞に 4 つの遺伝子を一時的に働かせることで、様々な細胞に分化することが可能な人工多能性幹細胞(iPS 細胞)を樹立できることが示されました。本講義では、哺乳類個体の発生や iPS 細胞の樹立メカニズムを考えることで、DNA 配列に依存しない遺伝子発現制御機構、すなわち「エピゲノム制御」について考えます。さらにエピゲノム制御の異常による病気の発症や、iPS 細胞技術による医療応用の可能性について学びます。 「マラリアに学ぶ感染症医学入門（担当教官：Cevayir COBAN)」 COVID-19 によって「日常的なパンデミック」が注目されるようになりました。マラリアは、毎年 20 万人以上が新たに感染し、子供や妊婦を中心に毎年 50 万人が命を落としている感染症です。人類の歴史と同じくらい古く人類とともに進化してきたマラリア感染症をテーマとして COVID-19 との比較をおこないながら、根絶の困難さや治療法・ワクチン開発の問題点について考えます。さらに、マラリアを理解し、撲滅するために応用可能な科学や技術など、可能な解決策について議論します。他の世界的な感染症についても調査をおこない発表することで、知識を共有します。 開講場所は原則駒場 I キャンパスです。第 3 回のみ、東京大学医科学研究所の見学会を行います。		

31637	火 3	初年次ゼミナール理科	樋口 秀男	理学部
授業の目標・概要	生物には，さまざまな動きある．個体であれば四肢の動き，個体内には心臓や消化器の動きがみられ，細胞は分裂や泳ぎなどを行う．植物や神経細胞内では，輸送運動が盛んにおこなわれている．分子に着目すると，DNA の複製やタンパク質の合成も動くタンパク質分子によって行われている．タンパク質が働くとき，アミノ酸や電子の動きが起こる． このように「動く」ことは生物に共通にみられる現象であり，生物の特徴でもある．さらに「動き」は，生物として興味がもたれるだけでなく，力学・分子運動・化学反応・原子結合・運動理論と密接に関係することから，生物学・物理学・化学・数理の垣根を取り外した科学としてとらえる必要がある．そこで授業の目的は，生物の動きに興味を持ち，動きの仕組みを理解し，「動く」ことの意味を科学の立場で考えることである． 授業では，学生各自が興味をもつ「動き」を紹介し，その動きの仕組みを議論と発表を通して理解する．最後に，班に分かれて動きの仕組みの共通性や生物らしい動きの特徴の議論・発表を行う．		

31638	火 3	農林水産バイオマス資源の持続的な利用	吉岡 拓如	農学部
授業の目標・概要	SDGs（2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された，2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標）にも，2050 年カーボンニュートラル（2020 年 10 月に政府は 2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする，カーボンニュートラルを目指すことを宣言した）にも，その根底にはサステナビリティ（持続可能性）という共通の基本理念がある。 その持続可能な社会の実現のためには，太陽の恵みを受けて育まれるバイオマス（生物資源）の利用が不可欠であり，その生物資源の生産の基盤となる農林水産業の果たすべき役割の重要性は増すばかりである。 この講義では，農学部に所属して森林科学と水圏生物科学を専攻分野とする教員が担当し，陸域バイオマス（農林業）と海洋バイオマス（水産業）の利活用や先端研究の事例紹介などを通じて，その是非（善い面だけではなく）を議論することにより，本当の「サステナビリティ」とはどのような姿なのかを受講生 1 人ひとりが考えられるようになることを目指したい。		

31639	火 3	先端科学技術の現場を「体験」する	石北 央	先端科学技術研究センター
授業の目標・概要	この授業では、皆さんが今いる駒場キャンパスと先端科学技術研究センター（先端研）が位置する駒場リサーチキャンパスを舞台に、世界と競い合う最高水準の先端科学技術を体験してもらいます。最先端研究が、キャンパスの殻の中に閉じこもる旧来型の研究ではなく、学術の進展や社会の変化に機動的に挑戦して人間と社会に向かっていることを、この授業で実感できるはずです。先端研の根幹の研究領域（環境・エネルギー、情報、材料、生物医科学、バリアフリー、社会科学）の中から、今年の講義では、基礎的な概論とともに 3 つの話題を紹介します。基礎から最新のトピックまでざっくりと体験できるはずです。 1)「概論」 石北 央 教授 (x2 回 4/26, 5/10) ：先端研の最先端研究の概略を紹介するとともに、光エネルギー、光合成、蛋白質、量子化学、理論計算の接点をテーマに先端科学技術の一端をちょっとだけ覗いてみます。 2）先端研「グローバルセキュリティ・宗教」分野（×3 回 5/17, 5/24, 5/31）山口 亮 特任助教 キーワード：ガバナンス、倫理、科学技術 3）先端研「エネルギー環境」分野（×3 回 6/7, 6/14, 6/21）別所毅隆 特任講師 キーワード：光、光電変換、太陽電池、再生可能エネルギー 4）先端研「構造生命科学」分野（×3 回 6/28, 7/5, 7/12）加藤一希 特任助教 キーワード：クライオ電子顕微鏡、ゲノム編集、CRISPR-Cas (クリスパーキャス)		

31640	火 3	知能ロボット入門	新山 龍馬	工学部
授業の目標・概要	ロボットは、人間・機械・情報を結ぶ知的なシステムです。ロボットは、コンピュータ単体とは違って、自ら移動したり、ものを動かしたりすることができます。生物の仕組み、特に脳神経系の働きは、知的なロボットを作るヒントになります。一方、人間以上の速度やパワー、インターネット上の知識の利用など、生物を超え得る潜在力を持っています。 この講義では、知能ロボットを構成する基本要素や知的な振る舞いの作り方を考え、学びます。ツールとしてロボットキットを用いますが、講義の主眼はマニュアル通りロボットを組み立てることではなく、知能ロボットの可能性について実践を通じて深く考えることです。最新のロボット研究の成果にも触れてもらい、知能とはなにか、現代社会で必要とされるロボット・システムとは何かを議論してもらいます。また、工学的な思考方法に親しみ、作ったものの狙いや価値をわかりやすく伝える技術を磨くことも期待しています。 授業の目標： ・ ロボットや知能といった未定義で学際的なことがらに対して、グループ討論や能動的な調査に基づいて客観的に論じることができるようになる ・ 工学の観点から問題を発見し、実際の製作を通じてそれを解決するプロセスを身につける ・ 自分の考えを整理し、適切に他人と分担して、複雑なシステムであっても、順序立てて簡潔に説明できる能力を身につける		

31642	火 3	データ分析を通じた将来予測	合田 隆	工学部
授業の目標・概要	データ分析とは現時点で入手可能なデータから（個別のデータにはあまり意味を持たない場合でも）重要な情報を抽出することが目標であり、取り扱うデータの種類、性質、どのような情報を抽出したいのか、などに応じて適切な分析手法を選択する必要があります。特に将来予測、すなわち現時点までの推移データから将来起こりうる推移を「外挿」することを目的とする場合、分析結果の少しの違いが予測幅に大きな変化をもたらします。 本ゼミナールでは、（あまり深く立ち入りませんが）種々の統計的分析手法について文献調査・学習をし、その差異を理解した上で、（興味のある事象についての）データ収集、適切な分析手法の選定と適用、結果の解釈とまとめ、という一連の流れを体験してもらいます。データ分析への関心が高まることを期待しています。			
31661	火 3	形の科学・工学ワークショップ	舘 知宏	教養学部（情報図形部会）
授業の目標・概要	多くの自然現象や人工物の機能はその立体的な形状と密接に関わっています。本授業では、分野を横断して諸現象を解明しあるいは人工物を設計するための基礎として、立体形状を適切に記述し、形状を用いた思考を展開する力を養うことを目指します。 本授業のコアは、身の回りの人工物や自然物について観察し、形状の作図・工作などの再現・制作を行うハンズオンのワークショップです。プロジェクトベースで必要に応じて討議・関連研究の調査、文献読解、実装、設計などを行います。			
31615	木 3	薬学を支える生物学の役割と貢献	中嶋 悠一朗	薬学部
授業の目標・概要	（授業の背景） 薬学部では、生命現象の理解を究めつつ、創薬を視野に入れた基礎研究を行っています。生命現象を深く理解するためには、生物を構成する最小単位である細胞について詳しく知る必要があります。細胞のことを詳しく知る方法として、正常な細胞と異常な細胞を比較し、その違いがどこから生じているのか調べることはとても有効な手段です。数多ある病気の原因は様々ですが、究極的には特定の細胞の機能異常が病気を引き起こしているとみなすことができます。したがって、病気の原因を探ることが正常な細胞の本来あるべき姿を知る手がかりにもなることを意味します。 （授業の目標） 本ゼミナールでは、創薬の対象となりうる各種の病気やその発症原因について学習しながら、正常な細胞の姿の一端を知ることを目的とします。さらに、疾患を治療するためにはどのような戦略を取り、どのような創薬ストラテジーがあるかということをグループで考え、プレゼンテーションも行います。一連の作業を通じて文献やデータベースの探索方法、論文読解、グループディスカッションの仕方、わかりやすいスライドの作成・発表方法などの習得も目指します。			
31643	木 3	化学の力でつくる機能性素材について考える	加藤 隆史、福島 和樹	工学部
授業の目標・概要	第 3 回目以降は対面授業の予定です。 授業の概要： わたしたちは「化学」の力を使って、自らの創造力で「分子」をデザインすることにより具現化することができます。それによって生命現象の理解や病気の治療法を考案したり、自然界にはない新たな機能を持つ分子や素材を生みだすことが可能となります。まさにこの分野は、21 世紀の人類社会が抱える多くの諸問題を解決する糸口を提供します。 本ゼミナールでは、機能性分子・機能素材に焦点を当て、様々な課題を解決するために、化学や分子の視点からどのようにアプローチし、どのようにアイデアを具現化するかについて、文献調査やディスカッションを通じて主体的に考え、オリジナリティの高い提案を行うことを目標に進めていきます。 具体的には、人類の持続的発展のために必要となる機能分子・分子集合体・材料をデザインすることに挑戦します。われわれの現代生活を持続的なものにするためには、現在何が問題で、どのような素材や材料によってこれらを解決していくことができるのか、どのような「化学」の力が使えるのか、考えてみましょう。これまでにどのような化学・機能性素材の研究開発がされてきたのかを知ることで、問題解決のためのオリジナルのアプローチや新しい分子のアイディアが出てくるようになります。まずは各個人でアイディアを磨き、その後グループで、生物の仕組みなどを参考にしながら新しい物質・材料の設計のための創造的討論と発表を行います。世界でまだ誰も考えていない人類の未来に貢献するための機能性素材をつくることを考えてみましょう。 授業の目標： ・解決すべき問題に対して自ら課題を設定し、解決法を提案する主体性を育成する。 ・グループによる課題設定、進捗状況の共有、プレゼンテーションの実施、質疑応答といった共同作業のスキル、またグループワークにおける主体的な関わり方を身に付ける。 ・自然科学の研究技法を通じた論理的思考法・批判的思考法、建設的な議論の組み立て方を身に付ける			

31644	木 3	公共交通と自然災害～鉄道ネットワークを例に～	渡邉 健治、京川 裕之、浦田 淳司	工学部
授業の目標・概要	近年、大地震や集中豪雨等の自然災害により公共交通機関がその機能を短期的・中長期的に失うケースが多発している。例えば、令和元年台風 19 号襲来時には、千曲川の氾濫により長野新幹線車両センターが水没し、多くの新幹線車両が使用不能となった。 今後 30 年以内に 70%の確率で襲来する首都圏直下地震や近年頻発している豪雨災害に対して、本授業では公共交通、その中でも鉄道によって支えられている旅客・物流ネットワークの頑強性・冗長性・脆弱性を調査し、今後の施策の方向性・あるべき姿を議論する。 授業ではまず過去の自然災害（大地震、豪雨災害）を取り上げ、特に鉄道インフラの被害や復旧プロセスを調査し、当該災害が投げかけた課題、その後の対策状況をグループワークにより調査する。 次に、今後予想される災害に対して鉄道インフラ個別の対策（耐震対策、補強箇所の選定等）や、鉄道ネットワーク全体（他交通機関含む）の冗長性を高める対策について議論する。 これらの調査・議論を通じて、首都圏における公共交通の自然災害に対する備え、頑強性（脆弱性）を議論する。		
31645	木 3	世の中を変える物理	長谷川 修司	理学部
授業の目標・概要	本ゼミでは、調査研究やグループ討論、プレゼン、相互批評などを通して、各自・各班一つのテーマについて、自分自身で調査のやり方や方向性を決め、能動的に情報を集め、体系化してプレゼンおよび論文（レポート）にまとめあげるという体験をする。テーマとしては、物理学（とその周辺分野）における歴史的な発見や発明、あるいは将来大きな影響力を持つと考えられる物理学に関するトピックスを一つ選び、その内容を調べるだけでなく、それがその後どう展開され、現代社会や未来社会にどう繋がっているのか、われわれの認識や考え方、生活のしかたをどう変えた（る）のか、などを深堀する。テーマの設定や調査研究の進め方などは、グループディスカッションを通して自立的に設定する。プレゼンはグループで行うが、最終的には、各個人のそれぞれのテーマに関して論文形式のレポートにまとめる。その作業過程で、プレゼンテーションや相互批評（ピアレビュー）などを行い、コミュニケーションスキルを高めるとともに最終レポートのブラッシュアップに役立てる。 議論のとっかかりとして、最初に、すべてのノーベル物理学賞と関連するノーベル賞の一覧表を提供するが、それにとらわれず、自由にテーマを選んでよい。また、発明や発見の内容を物理学的に正確に記述することにとらわれず、その発明や発見の意義を広く理解してもらえる表現や議論を重視して進める。		
31646	木 3	デザイン・エンジニアリング・ワークショップ ～ 機能的で美しいものを作るための観察、コンセプトワーク、スケッチ、プロトタイピング	山中 俊治	生産技術研究所
授業の目標・概要	【背景】 デザインという言葉は、かつては装飾的な「意匠」の意味で使われていましたが、今日では人々の生活を豊かにするための幅広い価値創出の技術として、様々な分野で活用されるようになりました。本授業ではデザインについて、次のような新しい定義を採用します。 「デザイン：人工物あるいは人工環境と人との間で起こるほぼ全てのことを計画し、幸福な体験を実現すること」 便利で使いやすく美しい人工物をデザインするには、基本機能を設計するための幅広い自然科学と、人のふるまいを理解するための人文科学の知識、自然物や抽象形態に対する繊細な美的感覚と表現力が必要です。いずれも習得に時間がかかる巨大な体系ですが、最も重要なのはそれぞれの方法論の違いを理解し、常に多視点、多重思考で考えることです。 【目的】 ・科学知識と美的感覚、論理思考と手作業、概念操作とプロトタイピングなど、相反する創造プロセスを同時に扱うための「振り子」思考を身につける ・アイデア創出の方法を学ぶ ・アイデアを具現化し、人に伝えるためのプロトタイピング手法を学ぶ ・スケッチや立体物製作のための基本となる物の見方、身体の使い方を学ぶ 【概要】 後述の 3 つの課題に挑戦してもらいます。 制作は、しばしばホームワークであり、かなりハードワークになります。 【参考】 教員のひととなりを知りたい場合は、下記のブログや Twitter を参考にしてください。 ・ブログ「デザインの骨格」 http://lleedd.com/blog/ 2014 年から更新されていませんが、デザインの基礎となるものの見方や考え方をエッセイ風に記録したものです。 ・twitter @Yam-eye https://twitter.com/Yam_eye ・Instagram https://www.instagram.com/yam_sketch/ 山中のスケッチ置き場です。		

31648	木 3	脳の暗号解読方法	大泉 匡史	教養学部（物理部会）
授業の目標・概要	脳は神経細胞集団が電気的な信号をやりとりすることによって、高度な情報処理を行うシステムである。従って、神経細胞集団の電気的な活動の中には、様々な情報(視覚・聴覚・思考・感情・意図, etc.)が「暗号化」されていると考えることができる。脳の暗号を正確に読み取る方法(「デコーディング」と呼ばれる)を確立させることは、脳という情報処理システムを理解する上での一つの究極の目標と言える。この講義では、近年、急速に質・量ともに大幅に向上している脳計測データを実際に解析し、脳計測データから脳活動が暗号化している情報を、統計や機械学習の手法を使って読み取る方法論を学ぶ。 脳計測データは公開されているデータから自分が興味のあるデータを選ぶ。講義では、はじめにデータを選ぶために必要な、神経科学分野の論文の読解方法を学ぶ。次に、そのデータを解析するのに必要な、初歩的なプログラミング技術、統計、機械学習の基礎を学ぶ。はじめは既に報告されている解析結果の再現を行い、可能であれば自分なりに簡単なテーマを設定して、脳活動データの解析を行い、解析結果を報告することが最終的な目標となる。 講義の目標は以下である。 １．脳科学分野の論文を読み解く技術を学ぶ。 ２．公開されているデータを探索し、活用する技術を身につける。 ３．データ解析のための基礎的なプログラミング技術を学ぶ。 ４．脳情報のデコーディングに必要な基礎的な統計、機械学習の方法を学ぶ。 ５．自分なりの簡単なテーマを設定して、脳活動データの解析を行う。		
31649	木 3	脳のでき方と働き方	鈴木 郁夫	理学部
授業の目標・概要	脳の働き方と形作られるプロセスについて、研究の様子を知り、今後の進路を考える上での題材を得ることを目標とする。			
31650	木 3	血液内科学入門	正本 庸介	医学部
授業の目標・概要	・概要 医学部では臨床の現場で経験する問題に立脚した研究を行い、その研究結果を臨床にフィードバックすることを目標としている。血液は、酸素の運搬、免疫、止血など、生体に必須の機能を幅広くカバーする臓器であり、造血幹細胞から多くの種類の血球が常に過不足なく産生されるメカニズム、正常造血細胞が白血病になるメカニズムといった血液領域の研究は、幹細胞から成熟した細胞が作られる仕組みや、がんの分子標的療法のモデルとして、多くの領域の研究を牽引してきた。この血液系をモデルとして、医学の現場で実際に行っているような問題の抽出、情報の検索と吟味、検討、発表を行い、今後研究者として必要になる技術の基礎の習得を目指す。 ・目標 目標 原著論文検索と論文からの情報収集を行い、基本的な論文検索と解読の手法を身につける。 グループワークを通じて、集団での問題設定・情報共有・議論・役割分担・プレゼンテーションができる。			

グループ４　１年 理一(23,26,28-29,33,36-37)理二三(12,16,24)

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31651	火 4	宇宙を固体惑星の表層地形と振動から理解する	河合 研志、諸田 智克	理学部
授業の目標・概要		地球惑星科学における基礎知識と論理的思考力、数量的スキルの涵養を目指す。そのために実際の観測データや理論モデルを用いた解析研究を体験し、その結果にもとづいた科学的議論を行う。前半は地球内部構造推定のための地震波波形解析を体験し、後半は月惑星探査データの解析、将来探査計画の立案を行う。 (1)固体地球科学 観測された地震波を解析することによって推定された地球内部の構造は、地球型惑星の進化の理解に貢献してきた。弾性体の運動方程式に基づき、地球内部を伝搬する弾性波(理論地震波形)をシミュレーションすることは観測地震波の解析に欠かせない。本ゼミでは、理論地震波形を計算し、フーリエ変換や周波数フィルタ等の波形解析の方法を適用して、地震波形データ解析の体験をする。また、波長に応じて、地下の構造に対する地震波の感度がどのように変わるかを可視化して議論することで、最先端の研究の雰囲気を味わっていただく。 (2)月惑星探査 月や惑星を研究する上で、最も有効な手段は月惑星探査によるその場観測やサンプルリターンであり、実際に日本の「かぐや」「あかつき」「はやぶさ２」などの月惑星探査によって多くの科学成果が創出されてきた。一方で、太陽系形成と進化に関わる未解決問題は依然残されている。本ゼミでは、当該分野の論文を講読し、太陽系科学、惑星科学における現状理解と未解決問題を把握するとともに、実際の月惑星探査データの解析を体験する。また問題を解決するために必要となる将来の惑星探査計画を検討する。		
31652	火 4	リハビリテーションを考える	四津 有人	工学部
授業の目標・概要		障害を持った当事者、その支援者のかたなどをお招きして、どのようなニーズがあり、どのような支援ができるかを考える、アクティブラーニングを行います。 zoom のアドレスは ITC-LMS に記載		
31653	火 4	知能ロボット入門	鳴海 拓志	工学部
授業の目標・概要		ロボットは、人間・機械・情報を結ぶ知的なシステムです。ロボットは、コンピュータ単体とは違って、自ら移動したり、ものを動かしたりすることができます。生物の仕組み、特に脳神経系の働きは、知的なロボットを作るヒントになります。一方、人間以上の速度やパワー、インターネット上の知識の利用など、生物を超え得る潜在力を持っています。 この講義では、知能ロボットを構成する基本要素や知的な振る舞いの作り方を考え、学びます。ツールとしてロボットキットを用いますが、講義の主眼はマニュアル通りロボットを組み立てることではなく、知能ロボットの可能性について実践を通じて深く考えることです。最新のロボット研究の成果にも触れてもらい、知能とはなにか、現代社会で必要とされるロボット・システムとは何かを議論してもらいます。また、工学的な思考方法に親しみ、作ったものの狙いや価値をわかりやすく伝える技術を磨くことも期待しています。 授業の目標： ・ロボットや知能といった未定義で学際的なことがらに対して、グループ討論や能動的な調査に基づいて客観的に論じることができるようになる ・工学の観点から問題を発見し、実際の製作を通じてそれを解決するプロセスを身につける ・自分の考えを整理し、適切に他人と分担して、複雑なシステムであっても、順序立てて簡潔に説明できる能力を身につける		
31654	火 4	解析学の基礎	下村 明洋	理学部
授業の目標・概要		大学での標準的な数理科学の立場から観ると，高等学校までの数学に於いて極限と連続性や微分積分の取り扱いはやや直観に頼ったものであり，大学での学問としての数理科学ではこの分野は厳密な理論が展開される．「数理科学の立場から厳密に記述された微分積分学（解析学の初歩）の文献の実数，極限，連続性等に関する部分」を受講生が輪講する事により，この分野に関する理解を深める事を目標とする．この科目は，受講生による発表形式で行うので，受講生が能動的に学習し発表内容を他の人に説明する能力を身に付ける事も目標とする．この分野の能動的な学習を通して，数理科学的な思考力を養う事も目標である．		

31655	火 4	バイオミメティック・エンジニアリング	砂田 祐輔	生産技術研究所
授業の目標・概要		生物の優れた仕組みに着想を得たモノづくりの新奇な企画提案を行う。 そのために, （1）生物の優れた機能を解明した研究，またはバイオミメティック・バイオインスパイアドというキーワードに基づいて行われたモノづくり研究の過去の例を学ぶ（文献検索と読解，発表を通じた情報共有)。 （2）小グループに分かれて，（1）で得られた情報などを参考に議論し，柔軟な発想で，生物の優れた仕組みに着想を得たモノづくりの企画を考える（課題解決のためのグループワーク)。 これらを通じて, ・コミュニケーション能力を伸ばす。 ・プロジェクトを推進する時に，何が分かっていて，何が分かっていないのか，何が問題で，どうやったら解決できるのか，自分の頭で考える能力を身につける。 ・試行錯誤やプロジェクト推進の難しさと，計画性の重要性などを学ぶ。 ・自分の考えを，分かりやすく他人に伝え，情報を共有することで，新たなアイディアや知見を得るためのコミュニケーション能力の基礎を身につける。		

31656	火 4	アリとヒトはどのように同じでどのように異なるのか	土畑 重人	教養学部（生物部会）
授業の目標・概要		授業の目的： ・英語原著論文の基本的な構成を知り、そこから有益な情報を抽出するための基本的技術を習得する。 ・既存の先行研究に基づいて、背後にある普遍則への気づきから、ヒトを含めた生物多様性の中に未解明の現象を発見するための基本的技術を習得する。 ・アリの観察を契機に、身近な生物多様性の重要性への意識を涵養する。 授業の概要： 野外生物の興味深い生態の紹介を見聞きする際に、我々ヒトの特性への関連を想起させる表現が用いられることがしばしばある。これはどのくらい妥当なことなのだろうか。もちろん、ヒトとその他の生物種とはさまざまな点で異なっており、それが全体としての生物多様性を構成している。しかし、同じ「生物」として、また、同じ「システム」として、表層的な類似性には実は深い関連があるかもしれない。本授業においては、社会性昆虫の一種アリをテーマとして、かれらの社会が示す興味深い現象を報告した英語原著論文を読解するところから始め、我々ヒトを含めた他生物との類似性への気づきに基づいて、一研究者としてそれを生命の普遍性への理解につなげることを試みたい。視点の異なる他受講生との活発な議論を希望する。		

31657	火 4	数学・物理をプログラミングで考える	山崎 俊彦	工学部
授業の目標・概要		今年の講義資料および昨年までの講義の様子は以下の URL を参照 http://www.eidos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/~tau/lecture/programming_math_physics/ コンピュータ（プログラミング）を使って，数学や物理の問題，実世界の問題を数学や物理の言葉で定式化した問題を解く方法を学びます．そうすることを通してプログラミング，数学，物理を学ぶとともに，それらの分野に対する勉強の動機・意欲が高まることを期待します． 実際の問題をいくつか，例・テンプレートとして提示し，グループに別れて解法や，問題の発展形や一般化などについて議論します．それと並行して，プログラミングの基本について，演習します．最後に，お互いが解いた問題について発表しあう，発表会を行います．途中でも，グループの間でのアイデア交換や進捗状況の共有のため，適宜ミニ発表会を行います．		

31658	火 4	眼の病気の現状と展望	本庄 恵	医学部
授業の目標・概要	人間の五感による知覚の割合は、視覚 83%、聴覚 11%、嗅覚 3.5%、触覚 1.5%、味覚は 1%といわれています。人間が受け取る情報のうち、8 割は視覚からの インプットだといわれています。ものの見え方が悪くなるような眼疾患・障害が多々ありますが、その見え方によって日常生活も困っている方は大勢います。この授業では眼疾患のなかでも重要な視機能障害をきたすことが多い緑内障、黄斑変性、角膜疾患に注目します。 基本的な知識をレクチャーさせていただいたうえで、これらの疾患について、疾患そのものについての理解、患者さんにとってどのような問題があるか、そしてアンメットニーズと解決の糸口について、検討し理解を深めてもらうような授業にしたいと考えています。		

31659	火 4	食品の選択行動について考える	阪井 裕太郎	農学部
授業の目標・概要	人が複数の選択肢から何を選ぶのかは、離散選択分析によってモデル化することができる。お昼に何を食べるのか、通勤に何を使うのか、職業に何を選ぶのか、といった選択はすべてこのアプローチで分析可能である。その人の属性（性別、年齢等）、選択肢の属性（価格、材料等）、選択したときの状況（天気等）の情報があれば、選択行動を離散選択モデルに当てはめて推計し、そのモデルを予測に使うこともできる。 分析に使うデータは必ずしも入手できない場合がある。一般公開されていない場合や、そもそも分析対象としたい商品が市場に流通していない場合などである。その際に有用なのが、離散選択実験である。選択肢を自分たちでデザインして、実験参加者にどれが最も望ましい選択肢であるかを尋ねる。その選択行動のデータを用いてモデルを推定するのである。 本講義では、離散選択理論の初歩を学んだうえで、グループで離散選択実験を行う。商品の選定、選択肢の作成、実験参加者の募集、データの解析、結果のプレゼン、という一連の流れを体験する。これにより、①学問の面白さを感じる、②仲間を作る、③プレゼンスキルを向上させる、ことが目標である。		

31641	金 1	物理のための数学ゼミ	遠藤 護	工学部
授業の目標・概要	物理学では、様々な現象の中に法則性を見いだして、それを数学的に記述します。また、その数学から予想される現象は、実験的に確かめられます。こうした過程の中で、それまで思いもしなかった応用が見つかることがあります。例えば、量子力学の応用としての量子コンピュータなどです。 この授業では、基礎となる数学を学び、物理の記述にどう生かされるのかを調べ、受講者同士の議論を通して理解を深めます。文献の検索、発表資料の作成、科学的な内容でのコミュニケーションの経験を積みます。最終的には、4 名程度のグループに分かれて、興味のあるテーマを自ら設定し、他の受講者の前で発表してもらいます。物理に関連していれば基本的にどんなテーマでもよいので、面白い発表を期待しています。		

31660	金 1	「都市の未来を SDG s から評価する」	藤田 壮	工学部
授業の目標・概要	持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）は国際連合に加盟するすべての国にとっての 2030 年までの共通の目標として日本でも海外の国々でも具体的な取り組みが活発になっています。このゼミナールでは、SDG s の考え方や、持続可能な環境まちづくりについて、実際の都市を対象にグループごとにおこなう問題解決型学習（Project Based Learning）を通じて学びます。学生のグループを構成してグループ単位で国内の都市、自治体を選んで、ＳＤＧｓの理念に基づいて各自治体の将来の目標と具体的な対策を計画する、環境まちづくりを計画します。現状の問題分析、将来の目標の設定、そこに向けての具体的な環境まちづくり事業を提案するという、実際の都市を対象とする環境まちづくりプロジェクトを考えることで、都市と何か、環境と何かを考える機会となります。グループワークに先立って科学的手法を用いて、都市の現状を評価して、その将来のゴールを構築するための理論や手法を学ぶとともに、具体的なプロジェクト、計画づくりを経験して都市や地域で「科学」的手法を利用する可能性について提案、議論することを予定しています。		

31662	金 1	薬学を支える基盤技術の役割と貢献	大戸 梅治	薬学部
授業の目標・概要	新薬を開発するためには、少なくとも十数年に及ぶ研究期間と莫大な研究開発費を要します。創薬研究のプロセスは、探索研究、開発研究、臨床研究に大きく分類され、それぞれの研究段階において多くの研究分野が創薬を支えています。本授業においては、薬物が投与された後の体内での薬物の挙動を明らかにする薬物動態、薬のターゲットであるタンパク質の立体構造を明らかにする X 線結晶構造解析や核磁気共鳴法を取り上げ、これらの技術が創薬においてどのような役割を果たしているのかを論文読解やグループワークを通して理解します。授業で取り上げる技術をはじめとする様々な創薬基盤技術の今後の可能性をグループで調査・議論し、プレゼンテーションを行います。			
31663	金 1	音声コミュニケーションの科学	橘 亮輔	教養学部（初年次教育部門）
授業の目標・概要	音声によるコミュニケーションは社会を成立させる基盤の一つである。音声は言語情報だけでなく発話者の心的状態も伝える。母語であれば伝達速度は他の方式に比べても格段に速い。一方で、聴覚認知や発声制御の問題は円滑なコミュニケーションを阻害する要因となる。 本授業では、私たちの聴覚や発声の仕組みについての基礎的な事柄を学習し、音声コミュニケーションがどのような仕組みで成り立っているかを、デモ体験やグループワークを通じて考える。音声の簡単な音響解析や、簡易脳波計を用いた聴取時の脳活動計測デモを体験する。これらを通じ、音声コミュニケーションにおいて、自身の声を調整することの重要性や、他者との相互作用の様相を検討する。同時に、聴覚や発声を代替する新たな技術やコミュニケーション方式を調査して議論する。加えて、音楽演奏やヒト以外の動物の音声コミュニケーションについても検討し、その共通性と差異について議論する。			
31664	金 1	システムダイナミクス入門	古田 一雄	工学部
授業の目標・概要	システムダイナミクスは、多数の変数とその相互作用の数理的因果関係をグラフィカルな表現を用いてモデル化し、コンピュータシミュレーションによってシステムの動的挙動を解明する手法である。この手法は 1970 年代に人類の未来を予測したローマクラブレポート「成長の限界」で有名になり、以来、生態系や経済社会系などの複雑システムの解析手法として用いられている。本ゼミでは、主に力学系、生態系、経済社会現象などを題材に、システムダイナミクスによるシステムモデリングの基礎を修得するとともに、加えて各自が興味を持つ対象のモデリングを通じて応用力とシステム思考力を養う。			
31665	金 1	植物工場は持続可能な農業システムか？	松田 怜	農学部
授業の目標・概要	人工光型植物工場（以後、単に植物工場）とは、光を透過せず断熱性の高い被覆材でほぼ密閉された空間内で、人工光源や多段式の栽培棚などを用いて植物を生産する施設のことです。屋外の環境の影響が極めて小さく、露地・温室と比べてより安定した生産物収量・品質が得られることから、気候変動や異常気象に対応可能な植物生産システムとして肯定的に捉えられることがあります。また、工業技術や IT との親和性が比較的高いことから、農業分野以外の企業が植物工場で農業に参入するケースも見受けられます。一方、生産コストが高いなどの欠点もよく聞かれるところです。 このゼミナールでは、新たな農業の一形態である植物工場の実態や機構を科学的に捉えた上で、そのメリット・デメリットや将来性などについて考え、議論することを目的とします。授業 1〜2 回分ごとに設定するいくつかのテーマについて、書籍、統計データ、ウェブ上の情報などをもとにグループワークによってプレゼンテーションにまとめ、参加者全員で意見交換します。			

31666	金 1	自然現象のモデリング	石原 秀至	教養学部（物理部会）
授業の目標・概要	(目標) 物理現象や生物現象などの自然現象を対象に、主に微分方程式と確率を道具立てとしたモデリングを行い、実際に数値計算を行う。そのために Python による数値計算の基礎を学ぶ。自然現象に対し、できるだけ簡単で、でも本質をついたモデリングを行うことを目指す。題材は、感染症や生態系のモデル、ランダムウォークや相転移、ゲーム理論、渋滞やパターン形成など。 (概要) Python を用いて、微分方程式の数値解放と疑似乱数について、実際に手を動かして学ぶ。その後、何かしら自然現象を取り上げ、そのモデリングを行うことを通して、現象の背後にあるメカニズムをどう理解するかを考察する体験をする。			
31667	金 1	やってみよう！化学システム工学で挑む、先端医療	太田 誠一	工学部
授業の目標・概要	「ナノテクノロジー」を用いた病気の診断・治療は、次世代の医療技術として注目されています。髪の毛の太さの 10 万分の 1 のサイズで精密に設計されたナノ粒子が、生体という複雑なシステムの中で巧妙に働き、新たな診断・治療を可能とします。本ゼミでは、まずこのような医療の最先端技術について紹介します。また、背景にある化学に関する知識を、演習課題などを通して学びます。これらを土台とし、後半のグループワークでは高効率な診断・治療を実現するために必要なナノ粒子及びその投与システム全体の設計を、数理モデルなどを活用しながら提案してもらいます。 本ゼミの狙いは、化学や関連分野の基礎知識をネットワーク化・システム化し、実際の課題解決に活用できるツールとして身に着けることです。教員やディーチングアシスタントの大学院生と密にやり取りするゼミを目指します。			

グループ５　１年 理一(21,25,27,30-32)理二三(1-3,5,11,13,21)

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31668	水 2	シングルセル生命科学・医学入門 ―細胞を深く知って生命科学・医学を理解しよう―	瀧本 英樹、野村 征太郎	医学部
授業の目標・概要		大学では生命科学や医学といった生命に関する勉強をしたい。そういう学生を対象に、最先端の研究手法を駆使した生命科学・医学研究を体験するゼミを開講します。 生命の最小構成要素が「細胞」であることは皆さんもご存知かと思います。この「細胞」を深く知るための新しい解析技術、シングルセル解析によって生命科学・医学研究が大きく変わっています。本ゼミは、この最先端技術によって「細胞を深く知って生命科学・医学を理解する」ことを目指しています。基礎編・応用編・発展編の 3 部に分けて、講義を展開していきます。 基礎編（4 回）では、細胞とは何か？遺伝子とは何か？といった基本的な概念から、細胞が構成する社会（生命現象）を理解するための講義形式の授業をします。これまで生物学を勉強していなかった学生でも十分に理解できる構成としており、講師と学生の間のインタラクティブな講義展開で内容の定着を図ります。 応用編（3 回）では、基礎編で学んだ知識に基づいて、生命科学・医学における重要な生命現象（発生や疾患）をシングルセル解析で理解しようとする最先端の本格的な研究論文を講師と一緒に読み進めます。科学論文における論理の流れ、データのプレゼンテーション、その解釈の仕方、さらには将来展望に至るまで、アカデミックな内容を徹底的に理解できるようにします。 発展編（4 回）では、基礎編・応用編と学んできた知識と経験に基づいて、実際にシングルセル研究で行う実験・解析を体験するとともに、グループを組んで個別の生命現象を対象としたデータセットを用いて解析を行い、プレゼンテーションをすることによってアカデミアで必要となるスキルを磨きます。 本ゼミを通して、ひとりでも多くの学生が生命科学・医学に興味を持ってくれたら嬉しく思います。		
31669	水 2	物質の色から分かること	長谷川 宗良	教養学部（化学部会）
授業の目標・概要		我々の身近な物質には色が付いているものが多い。例えば，葉は緑色で紅葉すると赤・黄色に変化し，雲は白く，空は青い。金は金色，銀は銀色，銅は銅色。色は人によって見え方も違うだろう。このため，科学的には色は，光の波長分布，すなわちスペクトルとして定量化できる。光は電磁波であるので，光のスペクトルを考えるとなると，必然的に目に見える光，すなわち可視光線，とは異なる目に見えない赤外線，紫外線のスペクトルも考える必要がでてくるだろう。空気のような透明な物質も可視光線以外の光（電磁波）を吸収しているのではないだろうか。目には見えないが，色の考え方（光の吸収）を拡張すると物質の様々な側面が見えてくる。このゼミでは，物質が示す色，広く言えば，物質が吸収する光の波長から何か知ることができるのかどうかを自由に調べてもらう。例えば，葉が緑色であることから葉に含まれる物質が分かるとか，空気が吸収する光を調べることで空気の組成が分かるとか，水蒸気の吸収する光の波長から水分子の形が分かるとか，物質と光のやりとりから知ることができることは多岐にわたる。授業の進行は，４，５人のグループで行い，グループ毎にテーマを設定してもらいます。可視光線～赤外線の範囲であれば実際に物質からの光のスペクトルの測定を行ってもらい，得られたデータを元に，その物質について分かることをグループで議論してもらう。そして，最終的にグループ毎にまとめた「物質の色から分かること」を発表してもらいます。		
31670	水 2	ペットボトルと紙ではじめるエアロスペースエンジニアリング入門	水口 周、中谷 辰爾	工学部
授業の目標・概要		飛行機や宇宙機が重力に反して高速で飛行するためには，機体重量や強度，推進性能などが厳しく要求され，システムの成立には，限界近くまで無駄を無くすのに加え，様々な制約条件に対して最適化を行う必要があります．航空宇宙工学プロジェクトにおいては，対象とするシステムに多くの物理や工学が融合し，力学，流体力学，制御工学，推進工学，材料力学，構造力学などを含む総合工学のアプローチが必要となります．そのため，プロジェクトの成功のためには，それら全体を俯瞰することに加え，様々な要素の役割が重要であり，各機能を統合しシステムを構築する必要があります．このためには，プロジェクト（グループ）内のマネジメント，要求の調整，各要素のインターフェース調整およびディスカッションが必須です．本講義義においては，航空宇宙工学につながるトイプロブレムとして，ペットボトルを用いた水ロケットやペーパーブリッジといった軽量構造体に関する二テーマに関して，様々な制約条件下においてミッション（課題）を設定し，計画策定，スケジューリング，基本設計，詳細設計，試験（実践・計測），結果検証，改善案の考察を行います．グループワークとして課題に取り組み，役割分担，課題解決にあたり背景にある物理や現象の調査，課題抽出，コンセプトの策定，設計および製作方針に関してディスカッションを行い，各段階において計画や経過についてプレゼンテーションを行い，課題等に対して議論し，解決し，実践します．さらにその結果を評価し，発表し改善していくことを目指します． テーマ①:ペーパープリッジプロジェクト テーマ②:水ロケットプロジェクト		

31671	水 2	AI 支援による材料開発の最前線	南部 将一	工学部
授業の目標・概要		皆さんの身の回りにあるモノ。これらモノを作るうえで欠かせないのが材料です。モノづくりでは，原子や元素から物質を創り，物質を材料や部品に加工し，製品を組立てます。材料とは材料科学・材料工学の知に基づき，物質に機能という新たな付加価値を与えたものです。自然界に存在している原料から使える材料に生まれ変わらせ，さらに加工する，そのような工程を担っているのが材料関連の産業であり，自動車や電化製品などの皆さんのもとに届く製造業において欠かすことのできないパートです。従来材料開発は 10 年以上の長期間が必要でしたが，近年の急速な科学技術の発達に追随するためには，材料開発の加速化が必要不可欠です。 本講義は，そのような材料開発研究における最先端について学びたいと思います。材料開発の加速化，最適化を可能にするアプローチとして，近年は AI を活用した研究が多くなされています。そのような情報工学的なアプローチをこれまで培われてきた材料科学・工学と融合させることで，構造材料，電子デバイス材料，医療用材料などの材料開発において何ができるのか，解説文などを題材にしながら，グループディスカッションを通じて考えていきたいと思います。 【題材の例】 1) 構造材料のマテリアルズインテグレーションシステム：近年，マテリアルズゲノムイニシアチブに端を発し，従来の実験，理論に基づいた材料開発ではなく，さらに計算，データを融合させた材料開発が全世界で開始され，日本でも進められています。特に日本が得意とする構造材料開発におけるシステムがマテリアルズインテグレーションシステムとよばれています。今まで１０年，２０年かかった材料開発を，AI などを活用することによって数年で実現する，そのようなシステムについて調査します。 2) 電流のオン/オフを変えられる材料とその仕組み：情報機器の頭脳となる集積回路では微細加工されたトランジスタが何億個も並び，それぞれの材料中の電流がオン・オフと切り替わって動作します。どのようにこのスイッチを実現するのか，最先端電子デバイスの材料と構造を調査します。また，デバイスの品質は作製プロセスにも大きく依存しており併せて調査します。 3) ソフトマターの医用応用：高分子やゲルなどの柔らかい材料はソフトマターと呼ばれ、その柔らかさや高い変形性、生体組織との組成類似性から、医用材料として注目を集めています。医用応用を行う上で、どのような材料設計が重要になるのか、最先端の医用材料について調査します。		

31672	水 2	工学×デザイン～ワークショップで学ぶ理系のためのデザイン	村上 存	工学部
授業の目標・概要		■ 授業の目標 ・異なるテーマのワークショップを通して、ものづくりにおけるデザイン（設計）を体験します。 ・グループワークによる問題設定、分析、アイデア発想、プレゼンテーションのプロセスを身につけます。 ・デザインに必要な基礎的な工学的知識を身につけます。 ■ 授業の概要 良いデザイン（設計）とは何でしょうか。それは、単に見た目が美しいだけでなく、安全で、使いやすく、使うと嬉しくなるような人にとって思いやりのある設計を指すかもしれません。あるいは、シンプルな構造で優れた性能を発揮する巧妙な設計を意味することもあるかもしれません。この様に、ものづくりにおける「デザイン」の意味は多様です。本ゼミでは、グループワークによるワークショップを通して、ものづくりにおける多様なデザインの観点と、それに必要な方法を理解します。 前半では、身の回りから、危険、非効率、分かりにくい、使いにくいなどの「困った」デザインを調査・発掘し、問題の本質を議論します。そして、それらを「よい」デザインに変えるアイデアを提案、プレゼンテーションします。 後半では、軽くて安全な構造物をデザインすることを目的に、パスタで橋を作るパスタブリッジコンテストを通じて、機能を達成するための工学デザインを体験します。最終回は、グループごとに発表会を行い、それぞれのデザインについて議論します。		

31673	水 2	数学・物理をプログラミングで考える	田浦 健次朗	工学部
授業の目標・概要		より詳しくは以下の URL を参照 http://pmp.eidos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/ コンピュータ（プログラミング）を使って，数学や物理の問題，実世界の問題を数学や物理の言葉で定式化した問題を解く方法を学びます．そうすることを通してプログラミング，数学，物理を学ぶとともに，それらの分野に対する勉強の動機・意欲が高まることを期待します． 実際の問題をいくつか，例・テンプレートとして提示し，グループに別れて解法や，問題の発展形や一般化などについて議論します．それと並行して，プログラミングの基本について，演習します．最後に，お互いが解いた問題について発表しあう，発表会を行います．途中でも，グループの間でのアイデア交換や進捗状況の共有のため，適宜ミニ発表会を行います．KOMCEE でグループごとに机を分け，ノート PC を用いてプログラミングや文献調査を行います．		

31674	水 2	量子情報技術を「正しく」理解する	村尾 美緒	理学部
授業の目標・概要		従来型の情報処理や情報通信の限界を超えるブレークスルーの候補として、量子コンピュータや量子暗号、量子テレポーテーションなどの量子情報技術が最近注目を集めている。これらの量子情報技術は、量子エンタングルメントや量子測定など、日常の直感に反する量子力学の特性を情報処理や情報通信に利用したものであり、量子情報技術を「正しく」理解するためには、情報処理の観点を取り入れた量子力学の正しい理解が必要である。しかし、量子力学は一般にはなじみの薄い概念であり、報道などにおいても不適切な解説をたびたび見かける。本講義では、量子情報技術を「正しく」理解し、量子力学を習ったことのない人々にもわかりやすく正しく説明できるようになることを目標とする。		

31675	水 2	「食の問題」を科学者目線で考えよう	大塚 重人	農学部
授業の目標・概要	都市生活者の我々とって、農産活動を身近な存在として意識することは少なく、食料（食品）を消費する者としての立場で極めて間接的に農業と接しています。現在の我が国の食料消費においては、肥満や廃棄ロスなど過度な食の摂取にまつわる問題と、拒食や「こども食堂」など食の摂取不足にまつわる問題とが併存しています。世界的にも飢餓と飽食が発生しており、食料供給 体制のアンバランスを招いている状態となっています。他方、農産活動のための様々な技術的革新は、こうした食料問題や資源 環境問題を考える上で重要であり、私たちの日常生活にも少なからぬ影響を及ぼしています。この授業では比較的身近な情報を用いて、自分たちの日常生活で発生している様々な視点から「食の問題」に目を向け、その解決に向けた方向性や具体的対策を自主的に学ぶことを目指しています。		

31676	水 2	駒場キャンパスを歩き、その空間について考える	中島 直人、樋野 公宏	工学部
授業の目標・概要	本授業はフィールド体験型ゼミナールとして、都市空間の魅力と課題、それらの要因となる要素を理解・分析し、そのことを他者に伝わるように表現する力を養うことを目的としています。授業では、駒場キャンパスを歩いたり観察したりして、魅力や課題の発見と提案を行います。建築、土木、都市計画、環境の分野に関心がある方、グループワークが好きな方、いろいろな側面から空間を見てみたい方におすすめです。			

31677	金 3	減量・ダイエットの科学	寺田 新	教養学部（スポーツ身体運動部会）
授業の目標・概要	書店では、減量法・ダイエット法に関する書籍が数多く発刊されており、ネット上にも様々な情報が氾濫している。これらの情報のうち、どれを信じてよいのかわからなくなったことはないだろうか。このように世の中に溢れる健康情報に対して、それらを総合的に考え、自分に当てはまる情報を取捨選択する能力を身につけることが必要とされている。このゼミでは、世の中に広まっている減量・ダイエットの理論がどのようにして構築されてきたのか？それらはどのような科学的根拠に基づいているのか？ということについての検証を通じて「健康リテラシー」を身につけることを目指す。また、実際に自分たちが研究者となって新たな減量法・ダイエット法およびダイエット食品などを開発しようとした場合、どのようなテーマで研究を行うか？どのような実験を行ったらよいのか？ということについて考え、一連の研究プロセスについて学ぶことを目標とする。			

31678	金 3	化学のブレークスルーに学ぶ(1)	細野 暢彦	工学部
授業の目標・概要	化学のブレークスルーに学ぶ(1)では、工学部応用化学科で現在精力的に研究が行われている無機化学・有機化学系の世界最先端のトピックをとりあげ、その研究がもたらした各分野のブレークスルーを学びます。本講義では、無機化学・有機化学をベースにした材料開発について、基本原理から実際の研究の様子や舞台裏、応用展開に至るまでを論文輪読、文献調査およびそれらに携わった研究者達の話の中でより身近に感じ、学ぶことができます。主に、触媒、有機エレクトロニクス、高分子材料などを題材にして、これらの研究がどのように生まれ、どのようなブレークスルーがあったか、また、これらの研究やその応用展開が現在どのように社会の役に立っているのかを、ゼミナール形式の授業で学習します。			

31679	金 3	分子の魅力に触れる	塩谷 光彦	理学部
授業の目標・概要	開講場所：駒場 1 号館 118 教室／Komaba Bldg.1 Room 118 原則として対面で行う。 （本ゼミの概要と目的） 自然界はさまざまな「分子」で溢れている。化学はそれらを研究対象にする場合もあれば、化学者が自在に設計し、果敢に合成にチャレンジする場合もある。医薬、材料、触媒、環境物質が対象になると、化学者の目は分子間の「相互作用」に向けられ、ごく自然に 1 + 1 > 2 の超分子化学が生まれた。このような流れの中で化学者は、共有結合で構成された「分子」と、共有結合以外の比較的弱い相互作用に基づいて形成される分子やイオンの集積体である「超分子」を視野に入れて研究を進める必要がある。本ゼミでは、「分子」の基礎を概観し、さらに分子構造に基づく「超分子」の設計、合成、構造、反応、機能について学ぶことを目的とする。 （本ゼミの目標） 1．自然界の分子や化学が作り出すさまざまな分子の基礎を理解する。 2．分子間の相互作用に基づく超分子の構築原理と機能について学ぶ。 3．研究紹介のプレゼンテーションのスキルを学ぶ。 4．簡単なデモ実験を通して（ビデオを検討中)、分子や分子集合体を身近に感じてもらう。			

31680	金 3	ブレイン・マシン・インターフェース	川嶋 健嗣	工学部
授業の目標・概要	授業の目標・概要： 脳活動に伴って生じる微弱な電流を計測する原理を理解し、脳波信号の計測・解読と，解読データを用いたロボットの制御を体験することを目的とする。			

31681	金 3	植物と微生物の隠された共生関係 多種多様な微生物と植物との相互作用を紐解く考え方・先進技術を学ぶ	晝間 敬	教養学部（生物部会）
授業の目標・概要	授業の目的： ・植物と微生物の相互作用やそれにより覚醒する植物の環境適応能力について学ぶ。 ・英語原著論文の基本的な構成を知ると共に有益な情報を抜き出すための読解法の基本を習得する。 ・これまでの知見を学ぶことで、未解明な現象を見いだし、それを解き明かすための方法論を考えるための基本を習得する。			
31682	金 3	生物が人類にとって有用な化合物を作るしくみを考える	岡田 茂	農学部
授業の目標・概要	（授業の概要） 「山の恵み・海の幸」と言う様に、生物は我々の食料源である。生物は又、食品以外の様々な有用化合物を人類に提供している。人類がその恩恵を十分に受けるには、当該生物がどの様にそれらの有用化合物を作っているかを理解することが重要である。本ゼミナールでは、グループ毎に過去の研究事例に関する文献講読を行い、その内容を相互に説明することで、科学論文の読み方、研究成果の発表法を身につけるとともに、生物による有用化合物生産を研究するための手法を学習する。さらに、グループ毎に興味を持った化合物について、その生産性を高めるための方法を議論する。 （授業の目標） ・自身の研究遂行上、必要な研究手法に関する情報を取得する方法を身につける。 ・自然科学を行う上で、問題点は何かを思考する癖を身につける。 ・グループディスカッション等を通じて、互いの情報交換能力等を高める。			
31683	金 3	物理のための数学ゼミ	荒井 俊人	工学部
授業の目標・概要	大学で物理学を勉強するに当たり必要と思われる数学的知識をゼミ形式の演習と発表を通して理解を深めます。物理学を習得するための数学の初歩を学び、数学が実際にどのように使われているかを自ら調べ、調べた内容を他の受講者の前で発表します。力学、電磁気学など、身近な物質の性質を研究対象としている物性物理学を中心的な題材としますが、それ以外の興味ある物理学のトピックに着目しても構いません。受講者を 4,5 名から成るグループに分け、各グループで興味ある物理学のテーマを設定し、そこに使われている数学について解説したり、自分で関連した問題を作成して解法を解説する形式で進めます。受講者間の討議や文献検索を通して内容をまとめ、それをプレゼンテーションによって他人に分かりやすく伝える事を学びます。			
31684	金 3	海を知ろう	坂本 健太郎	大気海洋研究所
授業の目標・概要	本授業は、大気海洋研究所所属の教員 2 名のリードのもと、「海」について様々な側面から掘り下げて考える機会を提供します。「能動的」な学びの過程を通じて皆さんに「研究」の初歩を体験してもらうことを目指します。海に関する予備知識は必要ありません。むしろ、海について学んだことのない方の履修を歓迎します。 本授業で主に行うのは、調べる、まとめる、発表する、議論する、といった作業です。この中でも、特に「議論」に重点を置きます。教員の発表を学生が聞く時間は必要最小限にし、学生が主体的に参加し進めてゆく授業となります。 大気海洋研究所の塩崎拓平准教授が副担当教員となります。			

グループ６　１年 理一(22,24,34-35,38)理二三(17-18,22-23)

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31685	水 3	初年次ゼミナール「地盤防災入門」	清田 隆	生産技術研究所
授業の目標・概要	私たちの生活に深刻なダメージを与える自然災害発生メカニズムを紐解くと、その多くが地盤の挙動と密接な関係がある。東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震などの近年の地震を振り返ってみても、造成地の崩壊や液状化による構造物やインフラの深刻な被害が数多く発生している。本ゼミナールでは、これら地盤災害の発生メカニズム、および地盤災害から社会を護る手段を、講義とグループディスカッションを通じて理解を深めます。地盤の強度に影響を及ぼす要因とは何なのか、地震時に地盤はどのように振る舞うかなど、基本的な議論や過去の地震被害の取りまとめや発表、学生が自ら作製する地盤模型を用いた実験を通じて、地盤防災研究を体験します。 対面講義の開催場所は以下の通り。 駒場リサーチキャンパス（駒場 II）生産技術研究所 総合研究実験棟 As 棟 中セミナー室（An401・402） アクセス・キャンパスマップ http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/access/		
31686	水 3		飯野 雄一	理学部
授業の目標・概要	UTAS web シラバス参照			
31687	水 3	「デジタルマニュファクチャリング入門」	杉田 直彦	工学部
授業の目標・概要	・対面です．KOMCEE（予定） です. ・自分の PC を持ってきてもらう必要があります. ・ものづくりで必須となる，ツールである Fusion360, Matlab を体験します. ・解析，CAD を通してイメージしたものを図面にし，3D プリンタを用いて形にします			
31688	水 3	家に何かつくる ーデジタルファブリケーションとパラメトリックデザインを試すー	権藤 智之	工学部
授業の目標・概要	大学入学を機にアパートや寮で一人暮らしを始めた人も、実家から大学に通っている人も、ほぼ全て何らかの住宅に暮らしている。何もかも満たされた住宅というのは希で、多くの場合は、部屋が狭い、暑い・寒い、収納が足りないといった不満をかかえているし、植物を置きたい、作業できるスペースをつくりたい、といった欲求もある。 住宅の良いところは、多少は手を加えられる点にある。コロナ禍の DIY ブームなど見ても、家に手を加えることは必要に迫られてやるだけでなく、娯楽や趣味の 1 つにもなりうるし、自分でつくったものや空間には愛着も湧く。さらに、住宅に手を加える自由度は広がっている。DIY 用の住宅部品はインターネットで購入できるし、レーザーカッターや 3D プリンタなどデジタルファブリケーションの技術によって複雑な造形も可能になった。 この授業では、各自の住宅の問題点を見つけてもらい、改善案を実行してプレゼンしてもらう。単純に直すだけでは物足りないので、近年の設計の潮流でもあるパラメトリックデザインを用いてグループのメンバー間で何らかの共通点とパラメーターを持つデザインをしてもらう。パラメーターは部屋の形状や寸法でもいいし、問題の程度や使う頻度など様々である。 到達目標は、(1) 日本の住宅の現状について理解を深め、住環境に関心をもつこと、(2) 3D モデリングソフトを使い、パラメーターを変えるだけで多様なデザインが生まれるパラメトリックデザインをグループのメンバーと共同で実践すること、(3) レーザーカッター、3D プリンタ、CNC ルータ等のデジタルファブリケーション機器を使い基本的な操作や加工内容を理解すること、(4) レポート執筆やプレゼンテーションの能力を向上させること、の 4 点である。		
31689	水 3	マテリアルズ・インフォマティクスによる2050 年の鉄鋼材料開発	白岩 隆行	工学部
授業の目標・概要	授業のキーワード「鉄」は 3000 年に渡り、私たちの生活と社会を支えてきました。自動車、鉄道、建物など身の回りの多くの製品には鋼材が使われています。世界最長の吊り橋の明石海峡大橋、東京スカイツリーなどのランドマークも鋼材により作られています。これから先も、鋼材が私たちの社会の基盤材料であることは間違いないです。本授業では、機械学習を用いたマテリアルズ・インフォマティクス（MI）による鉄鋼材料開発の体験と、マテリアルフロー分析を用いた 2050 年までの世界の鉄鋼需要の予測を実施します。 マテリアルフロー分析では、日本および世界の過去（1950-2015 年）の様々なデータ（人口、経済発展（GDP/人）、粗鋼生産量、鋼材の用途別消費量、製品の寿命など）を解析し、鋼材消費量がどのような因子と相関があるかデータ解析を行います。そして、相関解析から得た知見を基に、2050 年までの世界の鉄鋼需要の予測を行います。 また近年、機械学習を用いて材料開発を加速する技術として、マテリアルズ・インフォマティクス（MI）が注目されています。授業の後半では、材料データについて機械学習することで材料特性（疲労強度など）の予測を行います。機械学習による鉄鋼材料開発を体験することで、MI の利点や限界を学習することを目標とします。		

31690	水 3	非凡なタンパク質を探索しよう！	若杉 桂輔	教養学部（化学部会）
授業の目標・概要	（授業の概要） 全ての生き物において、タンパク質は、DNA 遺伝情報をもとに合成され、生命活動を維持するのに必須の生体分子である。タンパク質は、食事としても体に取り入れる必要がある栄養素でもあり、また、医薬分野や産業的にも利用されている。本ゼミナールでは、この身近な分子「タンパク質」をターゲットに、自ら問題を発見し、科学的な問いとして設定し、問題を解決するプロセスを通じて、主体性を育成する。 （授業の目標） ・未知なる問いへの探求姿勢、問題発見・解決する能力、論理的思考力を身に付ける。 ・グループでの協同学習により、分析的、批判的思考、建設的議論、コミュニケーション能力を鍛えることを目指す。 ・文献検索、研究倫理の理解、論文読解能力、プレゼンテーション能力、レポート・論文執筆能力などのサイエンティフィック・スキルを身に付ける。		
31691	水 3	原子力エネルギーと社会/ Nuclear Energy and Society	斉藤 拓巳	工学部
授業の目標・概要	原子力エネルギーの原理を理解し、それらの社会受容性を討論する。特に、他のエネルギー源との比較、地球環境の影響、廃棄物処分の問題を調査、議論し、社会受容性を考える。そして，複雑な問題の中から課題を抽出し、その解決方法の発見を試みる。最後は討論内容をプレゼンテーションし、発表技術も向上させる。			
31692	水 3	相対論について考える	酒井 邦嘉	教養学部（物理部会）
授業の目標・概要	（授業の目標） ・サイエンスにおける問題発見と解決方法の基礎を学び、結論だけでなく科学者の思考過程そのものを理解できるようになる。 ・「科学発表の 3 原則」である、「正しく、分かりやすく、短く」を心がけて実践に生かせるようになる。 ・自ら問題に取り組みながら科学研究に必要な「論理的な思考力」を磨くことで、学問の進め方の基礎を身につける。 （授業の概要） 物理学の発展の歴史に相対論を位置付け、アインシュタインの仕事を通して発見の軌跡を自分たちで追体験します。また、科学研究の成果をいかに正確に、そして分かりやすく伝えるかを重視して、議論や発表の基本を学びます。小グループ分けによる協調学習を通して、論理的な思考力を深めることを目指します。		
31693	金 4	化学のブレークスルーに学ぶ（2）	長島 一樹	工学部
授業の目標・概要	本講義では、工学部応用化学科で現在展開されている無機化学・有機化学・計算化学をベースとした材料・デバイス開発研究の世界最先端トピックを取り上げ、ブレークスルーを生み出すきっかけとなった発見や成果をもたらした研究を通じて化学研究の魅力に触れると共にベーシックなサイエンティフィックスキルの習得を目指す。主に、化学センサ、高分子材料、蛋白質機能などを題材として、最先端研究を牽引する研究者による話題提供や文献読解により研究背景や基本原理、実際の研究とその舞台裏、応用展開や新しい概念の創出に至るまでを順を追って学び、グループディスカッションや演習などにより理解を深める。		
31694	金 4	植物研究入門 -生態系からゲノム編集まで-	大黒 俊哉、森田 隆太郎	農学部
授業の目標・概要	植物は二酸化炭素と水、太陽エネルギーを使って光合成を行い、人類をはじめ他の生物の生存に必要不可欠な有機物と酸素を作り出します。国際連合が定めた 17 の持続可能な開発目標 (SDGs：Sustainable Development Goals)のうち、特に「2. 飢餓をゼロに」「15. 陸の豊かさを守ろう」を達成するためにはより一層植物の食物、生態系を支える生産者としての役割が重要となってきます。また、私たちを取り巻くさまざまな植物＝「みどり」は私たちの暮らしにゆとりやうるおいを与え、安全で快適な生活に不可欠な役割を担っていることから、「11. 住み続けられるまちづくりを」「3. すべての人に健康と福祉を」などの目標とも深く関わっています。農学や生態学の専門家が担当する本初年次ゼミでは、「作物の栽培化からゲノム編集作物誕生までの歴史」や「まちのみどりから乾燥地の緑化まで、暮らしと生存を支える植物の多様な機能」について、関連する論文に基づいてグループディスカッションやフィールド調査を行います。そして人類の生存、そして持続的な文明を築く上でどのように植物と向き合い利用していくか、その道筋を考察します。		

31695	金 4	身近な物理でサイエンス	松本 悠	教養学部（初年次教育部門）
授業の目標・概要	簡単な測定や実験データ整理・解析、ものづくり等を実際に経験してもらい、試行錯誤や実験の難しさと計画性の重要性などを学んでもらいます。限られた材料・工具・時間の中で、自由な発想をもって、問題発見と解決方法・実験方法などを自分たちで考案してもらいます。小グループに分かれ、議論による協調学習を通して、コミュニケーション能力を伸ばしてもらいます。 ・何かを研究する時に、何が分かっていて何が分かっていないのか、何が問題でどうやったら解決できるのか、自分の頭で考えることができるようになる ・実験データの簡単な解析方法と、そこから導かれる結論を論理的かつ客観的に論じる力を身につける ・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、サイエンスコミュニケーション能力の基礎を身につける ※授業オンライン化に伴い、実験を個々人が自宅でできるよう見直し中です。 ※授業の目的や授業の大まかな流れは変えないつもりですが、具体的な作業や課題は変わると思って下さい。		

31696	金 4	海と気候変動	岡 英太郎	大気海洋研究所
授業の目標・概要	本授業は、大気海洋研究所所属の教員 2 名のリードのもと、「海」、そして海と気候変動との関わりについて、様々な側面から掘り下げて考える機会を提供します。「能動的」な学びの過程を通じて皆さんに「研究」の初歩を体験してもらうことを目指します。海に関する予備知識は必要ありません。むしろ、海について学んだことのない方の履修を歓迎します。 本授業で主に行うのは、調べる、まとめる、発表する、議論する、といった作業です。この中でも、特に「議論」に重点を置きます。教員の発表を学生が聞く時間は必要最小限にし、学生が主体的に参加し進めてゆく授業となります。 大気海洋研究所の黒田潤一郎准教授が副担当教員となります。		

31697	金 4	地球環境と生命史	池田 昌之、奥村 大河、高橋 聡	理学部
授業の目標・概要	この授業では、地球史を通じた地球の表層における物質の循環プロセスと、その生物との関わりの相互作用、進化について学習します。地球表層は、大気・海洋・土壌など性質の異なるシステムから構成され、物質循環の挙動はシステムごとに特徴があり、扱う時間スケールによっても変わります。これら環境中の物質循環および生態系に関するとトピックとして、環境汚染・環境変動、生物多様性変動などを題材にグループワークを実施し、環境動態や生態系の応答、環境と生態系の相互作用とその進化などに対する異なる視点を共有します。その後、文献調査・データ解析を通して問題解決法について洞察します。授業を通じ、以下の目標を達成します。 ・地球環境における物質循環要素を理解できるようになる。 ・環境・生態系を対象にした基礎的なデータ解析ができるようになる。 ・環境変動に対する理学的視点を身につける 新しい規則性の発見や、斬新な仮説がこのゼミナールから生まれることを期待します。 ＊「教科書」を含め、入力済みの項目は必要に応じて削除・更新をお願い致します。＊		

31698	金 4	生きることを支える看護科学研究入門	五十嵐 歩、角川 由香	医学部
授業の目標・概要	自分たちで設定した健康に関する問題の解決のために、研究計画を立案し、調査を行い、考察する過程を実際に行うことができる。			

31699	金 4	電子回路で学ぶモデリング手法	三田 吉郎	工学部
授業の目標・概要	本ゼミでは、凡そ理科を志す者にとって必須のスキルとなる「未知の現象を正確に観察、定量化し、モデルを立てて振舞いを理解する」作業を、具体的な電子回路を例にとってわかりやすく学習し、身に付けることを目的とする。 本講義では、学生の理解の進捗を注意深く観察し、講義・演習の長短を含め柔軟に対応する。 対面を基本としつつ、突発的な事情に対応できるよう配慮した講義設計とする。 学習する回路の例: (0)実験設備製作体験 (1)線型な回路、非線形な回路(スケールの議論) (2)振動する現象 I(定常状態) (3)振動する現象 II(過渡的応答) (4)能動素子の考え方 (5)増幅回路 (6)発振回路 (7)変調復調回路(AM 送受信機) (8)その他の素子(MEMS 等) 身に付けらるスキルの例: (あ)現象を数式で表現して理解する手法 (い)スケール(ログ、リニア)を変えた特性の評価 (う)周波数領域での事象の理解 (え)時間領域での事象の理解と周波数との関連性 (お)線形化による見通しのよい特性理解 (か)電気系で使用する様々な器具に触れる(テスタ、オシロスコープなど)		

基礎科目　社会科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30547	S	法I	西村 弓	法・政治	火 5	1 年 文二 2 年 文二
講義題目 授業の目標概要		法学入門—国際的視点から この授業では法学を学んでいくにあたっての基礎的な思考方法を修得することを目指します。条文・判決文・学説等の法学的テクストを厳密に読み、解釈する力を養うことがその目標の 1 つとなります。現代においては国内社会と国際社会が相互に大きく影響しあっていることから、素材としては法的規律の国際的側面を中心に取り上げ、さまざまに生じている具体的な事案に即して検討を進める予定です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30586	S	法I	小粥 太郎	法・政治	水 1	1 年 文一 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要		法学部における（実定法分野の）学びへの入門 教養学部前期課程文科I類の学生の多くが法学部に進学することを考慮し、法学部における学びへの橋渡しを行います。 法学部が提供する科目は、法学系・政治学系に大別され、前者はさらに、実定法（民法、刑法、商法・・・）科目・基礎法（法史、法哲学、法社会学・・・）科目に大別されることが通例です。この実定法に関する科目は、当該分野の体系を示しつつ、個々の法律規定の解釈、ときにあるべき立法を論ずるなど、世間でいう法学の典型であり、実際に、法学部生の学びの中心を占めることも少なくないものです。 ところが、法学部の実定法分野で学ぶ内容は、高校までに学んださまざまな教科とは、性格が異なるとの印象を与えることが多いようです。 そこで、この講義では、憲法、民法、刑法といった分野の具体的な問題を素材として、それぞれの分野でどのようなことを学ぶのか、体験する機会を提供します。加えて、いくらか視野を広げ、現代日本で法学を学ぶ意義についても、お話しをします。これらによって、受講者が、法学部（の実定法科目）ではどのようなことを学ぶのかのあらましを理解し、進路選択の材料を獲得し、とくに法学部に進学する学生に対しては将来の学びに円滑に移行することを期待しています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30587	S	法I	弥永 真生	法・政治	水 1	1 年 文三 2 年 文三
講義題目 授業の目標概要		社会における法の役割 主として社会・ビジネスにおいて、法がどのような役割を果たしているのかについて、ニュース記事などを題材にして、解説を加える。そのプロセスにおいて、法律学〔主として、私人間の関係を規律する私法〕の基本的知識を併せて理解していただくことを目的とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30161	S	政治I	平松 彩子	法・政治	月 3	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目 授業の目標概要		理論と比較の政治学 政治学、特にその内でも比較政治学の分野で重ねられてきた議論の概略について学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30162	S	政治I	内山 融	法・政治	月 3	1 年 文一 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要		政治学の基礎概念と基礎理論 政治学の概念や理論は、政治を認識する際の有益な道具である。本講義では、政治学の基礎的な概念や理論を学ぶことにより、政治現象を見る際の「目」を養うことを目的とする。「政治」、「権力」、「デモクラシー」といった基本的な概念や、それらに関する理論について、できるだけ具体的な事例も交えつつ解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30163	S	経済I	岡地 迪尚	経済・統計	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		経済学基礎				
授業の目標概要		ミクロ経済学・マクロ経済学の基礎的な部分を取り扱う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30548	S	経済I	中西 徹	経済・統計	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		経済I：発展途上国における経済と社会				
授業の目標概要		発展途上国の社会経済を対象として経済学の分析が有する意義と限界について検討します。 開発政策の原理とその歴史，および貧困層の経済行動を検討することによって，発展途上国の社会変動についての理解を深めると同時に，これを補完ないしは代替する地域研究の役割について理解することを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30164	S	社会I	橋本 摂子	社会・社会思想史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		近代社会と官僚制				
授業の目標概要		この講義では「社会とは何か」という社会学における根源的な問いから、官僚制をキータームにわれわれの生きる近代社会特有の諸問題を把捉する。特に官僚制の極限事象とみなされる全体主義とホロコースト、その後のアイヒマン裁判および裁判をめぐる論争を学び、現代に通底する問題構成を理解する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30549	S	社会I	和田 毅	社会・社会思想史	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		社会学入門				
授業の目標概要		我々はどのように社会を観察し分析したらよいのか？この授業では、社会学の基本的な理論と方法を学ぶ。具体的には、20 世紀初頭から今日に至るまでの間に、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカで起きた主要な出来事について学び、それらを解釈していく作業を通じて、社会学的なものの見方を身に付けていく。主な教材として、英語のビデオを用いる。 授業の目標は、授業を履修した学生が、（1）日常生活の中で新聞、テレビ、インターネットを介した情報に触れる際に、その情報の内容をより深く理解できるようになること、（2）近代・現代世界史についての一般教養を身に付けること、（3）社会学、政治学、経済学などの社会科学に興味を持てるようになること、そして、（4）今後の大学における学びの過程で、より高度なレベルの社会学の授業を履修し、専門性の高い訓練を受けることを可能にすることである。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30550	S	数学I	足助 太郎	数学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		数学I				
授業の目標概要		文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，順序は異なることがある．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30563	S	数学I	松本 久義	数学	水 1	1 年 文一二(1-14)文三(1-11) 2 年 文一二(1-14)文三(1-11)
講義題目		数学I				
授業の目標概要		文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，順序は異なることがある．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30564	S	数学I	坂井 秀隆	数学	水 1	1 年 文一二(15-28)文三(12-20) 2 年 文一二(15-28)文三(12-20)
講義題目		数学I				
授業の目標概要		文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，順序は異なることがある．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30551	S	数学II	白石 潤一	数学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		数学II				
授業の目標概要		文科生向けの，ベクトルと行列に関する基礎的な内容や，計算手法を理解するための科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30588	S	数学II	関口 英子	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		数学II				
授業の目標概要		文科生向けの，ベクトルと行列に関する基礎的な内容や，計算手法を理解するための科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる．				

基礎科目　人文科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30165	S	哲学I	齋藤 幸平	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		哲学とは何か 哲学とは何を探究する学問でしょうか？ 哲学者はどのように社会の訳に立つのでしょうか？ 医学や法学と比較すると哲学の研究対象は曖昧で、哲学を勉強する意味も不明瞭に感じられることでしょう。そして、哲学はギリシャ時代からずっと同じような問いを思考し続けており、自然科学と比較して、進歩のない学問のように思われるかもしれません。そこで、この授業では、哲学の根本問題のいくつかを、現代の諸事象（ＡＩ、フェイクニュース、環境問題）に結びつけながら、哲学とは何か、哲学の根本問題の重要性を考えていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30589	S	哲学I	鈴木 貴之	哲学・科学史	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		哲学の根本問題から哲学とは何かを考える 哲学の根本問題の多くは、古代ギリシア時代から論じ続けられているものです。しかし、哲学という学問には、その時代から大きな進歩がないようにも見えます。このことは、哲学の問いは無意味な問いであることや、それらは別の方法で探究した方がよいことを示唆しているのでしょうか。そうではないかもしれません。哲学の根本問題は、われわれが当然成り立つと考えている一連の事柄がじつは整合的でないということや、一見説明できてあたりまえの事柄にじつはきちんとした説明を与えることができないことを明らかにするものだからです。哲学の根本問題は、われわれの常識的なものの見方には重大な問題が潜んでいることを示しているのかもしれません。 この授業では、哲学の根本問題のいくつかを題材として、哲学とはどのような学問なのか、哲学の問題は他の学問が扱う問題とどのように異なるのか、哲学の問題に正解はあるのか、といったことについて考えていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30552	S	倫理I	阿部 善彦	哲学・科学史	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	よく「生きる」とはどういうことか。 《人間探求 自己探求としての倫理、そして、他者とともにこの世界で生きるための倫理の探求。特に「生命」の観点から。》
授業の目標概要	「よく生きるとはどういうことか。」 これは個人の生き方の問題であり、個人的で私的なものとしてひそやかに論じられるべき問題だろうか。それとも、社会において、また、公の場面において、広く論じられるべき問題だろうか。 人間が他者とのかかわりの中に生活するものであるとすれば、他者との関係をぬきにして、よく生きるという問題を考えるとは現実的ではないだろう。もっとも小さい人間関係を想定するとしても、この世に生をうけて、よく生きる、について問うている「わたし」がそこに存在している以上、その問いを立てている「わたし」をそこまではぐくんだ人たちたちとのかかわりを抜きにして「わたし」を考えるのはあまりにも空疎ではないだろうか。(またその「わたし」は、永遠不変というよりも、幼子でありまた青年、壮年、老年期を迎えるであろううつろいゆく存在であることも考えに入れておくべきだろう)。 もちろん、「XX とは何か」「XX とはどういうことか」という問いを立てるならば、思惟はおのずから抽象度を高めてゆくだろうし、そのことによって、普遍性を得ていくことにもなろう。 また、よく生きることへの問いを、よく生きるための方法論の解明に向けて探求するということもありえる。その場合、よく生きるとはどういうことか、という問いは、どうしたらよく生きることができるのか、という問いにも言い換えられるだろう。そのようにして、よく生きるための技法も問われるだろう。 人間の生が目的や意味の認識に基づいて意志的にかたちづくられるものであれば、なおさら、なぜ、何のためという問いとともに、どのように、いかにして、という問いも必要となるだろう。 （しかし、同時に、人間の生がそのように認識や意志によって形成されるものに尽きるのかどうか、ということも改めて問い直さねばらないだろう。つまり、人間が理性的・意志的な主体であるという設定や、それにもとづく自由や幸福についての考え方などがいかほどのものであるのか、その起源・源流を含めて、改めて問い直さねばならないだろう。） また、そうした問いの数々のさきに、いかなる答えがあるのだろうか。それは個人的なものなのか、それとも、個人的なものを超える普遍性や客観性をもつものなのか。後者でないならば人間共同体はなにをもってよい生き方やよい社会の秩序を構成できるのだろうか。また後者であるならば個人の自由な発想や選択の余地は確固とした普遍的なもの、客観的なもののなかでどのようにみとめられるのだろうか。 この授業ではこうした諸問題を念頭に置きつつ、さまざまなテキストを手がかりにしながら、人間が生きるための根本問題を探求する。それは一方では、わたしがいかに生きるべきか、わたしが生きる意味は何か、という人間探求、自己探求という形をとり、そこから幸福や自由が課題として浮かび上がる。他方、わたしが生きるのは、いまここにおいて、であり、それは過去から未来とのつながり、また、そこにとも生きる人々とのつながりから切り離し得ない以上、他者とともにともにこの世界で生きるとはいかなることか、という探求も必要となる。そこから、他者、自然、生命、世界、正義、愛、人間の尊厳という課題が浮かび上がる。22 年度については、特に、生命、身体、そして、野蛮という問題から考えてみたい。そうした探求の手がかりとなるテキストをともに読み、対話によって互いの理解を共有しながら、自らの考えと言葉を深めてゆく。そのために思考停止せずに考え続けることが重視される。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30166	S	歴史I	岡田 泰平	歴史学	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　東南アジア近現代史概論

授業の目標概要

本講義では主に 19 世紀半ばから現在に至るまでの東南アジア史を扱います。東南アジアにおける「近代」であり、おおまかに言うと、独立前と独立後にそれぞれの二つの経路があります。独立前には、東南アジア大陸部においては伝統国家が西洋帝国主義に支配されます。それに対し、東南アジア島しょ部では交易のネットワークが明確な領域を持つ植民地に組み込まれます。その後それぞれが独立していきます。そして、一方では共産主義を国家の体制に組み込まれるベトナムなど、他方では資本主義体制を是とするフィリピン、マレーシア、シンガポールがあります。それが、１９９０年代前後には市場経済化され、一部の国は民主化されます。

近年では、グローバル・ヒストリーが旺盛であり、歴史認識の単位としての国民国家を乗り越えて、人々の繋がりが強調されます。他方、東南アジアにはインドネシアから東ティモールまで１１の国民国家が存在しており、近現代においては、それぞれが固有の歴史を歩んできたと考えることもできます。また、東南アジア地域主義の結実として ASEAN が論じられますが、そこでも国家代表による合議という側面も否定できません。

そこで、本講義では、

【第１部】１９世紀半ばまでの東南アジア世界

【第２部】各国のナショナリズム、それぞれの植民地主義の影響

【第３部】日本占領の衝撃

【第４部】独立後：共産主義、開発主義、地域主義の模索

と時系列的に扱います。インドネシア、マレー、フィリピン、ビルマ（ミャンマー）、ベトナム、タイ（シャム）の主要なナショナリズムおよび国民国家を中心に取り扱います。ただし、第７回ではラオス、カンボジアを扱い、第９回ではラオス、第１１回ではカンボジアにも触れます。第１２回では「小国」を論じます。

基本的な認識としては、人権や民主主義の没落の問題はあるにせよ、それなりの共存が達成され、それなりに安定した地域形成がされてきたのが、この地域の特徴です。多様であり衝突するが極端に酷いことにはならない、他者に対する不満はあるが、おおむね大規模な武力衝突は回避する、というような行動様式がそれなり機能してきており、域内の大国が覇権を求めることを自制するという謙虚さもあります。それぞれの国のナショナリズムが強く、国力が増すと覇権や倫理的優位性を求めるという東アジアの近現代史とも、基準を設定しその基準を達成できない人々に対しては暴力と支配を厭わないという西洋の近現代史とも異なる歴史が東南アジアにはあります。本授業では、国民国家中心というやや古臭いアプローチを基調としつつも、この地域に対する理解を深めることを目標とします。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30167	S	歴史I	井坂 理穂	歴史学	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　衣食住からみたインド近代史

授業の目標概要

この授業では、植民地期から独立前後にかけてのインド社会の変遷を、衣食住をめぐる議論に焦点を当てながら考察する。植民地支配の拡大、ナショナリズムの台頭、独立後の国民国家建設というそれぞれの過程が、人々の衣食住のあり方をめぐる認識や実践にどのような影響を与えていたのかを、異なる立場や社会集団に属する人々の事例を取り上げながら検討する。インド近現代史への理解を深めるとともに、様々な史料に触れながら、歴史研究の可能性について考察してみたい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30553	S	歴史I	中野 耕太郎	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　アメリカ合衆国と「人種」の歴史

授業の目標概要

本講義は、アメリカ合衆国の歴史のなかで、「人種」という概念が生成し、変容していく過程を通観し、ひいては、今日のアメリカに顕著な分極化の意味を問い直すものである。具体的には、近代アメリカの奴隷制から 20 世紀の人種隔離制度（ジムクロー）、遺伝学や人類学から派生した「科学的人種主義」、そして現代の貧困や暴力と結びついた「新しい人種主義」などをトピックとして取り上げる。

上記のように、多様な形態で現れるアメリカの人種問題は、各時代の政治や社会、対外関係と密接な関係がある。「人種」の歴史を学ぶことで、今日にいたるアメリカ史の大きな流れを理解してほしい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30590	S	歴史II	田中 創	歴史学	水 1	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　歴史学の思考法（1）

授業の目標概要　「歴史を学んで何になるんだろう」――年号や人名の暗記に苦しんだ受験勉強の最中に、そんな風に思ったことはないだろうか。しかし歴史学とはもちろん暗記ではない。「史料に基づき過去の人間生活の事象を研究する学問」である。それは専門的な学問領域であると同時に、“歴史学的にみる・考える”という普遍的な思考力を身に付けるためのトレーニングでもある。物事を常に長期的な視野で見る姿勢、経験不可能な物事に対するリアルな推測力、「現在」を相対的に視る力――歴史学によって必然的に養われるこれらの力（＝歴史学的思考）は、過去を振り返るときだけでなく、今を生き、未来を踏み誤らないためにも必要不可欠のものだろう。
こうした認識に基づき、前期課程の学生が、歴史学的思考法とは何かを知り、“歴史学的にみる・考える”力を養うことができるよう、教養学部の歴史学教員は、「歴史II：歴史学の思考法（1)」と「歴史I：歴史学の思考法（2)」(A セメスター開講）のふたつの授業をリレー講義形式で行うことにした。いずれも 5 名ずつの教員からなり、両方受講しても、いずれか一方を受講しても差し支えないよう、内容やバランスを加味して構成してある。
歴史学の研究とは、どのような発想と手法によって進められ、その結果どのような歴史像が描き出されるのか。歴史学を専門的に学びたい学生ばかりでなく、歴史学的思考法を身につけたいと考えるすべての文科生に受講してほしい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30591	S	ことばと文学I	森 芳樹	ドイツ語	水 1	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　意味論に基づく言語の比較対照と普遍性：ドイツ語を中心に

授業の目標概要　この講義では、先学期の総合科目に引き続き、主にヨーロッパの諸言語を扱いながら、様々な言語現象について各言語でどのように表現されるかという観点から、「言語」とはなにかということと個別言語の特性とはなにかということの双方について考察を進める。ただし今回は基礎科目での開講で枠組みも異なり、先学期の講義を前提としない、新しい講義となる。日本語との対照も課題の一つである。
ドイツ語を中心に据えて、意味論（・語用論)、統語論上の現象を扱いながら、言語の対照比較について議論する予定である。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30592	S	ことばと文学I	遠藤 智子	言語情報科学専攻	水 1	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　語用論入門

授業の目標概要　語用論とは、音韻論や意味論、形態論、統語論等と並ぶ言語学の一分野である。言語表現に内在する構造や機能ではなく、用いられる環境に依拠して出現する要素を語用論は扱う。しばしば「語用論のゴミ箱」といういささか不名誉な比喩にも用いられる分野であるが、人間が言葉を用いて社会的行為を行う際に働いている原理・原則を理解するには、語用論の知識は不可欠なものである。本講義では語用論の諸概念（照応、前提、含意、言語行為、ポライトネス等）を学ぶ。身の回りに観察できる言語使用から関連する例を収集し、語用論的な分析ができるようになることを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30554	S	ことばと文学II	品田 悦一	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　『万葉集』東歌を読む

授業の目標概要　東歌は『万葉集』巻十四所載の短歌 230 余首の総称。前半の 90 余首は国別に分類されているが、それらをも含めてすべて作者不明。全巻中の異彩ともいうべき歌々であり、性愛の歓喜をほがらかに歌い上げたものや、誇張された表現で笑いを誘うものが多い。
東歌は過去 100 年あまり、防人歌とともに『万葉集』の全階級的布陣の例証と見なされ、国民歌集としての『万葉集』像を支えてきた。種々の検証を通じて認識を抜本的に改める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30168	S	ことばと文学III	矢田 勉	国文・漢文学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		近代日本語概説 主として、平安時代末期から江戸時代末にかけての、近代日本語の歴史を扱う。(日本語史研究では、平安時代末期以降を「近代」と呼ぶのが慣例である) 日本語史研究は、資料に語らせる学問である。従って、日本語史研究にあたって最も重要な前提知識は、日本語史の証人となりうるような資料にはどのようなものがあるか、それぞれの資料は証人としてどのような特質を持っているか、資料から証言を引き出す方法はどのようなものであるか、といった点に関することである。それを理解することがこの講義の第一の目標である。 講義形式によって進めるが、毎回、重要な近代日本語史的事象と共に、それに関わる具体的資料を取り上げる。可能な限り、授業ではそうした資料を受講者と共に読解する時間を設けたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30169	S	心理I	四本 裕子	心理・教育学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 ヒトや動物の心や行動を対象とする心理学は、その科学的測定の特殊さゆえ、誤った理解や理論が社会に広がることも多い。心理学は、人間の心と行動の理解を目指す歴史ある学問であるが、心理学における研究手法は、科学技術の発達とともに常に変容しつづけている。本講義では、これまでの心理学実験の例やそこから導きだされた理論を学ぶことにより、心理学の基礎を学術的に理解することを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30555	S	心理I	田谷 修一郎	心理・教育学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 誰しも「心とはこういうものだ」という素朴な信念を持っているだろう。しかしそうした内省が，我々のものの見方の持つバイアス（歪み）の影響を逃れることは難しい。心理学とは科学的な手続きによってこのバイアスを回避し「心」の仕組みについて普遍性のある説明を与えることを目指す学問である。本講義ではまず「心理学の成り立ち」について触れ「心」を測定することの難しさと，その困難を先人たちがどのように乗り越えようとしてきたかを学ぶ。その上で，過去の研究から導かれる「人の心の基本的な仕組み及び働き」についてデモンストレーションや模擬実験を交えながら解説していく。単に現象や理論について知るだけなく，研究の手続きについても学ぶことで，心理学の可能性と現時点における限界の双方について考えることのできる講義を目指す。				

基礎実験Ⅲ・基礎実験Ⅳ

基礎実験Ⅲ・基礎実験Ⅳ	開講区分	S

授業の目標・概要

自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。
1）将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。
2）基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。
3）未知の自然現象の解明を目的とする科学実験に必要な観察力・姿勢を養い、自ら実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。

授業の方法

月曜から金曜の指定された曜日に週1回受講する。実施日程、実験種目ローテーション、事前準備などに関しては、UTAS もしくは ITC-LMS に掲示するので、前もって確認しておくこと。

【関連ホームページ】
◆基礎実験（物理学）：http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/kisobutsurigakujikken/
◆基礎実験（化学）：http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html

成績評価方法

成績は、出席、予習、実験ノート、後片付け、提出物（物理学実験は実験ノート、化学実験は実験報告書）で評価する。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　　基礎実験（物理学）は『基礎物理学実験』（学術図書出版社）、基礎実験（化学）は『基礎化学実験』（東京化学同人）
その他　　教科書は駒場生協で入手可能である。

履修上の注意

◆初回授業日に行う基礎実験 III のガイダンスには必ず出席すること。
◆基礎実験 III・IV（化学）については、受講形式をオンラインから対面に変更することはできない。
【基礎実験 IV の履修について】
◆S2 に開講される基礎実験 IV は、履修者数の状況によっては開講曜日の変更が行われる。その際には再度希望日の選択が可能である。
◆履修登録方法などの詳細は、基礎実験 III のガイダンスで周知する。

関連ホームページ

【入力不可】

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
30107	S 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
30441	S 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(23-25,29,33,36,39)
30726	S 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
30934	S 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(8,10-11,15-17,19)
31148	S 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
40015	S 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40042	S 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40103	S 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40113	S 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40128	S 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
30108	S 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
30442	S 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(23-25,29,33,36,39)
30727	S 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
30935	S 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(8,10-11,15-17,19)
31149	S 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
40016	S 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一
40043	S 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一
40104	S 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一
40114	S 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一
40129	S 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一

基礎生命科学実験・生命科学実験

基礎生命科学実験・生命科学実験	開講区分	S

授業の目標・概要

生命科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。
1）基礎講義の内容を，実験によってよりよく理解できるようにする。
2）自然科学諸分野の基礎的な実験方法を実施，理解できるようにする。
3）未知の自然現象の解明に必要な観察力やその表現力を養い，みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。

授業の方法

生命科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。
1）基礎講義の内容を，実験によってよりよく理解できるようにする。
2）自然科学諸分野の基礎的な実験方法を実施，理解できるようにする。
3）未知の自然現象の解明に必要な観察力やその表現力を養い，みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。

成績評価方法

成績は，出席，レポート，後片付けその他で評価する。出席だけでは単位は認められない。
提出されたレポートで剽窃等を認めた場合は，定期試験での不正と同様の厳正な対応を行う。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　基礎生命科学実験 第3版
著者（訳者）　東京大学教養学部・基礎生命科学実験編集委員会 編
出版社　東京大学出版会
ISBN　978-4-13-062227-1
その他

履修上の注意

・遺伝子組み換え生物の取り扱いや動物実験に関するオンライン講習とテストに合格しておくこと。未受講や不合格の場合はレポートを受け付けないので留意すること。
・レポートは実習日 16:40 までに提出する。遅れての提出は認めない。〆切の指示が別途ある実験についてそれに従う。
・授業開始直後から実験内容，注意点などの説明を行うため，遅刻すると全体の進行に支障が出ることに留意すること。授業開始 30 分以降の遅刻は欠席扱いとする。
・本実験のウェブサイトからダウンロードする「実験補遺」には，各種注意事項や実験手順の補足に加え，レポートに関する内容も記載されているため参照できるようにしておくこと。
・大学の指針に従い，感染状況に応じて授業計画が変更になる可能性があるため留意すること。
【文科生向け】
・S 1「基礎生命科学実験」の履修を希望する文科生は，4 月 6 日までに ITC-LMS に各自登録し，さらに本実験のウェブサイトに提示した専用の Google フォームで受講希望曜日等を連絡した上で，初回授業に必ず出席すること。これに加え教務課に履修認定カードを提出のこと（これを忘れると単位取得ができない）。
【S 2「生命科学実験」履修希望者向け】
・S 2「生命科学実験」履修希望者は，S1「基礎生命科学実験」を履修していることを必須とする。火・水・木から希望受講曜日を選択すること。2 回目の訂正期間に履修を変更する者は，S2 ターム開始前までに本実験ウェブサイトの問合せ先に必ず連絡すること。

関連ホームページ

・本実験では考察まで含めたレポートを授業時間内に提出する。限られた時間内でレポートを提出するために，教科書と付属動画および実験補遺等を使ってよく予習しておくこと。予備知識がない場合は充実したレポートを書くのは難しいことが想定される。
・予習によってあらかじめ流れを把握しておくこと。実験では，事故を回避することや余計な動きを減らすことも肝要である。一個人の遅れが全体の進行にも支障をきたすことがあり，授業時間内に実験が完了できなくなることがあるので十分留意しておくこと。

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
30154	S 1	月 3, 月 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(1-3,5-6,9,11)
30449	S 1	火 3, 火 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(10,16,21,24)
30738	S 1	水 3, 水 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(14-15,17-18)
30937	S 1	木 3, 木 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(4,8,19-20,22)
31162	S 1	金 3, 金 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(7,12-13,23)
31300	S 1	集中 6	基礎生命科学実験 α	2 年 理科
40044	S 2	火 3, 火 4	生命科学実験	2 年 理科
40105	S 2	水 3, 水 4	生命科学実験	2 年 理科
40115	S 2	木 3, 木 4	生命科学実験	2 年 理科
40133	S 2	集中	生命科学実験 α	2 年 理科

数理科学基礎

数理科学基礎	開講区分	S 1

授業の目標・概要	科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び，高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする． 講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなり，それぞれ通しの授業として開講される．本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する．
成績評価方法	主として S1 ターム末に行われる定期試験によるが，担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_s1.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30003	月 2, 水 1	木田 良才、清田 正夫	1 年 理二三(1-7)
30004	月 2, 水 1	辻 雄、小林 正典	1 年 理二三(8-10)
30005	月 2, 水 1	高木 俊輔、植野 義明	1 年 理二三(11-13)
30006	月 2, 水 1	河澄 響矢、山浦 義彦	1 年 理二三(14-16)
30007	月 2, 水 1	岩木 耕平、村上 順	1 年 理二三(17-20)
30008	月 2, 水 1	加藤 晃史、畑 宏明	1 年 理二三(21-24)
30140	月 4, 木 3	白石 潤一、下川 航也	1 年 理一(20-23)
30143	月 4, 木 3	田中 公、長井 秀友	1 年 理一(24-27)
30146	月 4, 木 3	大島 芳樹、梶原 健	1 年 理一(28-31)
30149	月 4, 木 3	高田 了、山﨑 満	1 年 理一(32-35)
30150	月 4, 木 3	佐々田 槙子、相馬 輝彦	1 年 理一(36-39)
30429	火 4, 金 3	寺田 至、斉藤 義久	1 年 理一(1,17-19)
30431	火 4, 金 3	林 修平、戸瀬 信之	1 年 理一(2,4-5,8)
30432	火 4, 金 3	関口 英子、桐木 紳	1 年 理一(3,11-13)
30434	火 4, 金 3	木田 良才、大場 清	1 年 理一(6-7,9-10)
30438	火 4, 金 3	志甫 淳、松田 茂樹	1 年 理一(14-16)

微分積分学①

微分積分学①	開講区分	S 2

授業の目標・概要	代数学，幾何学とともに，数学の根幹をなす解析学について，その基本的な考え方や方法を学ぶ．力学における運動方程式などに代表されるように，自然界の多くの現象が，微分積分学を用いて記述される．微分積分学は，あらゆる科学技術の基礎となっている．微分積分学は 17 世紀末に，ニュートンやライプニッツらによって創成された．ニュートンは量の変化の記述に注目し，速度，加速度などの物理量を表現するために微分の概念を導入した．「微分積分学の基本定理」により，区分求積法によって定義される積分は，微分の逆操作であることが，明確に認識されるようになった． 微分積分学では，極限をとること，無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす．このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は，19 世紀後半から整えられていった．この授業では，「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき，微分積分学の基礎と応用を学ぶ．具体的な項目は以下の通りである． S2 タームの「微分積分学①」で項目 1,2 を扱い，A セメスターの「微分積分学②」で項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある． 1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質，テーラーの定理，テーラー展開) 2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分，合成関数の微分の連鎖律) 3. 多変数関数の微分（続き）(高階偏微分，多変数のテーラーの定理とその応用) 4. 一変数関数の積分 (区分求積法，微分積分学の基本定理) 5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分，多重積分の変数変換公式) 6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束，広義積分) 実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は，2 年次 S セメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる．将来，本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる．なお，「解析学基礎」は 1 年次 S セメスターでも履修することができる．また，2 年次 S セメスターの総合科目として，「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」，および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」，「ベクトル解析」が開講される．
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
40003	月 2	木田 良才	1 年 理二三(1-7)
40004	月 2	辻 雄	1 年 理二三(8-10)
40005	月 2	高木 俊輔	1 年 理二三(11-13)
40006	月 2	山浦 義彦	1 年 理二三(14-16)
40007	月 2	岩木 耕平	1 年 理二三(17-20)
40008	月 2	畑 宏明	1 年 理二三(21-24)
40017	月 4	白石 潤一	1 年 理一(20-23)
40018	月 4	長井 秀友	1 年 理一(24-27)
40019	月 4	大島 芳樹	1 年 理一(28-31)
40020	月 4	高田 了	1 年 理一(32-35)
40021	月 4	佐々田 槙子	1 年 理一(36-39)
40059	火 4	斉藤 義久	1 年 理一(1,17-19)
40060	火 4	林 修平	1 年 理一(2,4-5,8)
40061	火 4	桐木 紳	1 年 理一(3,11-13)
40062	火 4	大場 清	1 年 理一(6-7,9-10)
40063	火 4	松田 茂樹	1 年 理一(14-16)

線型代数学①

線型代数学①	開講区分	S 2

授業の目標・概要	線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的，統一的に扱う手法として発明された．また，行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された．ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり，その意味で線型代数学の歴史は古い．しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され，数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく，20 世紀にはいってのことであった． 自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが，一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり，線型代数学の考え方は非常に有効である．また，量子力学や，フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており，線型代数学の応用については枚挙にいとまがない． このように，線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと，工学，農学，医学，経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており，応用範囲も広い．線型代数学は理論的には単純で明快であるが，その反面，抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある．線型代数学を身につけるには，演習などのさまざまな問題にあたり，理解を深めることが必要である． 「数理科学基礎」において学んだ線型代数に関する知識を前提とする． S2 タームの「線型代数学①」で以下の項目 1,2 を扱い，A セメスターの「線形代数学②」で項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある． 1. ベクトル空間，線型写像 2. 生成系，一次独立性，基底 3. 内積 4. 行列式 5. 固有値，固有ベクトル 6. 対称行列の対角化と二次形式
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
40069	水 1	清田 正夫	1 年 理二三(1-7)
40070	水 1	小林 正典	1 年 理二三(8-10)
40071	水 1	植野 義明	1 年 理二三(11-13)
40072	水 1	河澄 響矢	1 年 理二三(14-16)
40073	水 1	村上 順	1 年 理二三(17-20)
40074	水 1	加藤 晃史	1 年 理二三(21-24)
40108	木 3	下川 航也	1 年 理一(20-23)
40109	木 3	田中 公	1 年 理一(24-27)
40110	木 3	梶原 健	1 年 理一(28-31)
40111	木 3	山﨑 満	1 年 理一(32-35)
40112	木 3	相馬 輝彦	1 年 理一(36-39)
40123	金 3	寺田 至	1 年 理一(1,17-19)
40124	金 3	戸瀬 信之	1 年 理一(2,4-5,8)
40125	金 3	関口 英子	1 年 理一(3,11-13)
40127	金 3	志甫 淳	1 年 理一(14-16)

数理科学基礎演習・数学基礎理論演習

数理科学基礎演習・数学基礎理論演習	
授業の目標・概要	数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく，自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある. S1 タームの「数理科学基礎演習」は「数理科学基礎」の講義と, S2 タームの「数学基礎理論演習」は「微分積分学①」・「線型代数学①」の講義と一体であり，練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け，応用力を養う. 講義内容に即した応用問題の他に，講義の理解を深めるための証明問題や，講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある. S1 タームの「数理科学基礎演習」の成績評価は、「数理科学基礎」の成績に演習の平常点などを加味して行う.S2 タームの「数学基礎理論演習」の成績評価は、「微分積分学①」「線型代数学①」の成績 に演習の平常点などを加味して行う.
成績評価方法	「数理科学基礎」および「微分積分学①」・「線型代数学①」の成績に演習の平常点などを加味して行う.
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/
※講義の詳細については、UTAS も参照すること	

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
30153	S 1	月 3	数理科学基礎演習	斎藤 毅、權業 善範	1 年 理二三(1-7)
30155	S 1	月 3	数理科学基礎演習	牛腸 徹	1 年 理二三(8-10)
30156	S 1	月 3	数理科学基礎演習	高木 俊輔、伊山 修	1 年 理二三(11-13)
30157	S 1	月 3	数理科学基礎演習	今野 北斗	1 年 理二三(14-16)
30158	S 1	月 3	数理科学基礎演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(17-20)
30159	S 1	月 3	数理科学基礎演習	畑 宏明、松井 千尋	1 年 理二三(21-24)
30529	S 1	火 5	数理科学基礎演習	斉藤 義久、寺田 至	1 年 理一(1,17-19)
30530	S 1	火 5	数理科学基礎演習	今野 北斗	1 年 理一(2,4-5,8)
30531	S 1	火 5	数理科学基礎演習	牛腸 徹	1 年 理一(3,11-13)
30532	S 1	火 5	数理科学基礎演習	清野 和彦	1 年 理一(6-7,9-10)
30533	S 1	火 5	数理科学基礎演習	伊山 修、志甫 淳	1 年 理一(14-16)
30979	S 1	木 4	数理科学基礎演習	松井 千尋、權業 善範	1 年 理一(20-23)
30980	S 1	木 4	数理科学基礎演習	清野 和彦	1 年 理一(24-27)
30981	S 1	木 4	数理科学基礎演習	大島 芳樹、梶原 健	1 年 理一(28-31)
30982	S 1	木 4	数理科学基礎演習	坂井 秀隆、山﨑 満	1 年 理一(32-35)
30983	S 1	木 4	数理科学基礎演習	間瀬 崇史	1 年 理一(36-39)
40009	S 2	月 3	数学基礎理論演習	斎藤 毅、權業 善範	1 年 理二三(1-7)
40010	S 2	月 3	数学基礎理論演習	牛腸 徹	1 年 理二三(8-10)
40011	S 2	月 3	数学基礎理論演習	高木 俊輔、伊山 修	1 年 理二三(11-13)
40012	S 2	月 3	数学基礎理論演習	今野 北斗	1 年 理二三(14-16)
40013	S 2	月 3	数学基礎理論演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(17-20)
40014	S 2	月 3	数学基礎理論演習	畑 宏明、松井 千尋	1 年 理二三(21-24)
40064	S 2	火 5	数学基礎理論演習	斉藤 義久、寺田 至	1 年 理一(1,17-19)
40065	S 2	火 5	数学基礎理論演習	今野 北斗	1 年 理一(2,4-5,8)
40066	S 2	火 5	数学基礎理論演習	牛腸 徹	1 年 理一(3,11-13)
40067	S 2	火 5	数学基礎理論演習	清野 和彦	1 年 理一(6-7,9-10)
40068	S 2	火 5	数学基礎理論演習	伊山 修、志甫 淳	1 年 理一(14-16)

40116	S 2	木 4	数学基礎理論演習	松井 千尋、權業 善範	1 年 理一(20-23)
40117	S 2	木 4	数学基礎理論演習	清野 和彦	1 年 理一(24-27)
40118	S 2	木 4	数学基礎理論演習	大島 芳樹、梶原 健	1 年 理一(28-31)
40119	S 2	木 4	数学基礎理論演習	坂井 秀隆、山﨑 満	1 年 理一(32-35)
40120	S 2	木 4	数学基礎理論演習	間瀬 崇史	1 年 理一(36-39)

力学A

力学A	開講区分	S

授業の目標・概要

古典力学の基本法則とその具体的応用を微積分や解析幾何等の数学的手法を用いて考察し、物理学における論理的・体系的理解への基礎を学ぶ。高校での物理学を履修したという前提に立って講義する。具体的な項目は以下の通りだが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。

1. 序論：物理学の世界
2. 運動の記述
  ・デカルト座標
  ・ベクトルとその演算（内積、外積など）
  ・極座標（2 次元、＊3 次元）
  ・次元と単位系
3. 運動の法則
  ・ニュートンの三法則
  ・質量と力
  ・簡単な運動の例（自由落下など）
  ・力積と運動量
  ・仕事とエネルギー（線積分）
  ・保存力とポテンシャル（グラディエント）
4. 運動の解析
  ・落体の運動（速度に依存する抵抗がある場合を含む）
  ・慣性質量と重力質量
  ・単振り子・調和振動
  ・減衰振動
  ＊強制振動（共鳴）
  ・力のモーメント
  ・中心力と角運動量
  ・万有引力とケプラーの法則
5. 運動の相対性と慣性力
  ・慣性系とガリレイ変換
  ・並進加速度系と慣性力
  ・回転系（遠心力とコリオリ力）
6. 多粒子系
  ・内力と外力
  ・重心運動と相対運動
  ＊対称性と保存則
  ・二体系（換算質量、衝突など）

＊7. 剛体の運動
  ＊剛体の自由度と運動方程式
  ＊慣性能率
  ＊対称性と保存則
  ＊剛体の平面運動

＊8.力学の原理
  ＊仮想仕事、ダランベールの原理
  ＊ハミルトンの原理（最小作用）
  ＊対称性と保存則
  ＊ラグランジュの運動方程式

成績評価方法　主として定期試験によるが担当教員の UTAS シラバスを参照すること

教科書　その他。／Other

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30757	水 4	下村 裕	1 年 理一(20-22)
30759	水 4	大井 万紀人	1 年 理一(23-25)
30760	水 4	鈴木 康夫	1 年 理一(26-27,34)
30761	水 4	前田 京剛	1 年 理一(28-30,35)
31212	水 4	藤井 宏次	1 年 理一(31-33,36)
30763	水 4	高橋 宏知	1 年 理一(37-39)
30765	水 4	加藤 雄介	1 年 理二三(16-18)
30766	水 4	白石 直人	1 年 理二三(19-21)
30767	水 4	簑口 友紀	1 年 理二三(22-24)
31191	金 4	溝口 俊弥	1 年 理一(1-2,14-16)
31193	金 4	大川 祐司	1 年 理一(3,5,7,9)

31194	金 4	塩見 雄毅	1 年 理一(4,6,8,10)
31195	金 4	酒井 一博	1 年 理一(11-13)
31196	金 4	大谷 宗久	1 年 理一(17-19)
31210	金 4	矢向 謙太郎	1 年 理二三(1-6)
31211	金 4	澁谷 憲悟	1 年 理二三(7,10,13)
30762	金 4	松田 恭幸	1 年 理二三(8,11,14)
31213	金 4	水野 英如	1 年 理二三(9,12,15)

【注意】基礎科目「力学Ａ」を他クラス聴講する場合、または文科生が要求科目として履修（履修許可科目）する場合は、以下の教員の授業を選択し履修すること。なお、同じクラスに登録希望者が集中する場合には、人数を制限することがある。

水曜４限　前田、藤井、加藤、簑口 の各教員

金曜４限　大川、塩見、松田、水野 の各教員

力学B

力学B	開講区分	S

授業の目標・概要

入試で物理学を選択しなかった学生のうち希望する者を対象とする。
高度な問題や詳細には深入りをせず、例題や宿題を多用することにより、
物理学がどのような局面で役に立つのかを学ぶ。
具体的な項目は以下の通りだが、実際の内容や順序は教員に
よって多少の違いがあり、特に＊印のついた
項目は省略される場合がある。

1. 序論：物理学の世界
2. 運動の記述
  ・デカルト座標
  ・ベクトルとその演算（内積、外積など）
  ・極座標（2 次元、＊3 次元）
  ・速度と加速度
  ・次元と単位系
3. 運動の法則
  ・ニュートンの三法則
  ・質量と力
  ・簡単な運動の例（自由落下など）
  ・力積と運動量
  ・仕事とエネルギー（線積分）
  ・保存力とポテンシャル（グラディエント）
4. 運動の解析
  ・落体の運動（＊速度に依存する抵抗がある場合を含む）
  ＊慣性質量と重力質量
  ・単振り子・調和振動
  ＊減衰振動
  ＊強制振動（共鳴）
  ・力のモーメント
  ・中心力と角運動量
  ・万有引力とケプラーの法則
5. 運動の相対性と慣性力
  ・慣性系とガリレイ変換
  ・並進加速度系と慣性力
  ・回転系（遠心力と＊コリオリ力）
6. 多粒子系
  ・内力と外力
  ・重心運動と相対運動
  ＊対称性と保存則
  ・二体系（衝突、＊換算質量など）

＊7.剛体の運動
  ＊剛体の自由度と運動方程式
  ＊慣性能率
  ＊剛体の平面運動

成績評価方法　主として定期試験によるが担当教員の UTAS シラバスを参照すること

教科書　その他。／Other
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30758	水 4	新井 宗仁	1 年 理一(20-39)理二三(16-24)
31192	金 4	國場 敦夫	1 年 理一(1-19)理二三(1-15)

熱力学

熱力学	開講区分	S

授業の目標・概要	熱力学は，膨大な数の原子・分子等のミクロ（微視的）な粒子の集団から成るマクロ（巨視的）な物質の状態を、温度、圧力，体積などのマクロな物理量を用いて記述し，いくつかの基本原理をもとに，マクロな観点から物質の状態がいかに変化するかを考察する学問体系である。熱力学は，力学，電磁気学とともに古典物理学の基礎を構成している。ここで学ぶ内部エネルギー，エントロピーなどの概念は理科生にとって必須の基礎概念である。 以下に標準的な講義内容を示すが，担当教員によって項目の順序や内容は若干異なる。講義では、高校までに習った初等数学以外に、偏微分等の数学的手法を用いることがあるが、その場合は、そのつど必要に応じて講義で解説される。 0.序論 熱力学とは何か？ミクロな系とマクロな系，力学や電磁気学との対比 1.熱平衡状態 温度，圧力，状態量，示強変数と示量変数，状態方程式 2.熱力学第一法則 熱量と仕事，熱の仕事当量，内部エネルギー，定積熱容量（定積比熱）と定圧熱容量（定圧比熱） 3.熱力学第二法則 第二法則の諸表現（Thomson の原理，Clausius の原理），可逆循環過程 ，Carnot サイクル，不可逆過程，準静的過程，熱機関の効率，熱力学的絶対温度，Clausius の不等式，エントロピー 4.自由エネルギー Helmholz の自由エネルギー，Gibbs の自由エネルギー，Maxwell の関係式 その他、オプションとして取り上げられるトピックス 混合のエントロピー，エンタルピー，Joule-Thomson 過程，Legendre 変換，熱力学第三法則，相平衡，相律，Clapeyron-Clausius の式，Le Chatelier の原理，化学ポテンシャル，Gibbs-Duhem の関係式，Maxwell の等面積則
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること
教科書	その他。／Other
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること	

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30066	月 2	福島 孝治	1 年 理一(1-2,12,14-15)
30067	月 2	桃井 勉	1 年 理一(3,22-23,28)
30085	月 2	藤山 茂樹	1 年 理一(27,31,33,39)
30649	水 2	加藤 岳生	1 年 理一(4,6,9)
30656	水 2	菊川 芳夫	1 年 理一(20,34-35)
30728	水 3	森松 治	1 年 理一(7,11,32)
30873	木 2	風間 洋一	1 年 理一(8,10,13)
30878	木 2	岸根 順一郎	1 年 理一(16,29,38)
30880	木 2	下村 裕	1 年 理一(18-19)
31035	金 1	尾関 之康	1 年 理一(5,17,21)
31039	金 1	上田 正仁	1 年 理一(24-25,30)
31152	金 3	池田 昌司	1 年 理一(26,36-37)

【注意】基礎科目「熱力学」を他クラス聴講する場合、または文科生が要求科目として履修（履修許可科目）する場合は、以下の教員の授業を選択し履修すること。なお、同じクラスに登録希望者が集中する場合には、人数を制限することがある。

月曜２限　福島

水曜２限　菊川

水曜３限　森松

木曜２限　風間

金曜１限　尾関、上田

金曜３限　池田

の各教員

化学熱力学

化学熱力学	開講区分	S

授業の目標・概要
熱力学では、多数の原子分子の集団から成る物質の状態を圧力、体積、温度などの巨視的な量を用いて指定し、いくつかの基本原理をもとに、巨視的な観点から物質がいかに変化するかを考察していく。これらは、化学平衡や化学反応を理解する上での基礎的な概念を与える。本講義では、化学への応用をめざして熱力学を学ぶ。
以下に標準的な講義項目を示すが、教員によって実際の順序や内容は若干異なる。
１．序論 熱平衡状態、温度と熱、状態量（示強性、示量性)、状態方程式（理想気体、ファン・デル・ワールス気体)
２．熱力学第一法則 熱と仕事、内部エネルギー、準静的過程、定積過程と定圧過程、エンタルピー、熱容量（比熱)、ヘスの法則
３．熱力学第二法則 熱機関とカルノーサイクル、第二法則の諸表現（トムソンの原理、クラウジウスの原理)、不可逆過程、クラウジウスの不等式、エントロピー
４．自由エネルギー ヘルムホルツエネルギー、ギブスエネルギー、マックスウェルの関係式、ギブスエネルギーの圧力・温度依存性
５．化学ポテンシャルと化学平衡 相平衡と相律、クラペイロン・クラウジウスの式、化学ポテンシャル、化学平衡、質量作用の法則、ル・シャトリエの原理

成績評価方法
担当教員の UTAS シラバスを参照の事。

教科書
その他。／Other
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30448	火 3	藤田 雅弘	1 年 理一 理二三(4,6,8,20,22)
30450	火 3	城野 亮太	1 年 理一 理二三(11,15-16,18)
30893	木 2	細野 暢彦	1 年 理一 理二三(1-3,12,21,23-24)
30894	木 2	小倉 賢	1 年 理一 理二三(5,7,9-10)
30895	木 2	若杉 桂輔	1 年 理一 理二三(13-14,17,19)

物性化学

物性化学	開講区分	S 1

授業の目標・概要

物質の多様な構造、性質および反応を理解するための、基礎的な化学の概念、理論を具体的な化合物を例にして学ぶ。以下の項目とその関連事項を内容とするが、教員により順序や重点の置き方に少し違いがある場合もある。

1．多原子分子の構造
ルイス構造と分子構造、共有結合の方向性、混成軌道
2．パイ結合の化合物
共役二重結合、共鳴、ベンゼン、芳香族化合物
3．パイ電子と分子軌道
パイ電子近似、LCAOMO、変分法、HOMO と LUMO
4．配位結合の化合物
Lewis 酸・塩基、金属錯体と配位結合、遷移金属錯体と d 軌道、結晶場 分裂
5．分子間相互作用と凝集系、生体高分子化学
van der Waals 力、水素結合
6．結晶の構造と結合
最密充填、単純格子、イオン半径と結晶構造、金属と半導体
7．イオン結晶
格子エネルギー、Madelung 定数、Born-Haber サイクル

成績評価方法　担当教員の UTAS シラバスを参照の事

教科書　その他。／Other
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30068	月 2, 木 2	豊田 太郎	2 年 理一(4,18)理二三(16-17)
30082	月 2, 木 2	横田 泰之	2 年 理一(25)理二三(13-14)
30083	月 2, 木 2	平岡 秀一	2 年 理一(26,33)理二三(15,19)
30084	月 2, 木 2	西川 昌輝	2 年 理一(27,39)理二三(12,24)
30086	月 2, 木 2	北條 博彦	2 年 理一(28,32)理二三(10-11)
30141	月 3, 木 3	竹中 康将	2 年 理一(20,22-23)理二三(21)
30144	月 3, 木 3	豊田 太郎	2 年 理一(24,29,36-37)
30148	月 3, 木 3	宮島 謙	2 年 理一(30,38)理二三(7,23)
30430	火 3, 金 3	青木 優	2 年 理一(1-3,11)理二三(4-5)
30433	火 3, 金 3	佐藤 守俊	2 年 理一(5,8)理二三(6,9)
30436	火 3, 金 3	角野 浩史	2 年 理一(12-14)理二三(20)
30439	火 3, 金 3	寺尾 潤	2 年 理一(15,17,35)理二三(22)
30510	火 4, 金 4	片山 正士	2 年 理一(6-7,9)理二三(18)
30511	火 4, 金 4	山野井 慶徳	2 年 理一(10,16,19)理二三(1-3)
30512	火 4, 金 4	溝口 照康	2 年 理一(21,31,34)理二三(8)

生命科学

生命科学	開講区分	S 1

授業の目標・概要

本講義は理科１類の学生に特化し，生命現象の中でも数式で表しやすい内容を計算演習とコンピュータの活用により学ぶ。数理ダイナミクスの観点から生命現象の謎に迫るおもしろさを実感してもらうことを期待する。
具体的には、以下のような内容を予定している。

１． 生命科学の基礎
２． 生体物質：細胞を作り上げる物質群
３． 細胞の構造と増殖
４． 生命の駆動力：代謝と自由エネルギー
５． 遺伝情報
６． 生命のシステム的理解
７． 生命のダイナミクスとパターン形成
８． マクロなダイナミクス
９． 生命科学の数理的展開

成績評価方法

検討中

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　演習で学ぶ生命科学 第２版
著者（訳者）　東京大学生命科学教科書編集委員会 編
出版社　羊土社
ISBN　978-4-7581-2075-3

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30200	月 4	佐藤 健	2 年 理一(6,11,16)
30211	月 4	矢島 潤一郎	2 年 理一(17,22-23)
30212	月 4	杉山 宗隆	2 年 理一(24,32)
30647	水 2	寺田 透	2 年 理一(1-2,5,15,18,35)
30648	水 2	黒田 大祐	2 年 理一(3,28-30,33)
30657	水 2	長谷川 禎彦	2 年 理一(21,26-27,39)
30874	木 2	飯野 雄一	2 年 理一(8,12)
30876	木 2	山口 哲志	2 年 理一(13-14)
30888	木 2	青木 淳賢、中嶋 悠一朗	2 年 理一(34,36)
30892	木 2	伯野 史彦、後藤 康之	2 年 理一(37-38)
31146	金 3	舘野 正樹	2 年 理一(4,7,9)
31147	金 3	中嶋 悠一朗、青木 淳賢	2 年 理一(10,19-20)
31151	金 3	山口 哲生、古園 さおり	2 年 理一(25,31)

生命科学 I

生命科学I	開講区分	S

授業の目標・概要	生命科学の基本概念と遺伝・膜構造・代謝を中心とした生命現象のしくみについて、分子から細胞までの構成原理を概観する。 １．生物の多様性と斉一性 ２．タンパク質の構造と機能 ３．遺伝子と遺伝情報 ４．細胞の構造 ５．代謝と光合成
成績評価方法	検討中
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　　理系総合のための生命科学 第 5 版 著者（訳者）　東京大学生命科学教科書編集委員会 編 出版社　　（株）羊土社 ISBN　　ISBN 9784758121026
関連ホームページ	

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30213	月 4	加納 純子	1 年 理二三(5,17-18,21-22,24)
30215	月 4	豊島 陽子	1 年 理二三(9,12-14)
31042	金 1	渡邊 雄一郎	1 年 理二三(1-3,7-8,20,23)
31049	金 1	増田 建	1 年 理二三(10-11,15,19)
31156	金 3	美川 務	1 年 理二三(4,6,16)

展開科目　社会科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31599	S	社会科学ゼミナール（法・政治）	苅部 直	法学部	月 5	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		政治思想とは何か 政治をめぐるさまざまな問題について、表面的な事実についての知識を蓄えるのではなく、権力とは何か、なぜ選挙に行かないといけないのか、自由とは、民主主義とは何か、そもそも「政治」とは何か……といった根本の問いについて、ともに考え、討論する。「わかりやすい」情報によって答を得て満足するのではなく、そうした問題がますます「わからなくなる」ことをめざしたい。 （予備知識は必要としないし、政治がテーマと言っても文科一類の学生だけを対象とするわけでもない。ただし対面で受講可能な学生のみ履修可とする。）				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31598	S	社会科学ゼミナール（法・政治）	新田 一郎	法学部	水 4	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		御成敗式目を読む 貞永元年（西暦 1232 年）に鎌倉幕府が制定した『御成敗式目』は、日本中世の「武家法」を代表する「法典」として、高校教科書や通俗的な概説書の類でもおなじみであろう。本ゼミナールでは、この「御成敗式目」およびそれに付随して伝承された「北条泰時書状」を、原文（に近づくことを意図して校訂されたテキスト）によって精読し、読解のために必要な情報をいかにして得るか、読解した史料からいかにして問題点を析出するか、析出された問題点を他の史料や文献といかに併せ考えるか、を例示的に学ぶ。履修希望者が 10 名を超えた場合、小テストを課して選考することがあるので、初回授業に必ず参加すること。受講許可は第 2 回目までに ITC-LMS にて告知する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31058	S	社会科学ゼミナール（法・政治）	田中 雅子	法・政治	金 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		エビデンスに基づく政策立案 私たちの身の回りの公共政策は、本来何らかの望ましい目的を実現するためにあります。しかし、政策の目的、手段、効果が客観的に理解可能なかたちで提示されているとはいいがたく、従来の延長や、利害関係者が要望する中間点を政策帰結とすることが多いのが現状です。 現在、国・地方の行政機関は、エビデンスに基づく政策立案（Evidence-based Policy Making 以下、EBPM）を推進しています。エビデンスとは、主張を行ううえで根拠となる論理的な思考を指し、利用可能な量的・質的データを用いて構成します。 授業では、まず EBPM が必要とされる背景をたどり、エビデンスとなる官民データの現状を、実際にデータにアクセスして把握します。次に基本的な統計処理の方法を紹介し、社会調査データを用いたデータ分析と政策的含意の導出を、各自のテーマに基づいて行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31230	S	社会科学ゼミナール（法・政治）	内山 融	法・政治	金 5	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「デモクラシーを取り戻す」 近年、ポピュリズムの跋扈や権威主義国家の拡大など、デモクラシーを脅かしているとみられる現象が目立っている。はたしてデモクラシーは危機に瀕しているのか。そうだとすればどのような処方箋があるのか。私たちにできることは何か。こうした問題について、文献を読みつつ、皆さんと議論して考えていきたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30217	S	社会科学ゼミナール（経済・統計）	佐藤 俊樹	法・政治	月 4	2 年 文科 理科

講義題目　ルーマンのマスメディア論を読む(2)

授業の目標概要
教員の所属部会の関係で「経済学・統計学」になっていますが、授業の内容は社会学のマスメディア論とシステム論です。具体的には、ニクラス・ルーマンの『マスメディアのリアリティ』(林香里訳、木鐸社）を読んでいきますが、担当教員の専門と関心から、厳密なテキスト読解ではなく、経験的な社会の探究に役立つ分析用具として読んでいきます。
今年度は第 3 章から読んでいく予定です。第 1 章～第 2 章で何が書いてあるのかは、授業の最初に教員の方から解説しますが、授業に参加希望の人はあらかじめ読んでおいてください。
ドイツ語の予備知識は特に必要ありません。むしろルーマンの徹底的に考え抜かれた論理と文章につきあいながら、その内容を理解していくことをめざしています。ですので、実際には、一行一行解説しながらゆっくり読み進めていきます。必要な予備知識はその都度解説するので、ルーマンの他の著作を知っておく必要もありません。
そのかわり、参加者それぞれの水準でかまわないので、既存の知識を習うというよりも、自分自身で考えていくことをを身につけるようにしていってください。一見全く意味不明で、「無駄に難解」ともされるルーマンの文章が、実際にはきわめて精緻で、論理的で、そして、マスメディアや現代社会に対する具体的かつ鋭い洞察に富んでいる。そういう読み方ができることを体験してもらえばよい、と思っています。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31593	S	社会科学ゼミナール（経済・統計）	鎌田 雄一郎	大学院経済学研究科	水 3	2 年 文科 理科

講義題目　Advanced Game Theory for Komaba Students

授業の目標概要
社会における人間行動を、数式で記述する。それが、「ゲーム理論」。
「私は、あなたが彼が行動 A をとるだろうと考えていると考えたから、行動 B をとることにする。」「我が社は相手企業 J の過去の決定 C から、今後の J の戦略が S であろうと推測する。よって我が社は戦略 T をとろう」などという複雑な思考過程を、数式で記述し、分析する。
このゲーム理論の中で特に興味深いトピックや最新研究に関して、講義を行い、さらに学生間でディスカッションをする。
受講にあたって、ゲーム理論や（ゲーム理論がしばしば応用される）経済学の前提知識は一切必要ないが、数学が多用されるので、その点留意しておくこと。
以下のうちどれかが当てはまる学生には、この講義は最適であろう：
１．論理的思考が好き and/or 得意。
２．数学が好き and/or 得意。
３．理屈っぽく、細かい。
４．理系。「経済学なんてデマカセだ！エセ科学だ！」と思っている。
５．「社会における人間行動を、数式で記述する」なんて到底無理だろう、と思った。
６．現実の社会問題を統一的に理解するための視点が欲しい。
７．最先端の研究に触れたい。研究とはどんなものか、覗いてみたい。
８．トップ研究者の授業を受けたい。
９．テレビなどに登場する「エコノミスト」のいい加減な発言に辟易している。
１０．せっかく大学に入ったのだから、新しいこと、難しいことに、チャレンジしたい。
担当教員（鎌田）は現在カリフォルニア大学バークレー校の准教授で、ゲーム理論研究者。東京大学大学院経済学研究科の初代グローバルフェローを兼任。
授業は基本的にオンラインで、カリフォルニアからお届けする。鎌田が夏に日本に一時帰国して、かつ対面授業がその時に可能な場合は、対面授業を行う可能性もある。授業は毎回 105 分間。
履修希望者が多い場合は、選抜を行う可能性がある。選抜がある場合は、初回授業後、第二回授業までに行う。

展開科目　人文科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31596	S	人文科学ゼミナール（哲学・科学史）	三浦 俊彦	文学部	水 5	2 年 文科 理科

講義題目　クリティカル・シンキングと美的観点

授業の目標概要　第一義的には、批判的論理思考（critical thinking）の方法を学び、公正な議論のやり方を体得する。その手掛かりとして、「論理的観点」と「美的観点」の類縁性を利用する。内容的素材として、第二次世界大戦、とくに原爆投下に対する既出の賛否両論を用いる。

第二義的には、歴史的知識の習得。とくに、現在の文化・政治・経済の枠組みをいまだに制約している第二次世界大戦の経緯について、最低限の知識・意見を身につけることを目標とする。とくに、倫理的・政治的観点に偏って一面的になりがちな戦争像を、「論理的」「美的」にとらえ直すことにより、複眼的な歴史観・人間観を発展させる端緒としたい。

なお、戦争を「美的」に見るという（映画・小説などではありふれた）態度は、一般的に標榜すると「不謹慎」と評されがちである。戦争をあえて「論理的」に考える場合も、同様の道徳的非難を受けることがある。「不謹慎」であるとはどういうことか、メタ・クリティカルシンキングの領域まで考察を広げ、科学技術社会論（ＳＴＳ）や環境美学への導入も試みる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31597	S	人文科学ゼミナール（歴史学）	根岸 洋	文学部	火 2	2 年 文科 理科

講義題目　考古資料から過去を読む

授業の目標概要　日本において考古学は歴史学の一つに数えられるが、人類学や遺伝学、年代測定を含む分析科学などの広い隣接諸分野との連携をもとに、多角的手法によって「過去」にアプローチする学問である。遺跡から出土する遺物は土器、石器、金属器などの道具だけでなく、動植物遺存体や人骨など多岐にわたる。それらからできるだけ多くの情報を読み取り、現在から遠い「過去」を読み取ることが求められる。

本演習は、東京大学構内にある遺跡から出土した先史時代の遺物を材料に、考古学がどのようなことをやっているのかを体験してもらい、その面白さに触れてもらうことを目的としている。幸いなことに東京大学のキャンパスには古い時代から近代までの遺跡が所在しており、観察できる多くの遺物も所蔵されている。基礎的な知識は講義することになるが、最も大事なのは実際に遺物を観察し、それをレポートにまとめる作業を体験してもらうことである。発掘調査がそうであるように、考古学は経験科学の一つと言える。一般にイメージする考古学とは違って地味に思えるかもしれないが、その作業にこそモノから歴史を復元するという行為の魅力が詰まっていることを感じてほしい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30777	S	人文科学ゼミナール（歴史学）	杉山 清彦	歴史学	水 5	2 年 文科 理科

講義題目　史料で読む明清交替―『建州紀程図記』講読

授業の目標概要　歴史学とは、史料に基づいて人類の来し方をたどり、現在をも含むその時々の世界の姿を、時間の流れに即してとらえる営みである。この演習（ゼミナール）では、近世の大きな転機の一つである明清交替期の情勢に注目し、大清帝国建国以前の内情を記した朝鮮の漢文史料『建州紀程図記』を講読する。『建州紀程図記』は、1595-96 年にヌルハチの居城へ使いした朝鮮の武官が書き残した報告書であり、旅程・地理にとどまらず、君主ヌルハチと重臣たちの人物像や、当時の女真人（満洲人）の慣習を活写した貴重な記録として知られている。

本演習では、一次史料の精読を通じて、明末清初期の様相を史料に即して理解するとともに、辞書・索引・年表など各種参考図書の利用法や、史料・研究文献の検索法など、歴史学研究のための基本的な知識と技術を習得することをめざす。受講には特段の資格は要しないが、漢文講読を全員に課すので、15 名を超えた場合や、漢文読解に難がある受講希望者については、初回授業時に履修について相談することがある。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31059	S	人文科学ゼミナール（文化人類学）	中村 沙絵	文化人類学	金 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フィールドワークと人類学的探究 【授業の概要】 人類学的研究の魅力の一つは、ある具体的な人々や事柄についての精緻な記録にもとづくものでありながら、その書き手や読者に「今までとは世界が違ってみえる」ような感覚を与え、複眼的思考をうながす点にある。この基本であり中核でもあるのが、ある「現場」に赴き、そこに身を沈めて行うフィールドワークと、その記録や経験についての省察である。 本講義は、講師自身が長期のフィールドワークをもとにまとめた『響応する身体：スリランカの老人施設ヴァディヒティ・ニヴァーサの民族誌』(2017 年）を主なテクストとしながら、フィールドワークの経験、迷いや悩み、記録から記述を生みだすプロセス等について講義し、〈人類学者が何をしているのか〉その一端を紹介する。また、研究を通じた自己変容について、拙著の他にもいくつかの民族誌をとりあげながら紹介し、人類学的な知の意義について検討する。 【授業の目標】 ・人類学的探究やフィールドワークとはどのような営みなのか、可能性や難しさなども含めて、理解を深める。 ・自らの問題関心を〈人類学的に研究する〉としたらどのような形がありうるのか、構想を膨らませる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30236	S	人文科学ゼミナール（データ分析）	永田 淳嗣	人文地理学	月 5	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	統計とフィールドワークから探る農業産地の構造変化 日本の農業は，長期的・巨視的にみると高度経済成長期以降，農業従事者の高齢化・大幅な減少，耕地面積の減少といった形で，産業としての規模を縮小させてきた．しかし日本の国土を見渡せば，農業が現在も基幹的な産業としての地位を維持し，今後のあり方を模索している地域も少なくない．本授業では，何らかの農作物を中心に農業の「産地」と呼ばれてきた特定の地域を取り上げ，概ね高度経済成長期前後から今日に至る産地の構造変化を，国勢調査，農業センサスなどの基礎的統計のオリジナルな分析を通じて客観的に把握する．その上で，3 泊 4 日程度の合宿による人文地理学的なフィールドワークを組み合わせ，産地の構造変化や現状の理解の深化をはかるとともに，産地が抱える課題や今後の方向性を議論する．なお実習を中心とした授業であるため，効果的な指導を行うために受講希望者多数の場合は選抜を行う（10 名程度）．受講希望者は，第 1 回授業で指示する内容の受講希望票を，第 1 回授業終了後の指定した期日までに提出すること．選抜が必要な場合はその内容に基づき行い，第 2 回授業開始までに受講許可者を確定，掲示等で告知する．また本授業は人文地理学教室が所有する紙媒体の統計資料や大判の地図を用いることもあり，対面での授業とフィールドワークに参加可能な学生に履修者を限定する．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30316	S	人文科学ゼミナール（ことばと文化）	田原 史起	中国語	火 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の新聞記事を用いて中国農村研究の小論文を書くためのゼミナール 今世紀以降の中国農村・農業・農民の様々なトピックに関わる『農民日報』の新聞記事を題材として輪読する。『農民日報』は中華人民共和国農業部の機関紙である。そのうえで、各自の関心トピックに絞り込み、小論文の作成を目指す。この授業の目標は二つである。 ①標準的な現代中国語の読解力の養成: よく出てくる書き言葉の言い回しに慣れ、構文を掴む練習を行う。これにより各自が関心を持つ領域の文章を自力で読めるように訓練する。 ②社会科学系の論文作法の習得：各自が関心を持つトピックに関わる報道を一次資料として用い、関連の二次資料(中国語・日本語・英語)も適宜、引用しながら、オリジナルな小論文作成のための学術的訓練を行う。 端的にいえば、中国農村研究に特化した初年次ゼミのようなものをイメージしている。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30768	S	人文科学ゼミナール（ことばと文化）	毛利 公美	ロシア語	水 4	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア文学の名シーンを読む ロシア語の初級文法を習得した学生を対象とし、ロシアの文学作品を読みながら、中級レベルの文法、語彙、構文の習得を目指す。扱う作家や作品についての基本的な知識や文体、よく引用されるフレーズ等も確認し、ロシア文学についての教養を身につける。				

展開科目　自然科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30317	S	自然科学ゼミナール（数理科学）	權業 善範	数学	火 2	2 年 文科 理科
講義題目		代数系入門				
授業の目標概要		群・環・体の基本的な理論を解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30556	S	自然科学ゼミナール（数理科学）	山本 昌宏	数学	火 5	2 年 文科 理科
講義題目		自然科学に現れる微分方程式				
授業の目標概要		さまざまな自然現象や社会現象の定量的な解明のためには、まず数理モデルを構築することが伝統的な方法である。モデル式は未知量の導関数がからむ方程式となることがニュートン力学などでは普通である。これが微分方程式である。高校までで主に学習してきた２次方程式などの場合と異なり、微分方程式には一般的な解の公式はなく、解が果たしてあるのか、あるとしたら１つに決めるのか、などどいった問題をある程度まで個別的に研究しなくてはならない。本講義では、そのような微分方程式の数学的な研究を解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31585	S	自然科学ゼミナール（情報科学）	伊東 乾	大学院情報学環	火 4	2 年 文科 理科
講義題目		新しい音楽の自然哲学				
授業の目標概要		古代中国、古代ギリシャから 21 世紀の今日まで、音楽ならびに調和をめぐる数理的、物理的、また認知的な叡智は諸科学全体の中に重要な位置を占めてきた。本コースでは確立されたそれらから導かれた未踏の問題系に、私達自身が得た新知見まで滑らかに接続し、諸君自身が新しい分野に本質的な貢献も可能であることを平易に示す。				

展開科目　文理融合ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31589	S	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	石津 智大	教養教育高度化機構	集中	2 年 文科 理科

講義題目　『芸術と感性の認知神経科学』

授業の目標概要　【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。開講期間・時間：集中講義のため日程は後日決定します。
本講義では、認知神経科学と心理学との学際領域のひとつで、近年盛んに研究が行われている芸術と感性の認知神経科学について学びます。「物をどう見ているのかを知らねば、それを表現することはできない。ゆえに画家は知覚の科学者である」とも言われるように、芸術技法と知覚･認知の仕組みには共通点が多いです。芸術や感性を手がかりとすることで、知覚･認知システムの基本的な知識と、その背後にある脳機能への理解を養います。多様なテーマをふくむ芸術と感性の分野を、主な 3 つの過程 1）知覚と認知の過程、2）意味づけと価値づけの過程、3）創作と創造の過程に分け、関連する作品を紹介しつつ、各過程を神経美学、実験美学、芸術心理学などの基礎から最新の研究データをとおして理解することを目指します。認知神経科学と心理学の観点から芸術と感性を読み解く一方、芸術の技法や感性についての人文学的考察を利用して認知とこころ、さらにその背後にある脳機能への理解を養うことを目指します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31592	S	文理融合ゼミナール（身体と芸術）	渋谷 由香	教養教育高度化機構	月 4	2 年 文科 理科

講義題目　本講義では、主に２０世紀以降の現代音楽というカテゴリーに分類される音楽作品を取り上げ、各作品を聴き、そして作品の創作方法や思考を学んだ上で、それらの知識や方法を基に学生自身も短い作品を創作し発表するという演習形式の授業です。特に２０世紀以降のこの分野における創作作品は、作家の独自性が強く求められてきた時代でもあり、作曲家がそれまでとは違う独自の作曲言語を持っているか、あるいはどのような視点を持ち創作をしているかその姿勢自体を問われてきた時代でもありました。一方で聴衆もまた、新たな視点と新たな解釈を希求し、作品鑑賞を通じて切り拓かれた新たな世界を体現することの喜びをそこに見出してきたともいえるでしょう。本講義では、実際に各々の思考や発想を創作という実習を通じて体験し、その自らの体験の過程を通して得た思考や視点、新たに浮かび上がってきた課題について他の参加学生と共に意見を交わし共有しながら、知識や方法論を知るにとどまらない学びを体験的に実践していきます。

授業の目標概要　本授業では、主に２０世紀以降の作曲家の作品を聴くことを通じて作品独自の特長的なアイディアや技法を学び、インプットしたそれらの知識を基に演習という形で実践的創作としてアウトプットすることによって、新しい視点や創造的な思考を身につけることを目標とします。また、創作についてのプレゼンテーションを通じて、参加学生や教員との積極的な対話からより多角的な観点を深め、なおかつ柔軟で自由な発想を培うことが本授業の目標です。
本授業は演習形式のため、履修希望人数が 20 名を超えた場合には人数制限をする可能性があります。選考方法については、初回授業でアナウンスし第 2 回までに決定します。初回授業は必ず出席するようにしてください。履修条件については、創作分野や本講義の題目に興味関心があれば、音楽経験や楽器演奏の可否などは不問です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31590	S	文理融合ゼミナール（身体と芸術）	中井 悠	教養教育高度化機構	月 5	2 年 文科 理科

講義題目　Archi-Choreographies：振り付けとしてのクセ

授業の目標概要　口癖、手癖、怠け癖、思考壁、酒癖、難癖、曲者、潔癖、寝癖、癖が強い、などなど、日本語の「クセ」という言葉は、単なる「習慣（habit)」には収まらない広がりを持つ不思議な概念です。この授業では人の持つさまざまな「クセ」を、当人が知らない間に身体や思考に植え付けられた根源的な「振り付け（コレオグラフィー)」とみなし、拡張されたダンスの問題として捉えます。そしてそのような身体や思考の偏りを受講生どうしの相互観察を通じて探り合い、個々のクセの来歴を明らかにしたり、それを他人に移したりすることで、個人の「その人らしさ」という感覚がどこで生み出され、どのように変容しうるかを検証します。新しい振付を考えることでダンスをいわば足し算的につくる通常のアプローチとは逆に、各自が気づかないうちにすでに踊っている振付を露わにすることで引き算的にダンスを浮かび上がらせる試みです。
今季から卓越研究員制度からのサポートを受け、授業の成果を書籍の形にまとめていく方向性も探っていきます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31586	S	文理融合ゼミナール（身体と芸術）	伊東 乾	大学院情報学環	火 6	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	平和の俳句とソニマージュ・・・駒場から創出へ かつて俳句の金子兜太、アニメーションの高畑勲両氏と、こういう事が出来たらいいと話した、ジャンルを越えて本質的に「ものを創る」ことを直視するゼミナールとして開講する。2021 年度は、かつて担当者も参加した蓮実重彦氏の映画ゼミ、見田宗介氏の自我論・間身体論ゼミの形式を参考とする取り組みも行った（例えばアンドレイ・タルコフスキー監督「ストーカー」 山中貞雄監督「丹下左膳余話 百万両の壺」など古典的な作品の、創り手の観点からのマイクロ・アナリシスなど)。学期末に何等かの音響動画ドキュメント（ソニマージュ＝son(音)＋image(映像）作品の世界公開をひとまずの成果物として位置づけ、必要に応じて TA が技術的なサポートも行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31591	S	文理融合ゼミナール（メディアと芸術）	中井 悠	教養教育高度化機構	水 5	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	zoomusic／ZOOM 音楽 Zoom でしか演奏・視聴できない音楽パフォーマンスを構想・制作・実演します。 現在のコロナ禍において Zoom などのオンライン・メディアを使ったさまざまなコンサートが行なわれていますが、そのほとんどがこれまでと同じような音楽の再生・再現を目指すもので、メディア環境の変化を積極的に捉えてそこから新しい音楽のかたちを模索する試みはあまり見当たりません。しかしこのような主要メディアの変化は、音楽の制作から演奏、そして視聴の方法全体に再考を促し、これまでとは異なる音楽を異なる仕方で創造するチャンスでもあります。そのためには、普段何気なくオンライン授業で使っている Zoom というメディア（＝楽器）の特性を様々な角度から分析することが必要ですが、これまでさまざまなメディア＝楽器の特性を問題化してきた実験音楽の歴史を振り返ることも役に立つでしょう。このようにして「実験音楽」を真面目にお勉強するのではなく、自分たちが現在取り組んでいる具体的な問題に引きつけて実践的に把握した上で、じっさいに実験を繰り広げることで、「(実験）音楽」と呼ばれてきた営みじたいを問い直すことを目的とします。 ＊今セメスターと重なる時期に、中井／No Collective がヴァージニア大学作曲科コースのヴァーチャル・レジデンシー・アンサンブルとして、同じく Zoom に特化した音楽をテーマとする共同制作を行なうため、そちらの作曲家たちとの交流／ゲスト・レクチャーも予定しています。また年末には、東京現音計画というアンサンブルに招かれて、東京で zoom 音楽のコンサートを企画することになっていますので、そちらの公演にもつながる作品が出てくるといいと思っています。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40276	S 2	文理融合ゼミナール（メディアと芸術）	筧 康明	大学院情報学環	木 5, 木 6	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	インタラクティブ表現実践 本授業は、アート・デザイン領域において近年注目されるインタラクティブ表現や参加型の体験創造について、実践を通して学ぶことを目標とする。 本授業は座学とプログラミング等を通した実践を組み合わせながら進める。 まず、インタラクティブアートの歴史やそれらを支える技術の動向について学び、具体的な事例についても教員やゲストの活動紹介を通して触れる。また、インタラクティブ表現を制作するためのクリエイティブコーディング環境を整え、特に今年度はカメラ入力および画像処理を用いたインタラクションの基礎と制作方法について学ぶ。 本授業の後半の期間は主に、履修者自身によるインタラクティブ（作品）表現の提案を行い、フィードバックを受けながらコンセプトおよびプロトタイピングの実装を進める。最終的な成果はプレゼンテーションおよびデモンストレーションを通して発表する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31587	S	文理融合ゼミナール（研究入門）	舘 知宏	教養教育高度化機構	集中	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		つながるかたち 文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 「つながるかたち」では、手を動かして「かたち」をつくることを端緒とし、科学的視点で発見すること、問いを得ること、その問いを解くことの連鎖を実践します。研究室のデジタルファブリケーション機器などを用いた製作や、CAD・プログラミングによるモデリングなども行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31588	S	文理融合ゼミナール（研究入門）	工藤 和俊	教養教育高度化機構	集中	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アートする身体 スポーツ、ダンス、音楽などのパフォーマンス時における動作、筋活動、心拍、呼吸等の生体情報計測や映像解析を用いてアート・パフォーマンス熟達者の身体技法やパフォーマンスの熟達プロセスを明かにするとともに、国内外での研究発表を目指します。				

「英語中級」「英語上級」について

【科目概要】

「英語中級」は指定されたクラスのみが履修できるもの（指定クラス型）と全クラスに開かれたもの（全クラス型）がある。「英語上級」はすべて全クラス型である。

S2ターム、A2タームの授業を含む、いずれの授業もセメスター開始時に履修希望の登録を行い、希望者が多数の授業については抽選を行う。各セメスターに履修できるのは指定クラス型、全クラス型をそれぞれ１コマまでである。

○履修の削除について

全クラス型授業の登録は削除できない。指定クラス型の授業は、同じセメスターの全クラス型授業に登録を認められた場合のみ削除できる。

○２年生の履修について

２年生が抽選登録できるのは、全クラス型のみとなる。ただし、追加募集の対象となっている場合に限り、指定クラス型も履修することができる。

【抽選登録】

「英語中級」および「英語上級」はUTASで希望登録を行う。所定の期間中にUTASログイン後の【抽選対象科目希望登録】画面から希望する授業を登録する。

特定の授業に学生の希望が集中した場合に抽選が行われ、外れた学生は下位の希望順位の授業に振り分けられることになる。希望を登録していない授業に振り分けられることはない。ただし、希望したいずれの授業にも振り分けられないことはある。

○追加募集について

学生数に余裕のある場合は追加募集を行う。追加募集授業の履修登録方法は、追加募集対象授業の発表時に指示する。追加募集の対象となっていない授業については、担当教員の許可を得ても履修登録は認められない。

（注意事項）

- 総合科目Ｌ系列の英語には、「英語中級・セメスター制授業」、「英語中級・ターム制授業」、「英語上級・セメスター制授業」、「英語上級・ターム制授業」の４種類の授業がある。同一教員による同一種類の授業を複数履修することはできない。
- 英語上級は各授業のシラバスに記載された習熟度レベルに到達した者を対象とする。
- Ｓセメスターの際には、抽選登録または追加募集登録する際に、初年次ゼミナールが自身のクラスに割り当てられる各２曜限には登録しないこと。
- TLP生は、TLP履修者用の科目と重複する曜限にも登録しないよう注意すること。

なお、一度当選した科目は履修登録を削除することはできない。

英語中級（クラス指定ターム型）火３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30395	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	朝岡 浩美	英語	火 3	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)

講義題目
授業の目標概要

英語の動画を視聴し、英語でディスカッションを行う
本授業では、英語の総合的な能力を高めることを主目標としています。CNN や TED などの動画を視聴し、内容を理解し、グループディスカッションを通じて、自分の意見を英語で話す練習を行います。また、ロジカルに自分の意見を言えるようになるために、ロジカルシンキングについても学びます。
本授業の目的は、以下の通りです。
（１）英語動画を視聴して、英語のリスニング力と読解力を伸ばす。
（２）動画を引用しながら、自分の意見を英語で話すスキルを高める。
（３）自分の気に入った動画を英語のプレゼンテーションで紹介し、プレゼンテーション力を高める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30396	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 3	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)

講義題目
授業の目標概要

Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims
This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.
The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30397	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 3	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)

講義題目
授業の目標概要

The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural
This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30398	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 3	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)

講義題目
授業の目標概要

英語で日本近現代史を読む
外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30399	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	太田 奈名子	英語	火 3	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)

講義題目
Consuming and Creating Media

授業の目標概要
テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。
具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③パワーポイントで簡単な自己紹介動画をつくる、という 3 つのプレゼンを行う。
プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。
説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。
最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30400	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	佐原 彩子	英語	火 3	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)

講義題目
Reading English Articles: Social Networking Services

授業の目標概要
The goal is to read English articles (from The Atlantic and the New Yorker) to understand current issues in the U.S. in English. They are on Social Networking Services. Students need to read them in six weeks. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30401	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	Christopher D. Hammond	英語	火 3	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)

講義題目
Introduction to Higher Education Studies

授業の目標概要
In this introductory course we will explore the local, national, and global dimensions of higher education from sociological and comparative perspectives. Issues covered will include teaching and learning, internationalization, credentialism and employability, global rankings competition, academic freedom and knowledge production, and cross-border research collaboration.
Emphasis will be placed on critically engaging with the tensions inherent in the varied social roles of world-class universities, institutions rooted in particular nation-states but active in international and global spaces.
We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30402	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	火 3	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)

講義題目
19 世紀後半から 20 世紀初頭に書かれた英米の優れた短編作品（推理小説と不思議な話）を深読みする

授業の目標概要
文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、当時の文化や社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一つにも、著者や登場人物の特定の意図が’（密かに）表明されていたり、含みがあったりする。また、当時の階級意識、ジェンダー、風俗習慣、英国と米国の関係性、ヨーロッパ世界観、異文化の見方などが作品の中に表現されている。作品を隅々まで味わいながら、場面で登場する物事についても合わせて参考資料を読み、教養を深めていく。読み進めるごとに、受講者の頭の中にある作品の世界がより鮮明なものとなっていくことを目指す。
The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、ならびに、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40145	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	太田 奈名子	英語	火 3	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)

講義題目
Consuming and Creating Media

授業の目標概要
テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。
具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③パワーポイントで簡単な自己紹介動画をつくる、という 3 つのプレゼンを行う。
プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。
説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。
最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40146	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	火 3	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)

講義題目
19 世紀後半から 20 世紀初頭に書かれた英米の優れた短編作品（推理小説と不思議な話）を深読みする

授業の目標概要
文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、当時の文化や社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一つにも、著者や登場人物の特定の意図が’（密かに）表明されていたり、含みがあったりする。また、当時の階級意識、ジェンダー、風俗習慣、英国と米国の関係性、ヨーロッパ世界観、異文化の見方などが作品の中に表現されている。作品を隅々まで味わいながら、場面で登場する物事についても合わせて参考資料を読み、教養を深めていく。読み進めるごとに、受講者の頭の中にある作品の世界がより鮮明なものとなっていくことを目指す。
The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、ならびに、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40147	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	佐原 彩子	英語	火 3	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)

講義題目
Reading English Articles: 1619 Project

授業の目標概要
The goal is to read English articles (from The New York Times) to understand current issues in the U.S. in English. They are on 1619 project. Students need to read them in six weeks. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40148	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 3	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)

講義題目
英語で日本近現代史を読む

授業の目標概要
外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40149	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	Christopher D. Hammond	英語	火 3	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)

講義題目
授業の目標概要

Introduction to Higher Education Studies
In this introductory course we will explore the local, national, and global dimensions of higher education from sociological and comparative perspectives. Issues covered will include teaching and learning, internationalization, credentialism and employability, global rankings competition, academic freedom and knowledge production, and cross-border research collaboration.
Emphasis will be placed on critically engaging with the tensions inherent in the varied social roles of world-class universities, institutions rooted in particular nation-states but active in international and global spaces.
We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40150	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	朝岡 浩美	英語	火 3	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)

講義題目
授業の目標概要

英語の動画を視聴し、英語でディスカッションを行う
本授業では、英語の総合的な能力を高めることを主目標としています。CNN や TED などの動画を視聴し、内容を理解し、グループディスカッションを通じて、自分の意見を英語で話す練習を行います。また、ロジカルに自分の意見を言えるようになるために、ロジカルシンキングについても学びます。
本授業の目的は、以下の通りです。
（1）英語動画を視聴して、英語のリスニング力と読解力を伸ばす。
（2）動画を引用しながら、自分の意見を英語で話すスキルを高める。
（3）自分の気に入った動画を英語のプレゼンテーションで紹介し、プレゼンテーション力を高める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40151	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 3	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)

講義題目
授業の目標概要

Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims
This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.
The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40152	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 3	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)

講義題目
授業の目標概要

The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural
This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.

英語中級（クラス指定ターム型）火４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30461	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	太田 奈名子	英語	火 4	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)

講義題目
Consuming and Creating Media

授業の目標概要
テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。
具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③パワーポイントで簡単な自己紹介動画をつくる、という３つのプレゼンを行う。
プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。
説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。
最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30462	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 4	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)

講義題目
英語で日本近現代史を読む

授業の目標概要
外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30463	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	火 4	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)

講義題目
19 世紀後半から 20 世紀初頭に書かれた英米の優れた短編作品（推理小説と不思議な話）を深読みする

授業の目標概要
文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、当時の文化や社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一つにも、著者や登場人物の特定の意図が’（密かに）表明されていたり、含みがあったりする。また、当時の階級意識、ジェンダー、風俗習慣、英国と米国の関係性、ヨーロッパ世界観、異文化の見方などが作品の中に表現されている。作品を隅々まで味わいながら、場面で登場する物事についても合わせて参考資料を読み、教養を深めていく。読み進めるごとに、受講者の頭の中にある作品の世界がより鮮明なものとなっていくことを目指す。
The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、ならびに、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30464	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	大石 和欣	英語	火 4	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要	都市を読む この授業では「都市」をテーマにした英語文献抜粋を読みながら、歴史、文学、都市計画、建築、空間、地理、文化、政治・経済や法律など都市に関わる多様な側面を考えてみます。テーマに沿った知的な文章を英語で読み、各自の関心に基づいて英語で考え、意見や発見を明確にアウトプットする表現力も身につけていくことが目標です。 都市の定義は一様ではありません。都市に対する見方も多様です。そうした流動的な都市像について歴史的に辿りながら、同時に英語表現についても学んでいきます。アウトプットについても身近な都市空間を手がかりにして試行してみましょう。クラスメイトとのディスカッションを通して議論の基本も習得しましょう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30465	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	浜崎 史菜	英語	火 4	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要	フェミニストアートの批判的読み 本科目は、フェミニストアートについて書かれた英語文献を読むことで、フェミニストアートの歴史を概観的に学ぶとともに、その歴史の構築のされ方とフェミニストアート作品を批判的に読むことを目標とします。 テクストは The Art of Feminism: Images that Shaped the Fight for Equality, ed. by Helena Reckitt (London: Tate, 2019)と A Little Feminist History of Art, by Charlotte Mullins (London: Tate, 2019)を使用します。 ※フェミニストアートを取り扱うため、講義内そしてテクスト内において視覚資料に触れる機会があります。 作品のなかには、性的に過激と評されるものや、トラウマを引き起こす可能性のあるものが含まれます。講義内で作品をお見せする前にはトリガーウォーニングを出しますが、テクストを予習していただく際は、そちらが出来ません。履修をされる前に、これらの点をご確認いただければと思います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30466	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 4	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要	The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30467	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	朝岡 浩美	英語	火 4	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要	英語の動画を視聴し、英語でディスカッションを行う 本授業では、英語の総合的な能力を高めることを主目標としています。CNN や TED などの動画を視聴し、内容を理解し、グループディスカッションを通じて、自分の意見を英語で話す練習を行います。また、ロジカルに自分の意見を言えるようになるために、ロジカルシンキングについても学びます。 本授業の目的は、以下の通りです。 （1）英語動画を視聴して、英語のリスニング力と読解力を伸ばす。 （2）動画を引用しながら、自分の意見を英語で話すスキルを高める。 （3）自分の気に入った動画を英語のプレゼンテーションで紹介し、プレゼンテーション力を高める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30468	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 4	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)

講義題目
授業の目標概要

Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims
This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.
The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40170	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	朝岡 浩美	英語	火 4	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)

講義題目
授業の目標概要

英語の動画を視聴し、英語でディスカッションを行う
本授業では、英語の総合的な能力を高めることを主目標としています。CNN や TED などの動画を視聴し、内容を理解し、グループディスカッションを通じて、自分の意見を英語で話す練習を行います。また、ロジカルに自分の意見を言えるようになるために、ロジカルシンキングについても学びます。
本授業の目的は、以下の通りです。
（1）英語動画を視聴して、英語のリスニング力と読解力を伸ばす。
（2）動画を引用しながら、自分の意見を英語で話すスキルを高める。
（3）自分の気に入った動画を英語のプレゼンテーションで紹介し、プレゼンテーション力を高める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40171	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 4	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)

講義題目
授業の目標概要

The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural
This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40172	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	浜崎 史菜	英語	火 4	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)

講義題目
授業の目標概要

フェミニストアートの批判的読み
本科目は、フェミニストアートについて書かれた英語文献を読むことで、フェミニストアートの歴史を概観的に学ぶとともに、その歴史の構築のされ方とフェミニストアート作品を批判的に読むことを目標とします。
テクストは The Art of Feminism: Images that Shaped the Fight for Equality, ed. by Helena Reckitt (London: Tate, 2019)と A Little Feminist History of Art, by Charlotte Mullins (London: Tate, 2019)を使用します。
※フェミニストアートを取り扱うため、講義内そしてテクスト内において視覚資料に触れる機会があります。
作品のなかには、性的に過激と評されるものや、トラウマを引き起こす可能性のあるものが含まれます。講義内で作品をお見せする前にはトリガーウォーニングを出しますが、テクストを予習していただく際は、そちらが出来ません。履修をされる前に、これらの点をご確認いただければと思います。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40173	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	火 4	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)

講義題目
19 世紀後半から 20 世紀初頭に書かれた英米の優れた短編作品（推理小説と不思議な話）を深読みする

授業の目標概要
文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、当時の文化や社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一つにも、著者や登場人物の特定の意図が’（密かに）表明されていたり、含みがあったりする。また、当時の階級意識、ジェンダー、風俗習慣、英国と米国の関係性、ヨーロッパ世界観、異文化の見方などが作品の中に表現されている。作品を隅々まで味わいながら、場面で登場する物事についても合わせて参考資料を読み、教養を深めていく。読み進めるごとに、受講者の頭の中にある作品の世界がより鮮明なものとなっていくことを目指す。
The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、ならびに、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40174	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	大石 和欣	英語	火 4	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)

講義題目
都市を読む

授業の目標概要
この授業では「都市」をテーマにした英語文献抜粋を読みながら、歴史、文学、都市計画、建築、空間、地理、文化、政治・経済や法律など都市に関わる多様な側面を考えてみます。テーマに沿った知的な文章を英語で読み、各自の関心に基づいて英語で考え、意見や発見を明確にアウトプットする表現力も身につけていくことが目標です。
都市の定義は一様ではありません。都市に対する見方も多様です。そうした流動的な都市像について歴史的に辿りながら、同時に英語表現についても学んでいきます。アウトプットについても身近な都市空間を手がかりにして試行してみましょう。クラスメイトとのディスカッションを通して議論の基本も習得しましょう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40175	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 4	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)

講義題目
英語で日本近現代史を読む

授業の目標概要
外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40176	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	太田 奈名子	英語	火 4	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)

講義題目
Consuming and Creating Media

授業の目標概要
テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。
具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③パワーポイントで簡単な自己紹介動画をつくる、という３つのプレゼンを行う。
プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。
説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。
最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40177	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 4	1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)

講義題目
Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims

授業の目標概要
This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.
The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

英語中級（クラス指定ターム型）水２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30631	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	Christopher D. Hammond	英語	水 2	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)

講義題目
Introduction to Higher Education Studies

授業の目標概要
In this introductory course we will explore the local, national, and global dimensions of higher education from sociological and comparative perspectives. Issues covered will include teaching and learning, internationalization, credentialism and employability, global rankings competition, academic freedom and knowledge production, and cross-border research collaboration.
Emphasis will be placed on critically engaging with the tensions inherent in the varied social roles of world-class universities, institutions rooted in particular nation-states but active in international and global spaces.
We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30632	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	LANDAU Samantha	英語	水 2	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)

講義題目
Climate Change: Fact and Fiction

授業の目標概要
In this course, students will learn about how literature and cinema handle the subjects of climate change and global warming in the genre of Science Fiction. In other words, we will study "Cli-Fi." Climate change is usually addressed from scientific, political, or social issues (e.g. poverty or food scarcity) perspectives, but in reality climate change and global warming have been important to science fiction since the turn of the 20th century. Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach climate change from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society needs to take in the future.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30633	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	堀越 庸一郎	英語	水 2	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)

講義題目
楽園はここにある―Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む

授業の目標概要
あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、こんな薄汚れた都会なんか離れて、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。
そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、バーケット・フォスター (1825-99）の挿絵や水彩画が描いています。心ざわめくようで、それでいてどこか懐かしい、気がかりな夢の断片のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのフォスターの絵をふんだんに掲載した、画集のようなエッセイ集のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1890 年出版の本です。
130 年も前の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度は調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません―現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの華美な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30634	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 2	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		19 世紀後半から 20 世紀初頭に書かれた英米の優れた短編作品（推理小説と不思議な話）を深読みする 文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、当時の文化や社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一つにも、著者や登場人物の特定の意図が'（密かに）表明されていたり、含みがあったりする。また、当時の階級意識、ジェンダー、風俗習慣、英国と米国の関係性、ヨーロッパ世界観、異文化の見方などが作品の中に表現されている。作品を隅々まで味わいながら、場面で登場する物事についても合わせて参考資料を読み、教養を深めていく。読み進めるごとに、受講者の頭の中にある作品の世界がより鮮明なものとなっていくことを目指す。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、ならびに、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30635	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	矢田部 修一	英語	水 2	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		ニュースの英語の聞き取り 英語のニュースを正確に聞き取る練習をすることを通じて英語の聴解力を伸ばすことを目指す。ニュースというのは、聞き取りやすく話す訓練を受けた人が丁寧に聞き取りやすく読み上げるものなので、日常生活で用いられる普通の英語よりは聴解が容易である。その程度の難易度の英語を正確に聞き取れるように繰り返し練習するというのがこの授業の中身である。ウェブ上の音声を教材として用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30636	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 2	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30637	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	栗原 浪絵	英語	水 2	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		Art & Design in English 教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、現代のアートやデザインについて英語でディスカッションを行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40206	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	栗原 浪絵	英語	水 2	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要		Art & Design in English 教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、現代のアートやデザインについて英語でディスカッションを行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40207	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	矢田部 修一	英語	水 2	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

講義題目　ニュースの英語の聞き取り

授業の目標概要　英語のニュースを正確に聞き取る練習をすることを通じて英語の聴解力を伸ばすことを目指す。ニュースというのは、聞き取りやすく話す訓練を受けた人が丁寧に聞き取りやすく読み上げるものなので、日常生活で用いられる普通の英語よりは聴解が容易である。その程度の難易度の英語を正確に聞き取れるように繰り返し練習するというのがこの授業の中身である。ウェブ上の音声を教材として用いる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40208	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 2	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

講義題目　英語で読み解く現代社会

授業の目標概要　この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40209	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	LANDAU Samantha	英語	水 2	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

講義題目　Climate Change: Fact and Fiction

授業の目標概要　In this course, students will learn about how literature and cinema handle the subjects of climate change and global warming in the genre of Science Fiction. In other words, we will study "Cli-Fi." Climate change is usually addressed from scientific, political, or social issues (e.g. poverty or food scarcity) perspectives, but in reality climate change and global warming have been important to science fiction since the turn of the 20th century. Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach climate change from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society needs to take in the future.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40210	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	堀越 庸一郎	英語	水 2	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

講義題目　楽園はここにある―Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む

授業の目標概要　あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、こんな薄汚れた都会なんか離れて、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。

そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、バーケット・フォスター (1825-99) の挿絵や水彩画が描いています。心ざわめくようで、それでいてどこか懐かしい、気がかりな夢の断片のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのフォスターの絵をふんだんに掲載した、画集のようなエッセイ集のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1890 年出版の本です。

130 年も前の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度は調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません―現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの華美な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40211	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	Christopher D. Hammond	英語	水 2	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

講義題目
Introduction to Higher Education Studies

授業の目標概要
In this introductory course we will explore the local, national, and global dimensions of higher education from sociological and comparative perspectives. Issues covered will include teaching and learning, internationalization, credentialism and employability, global rankings competition, academic freedom and knowledge production, and cross-border research collaboration.
Emphasis will be placed on critically engaging with the tensions inherent in the varied social roles of world-class universities, institutions rooted in particular nation-states but active in international and global spaces.
We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40212	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 2	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

講義題目
19 世紀後半から 20 世紀初頭に書かれた英米の優れた短編作品（推理小説と不思議な話）を深読みする

授業の目標概要
文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、当時の文化や社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一つにも、著者や登場人物の特定の意図が’（密かに）表明されていたり、含みがあったりする。また、当時の階級意識、ジェンダー、風俗習慣、英国と米国の関係性、ヨーロッパ世界観、異文化の見方などが作品の中に表現されている。作品を隅々まで味わいながら、場面で登場する物事についても合わせて参考資料を読み、教養を深めていく。読み進めるごとに、受講者の頭の中にある作品の世界がより鮮明なものとなっていくことを目指す。
The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、ならびに、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています

英語中級（クラス指定ターム型）水３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30695	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	Christopher D. Hammond	英語	水 3	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Higher Education Studies In this introductory course we will explore the local, national, and global dimensions of higher education from sociological and comparative perspectives. Issues covered will include teaching and learning, internationalization, credentialism and employability, global rankings competition, academic freedom and knowledge production, and cross-border research collaboration. Emphasis will be placed on critically engaging with the tensions inherent in the varied social roles of world-class universities, institutions rooted in particular nation-states but active in international and global spaces. We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30696	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	LANDAU Samantha	英語	水 3	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		20th Century American Sci-Fi In this course, students will learn about the genre of Science Fiction and the political and social issues it concerned itself with during the 20th Century in the U.S. Through the study of short Sci-Fi fiction by American authors, issues such as climate change, gender inequality, and mental health, among other issues, will be deeply considered. Sci-Fi asks the reader not only to consider the problems of humanity and the environment humans live in, but also asks philosophical questions such as "what it means to be human." Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach Sci-Fi from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society (and humanity) should take in the future to build a better world.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30697	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	矢田部 修一	英語	水 3	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		ニュースの英語の聞き取り 英語のニュースを正確に聞き取る練習をすることを通じて英語の聴解力を伸ばすことを目指す。ニュースというのは、聞き取りやすく話す訓練を受けた人が丁寧に聞き取りやすく読み上げるものなので、日常生活で用いられる普通の英語よりは聴解が容易である。その程度の難易度の英語を正確に聞き取れるように繰り返し練習するというのがこの授業の中身である。ウェブ上の音声を教材として用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30698	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 3	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
講義題目 授業の目標概要		19 世紀後半から 20 世紀初頭に書かれた英米の優れた短編作品（推理小説と不思議な話）を深読みする 文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、当時の文化や社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一つにも、著者や登場人物の特定の意図が’（密かに）表明されていたり、含みがあったりする。また、当時の階級意識、ジェンダー、風俗習慣、英国と米国の関係性、ヨーロッパ世界観、異文化の見方などが作品の中に表現されている。作品を隅々まで味わいながら、場面で登場する物事についても合わせて参考資料を読み、教養を深めていく。読み進めるごとに、受講者の頭の中にある作品の世界がより鮮明なものとなっていくことを目指す。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、ならびに、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30699	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	堀越 庸一郎	英語	水 3	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

講義題目　楽園はここにある―Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む

授業の目標概要　あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、こんな薄汚れた都会なんか離れて、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。
そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、バーケット・フォスター (1825-99) の挿絵や水彩画が描いています。心ざわめくようで、それでいてどこか懐かしい、気がかりな夢の断片のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのフォスターの絵をふんだんに掲載した、画集のようなエッセイ集のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1890 年出版の本です。
130 年も前の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度は調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません―現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの華美な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30700	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	栗原 浪絵	英語	水 3	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

講義題目　Art & Design in English
授業の目標概要　教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、現代のアートやデザインについて英語でディスカッションを行う。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30701	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 3	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

講義題目　英語で読み解く現代社会
授業の目標概要　この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40246	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	矢田部 修一	英語	水 3	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)

講義題目　ニュースの英語の聞き取り
授業の目標概要　英語のニュースを正確に聞き取る練習をすることを通じて英語の聴解力を伸ばすことを目指す。ニュースというのは、聞き取りやすく話す訓練を受けた人が丁寧に聞き取りやすく読み上げるものなので、日常生活で用いられる普通の英語よりは聴解が容易である。その程度の難易度の英語を正確に聞き取れるように繰り返し練習するというのがこの授業の中身である。ウェブ上の音声を教材として用いる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40247	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 3	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)

講義題目　英語で読み解く現代社会
授業の目標概要　この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40248	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	堀越 庸一郎	英語	水 3	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)

講義題目　楽園はここにある―Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む

授業の目標概要　あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、こんな薄汚れた都会なんか離れて、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。
そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、バーケット・フォスター (1825-99）の挿絵や水彩画が描いています。心ざわめくようで、それでいてどこか懐かしい、気がかりな夢の断片のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのフォスターの絵をふんだんに掲載した、画集のようなエッセイ集のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1890 年出版の本です。
130 年も前の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度は調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません―現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの華美な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40249	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	栗原 浪絵	英語	水 3	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)

講義題目　Art & Design in English
授業の目標概要　教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、現代のアートやデザインについて英語でディスカッションを行う。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40250	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	Christopher D. Hammond	英語	水 3	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)

講義題目　Introduction to Higher Education Studies
授業の目標概要　In this introductory course we will explore the local, national, and global dimensions of higher education from sociological and comparative perspectives. Issues covered will include teaching and learning, internationalization, credentialism and employability, global rankings competition, academic freedom and knowledge production, and cross-border research collaboration.
Emphasis will be placed on critically engaging with the tensions inherent in the varied social roles of world-class universities, institutions rooted in particular nation-states but active in international and global spaces.
We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40251	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	LANDAU Samantha	英語	水 3	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		20th Century American Sci-Fi In this course, students will learn about the genre of Science Fiction and the political and social issues it concerned itself with during the 20th Century in the U.S. Through the study of short Sci-Fi fiction by American authors, issues such as climate change, gender inequality, and mental health, among other issues, will be deeply considered. Sci-Fi asks the reader not only to consider the problems of humanity and the environment humans live in, but also asks philosophical questions such as "what it means to be human." Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach Sci-Fi from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society (and humanity) should take in the future to build a better world.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40252	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 3	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		19 世紀後半から 20 世紀初頭に書かれた英米の優れた短編作品（推理小説と不思議な話）を深読みする 文章をただ理解するのではなく、表現や作品の背景にある時代、歴史、当時の文化や社会などについての知識を深めながら、作品の世界観に深く入り込んでいく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一つにも、著者や登場人物の特定の意図が’（密かに）表明されていたり、含みがあったりする。また、当時の階級意識、ジェンダー、風俗習慣、英国と米国の関係性、ヨーロッパ世界観、異文化の見方などが作品の中に表現されている。作品を隅々まで味わいながら、場面で登場する物事についても合わせて参考資料を読み、教養を深めていく。読み進めるごとに、受講者の頭の中にある作品の世界がより鮮明なものとなっていくことを目指す。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、ならびに、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています				

英語中級（クラス指定セメスター型）月2

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30034	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)

講義題目
授業の目標概要

Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore Studies
This course will provide students with a foundation in working in English to conduct folkloric studies. Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, presentations, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring folktales, ghost stories, myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.). The class will be based on in-class discussion, written responses and presentation of ideas in English.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30035	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	堀越 庸一郎	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)

講義題目
授業の目標概要

楽園はどこにある―Marcus B. Huish, Happy England as Painted by Helen Allingham, R.W.S. (1903) を読む
あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、こんな薄汚れた都会なんか離れて、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。
そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、ヘレン・アリンガム (1848-1926）の水彩画が描いています。うっとりするような、はかない夢のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのアリンガムの絵をふんだんに掲載した、画集のようなエッセイ集のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1903 年出版の本です。
120 年も前の文章、ヴィクトリア朝の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度はウェブ検索などで調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません―現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの流麗な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30036	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	WONG Michelle	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)

講義題目
授業の目標概要

TED Talks - Discussions and Presentations
The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30037	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	メズールール ジェルマン	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)

講義題目
English Through Advertising, and Advertising's Role in Society M2

授業の目標概要
The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner.
We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these campaigns and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries.
In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements / 公共広告) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc.
Topics covered will include:
- TV Commercial Strategies
- Print Advertisements Design Analysis
- PSAs, CSR and cause marketing
- Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.)
The textbook used is in Japanese (広告で社会学 by 難波 功士). This will be read collaboratively: students will read selected chapters (4-5 chapters each) and give short presentations to their peers in small groups.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30038	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	瀧野 みゆき	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)

講義題目
プロフェッショナルのための共通語としての英語
Communicating in English as Professionals

授業の目標概要
プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。
英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1）グローバル社会の英語の役割、2）プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして3）英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の3点を学ぶことを目指します。
授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。
英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30039	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	松本 和子	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)

講義題目
はじめてのニュース英語

授業の目標概要
ニュース英語を通じて、リスニングによる理解力を伸ばすことを目指す。具体的には、イギリスの国営放送 BBC のニュースを通じ、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さに慣れることを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30040	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	田中 伸一	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		未来学入門 ここでいう「未来学」とは，未来と向き合うために教養人としてどのように現在を生きたら良いかに関わる見識を指す。現在の傾向から未来の状態を予測する通常の未来学と違って，逆に想定される未来をもたらすには今どうあるべきかを考える backcasting の手法である。また，社会全体の体制がどうあるべきかではなく，それを構成する個人の内面を問題とする。科学者のモラルまたは一般人の科学知識が大いに問われる昨今，教養人が当然知っておいてよい見識である。 この授業では，数学者・生物学者・科学哲学者である J.Bronowski の著書 A Sense of the Future (1977, MIT Press)に所収された 4 つのエッセーを読み，そうした「未来学」のイロハを学びつつ，未来への向き合い方と現在の生き方を考えていきたい。授業で扱うテーマは，“A Sense of the Future”（未来と向き合う感覚），“The Creative Process”（創造のプロセス），“On Art and Science”（文芸と科学について），“The Reach of Imagination”（想像力が及ぶ範囲）の 4 つであり，こうした見識は当然ながら文理の垣根などない。また，やや古い著書ではあるが色褪せることもなく，古くて新しい普遍的なテーマを掘り起こす意味がある。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30041	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	愛甲 雄一	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		国際政治理論について学ぶ 本コースは、John Baylis et al. (eds.), The Globalization of World Politics (Oxford University Press, 2020) 所収の国際政治理論に関する一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。この作業を通じて本コースの受講者は、代表的な国際政治理論についての概要が説明できるようになるとともに、現代世界が直面している様々な国際政治上の問題・課題について、理論的な観点からアプローチできるようになる。また英語で記された国際問題についてのニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30042	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	岩崎 徹	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		元祖ミュージカルの台本を読む 『キャッツ』や『オペラ座の怪人』のロイド・ウェバーの約 100 年前、ヴィクトリア朝末期のロンドンで大流行し、英語圏に広まった「サヴォイ・オペラ」は、元祖ミュージカルとも言うべき喜歌劇だ。諷刺の利いたギルバートの台本（・歌詞）と軽快で親しみやすいサリヴァンの曲で、現在でも人気が高く、大学生などアマチュアによる上演も盛んだ。今学期は、レパートリーの中から、幼少時に隣国の王子と婚約した王女が女子大を創設し、そこに王子らが変装して乗り込むという Princess Ida を映像を鑑賞しながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。洗練された英語で書かれた台詞、韻を踏んだ歌詞、それに時代背景や上演のエピソードなどについての詳しい注、と多様な文体にふれる機会にもなる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30043	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	坪井 栄治郎	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		置かれた状況に適応し、対峙し、受容する人間について書かれた英文を読む 自然環境の中で集団生活を営む社会的存在として進化してきた人間の特性、自らが創り出した人工的環境とも言える飛躍的な技術革新のさなかにおかれている現況、病いや死、災厄などの超越的「運命」との対峙/受容、等、自らの置かれた状況の中での人間の振る舞いに関わる内容の英文をいくつか読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。				

英語中級（クラス指定セメスター型）月３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30128	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	瀧野 みゆき	英語	月 3	1 年 理一(11,16-17,23,27,31)

講義題目　プロフェッショナルのための共通語としての英語
Communicating in English as Professionals

授業の目標概要　プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。
英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、１）グローバル社会の英語の役割、２）プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして３）英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の３点を学ぶことを目指します。
授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。
英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30129	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 3	1 年 理一(11,16-17,23,27,31)

講義題目　An Introduction to Cultural Geography
授業の目標概要　This course will provide students with an opportunity to explore the complex terrain of cultural geography through English language texts. Starting with an overview of cultural geography, the course will then look at specific cultural, critical and aesthetic theory, helping students to reflect on the relationship between culture, nature and representation. Each class will focus on a particular cultural geographic theme (e.g. the culture-nature divide; mobility; the anthropocene; landscape and memory; urbanism and rurality; folklore and landscape). By the end of the course students will have a comprehensive understanding of the connections between people, landscape and the geographic imagination. The course is designed to develop your critical thinking, discussion and presentation, and reading skills and will therefore require you to read short academic articles and take part in class discussion on a weekly basis. You will be expected to prepare for classes in advance and play an active role in the discussion, presentation and defence of your ideas throughout the course. Students should be prepared to share their ideas with the rest of the class and take part in group work..

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30130	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	堀越 庸一郎	英語	月 3	1 年 理一(11,16-17,23,27,31)

講義題目　楽園はどこにある―Marcus B. Huish, Happy England as Painted by Helen Allingham, R.W.S. (1903) を読む
授業の目標概要　あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、こんな薄汚れた都会なんか離れて、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。
そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、ヘレン・アリンガム (1848-1926) の水彩画が描いています。うっとりするような、はかない夢のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのアリンガムの絵をふんだんに掲載した、画集のようなエッセイ集のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1903 年出版の本です。
120 年も前の文章、ヴィクトリア朝の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度はウェブ検索などで調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません―現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの流麗な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30131	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	WONG Michelle	英語	月 3	1 年 理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目	TED Talks - Discussions and Presentations					
授業の目標概要	The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30132	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	メズールール ジェルマン	英語	月 3	1 年 理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目	English Through Advertising, and Advertising's Role in Society M3					
授業の目標概要	The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these campaigns and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries. In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements / 公共広告) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc. Topics covered will include: - TV Commercial Strategies - Print Advertisements Design Analysis - PSAs, CSR and cause marketing - Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.) The textbook used is in Japanese (広告で社会学 by 難波 功士). This will be read collaboratively: students will read selected chapters (4-5 chapters each) and give short presentations to their peers in small groups.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30133	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	愛甲 雄一	英語	月 3	1 年 理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目	グローバル・イシューについて考える					
授業の目標概要	本コースは、John Baylis et al. (eds.), The Globalization of World Politics (Oxford University Press, 2020) 所収のグローバル・イシューを取り扱っている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。この作業を通じて本コースの受講者は、今日世界的に重要な問題として知られる様々なテーマ（具体的には、環境問題、貧困・飢餓・開発、テロリズム）についてその概略を把握すると同時に、こうした問題の具体的解決策を考察するための素養を身に付けることができる。また英語で記された国際問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30134	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	岩崎 徹	英語	月 3	1 年 理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目	アメリカ建国の父たちについてのミュージカルの台本を読む					
授業の目標概要	2016 年度のトニー賞授賞式で記録的な成果をあげたブロードウェイ・ミュージカル『ハミルトン』（リン・マヌエル・ミランダ作詞・作曲・主演）は、ワシントン政権の財務長官でドル紙幣に肖像画があるアレグザンダー・ハミルトンの生涯を描いた作品だ。アメリカ建国当時の物語だが、現在のアメリカの人種構成を反映したキャスティングとヒップホップ基調の曲で話題となり、政界、教育界を巻き込んだ一大現象となったこの作品を舞台映像を見ながら台本を読む。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30135	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	平沢 慎也	英語	月 3	1 年 理一(11,16-17,23,27,31)

講義題目	ミステリー短編で学ぶ，フレーズの連鎖としての英語
授業の目標概要	本講義では，英語母語話者が用いる英語は単語の連鎖としてではなく，もっと大きな単位（フレーズや構文など）の連鎖として捉えた方が妥当であるということを，ミステリー短編の中で用いられている実例の観察を通じて示します。 今回読むミステリー短編の 1 本目は，Lisa Morton, "What Ever Happened to Lorna Winters?" です。語り手のもとに送られてきた不気味な動画。よく見ると，これはまさか，芸能界から突然姿を消した女優 Lorna Winters の殺害動画ではないか･･･？ というところから始まる物語です。2 本目は Bruce Robert Coffin, "Fool Proof"。脱獄犯の心の中が丁寧に描かれていて，なんだかこっちまで悪いことをしているような気分になってくる短編です。 本講義の目標は以下の 2 点です。 ・英語の実例に触れたときに「どのようなフレーズが用いられているかな？」と問う習慣を身につけること。 ・その問いに答えるための発想法と調査方法を身につけること。

英語中級（クラス指定セメスター型）月４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30177	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	WONG Michelle	英語	月 4	1 年 文一二(10)理一(8,12)理二三(8)
講義題目 授業の目標概要		TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30178	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	メズールール ジェルマン	英語	月 4	1 年 文一二(10)理一(8,12)理二三(8)
講義題目 授業の目標概要		English Through Advertising, and Advertising's Role in Society M4 The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these campaigns and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries. In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements / 公共広告) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc. Topics covered will include: - TV Commercial Strategies - Print Advertisements Design Analysis - PSAs, CSR and cause marketing - Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.) The textbook used is in Japanese (広告で社会学 by 難波 功士). This will be read collaboratively: students will read selected chapters (4-5 chapters each) and give short presentations to their peers in small groups.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30179	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	愛甲 雄一	英語	月 4	1 年 文一二(10)理一(8,12)理二三(8)
講義題目 授業の目標概要		政治哲学から公共政策にアプローチする 本コースは、William Abel et al., Introducing Political Philosophy: A Policy-Driven Approach (Oxford University Press, 2021) に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。この作業を通じて本コースの受講者は、今日社会の中で鋭く意見が分かれている種々の論争的なテーマ（ヘイトスピーチと表現の自由をめぐる問題など）について、その主たる対立点を理解すると同時に、政治哲学の観点からその問題を考察する素養を身に付けることができる。また英語で記された社会・政治問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30180	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	高橋 和子	英語	月 4	1 年 文一二(10)理一(8,12)理二三(8)
講義題目 授業の目標概要		TOEFL の後は、名作を英語で読もう 本授業では、授業前半で TOEFL の reading 問題を扱う。授業後半では、英語を学ぶ大学生ならば理科系・文科系に関わらず、一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げる。 これらの学習を通して、様々なトピックを扱った英文読解に慣れ親しむことを目標にする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30181	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	平沢 慎也	英語	月 4	1 年 文一二(10)理一(8,12)理二三(8)
講義題目	映画 Paddington で学ぶ，フレーズの連鎖としての英語					
授業の目標概要	本講義では，英語母語話者が用いる英語は単語の連鎖としてではなく，もっと大きな単位（フレーズや構文など）の連鎖として捉えた方が妥当であるということを，映画の中で用いられている実例の観察を通じて示します。 今回扱う映画は Paddington です。そのほか様々な TV ドラマや映画を参照しますが，メインは Paddington です。 本講義の目標は以下の 2 点です。 ・英語の実例に触れたときに「どのようなフレーズが用いられているかな？」と問う習慣を身につけること。 ・その問いに答えるための発想法と調査方法を身につけること。					

英語中級（クラス指定セメスター型）火1

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30278	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	坪井 栄治郎	英語	火 1	1年 文一二(23)文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		置かれた状況に適応し、対峙し、受容する人間について書かれた英文を読む 自然環境の中で集団生活を営む社会的存在として進化してきた人間の特性、自らが創り出した人工的環境とも言える飛躍的な技術革新のさなかにおかれている現況、病いや死、災厄などの超越的「運命」との対峙/受容、等、自らの置かれた状況の中での人間の振る舞いに関わる内容の英文をいくつか読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30279	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	吉国 浩哉	英語	火 1	1年 文一二(23)文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		American Short Stories Believe it or not, there is such a thing as literature in America, and the purpose of this course is to familiarize students with this strange thing called American literature, which is usually considered a “minor” literature from the viewpoint of the history of civilization in the world. In the process to pursue this purpose, students will find themselves in a situation in which they cannot avoid reading more in English than they did in high schools. As a result, it is not totally unlikely that students might be able to develop their “reading skills” (whatever this phrase means). At least, it is very likely that students will become “used to” reading a considerable amount of texts written in English. As an English language course, there will be lectures on grammar and syntax that are used in the texts, but overall comprehension of the story and active interpretation on the side of the reader will receive more emphasis. This course will be taught in Japanese. Because this is not an “easy” course, those who see the English courses as nothing other than a means to earn credits should not take this course. If you are not confident enough about your command of English but willing to learn something new and different, there will be help for you.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30280	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	アンダル ジャクリーン	英語	火 1	1年 文一二(23)文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		Colonial Encounters This reading and discussion based course will use different texts to develop students' skill in English comprehension and discussion. The course will draw on fiction and essays related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the work of the British writer Andrea Levy. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to discuss their responses to the readings in class. The material for this class will be distributed in class or will be available online.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30281	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	アルヴィ なほ子	英語	火 1	1 年 文一二(23)文三(15)理二三(11,23)

講義題目
英語のテクストを読み、聞き、考えるということ

授業の目標概要
目標）世界中の人々を読者として行われるノーベル文学賞受賞講演（英訳も含む）を使って、英語の表現を学ぶとともに、テクストの読解を通して、現代の様々な事象と世界の在りようを考え、自分の世界、自分の考えを広げる入り口とする。「読むこと」と「書くこと」は分かちがたく結びついていることを理解し、読解を通して、読む力と書く力の両方を伸ばす。
概要) 最近のノーベル文学賞受賞講演を３つとそれに関連する資料を読みます。講演の中には、様々な英語表現（韻文を含む）があります。英語母語話者のもの、母語ではない英語で作品を発表した受賞者のもの、英語以外で行われた講演の英訳の３つを用います。優れた文学作品を世に問うた作者は、どのように生きてきたか、自分を取り巻く社会、世界をどのように捉え、作品を通してそれを表現してきたか、読者はそれをどのように受け取るのか。それが英語で表現されるということはどういうことか。英語を外国語として読む、あるいは書くこと、翻訳するということはどういうことかについても考察します。実際の講演のヴィデオや、授賞理由の説明のスピーチのヴィデオも公開されているので参考にします。テクストを読むということは、読者とテクストの対話です。テクストはその書き手が世界をどのように見て、どのように切り取ったかを示すものです。読者は、テクストを読みながら、文脈を考え、調べ、その書き手の独特の視点を捉え、テクストと対話し、テクストの外の世界とも対話しながら、書かれたテクストを自分の知的な糧として、自分の考えを深め、自分と異なる他者への理解を深め、自身のテクストを紡ぎ出す力を得ていきます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30282	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	柳川 浩三	英語	火 1	1 年 文一二(23)文三(15)理二三(11,23)

講義題目
Global Issues in Action: Tasks that Work

授業の目標概要
1. To better understand global issues and discuss them in English.
2. To share personal opinions, views, feelings, and experiences.
To succeed in this course, you must get out of your chair and actively discuss global issues with partners, in small groups, and with the whole class. You will be asked to improvise, role play, hold debates, give presentations, and engage in other forms of structured discussion in English. The tasks in this course are designed to deepen your learning by nudging you out of your comfort zone. When you complete this course, you will have gained knowledge about the world, practical skills in using the English language, and experience in speaking out. The global issues of focus (poverty, nuclear threats, environmental issues, violations of human rights, and inequality) are selected to broaden your perspective by drawing your attention to different parts of the world.

英語中級（クラス指定セメスター型）火５

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30534	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	リチンスキ ダン	英語	火 5	1 年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要		English Lectures on General Physics This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30535	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	牛村 圭	英語	火 5	1 年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要		New York Times で世界を読む New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30536	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	髙橋 和子	英語	火 5	1 年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要		Pronunciation and Listening 形式：４月の始め２回は Zoom、それ以降は教室で行なう予定。教室には透明マスクまたはフェイスシールドを持参すること。 概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、「発音だけには自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくい」と感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。 目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。（１）英語音声を正しく理解し、発音できるようになる。（２）日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。（３）専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。（４）英語リスニング力を向上させる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30537	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	土屋 和代	英語	火 5	1 年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要		クィアのアメリカ史を読む クィアの歴史を軸にアメリカ史を再構成する A Queer History of the United States を講読し、セクシュアリティ、ジェンダー、人種、階級をめぐる問題について考察する。本書は周縁化された人びとの視点からアメリカ史を再考する ReVisioning American History（改訂アメリカ史）シリーズの一冊である。語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するインタビューやドキュメンタリーを視聴し、背景となるクィアの歴史と 20 世紀後半の米国の歴史、社会、政治、文化についての理解を深める。				

英語中級（クラス指定セメスター型）水1

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30565	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	矢田部 修一	英語	水 1	1年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目		ヒッチコック監督の映画「The Lady Vanishes」(1938) を見る				
授業の目標概要		1938 年に公開されたヒッチコック監督の映画「The Lady Vanishes」（日本では著作権の切れた映画なので、ネット上で無料で見ることができる）を見ることを通じて、口語的な英語を理解する力を伸ばすことがこの授業の主要な目標である。また、この映画に関する文章などを読んで、文語的な英語を理解する力を伸ばすことを副次的な目標としたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30566	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	水 1	1年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目		Gender and youth in Japan ジェンダーから見る日本の若者				
授業の目標概要		The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written about gender issues in English. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender, sexuality and bodies/pop culture. Students will also collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys. このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー・セクシャリティ・身体/ポップカルチャー等です。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30567	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリーン	英語	水 1	1年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目		Colonial Encounters				
授業の目標概要		This reading and discussion based course will use different texts to develop students' skill in English comprehension and discussion. The course will draw on fiction and essays related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the work of the British writer Andrea Levy. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to discuss their responses to the readings in class. The material for this class will be distributed in class or will be available online.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30568	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	吉国 浩哉	英語	水 1	1年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目		American Short Stories				
授業の目標概要		Believe it or not, there is such a thing as literature in America, and the purpose of this course is to familiarize students with this strange thing called American literature, which is usually considered a “minor” literature from the viewpoint of the history of civilization in the world. In the process to pursue this purpose, students will find themselves in a situation in which they cannot avoid reading more in English than they did in high schools. As a result, it is not totally unlikely that students might be able to develop their “reading skills” (whatever this phrase means). At least, it is very likely that students will become “used to” reading a considerable amount of texts written in English. As an English language course, there will be lectures on grammar and syntax that are used in the texts, but overall comprehension of the story and active interpretation on the side of the reader will receive more emphasis. This course will be taught in Japanese. Because this is not an “easy” course, those who see the English courses as nothing other than a means to earn credits should not take this course. If you are not confident enough about your command of English but willing to learn something new and different, there will be help for you.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30569	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	後藤 春美	英語	水 1	1 年 理一(1-3,18,20-21)
講義題目		International History				
授業の目標概要		イギリスの王立国際問題研究所（チャタム・ハウス）が発行している学術雑誌である International Affairs に掲載された論文の読解を通して、国際関係の歴史について学ぶ。1 週間で扱う英文は 4〜7 ページ程度である。				

英語中級（クラス指定セメスター型）木２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30854	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	英語	木 2	1 年 文一二(7,11)文三(14)

講義題目　メディアの英語

授業の目標概要　時事問題・政治・経済・国際関係・文化芸術・科学・テクノロジー・医療といった幅広いジャンルの話題を特集／収録したテレビ、ヴィデオ、ラジオ番組等、アメリカの報道メディアの番組（CBS, National Public Radio, New York Times Video 等）を視聴覚教材として視聴し、その上でワークシートを配布し、内容や語彙、用法を確認し、さらにトランスクリプトや関連記事の読解により理解を深め、知的な内容の報道番組をごく自然に理解する「実用レヴェル」の英語力と思考力を訓練することを目的とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30855	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	グレノン イザベル	英語	木 2	1 年 文一二(7,11)文三(14)

講義題目　Why and how people migrate from a current, historical and global viewpoint

授業の目標概要　The primary objective of this course is to enhance students' reading and listening skills in English, as well as develop their critical thinking and ability to form and express their opinion in English (mostly in written form).
In order to do this, we will investigate and discuss a controversial topic in Japan today, that of immigration. While we will focus more specifically on immigration in Japan today, we will also look at "migration" from a historical and global perspective. Issues related to migration may include discussion about the Ainu communities in Japan, (dual)citizenship issues, ethnicity-based discrimination, benefits/pitfalls of immigration policies, etc. In addition to reading summaries in English, we will interview experts in the field as well as people who have experienced migrating to another country (both Japanese and foreigners.) The interviews will be recorded in advance, but students will be able to suggest questions they would like to ask the presenters. This is a unique opportunity for students to learn about this topic by listening to people who have had direct experiences with issues related to "migration".

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30856	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	小田 悠生	英語	木 2	1 年 文一二(7,11)文三(14)

講義題目　グローバリゼーションの基本概念と諸相

授業の目標概要　この授業のテーマは、グローバリゼーションです。この言葉は 20 世紀初頭に最初に現れ、1990 年代以降に急速に広まったものです。グローバリゼーションとは、どのような現象を指すのでしょうか。それはいつ始まったと考えられるのでしょうか。それは単線的な変化なのでしょうか。その光と影は、私たちの生きる 21 世紀にどのような課題を投げかけるのでしょうか。こうした諸問題を、初学者向けのテキストを用いて考えていきましょう。
指定テキストの英語レベルは、概説書や新書に相当します。前提知識がない読者を対象とした、初学者向けのアカデミックな英語を読解する力を養い、自分の見解を論理的に口頭・文章で表現することができるようになることが目標です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30857	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	平賀 優子	英語	木 2	1 年 文一二(7,11)文三(14)

講義題目　英語発音演習―発音力から聴解力へ―

授業の目標概要　この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。

英語中級（クラス指定セメスター型）木３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30923	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	グレノン イザベル	英語	木 3	1 年 文一二(21)文三(19)理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		Why and how people migrate from a current, historical and global viewpoint The primary objective of this course is to enhance students' reading and listening skills in English, as well as develop their critical thinking and ability to form and express their opinion in English (mostly in written form). In order to do this, we will investigate and discuss a controversial topic in Japan today, that of immigration. While we will focus more specifically on immigration in Japan today, we will also look at "migration" from a historical and global perspective. Issues related to migration may include discussion about the Ainu communities in Japan, (dual)citizenship issues, ethnicity-based discrimination, benefits/pitfalls of immigration policies, etc. In addition to reading summaries in English, we will interview experts in the field as well as people who have experienced migrating to another country (both Japanese and foreigners.) The interviews will be recorded in advance, but students will be able to suggest questions they would like to ask the presenters. This is a unique opportunity for students to learn about this topic by listening to people who have had direct experiences with issues related to "migration".				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30924	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	矢島 宏紀	英語	木 3	1 年 文一二(21)文三(19)理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		英文リーディング演習―アメリカ史研究を題材に 【概要】 本授業では、分野を問わず学術の世界で通用する英語の読解力（それに基づく作文力）の強化を目指します。扱う英文はアメリカの歴史や社会に関するものです。論説記事、研究書の一部（通史の序章など)、論文等を読みます。 【目標】 アカデミックな英文を正確に理解するために必要となる解釈力と語彙力を高める。 英語の文章を簡潔かつ正確な日本語および英語で要約できるようになる。 アメリカの歴史や社会に関する知識と新しい見方を得てアメリカについての理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30925	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	久世 恭子	英語	木 3	1 年 文一二(21)文三(19)理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		'Language Myths' & 'Pygmalion' 言語に関する「神話」について言語学者が一般向けに解説するテクスト'Language Myths'を主教材とし、読解力向上を目指すだけでなく、言語神話形成の背景にある社会問題や文化への関心も養う。また、内容に関連のある戯曲'Pygmalion'の読み合わせや映画 Pygmalion/My Fair Lady の視聴を取り入れ、文学的な作品にも触れる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30926	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	平賀 優子	英語	木 3	1 年 文一二(21)文三(19)理二三(4,17,20)
講義題目	英語発音演習―発音力から聴解力へ―					
授業の目標概要	この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30927	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	戸谷 陽子	英語	木 3	1 年 文一二(21)文三(19)理二三(4,17,20)
講義題目	メディアの英語					
授業の目標概要	時事問題・政治・経済・国際関係・文化芸術・科学・テクノロジー・医療といった幅広いジャンルの話題を特集／収録したテレビ、ヴィデオ、ラジオ番組等、アメリカの報道メディアの番組（CBS, National Public Radio, New York Times Video 等）を視聴覚教材として視聴し、その上でワークシートを配布し、内容や語彙、用法を確認し、さらにトランスクリプトや関連記事の読解により理解を深め、知的な内容の報道番組をごく自然に理解する「実用レヴェル」の英語力と思考力を訓練することを目的とする。					

英語中級（クラス指定セメスター型）金１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31028	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	小野 五弥子	英語	金 1	1 年 文一二(25,27)理二三(13-14)
講義題目	Gender and youth in Japan ジェンダーから見る日本の若者					
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written about gender issues in English. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender, sexuality and bodies/pop culture. Students will also collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys. このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー・セクシャリティ・身体/ポップカルチャー等です。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31029	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	ポター サイモン	英語	金 1	1 年 文一二(25,27)理二三(13-14)
講義題目	Exploring the Human Condition through Dialogs					
授業の目標概要	The objective of the course is to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, and either preparing oral presentations and performing in front of the class or (in the event of the course having to be online) writing essays. The course is built around a textbook which contains dialogs that touch on subjects related to education, the natural sciences, the humanities, the social sciences, and technology; the chapters include a two-page dialog, a photograph with a thought-provoking caption, a written exchange between the editor and author of the book, and five general questions. For all but the first class meeting (which will serve primarily as an introduction to the course), students will be assigned one or two chapters in the textbook to read before coming to class, and during class time there will be two graded activities: (1) writing answers to a set of questions in the book or otherwise related to the assigned chapter(s), and (2) working in small groups to prepare and make oral presentations based on selected themes, topics, or questions related to the chapter(s) or (in the event of the course having to be online) writing an essay based on the same.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31030	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	川﨑 修一	英語	金 1	1 年 文一二(25,27)理二三(13-14)
講義題目	「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する英語文献を読むー世界最高峰の 2 大英文法書を中心に					
授業の目標概要	本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成です。また、学校文法で扱われることのない（にもかかわらず実際の英語では頻繁に確認できる）文法や構文に関する文献を読み、英語についての洞察を深めることを第二の目標とします。 なお、使用する教材は、世界最高峰の 2 大英文法書 Quirk et al (1985) と Huddleston and Pullum (2002)を中心に、第一級の研究者による文献を予定しています。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31031	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	佐藤 洋一	英語	金 1	1 年 文一二(25,27)理二三(13-14)
講義題目	Making bridge from comprehension to practice					
授業の目標概要	In this course, you will learn various kinds of English vocabulary and expressions necessary for practical business communication. You will be expected to develop your business English knowledge, including spoken and written communication and critical thinking skills, while learning various kinds of authentic English. In this course, students are expected to learn 1. Vocabulary and expressions for business English, especially for reading and listening, 2. Business English skills for effective spoken and written communication, 3. Strategic competence necessary for global business. By the end of this course, you will be able to: -Comprehend basic vocabulary and expressions for business English -Speak and write basic-level short sentences about business topics -Ask and answer questions about basic business issues in English, especially about intercultural business and management -Present your basic ideas about global business communication in English					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31032	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	坪井 栄治郎	英語	金 1	1 年 文一二(25,27)理二三(13-14)
講義題目	置かれた状況に適応し、対峙し、受容する人間について書かれた英文を読む					
授業の目標概要	自然環境の中で集団生活を営む社会的存在として進化してきた人間の特性、自らが創り出した人工的環境とも言える飛躍的な技術革新のさなかにおかれている現況、病いや死、災厄などの超越的「運命」との対峙/受容、等、自らの置かれた状況の中での人間の振る舞いに関わる内容の英文をいくつか読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。					

英語中級（クラス指定セメスター型）金３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31135	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	古田 直肇	英語	金 3	1 年 文一二(17,22)文三(16)理一(29,39)

講義題目
授業の目標概要

「悪の陳腐さ」を通して人間性を探り、「自由」を思索する
本講義では、政治哲学者ハンナ・アーレントの提唱した概念である「悪の陳腐さ（the banality of evil）」と経済学者フリードリッヒ・フォン・ハイエクの提唱した「自由主義（liberalism）」について受講生とともに思索を深めていきたい。その作業を通して、複雑な思考を英語で理解し、英語で表現する力を涵養していく。
アーレントは、その著書『エルサレムのアイヒマン』において、悪を成すのは、特別な人間ではなく、むしろ普通の人間であると指摘している。もし、アーレントの言うように、凡人こそが邪悪な行為をするのだとすれば、我々は一様に悪に陥る可能性を秘めていることとなる。では、一体、どのようにすれば、我々は、「陳腐な悪」に陥らずに済むのだろうか。学期中、前半部では、様々な角度からこの問いに対して向き合っていくが、特に人間の自由意志について考えを巡らせることが多くなるだろう。
学期の後半は、ハイエクの著作・論文を精読していく。ハイエクの思想のエッセンスを理解することを通して、社会における個人の自由について思索を深めていきたい。ハイエクが人間の自由についてどう考えていたか、この理解を踏み台として受講生には自分の自由論を形作ってもらう。これが学期後半の到達目標である。
受講生は、TED Talk などのインターネットの動画視聴あるいは英文のリーディングを課題として課されるので、事前に配布される Study Questions に答えておくことが求められる。受講生自身が自分の手と頭を使って下調べをして講義に臨んでいることを前提にして、教員は授業を行う。
予習に限らず、自ら動き、自ら調べ、自ら考える。この姿勢なき者が、この授業に出ても意味はない。自分の頭で人間性の本質を理解しようと足掻き続けることを厭わないもの、「呻きつつ求める」ものを歓迎したい。
本講義の到達目標は、以下の通りである。
・「悪の陳腐さ」「自由主義」について、その概念と由来・歴史的背景を正確に理解し、その概要を英語で説明できる。
・「悪の陳腐さ」「自由主義」に関する自分の見解を、わかりやすい英語で説明できる。
・「実践知」「自由意志」「決定論」「実存主義」「個人主義」といった概念を正確に理解し、その概要を英語で説明できる。また、それについての自分の見解を英語で述べることができる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31136	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	ミルズ アンソニー	英語	金 3	1 年 文一二(17,22)文三(16)理一(29,39)

講義題目
授業の目標概要

Improving English Language Presentation Skills
Many of us sometimes have to make an oral presentation in front of an audience.
This happens both at university and in the world outside, We also often need to know how to respond appropriately and constructively to presentations by others and take part in discussions. A
lot of people find these activities stressful, especially if the language that is used is not their own first language. This course aims to give the participants practice in making and responding to
oral presentations in English. Each student will make three English-language presentations during the course and all students are expected to participate actively in class discussions.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31137	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	ポター サイモン	英語	金 3	1 年 文一二(17,22)文三(16)理一(29,39)

講義題目
授業の目標概要

Ethics in the Context of Major Religious Traditions
The main objectives of this course are to gain some experience in reading and writing in English and to learn about major religious traditions mainly through the perspective of ethics. From the third scheduled class meeting, students will be expected to have read an assigned part of the book “An Interview with Prānavichāra about the Subject of Ethics” and to be prepared to answer some questions and/or to write a short essay during class time (in the classroom or online). In the event of a class being done online, the questions and/or essay prompt will be given near the beginning of the allotted time period and the answers and/or essay will be due near the end of it; in the case of conventional class meetings, the teacher is likely to provide additional or explanatory information before the questions and/or essay prompt are given.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31138	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	松本 和子	英語	金 3	1 年 文一二(17,22)文三(16)理一(29,39)
講義題目	はじめてのニュース英語					
授業の目標概要	ニュース英語を通じて、リスニングによる理解力を伸ばすことを目指す。具体的には、イギリスの国営放送 BBC のニュースを通じ、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さに慣れることを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31139	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	小野 五弥子	英語	金 3	1 年 文一二(17,22)文三(16)理一(29,39)
講義題目	Gender and youth in Japan ジェンダーから見る日本の若者					
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written about gender issues in English. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender, sexuality and bodies/pop culture. Students will also collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys. このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー・セクシャリティ・身体/ポップカルチャー等です。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をします。					

英語中級（クラス指定セメスター型）金４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31180	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	金 4	1 年 文一二(8,26,28)理二三(21)

講義題目　Gender and youth in Japan
ジェンダーから見る日本の若者

授業の目標概要　The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written about gender issues in English. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender, sexuality and bodies/pop culture. Students will also collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys.
このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー・セクシャリティ・身体/ポップカルチャー等です。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をします。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31181	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	金 4	1 年 文一二(8,26,28)理二三(21)

講義題目　Zadie Smith の On Beauty 第一部 ('kipps and belsey') を読む

授業の目標概要　現代のイギリスの作家 Zadie Smith の長編小説 On Beauty (2005)の第一部 ('kipps and belsey') を読みます。有用語彙・構文および文法項目等を確認しながら、登場人物や場面の理解につとめ、物語の展開を追っていきます。
語り手や視点といった、小説に限らず文章を読む際に必要な英文読解のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31182	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	ミルズ アンソニー	英語	金 4	1 年 文一二(8,26,28)理二三(21)

講義題目　Improving English Language Presentation Skills
授業の目標概要　Many of us sometimes have to make an oral presentation in front of an audience.
This happens both at university and in the world outside, We also often need to know how to respond appropriately and constructively to presentations by others and take part in discussions. A
lot of people find these activities stressful, especially if the language that is used is not their own first language. This course aims to give the participants practice in making and responding to
oral presentations in English. Each student will make three English-language presentations during the course and all students are expected to participate actively in class discussions.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31183	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 4	1 年 文一二(8,26,28)理二三(21)

講義題目　Ethics in the Context of Major Religious Traditions
授業の目標概要　The main objectives of this course are to gain some experience in reading and writing in English and to learn about major religious traditions mainly through the perspective of ethics. From the third scheduled class meeting, students will be expected to have read an assigned part of the book “An Interview with Prānavichāra about the Subject of Ethics” and to be prepared to answer some questions and/or to write a short essay during class time (in the classroom or online). In the event of a class being done online, the questions and/or essay prompt will be given near the beginning of the allotted time period and the answers and/or essay will be due near the end of it; in the case of conventional class meetings, the teacher is likely to provide additional or explanatory information before the questions and/or essay prompt are given.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31184	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	田中 伸一	英語	金 4	1 年 文一二(8,26,28)理二三(21)
講義題目		未来学入門				
授業の目標概要		ここでいう「未来学」とは，未来と向き合うために教養人としてどのように現在を生きたら良いかに関わる見識を指す。現在の傾向から未来の状態を予測する通常の未来学と違って，逆に想定される未来をもたらすには今どうあるべきかを考える backcasting の手法である。また，社会全体の体制がどうあるべきかではなく，それを構成する個人の内面を問題とする。科学者のモラルまたは一般人の科学知識が大いに問われる昨今，教養人が当然知っておいてよい見識である。 この授業では，数学者・生物学者・科学哲学者である J.Bronowski の著書 A Sense of the Future (1977, MIT Press)に所収された 4 つのエッセーを読み，そうした「未来学」のイロハを学びつつ，未来への向き合い方と現在の生き方を考えていきたい。授業で扱うテーマは，“A Sense of the Future”（未来と向き合う感覚），“The Creative Process”（創造のプロセス），“On Art and Science”（文芸と科学について），“The Reach of Imagination”（想像力が及ぶ範囲）の 4 つであり，こうした見識は当然ながら文理の垣根などない。また，やや古い著書ではあるが色褪せることもなく，古くて新しい普遍的なテーマを掘り起こす意味がある。				

英語中級・上級（全クラス型）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30011	S	英語中級	キハラハント 愛	英語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	英語で学ぶグローバルガバナンス・平和構築 Global Governance and Peacebuilding in English					
授業の目標概要	中級の英語で読める国連の報告書やニュース記事、NGO やシンクタンクの報告書、論文、動画などを通じて、国際社会で使える英語を学ぶことを目的とする。 合わせてグローバル・ガバナンスの形態と平和を構築・維持するために必要な要素を考察し、理解する。 The aim of this module is to learn practical English through reports by the United Nations, news articles, reports by NGOs and think-tanks, academic articles and video clips. Additionally, it is aimed at deepening the students' understanding on various models of global governance and essential elements for building sustainable peace.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30012	S	英語中級	アンダル ジャクリーン	英語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Colonial Encounters					
授業の目標概要	This reading and discussion based course will use different texts to develop students' skill in English comprehension and discussion. The course will draw on fiction and essays related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the work of the British writer Andrea Levy. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to discuss their responses to the readings in class. The material for this class will be distributed in class or will be available online.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30218	S	英語中級	瀧野 みゆき	英語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	プロフェッショナルのための共通語としての英語 Communicating in English as Professionals					
授業の目標概要	プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。 英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1）グローバル社会の英語の役割、2）プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして3）英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の3点を学ぶことを目指します。 授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを習得します。 英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30238	S	英語中級	後藤 春美	英語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	International History					
授業の目標概要	イギリスの王立国際問題研究所（チャタム・ハウス）が発行している学術雑誌である International Affairs に掲載された論文の読解を通して、国際関係の歴史について学ぶ。1 週間で扱う英文は 4〜7 ページ程度である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30318	S	英語中級	田尻 芳樹	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	短編小説を読む					
授業の目標概要	この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30319	S	英語中級	逆井 聡人	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Discussing Contemporary Society with Critical Theories					
授業の目標概要	この授業の目標は、現代社会における様々な問題を英語で批評的に考え、議論できる素地を作ることです。ナショナリズムやレイシズム、ジェンダー、ポストコロニアル、環境、ケアといった批評理論の英語で書かれた／英訳された基礎的文献に触れ、そこから得られた知見を活用して、現代社会で起こっている出来事をどのように捉えられるかを議論します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30320	S	英語中級	グレノン イザベル	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Why and how people migrate from a current, historical and global viewpoint					
授業の目標概要	The primary objective of this course is to enhance students' reading and listening skills in English, as well as develop their critical thinking and ability to form and express their opinion in English (mostly in written form). In order to do this, we will investigate and discuss a controversial topic in Japan today, that of immigration. While we will focus more specifically on immigration in Japan today, we will also look at "migration" from a historical and global perspective. Issues related to migration may include discussion about the Ainu communities in Japan, (dual)citizenship issues, ethnicity-based discrimination, benefits/pitfalls of immigration policies, etc. In addition to reading summaries in English, we will interview experts in the field as well as people who have experienced migrating to another country (both Japanese and foreigners.) The interviews will be recorded in advance, but students will be able to suggest questions they would like to ask the presenters. This is a unique opportunity for students to learn about this topic by listening to people who have had direct experiences with issues related to "migration".					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30321	S	英語中級	後藤 春美	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	International History					
授業の目標概要	イギリスの王立国際問題研究所（チャタム・ハウス）が発行している学術雑誌である International Affairs に掲載された論文の読解を通して、国際関係の歴史について学ぶ。1 週間で扱う英文は 4〜7 ページ程度である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30779	S	英語中級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Geographies of Horror This course will introduce students to the role of geography in cinematic and literary horror, exploring the ways in which filmmakers and writers have tried to imagine the supernatural qualities of the world that surrounds them. Starting with a short introduction to cultural geography, the classes will move on to discuss specific English language examples of gothic, monstrous and ecological horror. You will be studying the works of a range of influential writers, including; M.R. James, Lafcadio Hearn, and Ambrose Bierce. You will consider how the supernatural entities that appear in horror (ghosts, creatures, zombies etc.) can be seen to tell us about place and environment, expressing the complex relationship between people and the landscapes they inhabit. Using cultural geography as a backdrop for the course, students will examine the impact of horror on the way we think about and describe the threat of the natural world. A number of short readings will provide opportunities for weekly class discussions, written responses and brief presentations in English, and develop comprehension of the texts that accompany the course. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class activities and presentations. Furthermore, this course aims to help you develop your analytical skills in working with English language texts and audio-visual materials.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31060	S	英語中級	清水 晶子	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		_Sexuality: A Very Short Introduction_ を読む OUP の Very Short Introduction シリーズから、セクシュアリティの入門書を読みます。 ジェンダーやセクシュアリティを英語で学術的に議論する際の基本的な文言や論の組み立てに慣れるとともに、セクシュアリティを文化的・政治的に理解するための基礎を身につけることを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31061	S	英語中級	松本 和子	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		はじめてのニュース英語 ニュース英語を通じて、リスニングによる理解力を伸ばすことを目指す。具体的には、イギリスの国営放送 BBC のニュースを通じ、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さに慣れることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31062	S	英語中級	土屋 和代	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代アメリカにおける差別と平等―ブラック・ライヴズ・マター運動を読む 戦間期を起点とし、公教育の場における人種隔離を禁じた 1954 年のブラウン判決以降、全米各地で劇的に展開した黒人自由闘争は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。奴隷化された身分から解放されて以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが、自由と解放を求め立ち上がった運動の歴史について関連する文献を読み、学ぶ。 今学期はイントロダクションと現代アメリカにおける司法制度の問題を論じた章を読む。文献の購読を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人自由闘争と 20 世紀の米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31231	S	英語中級	鈴木 哲平	英語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		翻訳の実際と理論： 翻訳をとおした英語トレーニング ・英語による文学テクスト（短編小説や詩など）を十分理解しながら読むことができる（精読)。 ・読み取り、理解した内容を適切な日本語で表現することができる（翻訳)。 ・翻訳に関わる理論的テクストを読み、その要約を日本語でまとめることができる（要約)。 ・300 words 程度の英語で自らの意見を明快に表現できる（TOEFL や会話にも役立つ)。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31233	S	英語中級	田尻 芳樹	英語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30239	S	英語上級	LANDAU Samantha	英語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Weird Fiction This class will focus on reading a variety of short "weird fiction" mainly published between the late 1800s and 1970s. Touching on monsters, unexplained/unexplainable events, parallel universes, and even ghosts, "Weird Fiction" is a genre that expresses both the anxieties of society and the human fascination for the unknown and inexplicable. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students will broadly consider how these stories deal with phobias and fascinations, but also consider historic issues in scientific ethics, colonialism, and racism. Students who want to understand psychological, historical, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31063	S	英語上級	LANDAU Samantha	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Weird Fiction This class will focus on reading a variety of short "weird fiction" mainly published between the late 1800s and 1970s. Touching on monsters, unexplained/unexplainable events, parallel universes, and even ghosts, "Weird Fiction" is a genre that expresses both the anxieties of society and the human fascination for the unknown and inexplicable. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students will broadly consider how these stories deal with phobias and fascinations, but also consider historic issues in scientific ethics, colonialism, and racism. Students who want to understand psychological, historical, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31064	S	英語上級	Christopher D. Hammond	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Education and Society This course will introduce learners to a broad range of theories, issues and debates about the societal roles and functions of schools, universities and education systems around the world. Taking a sociological perspective, the objectives of the course are to: •Introduce learners to a range of theories and approaches to critically analyze the roles of education in society •Debate and discuss the ‘grand challenges of education’, namely the challenges of participation, relevance, flexibility, quality, and funding •Examine the relationships between schooling and national and global identity formation •Explore debates about social mobility and reproduction through education in the context of gender, race and social class •Investigate the phenomenon of student-led social activism in varied socio-cultural contexts •Consider the challenges and implications for education systems in a century marked by rapid technological innovation and change We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31234	S	英語上級	LANDAU Samantha	英語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to American Gothic Fiction This course is an overview introduction to American Gothic fiction. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31235	S	英語上級	Christopher D. Hammond	英語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Education and Society This course will introduce learners to a broad range of theories, issues and debates about the societal roles and functions of schools, universities and education systems around the world. Taking a sociological perspective, the objectives of the course are to: •Introduce learners to a range of theories and approaches to critically analyze the roles of education in society •Debate and discuss the ‘grand challenges of education’, namely the challenges of participation, relevance, flexibility, quality, and funding •Examine the relationships between schooling and national and global identity formation •Explore debates about social mobility and reproduction through education in the context of gender, race and social class •Investigate the phenomenon of student-led social activism in varied socio-cultural contexts •Consider the challenges and implications for education systems in a century marked by rapid technological innovation and change We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.				

総合科目 Ｌ系列　ドイツ語

ドイツ語初級(演習)①	開講区分	S

授業の目標・概要	発音練習・聴き取り・文法ドリル・読解や表現の練習などを行い、一列・二列の授業で学習した文法の知識の定着を図る。特に文法と会話の練習に重点を置く。 In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gespraechsuebungen durchgefuehrt, die sich an den Themen des Grammatikbuchs in der ersten und zweiten Reihe orientieren.
成績評価方法	平常点（出席、宿題）および試験によって行う。 Regelmäßige Anfertigung der Hausaufgaben und Tests. Aktive Teilnahme wird vorausgesetzt.
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
関連ホームページ	http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30336	火 2	大石 紀一郎	1 年 文科 (TLP)
30421	火 3	オプヒュルス 鹿島	1 年 文一二(21)
30639	水 2	Ｉ・カウフマン	1 年 文一二(22)
30724	水 3	ヘルマン ゴチェフスキ	1 年 文三(16)
30750	水 4	デーゲン ラルフ	1 年 文一二(20)
30972	木 4	クリスティアン クリンク	1 年 文三(15)
31086	金 2	梶谷 真司	1 年 文科 (TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30335	S	ドイツ語初級（演習）	大石 紀一郎	ドイツ語	火 2	1 年 理科 (TLP)
講義題目		TLP ドイツ語				
授業の目標概要		ドイツ語の実践的な運用能力をさまざまな練習を通じて養成することをめざす。 参加条件等に関しては TLP のガイダンスに参加して確認すること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31084	S	ドイツ語初級（演習）	梶谷 真司	ドイツ語	金 2	1 年 理科 (TLP)
講義題目		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）				
授業の目標概要		In dem Kurs wird zum einen das in der 1.und 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の第一列・第二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31236	S	ドイツ語初級（演習）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	金 5	1 年 理科
講義題目		ドイツ語初級（演習）				
授業の目標概要		発音練習・聴き取り・文法ドリル・読解や表現の練習などを行い、一列・二列の授業で学習した文法の知識の定着を図る。特に文法と会話の練習に重点を置く。共通教科書 Einblicke の他に、ディジタルの教材アップ Deutschfuchs を積極的に取り扱う。 In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gespraechsuebungen durchgefuehrt, die sich an den Themen des Grammatikbuchs in der ersten und zweiten Reihe orientieren. Neben dem gemeinsamen Lehrbuch "Einblicke" wird das digitale Lehrwerk "Deutschfuchs" zum Einsatz kommen.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30780	S	ドイツ語初級（会話）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（会話）、Deutsch Konversationskurs für Anfänger/innen				
授業の目標概要		初めてドイツ語を学ぶ学生を目指し、日常生活における基礎的なドイツ語会話の運用能力を養う。授業の目標はドイツ語圏における認定試験“Goethe Zertifikat A1"に必要なドイツ語能力の養成にある。会話の授業であるため、重点は口頭・聴解の練習及び語彙の増やすことにある。 Der Kurs richtet sich an Anfänger/innen. Geübt werden alltägliche Situationen. Ziel ist der Erwerb mündlicher Ausdrucksfähigkeiten auf dem Niveau des Goethe Zertifikats A1. Im Mittelpunkt des Unterrichts stehen Sprech- und Hörübungen sowie die Erweiterung des Wortschatzes.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30240	S	ドイツ語初級（作文）	大石 紀一郎	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級作文				
授業の目標概要		ドイツ語の文法学習と並行して学んだ知識を能動的に用いる練習を行い、文法的な規則や語彙の定着を図るとともに、英語をモデルとしないで外国語を学ぶことについて考える機会を提供する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30781	S	ドイツ語初級（表現練習）	デーゲン ラルフ	ドイツ語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		自然な発音と流暢に話す練習				
授業の目標概要		この授業はドイツ語の発音をしっかりと身につけたい人のために開講します。基礎の基礎から練習しますので、ドイツ語をこれから始める人も心配せずに来てください。また今までにドイツ語を履修したけれど、まだ発音が十分に身についていないという学生も大歓迎です。 特に後期に発音練習とともに流暢に話す練習もします。両者は密接に連動しています。また、ドイツ語らしい発音ができるようになることは、聴き取り能力の向上にもつながります。また、ドイツ語のリズム、文のアクセント、メロディーを身につけるためにゲームなどを使って発音を練習します。 母音や子音の調音、文字と発音の関係、脱落（音を省くこと）、同化（ある音が近接する音の影響により変異音として実現されること）、国際音声記号 (IPA) などの基礎的な音声学についても勉強します。その知識をその場で活かしながらドイツ語をどうすればドイツ語らしく発音ができるかを理解し向上させていきましょう。 発音や流暢さを練習するとともに、語彙や文法のパターンも復習します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30249	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）				
授業の目標概要		In dem Kurs wird das in der 1.+2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30322	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（インテンシヴ）				
授業の目標概要		この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A1 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs richtet sich an Anfänger/innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1.+2. Reihe deutsche Grammatik lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER) an. Die Teilnehmer/innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A1.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30792	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン	ドイツ語	水 5	1 年 文科 理科 (TLP)

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要

In dem Kurs wird das in der 1.+2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger/Anfängerinnen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.
Die Teilnehmer/Teilnehmerinnen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.
この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレヴェルを修了することを目指す。
ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31008	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 (TLP)

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要

In dem Kurs wird das in der 1.+2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.
Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.
この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレヴェルを修了することを目指す。
ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31065	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語初級（インテンシヴ）

授業の目標概要

この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。
ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A1 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。
Dieser Kurs richtet sich an Anfänger/innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1.+2. Reihe deutsche Grammatik lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER) an.
Die Teilnehmer/innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A1.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31085	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）					
授業の目標概要	In dem Kurs wird das in der 1.+2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger/Anfängerinnen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer/Teilnehmerinnen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30323	S	ドイツ語初級（第三外国語）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Deutsche Sprache / German language (Anfänger / Beginner)					
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an Studierende ohne Vorkenntnisse, die Deutsch als dritte Fremdsprachen lernen möchten. Die Studierenden sollen erste Grundkenntnisse in den Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben erwerben und einfache Redemittel für die Kommunikation in Alltagssituationen kennenlernen. The course is designed for students with no previous knowledge of German who want to learn German as a third foreign language. Students will acquire initial basic knowledge in the skills of speaking, listening, reading, and writing and will learn simple idioms for communication in everyday situations.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30997	S	ドイツ語初級（第三外国語）	宮谷 尚実	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ドイツ語初級（第三外国語）					
授業の目標概要	２セメスター（週１回１コマ）通年でドイツ語の文法項目をひと通り習得する。四技能（読む・書く・聞く・話す）の基礎を身につける。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31066	S	ドイツ語初級（第三外国語）	高橋 亮介	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目						
授業の目標概要	１学期で入門レベルのドイツ語文法を扱う。やさしい文章を読み解く力と初歩的な表現力の習得を目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30241	S	ドイツ語中級（演習）	明星 聖子	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語中級（演習）				
授業の目標概要		ドイツ語の初等文法を復習しながら、実践的な表現力、運用力、読解力を身につけます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30324	S	ドイツ語中級（演習）	針貝 真理子	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語を読み、考える（文法・読解）				
授業の目標概要		初級文法の復習と中級文法の学習。ドイツ語で書かれた詩や短い文章を読むことを通して、初級ドイツ語で学んだ文法事項を復習するとともに、実際に生きたドイツ語に向き合ったときに文法的知識を応用する力をつけることを目指します。 読解が中心になりますが、辞書を使いこなし、文構造を正しく把握する力は、会話を含む総合的語学力の礎となります。この授業では、その基礎固めに力を入れます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30337	S	ドイツ語中級（演習）	石田 勇治	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）				
授業の目標概要		トライリンガル・プログラム用の演習授業。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2 から始め、最終的には B1 レベルに相当する言語運用能力を養成する。 1 年生で習得した基礎文法をもとに、さまざまな応用練習、読み物、会話などによって補いながら、ドイツ語能力をレベルアップさせる。週 2 回のネイティヴ教員（ククリンスキ先生）による授業と連動して、発展的な学習を進める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31067	S	ドイツ語中級（演習）	瀬尾 文子	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		音楽と美術でドイツ語を学ぶ（原書講読）				
授業の目標概要		・学習教材ではないドイツ語の一般書を、絵の力を借りながら読めるようになる ・芸術（音楽、美術、文学、建築、演劇、等々）についてのドイツ語の語彙を増やす ・西洋文化史の分野の教養を身につける				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31240	S	ドイツ語中級（演習）	竹峰 義和	ドイツ語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）				
授業の目標概要		トライリンガル・プログラム用の演習授業。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2 から始め、最終的には B1 レベルに相当する言語運用能力を養成する。 1 年生で習得した基礎文法をもとに、さまざまな応用練習、読み物、会話などによって補いながら、ドイツ語能力をレベルアップさせる。週 2 回のネイティヴ教員（クリンク先生）による授業と連動して、発展的な学習を進める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30998	S	ドイツ語中級（会話）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語中級（会話）

授業の目標概要　Der Kurs richtet sich an Studierende, die seit einem Jahr oder länger Deutsch lernen und das Niveau A2 erreicht haben. Er dient dazu, die Sprechfähigkeit auszubauen und das Hörverstehen zu trainieren. Die Teilnehmer sollen lernen, Gespräche über verschiedene Themen des alltäglichen Lebens zu führen.
この授業は、ドイツ語を 1 年間（あるいはそれ以上）学習し、レベル A2 に達している受講者を対象としています。主に会話や聴き取りの能力の向上を目指します。特に、日常生活の様々な状況に対応できるような会話を練習します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31237	S	ドイツ語中級（作文）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語中級（作文）
Schreibübungen (Mittelstufe)

授業の目標概要　様々なテーマについてドイツ語で表現する練習をする。
In diesem Seminar lernen die Studierenden, wie man Texte auf Deutsch zu verschiedenen Themen schreibt. Sie erwerben die Fähigkeit, Texte zu gliedern, Inhalte zusammenzufassen und kritisch zu erörtern.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30250	S	ドイツ語中級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要　トライリンガル・プログラム用の演習授業。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2 から始め、最終的には B1 レベルに相当する言語運用能力を養成する。
1 年生で習得した基礎文法をもとに、さまざまな応用練習、読み物、会話などによって補いながら、ドイツ語能力をレベルアップさせる。週 1 回の日本人教員（竹峰先生）による授業と連動して、発展的な学習を進める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30793	S	ドイツ語中級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)

講義題目　ドイツ語中級演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要　Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen.
ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31009	S	ドイツ語中級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要　トライリンガル・プログラム用の演習授業。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2 から始め、最終的には B1 レベルに相当する言語運用能力を養成する。
1 年生で習得した基礎文法をもとに、さまざまな応用練習、読み物、会話などによって補いながら、ドイツ語能力をレベルアップさせる。週 1 回の日本人教員（竹峰先生）による授業と連動して、発展的な学習を進める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31087	S	ドイツ語中級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目	ドイツ語中級演習（TLP クラス指定科目）					
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen. ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。					

総合科目 L系列　フランス語

フランス語初級(演習)①	開講区分	S

授業の目標・概要　一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
　この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、これに相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習)」が開講されているので、積極的に参加してほしい。

成績評価方法　平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『Rythmes & communication (リズコミ！ フランス語会話)」
著者（訳者）　アルベリック・ドリブル、ベアトリックス・ファイフ、寺田寅彦
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-225-35275-6

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30190	月 4	デルヴロワ ミカエル	1 年 文一二(26)
30339	火 2	藤岡 俊博	1 年 文科 (TLP)
30422	火 3	ドゥルマジュール ラウル	1 年 文一二(23)
30505	火 4	COUCHOT Herve	1 年 文一二(24)
30640	水 2	アルベリック ドリブル	1 年 文一二(27)
30641	水 2	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(28)
30720	水 3	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(25)
30754	水 4	ドゥルマジュール ラウル	1 年 文三(20)
31144	金 3	アルベリック ドリブル	1 年 文三(17)
31145	金 3	Steve Corbeil	1 年 文三(19)
31190	金 4	ビゼ	1 年 文三(18)

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30338	S	フランス語初級（演習）	寺田 寅彦	仏語・伊語	火 2	1 年 理科 (TLP)
講義題目		ＴＬＰフランス語演習（1 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読)、演習（ＴＬＰ用)、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30325	S	フランス語初級（会話）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（会話）／ French Language (Introductory)				
授業の目標概要		発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や読解の応用練習などを行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30782	S	フランス語初級（表現練習）	デルヴロワ ミカエル	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目						
授業の目標概要		この授業では必修の「フランス語初級（演習)」で学んだ内容を強化します。「フランス語初級（演習)」の復習をしながら理解を更に深め「フランス語初級（演習)」のA+を狙いましょう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30018	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 1	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読)、演習（ＴＬＰ用)、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 春学期の目的：DELF のレベル A1 に達する				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30019	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 1	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読)、演習（ＴＬＰ用)、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30242	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30243	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30783	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30828	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。 春学期の目的：DELF のレベル A1 に達する				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31088	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次） ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31241	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	金 5	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次） ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30784	S	フランス語初級（第三外国語）	黒木 秀房	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級 フランス語の発音や初級文法を学ぶ。基本的な語彙や表現を身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31068	S	フランス語初級（第三外国語）	小西 英則	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級（第三外国語） フランス語の文法的な仕組みを一通り理解し、丁寧に辞書を引けば標準的な文章の意味が理解できるようになる。 フランス語の綴りと発音の関係を理解し、文章を正しく発音できるようになる。 学習した文法事項を用いながら、特定の身近な話題に関してフランス語で自然に会話ができるようになる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30340	S	フランス語中級（演習）	CAPEL Mathieu	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ＴＬＰフランス語演習（2 年次） ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30593	S	フランス語中級（演習）	ドゥルマジュール ラウル	仏語・伊語	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Pratique du français				
授業の目標概要		Dans ce cours, les étudiants pratiquent le français à partir d'exercices oraux et d'exercices écrits, seuls ou en groupe,. Les thèmes seront décidés en fonction des centres d'intérêt des étudiants, mais aussi en fonction de l'actualité et de ce qu'il est possible de faire ou non.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30900	S	フランス語中級（演習）	CAPEL Mathieu	仏語・伊語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目		ＴＬＰフランス語演習（2 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30089	S	フランス語中級（会話）	ラタンジオ リリアンヌ	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中級会話				
授業の目標概要		フランス文化の様々な側面を学ぶ とともに、実践的な会話能力を高める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31214	S	フランス語中級（作文）	ドゥルマジュール ラウル	仏語・伊語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Atelier d'écriture : espèces d'espaces				
授業の目標概要		En prenant exemple sur des textes littéraires ou philosophiques à propos de la question de l'espace, notamment sur Espèces d'espaces de Georges Perec (1974), ce cours propose d'écrire chaque semaine en français. L'objectif est à la fois de progresser dans la maîtrise de la langue française, mais aussi de découvrir des écrivains ou des penseurs français à partir d'une expérience de la vie quotidienne (la chambre, la rue ou encore la ville).				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30454	S	フランス語中級（表現練習）	CAPEL Mathieu	仏語・伊語	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Apprendre le français par le cinéma et la littérature françaises 映画とフランス語圏文学で学ぶ仏語				
授業の目標概要		Ce cours vous propose d'apprendre le français à partir de documents audiovisuels et écrits : films de fiction, articles de journaux, essais, romans. En fonction de chaque document, il faut réaliser des travaux, des présentations écrites et orales (fiche technique, résumé, analyse, etc.) sur des modèles donnés. フランスの映画・映像・書類などを教材にしてフランス語を学ぶ。 各資料に応じて、筆記や口頭で発表をしていただきます（テクニカルな特徴、要約、分析、人物紹介、社会や文化の紹介など）。単語、文法、口頭表現や、筆記表現をそれぞれ学びます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30090	S	フランス語中級（読解）	片岡 大右	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		現代フランスのジャーナリズムに触れる				
授業の目標概要		フランス語学習の傍ら現代フランス社会をよりよく理解すべく、『ル・モンド』ほか、フランス語の新聞・雑誌・ニュースサイトの記事の読解を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31844	S	フランス語中級（読解）	松井 裕美	仏語・伊語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目						
授業の目標概要						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30094	S	フランス語中級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（2 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30222	S	フランス語中級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（2 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31010	S	フランス語中級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（2 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31170	S	フランス語中級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（2 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30785	S	フランス語上級（読解）	寺田 寅彦	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Lire "Paroles de français anonymes" d'Alain Corbin 2				
授業の目標概要		1967 年、若きコルバンがフランス中部の市民たちに聴き取り調査を行った。それより 30 年前の 1930 年代をどのように生き、何か考え、感じていたか、その言葉を掬い取り、歴史の危機と日常性の間で揺れ動く一般市民の心性と表象システムを浮き彫りしたのである。オーラルヒストリーの試みと言える本書の一部を精読（訳出・文法解説）の形で読み進める。本授業は 2021 年度Ａセメスターのテクスト精読法IIIの続きであるが 2021 年度の授業を受講の有無に関係なく履修ができる。				

総合科目　L 系列　中国語

中国語初級(演習)①	開講区分	S

授業の目標・概要　一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。
注意事項：クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。

成績評価方法　定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　漢語課本 聴解・会話演習テキスト
著者（訳者）　毛 興華

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30061	月 2	林 立梅	1 年 文一二(16)
30183	月 4	WANG QIN	1 年 文一二(13)
30194	月 4	毛 興華	1 年 文三(11)
30185	月 4	鄧 芳	1 年 文一二(17)(TLP)
30420	火 3	喬 志航	1 年 文一二(19)
30746	水 4	中原 裕貴	1 年 文一二(15)
30867	木 2	鄧 芳	1 年 文三(12)(TLP)
30970	木 4	柴 森	1 年 文三(13)
31027	金 1	斉 金英	1 年 文一二(18)
31134	金 3	張 玉萍	1 年 文一二(14)
31143	金 3	李 雲	1 年 文三(14)

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30999	S	中国語初級（演習）	姚 毅	中国語	木 5	1年 理科
講義題目		1年理系生のための基礎トレーニング				
授業の目標概要		一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30341	S	中国語初級（表現練習）	李 彦銘	中国語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科 (TLP)
講義題目		TLP 中国語 理系生のための基礎トレーニング				
授業の目標概要		TLP（トライリンガル・プログラム）理系履修生のための科目。中国語一列・二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。TLP 修了必須科目ではないが、できるだけ参加することが望ましい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30244	S	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	月 5	1年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング B

授業の目標概要

基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）

実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおりです。

【A】担当教員：賈黎黎
開講曜限：月５と木１
【B】担当教員：毛興華
開講曜限：月５と木１
【C】担当教員：賈黎黎
開講曜限：火２と木５
【D】担当教員：毛興華
開講曜限：火２と金２
【E】担当教員：李佳樑・王英輝
開講曜限：木１と金２

☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。

☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は４月１日（午前０時）～4月３日（午後24時）です。学籍番号、氏名、希望クラス（A～E、複数記入可、優先順位なし）をご記入の上、受付期間中に以下のメールアドレス宛てにエントリーのメールを送ってください。

hanyuzuoyekomaba@gmail.com

メールの記入例：
＜タイトル＞：J1234567 東大花子 BCE クラス
＜本文＞：
学籍番号：J1234567
氏名：東大花子
抽選希望クラス：BCE クラス

エントリーする際、以下のことにご注意ください。

☆締め切りに過ぎた場合や、内容に不備がある場合（記入漏れ、メールのタイトルと本文内容の不一致など）、エントリーが無効になります。

☆複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。１回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。

☆エントリーのメールには 12 時間以内に受付完了の確認メールを送信します（この確認のメールには返信しないでください）。12 時間以上経っても確認のメールが届かない場合、terrymao2000@hotmail.com にお問い合わせください。

４月４日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、4月５日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。

【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30245	S	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	月 5	1 年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング A

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。
【A】担当教員：賈黎黎
開講曜限：月５と木１
【B】担当教員：毛興華
開講曜限：月５と木１
【C】担当教員：賈黎黎
開講曜限：火２と木５
【D】担当教員：毛興華
開講曜限：火２と金２
【E】担当教員：李佳樑・王英輝
開講曜限：木１と金２
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は 4 月 1 日（午前 0 時）～4 月 3 日（午後 24 時）です。学籍番号、氏名、希望クラス（A～E、複数記入可、優先順位なし）をご記入の上、受付期間中に以下のメールアドレス宛てにエントリーのメールを送ってください。
hanyuzuoyekomaba@gmail.com
メールの記入例：
＜タイトル＞：J1234567 東大花子 BCE クラス
＜本文＞：
学籍番号：J1234567
氏名：東大花子
抽選希望クラス：BCE クラス
エントリーする際、以下のことにご注意ください。
☆締め切りに過ぎた場合や、内容に不備がある場合（記入漏れ、メールのタイトルと本文内容の不一致など）、エントリーが無効になります。
☆複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。1 回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。
☆エントリーのメールには 12 時間以内に受付完了の確認メールを送信します（この確認のメールには返信しないでください）。12 時間以上経っても確認のメールが届かない場合、terrymao2000@hotmail.com にお問い合わせください。
4 月 4 日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、4 月 5 日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。
【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30326	S	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	火 2	1 年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング C

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。
【A】担当教員：賈黎黎
開講曜限：月５と木１
【B】担当教員：毛興華
開講曜限：月５と木１
【C】担当教員：賈黎黎
開講曜限：火２と木５
【D】担当教員：毛興華
開講曜限：火２と金２
【E】担当教員：李佳樑・王英輝
開講曜限：木１と金２
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は 4 月 1 日（午前 0 時）～4 月 3 日（午後 24 時）です。学籍番号、氏名、希望クラス（A～E、複数記入可、優先順位なし）をご記入の上、受付期間中に以下のメールアドレス宛てにエントリーのメールを送ってください。
hanyuzuoyekomaba@gmail.com
メールの記入例：
＜タイトル＞：J1234567 東大花子 BCE クラス
＜本文＞：
学籍番号：J1234567
氏名：東大花子
抽選希望クラス：BCE クラス
エントリーする際、以下のことにご注意ください。
☆締め切りに過ぎた場合や、内容に不備がある場合（記入漏れ、メールのタイトルと本文内容の不一致など）、エントリーが無効になります。
☆複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。1 回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。
☆エントリーのメールには 12 時間以内に受付完了の確認メールを送信します（この確認のメールには返信しないでください）。12 時間以上経っても確認のメールが届かない場合、terrymao2000@hotmail.com にお問い合わせください。
4 月 4 日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、4 月 5 日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。
【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30327	S	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	火 2	1 年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング D

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおりです。
【A】担当教員：賈黎黎
開講曜限：月５と木１
【B】担当教員：毛興華
開講曜限：月５と木１
【C】担当教員：賈黎黎
開講曜限：火２と木５
【D】担当教員：毛興華
開講曜限：火２と金２
【E】担当教員：李佳樑・王英輝
開講曜限：木１と金２
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は 4 月 1 日（午前 0 時）～4 月 3 日（午後 24 時）です。学籍番号、氏名、希望クラス（A～E、複数記入可、優先順位なし）をご記入の上、受付期間中に以下のメールアドレス宛てにエントリーのメールを送ってください。
hanyuzuoyekomaba@gmail.com
メールの記入例：
＜タイトル＞：J1234567 東大花子 BCE クラス
＜本文＞：
学籍番号：J1234567
氏名：東大花子
抽選希望クラス：BCE クラス
エントリーする際、以下のことにご注意ください。
☆締め切りに過ぎた場合や、内容に不備がある場合（記入漏れ、メールのタイトルと本文内容の不一致など）、エントリーが無効になります。
☆複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。1 回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。
☆エントリーのメールには 12 時間以内に受付完了の確認メールを送信します（この確認のメールには返信しないでください）。12 時間以上経っても確認のメールが届かない場合、terrymao2000@hotmail.com にお問い合わせください。
4 月 4 日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、4 月 5 日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。
【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30342	S	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	火 2	1 年 文科 理科 (TLP)

講義題目
TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話）

授業の目標概要
この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル･プログラム(TLP)の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。
特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30343	S	中国語初級（インテンシヴ）	菊池 真純	中国語	火 2	1 年 文科 理科 (TLP)

講義題目
TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話）

授業の目標概要
この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル･プログラム(TLP)の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。

特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30829	S	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	木 1	1 年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング B

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』)

実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおりです。

【A】担当教員：賈黎黎
開講曜限：月５と木１
【B】担当教員：毛興華
開講曜限：月５と木１
【C】担当教員：賈黎黎
開講曜限：火２と木５
【D】担当教員：毛興華
開講曜限：火２と金２
【E】担当教員：李佳樑・王英輝
開講曜限：木１と金２

☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。

☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は 4 月 1 日（午前 0 時）～4 月 3 日（午後 24 時）です。学籍番号、氏名、希望クラス（A～E、複数記入可、優先順位なし）をご記入の上、受付期間中に以下のメールアドレス宛てにエントリーのメールを送ってください。

hanyuzuoyekomaba@gmail.com

メールの記入例：
＜タイトル＞：J1234567 東大花子 BCE クラス
＜本文＞：
学籍番号：J1234567
氏名：東大花子
抽選希望クラス：BCE クラス

エントリーする際、以下のことにご注意ください。

☆締め切りに過ぎた場合や、内容に不備がある場合（記入漏れ、メールのタイトルと本文内容の不一致など)、エントリーが無効になります。

☆複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。１回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。

☆エントリーのメールには 12 時間以内に受付完了の確認メールを送信します（この確認のメールには返信しないでください)。12 時間以上経っても確認のメールが届かない場合、terrymao2000@hotmail.com にお問い合わせください。

4 月 4 日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、4 月 5 日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。

【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30830	S	中国語初級（インテンシヴ）	李 佳リョウ	中国語	木 1	1年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング E

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』)
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。

【A】担当教員：賈黎黎
開講曜限：月５と木１

【B】担当教員：毛興華
開講曜限：月５と木１

【C】担当教員：賈黎黎
開講曜限：火２と木５

【D】担当教員：毛興華
開講曜限：火２と金２

【E】担当教員：李佳樑・王英輝
開講曜限：木１と金２

☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。

☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は 4 月 1 日（午前 0 時）～4 月 3 日（午後 24 時）です。学籍番号、氏名、希望クラス（A～E、複数記入可、優先順位なし）をご記入の上、受付期間中に以下のメールアドレス宛てにエントリーのメールを送ってください。
hanyuzuoyekomaba@gmail.com

メールの記入例：
＜タイトル＞：J1234567 東大花子 BCE クラス
＜本文＞：
学籍番号：J1234567
氏名：東大花子
抽選希望クラス：BCE クラス

エントリーする際、以下のことにご注意ください。

☆ 締め切りに過ぎた場合や、内容に不備がある場合（記入漏れ、メールのタイトルと本文内容の不一致など)、エントリーが無効になります。
☆ 複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。1 回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。
☆ エントリーのメールには 12 時間以内に受付完了の確認メールを送信します（この確認のメールには返信しないでください)。12 時間以上経っても確認のメールが届かない場合、terrymao2000@hotmail.com にお問い合わせください。

4 月 4 日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、4 月 5 日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。

【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30831	S	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	木 1	1 年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング A

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。
【A】担当教員：賈黎黎
開講曜限：月５と木１
【B】担当教員：毛興華
開講曜限：月５と木１
【C】担当教員：賈黎黎
開講曜限：火２と木５
【D】担当教員：毛興華
開講曜限：火２と金２
【E】担当教員：李佳樑・王英輝
開講曜限：木１と金２
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は 4 月 1 日（午前 0 時）～4 月 3 日（午後 24 時）です。学籍番号、氏名、希望クラス（A～E、複数記入可、優先順位なし）をご記入の上、受付期間中に以下のメールアドレス宛てにエントリーのメールを送ってください。
hanyuzuoyekomaba@gmail.com
メールの記入例：
＜タイトル＞：J1234567 東大花子 BCE クラス
＜本文＞：
学籍番号：J1234567
氏名：東大花子
抽選希望クラス：BCE クラス
エントリーする際、以下のことにご注意ください。
☆締め切りに過ぎた場合や、内容に不備がある場合（記入漏れ、メールのタイトルと本文内容の不一致など）、エントリーが無効になります。
☆複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。1 回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。
☆エントリーのメールには 12 時間以内に受付完了の確認メールを送信します（この確認のメールには返信しないでください）。12 時間以上経っても確認のメールが届かない場合、terrymao2000@hotmail.com にお問い合わせください。
4 月 4 日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、4 月 5 日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。
【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30948	S	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	木 3	1 年 文科 理科 (TLP)

講義題目
TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話）

授業の目標概要
この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル･プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。
特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31000	S	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	木 5	1年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング C

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。
【A】担当教員：賈黎黎
開講曜限：月５と木１
【B】担当教員：毛興華
開講曜限：月５と木１
【C】担当教員：賈黎黎
開講曜限：火２と木５
【D】担当教員：毛興華
開講曜限：火２と金２
【E】担当教員：李佳樑・王英輝
開講曜限：木１と金２
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は４月１日（午前０時）～4月３日（午後24時）です。学籍番号、氏名、希望クラス（A～E、複数記入可、優先順位なし）をご記入の上、受付期間中に以下のメールアドレス宛てにエントリーのメールを送ってください。
hanyuzuoyekomaba@gmail.com
メールの記入例：
＜タイトル＞：J1234567 東大花子 BCE クラス
＜本文＞：
学籍番号：J1234567
氏名：東大花子
抽選希望クラス：BCE クラス
エントリーする際、以下のことにご注意ください。
☆締め切りに過ぎた場合や、内容に不備がある場合（記入漏れ、メールのタイトルと本文内容の不一致など）、エントリーが無効になります。
☆複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。１回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。
☆エントリーのメールには 12 時間以内に受付完了の確認メールを送信します（この確認のメールには返信しないでください）。12 時間以上経っても確認のメールが届かない場合、terrymao2000@hotmail.com にお問い合わせください。
４月４日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、４月５日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。
【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31069	S	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	金 2	1年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング D

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおりです。
【A】担当教員：賈黎黎
開講曜限：月５と木１
【B】担当教員：毛興華
開講曜限：月５と木１
【C】担当教員：賈黎黎
開講曜限：火２と木５
【D】担当教員：毛興華
開講曜限：火２と金２
【E】担当教員：李佳樑・王英輝
開講曜限：木１と金２
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は４月１日（午前０時）～4月３日（午後24時）です。学籍番号、氏名、希望クラス（A～E、複数記入可、優先順位なし）をご記入の上、受付期間中に以下のメールアドレス宛てにエントリーのメールを送ってください。
hanyuzuoyekomaba@gmail.com
メールの記入例：
＜タイトル＞：J1234567 東大花子 BCE クラス
＜本文＞：
学籍番号：J1234567
氏名：東大花子
抽選希望クラス：BCE クラス
エントリーする際、以下のことにご注意ください。
☆締め切りに過ぎた場合や、内容に不備がある場合（記入漏れ、メールのタイトルと本文内容の不一致など）、エントリーが無効になります。
☆複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。１回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。
☆エントリーのメールには 12 時間以内に受付完了の確認メールを送信します（この確認のメールには返信しないでください）。12 時間以上経っても確認のメールが届かない場合、terrymao2000@hotmail.com にお問い合わせください。
４月４日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、４月５日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。
【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31070	S	中国語初級（インテンシヴ）	王 英輝	中国語	金 2	1年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング E

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおりです。
【A】担当教員：賈黎黎
開講曜限：月５と木１
【B】担当教員：毛興華
開講曜限：月５と木１
【C】担当教員：賈黎黎
開講曜限：火２と木５
【D】担当教員：毛興華
開講曜限：火２と金２
【E】担当教員：李佳樑・王英輝
開講曜限：木１と金２
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は４月１日（午前０時）～4月３日（午後24時）です。学籍番号、氏名、希望クラス（A～E、複数記入可、優先順位なし）をご記入の上、受付期間中に以下のメールアドレス宛てにエントリーのメールを送ってください。
hanyuzuoyekomaba@gmail.com
メールの記入例：
＜タイトル＞：J1234567 東大花子 BCE クラス
＜本文＞：
学籍番号：J1234567
氏名：東大花子
抽選希望クラス：BCE クラス
エントリーする際、以下のことにご注意ください。
☆締め切りに過ぎた場合や、内容に不備がある場合（記入漏れ、メールのタイトルと本文内容の不一致など）、エントリーが無効になります。
☆複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。１回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。
☆エントリーのメールには 12 時間以内に受付完了の確認メールを送信します（この確認のメールには返信しないでください）。12 時間以上経っても確認のメールが届かない場合、terrymao2000@hotmail.com にお問い合わせください。
４月４日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、４月５日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。
【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31089	S	中国語初級（インテンシヴ）	李 彦銘	中国語	金 2	1年 文科 理科 (TLP)

講義題目
TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング）

授業の目標概要
この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。
特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31090	S	中国語初級（インテンシヴ）	鄧 芳	中国語	金 2	1年 文科 理科 (TLP)

講義題目
TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング）

授業の目標概要
この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。
特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31091	S	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	金 2	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30014	S	中国語初級（第三外国語）	林 立梅	中国語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語入門（A セメスターの続き） 中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。 この授業は同教員が担当した A セメスターの続きを行う（第 9 課から始める予定）。 授業の性質上 30 名を定員とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30328	S	中国語初級（第三外国語）	李 洵	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語入門 中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。半年間のみの授業なので、続けて学習をしたい者は A セメスターに同じテキストで開講される、第三外国語の授業を継続的に履修することが可能である。 授業の性質上 25 名を定員とする。 ＊＊初回授業で定員を超えている場合に抽選を行うので履修希望者は必ず出席をすること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31071	S	中国語初級（第三外国語）	張 玉萍	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の基礎 この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。PEAK の学生向けとなっているため、できるだけ日本語は使わずに中国語で講義をする。S セメスターはI、A セメスターはその続きのIIである。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30091	S	中国語中級（演習）	鍾 非	中国語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語作文 中国語作文（中級）中国語作文（奇数週）と和訳（偶数週）を隔週で行った。しかし、和訳に使われるテキストのデジタル・コピーまで許諾されるかは、少なくとも Zoom 授業に関しては不明。それを考慮に入れて、中国語作文だけにする。教官の思い付き（日本語）を丁寧に中訳・添削する形で授業を進める。思い付きとは言え、レベルは初級と大違い。日常会話レベルの日中両国の言語を、慣用句にするのが要求される（例：日本語：羹に懲りて膾を吹く or 蛇に噛まれて朽縄に怖じる；中国語：小题大做 or 一年被蛇咬，十年怕井绳）。同じ表現なのに、日中両国の言葉に相違点が少なからず存在していることを受講生に気づかせる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30095	S	中国語中級（演習）	李 彦銘	中国語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30329	S	中国語中級（演習）	岩月 純一	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語文献講読 中国語で書かれた短編の文章を精読し、初級で学習した文法項目を確認するとともに、接続表現を中心とするより高度な文法項目を学習する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30594	S	中国語中級（演習）	菊池 真純	中国語	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30769	S	中国語中級（演習）	小野 秀樹	中国語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代中国語文法の基本的な考え方とその問題点 現代中国語文法研究の基礎的な体系が整ったのは、今から約 40 年前のことである。現代中国語（共通語）に関して種々の文法構造の枠組みを構築し、各種構文の分析などを行なう際に、どのような基準に従って進めていくのが最も適切であるかという基盤的な考え方とその問題点について、関連する文献を読み進めることによってこれまでの議論の経緯を知り、現在の視点からそれらの妥当性と疑問点などについて考察を加える。一連の作業を通して、まず中国語の読解能力の養成を目指す。さらに、他言語との比較も取り入れながら、中国語という言語の特異性と汎言語的特徴についての知識を獲得することにより、中国語に対する理解を深めるとともに、言語研究に関する基礎的な知識を習得することを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30949	S	中国語中級（演習）	菊池 真純	中国語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)

講義題目
TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング

授業の目標概要
この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。
この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。
読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30518	S	中国語中級（会話）	喬 志航	中国語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
中国語中級（会話）

授業の目標概要
目標
長文読解能力を向上させることと、広範で複雑な話題についても明瞭に自分の意見を表現できることを目標とする。
中国語を使った研究を始める基礎的な力がある。
異文化の理解につとめ、多様な価値観への寛容性を身につけるよう期待する。
概要
中国語を一年間学習した学生を対象に、中国語の長文読解と文法事項を教え、そしてテーマごとに中国語会話の練習を行う。
中国語圏の歴史や文化、社会情勢などに関係するテーマについて、言葉の背景にある中国の社会、政治、文化、歴史などについての知識をも積極的に取り入れて、言葉の微妙なニュアンスを感じ取り、真のコミュニケーション能力を養うと同時に、異文化への理解力を培うように心掛けたい。
授業のはじめに、教員による本文の内容確認をし、関連する表現や文法事項について説明を行う。そのうえで、学生による発表・討論、またはディベートを行う。それを通じて、中国語による表現力を強化させていく。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30832	S	中国語中級（会話）	何 珍時	中国語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
中国語をマスターする条件は、発音、構文（仕組み）と語彙の３つです。この３つの条件さえ満たせば、誰でも中国語を身に付けることができます。ですから、「会話」と言っても、３つの条件なしに成り立つわけではありません。発音はもちろんのこと、ある程度中国語の仕組みが分からなければ、会話は成り立ちません。この講義は中級会話なので、一年生で学んだ文法理解と語彙の習得を前提に、さらに進んだ文法理解を深め、複雑な構文も学んだ上で、それを活かして、中国語で言われた内容を聞き取り、自分の考えたことを中国語で表現し、会話を行うこと

授業の目標概要
授業の目標はまず、中国語の基本的な仕組み（文法）をきちんと理解すること、つぎに自分の考えたことをできるかぎり中国語で表現すること。これらの基礎作業の上に学んだ内容を活かしたテーマを設定し、それについて学生相互で基本的な会話（日常会話）ができるようにすること。以上が授業の目標です。会話の練習は、数回程度授業内で行う予定です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31072	S	中国語中級（会話）	李 雲	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
中国語の発音と会話の基礎を固めるトレーニング。

授業の目標概要
1 年間学んだ発音と文法事項を踏まえ、会話の実践的なトレーニングを行う。半年を通して、基礎的な会話能力を身に付けることを目標とする。授業では、ペアを組んで、読み、暗誦、発表を繰り返していく。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30944	S	中国語中級（作文）	柴 森	中国語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		やや高度の中級作文練習				
授業の目標概要		基礎復習から始め、中国語の構文を中心にした文法事項を系統的に学習しながら、さまざまな練習問題を解いていく。自分の伝えたいことをできるだけ幅広く自由に中国語で表現できることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31073	S	中国語中級（読解）	斉 金英	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		中級中国語（精読）				
授業の目標概要		中国語のショートショートを精読し、中級以上の文法的な知識を増やし、読解能力を高めると同時に、生きた中国語や現代中国の世相に触れ、行間から滲み出る社会的、文化的なメッセージを読みとることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30223	S	中国語中級（インテンシヴ）	李 彦銘	中国語	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科 (TLP)
講義題目		TLP 中国語 実践トレーニング（中級会話）				
授業の目標概要		この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30297	S	中国語中級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		中国語中級インテンシブ会話				
授業の目標概要		中級インテンシブ聴解をセットで履修することが望ましい。火曜日 1 限では、主に会話の訓練を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30344	S	中国語中級（インテンシヴ）	鄧 芳	中国語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科 (TLP)
講義題目		TLP 中国語実践トレーニング（中級作文）				
授業の目標概要		この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30455	S	中国語中級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 実践トレーニング（中級作文） この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30897	S	中国語中級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	耳を澄ませてリスニングチャレンジ この授業では主に聞き取りの訓練を行う。 街中で録音した自然な会話を聞き、初級で習得した単語や構文を点検するとともに、日常会話やテレビの報道番組などが聞き取れることを目指す。 なお、会話中心の「中級インテンシヴ」とセットで履修することを強くお薦めします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30901	S	中国語中級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング（中級会話） この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31092	S	中国語中級（インテンシヴ）	菊池 真純	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング（中級会話） この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31171	S	中国語中級（インテンシヴ）	鄧 芳	中国語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目	TLP 中国語実践トレーニング（中級作文）					
授業の目標概要	この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31074	S	中国語上級（演習）	秋山 珠子	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	字幕翻訳演習					
授業の目標概要	本授業は、中国語の映像作品（劇映画、ドキュメンタリー、ビデオアート、テレビ作品等）の字幕翻訳の実習を通し、1) 言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、2) 的確な日本語に翻訳する力を身につけ、3) 既存の字幕翻訳ルールを再検討し、デジタル化、グローバル化が進む今日の映像文化にふさわしい字幕翻訳の方法を模索することを目標とする。またその過程で、映像翻訳の可能性/不可能性を考察し、作品の背景となる中国の社会や文化に関する理解を深めていく。(Ｇ８－１０) * 演習の性質上、人数多数の場合は抽選を行う。受講希望者はオンライン初回授業に必ず参加すること。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30786	S	中国語上級（会話）	WANG QIN	中国語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	中国語でさまざまなトピックについてディスカッションする					
授業の目標概要	中国語を使って日常会話や学術的議論をすることで、中国語で「ものを考える」能力を上達させる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30833	S	中国語上級（作文）	張 政遠	中国語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	作文					
授業の目標概要	中国語でエッセイを書く。表現力を高める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30739	S	中国語上級（読解）	石井 剛	中国語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	阅读赵汀阳《没有答案：多种可能世界》					
授業の目標概要	赵汀阳以其“天下体系”理论成为了当代中国最具国际影响、最有争议性的哲学家。他 2020 年出版的《没有答案：多种可能世界》充分展示其哲学的特点所在。其所涉及的范围甚为宽广：“天下”议题、当下政治哲学问题、中国哲学的当代意义为何、哲学如何应对人工智能、以及著名畅销科幻小说《三体》所引发的哲学思考，等等。我们通过阅读此书，既可走进赵汀阳的思想世界，也能窥见中国知识分子如何看待当今世界所面临的种种危机。也就是说，阅读本书一定会帮助我们对我们早已习以为常而不知道怀疑的价值理念加以重新检讨。 因此，借助于当代中国哲学话语，让我们一起放大我们学问的地平线，加固我们学问所依赖的思考基石。独特的阅读经验乃是你的一把智慧的密钥。					

総合科目　L 系列　ロシア語

ロシア語初級(演習)①	開講区分	S
授業の目標・概要　正確な発音を実につけて、簡単なテクストを読む。内容を理解した上で、テクストに関して質疑応答ができるようにする。 成績評価方法　平常点など。 教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること		

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30961	木 4	Gutova Ekaterina	1 年 文一二(4)
30967	木 4	Grecko Valerij	1 年 文三(4)
30990	木 4	ゴロウィナ クセーニヤ	1 年 文科　(TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30246	S	ロシア語初級（インテンシヴ）	奈倉 有里	ロシア語	月 5	1年 文科 理科
講義題目		ロシア語初級（インテンシヴ）				
授業の目標概要		ロシア語の読解力を強化します。 ※インテンシヴ・クラスは週2回のセットで履修することが必要です。かならずペアの授業といっしょに履修すること				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30787	S	ロシア語初級（インテンシヴ）	Grecko Valerij	ロシア語	水 5	1年 文科 理科
講義題目		現代ロシア語の基礎				
授業の目標概要		基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、聞く、話す、読む、書くという4つのスキルをバランスよく習得する。 ※「初級インテンシヴ」は週2コマをセットでのみ履修できます。かならず月曜5限の授業と両方を履修してください。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30989	S	ロシア語初級（演習）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	木 4	1年 理科 (TLP)
講義題目		ロシア語演習 (TLP)				
授業の目標概要		ロシア語でのオーセンティックな内容 （教科書以外）を理解し、それについて議論することができるための基礎を作る演習です。カードなどを用いて、テーマごとの内容と表現を多く覚えます。ミニレクチャーや音楽を聞いたり、ビデオを見たりした後、単語とモデル表現を練習した上で、簡単な議論やディベート、ロールプレイをします。宿題は主として新しい単語の復習であり、ボキャブラリー増加を目指します。 ※この授業は TLP 生専用です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30020	S	ロシア語初級（インテンシヴ）	Gutova Ekaterina	ロシア語	月 1	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目		TLP ロシア語初級（インテンシヴ）				
授業の目標概要		TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。S セメスターではアルファベットを習得し、正確な発音を目指すところから始める。２コマセットで履修すること（月曜1限と金曜5限）。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30740	S	ロシア語初級（演習）	Grecko Valerij	ロシア語	水 3	1年 理科
講義題目		現代ロシア語の基礎				
授業の目標概要		基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという4つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテクストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31242	S	ロシア語初級（インテンシヴ）	Gutova Ekaterina	ロシア語	金 5	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP ロシア語初級（インテンシヴ） TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。S セメスターではアルファベットを習得し、正確な発音を目指すところから始める。２コマセットで履修すること（月曜１限と金曜５限）。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31075	S	ロシア語初級（会話）	Grecko Valerij	ロシア語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語会話の基礎 ロシア語ネイティブの教員が担当する初心者向けロシア語会話の授業。基礎的なロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）を習得することを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 日常生活に密着した場面を設定して、会話練習を行う。また、毎回の授業で取り上げるトピックを通して、ロシアでの生活や社会事情、ロシア特有の習慣などについての知識を得る。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30788	S	ロシア語初級（第三外国語）	毛利 公美	ロシア語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級 ロシア語を初めて学ぶ人、初めから学び直したい人を対象にした授業です。正しい発音やイントネーションの確認から始め、初級レベルの文法・語彙・表現の習得を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30794	S	ロシア語中級（インテンシヴ）	Gutova Ekaterina	ロシア語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP ロシア語中級（インテンシヴ） TLP 生２年生用のインテンシヴ授業である。週２コマ行い、ネイティヴ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30092	S	ロシア語上級（会話）	Gutova Ekaterina	ロシア語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語上級（会話） ネイティヴ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。 ※前期課程（1・2年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既修」で入学した学生のみである。それ以外の学生は履修できないので注意すること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31169	S	ロシア語上級（作文）	Grecko Valerij	ロシア語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語の文章表現 ロシア語のさまざまな文体（日常会話、新聞や雑誌の記事、文学作品など）を読み、それらについてディスカッションし、ロシア語の文章を書く練習を行う。ロシア語運用能力をさらに高め、特に書く能力を向上させることを目指す。最終的にはエッセイやレポートをロシア語で書く能力を身につける。また、さまざまなスタイルの文章に触れることを通じて、ロシア文化やロシア事情に対する理解を深めることを目指す。 ※前期課程（1・2 年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生のみです。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30945	S	ロシア語上級（読解）	細川 瑠璃	ロシア語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア美学を読む 19 世紀末～20 世紀初頭のロシア美学に関するテクストを読む。 【授業の目標】 ・今後各自でロシア語の文献を読んでいくにあたり，必要となる読解力を養うこと。 ・日本で触れる機会が少ないロシアの美学について学び，関心を広げること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31001	S	ロシア語中級（インテンシヴ）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（インテンシヴ） 主に一年生時に初級（インテンシヴ）を受講した学生を対象に、読む・聞く・書く・話すの能力を総合的に育んでいきます。 基礎文法の知識を確認しながら、より高度な文法力の育成を目指します。ネイティヴ・スピーカーの先生が聴取・発音・会話に関して高度な運用能力を育成します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31076	S	ロシア語中級（インテンシヴ）	渡邊 日日	ロシア語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（インテンシヴ）／ Russian Language (Intermediate) ロシア語文法を 1 年以上学んだ者を対象に，非ネイティヴが迷いやすい文法事項（アスペクト、移動動詞、無人称文など）について説明を行います。また，練習問題を解いて，説明されたことの確固たる修得をはかり，文法力を強固なものとします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31217	S	ロシア語中級（インテンシヴ）	Gutova Ekaterina	ロシア語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		TLP ロシア語中級（インテンシヴ） TLP 生2年生用のインテンシヴ授業である。週2コマ行い、ネイティヴ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30345	S	ロシア語上級（演習）	渡邊 日日	ロシア語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		ロシア語上級（演習）／ Russian Language (Advanced) TLP ロシア語2年生は必ず履修する授業です。精読を繰り返しながら，中級文法を学びつつ，語彙を増やし，読解力の向上を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30330	S	ロシア語中級（演習）	笹山 啓	ロシア語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（演習） このロシア語中級（演習）では、購読による読解力の育成を目的として授業を進める。ロシア語で書かれたテクストの訳読を通じて、初・中級文法の解説および再確認を行い、中級レベル以上のロシア語運用能力獲得を目指す。 初修外国語としてロシア語を履修し、初級文法（おおよそ形動詞・副動詞までの基本文法）を習得した学生を主な対象とする。 講読するテクストを通じて、ロシア語文化圏の多様な背景知識を得ることも同時に目指す。 ソ連〜現代ロシアの文学に関するテクストを扱う予定であるが、受講者の要望に応じ変更の可能性あり。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30557	S	ロシア語中級（会話）	Grecko Valerij	ロシア語	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語会話表現（中級） ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業では日常生活や身近な話題に取材した短い文章やスキットなどを使って、会話練習を重点的に行う。日常的な場面でよく使われる言い回しを習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。 ※ロシア語を1年以上学習した者				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31238	S	ロシア語中級（作文）	丸山 由紀子	ロシア語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級作文 既習文法事項、単語を適切に用いることが出来ると同時に、一歩上の文法、語彙も使用して、意図した内容を正確に、より豊かなロシア語で書けるようになるのが目標です。				

総合科目　L 系列　スペイン語

スペイン語初級(演習)①	開講区分	S

授業の目標・概要　この演習では、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざします。文系はクラス指定の演習を設けてあります。理系ではこれに対応する「スペイン語初級（演習)」(理科生限定）を開講しますので、積極的に参加してください。

成績評価方法　各教師の指示に従ってください。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Brújula−スペイン語学習の羅針盤
著者（訳者）　東京大学教養学部スペイン語部会
出版社　朝日出版社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30057	月 2	松田 葉月	1 年 文一二(7)
30060	月 2	AIT MORENO Isaac	1 年 文一二(12)
30176	月 4	アルバロ ペラル ヒガンテ	1 年 文一二(9)
30251	月 5	松田 葉月	1 年 文科 (TLP)
30403	火 3	FERNANDEZ HERBOSO	1 年 文一二(10)
30404	火 3	松田 葉月	1 年 文一二(11)
30613	水 2	松田 葉月	1 年 文一二(8)
30644	水 2	AIT MORENO Isaac	1 年 文三(10)
30721	水 3	松田 葉月	1 年 文三(7)
30968	木 4	FERNANDEZ HERBOSO	1 年 文三(8)
30969	木 4	AIT MORENO Isaac	1 年 文三(9)

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30015	S	スペイン語初級（演習）	AIT MORENO Isaac	スペイン語	月 1	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30346	S	スペイン語初級（演習）	松田 葉月	スペイン語	火 2	1 年 理科　(TLP)
講義題目	Seminario de español para el TLP TLP スペイン語演習					
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31002	S	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	スペイン語（初級会話）					
授業の目標概要	新型コロナ・ウィルス禍により、S セメスターの授業形態は大幅な変更を余儀なくされました。最初の 1 週目と 2 週目は遠隔（オンライン）授業の準備期間となっています。受講環境が整った方は、是非このシラバスの一番したにある URL にアクセスして、授業に参加し、3 週目からの正式の授業開始に備えて、Zoom の使い方に慣れたり、クラスメートや教員と交流するようにしてください。S セメスターは、当面、以下のように授業をおこないます。 練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。 その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31239	S	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション。					
授業の目標概要	スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。 自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。 スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。 The course is recommended for students who want to learn basic Spanish and want to develop essential conversational skills.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31077	S	スペイン語初級（作文）	受田 宏之	スペイン語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	スペイン語初級（作文）					
授業の目標概要	本コースは、スペイン語の基礎を学び始めた皆さんに、作文を通じて学習を深めるとともに、スペイン語表現の豊かさを味わってもらうことを目標とする。簡単な自己紹介ができるようになることを 1 つの目安とする。一列、二列の授業内容と関連しつつも、そこでは扱わない表現や語彙の習得も目指すため、意欲ある学生に受講して欲しい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30247	S	スペイン語初級（インテンシヴ）	アルバロ ペラル ヒガンテ	スペイン語	月 5	1 年 文科 理科

講義題目　スペイン語初級
授業の目標概要　このコースはスペイン語の紹介です。授業では主に口頭表現及び語彙を増やすための演習を行います。またリスニングと文章表現も学習します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30795	S	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	水 5	1 年 文科 理科 (TLP)

講義題目　Curso intensivo de español para el TLP
TLP スペイン語インテンシブ

授業の目標概要　Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.
コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31003	S	スペイン語初級（インテンシヴ）	AIT MORENO Isaac	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31011	S	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 (TLP)

講義題目　Curso intensivo de español para el TLP
TLP スペイン語インテンシブ

授業の目標概要　Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.
コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31093	S	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 2	1年 文科 理科 (TLP)

講義題目　Curso intensivo de español para el TLP
TLP スペイン語インテンシブ

授業の目標概要　Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.
コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31243	S	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 5	1年 文科 理科 (TLP)

講義題目　Curso intensivo de español para el TLP
TLP スペイン語インテンシブ

授業の目標概要　Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.
コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30016	S	スペイン語初級（第三外国語）	栗林 ゆき絵	スペイン語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　スペイン語初級
授業の目標概要　スペイン語の骨格を 35 の基本文を軸にしてひととおり学ぶ。スペイン語は動詞の活用と名詞修飾語句の変化が２つの柱であるが、その基本のしくみを身につけることを目標とする。また、活用形から不定詞(原形)を導きだし正しく辞書が引けるようになること(＝講座終了後も独学で続けられること)も本講座の目標のひとつである。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30834	S	スペイン語中級（演習）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科 (TLP)

講義題目　El mundo hispano en las noticias
授業の目標概要　この授業ではコミュニケーションのために必要な実践練習を行いま す。１年次に学習した文法項目の復習を行い、文法を自分のものとすることをめざします。さらに発音を練習するとともに、 スペイン語でのコミュニケーション能力を向上させ、 スペイン語圏のさまざまな文化について学びます。 ヨーロッパ言語共通参照枠のＡ１からＡ２レベルに対応しています 。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30902	S	スペイン語中級（演習）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		El mundo hispano en las noticias この授業ではコミュニケーションのために必要な実践練習を行いま す。1 年次に学習した文法項目の復習を行い、文法を自分のものとすることをめざします。さらに発音を練習するとともに、 スペイン語でのコミュニケーション能力を向上させ、 スペイン語圏のさまざまな文化について学びます。 ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 から A2 レベルに対応しています 。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31215	S	スペイン語中級（演習）	アルバロ ペラル ヒガンテ	スペイン語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		¡Habla en español! Español Intermedio この授業は、学生が自立したスペイン語話者となるための最初の一歩として組み立てられています。 授業では主に口頭表現及び語彙を増やすための演習を行います。またリスニングと文章表現も学習します。様々な資料を用いて学習するとこで、社会文化にも触れることができます。 Este curso está planteado como un primer paso para que los estudiantes lleguen a ser usuarios independientes del español. En las clases realizaremos actividades para practicar principalmente la expresión oral y aumentar el vocabulario. Practicaremos también la comprensión auditiva y la comprensión y la expresión escritas. Trabajaremos con diferentes tipos de textos y presentaremos aspectos socioculturales.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31216	S	スペイン語中級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「¿CHARLAMOS? 」スペイン語を通じた西洋式のコミュニケーション 様々なトピックに触れながら、会話力を養う。 西洋式コミュニケーションのパターンを探り、慣用句を中心に エリプシス（省略法)、 メトニミー（換喩)、メタファー （比喩）を学ぶ。曖昧で婉曲的な伝え方より、アサーティブでメタフォリックなコミュニケーションを目指す This is a course to learn new collocations, verbal periphrases, idioms and to practice conversation. The final exam is a presentation.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31004	S	スペイン語中級（読解）	内田 兆史	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ラテンアメリカを中心にしたスペイン語圏のニュース、講演、会話や曲を聞き取り、内容を理解することでスペイン語という視点を獲得し、世界を、あるいは日本を複眼的に眺める武器にしましょう。 スペイン語を用いて世界を、日本を複眼的に眺める手段について学び、たとえばニュースについて日本や英語圏のメディアでの取り上げられ方とスペイン語世界での取り上げられ方との違いについて考察することにより、新たな視点から世界を眺められるようになる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30347	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	相田 豊	スペイン語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		スペイン語圏のエスノグラフィー／ライフヒストリーを読む エスノグラフィー（民族誌）あるいはライフヒストリー（生活史）とは、ある地域に生きる人々の生活について、人々の日常的な語りをもとに記述したものである。そのため、エスノグラフィーやライフヒストリーは、ありのままの日常的な会話表現や、人々が生きる現実に触れることのできる格好の「外国語教材」である。本授業では、こうしたエスノグラフィー／ライフヒストリーを読むことを通じて、1 年時に学修した文法事項などを確認しつつ、スペイン語で文章を読む力を養うとともに、スペイン語を運用する上で必要なレアリア（言語外知識）としての、スペイン語圏の文化的・歴史的背景に関する専門知識を涵養することを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30742	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	相田 豊	スペイン語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		スペイン語圏のエスノグラフィー／ライフヒストリーを読む エスノグラフィー（民族誌）あるいはライフヒストリー（生活史）とは、ある地域に生きる人々の生活について、人々の日常的な語りをもとに記述したものである。そのため、エスノグラフィーやライフヒストリーは、ありのままの日常的な会話表現や、人々が生きる現実に触れることのできる格好の「外国語教材」である。本授業では、こうしたエスノグラフィー／ライフヒストリーを読むことを通じて、1 年時に学修した文法事項などを確認しつつ、スペイン語で文章を読む力を養うとともに、スペイン語を運用する上で必要なレアリア（言語外知識）としての、スペイン語圏の文化的・歴史的背景に関する専門知識を涵養することを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30331	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	エクトル シエラ	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「¿CHARLAMOS? 」スペイン語を通じた西洋式のコミュニケーション 様々なトピックに触れながら、会話力を養う。 西洋式コミュニケーションのパターンを探り、慣用句を中心に エリプシス（省略法)、 メトニミー（換喩)、メタファー（比喩）を学ぶ。曖昧で婉曲的な伝え方より、アサーティブでメタフォリックなコミュニケーションを目指す。 This is a course to learn new collocations, verbal periphrases, idioms and to practice conversation. The final exam is a presentation.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31078	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	松田 葉月	スペイン語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Curso intensivo de español, nivel intermedio, composición					
授業の目標概要	El objetivo del curso es aprender a escribir correctamente en idioma español. Se busca dotar al alumno de los elementos claves e imprescindibles en la redacción de un texto, mediante la utilización de modelos y estructuras gramaticales apropiadas acordes al discurso seleccionado.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31094	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	宮地 隆廣	スペイン語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目	TLP2 年生（文系）向けスペイン語中級演習					
授業の目標概要	CEFR 準拠 A2 レベルのスペイン語運用能力を身につける目的で、演習形式で授業を行う。課題は多岐にわたるが、単なる読解にとどまらず、作文を行うことにも力点を置く。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31760	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	川崎 義史	スペイン語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目	Los misterios de Laura を読む					
授業の目標概要	スペインのテレビドラマ Los misterios de Laura の聞き取りとスクリプトの読解を通して，スペイン語力の更なる向上を目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30219	S	スペイン語上級（演習）	松田 葉月	スペイン語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Práctica de español, nivel avanzado					
授業の目標概要	El curso de práctica de español avanzado tiene un triple objetivo: en primer lugar, consolidar y ampliar el conocimiento gramatical de los estudiantes a través de las cuatro destrezas lingüísticas (comprensión auditiva, expresión oral, comprensión de lectura y expresión escrita); a continuación, alcanzar una mayor fluidez oral; por último, fomentar el conocimiento por parte de los estudiantes de diversos temas relativos al mundo hispánico.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30946	S	スペイン語上級（会話）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	América Latina en su literatura. Principales tendencias de la narrativa (I).					
授業の目標概要	In this course, students will learn concepts such as "imagination", "fantasy" and "reality", related to Latin American literature, by reading some works of major authors. Students may improve their skills in Spanish language through readings and writing exercises. They may also strengthen aspects of grammar, syntax and vocabulary of Spanish. En este curso, los estudiantes aprenderán conceptos como "imaginación", "fantasía" y "realidad", relacionados con la literatura latinoamericana, mediante la lectura de algunas obras de los principales autores. Los estudiantes pueden mejorar sus habilidades en el idioma español a través de lecturas y ejercicios de escritura. También pueden fortalecer aspectos de gramática, sintaxis y vocabulario del español.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30898	S	スペイン語上級（作文）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　スペイン語による作文の授業

授業の目標概要

Aprender a escribir bien en una nueva lengua requiere del aprendizaje de un género discursivo totalmente nuevo. Este curso de redacción tiene como fin dotar a los alumnos de las estructuras conceptuales imprescindibles que les permitan comprender el objetivo del texto y cómo realizarlo. El enfoque consiste en la introducción de los modelos conceptuales que permitan al estudiante reorganizar sus ideas y su entorno tanto dentro del aula como fuera de ella para facilitar el aprendizaje de este nuevo el discurso escrito en español. Los niveles de referencia de español que abordaremos son B1-B2 y C1.

新しい言語で正しく書くことを学ぶには、まったく新しい論法を学ぶ必要がある。この授業では、文章を書く目的とその実行方法を理解できるようにするための基本的な概念構造を生徒に提供することを目的としている。授業の方法は、スペイン語で書かれたこの新しい論法の学習を容易にするために、生徒が自分の考えを教室の内外で再編成できるようにする概念モデルを紹介することである。

授業で使用するスペイン語のレベルは前半が B1~B2、後半が C1 である。

総合科目 L系列 韓国朝鮮語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30299	S	韓国朝鮮語初級（演習）	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 1	1 年 理科 (TLP)
講義題目		韓国朝鮮語初級（演習）① TLP				
授業の目標概要		韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30300	S	韓国朝鮮語初級（演習）①	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 1	1 年 文科 (TLP)
講義題目		韓国朝鮮語初級（演習）① TLP				
授業の目標概要		韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30393	S	韓国朝鮮語初級（演習）①	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 3	1 年 文一二(5)文三(5)
講義題目		韓国朝鮮語初修（文系）				
授業の目標概要		韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30298	S	韓国朝鮮語初級（会話）	朴 天弘	韓国朝鮮語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級（会話）				
授業の目標概要		本授業は、韓国朝鮮語の文字と発音を学び、会話の練習を重ねると同時に、表現力の向上を目指す。話すことを中心とする授業であり、日常生活に必要な基礎的な会話を無理なく話せるように練習する。 ①基礎的な日常会話ができる。 ②韓国の言語・文化を理解する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30021	S	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	朴 天弘	韓国朝鮮語	月 1	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目		TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ一列				
授業の目標概要		韓国朝鮮語 TLP の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30991	S	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	朴 天弘	韓国朝鮮語	木 4	1 年 文科 理科 (TLP)
講義題目		TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ二列				
授業の目標概要		TLP 韓国朝鮮語の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30558	S	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	李 英蘭	韓国朝鮮語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）				
授業の目標概要		本授業は、必修授業（一列・二列）に加えて韓国朝鮮語をより実践的に学びたい学生を対象としている。初修韓国朝鮮語の学習内容に合わせ、Listening、Speaking、Reading、Writing の 4 技能を強化する活動を行い、初級レベルの実践的な運用能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31051	S	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 1	1 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級 インテンシヴ				
授業の目標概要		必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30332	S	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	岩井 智彦	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		韓国語入門・初級				
授業の目標概要		韓国語を本格的に身につけようとしている方を対象にした授業です。S・A 両セメスターの受講を前提として授業を進め、通年で初級レベルの韓国語力を確実に身につけることを目標とします。 S セメスターは発音や文字等、入門レベルから始め、初級レベルの学習項目の前半部分を学びます。 なお、履修にあたっては、必ず UTAS の授業計画、履修上の注意を確認してください。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30519	S	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	李 英蘭	韓国朝鮮語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級				
授業の目標概要		本授業は、韓国朝鮮語を初めて学習しようとする学生を対象としている。S・A 両セメスターの履修を前提にし、通年で初級レベルの韓国朝鮮語の表現や語彙を学び、日常生活の基本的な会話ができるようになることを目指す。S セメスターでは、韓国朝鮮語の文字と発音をしっかり学んだ後、初級前半レベルの表現と語彙を学ぶ。 授業は、できる限り韓国朝鮮語で行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30899	S	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級の文法と会話				
授業の目標概要		このクラスの履修を希望する人は、A セメスターの「韓国朝鮮語初級（第三外国語）」を履修済みか、それと同等の学力を持っていることが望まれます。 この授業では韓国朝鮮語の基礎文法と語彙を体系的に学習したうえで、様々な場面で実践的に使用できるコミュニケーション能力を身につけることを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30348	S	韓国朝鮮語中級（演習）	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級演習（ＴＬＰ用） ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的に韓国朝鮮語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31079	S	韓国朝鮮語中級（会話）	朴 天弘	韓国朝鮮語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級（会話） Korean Language (Intermediate) 韓国朝鮮語初級から中級へつながる表現と語彙を学び、日常生活の会話ができるようにロールプレイを通して生きた会話の練習を目指す。したがって、積極的に授業参加するのが前提である。 授業は、できる限り、韓国朝鮮語で行う。 This course aims to acquire the necessary skills and knowledge needed to perform their conversation better. In this course, the students will le				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31080	S	韓国朝鮮語中級（会話）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級（会話） 様々な会話場面における語彙と文型を覚えていくことで、的確な表現・伝達ができるように練習する。また、韓国朝鮮語らしい表現法を身につけ、コミュニケーション能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31005	S	韓国朝鮮語中級（作文）	李 英蘭	韓国朝鮮語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級（作文） 韓国朝鮮語において日常生活に必要な文の読み書きが自由にできる程度の表現能力を身につけることを目指す。具体的には、中級レベルの語彙・表現を使い、短文の作文練習から徐々にパラグラフ作文まで発展していく。課題作文については教員による添削をみんなで共有し、よくある誤用や韓国朝鮮語の文の特徴についての理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30333	S	韓国朝鮮語中級（表現練習）	根本 理恵	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級（表現練習） 言葉と文化の理解を中心に 韓国朝鮮語の初級教材を学び終えた学習者を対象とする。基礎知識を発展させることを目標に日常会話を取り入れながら語彙を増やす他、さまざまな文章に触れる機会を設けて変則活用や慣用句など、文法事項のまとめも行う。会話練習と読解練習はもちろんのこと、映画等の視聴覚教材を活用してヒアリングにも力を入れ、「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよく伸ばしたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31006	S	韓国朝鮮語中級（読解）	植田 喜兵成智	韓国朝鮮語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語の文章の講読					
授業の目標概要	韓国朝鮮語の新聞や雑誌、ウェブサイト、書籍の時事的な記事、論説、エッセイ、短編小説など様々な種類の文章を講読する。各文章の解説を通じて、中級以上の文法事項および韓国朝鮮語の独特の語彙や表現などを理解する。また多様な文章の講読を通じて、現代の韓国社会や文化についても理解を深める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30096	S	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	朴 天弘	韓国朝鮮語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科 (TLP)
講義題目	TLP 韓国朝鮮語 中級インテンシヴ一列					
授業の目標概要	韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に、「聞く」「話す」「読む」「書く」全領域における韓国朝鮮語能力の向上を目指す。初級で学んだ韓国朝鮮語の基礎内容を応用・表現する力をつけ、中級の文型や語彙を増やしていく。聞き取りや会話はもちろん、中級レベルの文章を読み、自分の考えを韓国朝鮮語でまとめられるように練習する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30520	S	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	朴 天弘	韓国朝鮮語	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科 (TLP)
講義題目	TLP 韓国朝鮮語 中級インテンシヴ二列					
授業の目標概要	韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に、「聞く」「話す」「読む」「書く」全領域における韓国朝鮮語能力の向上を目指す。初級で学んだ韓国朝鮮語の基礎内容を応用・表現する力をつけ、中級の文型や語彙を増やしていく。聞き取りや会話はもちろん、中級レベルの文章を読み、自分の考えを韓国朝鮮語でまとめられるように練習する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30770	S	韓国朝鮮語上級（作文）	李 英蘭	韓国朝鮮語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語上級（作文）					
授業の目標概要	韓国朝鮮語においてより高度で専門的な文の読み書きができるよう、読解力と表現力の向上を目指す。具体的には、上級レベルの語彙や表現を使い、論理的な文の作成に取り組む他、日本語と韓国朝鮮語の文の違いを意識しつつ自然な韓国朝鮮語の表現を身につけていく。					

総合科目　L 系列　イタリア語

イタリア語初級(演習)①	開講区分	S

授業の目標・概要	会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。
成績評価方法	平常点と定期試験（最終授業時)。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
関連ホームページ	http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30063	月 2	DANIELI Daniela	1 年 文三(6)
31132	金 3	マルコ ビオンディ	1 年 文一二(6)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31081	S	イタリア語初級（演習）	DANIELI Daniela	フランス語・イタリア語	金 2	1 年 理科
講義題目		イタリア語初級（インテンシヴ）／Italian Language (Introductory)				
授業の目標概要		すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30988	S	イタリア語初級（会話）	USICCO Francesca	フランス語・イタリア語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級会話				
授業の目標概要		ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30248	S	イタリア語初級（会話）	DANIELI Daniela	フランス語・イタリア語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級演習				
授業の目標概要		習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることをネイティブのイタリア語教員といっしょに目指します。生きたイタリア語の教材等を使って、理解力を高めながら、話したり書いたりする応用力を高め、コミュニケーション能力をみがきましょう。理科生向けの演習です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31774	S	イタリア語初級（作文）	Diego Martina	フランス語・イタリア語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（作文）				
授業の目標概要		イタリア語の基本文法の理解と作文の演習。 本講義では、作文演習を主目的としているが、その前提としての基礎的な文法の知識、およびその運用力は不可欠なので、まずその習得を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30220	S	イタリア語初級（表現練習）	横田 太郎	フランス語・イタリア語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級表現練習				
授業の目標概要		この講義は、初めてイタリア語を勉強しようとする人も、文法の基礎はあるがよりボキャブラリーや表現を広げて、日常的な場で使えるようになりたいという人も対象です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30334	S	イタリア語初級（インテンシヴ）	DANIELI Daniela	フランス語・イタリア語	火 2	1 年 文科 理科
講義題目		Lingua italiana, livello elementare				
授業の目標概要		習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることがを目指します。生きたイタリア語の材料を使って、理解力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31082	S	イタリア語初級（インテンシヴ）	野里 紳一郎	フランス語・イタリア語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級 - インテンシヴコース				
授業の目標概要		イタリア語における基礎文法の十分な理解と練習の実践				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30093	S	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎	フランス語・イタリア語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（第三外国語）I				
授業の目標概要		イタリア語の基本文法の理解。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30790	S	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎	フランス語・イタリア語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（第三外国語）I				
授業の目標概要		イタリア語の基本文法の理解。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30017	S	イタリア語初級（第三外国語）	大澤 麻里子	フランス語・イタリア語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		初級イタリア語				
授業の目標概要		イタリア語共通教科書（東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』）を用いてイタリア語の基礎文法を学びます。第 1 課から第 4 課で学ぶ初歩的な文法事項（名詞、冠詞、形容詞、前置詞、動詞・補助動詞の直接法現在）について既習の方を対象にしています。独学で学ばれた方は初回の授業時にご相談下さい。 今学期は教科書の第 5 課からスタートし、初級～中級レベルの文法の習得を目指します。また文法知識のインプットのみではなく、それを使用してアウトプットできるように				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31778	S	イタリア語中級（会話）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Lingua italiana, livello elementare				
授業の目標概要		習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることがを目指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31007	S	イタリア語中級（会話）	DANIELI Daniela	フランス語・イタリア語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello intermedio）				
授業の目標概要		このコースは、1 年目のイタリア語学習に基づいて、学生のイタリア語の一般的な能力を強化し、さまざまな状況でイタリア語を使用する能力を開発することを目的としています。 ネイティブスピーカーの教員のもとで、自然な発音、会話、ライティング、ボキャブラリーを身につけることができます。イタリアの文化をテーマに、受講生の希望も考慮しながら進めていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30669	S	イタリア語中級（表現練習）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello medio）				
授業の目標概要		すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、ヴィデオ教材なども交えて、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。通年で開講していますが、セメスターごとに独立して受講することが履修上も内容としても可能です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30741	S	イタリア語中級（読解）	岡本 太郎	フランス語・イタリア語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ダイアログを通してイタリア語の表現を探る				
授業の目標概要		イタリア映画の実際の映像とスクリプトや、雑誌、ガイドブックなど、生のイタリア語を教材に、現代イタリア語のさまざまな表現について学習し、その文化的背景を考察します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30221	S	イタリア語中級（インテンシヴ）	大崎 さやの	フランス語・イタリア語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア演劇からイタリア語に親しむ				
授業の目標概要		イタリアの演劇作品を読むことを通し、読解力、文章力、会話力を身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31083	S	イタリア語中級（インテンシヴ）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語中級（インテンシヴ）／ Italian Language (Intermediate) 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業１コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業１コマのあわせて２コマの両方を履修する。１年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30791	S	イタリア語上級（会話）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Facciamo un passo avanti! Questo corso è rivolto sia per chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1)..				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30771	S	イタリア語上級（作文）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語上級作文（Lingua italiana- composizione di livello avanzato） L'obiettivo del corso è imparare come scrivere un testo accademico. Redarre un testo accademico non è una cosa facile, non lo è neanche nella propria lingua. Scriverlo in un'altra lingua porta la sfida a un nuovo livello. La scrittura accademica è piena				

総合科目　L系列　その他外国語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30796	S	アラビア語初級（第三外国語）	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		アラビア語初級（第三外国語）				
授業の目標概要		アラビア語初学者を対象に、文字の書き方・発音から始め、初級文法を概観する。授業では、アラブ諸国の共通語である正則アラビア語（文語・書き言葉）を扱い、1 年間で基礎文法を網羅し、辞書を用いて、現代標準アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31172	S	アラビア語初級（第三外国語）	苅谷 康太	古典語・地中海諸言語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		アラビア語初級（第三外国語）				
授業の目標概要		アラビア語の基礎的な文法を解説します。1 年間の学習を終えた時に、辞書を引きながらアラビア語の簡単な文章を読めるようになっていることが目標となります。毎回、教科書の練習問題を課題として出しますので、復習は必須です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31218	S	アラビア語中級（第三外国語）	苅谷 康太	古典語・地中海諸言語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		アラビア語中級（第三外国語）				
授業の目標概要		母音符号のついた正則アラビア語の読み物を講読します。アラビア語・英語辞典を引きながらアラビア語の短い物語などを正確に読み取れるようになることが目標となります。なお、本授業は、初級文法を一通り終えた方を対象とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31173	S	ヒンディー語初級（第三外国語）	藤井 毅	アジア・日本研究コース	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ヒンディー語（初級）: Introductory Hindi				
授業の目標概要		インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。表記に用いるデーヴァナーガリー文字と音声の習得より入り、夏学期で指定教科書の 9 課までを終えることを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31219	S	ヒンディー語中級（第三外国語）	藤井 毅	アジア・日本研究コース	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ヒンディー語（中級） Intermediate Hindi course				
授業の目標概要		インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。ヒンディー語（初級）で用いていた指定教科書の知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことで、より深い知識の獲得を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30950	S	インドネシア語初級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		インドネシア語入門 (Indonesian language for beginners) インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、インドネシア語未修者を対象に、インドネシア語の基本的な文法と語彙を身につけ、基本的な読み書きができるようになることを目的とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30992	S	インドネシア語中級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students) この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。 インドネシア語は文法が簡易であるため、長文を読むには西欧諸語とは違った技術が必要となる。そうした技術を身につけることを目標とする。 講読するテクストは新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説など、広い分野から取り上げ、様々なスタイルの文章を用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30252	S	ベトナム語初級（第三外国語）	野平 宗弘	アジア・日本研究コース	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベトナム語入門I ベトナム語を学習するにあたって基礎となる発音、文字の読み方、書き方から始め、基礎文法、簡単な会話表現を学ぶ。 ベトナム語の基礎文法、初歩的な会話表現を習得することを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30521	S	ベトナム語中級（第三外国語）	大泉 さやか	アジア・日本研究コース	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベトナム語文献講読 ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31244	S	広東語初級（第三外国語）	倉田 明子	中国語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		広東語（初級） 広東語は香港とマカオで第１言語である他、中国国内では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南３地域を覆うリンガ・フランカ（広域共通語）として、またベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として広く使用されています。文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも少なくありません。 この授業では影響力の最も大きい香港の広東語について初級レベルの習得を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31095	S	台湾語初級（第三外国語）	蔡 承維	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		台湾語初級 A 「台湾語」は、17 世紀以来、福建南部の泉州、漳州、厦門などから台湾に渡ってきた人々がもたらした言語である。台湾では、2300 万の総人口の 75%を占める 1700 万人の母語と推定される。この言語は、現代中国では「閩南語」と称し、母語話者もおよそ 1700 万と言われている。歴史的に東南アジアや欧米では、この言語を「福建語」と称している。インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピンでは福建語は華語の方言の中で最も話者が多く、インドネシア語、マレーシア語においても福建語由来の語彙が 500 以上あるとの研究もある。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30559	S	モンゴル語初級（第三外国語）	荒井 幸康	アジア・日本研究コース	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		モンゴル語 初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につける 会話では、挨拶や簡単な質問および、自己紹介ができるようにすることを目標とする				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30456	S	トルコ語初級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代トルコ語初級文法入門 1 現代トルコ語の初級文法を習得する。S セメスター、A セメスターの通年で完結する。一年後には新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。会話の練習などは行わず、文法体系を身に付けることが中心となる。トルコ語は文法規則が厳格かつ整然としているので、最初にきちんと文法を身につけないと、簡単な文さえ作れないからである。その代わりあるところまでたどり着ければ、日本語に発想が似ているので文章読解は非常に楽になるだろう。トルコ語学習を通じて異文化に対する理解を深めると同時に、外国語学				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30522	S	トルコ語中級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		トルコ語中級文献講読 文献講読を通じて、現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに 出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。 あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30224	S	ヘブライ語初級（第三外国語）	飯郷 友康	アジア・日本研究コース	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヘブライ語文法初歩 古代中世イスラエル思想、近現代ユダヤ文化を研究するためにも、中東情勢を分析するためにも、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること──すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30301	S	ペルシア語初級（第三外国語）	前田 君江	アジア・日本研究コース	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ペルシア語を読む・ペルシア語を話す					
授業の目標概要	ペルシア語はアラビア語の文字 28 文字に独自の文字 4 文字をプラスした、32 文字を用いて言葉を記述しています。見慣れぬ文字にわくわくしたり不安を感じたりすることは面白い体験です。 本授業では、イランのペルシア語を学びますが、アフガニスタンのダリー語、タジキスタンのタジク語などもペルシア語の兄弟言語で、意思の疎通も可能です。 かつてペルシア語は、古い歴史や文化を知るために学習する言語でした。現在では（と言ってもコロナ前ですが）日本とイランは人の往来も多く、日本で長年暮らしビジネスで活躍するイランの人たち					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31245	S	セルビア・クロアチア語初級（第三外国語）	山崎 信一	ロシア語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	セルビア・クロアチア語（初級）					
授業の目標概要	セルビア・クロアチア語の初等文法をマスターし、簡単な会話能力を身につけることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31220	S	セルビア・クロアチア語中級（第三外国語）	山崎 信一	ロシア語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	セルビア・クロアチア語（中級）					
授業の目標概要	セルビア・クロアチア語の初等文法の学習を終えた者を対象に、読解力を身につけるための文章講読の授業を行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30349	S	ポーランド語初級（第三外国語）	久山 宏一	ロシア語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ポーランド語初級				
授業の目標概要		ポーランド語の基礎的な文法を学ぶ。簡単な会話ができ、辞書を活用できることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30772	S	タイ語初級（第三外国語）	浅見 靖仁	アジア・日本研究コース	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		タイ語初級（第三外国語）				
授業の目標概要		半年間で、タイ語の基本的な文法とタイ文字を修得することを目指します。 辞書を使えばタイ語の新聞や雑誌を読むことができるレベルに到達することを目指す人は、Aセメスターも継続して履修することを勧めます。Sセメスターの履修だけでも、タイを旅行する際、簡単な会話をしたり、看板に書かれているタイ文字を読んだりできるようになります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31841	S	ポルトガル語初級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ポルトガル語の基礎				
授業の目標概要		ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、A セメスターの授業と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31840	S	ポルトガル語中級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ポルトガル語の基礎				
授業の目標概要		ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、読解力と聴解力を身に付けることを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30253	S 1	日本語中級	大久保 雅子	日本語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		滑らかに話すための日本語発音				
授業の目標概要		伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要な発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 （1）リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 （2）シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 （3）自己評価・他者評価によって自分の発音上の問題点を把握し、発音を上達させる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40022	S 2	日本語中級	大久保 雅子	日本語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	滑らかに話すための日本語発音 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要な発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 （1）リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 （2）シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 （3）自己評価・他者評価によって自分					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30023	S 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	論文執筆を戦略的に計画する（準備編） ※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする 4 月入学の学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。 大学では，それぞれの専門分野において，自ら問題を設定し，情報・データを収集したうえで考察を加え，その内容を日本語で，論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには，適切な方法論に基づき，戦略的に準備を行っていくことが必要です。 この授業では，日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる，「基本的な考え方のトレーニング」を行っていきます（					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40001	S 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	論文執筆を内省的に遂行する（実践編） ※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする 4 月入学の学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。 大学では，自ら問題を設定し，情報・データを収集したうえで考察を加え，その内容を日本語で，論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには，適切な方法論に基づき，戦略的に準備を行っていくことが必要です。 この授業では，自分にとって興味ある問題					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30302	S 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	論文執筆を戦略的に計画する（準備編） ※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする 4 月入学の学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。 大学では，それぞれの専門分野において，自ら問題を設定し，情報・データを収集したうえで考察を加え，その内容を日本語で，論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには，適切な方法論に基づき，戦略的に準備を行っていくことが必要です。 この授業では，日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる，「基本的な考え方のトレーニング」を行っていきます（					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40023	S 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	論文執筆を内省的に遂行する（実践編）					
授業の目標概要	※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする 4 月入学の学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。 大学では，自ら問題を設定し，情報・データを収集したうえで考察を加え，その内容を日本語で，論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには，適切な方法論に基づき，戦略的に準備を行っていくことが必要です。 この授業では，自分にとって興味ある問題					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30797	S 1	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える： その 5 Advanced readings in Japanese literature (5): Interactive approach					
授業の目標概要	授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ることで、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40106	S 2	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える： その 6 Advanced readings in Japanese literature (6): Interactive approach					
授業の目標概要	授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ることで、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30835	S	古典語初級（ギリシア語）I	上野 愼也	古典語・地中海諸言語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語の手ほどき					
授業の目標概要	古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31246	S	古典語初級（ギリシア語）I	松浦 高志	古典語・地中海諸言語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語初級（前半）					
授業の目標概要	1, 目標 初級文法を 1 年かけて学び，古典ギリシア語で書かれた簡単な文章を読めるようにする．また難しい文章であっても文法書と辞書を使えば何とか読めるようにする． 2, 教科書と学修内容 昨年度まで使用していた教科書は記述や練習問題が難しめであり，学生への負担が少々大きいと思われる．負担を少しでも軽減させることを目的に，今年度は教科書は使用せず，毎回プリントを配布して授業を行うこととする． 古典ギリシア語を学ぶにはかなりの負担があると一般に思われており，そのために学修をためらったり，					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30903	S	古典語中級（ギリシア語）I	上野 愼也	古典語・地中海諸言語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語散文講読					
授業の目標概要	古典期（前五～四世紀）のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30024	S	古典語初級（ラテン語）I	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ラテン語初級					
授業の目標概要	辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30523	S	古典語初級（ラテン語）II	ヘルマン ゴチェフスキ	古典語・地中海諸言語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Grammatica Latina (2) − Coniugationes verborum 注 この授業は 2021 年度の A セメスターで始まった一年間の初級ラテン語コースの 2 学期目に当たります。すでにこの授業で使われる教科書の 1 ～17 章を勉強した学生、または同じぐらいのラテン語力を身につけている学生を対象としています。最初からラテン語を始める学生は別の教員の授業を取るか、ゴチェフスキが 2021 年度 A セメスターに出す予定の古典語初級（ラテン語）I を履修してください。					
授業の目標概要	Finis huius cursus est linguam Latinam non per aliam linguam sed per illam ipsam discere. 注 この授業をオンラインで行います。A セメスターの方法で続けますが、これからは資料を ITC-LMS に出さず、すべて授業のホームページで一括して準備します。くわしくは下記のリンクをご覧ください。パスワードがまだ分からない学生がいましたら私のご連絡ください。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30097	S	古典語中級（ラテン語）I	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ラテン語散文講読					
授業の目標概要	初級の授業で学んだことの上に立ってラテン語の散文を読み進めていく。基本的な文法事項を確認しつつ、辞書を使って独力でラテン語を読解する能力を身に付けることを目標とする。授業ではカエサルの『ガリア戦記』を第 1 巻冒頭から読み進めていく。当作品は彼が 10 年近くにわたりガリアで繰り広げた征服戦争の記録であり、またローマ市民にあてた報告書でもある。簡潔にして明解な構造を持つカエサルの文章は初級の学習を終えた受講生諸君にとって最適な教材となるであろう。ラテン語散文の精華を存分に味わってほしい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30303	S	古典語初級（サンスクリット語）I	梶原 三恵子	アジア・日本研究コース	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		サンスクリット初級文法 (I)				
授業の目標概要		古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。S セメスターは、文法の前半部（音論、名詞・形容詞の変化）を扱う。 サンスクリット語は古代・中世インドで宗教聖典および各分野の学術書に用いられた古典語である。仏教などを通してアジアの諸地域の文化にも少なからぬ影響を与えた。また、印欧比較言語学分野においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。 授業は文法の解説と練習問題による				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30524	S	古典日本語	田村 隆	国文・漢文学	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		『源氏物語』のことば				
授業の目標概要		「古典日本語」を学ぶテキストとして『源氏物語』を取り上げ、主に冒頭の桐壺巻を講読する。高校の教科書で学んだ場面もあると思うが、たとえば「いづれの御時にか」をどう訳すかという点のみならず、『源氏物語』はなぜこの表現で語り出されるのか、といった問題も含めてさまざまな角度から『源氏物語』のことばについて考えてゆきたい。『土佐日記』や『伊勢物語』などの先行諸作品との関係や、漢籍特に白楽天の『長恨歌』の影響についても古典日本語の観点から考察する。 本講義では、2017 年の 7 月から半世紀ぶりの改版が始まり昨年 9 月に				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30798	S	古典中国語	田口 一郎	国文・漢文学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		古典中国語文法（漢文法）の基礎				
授業の目標概要		中国古典語（漢文）読解に必要な語法理解と読解力を養成する。 テキスト進度分の漢文を，1.きちんと文型を把握した上で，2.助字を正しく理解し，3.現代日本語訳できるようにします。				

総合科目　A（思想・芸術）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30351	S	映画論	竹峰 義和	表象文化論コース	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	映画史講義――初期映画からジブリまで					
授業の目標概要	19 世紀末から現代にかけての映画の歴史をたどるなかで、複製テクノロジーに基づく表象メディアとしての映画がもつ社会的機能について多面的に考察する。とりわけ、映画黎明期から 1910 年代までのあいだに製作された初期映画、および 1920～30 年代のヨーロッパ映画とハリウッド映画を主な素材として、映画を見るという視覚経験の制度性と政治性に迫る。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30350	S	演劇論II	河合 祥一郎	表象文化論コース	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	『ハムレット』論					
授業の目標概要	ローレンス・オリヴィエ、メル・ギブソン、ケネス・ブラナーらの映画『ハムレット』を比較して、ハムレット表象の問題を視野に入れつつ、『ハムレット』という作品の核心に迫る。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31099	S	音楽論	長木 誠司	表象文化論コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	オペラ 愛の壊れるとき					
授業の目標概要	教科書に指定した拙著の章立てに従って、さまざまなオペラのレトリックを実際の映像を追いながら検討していく。複数の演出映像を用いて、要所要所のドラマトゥルギーのあり方を比較しながら、オペラ上演の現在のあり方、その可能性を考えていく。高級芸術か一部の富裕層の趣味のように考えられているオペラが、その実誰にとっても切実な問題をテーマとする、真摯にしてかつ敷居のけっして高くない演劇であることを実感してもらうことが肝要。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31422	S	外国文学	日向 太郎	文学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ソポクレスを読む					
授業の目標概要	ヨーロッパ文化の源流をなす古代ギリシアの芸能のなかでも、とりわけ重要な地位を占めるギリシア悲劇について、基本的な理解を得ることを目標とする。ギリシア悲劇の作家としては、紀元前 5 世紀にアテナイで活躍したアイスキュロス、ソポクレス、エウリピデスが良く知られているが、今回はソポクレスの作品に焦点を当てる。古くから、ギリシア語圏において広い範囲で口演されて来たと思われるホメロス叙事詩、さらにヘシオドス作品など、ソポクレスに先行する詩人の作品、そして作品の題材となる神話も随時紹介しながら、西洋古典に親しむきっかけを得ることができればと考えている。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31421	S	外国文学	塩塚 秀一郎	文学部	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　フランス文学のエチュード

授業の目標概要

この授業は、文学部・フランス文学研究室の教員がそれぞれ専門とする時代・作家・作品を取り上げて講義し、フランス文学の全貌を解説すると同時に、文学研究の方法と意義についても教養学部前期課程のみなさんにわかりやすく解き明かすことを目的としています。

人文科学は人間の探求を目的としています。その一分野としての文学（および文学研究）は、可能性としての人間を考察する点に特徴があります。それ以前に存在しなかった人物像が、忽然とある作品に出現して文学史に刻印され、人間の幅と奥行きを拡大し、時として後年その人物像を模した人間が現実の世界の中に生まれる（たとえば、カミュの『異邦人』）ことからわかるように、歴史的にどこにも見当たらない人間類型を探ることこそ、文学（および文学研究）がもっとも得意とする発想法です。哲学が現実の人間のあり方の原理を探り、歴史学が過去における人間のあり方を探るとしたら、文学は人間のあり方の持つ可能性を、知識や過去の事実の枠組みを越えて探求するのです。言い換えれば、現実にはいまだありえない「想定外」の人間像を探求する。そしてフランス文学こそ、今まで、もっともその試みに務めてきた文学であるように思われます。

フランス文学は時代順にいって人文主義、古典主義、啓蒙主義、ロマン主義、自然主義、シュルレアリスム、実存主義という文芸思潮をたどり、しかもそのすべてにおいて時代の尖端をゆく作品を産み出してきました。一国文学でありながらヨーロッパ世界の精神史の流れを先取り、ないしリードしたといってよく、これをたどることによって、副産物として、世界文学への展望を容易に把握することもできます。現況はより複雑な様相を呈していて、哲学、社会学、人類学などの他の領域とこれまで以上に深く関わる形で文学が営まれていますが、まず基本を学ぶことで現在の状況への認識をさらに深めることが期待できます。

授業では、それぞれの文芸思潮のなかから、いくつかの代表的な作品を選び、翻訳の抜粋を読解することによって、その作品の魅力を説き明かす形で進められます。時代順にはこだわらず、担当教師がもっともおもしろいと思う作品を取りあげることにします。授業を手がかりに、気になる本があったらぜひその翻訳全体を読み通すことを希望します。文学の魅力と可能性を再発見する機会となることを目指します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31420	S	外国文学	新井 潤美	文学部	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　１９世紀英国の小説を通してイギリスの文化に触れる

授業の目標概要

19 世紀イギリスのいくつかの小説を、その歴史的、文化的な時代背景を解説しながら紹介することによって、文学テクストを分析し、解釈することを学んでもらう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31097	S	記号論理学I（文科生）	藤川 直也	哲学・科学史	金 2	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　記号論理学の基本を学ぶ。

授業の目標概要

古典命題論理、いくつかの多値命題論理、様相命題論理、古典一階述語論理について、その統語論、意味論、タブローを習得する。上記の論理のそれぞれについて、モデルを用いた妥当性の証明、反例モデルの構成、タブローによる証明ができるようになることを目標とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30025	S	記号論理学I（理科生）	岡本 賢吾	哲学・科学史	月 1	1 年 理科 2 年 理科

講義題目　記号論理入門 － 命題論理・一階述語論理の証明論・意味論と、一階理論の代表的諸事例

授業の目標概要

記号論理の証明系として現在最も標準的となっている、G・ゲンツェンが開発した「自然演繹（NJ／NK）」を中心に、同じくゲンツェンが開発した「シークエント計算（LJ／LK）」も適宜織り交ぜながら、実際の証明の構成を学ぶ。命題論理、一階述語論理と順を追って検討し,正規化・健全性・完全性など、メタ論理の基本的話題を学んだ後、実際的な数学的応用（公理的集合論，順序集合論の初歩など）をいくつか見た上で、形式的自然数論（ハイティング算術／ペアノ算術）に進み、数学的帰納法を含む証明構成を詳しく分析する。論理学、哲学、計算機科学に関心のある人、またより一般的に、数学の論理的構造をよく理解したい人にとって、様々に有用な事項や興味ある情報が提供されるだろう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31247	S	記号論理学I（理科生）	齋藤 浩文	哲学・科学史	金 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目	現代形式論理学入門					
授業の目標概要	現代形式論理学の基礎としての命題論理・述語論理について、自然演繹の体系を通して学び、証明の方法に習熟するとともに、意味論の意義についても理解することを目指す。時間が許せば、若干の進んだ話題にも触れる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31781	S	経済思想史	高見 典和	経済・統計	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	経済社会に対する理解の変遷					
授業の目標概要	経済や社会がこれまでどのように論じられてきたかについて概説します。アダム・スミスやケインズといった経済学者の名前は，ほかの経済学の講義でも言及されますが，より詳細に，過去の著名な思想家の人物像や学説を紹介します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30254	S	言語応用論	加藤 恒昭	言語情報科学専攻	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	言語とコンピュータ					
授業の目標概要	言語（言葉）は，人間間のコミュニケーションの主たる手段であり，様々な知識を記述・記録するためにも用いられる．このような重要性のため，言語によるコミュニケーションや知識の活用を加速する目的でコンピュータを用いる自然言語処理の研究開発も盛んで，Web 検索や機械翻訳などが日常的に利用されている．本講義では，このような言語を，科学する立場から眺めていくとともに，そのような言語の科学を応用した自然言語処理技術の仕組みを学んでいく．言語学と言語に関する情報処理のトピックをバランスよく配置し，分野を超えた広い視野で言語を考えることを目指す．言語学，情報処理，いずれの知識も前提としない，むしろそれらに初めて接する初学者を主な受講者とした内容とする，					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31096	S	言語構造論	大関 洋平	言語情報科学専攻	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	言語の情報科学					
授業の目標概要	言語は、人間や機械により処理される一種の「情報」と考えることが出来る。本授業は、言語の情報処理である自然言語処理からアプローチする新しい言語学入門である。特に、音韻、形態、統語、意味、神経を対象として、人間の言語（言語学）と機械の言語（自然言語処理）の観点から概観する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31775	S	言語態理論	田尻 芳樹	言語情報科学専攻	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	戦後の女性作家を読む					
授業の目標概要	この授業では、戦後の女性作家の小説を読みます。一回の授業に一人の作家の代表作を読んでいき、戦後の文学において女性がどんな視点でどんな問題を提起したのかを探ります。最初は林芙美子、佐多稲子、幸田文、円地文子ら古典的な作家を読み、ある程度の段階で受講者の希望も入れながらより新しい作家までカヴァーする予定です。普通戦後文学といえば、戦後派、第三の新人、大江健三郎など男性作家ばかりが注目されますが、この授業ではあえて女性作家だけに焦点を合わせて戦後日本の問題を考えます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31423	S	言語文化論	長屋 尚典	文学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		言語の多様性から考える言語学 世界には 6000 から 7000 ほどの言語が存在すると言われるが、その構造は言語ごとに異なり、多様である。たとえば、「花子さんが (S) みかんを (O) 食べた (V)」という内容を伝えるために、日本語のように SOV 語順をとる言語もあれば、英語のように SVO 語順をとる言語も存在する。さらには VSO、VOS、OSV、OVS といった語順も存在し、多様である。しかし、完全に不規則というわけでもない。実は SOV 言語と SVO 言語だけで世界の言語の 80% 以上を占めており、人間の言語に「S が V に先行する」「V と O が隣接する」という傾向があることが分かっている。このような言語の特徴は、世界の言語を幅広く観察することによって初めて知ることができる。 このような言語の多様性の問題は、言語を科学的に探求する学問である言語学 linguistics の研究課題のひとつであるが、この授業では、この言語の多様性に注目しながら、言語学という学問体系の導入をおこなう。世界のさまざまな言語の例をとりあげ、世界の言語の驚くべき多様性について学びながら、言語学とはどういう問題に取り組んでいるのかを議論する。			

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30255	S	社会思想史	森 政稔	社会・社会思想史	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		啓蒙と革命の時代の社会思想:時間と空間の視点から この社会思想史の授業では、ヨーロッパの近代形成期を主対象として、これらが、先立つ古代および中世の思想に対するいかなる関係において成立したのかを、時間と空間の視点を中心に解明することを主目的とする。 昨年度は 16 世紀前半のルネサンスや宗教改革の後、主権国家の本格的な形成が始まり、それを巡ってボダンやモナルコマキらの論争があり、そしてイングランド革命期にはホッブズやロックら契約説が形成された時期を扱った。今年度はこれを受けて、前半ではその後の 18 世紀西欧における啓蒙思想の展開と文明化の諸思想、後半では 18 世紀末のアメリカとフランスでの革命という、思想史的にも最重要な事件を扱う予定である。この時代は比較的短い期間に、近代社会の骨格を形成する最重要の理論が形成され実践が行われた。これらはいずれも重要で現代に及ぼす影響も大きいが、対立する要素も多く含まれており、従来の進歩主義的な歴史観を相対化し、時間と空間の意識の変容などを取り込んで、どのような解釈枠組みを提示できるかを課題としたい。			

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31428	S	東洋思想史	横手 裕	文学部	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国思想入門 中国では伝統的に、儒教・道教・仏教が三教すなわち「三つの教え」の体系として並存し、それぞれが自らの思想教説を展開させつつ相互に影響を与えあい、中国思想の歴史を形成した。 この中国思想の歴史と内容について、最も重要なポイントを取り上げつつわかりやすく概説する。			

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31427	S	比較思想	西村 明	文学部	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		宗教の世界／宗教と世界 宗教と呼ばれる領域には、さまざまな人や集団、思想や実践、物や場所やことがらが、種々雑多に含まれている。しかし日常的にそうした宗教的事象に触れる機会は限られている。「宗教はあやしい」とは言うが、では実際、私たちは宗教についてどれほどのことを知っているのだろうか？ また、「日本人は無宗教だ」とよく言われるが、世界を見渡せば日本社会ほど多彩な宗教的事象にあふれる社会も珍しい。「無宗教」との自覚も自ら選択した結果というよりも、歴史的経緯として構築された側面も強い。そもそも、「宗教」という言葉自体、よくよく考えてみればみるほどはっきりとした像を結ばなくなってしまう。 この授業では、宗教をめぐるさまざまなトピックを紹介しながら、「宗教」について共に考えていきたい。そうした作業を通じて宗教を学問的にとらえるための基礎力を養う。			

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31425	S	比較思想	菊地 達也	文学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　イスラム教の形成

授業の目標概要　近年、中東における地域紛争がシーア派対スンナ派という宗派対立の枠組みで語られるケースが増えている。イランを中心とする諸国家とサウディアラビアなどの国々との間の国家対立に宗派の問題が重ね合わせられることもある。このような単純化された枠組みが信用に値するものでないことはすぐに分かるだろうが、シーア派とスンナ派の宗教上の争点は何か、その争点が政治とどのように関わり合っているのかについてはそれほど知られているわけではない。
本授業では、ユダヤ教、キリスト教という同系統の宗教と比較しながら、預言者ムハンマド没後に生まれた幾つかの争点を巡る思想史を追い、それらの争点がシーア派、スンナ派といった宗派の形成にどのように関わっていったのかを分析し、ユダヤ教、キリスト教と一線を画すイスラム教思想史の特徴を明らかにする。その上で最終的には、最初期のイスラム思想と現代のそれとの異同を明確にすることを通じて、現在のイスラム教イメージを相対化する視座を獲得してもらいたい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31426	S	比較思想	蓑輪 顕量	文学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　心と身体と思想

授業の目標概要　南アジア・東アジア世界における心、身体の捉え方と、それらと関連して展開する思想を比較思想の観点から明らかにする。インド・中国には人間の心を見つめる伝統が存在した。インドはヨーガに始まり、仏教にはサティパッターナ念処と呼ばれる心の観察があった。中国では、身体を流れる気と関連づけられて心が見つめられた。思想と身体的な実践の結びつきを考えながら、人間が自己と世界の両者をどのように捉えてきたのかを探求する。また、それは現代の我々が直面する、苦悩などの様々な問題を解決する糸口に繋がる。人間の心と体とを南・東アジアの人々がどう捉え、そこからどのような思想を展開させたかを理解できるようになる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30352	S	比較文化論	佐藤 光	比較文学比較文化コース	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　比較文化研究の実例紹介

授業の目標概要　この授業では、担当教員の研究をもとに、比較文化研究の実例を紹介します。大きな問いとして、文化とは何か、他者とは誰か、文化を比較することの意義は何か、を出しておきます。この授業で提供する話題を手掛かりに、皆さん各自でお考え下さい。各回一話完結です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30799	S	比較文化論	前島 志保	比較文学比較文化コース	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　近代日本における出版・読書文化の大衆化

授業の目標概要　近代日本における出版・読書文化の大衆化の諸相を、定期刊行物（特に雑誌）の展開に焦点を当て、比較出版史的な観点から概観する。定期刊行物に書かれた（描かれた）言説・表象を分析する前に、まず、「言説・表象を盛る器」（メディア）としての定期刊行物自体に注目し、他メディアとの関連にも目配りしつつ、その文章表現・視覚表現の変容が、記事表象と読者、読者・編集部・専門寄稿家の関係性をどのように変えたのか考えていく。様々な研究の資料として扱われることが多い新聞・雑誌を、文化的産物としてとらえなおすことを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31424	S	美術論	高岸 輝	文学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	美術史学入門					
授業の目標概要	美術史学の入門として、日本美術史、東洋美術史、西洋美術史の各分野から、計 5 名の教員がオムニバス形式で講義を行う。芸術家や美術作品の調査、様式や図像、文字資料を使った検討、鑑定や作品の評価、美術館・博物館における美術展示の実際など、美術史学にかかわる様々な研究方法を概説するとともに、日本・東洋・西洋の古代から現代にいたる主要な研究トピックや国内外での研究動向を紹介する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31759	S	美術論	三浦 篤	表象文化論コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	西洋絵画の見方（伝統絵画篇）					
授業の目標概要	現代を生きる私たち日本人が、主体的に西洋絵画に接するために必要な構えやこつ、実践的な見方を学ぶための講義です。対象はルネサンスから 18 世紀までの伝統的な西洋絵画とし、神話画、宗教画、寓意画、肖像画、風景画、風俗画、静物画等々、主題ジャンル別に説明を加えます。知識だけではなく、絵と対話する姿勢や視点を身につけることを重視しているので、講義は画像を見せて、作品を具体的に分析しつつ行うつもりです。美術の好きな人も、美術に近づきたい人も、美術を少しはのぞいて見たい人も、 1 枚の絵のつぶやきに耳を傾け、背後の文化にも触れてみましょう。きっと新しい世界が広がるはずです。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31098	S	表象文化論	乗松 亨平	表象文化論コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	20 世紀以降の思想・芸術と宇宙（「ロシア宇宙主義」を中心に）					
授業の目標概要	人間は古来、宇宙について想像をめぐらせ、それをさまざまなかたちで表現してきた。20 世紀には宇宙はたんなる想像の対象ではなく、現実の開発の舞台となったが、その根底にも、宇宙という無限の空間に対する古来の衝迫があるといえる。本授業では、「ロシア宇宙主義」と呼ばれる、20 世紀ロシアの思想・芸術潮流を中心に、無限をめぐる想像力の展開をたどる。人間の不死化という時間的無限の希求と、宇宙進出という空間的無限の希求とが、ロシア宇宙主義の軸であり、その影はロシアと宇宙開発を争ったアメリカにも認められる。人間の有限性を克服しようとする、夢想的で宗教的ともいえる志向が、科学的理性とどのように交錯したのかを考えたい。					

総合科目　B（国際・地域）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30357	S	近現代史	藤井 豪	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		朝鮮近現代史				
授業の目標概要		開港から植民地化と独裁を経て民主化に至るまでの（南北）朝鮮の近現代史を政治史、社会史などを中心に学ぶことで、現在の南北朝鮮を理解するための基礎を作ることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31102	S	近現代史	山口 輝臣	歴史学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		連続講義：思想史から考える近代日本 『思想史講義【明治篇】』を作る				
授業の目標概要		思想史というものがある。思想についての歴史のことで、分かったような、分からぬようなものでもある。だがそれでも、すぐれた思想史は並々ならぬ魅力を放ち、歴史の見方を変える力を持つ。 そんな思想史によって近代日本の歴史を見直してみてはどうだろうか？ それも、なんとか主義が順番に出てくるような流行思想の歴史ではなく、その時代の人びとの頭の中に入り込んでいくような思想史によってできないだろうか？ そうした発想のもと、授業担当者は、現在多くの友人たちと、『思想史講義』という 4 巻本からなるシリーズの刊行を現在計画している。 そこでこの授業では、そのうち主として明治に関わる部分の執筆予定者をゲストとしてお招きし、ゲストによる講義とそれに対する質疑を通じて、思想史研究の最前線を体感してもらうことにした。第一線で活躍する個性的な歴史家に対し、直に質問できるまたとない貴重な機会であり、質疑の時間をたっぷりとる予定である。是非ともこの授業を活用して、研究のおもしろさを味わってもらいたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30027	S	現代国際社会論	石井 梨紗子	国際関係	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		国際協力論序説				
授業の目標概要		本講義は、途上国の「開発」に向けた非軍事的支援の総称としての「国際協力」（International Development Cooperation）について、その担い手となる主体と活動の内容を多面的に理解することを目的としている。具体的には、各国政府による政府開発援助（ODA）を始めとした二国間支援、国際機関による多国間支援、非政府組織（NGO）を通じた支援、さらに企業による支援について、それぞれの特徴を概観し、比較検討する。 国際協力活動への評価はとかく二極化しがちであるが、本講義を通じて「国際協力」を捉える尺度の多様性を学んで欲しい。講義の中では、講師の開発コンサルタントとしての経験に基づくプロジェクト事例等も紹介していく予定である。 国際政治イシューとしての「開発」や「援助」に関心を持つ学生の他、途上国の社会・文化全般に関心を持つ学生の参加も歓迎する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30800	S	現代国際社会論	阪本 拓人	国際関係	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		現代アフリカの政治と国際関係				
授業の目標概要		【概要】 現代のサハラ以南アフリカの政治や国際関係について多角的に学ぶ概説的授業である。アフリカの歴史や風土に関する導入ののち、各回の講義で、国家、紛争、開発、民主主義、グローバル化、人間の安全保障といった政治学や国際関係論の基本的な概念やテーマを取り上げ、これらを軸に、独立から今日に至るアフリカの国家と国際関係の特徴や変容を、アフリカ内の多様性にも留意しながら、コンパクトに解説していく。 【目標】 アフリカは、近年世界の中で急速に重要性を増す地域のひとつである。この講義では、アフリカが直面してきた多様な課題や問題を取り上げることで、学生がこの地域を多角的に理解するための見取り図を構築していくきっかけを提供したい。また、国家や民主主義、グロー バル化といった政治学や国際関係論の基礎的な概念をアフリカの文脈において具体化・操作化することで、アフリカのみならず、政治や国際関係全般に対する見方も豊かにしてもらいたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30358	S	現代文化人類学	津田 浩司	文化人類学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フィールドワーク論 何某かが生起している現場に身を置きつつデータを収集し、そこから新たな知見を得て思考を鍛えていくことの重要性は、今や人文学・社会科学・自然科学の多くの分野で指摘されている。文化人類学は、まさにそうした学的営みとしてのフィールドワークを方法論の支柱に掲げてきた学問分野である。 しかしながら、他の学問分野でフィールドワークの重要性が強調されるようになったのとは裏腹に、1980 年代以降のいわゆる「ライティング・カルチャー（Writing Culture)」ショックによって、文化人類学分野においては、エスノグラフィ（民族誌）を書くこと、およびその前提としての(かつそれと不可分な営みとしての)フィールドワークをすることに、より反省的であることが求められるようになった。とはいえ、エスノグラフィを書くこともフィールドワークをすることも、人類学の主要な方法論であることには変わらない。 本授業では、フィールドワークに関する基本的な論点を整理することを通して、改めて人類学的フィールドワークとは何かを初歩から考えたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30354	S	国際関係史	川島 真	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		東アジアの国際関係史 19 世紀から 21 世紀に至る東アジアの国際関係史について講義をおこなう。主に中国外交史、中国外交について述べるが、適宜、日本や台湾の視点を取り入れ、朝鮮半島、東南アジアも視野に入れる。また、適宜、中国、台湾、日中、日台関係などについての現状分析も行う。現代から過去を振り返るのではなく、個々の時代の背景と政策選択について考察し、歴史的な連続性、変化・変容を見出す。高等学校では制度的に世界史必修ではあっても、十分になされていないこと、また理系の学生も参加することを考慮し、基礎的な事項に触れながら講義することをできる限り心がける。この講義を受講することにより、東アジア国際関係史の基本的な内容とともに、その歴史的な継続性と変容、さらに現在起きている東アジアの諸問題の原因や背景について理解することができるようになることを期待したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30353	S	国際関係論	鶴見 太郎	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		国際社会におけるミクロとマクロ 国際関係論の対象は国際社会（地球社会）である。地球大の、あるいは広範な地域にわたる制度や勢力、経済、法、さらには文化や記憶がテーマになることが多く、議論のスケールは壮大である一方で、どこかつかみどころのない話に感じられることもある。人々が日常的に実感できるミクロな次元とそうしたマクロな次元はいかに関わるのか。例えば、誰も望まない戦争や貧困はなぜ発生し、誰もがかかわるはずの環境問題に多くの政府が後ろ向きである一方で、それなりに環境保護の流れが生まれるのはなぜか。本講義では、国際社会を複数の次元や視点から分析し、それら相互のかかわりを見出していく視座の涵養を目指す。 ※原則として対面だが、初回・第 2 回については学部の方針の通り。また、入国できなかったり健康上の不安があったりする場合などは、オンデマンド等で別途対応するので遠慮なく相談されたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31100	S	国際関係論	湯川 拓	国際関係	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		国際関係について理論的に考える 国際関係論（国際政治学）の入門的な講義であり、国際政治現象を分析的に理解するための「レンズ」あるいは「ものの見方」を得ることを目的とする。そのために、現在の国際社会の来歴を学んだ上で（歴史)、国際関係論という学問における重要概念とその基本的操作について理解する（理論)。 入門的講義ということもあり、国際関係における様々な問題を広範に取り上げる予定である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31429	S	世界史論	島田 竜登	文学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　近代世界とアジア・日本

授業の目標概要　本講義では、16 世紀以降の近代世界の諸相を検討しながら、グローバル化時代の現代に生きるわれわれにとって、世界史とは何かということを考える。15 世紀末から、アメリカ大陸を含めた世界の一体化が急速に進展する。モノや人、情報がグローバルなスケールで移動し、人々の生活が大きく変化し、現在のわれわれの住む社会を生み出していったのである。本講義は近年盛んとなっているグローバル・ヒストリーの立場から近代世界を考察し、その中でグローバル・ヒストリーだけでなく、東洋史や西洋史、日本史といった歴史学の諸分野の意義を考えてみたい。

本講義は、いずれ文学部に進学し、東洋史、西洋史、日本史といった歴史研究を志す学生にはもちろん、社会科学や自然科学を専門とするも、とくに長期的な視点に立って現代を考えようとすることに関心のある学生にも有意義なものとなるであろう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31103	S	世界史論	大塚 修	歴史学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　「史上初の世界史書」の世界史：ラシード・アッディーンの『集史』とその受容の歴史

授業の目標概要　この講義では、一つの歴史書を題材に、モンゴル時代以降の世界史を読み解いていく。その歴史書とは、「西のモンゴル帝国」イルハーン朝の宰相ラシード・アッディーン（1318 没）がペルシア語で著した『集史』である。『集史』は、史上初の世界史書、さらには、世界史上の三大史書の一つとまで評価され、モンゴル時代の東西交流を象徴するものとして、広く知られてきた。この講義では、この歴史書の受容の歴史をたどることで、このような評価が作り出されるに至る経緯について確認していく。講義の前半部では、その編纂過程と内容を中心に、14 世紀西アジアを生きたイスラーム教徒の歴史家が世界をどのようにとらえていたのかについて考察する。講義の後半部では、後世に数多く作られた『集史』の諸写本やそれらに挿入された豪華な写本絵画が、モンゴル帝国崩壊後に勃興したイスラーム諸王朝の支配者によってどのように利用されてきたのかについて概観することで、この歴史書が歴史的に担ってきた役割について考察する。これらの作業を通じて、歴史書とは何か、さらには、歴史とは何か、という問題について考えていきたい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31248	S	世界史論	妹尾 達彦	歴史学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　グローバル・ヒストリーglobal history。

本講義は、21 世紀に入って急速に進展しているグローバル・ヒストリーの研究動向をふまえ、世界史の大きな流れを、できるだけ系統的に講じるものです。今日におけるグローバル・ヒストリーへの注目度の高さに比べると、日本の大学におけるグローバル・ヒストリーの授業は、現時点ではまだ決して多くはありません。その欠落を埋める役割を、本講義が少しでも果たせたら、と願っています。

グローバル・ヒストリーは、世界史 world history や人類史 human hist

授業の目標概要　本授業の目的は、世界史の基礎知識を系統的に習得することにあります。そのために、世界史の大きな流れを、「交通」と「都市」と「環境」を鍵概念に用いることで体系的に把握できるように構成しています。教員が長年にわたって調査をしてきました世界各地の都市の写真も、授業の随所に取り入れ、映像資料や絵画、音楽を活用して視覚的・聴覚的に歴史の流れを理解できるように試みます。

世界史の知識は、現在の私たちがおかれている社会状況を把握し、日本や東アジアの歴史を客観的に眺め、わたしたち人類社会の未来を予測するために不可欠です。もちろん、個人一人の力で世界史のすべてを把握することなど、到底できるものではありません。可能なことは、世界史の大きな流れをつかむことで、人類の営みの共通性を認識し、多様な世界の細部に自分独自の意味を見出すことです。21 世紀の世界を生き抜くために必要とされる歴史の基礎知識を習得すること、これが本授業の目的であり到達目標です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30802	S	西洋古典学	筒井 賢治	地域文化研究専攻	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ギリシア・ローマ文学の概要

授業の目標概要　ヨーロッパ系文化の基礎をなすギリシア・ローマ古典文学を紹介する。
ホメロスとウェルギリウスを中心とし、適宜他の作家・作品にも触れる。
授業資料は ITC-LMS もしくはプリントで配布する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31101	S	地域文化論I	藤崎 衛	地域文化研究専攻	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　世界史における「地域」と「地域史」
授業の目標概要　「地域」は伸縮自在な概念である。国家より小さい範囲を意味することもあれば、国家を超えた広がりを示すこともある。この講義では、国民国家の視点で語られがちな世界史を「地域」という視点を導入することにより相対化し、柔軟な歴史理解に到達することをめざす。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30671	S	東洋古典学	佐藤 浩一	国文・漢文学	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国古典に親しむ
授業の目標概要　中国古典文学を概説します。
日本のことばと文化は、中国と深い関係で結ばれてきました。本講義は、その深く関わってきた中国を、古典という観点から解きほぐします。また併せて、原文の読解を通じて、漢文読解の能力を皆さんがよりいっそう上達させる、そうした機会に供することも目的とします。
いったい日本人は中国の古典を、「訓読」という方途を通じて受容してきました。この過程において、日本語の文体は純然たる大和ことばだけでなく、中国古典語（漢文）とも深く結びつき、今日に至っています。
本講義は、この結びつきを問題とします。日本人の心に根を下ろしてきた中国古典を、今に生きる私たちもたどってゆきましょう。その先には、これまで気付かなかった日本と中国の新しい姿が見えてくるかもしれません。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30098	S 1	日本語日本文学I（理科生）	日置 貴之	国文・漢文学	月 2	1 年 理科 2 年 理科

講義題目　皿屋敷の怪談を読む
授業の目標概要　近世から近代にわたって小説・演劇・落語等のジャンルでさまざまな作品を生み出した「皿屋敷」の怪談について、文字資料だけでなく、映像・音声資料にも触れながら考察していくことにより、日本文化や、多角的な言語表現のあり方についての知識を身につける。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30356	S	日本語日本文学II	沖本 幸子	国文・漢文学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	閻魔大王の狂言－中世ショート喜劇の世界 日本の伝統芸能の中から、中世のショート喜劇「狂言」の世界を、閻魔大王を主題とした曲に目を向け、映像鑑賞も交えてひもといてゆく。 「閻魔大王」と聞いてどんなイメージを抱くだろう？地獄の主として人々を裁く恐ろしい存在、といったところだろうか？しかし、狂言の中の閻魔大王は、まったく違う。「(仏教のおかげで) 最近は人々が利口になって、地獄に落ちてこない。地獄の貧窮もひどいので、亡者を地獄に連れて帰ろう」と、亡者をスカウトに出て、逆に、勇壮な武将や、ばくち打ちにやり込められてしまったり、昔の恋人、地蔵菩薩からの頼みを断りきれず、亡者を極楽へと案内する羽目におちいったり…。 仏教では、地獄の恐ろしさを強調し、絵画化し、芸能化して人々への布教を試みていたのだが、一方、狂言や説話の世界では、地獄や閻魔大王を笑い飛ばすラディカルな面も持っていた。そうした人々の地獄観にも分け入りながら、「笑い」の役割、狂言という喜劇の魅力に迫りたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30670	S	日本文化論I	黒川 真理恵	国文・漢文学	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	日本伝統音楽における楽譜の諸相 日本の伝統音楽では、古代から現代に至るまで、様々な楽譜が用いられてきた。授業の前半では、各時代における楽譜を概説するとともに、近代における三味線音楽に焦点を当て、伝承と唱歌（しょうが）、楽譜の特徴について学ぶ。授業の後半では、プッチーニ作曲歌劇《蝶々夫人》（初演 1904 年）を取り上げ、日本音楽の引用と、出典と考えられる楽譜について学ぶ。日本音楽における楽譜の位置付けを把握し、何が伝えられ、伝えられなかったのか、理解することを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30801	S	日本文化論I	康 潤伊	国文・漢文学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	芥川賞選評から「日本文学」の枠組みを批判的に考察する この講義では、芥川賞の選評を批判的に検討したうえで、選評の対象となっているテクストの読解も一部行います。扱う小説テクストは、時代を戦後にしぼったうえで、従来の「日本文学」から逸脱するようなものという基準で選んでいます。受賞作だけではなく候補作（つまりは落選作）も扱います。 日本で最も有名な文学賞である芥川賞は、選考委員の討議のもとに決定されます。選考会後、選評が発表されますが、そこには「日本文学とは何か」といった、委員たちの文学観がしばしばにじみ出ています。いくつかのテーマに沿って候補作・受賞作を読み比べることで、「日本文学」の境界線／輪郭線―つまり、何が「日本文学」の範疇に入るものとされ、何がされないのかを批判的に探っていきます。 到達目標は、以下の通りです。 （1）文学作品の周辺情報から問題を発見し、文学テクストの鑑賞や読解に活かせるようになること。 （2）権威を相対化し、批判的に検討できる視点を養うこと。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30355	S	比較地域史	飯田 巳貴	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　商業の歴史からみる近世の東地中海域と西アジア

授業の目標概要
＜授業の目標＞
古代から近世の東地中海域および西アジアの交易について学び、自然条件・政治・慣習など様々な要素と商業の相互作用について考察することで、総合的な視点で社会を見る目を養うことができるようになる。
＜授業の概要＞
アジア、アフリカ、ヨーロッパの三大陸に囲まれた地中海域は、周辺の陸地とともに、古代から、モノ・ヒト・かね・情報が活発に行きかう場所であり、オリエント、ギリシア、ラテン、アラブ、ユダヤ教、キリスト教、イスラームなど多様な文化や社会が互いに影響しあって重層的な世界が形成されてきました。商業は個人や集団、地域間の「差異」を前提とすることから、必然的に外部の人間との結びつきと共存が不可欠です。地中海世界でも、異なる背景を持ち文化・社会・国家などの境界を超えて動く商人が交流の担い手となり、モノやヒトの往来によって文化や技術も伝播しました。16 世紀以降、世界商業の成立に伴い新たな商業圏が誕生し、プレーヤーが増加しますが、地中海域もまたそれらと密接に関わりながら独自の商業圏を形成しました。オスマン帝国の領土拡大、喜望峰ルートの開拓、世界商業の誕生、北西欧諸国の地中海交易への本格的参入などは、地中海商業にどのような影響を与えたのでしょうか。この授業では、商業、特に繊維製品などモノの交流・交易に関する歴史を通じて、異文化の共存と対立、マイノリティーの活動、海賊集団、ファッションの変遷など、近世の東地中海地域でみられた交流の諸相について考えます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30836	S	文化人類学I	浜田 明範	文化人類学	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　文化人類学入門ー文化という発想を知る

授業の目標概要
文化人類学は、日本を含めた世界各地の様々な場所で暮らす人びとの生のあり方を記述・分析することで、私たちが「当たり前」と思っていることを再検討し、ときにそれとは異なる新しい発想を生み出す学問です。その際に、重要な基盤となってきたのは、比較という方法と文化という発想です。この授業では、比較の拠点となるような世界各地の事例を紹介しながら、文化という発想の有用性と欠点を学んでいきます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31174	S	平和構築論	宮下 大夢	地域文化研究専攻	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　平和構築の理論と実践

授業の目標概要
21 世紀の世界では武力紛争を起因とする深刻な人道危機や大規模な難民の発生が問題となっています。本授業では武力紛争の原因やその影響に関する基礎的な理解を深めます。そして、「人権」「民主主義」「人間の安全保障」「保護する責任」といった規範的概念をキーワードに、平和構築の理論と実践に関する知識を習得します。その上で、武力紛争の影響を受け、脆弱な立場に置かれている人々の「人間の安全保障」を実現するための方法について考察します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31104	S	民族文化論	塚原 伸治	文化人類学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　現代民俗学

授業の目標概要
民俗学と聞けば、古くさい文化について扱う学問、あるいは古いものを穿鑿する学問という印象があるかもしれない。しかし、実際の民俗学は近年大きな変化のただ中にあり、私たちが生きる現代社会や人びとの日常について探究する学問へと変貌しつつある。このような新しい民俗学の研究動向をここでは現代民俗学と呼んでおこう。
とはいえ、新しく生まれ変わりつつある民俗学も、これまでこの学問がたどってきた歴史の影響下にあることを忘れてはならない。そこで本講義では、あえて民俗学の最古の研究対象のひとつでもある祭り／祭礼をとりあげ、その現代的状況に触れながら、21 世紀における民俗学を構想する。民俗学の長年にわたる研究蓄積と近年の研究動向の間を往復することで、民俗学のものの見方についても適宜概説する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30256	S	歴史と文化	渡辺 美季	歴史学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		琉球王国と日本人 現在の沖縄県域には、かつて琉球という王国があった。この王国は、日本（本土）の人々にとってどのような存在だったのだろうか（＊）。地理的に日本の隣にあり、江戸時代には日本の支配下にあったことから、身近でよく知られた存在だったと考える人が多いかもしれない。しかし実際には「身近でよく知られた」とは相当異なる状況が展開していた。しかもその状況は「世界」情勢の歴史的展開と密接にリンクしていた。 本講義では、上記の「問い」（＊）を軸として、「日本人にとっての琉球」を史料を通じて多角的に検討する。これにより前近代の琉球・日本の接触・交流の実態、情報の在り方、他者／自己認識の様相、さらにはその背景となる「世界」情勢の歴史的展開に対する理解を深め、またそれらを通じて現在の諸地域や国家を相対化する視点を養うことを目指したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30803	S	歴史社会論	舘 葉月	歴史学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		第一次世界大戦と世界 第一次世界大戦（1914－1918）は、世界が巻き込まれた未曽有の規模の総力戦であり、各国・各地域の政治、社会、経済が大きく変容する契機となった。本講義では、各回のテーマに従い、前半で関係する史料の読解を行い、後半で解説を行う。さまざまな立場の国・集団・組織が戦時や戦後をどのように生きたかを、史料読解と解説を通じて考察し、大戦の世界史的インパクトを検討する。また、大戦をめぐるさまざまなテーマを通じて、歴史の見方、研究史の理解、史料の扱いに親しむ。				

総合科目　C（社会・制度）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30804	S	ジェンダー論	瀬地山 角	社会・社会思想史	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	セクシュアリティとジェンダーの社会学					
授業の目標概要	セクシュアリティとジェンダーについて、大学生として最低限知っておくべき知識を伝える講義です。 前半のセクシュアリティ編については、「下ネタの講義」という誤解、風評被害に悩まされていますが、きちんと履修した学生さんはそのような感想を決して持たないはずです。そういった愚かな反応がなぜ起きるのかも含めて、一貫した問題意識の下で「社会科学の立場から性を考える」とはどういうことなのかについて論じていきます。「本能」だと勘違いされている「性」を自然科学とは異なるアプローチで読み解きます。 ジェンダー編は、みなさんの人生設計そのものに関わります。この講義は東大全体で女性の履修者がもっとも多いもので、優秀な女子学生の未来が、男子学生のそれとどう関わりを持つのかについても、この講義を通じて、考えてもらいたいと思います。 新書を教科書として指定していますが、それに則って講義をするのではありません。これでカバーされるのは講義の 1〜2 回分です。講義で触れるいくつかの論点については、『ジェンダーとセクシュアリティで見る東アジア』の中でも言及しています。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30805	S	ジェンダー論【人文学】	飯田 麻結	表象文化論コース	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目						
授業の目標概要	本講義は、フェミニズム理論やクィア理論の歴史的な展開を下敷きに、ジェンダーやセクシュアリティ、身体への人文学的なアプローチを探究し、その上で様々な文化的事象を読み解くための多角的な視点を獲得することを目標とする。前半では主にフェミニズムの理論史の解説を行い、「インターセクショナリティ」といったキータームを紹介する。後半では具体的な事例を取り上げつつ、フェミニズム／クィア理論の現在における理論的動向を考察する。以上の基礎的な枠組みを踏まえ、学生は本講義を通じて得た知見を同時代的な議論へと敷衍する力を身に着けることが望ましい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31779	S	教育臨床心理学	石垣 琢麿	心理・教育学	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	臨床心理学概論					
授業の目標概要	臨床心理学は、多様な個々のクライエントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」と、それに基づく「臨床心理学の代表的な理論」と介入法、教育臨床心理学と教育支援についての理解を目的とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30359	S	教育臨床心理学	石川 亮太郎	心理・教育学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	臨床心理学概論					
授業の目標概要	臨床心理学は、多様な学派の理論をもとに、心理的援助を求めるクライエントの生活の質の向上をめざす学問である。臨床心理学を理解するためには、精神分析学、精神医学、認知行動科学、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、児童・思春期におこりやすい心理的問題や疾患を例にあげながら、臨床心理学の基礎となる理論や治療法について説明し、学生に臨床心理学の基本を理解してもらう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31250	S	教育臨床心理学	前田 基成	心理・教育学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		臨床心理学概論 近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31431	S	現代と法	白石 忠志	法学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代と法 法学部で開講されている法学の専門科目を担当する教員が、それぞれの専門分野の具体的課題を紹介します。質疑応答の時間には、担当教員の専門分野に関する一般的な質問なども受け付けます。 法学を学んだ経験が全くなくとも構いません。1 年生も 2 年生も同様に歓迎します。 詳細は Google Classroom で知らせます。Google Classroom の URL は ITC-LMS で知らせます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30806	S	現代教育論	佐々木 英和	心理・教育学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		教育・学校心理学 誰もが経験し、かつ言葉としても認知している「教育」。意識的であれ無自覚的であれ、この「教育なるもの」の定義を「教え育てること」として初期設定したり、「学校の中に教育が存在する」と決めつけてしまったりする人が多くないか。もしそうだとすれば、そこに根源的な間違いが潜んでおり、それにより教育実践の可能性が大きく制約されてしまうし、それどころか難題の発生源となることもある。実際、不登校問題など、学校教育の現場で「教師－児童・生徒・学生」関係がうまくいかない背景として、教育者なりの「善意」に基づいた「べき論」が被教育者に一方的に押しつけられるために生じる心理的抑圧の問題が存在しているケースも少なくない。いずれにせよ、教育に対する「思い入れ」の強さがそのまま「思い込み」の強化に転じてしまう愚から脱する必要がある。 上記のような立場を基本とする本講義は、教育的営為に関して、視野を拡大して把握し直せるとともに、柔軟かつ根本的な発想の転換が図れるような力量を涵養しながら、受講者なりの見識を醸成し創造的に論じられる力を育成することを主目的とする。そのための学習支援戦略は、主に以下の三つである。 第一に、大前提として、授業構成を「一般教養の一分野としての教育を学ぶ」という発想と「教育を切り口として教養概念を問い直す」という発想との二本柱で成り立たせ、両者を交差させながら展開する。これにより、表層的には学校に焦点化されがちな教育問題の背景には、家族・地域社会・組織等における人間関係や各種メディアの影響などが複雑に絡みあっており、深みと広がりのある心理社会的問題が存在していることを確認する。 第二に、「教育現場において生じる問題及びその背景」に効果的に迫っていくための手法として、教育問題を「教育の論じられ方の問題」として扱うことを出発点にして、教育学的知識や実践事例などを参照しながら、教育について多角的に検討することにより、受講者が抱えがちな諸々の固定観念を流動化させていく。特に、教育イメージを子どもや学校だけに限定しないとともに、それを「教える－教わる」関係から解放することにより開かれてくる様々な可能性および課題について考察していく。 第三に、「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」を考える際に、「教えこみ」から「学びあい」への転換こそが、教育実践として有効であることを、単なる知的理解としてだけでなく、体験的に味わってもらう。具体的には、受講者どうしでペアやグループを組み、お互いの話を傾聴しあう実習を行うことなどにより、親や子ども達、悩みを抱えた教師などに対する接し方を実感してもらい、コミュニケーション問題の解決に不可欠なスキルの基本を経験できるように配慮する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30837	S	現代教育論	橋本 和幸	心理・教育学	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	教育・学校心理学					
授業の目標概要	この授業では、「教育現場において生じる問題及びその背景」と「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」について、授業担当者の教育領域の心理臨床家（スクールカウンセラーや教育相談センター相談員）としての実践に基づいて説明する。具体的には、下記の内容を取り扱う。 1．教育現場において生じる問題及びその背景 いじめ、不登校、学業不振など。 2．教育現場における心理社会的課題及び必要な支援 教育現場における社会心理的課題：友人関係、発達障害、精神疾患など。 学校内の支援体制と方法：教育相談、スクールカウンセラーなど。 学校外の支援体制と方法：教育委員会、医療機関など。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31417	S	現代経済理論	渡辺 安虎	経済学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	経済学研究の現在を理解する					
授業の目標概要	経済学及び関連分野の第一線で研究に従事している研究者が、それぞれの分野における研究の現状をわかりやすく解説し、経済学や関連分野のおもしろさや有効性についての理解が広がることを目標とする。 「経済学？ (ﾟДﾟ)ﾊｧ?」「経済学 www」といった知的態度の学生の履修も強く歓迎する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31776	S	現代経済理論	鍾 非	経済・統計	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

経済分析の基礎：「数学的因果関係」である関数から始まるミクロ経済学・マクロ経済学・数理統計学

数学的因果関係は、y＝f(x)という「関数」（一昔前の数学者だと「函数」（例えば、高木貞治）、function）によって表される。函数における因果の「極限的つながり」を示す「微分」（Δx→0,Δy/Δx,僕に言わせれば,「極限の分数」）について、（数学特有の厳密さを無視し）優雅に語ってみよう。紙幅の制限に配慮し、ほとんどの東大生にとって常識である微分の定義式を海馬に深く刻みつつ（場所とらず＆面倒臭がり屋に最適）、「知的想像力」も少し働かそう（「ユーモア」という特製調味料を小さじ 1/4096）。恋人を喜ばせるため、誕生日にプレゼントを贈る者（なかんずく大学生）が多い。「恋人の嬉しさ（y：果）」と「プレゼントの値段（x：因）」の間の数学的因果関係（増加関数にある数量関係）に注目したい（ただし、プレゼントの値段と嬉しさの度合いはいずれも数値化可能と仮定）。おにぎり一個に比べ、ドイツの高級車・ベンツ一台（Δx1＝ベンツの値段－おにぎりの値段：大）をもらった後の恋人の嬉しさに雲泥の差（Δy1＝省略：大）があることは至極当然であり、おにぎり一個と比べて幕内弁当ひとつ（Δx2＝幕内弁当の値段－おにぎりの値段：小）を食べさせた後の恋人の喜びの僅かな増分（Δy2＝省略：小）をも見逃さず、値段の僅差の商と比較する（Δy2/Δx2）のが、微分（正確には、「微分」に近し）。換言すれば、Δy1/Δx1 は意味不明（or 数学的には無意味）。もちろん、「ゼロに限りなく近づく値段の極小な増分」（Δx→0）をより精確に強調したければ、（一番安いのがおにぎりであることを考慮に入れて）やや高価な幕内弁当を二番目に安いだろう食パンに置き換えたほうが、もっと適切（ただし、食パンが高価な場合を除く）。微分の親戚は、積分（同じ事例による定義のユーモア溢れる展開は、ご想像にお任せしますよ）。本講義は、因果関係の大本を異なる角度から捉える微積分（文系の高校数学でも必修）の紹介を皮切りに、経済分析における様々な概念を、その数量的本質を深く掘り下げてしゃきっと解説。「ものの値段が上がれば、消費者はどれほど買い控えるか？」（ミクロ経済学）「一国の経済成長率が上昇すると、失業率はどう変わるか？」（マクロ経済学）「説明変数が 1％上がると、従属変数はどう反応するか？」（数理統計学）などなど、ミクロ経済学（例えば「効用」）・マクロ経済学（例えば「比較静学」「動学」）・数理統計学（例えば「回帰分析」）にとって、微積分を出発点とする数量分析こそ、揺るがぬ礎。数、実数、有理数、無理数、関数、因果関係、微積分、指数関数、対数関数、行列（以上、文系の中学校・高校数学）、限界、平均、弾力性、（不）効用、価格、収入、予算制約、利潤、費用、極大（or 極小）化、FOC、消費者・生産者（or 企業）行動、市場、均衡（or 不均衡）、価格の自動調節機能（or「（神の）見えざる手」）、競争、独占、市場の失敗、余剰、パレート最適（or 効率性）、国家（or「政府の見える手」、習近平の台詞）、税、所得税、消費税、関税、公共財、モラル・ハザード、逆選択、ただのり、（不）平等、Gini 係数、GDP、失業（率）、金利、貨幣、乗数効果、IS-LM 曲線、金融・財政、財政赤字（黒字）、腐敗（or「政府の失敗」）、成長（率）、インフレ（デフレ）、確率、平均、偏差、偏差値、分散（標準偏差）、共分散、相関係数、最小二乗法（少なからぬ専門用語を掲げたものの、全部ではない；英文省略）といった重要な基本概念を深く掘り下げて吟味。なお、授業中に試験と似通った計算問題をも適宜出題・解答。「地に足のついた姿勢で、根掘り葉掘りわからせる」のが、方針。絡み合った複雑な事柄を平易に解説することに努める。「脳筋（≈知性）」をとことん鍛えるのにこだわった授業を心掛ける。たとえば、成長率の表し方（マクロ経済学）を紹介するとき、なぜ「e(Napier’s Number)」という無理数を base とする指数関数（exp x）およびその「いとこ」にあたる自然対数（ln x）が決定的に重要であるかを、「逆関数」という指数関数と対数関数の関係にさかのぼって証明していく。一昔前、数学をほとんど使わぬ統計学のテキストを書いたある先生が、本のタイトルを「涙なし・・・」（ただし、詳細は未確認）とした。それと正反対の意味で、「涙・・・」を否定せず、講義のサブ・タイトルを「嬉し涙ありの経済分析」としてもなかなか興味深い。教育者の着眼点や意図が異なる、大層有益な意見対立だからだ。文系レベルの高校数学に強いアレルギーさえなければ、誰もが興味津々に受講可能。もちろん、理系受講生や数学を得意とする者を決して飽きさせない（恐悦至極）。一年生も二年生も他学部生も PEAK 生も聴講生も大歓迎（出席自由；計算のプロセスを重視）。テキスト（分量多し、全部読まなくていい。土産）、レジメ（テキストの一部＝試験範囲；全部必読）、過去問（詳細な解答を含む）は ITC-LMS（Information Technology Center-Learning Management System）にて公開（閲覧するには、履修登録が必要）。思えば、ノーベル賞経済学者 Paul Anthony Samuelson（neo-classical synthesis：新古典派総合）は名著 Foundations of Economic Analysis（経済分析の基礎）の扉に、「Mathematics is a language」という、彼が尊敬していた数学者・物理学者・物理化学者 Josiah Willard Gibbs (1839-1903)の言葉を引用した。本講義を通じてその素朴にして興味深い言葉の醍醐味を少しでも味わっていただければ幸い。世間にありふれた「物知りクイズ」（僕は大いに疑問）と一味、二味も違う、頭の体操でもある「IQ クイズ」（地頭のみで考えるクイズ）を、授業の翌日にネット出題（自信のある者は答えを zhongf@hotmail.co.jp まで送信）、翌々日に ITC-LMS で正解発表（＆正解者表彰）。クイズを一問出題しよう（偏差値 41）：「コロナ禍」とかけて、「数列の極限」ととく。その心は？答え：収束。ガイダンスの「こころ」（本質）を興味深く理解するには、初回 quiz の醍醐味をじっくり味わうのが、大前提。地頭のみで考えよう（以下の記述を、物知りクイズの達人（典型は「東大王」）にプレゼントする。「因果関係」という前述のキーワードを踏まえて言えば、「物知りクイズ」は「果」のみを追い求める無味乾燥な暗記作業に過ぎず、「因あっての果」や両者のつながりを理路整然と究明するのが、IQ クイズ（初ゼミのシラバス参照）。AI（人工知能）が日進月歩しているなか、生身の人間の存在価値を端的に示す IQ 指数を高めよう。博覧強記≠頭脳明晰。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30257	S	日本の政治	竹中 治堅	法・政治	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　日本の政治：危機の中の内閣総理大臣

授業の目標概要

岸田文雄政権が 2021 年 10 月 4 日に誕生した。岸田文雄首相は「新しい資本主義」を掲げる一方、コロナ危機への対応を迫られている。その前の菅義偉政権はデジタル庁の創設などの改革政策に取り組んだものの、コロナ危機への対応をめぐり世論の支持を失い、短命に終わった。安倍晋三政権は政治史に残る長期政権となった。安倍首相は第二次政権発足後から 15 年秋まではいわゆる「三本の矢」：大胆な金融緩和、機動的な財政運営、成長戦略を掲げて経済政策に積極的に取り組んできた。15 年秋以降は「１億総活躍」「働き方改革」「人づくり革命」などを唱え、労働時間規制、教育無償化などを実現してきた。また、「地球儀を俯瞰する」外交を掲げ、精力的に海外を訪問し、「積極的平和主義」を唱えて、日本の安全保障政策の見直しに取り組み、集団的自衛権に関する憲法解釈の変更に踏み切り、安保関連法制を成立させた。

岸田首相はどのような権力基盤に立ち、どのような政策を作ろうとしているのか。

菅首相や安倍首相はいかに政権を運営し、政策を立案してきたのか。

本講義では以上を含めて、日本の権力構造、政策決定過程について理解できるようにする。ところで、2000 年代以降の日本の政治を分析する上で一つのことを留意する必要がある。それは、1990 年代から 2001 年にかけて日本の統治構造が大きく変革されたということである。この変革は日本の政治構造を大きくかえ、政治構造が変化する中で、長期政権や短期政権が現れている。また、多くの政権が現れては消える中でも、政策決定過程は確実に変化してきている。

2022 年度の「日本の政治」の目的は二つである。第一の目的は、現在日本政治の特徴を理解することである。具体的には二つのことを把握したい。一つは日本の統治構造の変化と現在の特徴を学ぶこと。二つは政策決定過程を観る目を養うことにある。このため岸田内閣、菅内閣、第二次・三次・四次安倍内閣の下における政策決定過程を掘り下げて分析する。

また、講義と併せて、①戦後日本の政治の歩み、②現代日本の権力構造、政策決定過程を分析する代表的な本、論文をシラバスにそって講読することが、重要な履修条件となる。 第二の目的は受講者にレポートの一つの書き方を修得してもらうことである。レポートを書くことの目的は単にレポートで取り上げるテーマについて 情報としての知識を身につけることにとどまるものではない。レポートを書く作業を通じてわからないことを調べる力、ものごとについて考える力、多くの事象を重要な点にしぼって観察する力を養うことになる。

この授業を通じて身につけてもらいたいことは数多くある。コロナ危機の中、リモート形式により講義を行うことになる。そうした環境の中で、受講者が授業の内容をしっかり習熟できるよう最大限の努力を傾ける。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31249	S	日本国憲法	福岡 安都子	法・政治	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　教養としての憲法

授業の目標概要　法学を必ずしも専攻しない学生も対象に、「日本国憲法」の基本的原理を、その歴史的背景にも配慮しつつ講義する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31838	S	法と社会	高橋 信行	法・政治	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　法と社会―コロナ危機と法

本授業では、「コロナ危機と法」を主題として、コロナ危機に付随して生じた様々な法的問題を取り扱う。その趣旨は以下の「授業の目標・概要」のとおりである。

授業の目標概要

2019 年末から始まった新型コロナウィルス（Covid-19）の感染拡大により、様々な社会問題が生じており、それに付随して法的問題も増え続けている。典型的には、人々の外出を抑制するために罰則付きの禁止命令を発することの憲法上・法律上の問題を挙げることができるが、それに限らず、感染者・濃厚接触者のプライバシー保護の問題や、ワクチン接種による副作用被害の救済問題、飲食店等に対する休業命令と損失補償といった点である。

本授業では、これらのテーマについて解説を加えるが、前期課程科目としての特性上、法学を専攻することを予定していない者にも十分理解できるように、前提知識の説明から始める。例えば、「休業要請と損失補償」であれば、まずは憲法 29 条 3 項等の求める損失補償制度について説明した上で、コロナ危機で生じた新しい問題を取り上げることを予定している。また、「感染症対策における国と地方自治体の役割分担」であれば、憲法第 8 章の定める「地方自治制度」の概要を説明してからコロナ危機に関する問題をとりあげる。このように、法学に詳しくない者にも十分理解できるように配慮するため、授業の全てがコロナ問題に費やされるわけではないことに注意してほしい。

また、2021 年度（令和 3 年度）から始まる新しい授業である上に、関連する法律が頻繁に改正されたり、新しい判例が出たりすることも予想されることから、いわば「走りながら考える」授業となる。そのため、準備が必ずしも万全でないままに授業をすることもあり得るが、この点は予め容赦してほしい。

また、コロナ危機は民法や刑法、労働法といった様々な法分野に関係するが、担当者は行政法を専攻する研究者であるので、主として公法（憲法と行政法）に関する法的問題を取り扱うので、本授業でカバーできる範囲はコロナ危機に関する法的問題の一部分にすぎないことにも注意してほしい。

なお、以下で詳しく説明するように、本授業はオンデマンド型授業で実施する予定である。具体的には、毎週、解説動画を録画して Youtube 等で配信するので、受講生は必ず閲覧した上で、予習課題・復習課題に解答することが求められる。詳細については初回のガイダンス時に説明する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31292	S	法と社会	西土 彰一郎	法・政治	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　法理論の探究

授業の目標概要

ある論者の表現を借りるならば、法理論とは「法システム全体が、環境に適合しつつその首尾一貫性を保つことができているかということについての、法システム内部における法の『反省理論』である」。本講義は、この意味での法理論を受講生諸君とともに探究することを目的とする。その際、社会学における社会システム理論など隣接分野の知見を用いつつ、法の理論的反省を企てている「教科書」を読みとくことにより、以上の目的を追究してみたい。

理論的反省の経験は、「思考の型の中で全体を推論すること」である。したがって、法の内的視点からとはいえ、反省理論を探究することは、様々な分野の学生にとっても刺戟的であるように考えられる。

総合科目　D（人間・環境）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30360	S	環境物質科学	佐藤 守俊	化学	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		物質循環と環境化学 環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであろうか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。 本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、ＣＯ２による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30226	S	社会環境論	永田 淳嗣	人文地理学	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		熱帯・亜熱帯地域の人文地理学 東アジア，東南アジアの熱帯，亜熱帯地域における，社会変容，資源利用，開発と環境の問題などを，具体的な事例に則して考えるとともに，人文地理学の基礎的な視点や方法論を学ぶ.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30672	S	社会行動論	北村 英哉	心理・教育学	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		社会・集団・家族心理学 本授業は主に専門領域で言えば、心理学、なかでも社会心理学領域の講義を柱とし、家族心理学を補う。社会心理学は人間関係、集団関係の心理学領域であり、三面記事的な「社会」とは異なる。人間についても、自然法則、経済法則などといった他の分野と同様、あるいは独自の形で法則性が見られ、心理学とは人間を科学的に研究・解析してその法則性を樹立する学問分野である。イメージとしては行動科学、人間科学、認知科学といった用語の方が適合するかもしれない。一方、常に社会との関係性をも意識し、広く人文科学と社会科学をつなげる領域総合的な観点を有することも社会心理学の利点と魅力である。社会心理学分野は多岐にわたり、個人の行動分野から対人行動、自己、対人相互作用、集団過程、集合現象、家族関係など広く、経済学や政治学とも密接な関係をもつ隣接分野である。本講義は全体に目配りしながら、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」など、「公認心理師」の社会・集団・家族の選択科目分野が学べるような講義になっている。 人間関係は誰もが一生経験し、どのような職業についても無関係であることはなく、しかしながら単なる「人間関係のノウハウ」のような通俗本に取り上げられているものとは異なる。その知見は、実験や調査などの実証研究を土台とし、定義された専門用語によってはじめて正確に描写、記述することができるきわめて専門的な知識である。その専門的知識は深めるほどに個人の独創的・創造的な応用によってより深く、鋭く日常と接続し、本人の技量にしたがって一生役立てていける知識基盤となる。そして重要なのはそれは自分ためだけではなく、他者のためにもなり、またそれは結局ひいては自分のためであることを利他行動の授業回において明確に示すであろう。また心理学は一般に方法の学問と言われるように、その内容だけでなく、研究方法、知の獲得の仕方に特徴と味わいがあり、物の見方の学習こそが一生用いていくことができる最も応用可能な点である。 心理学は題材として人間を俎上に載せ、またその人間のひとりは他でもない自分自身であるだろうが、だからと言ってそれは学ばずして十分理解できるものでもなく、そのパースペクティブを獲得することがなければ一生気づかずに過ごしてしまう貴重な知見を豊富に含んでいる。とりわけ進化的なパースペクティブや体内物質、遺伝についての知見は、自分自身で気づくには圧倒的に不可能的なアイデアであったり、鋭く実証的な科学的知見であったりする。そもそも統計解析を重視する心理学にあって、人と環境の交互作用は知見の中心であるが、人は直観的に「交互作用効果」が理解できるように頭脳がしつらえられていない。これはきわめて現代的な進展であり、そうした学問の進展は生涯学び続けなければ、どんどん古びてしまうものである。 世間で心理学や人間について誤った言説が溢れているのは人が容易に新たな知見を学習しないからであると言っていい。受講者は一生にわたってこれらの知識を現代人として更新していってほしい。そういう意味で本講義の目標はよりよい現代人になることであり、基本的な人間の性質というものへの感受性を高め、その捉え方についてより科学的なスタンスを自分自身に確立させることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30952	S	社会生態学	梶田 真	人文地理学	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	公共事業と地域経済・社会					
授業の目標概要	本講義では、マクロな制度や政策とミクロな地域との関係について、公共事業と地域経済・社会との関係を事例に検討していきます。この検討作業を通じて、受講者のみなさんに全国あるいはグローバルなスケールで起きている様々な動きとローカルな地域の動態とがどのように結びついているのかを（人文）地理学的な視点から理解していくための見方・考え方を習得してもらいたいと思います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31252	S	情報認知科学	鈴木 宏昭	心理・教育学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	知覚・認知心理学					
授業の目標概要	記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。これらを通して、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30170	S	人間行動基礎論（理科生）	本吉 勇	心理・教育学	月 3	1 年 理科 2 年 理科
講義題目	心理学概論					
授業の目標概要	人間は，環境から受け取った光や音の情報をもとに，外界のモノや出来事を認識し，過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し，また他の人間と相互作用することができる．このすぐれて知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである．認知科学(cognitive science)とは，心理学・神経生理学・情報工学が密接に結びつきながら，その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である． 本講義では，多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら，知覚，認識，記憶，感情，思考，意識，社会性といった，人の心の基本的な仕組み及び働きを支えている脳情報処理の原理原則と，その背後にある生理学的・計算論的メカニズムの基礎を学ぶ．それによって，進化と学習が生み出した優れた情報処理マシンとしての脳と人間を理解するための知識と視点を身につけることをめざす．人工知能や脳信号解読を含めた脳工学技術や心理学の成り立ちにも触れる．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30904	S	人間行動基礎論（理科生）	大久保 街亜	心理・教育学	木 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目	心理学概論					
授業の目標概要	「心理学の成り立ち」並びに「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけ体系立てて説明できることを目標とする。現生人類は Homo sapiens と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。この授業では心理学の立場から人間の知性ついて講義する。それにあたり、はじめに学問としての心理学の成り立ちを関連諸科学との比較や歴史的展開を通じて紹介する。また、実証的な科学である心理学の測定について検討する、それらを踏まえ、知性ついて、知覚、記憶、思考、感情といった側面を検討しつつ、基本的な心の仕組みや働きについて学習する。それらを通して人間の知性について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か？」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30258	S	生態学	土畑 重人、鈴木 準一郎	生物	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生態学 生態学は、身近な環境での生き物の生活史から、地球レベルでの生物圏の挙動や物質循環に至るまで、広いスケールを対象にする。同時に、個体内の遺伝的多様性、個体レベルでの種多様性、個体群（集団）や生物群集の動態と多様性、そして物質循環とエネルギー流を示す生態系に至るまで、多段階の階層性を持つことになるので、生態学の理解は多岐に渡り、一筋縄ではいかない面がある。しかし、それが自然界で生活している生き物と生態系の実態であり、生態学を学ぶ面白さでもある。 本講義の初回は生態学とはどのような学問かを紹介した後、前半（担当、土畑）には、生物群集と多種共存の機構／生物の個体数変動／自然選択と生活史の適応進化／性選択と血縁選択／種間の相互作用と共進化／生態的過程と進化的過程の相互作用などを解説する。後半（担当、鈴木）には主に植物生態の視点から、日本の自然の特徴／環境と生物の応答／環境条件と生物群集／陸域のバイオーム／生態系での物質とエネルギーの流れ／土壌の生態学などを解説する。 全体として、基礎科学としての生態学だけに留まらず、人間社会との接点に位置する自然環境や生物多様性の保全、そして生態系への人為的負荷と地球環境への視点など、応用的な側面も併せて講義する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31105	S	地域生態学	森島 済	人文地理学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		世界の様々な地域の自然環境と社会の適応 気候は，緯度や海陸分布，標高といった気候因子の影響を受けて地域性を持ち，それに関連して人間が利用可能な自然資源にも差異が生じている．気候もまた変動し，人間社会はそれに対し，短期的にも，長期的にも適応しようとし続けている。本授業では，低緯度に広がる乾燥気候帯，熱帯気候帯にみられる多様な自然環境に着目し，その水資源や関連農業に関する，現地調査やモニタリング調査を題材に，地球環境の変化，火山噴火などの自然災害，資源を活用するための技術の導入がもたらす地域の変化に目を向け，地域生態の理解を深めることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30953	S	適応行動論	大槻 久	心理・教育学	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人間の行動と心理の進化的理解 本講義の目標は、人間の身体や行動および心理の特性を進化の観点から理解することである。全ての生物種は進化という途方もなく長いプロセスを経て現在地球上に存在している。従って人間を一つの生物種である「ヒト」として捉えた時、我々の体や心も決して進化とは無縁でなく、そこには進化の痕跡が数多く残されていると考えられる。このような観点から人間の行動を理解する学問は人間行動進化学、心理を理解する学問は進化心理学と呼ばれ、近年目覚ましい発展を遂げている。 本講義では進化論が近現代の人間観・世界観に与えたインパクトを解説した後（第１回）、進化生物学の基本的な概念を学習する（第２～５回）。次に霊長類の特徴や人類の進化史を学び、生物としてのヒトの理解を深める（第６回～第７回）。これらの内容を踏まえた上で、進化が我々の身体や行動そして心理に及ぼしている影響について様々な例を挙げて解説する（第８回～第１３回）。具体的にはヒトの生活史、社会性、配偶行動を取り上げる。「人間とは何か」という大きな問題に対し、従来の人文科学や社会科学にはなかった新しい文理融合的アプローチによって迫りたい。 本授業の履修にあたって進化学の知識は前提としない。必要な概念についてはその都度解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30259	S	認知脳科学	石金 浩史	心理・教育学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　神経・生理心理学

授業の目標概要

＜目標＞
・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。
・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。
・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。
・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。
・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に応用できる。
＜概要＞
本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30361	S	認知脳科学	四本 裕子	心理・教育学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　神経・生理心理学

授業の目標概要

認知脳科学、認知心理学、神経科学に関する幅広い分野の基礎を学ぶ。脳機能の各種測定法、脳刺激法を学ぶとともに、脳の構造やはたらき、脳の発達、感覚・知覚、記憶、睡眠など、さまざまな人間の認知的側面とそれに関連する脳のはたらきについて学ぶ。基本的な内容と合わせて、最近の研究によって明らかになった知見を紹介し、認知脳科学についての幅広い理解と興味をうながすことを目標とする。

スポーツ・身体運動実習	開講区分	S

授業の目標・概要	週 1 回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 第 1 回目の授業で、種目選択を行う。場所は 9 号館前の掲示板を参照すること。 スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/を参照のこと。 種目選択以降は、各種目に分かれて行う。
授業の方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 所定の場所で実施する。基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、選択種目、担当教員により様々なアプローチがなされる。雨天時等で実施場所に変更がある場合等の連絡は、教務課掲示板ではなく、9 号館前の掲示板に掲示する。
成績評価方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 1 出席 スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、そのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
履修上の注意	種目選択後のキャンセルは認めない。併せて、 1 つの学期に 3 コマ以上登録することは認めない。 種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。
学習上のアドバイス	1 コマ 1 単位であり、 2 S セメスター終了時までに 2 単位、 2 A セメスターに 2 単位、計 4 単位を上限として履修することができる。盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30171	月 3	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
30362	火 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
30673	水 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
30839	木 1	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
31106	金 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科

スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）	開講区分	S

授業の目標・概要	週１回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 第１回目 種目選択（場所は９号館玄関掲示板を参照） 月 3、火 2、水 2、木１、金 2 のどれかのスポーツ・身体運動実習に出て、自分の選択するメディカルケアコースの登録をする。出席できない場合は身体運動棟で登録する。 第２回目以降 各自の選択した曜限での授業
授業の方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回日誌をつけて、自己の状況を確認する。
成績評価方法	下記は例年のもの。今年度の対応は検討中。 1 出席 この授業の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
履修上の注意	初回のみスポーツ・身体運動実習の授業に参加する。次回から MC の曜限に移行し、教務登録も MC の曜限でする。 体育館は土足、飲食禁止。 盗難注意。
学習上のアドバイス	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出によりメディカルケア担当教員の判断によって指示されれば、受講できる。またセメスター途中でも、メディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談する。
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30260	月 5	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	2 年 文科 理科
30595	水 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	2 年 文科 理科
30028	月 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	2 年 文科 理科
30304	火 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30363	S 1	システム論	福永 アレックス	情報・図形	火 2, 金 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		システム論 「システム」とは、相互に影響を及ぼしあう要素から構成されるまとまりや仕組みであり、その概念は分野横断的に幅広く応用されている。例えば、国や企業等の社会システムはたんなる人の集合ではなく、複雑な社会システムである。一方、インターネット等の複雑な人工物も、たんなるコンピューターの集合でなく、「システム」である。 本授業ではこのような複雑なシステムを理解、構築、操作する為に役立つ汎用モデル化技術を紹介する。一方、これらのモデル化技術の本質的な限界についても考察する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31451	S	ヘルス・サイエンス概論	小西 祥子	医学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヘルス・サイエンスへの招待 人間の健康問題を考えるためには、生命科学・行動科学・情報科学・社会科学などの多様なアプローチを統合した学際的努力が必要です。そのためには、生化学・生理学・解剖学・遺伝学などの生命現象の基礎をなす学問だけでなく、疫学・生物統計学・医療倫理学・精神保健学・医療経済学・人類生態学・国際保健学・人口学などの保健・医療に関わる応用学問の実践が不可欠です。本授業では、医学部・健康総合科学科の教員が行っている健康社会の実現を目指した実際の研究活動事例を通して、現代が抱える「ヘルス・サイエンス」の問題と将来展望について学びます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30807	S	科学技術基礎論II	廣野 喜幸	哲学・科学史	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		科学論入門——仮説演繹法を知る スマホをはじめとして、現在社会に暮らす我々が科学や技術の恩恵を享受しない日はない。一方、東日本大震災における原子力発電所事故に見られるように、科学技術に起因する厄災・リスクもかつてなく大きくなっている。こうした状況にあって、我々が科学や技術と適切につきあい、的確に制御していくためには、科学や技術に対する一定以上の理解、すわなち科学リテラシーを欠くことはできない。しかし、科学技術を理解し、科学リテラシーを向上させることは、実は難しい。科学技術と一般市民の発想法には質的な違いがあり、この違いを乗り越えるのが、なかなか困難を伴うからだ。科学技術の特異な方法の一つに、仮説演繹法がある。本講義では、仮説演繹法の理解を深め、科学や技術の基本的性格を理解することを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31415	S	環境・エネルギー工学基礎I	西林 仁昭	工学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		最先端科学を理解する化学基礎 現在、科学が取り扱う範囲は、環境やエネルギーなどの分野に加え、バイオ、医学、およびエレクトロニクスなど幅広い領域に広がっている。その結果、従来の化学の基礎のみでこれら最先端科学を理解することが困難になっている。そこで、本講義では、最先端科学を理解するために必要な化学の基礎を学ぶことを目的とする。触媒、高性能電池、自己組織化、ソフトマテリアル、分析デバイス、一分子バイオ、分子設計、人工光合成、有機エレクトロニクスなど最先端の高度な化学を理解するための基礎を学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31411	S 1	環境・エネルギー工学基礎I	森田 一樹	工学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	環境・基盤マテリアル入門					
授業の目標概要	我が国を支えてきたものづくり、すなわち製造業やその技術の発展には、経験や感覚を要する職人の育成はもとより、そのプロセスの根幹となる原理原則に則った技術革新もまた重要である。多くの材料や製品は原料から素材を作り、合成・加工することにより生産されているが、製品寿命を終えると循環されるという持続可能な新たなものづくりシステム構築も促進されつつある。中でも、ベースメタル、セラミックス、ポリマーなど社会の基盤を支えるマテリアルの循環システムやその機能が我々の生活にもたらす影響は非常に大きい。マテリアル循環プロセスにおいては古くは公害、今は CO2 問題、資源・エネルギー問題と枚挙に暇がなく、人類の持続的繁栄に直結している。また、密かに進化し続ける鉄鋼材料が、スカイツリーやゲートブリッジの出現をもたらし、ボディーの高強度軽量化による自動車の燃費や安全性を大きく向上させている。 これらのプロセス技術やパフォーマンス設計を支える学理を体系化した学問領域が、環境・基盤マテリアル工学である。物質や材料を取り扱う工学の基本であり、教養学部で学ぶ物質科学を広くベースにしている。 本講義では、入学直後の皆さんが高校で学んだ物理や化学の知識から、環境・基盤マテリアル工学を通して、自然現象からものづくり技術、パフォーマンス設計、そして持続可能社会への繋がりを理解することを目標とする。その近道として、ものづくりのベースとなる熱力学や力学の基本を理解した上で，社会を支える基盤マテリアルの創成やその循環プロセス設計について、実例を交えて紹介する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31406	S	環境・エネルギー工学基礎I	小野 靖	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	エネルギー環境論 ーサスティナブルな社会は実現できるかー					
授業の目標概要	エネルギーは我々の日常から最先端の科学技術まですべての人間活動を生み出す根元といえます。エネルギーなしに考えられる技術は何一つ無いことは明らかですが、そのエネルギーをいかに作りだし、輸送し、制御して、人間が使いやすい形で利用していくかはまさに今世紀の最重要課題といえます。システムの構築次第で社会全体が効率的に働いたり、逆に危機に際して大混乱に陥ることも想定され、社会活動や地球環境を決定する第一義の技術なのです。この講義ではそのエネルギー・環境技術の現状はどんなものか？未来技術はどうあるべきなのか、最新技術はどこまで進んだのか？数人の教官が体系的な講義を行います。エネルギー発生では火力、原子力、核融合、太陽光、風力、シェールガス・オイル、バイオマス、燃料電池、エネルギー輸送では超高圧送電、水素エネルギー、スマートグリッド、電力貯蔵ではSMES、エネルギー利用ではエネルギーシステム、交通システム、電気自動車、環境保全技術・・・・等々、新聞を賑わす最新技術がどんなものなのか、各分野の専門家による講義とプリンストン大学教授の特別講演を含む，一部英語を織り交ぜた授業で理解を深めてもらう予定です。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31413	S	環境・エネルギー工学基礎I	伊藤 大知	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	化学システム工学入門 －次世代社会のための化学と材料－					
授業の目標概要	化学とは物質の性質、構造ならびにこれら相互間の反応を研究する自然科学の一部門である。物質を扱う限り、化学的な視点が不可欠であることはいうまでもない。一方、現実の環境問題やエネルギー問題などに取り組もうとすると、化学の知識だけでは不十分であることがわかる。なぜならば、我々が直面している課題は、様々な要因が絡みっており、複雑な様相を呈しているからである。このようなときには、対象を要素から構成されるシステムとしてとらえる、システム的アプローチが大きな力を発揮する。化学システム工学は、これらの問題を取り扱うための方法論を提示する学問である。 本総合科目においては、化学システム工学を基に、化学的な視点（化学反応、材料、エネルギー）に立脚しながら、我々人間社会が直面している課題（気候変動、大気・水環境、安全とリスク、人工臓器・再生医療など）を取り上げることで、エネルギー変換化学、環境化学、安全安心、医療を対象とした、現実の「マクロ」の問題にどのように取り組むかについて講義と議論を行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31433	S	環境と生物資源	宮下 直	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生物多様性と保全 いま、地球環境は激変の時代にあり、生態系の劣化や生物種の絶滅が急速に進んでいる。これは我々人類にとっても重大な問題となっている。水、土、大気、食糧、どれをとっても我々の生活に不可欠であり、そうした「自然の恵み」を抜きにして人類の将来を語ることはできないからである。本講義では、特に生物の豊かさを意味する「生物多様性」に焦点を当て、それが維持されている仕組みや、劣化の実態とその背景要因、生物多様性の保全や再生、そして持続的な利用の在り方の視点から、生物と人間社会の関係性を語る。 具体的には、最初の 2 回で講義全体の枠組みを概説した後で、生態学の基本理論に基づいた生態系のダイナミズムを紹介する。次いで、海、山、里山といった現場に焦点を当て、それぞれの生態系の構造や機能、そこで起きている諸問題とその解決法を紹介する。そして最後には、生物多様性の価値について、それが生み出される仕組みも含めて「生態系サービス」の観点から論じる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31452	S	看護学概論I	仲上 豪二朗	医学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生きることを支える科学 高度に医療技術が発展してきた現代社会では、逆説的ではあるが、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、健康への様々なニーズが顕在化してきている。このような社会では、従来の医学モデルでは解決できない様々な課題が生じ始めてきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルで扱い新たな対処方法を構築することに対する社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、人々の健康問題を、身体的、精神的、社会的、霊的に捉えることで、より人々に適合したケアを提供することが出来る。本講義では、看護学の概要と特徴を提示し、今日的な健康問題を解決するための最新の研究成果を紹介することで、今後の看護学発展による国民の健康向上への道筋を議論する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30100	S	健康スポーツ医学	福井 尚志	スポーツ・身体運動	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		健康スポーツ医学 現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまに障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、脂質異常症、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も運動の不足と関連している。これらの健康障害を改善しまた予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを過度に行ったことでかえって健康を害する人もいる。運動のしすぎによって病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも少なくない。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいのかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では内科、整形外科、精神科、産業医、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31402	S	現代工学基礎I	加藤 浩徳	工学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「国際プロジェクトと社会イノベーション」 わが国は戦後から 70 年以上が経過する間，急速な少子高齢化など多様な社会構造の変化を経験し，国内経済の様々な仕組みが曲がり角を迎えていることを受けて，近年多方面で構造改革が叫ばれている．一方でグローバル化の進展とともに人・カネ・モノ・情報が国境を超えて容易に移動するようになり，世界標準（グローバルスタンダード）が押し寄せてくるとともに，地球環境問題のようにグローバルスケールで取り組むべき課題も山積している．持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向け，これからは，コミュニティのような地域社会で貢献できる人材とともに，国際社会で活躍できる人材が求められている． 工学は，このような国際的課題を解決するための技術を生み出し，それが活用される社会的条件を踏まえながら実践的に課題解決に取り組む学問である．なかでも社会基盤学は，環境・エネルギー問題，自然災害，貧困や格差といった世界の様々な問題に対し，人類社会を支える技術を基礎とした社会イノベーションを構想・実践してきた．本講義では，国際機関や企業と協力して先進国・途上国の課題に取り組む教員が，自身が参画する具体的な国際プロジェクトの事例を紹介しながら，社会基盤学からみた現代工学のあり方を議論する．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30030	S	現代倫理	高橋 哲哉	哲学・科学史	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	赦しと和解の現代倫理					
授業の目標概要	国家、民族など集団間の抗争によって生じた傷をいかに克服し、和解にもたらすか。20 世紀末以来のグローバル化によって世界に広がったこの問題は、罪と罰、責任、復讐と赦し等をめぐって、現代倫理の一大テーマでもある。ホロコースト（ショアー）の傷をめぐる戦後世界の歴史を背景に、ハンナ・アーレント、カール・ヤスパース、ウラジーミル・ジャンケレヴィッチ、ジャック・デリダらの哲学的思考を辿り、この問題についての導入としたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31403	S	社会システム工学基礎I	羽藤 英二、浦田 淳司	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	社会システム工学基礎I「東京のインフラストラクチャー（社会基盤学）」					
授業の目標概要	東京は世界有数のメガシティである。単に巨大であるだけでなく、緻密なインフラシステムを有する先端性、日本最大の城下町江戸の血を引く歴史性、豊かな海に面し繊細な地形と川に恵まれた自然性など、多様多彩な特徴や魅力を潜在的に備えたユニークな大都市である。同時に、幾度も深刻な災害に襲われ、その都度再生してきた復興都市でもある。本講義では、社会基盤を構成するそれぞれの専門学術領域の立場から東京のインフラストラクチャーを論じることを通じて、現代都市を構成する社会基盤と都市そのものを理解し考えるための視座と機会を提供するものである。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31404	S	社会システム工学基礎I	安原 幹	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	「建築空間のデザイン&リサーチ」					
授業の目標概要	建築学の扱う範囲は多岐に渡り, 意匠, 計画, 歴史, 構造, 構法, 材料, 環境といった全ての分野が, 現実の社会と密接に関係している. 建築学の目的は, これら諸分野の技術を統合し, 様々な社会的な課題を空間的に解決したり, 新しい建築空間の創造を通じて, 来たるべき社会のあり方を指し示すことである. 本授業は, 建築学, そして建築実務における諸分野の専門家による多様な講義を通じて, 建築における最新の研究事例, また建築が直面する様々な現代的課題や, それらに対する具体的なアプローチ, 解決手法を学ぶことを目的とする.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31437	S 1	住環境の科学	青木 謙治、稲山 正弘	農学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	人と木と木造建築					
授業の目標概要	地球温暖化などの環境問題に対し、木材の適切な利用を核とした資源循環型社会への移行が世界的に求められています。本講義では、森林資源から木造建築に至るまでの様々な観点で「人と木と木造建築」について学んでいきます。すなわち、木材の微細構造から基礎的物性などに関する基礎知識や、未利用資源あるいはリサイクル利用に関する社会科学的な分野の基礎知識等を学び、木材を有効活用してつくられる製材・木質材料（集成材・合板・繊維板等）の特徴や、木造住宅・中大規模木造建築に至るまでの生産・流通などについて学び、木造建築の設計に必要な基礎知識や様々な木造建築の事例、および居住空間等木材を使用した環境のアメニティ等について学習します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30262	S	情報メディア基礎論	渡邉 英徳	情報メディア委員会	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	本講義では，情報を“ストック”／“フロー”化するメディアとしての「データビジュアライゼーション」と「デジタルアーカイブ」を作成しながら，情報とメディア・社会の関わりについて考えます。 できごとは，多様な人々の視点を内包しています。多面的な資料を“ストック”した「デジタルアーカイブ」は，できごとの実相を伝えていくための基盤となります。そして「データビジュアライゼーション」によって，アーカイブ化された資料の内容が視覚化され，コミュニケーションが創発して“フロー”が生まれます。
授業の目標概要	本講義ではまず，各人 1) 情報を“ストック”し，“フロー”化するメディアとしての「データビジュアライゼーション」と「デジタルアーカイブ」のありようを学ぶ 2) ArcGIS, Re:Earth などの使い方を学び，今後の学習・研究において活用していく素養とする 3) レクチャー（ゲスト講師含む）を通して，デジタルアーカイブ・情報メディアについての最新の知見を身に付ける。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31434	S	食糧と環境	高橋 一生	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	海洋生物資源の特性と利用
授業の目標概要	地球表面積の 70%を占める水圏（海洋および陸水）は、潮干帯から沿岸、外洋、深海、熱帯域、極域、陸水に至る、多様で変異に富む環境で構成される。水温、塩分、水圧等の大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトンなどの微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が進化的に適応放散し、独自の生活史を発展させてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。そして、これら多様な生物の相互作用により、複雑で豊かな生態系が形成されてきた。しかし、陸上生物である我々 ヒトにとって、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。一方、広大に見える水圏でも、そこに棲息する生物量は有限である。水圏生態系における物質循環および生物生産の仕組みを理解し、ヒトと水圏生態系の関わりあい方、および再生可能資源としての水圏生物の持続的有効利用のあり方を探ることが、これからの自然共生型の持続可能な社会を構築していくうえでの鍵となる。 本講義では、水圏に棲息する生物およびそれをとりまく環境を対象に、（1）水圏環境および生態系内での物質循環と生物生産について理解すること、（2）食料資源、生化学資源、エネルギー資源などの観点から、水圏生物の持続的有効利用に向けた知識を習得すること、を目標に授業を進める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31432	S	心身の実践科学	佐々木 司	教育学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	現代の社会を生きる心身の知恵
授業の目標概要	この授業は、急速に変化する現代社会を生きていく上で、またそのような社会の中で相互扶助による貢献を第一義とする市民的エリートとして成長するために不可欠な心身の実践科学とその知識について、理論と実践両面から学ぶことを目的とします。インターネットや SNS の急速な普及（四半世紀前にはこの世に存在しなかった）と情報氾濫、生活の 24 時間化・国際化、産業構造の変化、これらに伴う対人関係の変化など、現代のわれわれを取り巻く環境と状況は加速度的に変化し続けています。このような変化は、当然ながら、心身の健康、ストレス、学習に大きな影響を及ぼし、人間関係、将来設計、社会での適応のあり方、精神疾患などにも影響を及ぼしています。これらは学生の皆さんの現在の生活のみでなく将来の社会人としての活躍にも当然ながら深く関係する問題です。この授業では、教育学部身体教育学コースでの研究内容を紹介しつつ、生活習慣、学習、脳、精神医学、社会など様々な観点からこれらの問題について考えていきます。この中には、相談支援研究開発センターの教員が担当して行う、学生支援の実際した講義も多数含まれます。この講義での学習を通じ、学生生活における健康の維持・向上とともに、将来の社会での活躍のあり方について考えを深める上でも必要な知識とスキルを習得してもらえればと思います。 なお平成 27 年度から開始された学生同士の相互扶助を目的としたピアサポートプログラムに参加希望の学生には、特に履修を勧めます。学生ピアサポーター（一定の研修プログラムを修了した本学学生を相談支援研究開発センター長が認定）として必要な基礎知識の習得に必須の講義が含まれます。当然ですが、それ以外の学生の履修も大いに、かつ平等に歓迎します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31435	S	森林環境資源学	蔵治 光一郎、佐藤 貴紀、齋藤 暖生、楠本 大、三浦 直子、當山 啓介、水内 佑輔、安村 直樹、藤原 章雄、浅野 友子	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
森の最終形、森とダム、森と癒し

授業の目標概要
世界の森林が危機的な状況にあり、植林によって環境問題に貢献していることをアピールする企業の CM が TV や新聞に頻繁に流されている。その一方で、日本の国土の 68.5%は森林に覆われている。日本は世界有数の森林大国であり、森林は日本最大の「地主」である。さて、皆さんは、このような広大な面積をもつ森林の実態を、どれだけ知っているだろうか。

高校までの生物や地理で、生き物としての樹木や森林に生息する動物、世界の森林の分布などを勉強した人は多いだろう。しかし森林の全体像を知るためには、森林内で何が起きているかを知る自然科学や、森林を取り扱うための技術といった「理系的アプローチ」だけでなく、森林の歴史、経済・経営、法制度、行政・財政といった「森林と人とのかかわり」＝「文系的アプローチ」の両方をあわせて学ぶことが不可欠である。その意味で、森林は、東京大学前期課程の総合科目で学ぶ対象として最もふさわしい対象の一つである。

森林を学ぶための場として、東京大学は、北海道、東京、千葉、埼玉、山梨、静岡、愛知の 7 県に、山手線の内側の面積の 5 倍以上の面積の森林を演習林として保有しており、その面積は、東京大学の全キャンパス面積の 99%を占めている。

本講義は、駒場キャンパスの教室で、東京大学を卒業して社会で活躍する皆さんが教養として知っておくべき「森林の基礎の基礎」についての講義と、演習林で開講する 1 泊 2 日のフィールドワーク（現地講義）をあわせて行うことで、森林を机上での学習と実体験により総合的に理解することを目的として開講する。フィールドワークでは、現場に常駐して教育研究を行っている教員の指導のもと、森林の現物に触れるとともに、教員と学生のディスカッションを行う。

※受講人数は 40 名に制限します。受講希望者が 40 名を上回った場合はセレクションを行います。

※講義室での講義を 7 回行い、別に、1 泊 2 日のフィールドワークを行います。フィールドワークは以下の 1 ～ 3 から 1 つを選んで参加します。1 ～ 3 にはそれぞれ定員がありますので希望の場所に行けるとは限りません。また、もし空きがあれば、複数のフィールドワークに参加することもできます。

1．テーマ：森の最終形
場所：千葉演習林（千葉県鴨川市）
日程：5 月 28 日（土）、29 日（日）

2．テーマ：森とダム
場所：生態水文学研究所（愛知県瀬戸市）
日程：6 月 4 日（土）、5 日（日）

3．テーマ：森と癒し
場所：富士癒しの森研究所（山梨県山中湖村）
日程：6 月 18 日（土）、19 日（日）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30306	S	身体運動メカニクス	竹下 大介	スポーツ・身体運動	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
スポーツ動作を科学する

授業の目標概要
身体運動メカニクスでは、身体と運動をキーワードに、特にスポーツ動作について、自然科学的な研究成果を体系的に講義する。この授業では、通常、健康であれば意識外に追いやられる「身体や運動」について再認識し、それを自然科学的観点から直視して深く考えること、そしてダイナミックなスポーツ動作の成り立ちをバイオメカニクスの観点から理解することを目的とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30840	S	身体運動科学	八田 秀雄	スポーツ・身体運動	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	運動生理生化学					
授業の目標概要	運動におけるエネルギー代謝の知識を健康増進や競技のトレーニングに役立てる 特にこのような厳しい状況の中で、感染に気をつけながらも、日常的に運動をすることの重要性を理解する 生きていることはエネルギーを生み出していることである。そしてエネルギーは基本的には糖や脂肪からミトコンドリアが酸素を利用して ATP の形で生み出されている。運動時にはさらにエネルギー必要量が高まる。そこで本講義では運動時を中心に糖や脂肪がどう代謝されているのかを中心にして、運動時における体内の変化を学ぶ。運動することはエネルギー消費量を高めるが、それだけが運動の効果ではない。運動を継続することで体内の状況をよくすることができる。エネルギー代謝の知識を活かし、今後の健康維持にどのように運動を取り入れていけばよいのかを学ぶ。また健康増進だけでなく競技におけるエネルギー代謝に関する内容も話題として取り上げる。 また乳酸及び運動と疲労に関する内容も多い。乳酸は糖からできるエネルギーであり、老廃物ではなく、無酸素状態だからできるものではない。乳酸ができるから疲労するのではなく、むしろ疲労するような運動をしているので、それに対処するためにできるのが乳酸である。 世の中脂肪燃焼がよくいわれるが、あるサプリメントを摂ったからといって脂肪がどんどん減るようなことはあり得ない。運動で代謝を高めるから脂肪が減るのである。また運動では必ず糖を利用するが、糖を利用することは無駄なことではなく、糖尿病の予防になり、結果としては脂肪の減量にも結びつく。そこでこの講義でのもう一つの柱は、おかしな健康情報がいかに多いのかについても学ぶことである。お茶を飲むだけで脂肪が減るかのようなおかしな情報を鵜呑みにせず振り回されない姿勢＝メディアリテラシーを身につけることも。本授業の目標である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31436	S	水と土の環境科学	吉野 邦彦	農学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	食をささえる水と土の環境科学					
授業の目標概要	2050 年までに 90 億人を超えようとしている人口を養っていくためには、食料生産の維持・増大は欠かせない。2015 年 9 月の国連サミットで採択された SDGs を達成するためには，自然環境との調和を図りつつ食料生産の基盤を整備するとともに快適な地域空間を創出する必要があるが，これは容易ではない。様々な個別の問題を自然と社会の法則性や物質の普遍的な特性に基づいて解明し問題解決をすることを可能にするような高度の科学性と専門性が求められる。特に、植物の生育と生態系を条件づける水と土、さらに地域空間における物質循環に関する科学と技術が不可欠である。また，日本国内に限定すると今後，人口減少と老齢化が進むことも考慮すべき重要な事項となる. この講義では、食料生産、いわゆる農業について、生産効率向上の工夫や持続的な農業生産に関する課題を紹介するとともに農業に関連して生じている様々な環境問題やそのメカニズムを社会的背景と物質循環についての基礎知識やモニタリング技術を含めてわかりやすく解説する。 この講義によって、普段気にしていない水と土を巡る物質循環の科学の私たちの社会・生活における重要性が理解できるようになることを期待する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31410	S	生体医工学基礎I	高井 まどか	工学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	バイオマテリアル入門－医療への貢献					
授業の目標概要	今日の生物工学や遺伝子工学、医療工学などの目覚ましい発展により、従来の医療では困難であった疾患の早期発見や再生医療、遺伝子治療などの高度先進医療も現実のものになろうとしています。工学の領域でも、このような医療福祉に対する社会的要請に応じて、医用材料、すなわちバイオマテリアルの研究・開発が注目を集めています。この講義では、高度先進医療を支える先端バイオマテリアルについて様々な角度から紹介し、工学と医学・生物学の融合により切り開かれる未来型医療について、皆さんと一緒に考えていきます。バイオマテリアルの入門として、バイオマテリアルの基礎から最先端研究までを紹介します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31414	S	生体医工学基礎I	南 豪	工学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　化学生命工学基礎

授業の目標概要

「化学」によって我々は自らの創造力を駆使し，自然界に存在する分子を手本に，自然界にはない方法で新たな機能を持つ分子や美しい構造を次々に生みだすことができます。
「生命」は化学物質の変換を精妙に行い自律的に活動を続ける複雑なシステムです。生命を「化学」の視点で眺め，理解することは，我々自身を深く知ることになるのはもちろんのこと，生命現象を巧みに操り，役立てるという目標につながります。
21 世紀の人類社会がかかえる課題解決のためにもはや欠かすことが出来ない「化学」と「生命工学」，そして両者の融合による「化学生命工学」。「化学生命工学」は我々の生活にどれくらい浸透し，我々の明日をどのように変え，未来に貢献していくのか？
これらの領域が果たす役割の重要性と魅力について，各講師が日本・世界の動向や，時に最新の成果も交えながら分かりやすく紹介します。
本講義では，有機化学，合成化学，触媒化学，グリーンサスティナブルケミストリー，高分子化学，超分子化学，分子生物学，生化学，タンパク質工学，細胞工学，酵素工学，抗体工学，糖鎖工学，ケミカルバイオロジー，バイオイメージング，創薬，などのトピックについて扱う予定です。
化学生命工学科のホームページ(http://www.chembio.t.u-tokyo.ac.jp/)から本講義の紹介・最新情報のページにアクセスできます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31405	S	総合工学基礎I	小野 靖	工学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　核融合実験基礎講座－人工太陽は創れるか？－

授業の目標概要

海水中の重水素の原子核を融合して無尽蔵のエネルギーを得る核融合エネルギー開発は、いわば人工太陽の研究といえます。エネルギー問題の最終解と位置づけられる人工太陽=核融合開発は、ようやく実用炉が見渡せる段階となり、現在、工学実証のための国際熱核融合炉 ITER を建設する一方で、その先にある経済性の高い原型炉の開発が進み，この数年はベンチャー企業まで生んでいます。
この授業は、講義と実験を組み合わせた「新しいタイプの核融合エネルギー開発の入門授業」といえます。
講義では、核融合炉の原理、特に核融合炉の心臓部である炉心プラズマ閉じ込めと関連技術について理解を深めると共に、軽水炉に対抗しうる経済性の高い核融合炉実現へ進むための最新の研究動向について紹介します。
また、専門に進むための入門実験として東京大学本郷の核融合プラズマ閉じ込め実験を実際に体験し、プラズマの振る舞いについて考えてもらいます。美しく輝くプラズマの挙動を観察し、考える中で、核融合エネルギー開発の現状と将来について理解を深めていただければ幸いです。

総合科目　E（物質・生命）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31419	S 1	化学薬学概論	内山 真伸	薬学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ケミカルバイオロジーI（化学からみたケミカルバイオロジー）				
授業の目標概要		医薬を創製し、人類の健康を守ることは薬学の大きな目標の一つである。この目標のために、薬学では、生体や疾患の仕組みを解明するための研究、薬や毒などの物質と生体との相互関係を解明するための研究、生体に有用な物質を創製するための研究などが、互いに連携をとりながら日夜進められている。本講義では、薬学研究の中から主として有機化学あるいは物理化学研究を取り上げ、これらの研究が新薬の創製にいかに重要であるかを平易に解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31453	S	基礎方程式とその意味	濱口 幸一	理学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		基礎方程式とその意味を考える				
授業の目標概要		物理学がもつ「基礎方程式」（基本法則といってもよい）を掘り下げその意味を考える。 本講義の前半では、現代物理学の大きな柱である量子力学を扱う。後半では、波動、拡散、熱伝導、電気伝導、流体など、物質・エネルギーの動きや流れを表す基本方程式を扱う。 高校までの知識をもとに、それらの基本方程式を導入するとともに、具体的な現象への応用例を通じて、方程式の背後にある物理的な意味の理解を目指す。 これらの基礎方程式は、これまでの古典的なイメージと大きくかけ離れたものもあるが、 学生の皆さんの新しい知的冒険を始める一助となるものとしたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31108	S	現代物理学	立川 裕二	物理	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ブラックホールの蒸発問題について				
授業の目標概要		一般相対論によると、物質を非常に圧縮するとブラックホールになる。ブラックホールは古典物理学的には何でも飲み込んでしまい何も外に出られない。一方で、量子力学的に扱うと熱的に振舞い、エネルギーを外側へ放射することが知られている。すると、エネルギー保存則により、ブラックホールはいずれ蒸発してしまうはずである。この一連の過程を考察すると、既存の理論物理の枠組みに矛盾があることがわかり、何処をどのように修正すべきかについては研究者の間でも同意がない。この講義では、どのような問題があるかをおおまかに理解することを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30031	S	振動・波動論	國場 敦夫	物理	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		振動・波動論				
授業の目標概要		音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い，音楽，美しい景色，絵画，写真と生活に喜びを与えてくれる．音と光は共に波動現象の典型例であるが，我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する．たとえば，ブランコはどうして漕げるのだろうかとか，海の波はどうして波打ち際で砕けるのだろうかなど．また，建造物や製品の設計においても，振動・波動の影響は欠かせない． このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を，物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である．その内容は古典的な場の理論の初歩を含み，引き続き量子力学，場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30264	S	相対論	大川 祐司	物理	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		特殊相対性理論				
授業の目標概要		特殊相対性理論の基礎についての講義を行う。 相対性の概念、相対論以前の光の伝播の問題、相対論における異なる慣性系の間の座標変換である Lorentz 変換、テンソルを用いた共変的な記述、相対論的な力学、Maxwell 方程式の相対論的共変性などについて、基本的に教科書に沿って講義を行うが、教科書がなくても理解できるように板書を行う。 高校で習う数学および物理学の知識を前提とし、大学で電磁気学を履修していなくても十分に内容が理解できるように講義を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30365	S	超分子化学	平岡 秀一	化学	火 2	2 年 理科
講義題目		分子認識と分子自己集合				
授業の目標概要		殆どの場合，分子は孤立して存在するというより，常に他の分子と相互作用している．特に溶液中では，必ず分子間における相互作用が存在する．このような分子間相互作用は分子骨格を形成する化学結合（共有結合）に比べとても弱いが，分子間相互作用が生命系の複雑な仕組みと深く関わり，秩序立ったシステムの形成・維持に寄与している．本授業では，ほぼ全ての分子間相互作用を扱い，さらに分子間相互作用の理解を深めるため，分子軌道により解釈される共有結合との比較も行う． 水素結合やファンデルワールス力は分子間相互作用の一つで，高校化学の教科書でも取り扱われている．しかし，分子間相互作用について，いくつもの基本的な疑問がある．水素結合はどういう元素間で形成されやすく，なぜそうなるのか？DNA の塩基対は水素結合で形成されているが，AT ペアより GC ペアの方が強いのはなぜか?単に水素結合の数だけで説明して良いのか？タンパク質はポリペプチドから形成され，アミド間の水素結合により一義構造へ折り畳まれるが，なぜアミド結合が選ばれたのか？なぜ水に溶けにくい物質は水を嫌って集合化するのか？また，水以外にこのような特性を示す溶媒は存在するのか？ファンデルワールス力は分子間相互作用の中で最も弱いが，無視できるほど弱いのか？分子が自発的に集合し，秩序構造を形成する自己集合という現象は，生命システムの形成に欠かせないが，どうやって自己集合体が形成されるのか？自己集合も化学反応の一つだが，その反応機構は，一般的な化学反応と同じような考え方で解釈できるのか？ 本授業では，これらの問題について「分子間相互作用」というキーワードをもとに合理的に考え，結論を導き出していく．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30808	S	統計物理学	堀田 知佐	物理	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		統計物理学				
授業の目標概要		統計物理は，自然界の身近なマクロな現象をミクロなレベルから解き明かす，現代物理学の基礎的な学問である． 鉄は何で磁石に引かれるのだろう？ゴムは良く伸びるけど，手を離せばもとに戻ってしまう， そんな身近な疑問も，分子，原子，電子といったミクロな構成要素が 無数に集まって統計的にどう振る舞うかを定式化すれば 簡単明瞭に理解することができる． 熱力学では抽象的なマクロ変数をもとに熱平衡という概念を扱った．その際にエントロピーという一見正体不明の物理量が出てきただろう． ところが統計物理の言葉では，そのエントロピーの正体も少数の原理を仮定するだけで，実に明快に定義することができるのである． 本講義では，統計物理の枠組みを初歩から理解し，そのうえでゴムや磁石などの問題を具体的に取り上げ，物理学の面白さを知ってもらい，また物理的なものの見方を理解してもらうことを目標にする．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31052	S	物質化学（文科生）	渡辺 正	化学	金 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	化学の知恵をもとに，日常生活（食品・体のしくみ・身近な製品・環境）を見つめ直す。 ★第１回と第２回はオンライン（詳細は本ページの最下欄とＩＴＣーＬＭＳ参照）で行います。 ★★第２回から教科書の内容に入るため，４月１３～１４日までに教科書を必ず入手してください。					
授業の目標概要	中学校理科と高校『化学基礎』程度の知識から「本物の化学」へと歩み出し，それをもとに、命や暮らしと化学のかかわりをつかむ。 原子・分子のミクロ世界を想像する力をつけ，生命のしくみや，暮らしを支える多彩な製品の特性，環境中で進む出来事の素顔を（エネルギーの出入りにも注目しつつ）理解する。 化学用語（和・英）に関心をもつ姿勢も養う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31109	S	物理科学I（文科生）	守田 佳史	物理	金 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	固体の中の’宇宙’とテクノロジー: A Different Universe					
授業の目標概要	古典/量子物理の基礎を学び、 現代（そして未来)のテクノロジーとの関わりを議論したい。 固体（より一般には凝縮系/場合によっては生物も含む）の中にも DifferentUniverse というべき独自の論理があり、 それは応用へのポテンシャルを 秘めていることが伝わればと思います。 基礎から学ぶので予備知識は不要です。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31445	S	分子化学概論	合田 圭介	理学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	分子化学概論／Introduction to Molecular Chemistry					
授業の目標概要	ナノテクノロジー、バイオテクノロジーなどの新しい技術の誕生・発展に伴って、物質や生体が機能を発現するメカニズムを分子レベルでとらえ、制御することができつつある。一方で、化学を基盤とした基礎・応用科学の急速な発展に伴って、高校の化学と専門課程の化学のギャップは大きくなる一方である。本講義では将来、化学のみならず生物科学や物質関連科学を志向する１～２年生にとって不可欠である最新の化学の考え方を理学部化学科の教員がわかりやすく解説する。学部初年のレベルから化学研究の最前線に至る道筋を明らかにすることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30364	S	量子論	加藤 雄介	物理	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	量子力学入門					
授業の目標概要	量子力学における基本的な概念と理論の枠組みを，基礎的な物理系の学習を通して体験する．また，発展的な例を通して，量子論が現代物理学の中でどのように展開しているか概観する．これによって量子論の概要を正しく把握し，今後の学習の基礎付けとすることを目指す.					

基礎化学	開講区分	S

授業の目標・概要　「化学」は単に物質の名前を覚えたり、反応式を暗記するような学問ではなく、基礎的な概念に基づいて、多様な物質の構造や性質を体系的かつ包括的に扱う学問である。本講義では、高校で学んだ化学の知識を基礎として、化学が関わる身近な現象や最先端の技術を題材にしながら、その根底にある化学的な概念をできるだけ平易に解説する。これによって、化学の学問体系を大づかみに理解するとともに、化学の面白さを学ぶことを目標とする。また、本講義は、化学系の基礎科目や専門的な内容を扱う総合科目を学ぶための入門的な役割をもつ。本講義で扱う主な項目を以下に示す。
1. 物質の構成（原子の構造、分子の形成、固体の構造と物性、光と分子）
2. 物質の変化（熱力学の法則、化学平衡、反応速度論）
3. 有機化合物（構造と結合、有機電子論、分析化学、触媒化学）
4. 機能性分子と生体関連分子（高分子化学、超分子化学、核酸、タンパク質）

成績評価方法　各担当教員の UTAS シラバスを参照の事.
教科書　その他。／Other
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30232	月 5	角野 浩史、金井 求	1 年 文科 理一(1-12)理二三(1-8)
30313	火 2	山口 和也、寺尾 潤	1 年 文科 理一(13-21)理二三(14-18)
31056	金 2	高鍋 和広、滝川 浩郷	1 年 文科 理一(31-39)理二三(19-24)
31228	金 5	山田 鉄兵、野崎 京子	1 年 文科 理一(22-30)理二三(9-13)

有機反応化学	開講区分	S

授業の目標・概要　理科生はクラス指定された曜日・時間帯で受講する．この科目では，有機化合物の構造・性質・反応・機構について学ぶ．以下に標準的な講義項目を示す．ただし，項目の順序や内容は各教員によって若干異なる．

１．序論
・物質化学における有機化学の位置づけ．
２．炭素が関与する化学結合
・炭素の原子価状態，正四面体モデル，混成軌道，電気陰性度と結合の極性
・メタン，エチレン，アセチレンの分子軌道（σ 軌道と π 軌道）
３．異性現象と立体化学
・異性体，立体配座，立体配置，不斉現象，キラリティー，RS 表示
４．有機化合物の性質
・分子間力，水素結合，分散力，酸と塩基，共役系，芳香族性
５．有機化合物の反応およびその機構
・脂肪族求核置換反応，脱離反応，付加反応，付加環化反応，転位反応，
芳香族求電子置換反応，カルボニル化合物の反応
・一次反応，二次反応，反応中間体，反応遷移状態，化学平衡
６．目的化合物の合成
・逆合成解析，生理活性物質の合成，機能物質の合成

成績評価方法　担当教員の UTAS シラバスを参照の事。
教科書　その他。／Other
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30002	月 1	大和田 智彦	2 年 文科 理一(11,13-19)理二三(10-13,19,22)
30776	水 5	岩井 智弘	2 年 文科 理一(1-3,5,8-10,22,27-29,32)理二三(1-4,7,9,20-21)
31034	金 1	池本 晃喜	2 年 文科 理一(4,6-7,12,20-21,23-25)理二三(16-18,23-24)
31055	金 2	岩﨑 孝紀	2 年 文科 理一(26,30-31,33-39)理二三(5-6,8,14-15)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30809	S	宇宙科学I（文科生）	鈴木 建	宇宙地球	水 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	天文学・宇宙物理学の基礎的内容					
授業の目標概要	宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31013	S	宇宙科学I（理科生）	諏訪 雄大	宇宙地球	木 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目	宇宙物理入門					
授業の目標概要	宇宙で起こる様々な現象は、物理を用いた観測や理論に基づいて理解が進んでいる。本講義では、こうした宇宙物理という体系の一端を体感するとともに、現在の宇宙観について学ぶことが目標である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30369	S	宇宙科学II（理科生）	榎戸 輝揚	宇宙地球	火 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目	物理学で見る宇宙（X線天文学）					
授業の目標概要	静的で変化のない宇宙像から、激しく変動する動的な宇宙像へ、私達の世界認識は大きく変わってきた。このような動的な現象が起きる高エネルギー宇宙を調べる強力なツールが「X線天文学」である。本科目では、物理学の基礎課程を学ぶことをを大切にしつつ、その知識に基づいて「X線天文学」の入門講座を行う。天文学の知識を得ることと同時に、それを通して物理を学ぶことを目標とする。特に、基礎的な物理の導出をしっかり行った上で、宇宙・天文現象を考える、というスタイルを行う。 本講義では以下のような内容を紹介する。講義順番は変更することがある。 （1）光の性質と宇宙観測の歴史 （2）宇宙の階層構造とX線天体 （3）天体の軌道運動と質量の測定 （4）原子のエネルギー準位とX線分光 （5）宇宙プラズマと熱的放射 （6）ブラックホールの物理学 （7）量子力学とコンパクト天体 （8）パルサーと時系列解析 （9）原子核物理学と放射線の計測 （１０）星間空間でのX線の吸収 （１１）荷電粒子からの非熱的放射 （１２）天文学者が挑む雷の謎（補講で行う）					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30228	S	宇宙科学実習I	吉田 慎一郎	宇宙地球	月 4, 月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	コンピュータを使用した宇宙科学実習					
授業の目標概要	この授業では，国内外の天体望遠鏡，宇宙望遠鏡による天体の観測データを用い，受講者が実際に手を動かして天体の物理的，天文学的情報を引き出す方法の基礎を学びます．また宇宙科学の理論に現れる基本的な方程式をコンピュータで解きながら簡単な数値計算手法を学びます． 場所:KOMCEE-EAST 5 階 宇宙実習室					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31221	S	宇宙科学実習I	吉田 慎一郎	宇宙地球	金 4, 金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		コンピュータを使用した宇宙科学実習 この授業では，国内外の天体望遠鏡，宇宙望遠鏡による天体の観測データを用い，受講者が実際に手を動かして天体の物理的，天文学的情報を引き出す方法の基礎を学びます．また宇宙科学の理論に現れる基本的な方程式をコンピュータで解きながら簡単な数値計算手法を学びます． 場所:KOMCEE-EAST 5 階 宇宙実習室				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30774	S	宇宙科学実習II	谷川 衝	宇宙地球	水 4, 水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		宇宙科学の問題に対するデータ処理と数値計算 情報教育棟の計算機を使い，観測によって得られた星，星団，銀河，宇宙の大規模構造などの天文のデータ処理や，天体の運動に関する数値計算を，自ら行うことにより，現在明らかになっている宇宙像を認識する．また，それに伴いプログラミング言語やグラフィクスの初歩を学習する．データ処理や数値計算に必要なプログラミング言語の予備知識は特に要求しない．プログラミング言語には主に python を用いる．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30994	S	宇宙科学実習II	谷川 衝	宇宙地球	木 4, 木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		宇宙科学の問題に対するデータ処理と数値計算 情報教育棟の計算機を使い，観測によって得られた星，星団，銀河，宇宙の大規模構造などの天文のデータ処理や，天体の運動に関する数値計算を，自ら行うことにより，現在明らかになっている宇宙像を認識する．また，それに伴いプログラミング言語やグラフィクスの初歩を学習する．データ処理や数値計算に必要なプログラミング言語の予備知識は特に要求しない．プログラミング言語には主に python を用いる．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31440	S	応用動物科学I	杉浦 幸二	農学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		動物生命科学へのいざない 哺乳動物が持つ複雑で雑多な生命現象、新たなバイオテクノロジーについて最新の情報を含め、オムニバス形式で解説する。授業内容は、哺乳類生殖学・感染症学・ペットの問題行動・発生工学・記憶と学習・アレルギーの科学・栄養学・RNA 学・ワクチンの科学などが挙げられ、広範な話題が提供される。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31449	S	現代生物学	近藤 修	理学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代生物学/Modern Biology 現代生物学の目標は、生命現象の基本原理（普遍性）と多様性がどのような仕組みで生み出され、また、それらがどのような過程を経て進化してきたのか、という問題について、本質的理解を得ることにある。このため多様な生命現象を対象として、分子・ゲノム、オルガネラ、細胞、組織、器官、個体、集団に至るさまざまなレベルで研究がなされている。本講義では、今まさに進展しつつある最先端の生物学について、その基礎と発展を学ぶ。具体的には、理学部生物学科で人類学・動物学・植物学の各分野を担当する教員が、それぞれの専門研究分野について概説した後、当該分野の最新の研究成果を紹介し、今後、解決されるべき重要課題について講義する。この講義を通じて生物学の面白さを見出し、人類発展における生物学の意義を考えてもらうことを期待している。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30032	S 1	現代生命科学I（文科生、理一生）	笹川 昇	生物	月 1	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要		ヒトを中心とした生命科学 われわれ人間にとって一番身近な生き物はヒトです。この講義ではヒトの話題を中心として、生命科学の現在の進展状況について概説していきます。総合科目の観点から、このくらいのことは知っておきたいという内容を授業で取り上げ、それについて科学的に論じられるようになることを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40122	S 2	現代生命科学I（文科生、理一生）	矢島 潤一郎	生物	金 2	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要		現代生命科学 生命科学の進展は我々の予想をはるかに上回っています。それでも「生命とは何か」といった根本的な問題や、新型コロナウイスルへの対応等、解決すべき点が多々あります。社会に生命科学の知識を還元するためには、文系・理系の枠を超えた知の構築が必要となります。「生物学のようなサイエンスを暗記物にしてしまった」これまでの日本社会の風潮により、文系の人によるサイエンスの理解と理系の人によるサイエンスの理解が大きく乖離してきました。このサイエンスの理解の乖離が、1980-90 年代以降、日本がより高い水準の技術立国へと躍進する機会に、官民が（結果として）正しい判断をできず、テクノロジーに関する競争力低下の一因という可能性があります。ウイルス操作技術・原子力の平和利用など、日本社会で科学的な議論が熟さないのもこうした理解の乖離が一因とも考えられます。本講義では、知識偏重ではなく、「生命とは何か」を考えつつ、原理原則やメカニズムの理解から生命システムを説明する努力をしましょう。こうする取り組みで、「生物学を暗記物にしてしまった」ことで日本社会に残る多くの課題を払拭するヒントを得ましょう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40002	S 2	現代生命科学II（文科生、理一生）	阿部 光知	生物	月 1	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要		植物が周囲の環境とどのように会話して形をつくるのか？ 植物の発生現象に関するさまざまな内容を理解することを目標とする。 植物特有の発生現象に焦点を当て、環境に応じて姿・形を変えていく植物の発生の面白さを学んでいく。単なる知見の紹介にとどまらず、研究の内容や歴史に触れながら講義を進めていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31253	S	自然現象とモデル	長谷川 宗良、塩見 雄毅、加藤 雄介、上野 和紀、堀田 知佐、池田 昌司、福島 孝治	統合自然学科	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　自然現象とモデル

授業の目標概要

授業の目標、概要：自然科学では様々な現象のモデル化を行い、観測結果とモデルに基づいた計算結果を比べることで、モデルの成否を判断し、良いモデルは科学理論として受け入れられる。本講義では、物質の性質、すなわち物性科学にテーマを絞り、自然現象がモデルによっていかに説明されるか学んでもらう。

例えば、リニアモーターカー、スーパーコンピューター、量子通信技術といった最先端の科学技術は，物質の性質，例えば電気伝導度，比熱，屈折率，磁性などを巧みに制御することによって機能している。これらの性質は、物質中のの電子の応答の結果である。

しかし、物質中の電子は、莫大な数があり、直感の通じない量子の世界にあるため、物質の性質と電子応答を関係づけるのは困難である。このため、電子の応答を上手にモデル化し、また多数の粒子に特有な現象をモデル化することで、物質の性質と電子の応答の関係を解説する。

本講義は、統合自然科学科・物質基礎科学コースの物理・化学の教員により行われ、実験を専門とする教員は演示実験を取り入れ、理論を専門とする教員はエレガントな学問体系や理論モデル、コンピュータを利用した先端的な科学について分かりやすく解説する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31439	S	植物医科学	山次 康幸	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　植物医科学概論

授業の目標概要

世界人口は、2050 年には 90 億を突破すると予想されていますが、それを養う食糧生産の増加率は鈍り、人口増加率の半分にも達しません。そんな中で世界の食糧生産のうち三分の一が微生物病や害虫病、雑草害、生理病、気象害などからなる「植物病」によって失われていることはあまり知られていません。これは世界の飢餓人口を十分に養える量です。この危機的な状況を克服するには、植物を病気から守り、治療する研究を推進する必要があります。一方で、近年の環境問題への意識の高まりとともに、持続性の高い先端農業への転換が強く期待されています。農薬や遺伝子組換え作物に変わりうるものとして植物圏微生物叢やゲノム編集作物などが注目を集めています。これら幅広い研究課題を担う学問分野が「植物医科学」です。植物医科学は世界が協調して取り組むべき開発目標 SDGs の 17 のゴールのうち、生産、陸上資源、イノベーション、エネルギーなど実に 10 のゴールに密接に関連する重要な研究分野です。

植物医科学は「植物基礎医科学」と「植物臨床医科学」の二つの側面を持ちます。植物病を防ぐには「なぜ植物は病気にかかるのか」という根本的な疑問についてメカニズムを徹底的に究明する必要があり、そのために最先端の分子生物学、ゲノム科学、AI、バイオイメージング、バイオテクノロジーなど多面的なアプローチにより日々研究が進められています。これらを包括する学問領域が「植物基礎医科学」です。

一方、我が国だけで 2 万種類以上もある植物病を診断し、治療・予防する学問領域が「植物臨床医科学」です。この領域では、「植物基礎医科学」で得られた基礎的な知見を農業現場に活かすことを目的に、最先端の遺伝子組換え技術、ゲノム編集技術、バイオインフォマティクスなどを駆使して、植物病の診断・治療・防除・予防のための高度先端臨床技術の開発を行います。さらに、生産現場で発生する植物の病気を診断し治療する「植物医師」の養成と組織化を担う社会科学的研究分野をも包含します。

本講義では、植物学、微生物学、分子生物学から社会科学までを含む極めて幅広い学問領域である「植物医科学」について、基礎から最先端にわたり易しくかみ砕いて紹介し、「植物医科学入門」の講義構成を心掛けました。植物･微生物･昆虫の関わりについて、分子レベルの課題から有機農業、ゲノム編集作物、環境保全など社会的課題に至るまで平易に紹介し、広く普遍的な生命現象を俯瞰できるように構成しています。この分野にはこれまで触れたことのない方々が多いと思います。この講義を通じて皆さんが日頃見過ごしているに違いない身近にたくさんある植物の病気や植物環境微生物に興味をもって頂き、食糧・環境問題にそれらが深く関わっていることを知って頂きたいと考えています。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30367	S	植物科学	末次 憲之	生物	火 2	2 年 文科 理科
講義題目		植物科学				
授業の目標概要		植物学の基礎的なことを学ぶ。植物の分類、形態、生理反応などを概説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31111	S	植物科学	佐藤 直樹	生物	金 2	2 年 文科 理科
講義題目		植物の不思議を考える				
授業の目標概要		植物に関するさまざまな内容を幅広く理解することを目標とします。 基礎科目としての生命科学を履修した基礎の上に，植物特有の現象に焦点を当てながら，植物の形態，生理，生化学などを中心として学習することになります。植物の進化や環境との関係，人間社会との関係などについても扱います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31441	S 1	食の科学	山内 祥生	農学部	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		食に関する生命科学				
授業の目標概要		食は、ヒトの生命活動に不可欠であり、栄養素の供給のみならず、香りや味覚を介して感覚を刺激し、さらに体内において疾病の発症を遅延・予防する機能性も発揮する。また一方で、バランスを欠いた食生活は糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病の原因になっており、生活習慣病に起因する疾患は世界の主要な死因の一つとなっている。本講義では、食の持つ多様な機能について、多面的角度から学ぶことを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31444	S	森の生物学	久保田 耕平	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		森の生物学：共存する森林生物				
授業の目標概要		授業の目標，概要 森林は，生物多様性のもっとも高い生態系のひとつである。そこでは，多種多様な植物，動物，微生物が互いに影響（相互作用）し合いながら，それぞれを取り巻く環境条件に適応して繁殖し，共存している。 森林内の植物は，取り巻く光環境や水環境に自らを適応させ，光合成により有機物を生産して，森林全体の物質収支を支えている。動物は，その植物を食べて有機物を得ている。さらに，植物や動物の遺体を分解して有機物を無機化するのは，菌類などの微生物の役目である。分解された有機物は，やがて再び植物によって有機物へと合成されていく。こうして，森林内で主役を演じる三者の間を有機物が巡っていくが，有機物の受け渡しに平行して，三者の間では，様々な相互作用が起こっている。例えばナラ類は，異なる光条件下でそれぞれの環境に適するよう，生理機能や樹形を変化させる。また，ブナアオシャチホコやスギカミキリはブナやスギの葉や幹を餌にするが，樹木は摂食を防ぐ様々な仕組みを発動して危害を抑制する。森林内には，植食性動物だけでなく，動物や菌類を捕食したり寄生したりする動物も多数生息しており，それらの間でも多種多様な相互作用が繰り広げられている。一方，林床の落ち葉や枯れ木には，腐朽菌が生息しており，有機物の分解を進めている。その他微生物には，マツタケのようにマツの根に共生して植物の生長を助けたり，逆にならたけ病菌のように様々な樹木に甚大な病害を与えたりして，直接的に樹木と相互作用するものもいる。 この講義では，このような森林で見られる樹木の環境への適応と植物－動物－微生物間の複雑な相互関係を，多面的に紹介し，解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30368	S	進化学	増田 建、嶋田 正和	生物	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		進化生物学				
授業の目標概要		植物分野の増田と動物分野の嶋田の二人で担当する。初回ガイダンスは、4/19（火）2 限に実施し、授業の進め方、課題の提出方法などを解説する。授業第 1 回（4/23）は増田が「生命の起源」を解説し、第 2 回（4/30）以降は嶋田が進化理論の基本に関する概念を解説していく。(2)自然選択による進化の法則、(3)性の進化と性選択： 雄と雌の存在、(4) 分子進化の中立説、(5)種分化と分子系統樹、(6) 血縁選択理論： 利他行動と群れ社会の進化、(7) 協力と裏切り： 進化のゲーム理論が示す社会の様相 を学ぶことになる。 後半は、増田が主に植物の進化について解説する。(8) 代謝系の進化と光合成、(9) 光合成の進化、(10)細胞内共生（真核生物の進化）、(11) 陸上植物の進化、(12) 未来の植物（遺伝子組み換え植物とゲノム編集）についての講義を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31448	S	人類科学	井原 泰雄	理学部	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		人間の本質にせまる科学				
授業の目標概要		生物としてのヒトをあつかう自然人類学の視点から、人類の進化、ヒトの特異性、現代社会におけるヒトの科学について学習し、我々自身に関する理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31447	S	生物情報科学	角田 達彦	理学部	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		生物情報科学				
授業の目標概要		生命科学の最先端の分野である生物情報科学についての基礎をオムニバス形式で紹介する。生物情報科学研究に必要とされる生命科学と情報科学の双方の基礎的な知識と技術を習得する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31443	S 1	生物素材の科学	齋藤 継之	農学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		バイオマスの科学				
授業の目標概要		「バイオマス」とは、動植物などから生まれた生物（bio）資源（mass）の総称で、再生可能素材・再生可能エネルギーの原料として、近年急速に注目が集まっています。地球温暖化対策，循環型社会の構築，農山村の活性化，地域環境の改善など様々な方面での活用が望まれており、化石資源の乏しい我が国において次世代社会での利用が期待されている重要な資源です。 本講義では、高校までの勉強で触れられることがなかったバイオマスに関する基礎を学ぶことができ、さらに地球上に存在する様々なバイオマスの化学的・生物学的変換に関する最新の研究およびバイオマスを材料として利用するための最先端の技術などに関して知識を深めることを目標としています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31418	S 1	生物薬学概論	一條 秀憲	薬学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ケミカルバイオロジーII（生物系薬学からみたケミカルバイオロジー）

授業の目標概要

医療が発達したといわれる現在においても、治療が難しいあるいは治療手段すらない病気が多く、これらの疾患に対する新しい医薬品の開発・創製（創薬）が切望されています。創薬の出発点は治療標的の同定、すなわち病気の鍵となる標的分子の発見とその作用機序の解明にあります。この理解に基づき医薬品の候補となる化合物（低分子有機化合物から生体高分子までを含む）を探索し、安全かつ有効な医薬品が開発されていきます。こうした研究には、「化学的観点あるいは化学的手法を用いて生命現象を解明すると同時に、生体機能を制御する学問分野」であるケミカルバイオロジーの視点が極めて重要です。

病気は身体の中で日常的に営まれている正常な生命活動の破綻により惹起されます。つまり病気の理解のためには正常な生命活動のメカニズムを十分に理解することが不可欠です。実際、生命科学研究の進展により新しい病気の発症機構が次々と明らかになっており、生命科学研究の最先端が薬学研究のフロンティアでもあります。本授業科目では、ケミカルバイオロジーの視点から、生物系薬学分野での最先端の研究結果を織り交ぜながら紹介し、創薬への貢献について解説します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31113	S	先進科学Iα	野口 篤史	先進科学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　量子技術と量子コンピュータ（アドバンスト理科）

授業の目標概要

「量子コンピュータ」この単語を聞いたことがあるだろうか。
近年、大学だけでなく、大企業やベンチャー企業までもが量子コンピュータの開発や応用を目指した研究を進めており、夢のコンピュータである量子コンピュータを使える世界が音を立てて近づいてきている．量子コンピュータが扱う量子情報を担う物理系は，分子や原子からなるものから，超伝導体の電気回路からなる人工的な素子まで様々なものが研究されてきた．この講義では，量子コンピュータが扱う量子ビットの基礎を学ぶ。また、授業の中では IBM Q Experience が提供する超伝導量子コンピュータ実機を使用可能なクラウドサービスを利用し、量子アルゴリズムを実際にプログラムし、量子コンピュータにて実行する演習を行う。また、授業の後半ではハードウェアとしての超伝導量子コンピュータの仕組みやその他の量子技術について解説する。
最終日の授業には、実際に超伝導量子コンピュータの研究をおこなっている実験室の見学をする。
python の記述経験や量子力学への知識の有無は問わないので、量子コンピュータ・量子力学に興味のある学生を歓迎します。
受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時にレポート課題によって数学などに関する基礎学力の確認と量子力学への学習意欲に関する調査を行い選抜する。その結果、受講対象者をアドバンスト理科のホームページに掲載する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31114	S	先進科学IIIα	柳澤 実穂	先進科学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　物理学による生命の記述（アドバンスト理科）

授業の目標概要

「生命の神秘」を見たとき、それを物理学で説明できたならば、その「神秘さ」は失われてしまうでしょうか。あるいは、「物質の神秘さ」をもたらすでしょうか。皆さんの答えがそのどちらであったとしても、生命現象の根底には数多くの物理法則が存在しています。例えば、細胞運動ではタンパク質溶液の液体－固体相転移（ゾル―ゲル相転移）やタンパク質の反応拡散波が鍵となります。また近年、細胞内ではタンパク質や核酸が会合し、膜を持たないオルガネラとして機能することが分かってきました。この現象は相分離と呼ばれ、その原理はドレッシングで生じる水・油の分離と同じものです。試験管中でみられる相分離や相転移といった現象は、理論的に記述できるものの、少量かつ非平衡な細胞内での振る舞いとは異なる点も多くがあり、物理的に説明できない現象も多く存在します。こうした溝を埋めるべく、生物学と物理学が協力して研究を展開してきています。本講義では、物理学で説明できる（はずの）物質と生物の境界を明確化することで、現在の物理学で説明できる「物質の神秘さ」や説明できない「生命の神秘さ」を味わうことを目指します。そのため、物理学は得意ではないけれど好きな生物学を極めたい、あるいは、生物学は得意ではないけれど物理学を極めたい、という方を歓迎します。
本講義の前半では、ソフトという力学的性質の定義から、従来の気体・液体・個体とは異なるソフトマター全般の力学的性質について理解します。その後、生物細胞を題材に力学や熱力学、統計力学の知識を総動員しながら、生命を特徴付ける「生物の形、物質の移送、運動」といった現象について物理的に表現します。さらに、状況が許せば、物質である人工細胞と生細胞を実際に観察したり、マイクロキャピラリーと呼ばれる非常に細いガラス管やレーザーピンセットを直接操作する、生物らしさの体験も行います。
本講義では、議論やデモ実験を行うため、受講人数を 20 人程度に制限します。受講希望者が 20 名を超える場合には、ガイダンス後に基礎学力の確認と、生物学と物理学の複合領域への学習意欲に関する調査による選抜を行います。また選抜試験を行った場合、優 3 割ルールの適用外となり、成績は 3 割を超えて優を与える場合があります。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31450	S	地球惑星物理学入門	橘 省吾、今田 晋亮、三浦 裕亮、河合 研志	理学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	物理で理解する地球惑星科学					
授業の目標概要	地球惑星でおこる多くの現象は、物理学的なアプローチで研究されている。たとえば、気象は流体力学、地球内部は固体物理学、宇宙空間はプラズマ物理学、惑星形成は天体力学などを基礎としてさまざまに展開している。本講義では、このような物理学について基礎方程式を示すとともにその背景にある物理的意味を詳説し、具体的にそれがどのように最新の地球惑星物理学研究の中で使われているかを講義する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31442	S 1	天然物の科学	高山 誠司	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	生命を支える生理活性物質					
授業の目標概要	生物が作り出す分子の実体解明から天然物科学がスタートした。それらの中には、生殖、発生・分化、成長、恒常性維持などにおいて、きわめて微量で特有の作用を示すものがある。これらを総称して、「生理活性物質」と呼んでいる。農学部ではこれまで、最先端の精製・構造解析技術を取り入れることで、ビタミン、薬理活性物質、ホルモン、フェロモンなど様々な生理活性物質の発見に成功してきた。新たな生理活性物質の発見は、生命の理解を飛躍的に深化させると同時に、人類の生活の向上に大いに貢献する。そして今日では、生物に関するゲノム情報など多彩な情報の蓄積に伴い、生理活性物質の探索は新たな局面を迎え、従来では全く想定されなかった分子が次々と発見されるに至っている。本科目では、新たな生理活性物質の発見に挑戦している教師陣による講義を通じて、生理活性物質化学の考え方と研究の現状について学ぶ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30366	S	動物科学	道上 達男	生物	火 2	2 年 文科 理科
講義題目	大学教養で学ぶ動物科学					
授業の目標概要	本講義では、1 年生で履修した生命科学 I 及び II の内容を踏まえた上で、動物の分類、機能、構造などに関する基礎的な内容を概説する予定です。具体的には授業計画に記載した内容（おおむね「キャンベル生物学原書 11 版」の 32-34 章、40-51 章に対応）を予定していますが、順序や区切りは変更される可能性があるので、詳細は初回時に説明します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31110	S	動物科学	大杉 美穂	生物	金 2	2 年 文科 理科
講義題目	動物科学：哺乳類の受精・発生					
授業の目標概要	動物個体の発生、構造、機能についての基礎的な内容を、どのような実験によって得られた知見であるかについて触れながら概説する。特に、受精・発生について哺乳類と他の脊椎動物との間にはどのような違いがあるかといった視点からの解説を行い、がんや生殖医療・再生医療など、日常生活で耳にする事柄についての動物科学的な理解も目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31438	S	微生物の科学	勝山 陽平	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	微生物のバイオテクノロジー					
授業の目標概要	バイオテクノロジーは、ヒト以外の生物、特に微生物が保持する様々な能力を人類のために役立てることを目的とした科学技術である。アルコール飲料の醸造に端を発するこの技術は数千年の歴史を持つ。現代では食糧生産、環境浄化、医薬品生産などを通じて社会を支える重要な科学技術である。また、最近では遺伝子組換え技術の発展に伴い、進化工学や合成生物学、ゲノム編集といった新たな概念が生まれ、バイオテクノロジーの応用範囲は広がりつつあり、持続可能な社会を構築する上で重要な技術の一つである。本講義では、バイオテクノロジーを支える主要な学問である応用微生物学を中心に、これが食糧、医薬そして学問の発展などに果たしている意義を、私たちが現在行っている研究を例に挙げつつ講義する。それを通してバイオテクノロジーの中身を正確に理解し、応用微生物学 (バイオテクノロジー) と現代社会の関係を把握することを目標にする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31407	S	物質・生命工学基礎I A	竹中 充	工学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ナノ物理・情報エレクトロニクスの基礎 ナノテクノロジー、情報化社会、エレクトロニクスという言葉を聞いたことがあるだろう。これらの先端技術は、electron（電子）のもつ性質を自在に活用し、工学として人間社会に役立てるという考え方の上に成り立っている。エレクトロニクスは、現代社会のあらゆる方面にわたって不可欠な基盤技術であるだけでなく、今後到来すると予想される人工知能社会や量子情報社会においてもそれらを支える必須の基盤技術として、その重要性は増す一方である。この発展を支えているのは、トランジスタを多数組み合わせたプロセッサやメモリなどの集積回路(VLSI)であり、半導体レーザ、光スイッチ、光ファイバなどを用いた光エレクトロニクスである。半導体集積回路(VLSI)は、コンピューターや携帯端末などあらゆる電子機器の心臓部であり高機能化をめざして活発な研究が続けられている。また、光通信や光情報処理技術の必要性が増すと共に、光ファイバ、半導体レーザなどの光エレクトロニクスデバイスも急速に発展しつつあり、グローバルな通信ネットワークを支えている。これらのシステムやデバイスの基盤となる半導体結晶や新しい光・電子材料の開拓など、ナノテクノロジーも含めた基礎物性の分野（物性科学との境界領域）も重要である。特に次世代のデバイスは、ナノメートル(10^-9 m)スケールの物理学（ナノ物理）を理解することなしにありえない。本講義では、工学部電気電子工学科の教員が現代社会を支える情報エレクトロニクスの基礎をわかりやすく解説し、AI や量子コンピューター等にもつながる研究の最前線の状況についても紹介したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31409	S	物質・生命工学基礎I B	古澤 明	工学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		量子コンピューター入門 量子コンピューターの研究は、微細加工技術が進歩し、情報処理を担う「素子」が原子レベルに近づきつつある今日、当然の流れと言えよう。「素子」が原子レベルに近づくと、その動作はニュートン力学ではなく量子力学という運動法則に支配される。そこでは、アインシュタインとボーアの論争に代表されるシュレーディンガーの猫状態やＥＰＲ相関（一種のテレパシー？？）が実際に起こる。量子コンピューターでは、これらの摩訶不思議な「量子効果」を用いて、情報のやり取りや情報処理を行う。この講義では、量子コンピューターの原理と現状についての入門的な講義を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31112	S	惑星地球科学I（文科生）	小河 正基	宇宙地球	金 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		地球内部の研究の歴史 「山はどうやってできたのか？」、「地震や火山活動はなぜ起こるのか？」「地球は 45 億年の間にどのようにその姿を変えたのか？」といった疑問に地球科学者がどのように答えていったかについて、研究者の個性がどう学問の発展に影響したかといった話題にも触れつつ、学問の発展の歴史を辿りながら解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30265	S	惑星地球科学I(理科生)	小宮 剛	宇宙地球	月 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		地球惑星科学概論 I 人類が生活する惑星地球の構成および進化の基本を理解する。地学の基礎を包括的に学ぶ授業として、惑星地球の全体像と進化を説明する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30101	S	惑星地球科学II(理科生)	中村 尚、升本 順夫	宇宙地球	月 2	1 年 理科 2 年 理科

講義題目　地球気候の形成・変動と大気海洋システム

授業の目標概要

ノーベル平和賞にも輝いた 2007 年発表の IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第 4 次評価報告書は，地球温暖化と環境変化に関する社会の大きな関心を呼んだ．だが，2011 年の原発事故を経て，地球温暖化への日本社会の関心は一見低下したかに見えた．一方，2018・19・20・21 年暖候期に実際に経験したように，社会に大きな影響を及ぼす猛暑・冷夏，暖冬・寒冬，豪雨・旱魃などの異常気象への関心は防災・減災上の観点から益々高まりつつあり，異常気象と地球温暖化との関連性が依然として議論されている．こうした折，昨年夏 IPCC から第 6 次評価報告書が発表され，地球温暖化への関心が再び高まりつつある．人間活動に伴い CO2 など大気中の温室効果気体の濃度が増加し，地上気温に見られる顕著な上昇傾向は紛れもない事実である．IPCC 評価報告書では，今世紀末までに顕著な温暖化が予測されており，海面上昇や海氷域の顕著な減少，海洋の酸性化，中緯度大陸の乾燥化など，地球環境に及ぼす深刻な影響が懸念されている．国連の「持続可能な開発目標（SDGs)」の達成も，地球温暖化・気候変動問題の解決なくしては困難であろう．我が国でも原発事業が縮小される中，再生可能エネルギーへの移行が順調に進まない限り，温暖化リスクがさらに高まる可能性も否定できない．そうした中，2015 年末に「パリ協定」が締結されて地球温暖化に対する世界的な取組みが開始され，日本政府もようやくその方向に舵を切った．

このように，地球温暖化に対する様々な緩和策や適応策が採られつつある中，まず求められるのは地球気候の成立ちとその過去から現在に至る変遷，さらには温暖化のメカニズムと予測される気候の将来変化に関する科学的理解である．本講義の目的は正にそれであって，地球温暖化を環境問題として社会倫理の観点から論じたり，温暖化の事実や予測をただ受け容れた上でその対策について論じたりすることでもない．平均状態として温暖化しつつある大気海洋系も，内在する自然変動のために常に揺らぎ，過去に例のない極端な天候が生起しやすくなっている．最新の研究により，温暖化シグナルがこうした自然気候変動パターンの変化として現れやすいこと，それ故に温暖化シグナルの地域予測にある程度の不確実性が不可避なこと，さらには 10 年規模の長期自然変動により地球温暖化が加速したり停滞したりすることなどが示唆されている．よって，気候系の自然変動や天候変動のメカニズムの理解を深めることも，温暖化した将来の防災・社会適合上の観点からも重要である．

本講義では，受講者が高校で地学を履修してこなかったことを前提とし，地球気候の成り立ちや大気・海洋の循環やその変動のメカニズムの基礎を解説したのち，地球温暖化やオゾンホールに代表される人為的気候変化のメカニズムや予測されている気候への影響について解説する．

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30227	S	惑星地球科学実習	澤木 佑介	宇宙地球	月 3, 月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　惑星地球科学実習

授業の目標概要

科学は自然現象の観察、データ収集とその取り扱い、解釈という三つの過程を経て論じられ、発展してきました。特に、地球科学は野外実習を通し体験的に科学を学ぶことができ、それらを身近に体験することのできる学問です。本実習では野外観察・室内実験・実習とその議論を通して、地球科学のみならず、科学的なものの考え方を学びます。

使用する道具や材料の数に限りが有るので，受講者希望者数が予定数(40 人)を超えた場合は，初回授業時に抽選等による選択を行います．

月曜日，火曜日の 2 回同じ授業を行うので，いずれかの曜日を選択して下さい.また、 本授業は 3，4 限の 2 コマ続きで行います。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30526	S	惑星地球科学実習	澤木 佑介	宇宙地球	火 3, 火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　惑星地球科学実習

授業の目標概要

科学は自然現象の観察、データ収集とその取り扱い、解釈という三つの過程を経て論じられ、発展してきました。特に、地球科学は野外実習を通して体験的に科学を学ぶことができ、それらを身近に体験することのできる学問です。本実習では野外観察・室内実験・実習とその議論を通して、地球科学のみならず、科学的なものの考え方を学びます。

使用する道具や材料の数に限りが有るので，受講者希望者数が予定数(40 人)を超えた場合は，初回授業時に抽選等による選択を行います．

月曜日，火曜日の 2 回同じ授業を行うので，いずれかの曜日を選択して下さい.また、 本授業は 3，4 限の 2 コマ続きで行います。

総合科目　F（数理・情報）

微分積分学続論	開講区分	S

授業の目標・概要	多変数の微分積分学における様々な基本的手法を取り上げ，例を中心として必要な理論を学び，具体的な問題を扱えるようにする． 数学・物理学はもちろんのこと，幅広い理学・工学で用いられる重要かつ有用な手法を取り扱うので，将来少しでも数学的道具を使うのであれば必須の内容である．
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/advanced_calculus.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30370	火 2	柏原 崇人	2 年 文科 理科
30371	火 2	中野 雄史	2 年 文科 理科
31014	木 5	阿部 紀行	2 年 文科 理科
31015	木 5	三竹 大寿	2 年 文科 理科

常微分方程式	開講区分	S

授業の目標・概要	種々の量の時間発展は，多くの場合，常微分方程式を用いて記述できる．また，電柱の間にぶら下がった電線の形状や屈折する光の経路をはじめ，さまざまな曲線の幾何学的性質を常微分方程式によって特徴付けることができる．常微分方程式は，自然科学や工学，社会科学などの多くの分野で重要な役割を演じている．この講義では，常微分方程式の理論的基礎を学ぶとともに，幾つかの重要な具体例を取り上げ，それぞれの方程式の解法と解の性質について解説する．これらの内容の理解には，微分積分学，および線型代数学で学んだ固有値・固有ベクトルに関する基礎知識が必要となる．したがって，本講義はこれらの知識の総合的応用篇であるとともに，進んで偏微分方程式論を学ぶための入門篇でもある．
成績評価方法	主として定期試験によるが，担当教員によっては小テストやレポート等を含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ode.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30819	木 1	坂井 秀隆	2 年 文科 理一(1-10)
30820	木 1	岩木 耕平	2 年 文科 理一(11-17)
30821	木 1	柏原 崇人	2 年 文科 理一(18-24)
30822	木 1	松本 久義	2 年 文科 理一(25-32)
30823	木 1	松尾 厚	2 年 文科 理一(33-39)
30824	木 1	緒方 芳子	2 年 文科 理二三(1-2,5,7-11,17)
30825	木 1	長谷川 立	2 年 文科 理二三(3-4,13-16,18,21)
30826	木 1	植田 一石	2 年 文科 理二三(6,12,19-20,22-24)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30102	S	ベクトル解析	加藤 晃史	数学	月 2	2 年 文科 理科

講義題目　ベクトル解析
授業の目標概要　１年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが，自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や，各点の電荷密度のように空間上の関数などが， よくあらわれる．さらに電磁気学における磁場のように，空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い．ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ， 実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる．そのような種々の関数があらわれ，微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が，電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる．本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する．

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30103	S	ベクトル解析	坂井 秀隆	数学	月 2	2 年 文科 理科

講義題目　ベクトル解析
授業の目標概要　１年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが，自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や，各点の電荷密度のように空間上の関数などが， よくあらわれる．さらに電磁気学における磁場のように，空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い．ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ， 実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる．そのような種々の関数があらわれ，微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が，電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる．本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する．

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31115	S	ベクトル解析	足助 太郎	数学	金 2	2 年 文科 理科

講義題目　ベクトル解析
授業の目標概要　１年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが，自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や，各点の電荷密度のように空間上の関数などが， よくあらわれる．さらに電磁気学における磁場のように，空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い．ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ， 実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる．そのような種々の関数があらわれ，微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が，電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる．本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する．

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31116	S	ベクトル解析	清水 勇二	数学	金 2	2 年 文科 理科

講義題目　ベクトル解析
授業の目標概要　１年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが，自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や，各点の電荷密度のように空間上の関数などが， よくあらわれる．さらに電磁気学における磁場のように，空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い．ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ， 実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる．そのような種々の関数があらわれ，微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が，電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる．本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する．

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30266	S	解析学基礎	金子 宏	数学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		解析学基礎				
授業の目標概要		解析学の要である無限操作を誤りなく扱うには深い理解が必要である．この講義では，実数の連続性と ε-δ 論法に基づき，数列や関数列の収束などの解析学の基礎となる概念をきちんと取り扱うことによって理解を深める．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30810	S	解析学基礎	高田 了	数学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		解析学基礎				
授業の目標概要		解析学の要である無限操作を誤りなく扱うには深い理解が必要である．この講義では，実数の連続性と ε-δ 論法に基づき，数列や関数列の収束などの解析学の基礎となる概念をきちんと取り扱うことによって理解を深める．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30841	S	数理科学概論I(文科生)	志甫 淳	数学	木 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		数理科学概論I				
授業の目標概要		文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて，二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を理科生向け総合科目「微分積分学続論」で学ぶことができるが，そのためには「数学 II」「数理科学概論 II」もあわせて履修しておくことが望ましい．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30372	S	数理科学概論III(文科生)	関口 英子	数学	火 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		対称性の数学 複素数の幾何と対称性				
授業の目標概要		複素数を複素数に移す写像の中で、「一次分数変換」という四則演算で表される変換がある。 定義は簡単であるが、その幾何構造・代数構造は現代数学における重要な概念である、群やリー群や複素幾何に深く繋がっている。 この講義では、複素数の割り算で表される一次分数変換が、複素平面上の円を円に移すという、驚くべき性質や、写像の合成が「群」という代数構造につながっていること、また、n 次方程式が複素数の範囲内で解けるという定理などの重要で基礎的な事項を説明する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30373	S	統計データ解析II	小池 祐太	数学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		データサイエンス入門				
授業の目標概要		ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析IIでは、統計ソフトウェア R の説明の後、高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析、および時系列データの基本的な解析法を学ぶ。統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え、微分積分学、線型代数学等の前期課程数学と連携し、数理科学的側面を意識しながら、実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30811	S	統計データ解析II	小池 祐太	数学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　データサイエンス入門

授業の目標概要　ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。

統計データ解析IIでは、統計ソフトウェア R の説明の後、高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析、および時系列データの基本的な解析法を学ぶ。統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え、微分積分学、線型代数学等の前期課程数学と連携し、数理科学的側面を意識しながら、実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31117	S	統計データ解析II	鎌谷 研吾	数学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　データサイエンス入門

授業の目標概要　ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。

統計データ解析IIでは、統計ソフトウェア R の説明の後、高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析、および時系列データの基本的な解析法を学ぶ。統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え、微分積分学、線型代数学等の前期課程数学と連携し、数理科学的側面を意識しながら、実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する。

図形科学B	開講区分	S

授業の目標・概要　３次元立体形状の図的表現および形状処理について、手描作図に基づいた図法幾何学を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う。
主な項目は以下のとおり。
１.投影法
1.1 投影―投影の原理,各種投影法
1.2 軸測投影,透視投影
２.正投影による空間図形の表現と解析
2.1 点・直線・平面―主・副投影,直線の実長,平面の実形,交わり
2.2 基本的立体―多面体,(円)錐,(円)柱,球,その他の曲面
2.3 基本立体の交わり―切断,相貫

成績評価方法　出席点、講義期間中に課したレポートおよびセメスター末試験。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30076	月 2	奈尾 信英	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(5-6,8,29)理二三(1-3,6-9,20-22)
30652	水 2	横山 ゆりか	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(12-14,38)理二三(5,12-13,16,18-19,24)
30729	水 3	金井 崇	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(10,15,18,22-23,27-28,30)理二三(23)
30755	水 4	椎名 久美子	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(7,11,16-17,19,24,36-37)
30932	木 3	腰原 幹雄	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(1-4,9,21,26,31-34,39)
31198	金 4	齋藤 綾	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(20,25,35)理二三(4,10-11,14-15,17)
31845	集中	金井 崇	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31416	S 1	モデリングとシミュレーション基礎I	菅野 太郎	工学部	火 2, 金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
コンピュータモデルで社会を観る－社会システムデザインのための科学的アプローチ－

授業の目標概要
社会問題の解決や社会制度設計に役立てるために、人の行動データや WEB 上のビッグデータから統計、数理、認知科学、社会科学、計算機科学などの原理に基づいて様々な人間集団や社会のモデルを構築し、エージェントシミュレーション、ネットワークシミュレーション、インタラクティブシミュレーションなどのコンピュータシミュレーション技術を用いてその振舞いをダイナミックに予測、解析する手法が注目されつつある。本講義では、こうした社会モデリングとシミュレーション技術を活用した社会システムデザイン・分析の代表例と最新の適用事例について紹介しその可能性について議論する。
1「社会システムのモデリングとシミュレーションのための基礎知識」
1.1 基本用語と社会システムデザインの概要
1.2 ヒューマンモデリング I（ヒューマンモデルとは）
1.3 ヒューマンモデリング II（チーム・組織・インタラクション）
1.4 コンピュータシミュレーションの使い方（理解・予測と検証、発見と共創）
2「基本モデルの紹介」
2.1 ライフゲームと創発性
2.2 社会心理モデルとゲーム理論
3「応用例の紹介（金融市場のモデリングとシミュレーション)」
3.1 金融市場の特徴と金融データの統計解析
3.2 金融市場のモデリング
3.3 金融市場のコンピュータシミュレーション
3.4 金融市場制度設計に向けて
4「まとめ」
4.1 まとめ

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31412	S	モデリングとシミュレーション基礎I	神原 淳	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
モデリングと未来予測入門 ～シミュレーションと機械学習でマテリアルの未来を予測する～

授業の目標概要
高効率なエネルギー利用や，地球温暖化，資源セキュリティなど，今日の日本は数多くの課題に直面しています．これら不確実な将来と向き合い，安全で快適なそして環境に優しい社会を構築していく必要があります．どんなに複雑な事柄であっても，それらをモデル化し，単純な数式で表現することで，将来起こりうる事をある程度の確度で予測することが可能になります．対象の大小，時間の長短に関わらず取り組む方法は基本的には同じです．
そこで本講義は，身の回りで起きている様々な事象をモデル化，シミュレーションして，未来を予測する基本アプローチを実践的に修得することを目的とします．題材には，実験装置の中で起こる反応の原子・分子の動きから，実際の材料生産現場などで制御する熱伝導現象，地球規模での環境問題や市場発展など，1 ピコ(1 兆分の 1)秒から数分，数 10 年の時間スケールを取り上げます．さらに、機械学習などのデータ駆動型手法を用いて新たな材料開発・プロセス開発を進める最新のマテリアル・インフォマティクスのアプローチをに繋がる機械学習の基礎についても紹介します．また、得られた結果をただ「見せる」だけでなく「魅せる」ためのプレゼン技術についても言及し，文系理系を問わず多くの皆さんにモデル化と未来予測の全体像から利用の仕方、楽しさを学んでもらうことを目的としています．

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30001	S	基礎統計	安藤 雅和	経済・統計	月 1	1 年 文科 理一(1-10)理二三(1-6,8,13) 2 年 文科 理一(1-7,36-38)理二三(6,8,14,16)
講義題目 授業の目標概要		基礎統計 統計学は、日常生活や社会で起こる様々な現象を観察し、そこから得られる数値データを分析（記述、検証など）して、その現象の法則性を探っていくことを目的としている。近年のコンピュータの普及に伴い、容易にソフトウェアを用いてデータ分析ができるようになってきたが、データの特性や分析の目的に応じた統計手法を用いるためには、統計学の基礎的概念を理解し、数値結果を適切に評価する能力を身につける必要がある。そこで、本講義では、統計学の基礎的概念と統計手法について解説し、どのように現実の問題に適用されているのかを身近な例を用いて説明する。通常、データには対象について知りたいと思う性質とは無関係な変動が加わる可能性があり、そのような偶然的な変動は、確率論の法則に従うものと考えられるため、確率論についても取り上げることにする。そして、確率論を背景にして体系づけられた統計的推測について、推定と仮説検定を通して学ぶ。受講後には、新たな問題に直面した時に自ら統計分析を行い問題解決ができるようになることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30233	S	基礎統計	来島 愛子	経済・統計	月 5	1 年 文科 理一(26-33)理二三(12,21-24) 2 年 文科 理一(23-27,29-30,39)理二三(5,12-13,24)
講義題目 授業の目標概要		統計学入門 コンピュータの発達により非常に多くのデータを収集し、分析することが可能となった現在、自然科学や社会科学、多くの分野において統計学の考え方と統計的方法を正しく使うことが必要不可欠となっている。本講義では統計学の基礎となる概念、考え方を解説する。統計学において確率論も重要な基礎であり、記述統計（データの収集・要約）、推測統計（推定・検定）と合わせて扱う。大学の専門課程などにおいてデータを統計的に分析することができるように考え方を身につけることが目標である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30978	S	基礎統計	松浦 峻	経済・統計	木 4	1 年 文科 理一(13-17)理二三(7,11,14-16) 2 年 文科 理一(20-22,31-35)理二三(17-18,23)
講義題目 授業の目標概要		基礎統計 文理を問わず、あらゆる学問において、データを適切に解析・理解するスキルは重要であり、従って、統計学の素養を身に付けることは必須である。本講義では、(i)データを整理するための平均・分散・ヒストグラムなどの記述統計、(ii)データのふるまいを表す確率分布、(iii)記述統計と確率分布の両者を基礎としてデータを解析する統計的推測、それぞれの基本事項の修得を目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31054	S	基礎統計	倉田 博史	経済・統計	金 2	1 年 文科 理一(11-12,18-25)理二三(9-10) 2 年 文科 理一(8-10,13-14,28)理二三(1-4,7,9-10,19)
講義題目 授業の目標概要		統計学入門 本講義では、初めて統計学を学ぶ学生を対象に、データ解析・統計学の考え方と実際について、その基本事項を解説する。対象は文理を問わない。専門学部で諸科学を学ぶ際に特に重要な、確率分布（＝現象のモデル化)、独立同一分布性（＝同一条件の下での繰り返し実験)、統計的推測（＝データから母集団への推論）の考え方を理解することに焦点を当てる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31227	S	基礎統計	宮田 敏	経済・統計	金 5	1 年 文科 理一(34-39)理二三(17-20) 2 年 文科 理一(11-12,15-19)理二三(11,15,20-22)
講義題目 授業の目標概要		基礎統計 統計学とは、調査や実験で得られたデータを基に、そのデータを生み出した背景因子の関係を推測する方法を提供する学問である。本講義は、統計学に初めて触れる初学者を対象に、統計学とデータ解析の基本的な概念と手法を紹介する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31446	S	計算の理論	今井 浩、小林 直樹	理学部	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		計算の複雑さと形式的意味論 計算は、小学校で学ぶ四則演算から始まって、高校までに多項式・関数そしてその微分・積分など様々なものを学ぶ。高校では、教科情報でコンピュータによる計算も少し学び、プログラミングも経験しているだろう。大学では、より高次の計算を対象として学び、情報科学技術が社会基盤となった現代における基盤的学問として理工系分野ではどの分野でも、社会科学分野でもかなりの分野で勉学してくことになる。 本講義は、情報科学の立場から、計算を科学していく。計算とは、何らかの機構を用いて入力情報から所望の条件を満たす出力情報を得る過程であり、人間が自ら能動的に得ることができる操作である。その立場からは、自然界の種々のことも計算という観点で解釈して、新たな世界を開くこともできる。ここでの計算は、高校までのものと違い、理論として確固たる基盤をもつ対象であり、その神髄を知ることは次世代の情報科学技術を創出し、今とは違った情報社会を構築していくことにつながる。 講義は、大学 1，2 年次の学生を対象に、このような計算の理論をわかりやすく講究し、人類が自ら操作して得る新たな科学としての情報科学を理解することを目指す。計算の理論を学ぶことにより、知能に関する研究も自らの視野に入れることができるようになり、そのような方向も示すことにより、初学者を計算と知能を最先端で研究する情報科学の理論にいざなう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30375	S 1	計算機システム概論	森畑 明昌、千葉 滋、須田 礼仁	教養学部	火 2, 金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　計算機システム概論

授業の目標概要　計算機システムは現代の情報化社会の基盤となっています。本講義では、計算機システムについて、様々な側面から、それがどのように構成されているか、それを設計・利用する上で理解しなければならない基本原理は何か、ということを学びます。
具体的に扱うトピックは以下の通りです。
1. 計算機アーキテクチャと高速化技術
2. Operating System
3. データベースシステム
4. 分散・並列処理
5. 科学技術計算
6. 人工知能
7. セキュリティ
8. プログラミング言語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30267	S	計算機プログラミング	松島 慎	教養学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　プログラム構成論

授業の目標概要　本講義では、プログラミングの基礎となるデータモデルの考え方を理解し、代表的なデータモデル、例えば、リスト、スタック、キュー、集合、木、グラフ、論理などについては、活用できるようになることを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31408	S	情報システム基礎I	古関 隆章	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　情報システム基礎I 「足からロケットまで---走る／飛ぶ／探る科学入門」

授業の目標概要　人や物を効率良く運ぶことが、文明社会の成立に欠かせず、移動手段を提供する技術が、我々の生活の基本を支え、そして生活を楽しく豊かにするために大切です。実際、日常的な生活の中で、自動車や鉄道などの身近な交通は不可欠なものとなっていることを実感しているでしょう。人々は太古の昔から、速くて、快適で、便利な移動手段を求めてきました。近年は、これに加えて、安全性への意識も高まっており、環境への負担の少ない交通、高齢社 会への移行に伴い「交通弱者でも移動の自由が奪われない」バリアフリーに対応した交通など、移動手段の「質」に対する要求もさらに高いものとなっていま す。このような様々な要求に応える「運ぶ」営みのために、電気や情報の技術が貢献できることは多く、交通における電気・電子・情報技術の役割はますます大きくなっています。
本講義では、このような視点から、電気エネルギーおよび情報通信や計算機技術を積極的に用いて人や物を「うまく」運ぶ方法論をオムニバス形式で解説します。高校や教養学部で習う物理や数学の延長上にどのようにこれらの技術が構築されているかをできるだけわかりやすく具体的に解説するとともに、最新の研究動向を紹介します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30374	S	図形科学演習I	舘 知宏、三木 優彰	情報・図形	火 2	2 年 文科 理科
講義題目		ボロノイ図、透視図、曲線折紙				
授業の目標概要		目標： 形状を用いた思考は、言語や数式を用いたものとは本質的に異なるプロセスで理解や創造を飛躍的に手助けする。また図や模型製作による表現は、設計（デザイン）・製造分野における共同作業に欠かせないコミュニケーション手段でもある。本授業では、手描き製図と模型制作を通じて諸概念の図形的理解を深め、設計および、形を通した諸科学現象の解明のための基礎技能を修得する。 概要： 1. 様々な物理現象に現れるボロノイ図について幾何学的理解を深め、平面図形のオフセット、二次曲線でできた Medial Axis の作図を行う。 2. 視覚における透視投影の仕組みについて理解し、実際に立体形状の透視図を作成する。 3. 線織面・可展面について学び、立体の切断と可展面の展開の作図、曲線折紙の製作を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30812	S	図形科学演習II	山口 泰	情報・図形	水 5	2 年 文科 理科
講義題目		グラフィクスプログラミング				
授業の目標概要		Python プログラミングを通じて，2 次元および 3 次元コンピュータグラフィクスの基礎について学習する.				

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31584	S	30 年後の世界へ ――「共生」を問う	石井 剛	教養学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

東京大学東アジア藝文書院（East Asian Academy for New Liberal Arts, EAA）は 2019 年度以来、教養学部で「30 年後の世界へ」を共通テーマとするオムニバス講義を行ってきました。「30 年後の世界」は具体的に今日から 30 年後の世界のことを指しているわけではありません。受講者のみなさんが社会の各領域で中心的な役割を担っているであろう未来のことを象徴的に表すものです。そこに至るまでの道のりは、みなさん一人一人が自分で、そして他の誰かと手を取り合って歩いて行くものです。未来はしたがって、みなさんの外側からやってくるものではなく、みなさんがわたしたちと共に創りあげていくものなのです。「30 年後の世界へ」とはつまり、みなさんが自身の未来を想像するための手がかりとなる言語を探す旅の始まりを劃すわたしたちからの呼び声にほかなりません。教養とは持てる知識の量的な豊かさではなく、未来を創りだすために必要な言語を不断に鍛え続けるプロセスのことを指すと、わたしたちは考えます。

2022 年度の講義では「共生」という概念について問い直してみます。

共生ということばが使われるようになって久しくなりました。人、文化、社会、技術、自然など、「他者」と名指されるあらゆる存在と共生することが多様（diverse）で包摂的（inclusive）な、わたしたちのあるべき社会の本来の姿だとされています。

このことばは、生物の世界において異なる生物種が相互依存の関係にあることを示す symbiosis に通じると理解されることが多いようです。したがって、実は共生とは、わたしたちが目指すべき社会の理想である以前に、わたしたちがこの世界にあって生きていることの前提条件であり、既存の事実であると言うべき状態のことなのです。しかし、共生が自然界における厳然たる事実である以上、それは、赤裸々な無道徳の世界のありようでもあり、そこで表現されるのが全的な調和であるとしても、その中には個体の死滅や個体間の生存をかけた闘争が不可欠なメカニズムとして組み込まれています。まして、人新世と呼ばれる近代文明は、生物としての人の生を管理しながら延長することを倫理的な要請としつづける一方で、自然界における生物の多様性を著しく損なっています。そんな中で、近代的な生命観を前提にした持続可能性を探究することはいまや世界的な課題であると見なされています。しかし、SDGs のかけ声は、人間の類としての生存（したがって人類内部の共生）を持続的に可能にするだけのものに終わってはならないでしょう。その声は、生命を持つあらゆる種との共生を望むもう一つの声によって応答されるべきでしょうし、いまはまだ世界に存在していない者の声をも喚び起こすものであるべきです。ましてや、持続すべきものが近代文明によって生み出されたさまざまな現実のレベルに留まっていては、それは近代文明を享受する一部の人びとの独りよがりに終わってしまいかねません。要するに、単なる持続を追求するのとは異なる、新しい人間の生のあり方が真剣に問われるべきであると言うことができます。

しかし、そんなことがいかにして可能になるのでしょうか？生物の世界における共生関係が示しているのは、生が死と共にあるというきびしい現実にほかなりません。だからこそ、あるべき共生について考えるためには、生が死と一対のものであることを無視することはできませんし、全的生存のために犠牲を正当化する構造を人間が創りだしてきた現実への反省が求められるはずです――この反省は日本から東アジアに向かって共生を唱えようとする場合においてことさら重要な当事者責任において行われるべきです――。新しい冷戦の到来とも言われる今日の世界情勢のもとで政治社会はいかにあるべきかを考え、また、テクノロジーの発展の先にあるべき人のあり方を構想するためにも、わたしたちは、「他者」なる存在（そもそも「他者」とは何者でしょうか？）と共によりよく生きるための思索をこの世界に生を受けた人間の責任として深め、豊かに想像していく必要があります。

共生を事実としてそのまま理想化するのではなく、既存の思想の枠組みの中であるべき姿を構想するのでもなく、このことばとそこから派生する一連の言語を問い直すことを通じて、わたしたちが生きるべきよりよき生のあり方について、いっしょに考えてみることにしましょう。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31492	S	UT-ONE（1 年生全員向け Project Debut Stage）	杉上 雄紀	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

東大を知り自分を知り、面白いプロジェクトを仲間と共にやってみる一年生全員向けの東大ポータルプログラム。
ようこそ、受験勉強からプロジェクトの世界へ！
プロジェクトは、バンドのようなもの。バンドサークルで新入部員たちが楽器や課題曲を選んで誘いあって最初のステージに立つように、東大にある多様な学びの場を知り社会課題と向き合う自分自身を知り、同じ思いを持つ仲間と出会って一緒にプロジェクトをやってみることで、社会と自分との関係を考える出発点とする。
それが、あらゆる創造と挑戦の源泉、アントレプレナーシップ（起業家精神）の第一歩だと私たちは信じています。
UT-ONE はソニー社会連携講座 Ignite Your Ambition が 2022 年度から開始する、一年生 3000 人全員と同時進行を目指す超大規模な野心的なセッションです。木曜 5 限 17:05~18:35 に実施しますが、都合がつかない人向けの別時間枠も用意します。ビジネスチャットツール Slack で上級生のサポートを受けながら一年生同士で交流するオンラインコミュニティをつくり、クラス・サークルとは違う切り口で同志と出会う機会を提供します。UT-ONE を修了する 7 月には、A セメにもっとワクワクし、進振りに対するブレない自分軸を持てるようになるでしょう。
周りにまだ UT-ONE を知らない一年生がいたら、ぜひ公式サイトを教えてあげて下さい！
オリエンテーション:
4/6(水)17:00-18:00 UT-ONE オリエンテーション
YouTube Live https://youtu.be/ghLvVYx83OM
質問掲示板
公式サイト ※2022 年 3 月末に更新予定
https://ignite-your-ambition.com

※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31522	S	UT チャレンジャーズ・ギルド C	廣瀬 明、永綱 浩二	工学部	火 6	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

IT の普及と発展により、我々の身の回りには新しい製品やサービスが登場し、時として生活スタイルを大きく変えたり、ビジネスの枠組み自体に大きな影響を与えたりすることがある。購買者や利用者として製品やサービスが提供するメリットを享受することはたやすいが、逆に購買者や利用者を興奮させたり、目を見開かせたりする製品やサービスを創造することは容易ではない。では、購買者や利用者を「これはすごい！」、「これは便利だ」、「これは心地よい」、「これは楽しい」と言わせるモノを創ってみようではないかというのがこのゼミの狙いである。
まずは、「作ってみた」というレベルから開始して、最終的には製品やサービスが果たす「社会的なゴール」を意識したレベルのモノづくりに取り組んで欲しいと考えている。従って、ゼミに参加するにあたっては何にチャレンジしたいのか、具体的な目標を持って臨んでもらいたい。個々のゼミ生の目標に基づき、専門家による指導を受けたり、製造現場を見学に出向いたりしたいと考えている。また、構築した応用システムは、完成後、想定される利用者に試用してもらい、利用者の評価を受ける予定である。さらに、本ゼミでは起業を支援した実績があり、起業にチャレンジしたい学生諸君の参加を大いに歓迎する。
※受講人数：10 名
※開講場所： 駒場 KOMCEE 3 階 K301 号室
受講を希望する学生は、永綱（t-ngtna@g.ecc.u-tokyo.ac.jp） までメールで申し込みこむこと。（希望者多数の場合には抽選
ガイダンス/ Guidance：
合同ガイダンスが設定される場合（別途周知される予定）にはこれに参加するほか、第 1 回講義で行う。
個別ガイダンスは 4 月 19 日 18：45 から行う。

※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31490	S	エコで安全で健康な社会を実現する機械工学	村上 存	工学部	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

機械工学は、エコで安全で健康な社会を実現するための重要な基盤技術として，社会や産業の発展に大きく貢献してきました．そして，機械工学は未来に向けてさらに飛躍的な発展を遂げようとしています．このような機械工学の全貌を機械工学科の教員および外部講師（ソニー，ＪＲ東海，コマツ，デンソー）により分かりやすく解説します．

※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31563	S 1	これからの食糧生産を支える植物・土壌科学	浅見 忠男、妹尾 啓史、藤原 徹、大塚 重人、小林 奈通子、柳澤 修一、岡田 憲典	農学部	月 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

今世紀半ばには 90 億人を超えると予想されている世界の人口を支えるためには作物生産性の向上が必須である。そのためには、土壌が有する物質変換や肥沃度維持の仕組み、植物の養分吸収や栄養環境適応の仕組みを明らかにして生産性向上に結び付けることが必要である。また、問題土壌や環境変動下での作物生産、雑草を克服した作物生産は今後の重要課題であり、劣悪な土壌や病害虫などのストレスに耐性を持つ作物の育種や、根寄生雑草を防除する新たな化学的手法が開発されている。一方、生産性向上と環境保全を両立した農業技術の開発が地球環境と地域環境の保全のために重要である。本授業科目では、このような研究に携わっている農学部ならびに生物生産工学研究センターの教員による最先端の講義を行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31500	S	サイバネティクス入門ー物理・人・社会を繋げる情報科学の先端ー	川嶋 健嗣	工学部	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

サイバネティクスとは、生物を含む自然系、機械を含む人工物、さらにはこれらを含む社会について、その基本構造を統一的に捉えることを指向した科学技術の概念である。生物が環境中の情報を計測し、処理し、自ら行動として環境に働きかける一連の流れを、信号処理、通信、さらにフィードバック制御に関わる数学で捉える。その上で、この原理を人工物に応用することで、自ら考え、判断・学習し、行動できる知的な機械を実現する方法論へ展開する。数学者ウィーナーによって 1947 年に創始されたこの学問体系は、生物、機械、社会を含むあらゆる物理的現象に関わる基本構造の抽出と、機能の設計・解析・制御などの方法論として今でも発展し続けており、脳工学、生体工学、バーチャルリアリティ、システム科学、人工知能（AI)などの現代的工学技術の礎のひとつとなっている。

この授業は、最先端の工学技術に関する講義と研究室の見学を通して、サイバネティクスの基本概念を理解してもらうことにある。様々な事象に対して、数学・物理学・情報学を駆使した現象の解析やモデル化を通し、新しい原理や方法論あるいは機構やシステムを創り出し、様々な分野での応用を可能にする工学の考え方や実際の最先端の研究に関し、工学部計数工学科システム情報工学コースの教員がオムニバス形式で紹介する。ブレインマシンインタフェース、バーチャルリアリティ、ロボティクス、音声・画像信号処理、生体医用工学といった最先端かつ広範な話題に触れることができ、しかも、それらが計測・解析・制御というサイバネティクスの共通の原理で語られることに驚きを覚えるであろう。人間の能力をいかにして機械などの人工物が獲得できるかを知る上でも、数学・物理学・情報学の基礎がどのように実践され役立つかを学ぶ上でも、人間と AI を含む機械が共生する将来像を考える上でも、この科目は充実した学識に触れる良い機会を提供できる。また、実際の研究現場を見学することにより、講義内容がどのような環境で着想され、育てられ、発展しているのかを見ることもできる。

具体的には以下に挙げるような、認識、行動、物理、情報、総合の 5 分野にわたるテーマに関する講義と研究室見学を行う。具体的な講義の内容の詳細と日程およびレポートの提出要領二関しては、掲示および初回の講義で案内する。

※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31491	S	スタートアップ・トレーニング	杉上 雄紀	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

テクノロジー×デザイン×ビジネスのスタートアップ手法を社会実装を通じて身に着けるソニー社会連携講座のトレーニング・パートです。自分の頭で考え、手を動かして作り、足を運んで使ってもらう事を繰り返すことで、圧倒的な体験と野心的な未来構想を生み出す新規事業開発の次世代リーダーになります。本郷近隣の東京芸術大学・デジハリの学生や現役の社内起業家と共に活動。人生を賭けて挑みたいことを本気で見つけたい人を、文理・学年問わず歓迎します。
社会連携講座の全体像や具体的な曜日・カリキュラムについてはオリエンテーションや公式サイトを確認してください。
オリエンテーション:
4/5(火)17:00-18:00 ソニー社会連携講座 2022 オリエンテーション
※Zoom URL は ITC-LMS の「オンライン授業情報」欄を確認すること
公式サイト ※2022 年 3 月末に更新予定
https://ignite-your-ambition.com

※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31526	S	とわに悦ばしきイタリア地中海	高橋 英海	教養学部	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

2013 年度から教養学部後期課程に「イタリア地中海研究コース」が発足しているが、広く前期課程の学生にもイタリア文化圏や古代中世の地中海文化圏に親しんでもらうことを目的とする講義シリーズを学術フロンティア講義として隔年で開講している。
講師は、後期課程の上記コースに関与する教員だけでなく、全体の半数程度はコース外から気鋭の講師を招待する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31510	S	化学システム工学で拓く未来社会	伊與木 健太、高鍋 和広、天沢 逸里、太田 誠一、杉原 加織、戸野倉 賢一、酒井 康行	工学部	月 5	2	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

化学システム工学科の教員が、持続可能な未来社会を創るための化学を、分かりやすく説明します。以下のテーマを学びます。
【環境・エネルギー分野】
・光触媒で太陽エネルギーを水素に変換する
・大気環境汚染を計測し、解決する
・「環境にやさしい」を工学的に検証する
【医療分野】
・化学とバイオの力で病気に立ち向かう
・診断・治療ナノシステムを化学で創る
・化学と工学で創薬にイノベーションを起こす
「化学と社会のつながり」を考えたい学生諸君の参加を歓迎します。教員や大学院生と交流する機会も設けます。希望者には本郷キャンパス・化学システム工学科研究室見学会も案内します（参加は自由です）。

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31512	S	海研究のフロンティアⅠ	早稲田 卓爾	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

対面授業（実習）に参加可能な学生のみに履修を制限する
見学は5名人グループ程度に時間を分けて実施する。
キャンパスにより、オンラインと対面のハイブリッドとする。
本講義は、東京大学海洋アライアンスを構成する教員による，駒場キャンパス，本郷キャンパス，柏キャンパスの実験施設の見学と講義を通して，海洋研究の最先端に触れることが目的である．例えば，海中ロボットの実験施設，船体運動を計測する大水槽，海洋生物などを研究する施設，洋上風車の研究をする施設，海洋の流れのメカニズムを解明する実験装置などを見学することができます．
講義に関する追加情報は、以下に記載されます。
http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/

※このゼミは4月6日（水）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoomの URLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31555	S	環境安全衛生入門－身のまわりのリスクから学び、安心へつなげる－ Introduction to Environmental Health and Safety	飯本 武志	環境安全衛生部	水 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

ふと目を向ければ、私たちの身のまわりには様々なリスクがあることに気付きます。
いつも使っている駅のホーム。やや狭いうえ柵もないホームの横を急行電車が猛スピードで走り抜けていきます。これまで事故が起きなかったからこれからも起きないという保証はありません。そこには常にリスクが存在しています。では、そのリスクを低減するためにはどうしたらよいでしょうか？
安全で安心な社会の実現には、身のまわりの環境や安全についての多角的な視点と理解が必要です。本講義では、身近な話題から自然災害に至るまで、現在我々が抱えている諸問題とその解決に向けたアプローチについて、各分野の専門家が対話形式を盛り込んでわかりやすく解説します。文系・理系を問わずすべての学生を対象とし、将来の我が国を担う皆さんが環境と安全の分野に対して正しく興味をもち、安心へとつながる道筋を自分で考えることができるようサポートします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31577	S	気候物理学入門 ~移ろいゆく気候の科学~	三浦 裕亮、吉森 正和、東塚 知己、小坂 優	理学部	火 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

気候変動や気象は、物理学を中心とする様々なアプローチで研究されている。例えば、大気・海洋の流れを記述する流体力学、地球と宇宙のエネルギー交換を記述する大気放射学、雲の生成と消滅を記述する雲微物理学、大気と海洋の間の相互作用、気候予測に具体的手段を提供する気候モデルなど、さまざまに展開している。本講義では、気候変動や気象、大気海洋大循環を記述する基礎方程式を示すとともに、それがどのように使われているかを講義する。
複数講師によるオムニバス。
各回あるいは複数回ごとに、気候・気象の科学で使う基礎的な方程式を示し、その物理的な意味とともに、その式がどのように使われるのか具体的現象を例に解説する。
イントロダクション/放射収支と大気循環/大気安定度と水蒸気/雲の組織化：三浦裕亮
大気の遠隔影響/ロスビー波/ジェット気流とハドレー循環・ストームトラック：小坂優
エルニーニョ・南方振動現象/インド洋ダイポールモード現象/風成循環と沿岸湧昇：東塚知己
極域の気候/気候モデルと将来予測/古気候変動：吉森正和

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31016	S	高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、どのように現代の数学につながっているか、現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっていて、何を求めて研究が行われているかということを、最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。	小木曽 啓示	数学	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、どのように現代の数学につながっているか、現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっていて、何を求めて研究が行われているかということを、最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。 今回は、植田一石先生による「無限の話」、田中公先生による「線型代数群」、長谷川立先生による「ラムダ計算とプログラミング言語」の３講義です。（詳細は計画欄に記載しました。）					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31758	S	自由に読み、書き、表現する 6 ―コラムランド 2022S―	椿本 弥生、齋藤 晴雄	教養教育高度化機構	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■概要 文章を読んだり書いたりするのは好きですか？ 自分の専門分野以外の文章も、もっと読んだり書いたりしたい。自分が書いたものを誰かに読んでもらいたい。誰かが書いたものを読んでみたい。でも、なかなかそんな機会がない…。この授業は、その機会を提供します。 この授業は、全員参加型の演習形式で行います。みなさんは、毎週提示される「お題」に対して各自で自由に発想をひろげ、文章作品（コラム）としてまとめて投稿してください。授業では、作者名をふせた状態でいくつかのコラムをグループで議論しながらコラムの読みを深め、「作者に突撃してみたいコラム」を決定します。突撃対象のコラムについては、突撃時に作者が誰かわかります（突撃されたくない場合は、作者不明のままでも OK です。授業後に匿名で「問わず語り」ができる場所を用意しています）。 授業のタイトルは「コラム」ですが、作品の文章の種類は何でもありです。詩、俳句、短歌、散文、論説、評論、解説、説明文、日記など、自由にチャレンジしてください。 毎週書くコラムの分量は、A4 用紙 1 枚以内厳守。余白の幅やフォントの種類などは指定しません。用紙いっぱいに書く必要もありません（いっぱいに書けばよいものができるわけではないですよね）。お題について、豊かに発想を膨らませて、じっくり推敲して執筆してください。 グループでの議論・読解やコラムの産出（執筆）では、一般的に文章評価の観点として重視される「文章の内容・構成・表現」を中心に置きつつ、それ以外の観点にも注目してください。読む・書く・議論することに関して、必要に応じてミニ講義も行う予定です。 楽しんで文章を書く。誰かが書いたものを興味深く読む。多様な視点を持ち、他者も自分も尊重しながら積極的に議論に参加する。これらが好きな人をお待ちしています。得意か不得意かは問いません。 この授業が、みなさんの自己表現の練習の舞台になったり、文章を通じて誰かと繋がる場になったりすることを期待しています。 なお担当教員は、文章評価を自身の専門のひとつとしています。 ■目的・目標 上記の概要をふまえて、本授業の目的と目標を以下のように設定します。 ＜目的＞ 自分と周りの書き手のコラムがよりよいものになるように、建設的な思考・態度をもってコラムの読解・執筆・議論を行うことができる ＜目標＞ ・内容、構成、表現のいずれにも気を配って執筆できる ・自分以外の作者のコラムや、読み・書き・議論の一般的な関連文献を積極的に読む ・班のメンバーの意見を尊重しながら積極的に議論できる ・コラムの自由な感想を「作者へのお手紙」に書ける					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31554	S	心に挑む―東大の心理学	本吉 勇、堀 裕亮	教養学部（心理教育学部会）	木 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	東京大学の心理系教員によるオムニバス形式の講義である。心理学を目指す諸君には、東京大学における心理学研究の多様性と深みを知り、進路選択の参考にしてほしい。その他の学生諸君には、現代心理学がどのような方法で心の理解に挑戦しているのかを学ぶきっかけとしてほしい。それぞれの話題は最先端でありかつ親しみやすいことを目指す。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31455	S	人文社会科学の研究現場	丸川 知雄	教養学部前期課程	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	本講義は本郷地区キャンパスに設置された社会科学研究所、史料編纂所、東洋文化研究所の本郷文系研究所が連携・協力して開講する、学部前期課程 2 年生を対象とした、研究擬似体験型の講義である。 3 研究所の教員が、それぞれの分野の研究者の立場から、研究へ向かう際の「問い」がどのように生まれるのか、「問い」をどのように育てて、研究という作品を作っていくのか、について解説する。具体的には各研究所で実際に研究をしている事例に直接・間接に触れることで、人文社会科学の研究を行う上での基本と醍醐味を学ぶ。 講義を通じて、受講者は後期課程進学後のあらゆる専門教育で必要とされる、人文社会科学の研究に関する心構えや基本的な技法を身につけることを目的とする。文系、理系を問わず、将来研究者となることに関心を持つ学生にとって特に有益な授業である。 【参考 3 研究所の概要】 史料編纂所： 古代から明治維新期に至る前近代日本史史料に関する研究所。史料編纂事業の歴史は古く、塙保己一が江戸幕府の援助を得て創設した和学講談所にまで遡る。附置研究所としては 1949 年に設置。国内外に所在する各種史料の蒐集と分析を行い、これを史料集として編纂・公開する研究事業を通じ、広く日本史研究に寄与することを目的とする。 東洋文化研究所： 「東洋文化に関する綜合的研究」を目的として、1941 年に創設されたアジアに関する専門研究所。調査の対象は研究者によって多様だが、アジア全域にわたるそれぞれの対象地域について、資料調査と現地調査に基づき、政治、経済、宗教、歴史、考古、文学、美術など、さまざまな角度から、日々精力的に研究を進めている。 社会科学研究所： 敗戦後の東京大学再生のための最初の改革として、南原繁総長（当時）のイニシアティヴによって 1946 年に設置。戦時中の苦い経験の反省のうえにたち、「平和民主国家及び文化日本建設のための、真に科学的な調査研究を目指す機関」として構想された。法学・政治学・経済学・社会学の 4 つの社会科学のディシプリンを総合して研究を進めている。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
30813	S	数理科学の研究フロンティア：宇宙、物質、生命、情報	河東 泰之	数学	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	本講義では，宇宙の起源，物質の起源，生命の進化，情報と人工知能などの現代科学のフロンティアを，最前線の若手研究者が数理科学という切り口で俯瞰する．授業担当教員がモデレータとなり，理化学研究所の若手研究者をゲストに招き，以下の話題を議論する．ゲスト氏名と話題は，宮﨑弘安「整数からはじめる抽象化」，菊地健吾「素粒子と場の概念」，岡田崇「生物進化はどのように進むのか？」，難波亮「宇宙のなりたちを物理する」，足立景亮「生物と物理をつなぐ相転移」，伊藤悦子「量子の世界を計算する」，関野裕太「マクロな量子現象とは何か？」である．						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31499	S	数理工学のすすめ	郡 宏、武田 朗子	工学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

数理工学とは，工学的問題解決のための数理的手法を（必要とあれば新しい概念や原理も）創り出す学問のことです．(http://www.keisu.t.u-tokyo.ac.jp/ も参照してください．) 本講義では，数理工学において，どのようにして，新しい原理や数理的手法が開発され，発展していったか（発展しつつあるか）について，実例を交えて解説します．とくに，以下の 7 つの話題を扱います．

・動的現象のモデリング入門

自然，人工物，社会には複雑な動的現象が多く存在し，それらを理解・制御するためには数理モデリングと解析が不可欠です．モデリングがどのようになされるか，またどのような解析方法があるのか，いくつかの例を用いて解説します。

・組合せ最適化入門

巨大な有限の組合せの中から最良の解を効率良く求める「組合せ最適化」の理論とアルゴリズムの入門的な解説を行います。

・数値計算入門

科学・工学で現れる諸問題は，多くの場合解析的には（紙と鉛筆では）解けず，計算機による「数値計算」に頼る必要があります．計算機で問題を解くとはどういうことか，その際にどのような困難が現れどのように克服するのかについて概観します．

・機械学習の数理

機械が学習するということはどういうことか？数理工学の立場からその基本原理を紹介することで，深層学習やカーネル法といった機械学習手法に対する数理工学的アプローチを解説します．

・計算幾何入門

科学・工学の諸問題に現れる幾何データを計算機上で効率的に取り扱うための理論やアルゴリズムを、いくつかの例を用いて解説します。

・大規模線形システムの可制御性スコア

最近，指導学生と共に可制御性スコアという概念を考案しました．可制御性スコアは，ある凸最適化問題の一意な解として定義され，射影勾配法というアルゴリズムで効率的に求めることができます．本講義では線形システムの可制御性の説明から始めて可制御性スコアという新しい概念をどのように考えたかということを説明します．

・暗号と量子アルゴリズム

現代の情報社会において安全性を保証するために暗号理論は必須の基盤技術である．特に，公開鍵暗号はインターネット通信などで用いられる重要な概念だが，現在用いられている公開鍵暗号方式は量子アルゴリズムによって効率的に破られることがわかっており，量子アルゴリズムに対しても安全な耐量子計算機暗号の開発は暗号理論における喫緊に解決すべき課題である．本講義では，耐量子計算機暗号の背景と現代暗号を破る量子アルゴリズムについて解説する．

※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31458	S	歴史資料と地震・火山噴火	加納 靖之	地震研究所（地震火山史料連携研究機構）	木 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【概要】

東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立された地震火山史料連携研究機構では、地震学者と歴史学者が協力して史料の収集・編纂と分析と、地震活動や火山活動の長期的な情報を提供するデータベースの構築を行っている。

この連携研究機構が提供する講義では、歴史資料（史料）を用いた地震・火山噴火の研究について、背景となる知識やこれまでの成果、今後の展望について解説する。全体を理解するために必要な概論ののち、東北地方太平洋沖、南海トラフ、内陸活断層の地震、首都圏の地震について、具体的な事例－貞観の地震と富士山の噴火、明応の南海地震、慶長の豊後地震と畿内（伏見）地震、宝永の南海地震と富士山噴火、安政の江戸地震など－を取り上げ、歴史学および地震学・火山学のそれぞれの立場から説明する。どのように歴史資料を読みとき、どのように現象を理解するのかを学び、また、異分野融合研究の意義や在り方に触れる。

授業は、佐竹健治（地震研究所）・榎原雅治（史料編纂所）・杉森玲子（史料編纂所）・加納靖之（地震研究所）が分担する。

【目標】

・歴史学や地震学の基礎を、具体的な事例を通して学ぶ
・複数の研究分野からのアプローチでより深く現象を理解できることを知る
・これらの研究のおもしろさや解決すべき課題について考える

【こんな人に来てほしい】

文系理系を問わず、歴史、地球、防災などに関心のある人。また、本や資料を読むのが好きな人、観察や観測をもとに推理するのが好きな人など。

（参考）地震火山史料連携研究機構の概要

地震火山史料連携研究機構は、東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立されました。この学際的な研究機構では、歴史学者と地震学者が協力して史料の収集・編纂と分析を実施し、日本における地震活動や火山活動の長期的な情報を提供できる科学的なデータベースを構築しています。このような歴史時代のデータは、地震や火山の危険性の長期的な予測には不可欠です。

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31763	S	日本舞踊の実施 着付けの実施 盆踊りの実施	孝藤 右近	学生による全学自由研究ゼミナール	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　世界で日本舞踊、和エンターテイメントのショーを展開してきた
講師孝藤右近が
日本舞踊を通じ世界に通用する
日本の美である型や所作、また
全国に存在する数々の盆踊りを
歴史と共に教えていくことで
日本文化を身につけていきます。
日本舞踊は 400 年以上前から
伝承される
歌舞伎でみられる踊りや
舞妓さん芸者さんがお座敷で踊られる日本を代表する
体で表現する和の芸術です。
また日本舞踊は着物を着て踊りますので
浴衣(着物)を自分で着れるように
着付け指導も実施し、浴衣(着物)を 1 人で着れるようになります。
※講義では、踊りの実施は洋服で行います。講義のスケジュールの中に
浴衣の着付けがはいります。
浴衣は夏の着物として
手軽に着て遊びにいけたりするもので、この日本が生んだファッションで世界中に愛好家が増えている
日本を代表する美の形です。
グローバルな社会で
日本特有の価値である
着物を着て踊りが出来ることは
、それだけでコミュニケーションが深まり自分自身のアイデンティティーとなり世界に羽ばたく自身の強みを持たせてくれます。
また盆踊りを習得にすることにより地元や地域の祭り参加や指導ができることにより、
伝統文化の継承につながります。
和の心を養い
豊かな世界観を身につけていきます。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31565	S	（Web シラバス参照）	高橋 伸一郎	農学部	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　（Web シラバス参照）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31574	S	未来を拓く化学	小澤 岳昌、大栗 博毅、小林 修、菅 裕明、鍵 裕之、平田 岳史、塩谷 光彦	理学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要　地球レベルから生命現象までの広範な物質世界を、分子レベル、分子集合体レベルで解明し、新しい自然観を探究する現代化学のフロンティアを講ずる。化学の各分野の教員が、最先端の研究について易しく解説し、化学の未来について考える。講義中に研究室見学を行う。
ガイダンスは４月４日６限（１８：４５～）に行う（予定).

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31551	S	「経済安全保障」とは何か ～ビジネスと政治と法～	玉井 克哉	先端科学技術研究センター	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

現在の世界は、激動の中にある。
冷戦終結後の約 30 年間、世界経済の基調は「グローバル化」であった。物とサービスの貿易を自由化し、知的財産権の保護水準を斉一化しようとする WTO 協定が、1995 年に発効した。製造業のサプライチェーンは全世界に延び、各国の国民経済は「フラット化」し、それでも残る国や地域の特色を現地で享受させる観光産業が隆盛となった。その間、わが国はこの変化によく対応できず、国際的地位は低下を続けた。
いまや、この基調が大きく変わろうとしている。それは何より、自由と民主主義を標榜する米国や同盟諸国が、中国の覇権に対して懸念を強めつつあることによる。グローバル化という長年の潮流も逆転する兆しが出てきている。いまや、「国境の復活」こそが時代のキーワードだと言ってよい。これに伴って国際経済も大きく変化しており、日本を含む各国の法や企業のビジネスにも、深刻な影響が及んでいる。
担当教員（玉井克哉）は知的財産法・行政法を専攻する法学者であるが、先端科学技術を研究する研究所に身を置いて、この急激な変化を日々感じている。このような変化を研究の対象にし、知識を着実に獲得する修練を経ておくことは、諸兄姉が将来どの方向で活躍するにせよ、知的な生活を送るためには必須のスキルである。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31762	S	「障害者のリアルに迫る」ゼミ	野澤 和弘	学生による全学自由研究ゼミナール	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

さまざまな「障害」に生きづらさを抱える人々や、「障害」問題に関わる実践家や専門家など、多彩なゲストの語りを聞き、タブーなき対話を重ねる中で、「障害」および人間への深い理解を目指す。
「障害」を身体障害や精神障害、知的障害といった一般的によく知られる「障害」に限らず、依存症や性的マイノリティなど、広い意味での様々な生きづらさとして考え、障害を巡る色々な問いについて考えること、自らの中に生まれた思いに立ち止まって考え話し合うことのできる場を作っていく。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31761	S	「問題解決のための思考法」（通称：宇野ゼミ）	宇野 健司	学生による全学自由研究ゼミナール	水 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

通称「宇野ゼミ」
大手シンクタンク（総合研究所）の現役プロフェッショナルによるＭＢＡ（ビジネススクール）形式のディスカッション授業です。
講義を一方的に聴講するのではなく、アクティブラーニング型でフレンドリーに学生同士が意見交換するタイプのゼミなので、結果として例年みんなが非常に仲良くなります。
内容としては、企業の組織論・経営戦略論、個人のキャリア形成など実践的なテーマを取り上げます。
ディスカッションを通じ、「自分の意見を堂々と表明する」「他人の意見を尊重し、誠意を持って傾聴する」「批評・批判よりも、問題解決型の前向きな意見交換を行う」「柔軟かつ適切に議論をまとめる」など、社会人になってからも必要なコミュニケーション・スキルを育成します。
また講師の体験談（海外大学院ＭＢＡ留学、専門スキル習得、就活、転職など）をもとに、「皆さんの将来キャリアをどう築いて行けば良いのか？」などについても、現実的なアドバイスをします。
授業の目的は、
（1）ディスカッション・スキルを身に付けること
（2）自分のキャリアについて考えること
（3）講師・クラスメイトから刺激を受け、意識を高め、将来に向けてより自発的に行動できるようになること
一定の問題意識を持った意欲的な学生の参加を希望します。
※双方向でのディスカッション授業の性質上、例年、講師・クラスメイトがとても親密になり、授業外でも友好的なコミュニティーとなり、卒業後も存続しています（皆さんが7期生になります）。
○「海外留学」
（東大の中で、交換留学に行く人が一番多いゼミだと思います。昨年度は合計約40人が留学決定。個人的にもアドバイスして皆さんの背中を押しています。ゼミ生以外でも相談に乗っていますので、気軽に声をかけて下さい）
○「進振り」（ゼミ生向けに説明会を実施）
○「起業」
○「コンサル、外資金融」（ゼミ生向けに説明会を実施）
○「司法試験」
○「資格試験」
○「就職活動」（希望者には個別に相談に乗っています）
○「イベント企画」
○「ボランティア活動」（教育分野や地方自治体など）
○「課外活動」
○「授業外交流」
などで、気の合う仲間が多数できると思います。
※履修希望者が定員を大幅に超える場合が多いので、第2回までに授業に参加するようにしてください。
定員を超えた場合の対応は、第1回（4/6）および第2回（4/13）授業で詳細を説明します。
（それ以降でも、いつでも個別に上記メールで相談して来て下さい）
※例年、LINE グループや SLACK や Google ドライブなどを使って、緩やかなコミュニティを形成しています。講師・ゼミ生間の距離が近く、とても仲良くしています。
（東大生であれば授業を履修していなくても参加できます。宇野ゼミ LINE グループは、一昨年度は約160人、昨年度は200名超でした。水曜4限に予定が入っている人にも柔軟に対応しますので、いつでも気楽にメールなどで問い合わせて来て下さい。また希望者には、1人30分ずつ ZOOM による個別面談で公私にわたる何でも相談に乗っています。昨年度は、約120人と1対1で授業外にオンラインで会話しました。いつでも誰でもゼミ生以外でも歓迎しますので、どうぞ！）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31784	S	『世界開発報告』を読むI	森川 想	工学部	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

最新版の『世界開発報告』を会読します。講師は開発の専門家ではありませんが、開発を学ぶことは、先進国・途上国を問わず現代社会の課題を見つめることに直結すると考えています。報告そのものや、その根拠となっている文献をクリティカルに読み、議論することで、社会課題解決のために世界各国で行われているプラクティスの可能性や限界、科学技術（社会科学・自然科学）と公共政策の関係等について考え、見直す機会としていただければ幸いです。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31474	S	【アクセンチュア×東大】私たちが今ほしい未来を提言（構想編） ―アイデア創出、アイデア検証、企業への提案まで体験しよう！	高橋 史子	教養教育高度化機構	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■プログラムデザイン
アクセンチュア株式会社
＜概要＞
“ベータ版”という言葉を聞いたことがあるでしょうか？ウィキペディアによると、「正式版をリリース（公開）する前にユーザーに試用してもらうためのサンプルのソフトウェアである。ベータバージョンという場合もある。」と定義されています。
ベータ版を活用した有名な商品といえば、デジタル版のブロック遊びゲームと言われる Minecraft です。Minecraft は、2011 年正式版リリースの 2 年前から、複数のベータ版をリリースすることで、ゲームを育ててきました。その結果、2020 年 5 月時点で累計販売数が 2 億本超え、月間プレイヤーは 1 億 2600 万人以上という記録を打ち立て、テトリスを抜いて、現在世界で最も売れたゲームとなっています。
その他にも、LINE、YouTube や Twitter などのデジタルサービス、更にはテスラといった自動車でもベータ版が公開され、今では至る所にベータ版ありという状況となっています。それではなぜ今ビジネスの世界でベータ版が重要なのでしょうか？
正解がない不確実な世界に我々は生きています。近年は大企業だからといって、必ずヒット商品・サービスが生まれるわけではありません。特に実際にやってみないと成功するかわからない新規事業については、アクセンチュアの調査によると、立ち上げに成功したと躊躇なく言える経営幹部はわずか 6%にとどまっています。
新規事業を成功させる鍵の 1 つに「小さく素早くトライアルする」ことで、可能な限りリスクをコントロールするという戦略があります。まずは投資規模が小さいベータ版をトライアルとして公開し、市場の反応を伺い、必要に応じて市場の意見を製品に反映させることで、商品・サービスを育てる一連のプロセスを素早く回すのです。
とはいえ、商品・サービスを育てるプロセスをただやみくもに早く回せばよい・・・というわけではありません。一連のプロセスを効果的に回すには、筋が良いアイデアを目利きし、アイデアのコア要素を適切に切り取りベータ版として仕上げ、市場の評価を的確に分析・反映することが重要です。そこにはコツが必要なのです。
私たちアクセンチュアは、世界有数の総合コンサルティング企業として、世界中の様々な企業と一緒に、新しいサービスをビジネスとして実現させてきました。その経験と実績を活かし、本授業では、初学者を対象に、アクセンチュアの現役コンサルタントと共に、商品・サービスを育てるプロセスを身に付けることを目的としています。
同世代の価値観やインサイト（潜在的な欲求）をインプットに、デザインシンキングという手法で“今ほしい未来”の新しいアイデアを生み出し・精査して、そのアイデアをもとに簡易プロトタイプ（検証のためのサービス・もの）を作成・検証します。そして最終発表では、ストーリーテリング（ビジネスを「物語」を通して表現する手法）を活用して、実際の企業の方へプレゼンします。
※2021 年 A セメスターの授業（調査編）では、移動やオンラインでのコミュニケーションなど大学生の生活に近い領域について、同世代の価値観やインサイトを調査しました。
※本講義のプログラムは、構想編の授業からでも履修できるようにプログラムを構成しています。デザインシンキング、ストーリーテリング等の手法を学びながら進めますので、初学者の方も安心して履修してください。
＜目標＞
・「私たちが今ほしい未来は何か？」という正解がない「問い」に対して、CX（顧客体験）、ビジネス、テクノロジーなどの視点から磨きをかけ、自分なりの解をみつける技術を学ぶことで、不確実な世の中も楽しめるようになる
・最適なベータ版を素早く作り、評価を的確に分析・反映する手法を学び、実践する
・ストーリーテリングをもとに人を説得する技術を学び、発表する

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31472	S	20 年先輩のリアルを知りにいく −きくこととつたえることのワークショップ	高橋 史子	教養教育高度化機構	水 6	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

◆ゲスト講師
浅利雅士（楽天株式会社）
～2003 年東京大学教育学部卒。数社での勤務経験のなかで、他人の話を聞いてサービスを考えたり、社内のメンバーの話を聞いてプロジェクトマネジメントに活かしたりする作業を多く行ってきたそうです。自身でもさまざまな研修やワークショップに参加し、他人の話を聞くということを大事にしてきたという経験を活かし、ご協力いただいています。～

＜概要＞
このゼミでは、受講者の多くのみなさんよりおよそ 20 年先輩である東大卒業生に会いに行き、入学からこれまでの 20 年間を振り返るような話をきいてきてもらいます。仕事の話やプライベートの話、趣味の話などなど、何が話題の中心になるかわかりませんが、話をきいてきた上で、みなさんにゼミでその話を共有していただきます。受講生一人が卒業生一人の話をききにいき、クラス全体できいてきた話をできるだけ、そのまま伝えるという作業をします。最終的には受講者数と同じ数だけの卒業生の過去 20 年の話をできるだけ知っている状態になることを目指しています。
さて、「きく」ということをあなたは普段どれくらい意識的に行っているでしょうか。また、他人の話をどれくらい「きく」ことができているでしょうか。そして、他人の話を聞く際に、どのような姿勢で、どのような考えを持って聞き、どのようなリアクションをしているのでしょうか。
卒業生の話をききに行く前に、このゼミでは、「そもそも私は他人の話をどのようにきいているのだろうか」という、素朴な疑問を基に、自分自身がどのような話のきき方をしているかを徹底的に知ることを目指します。「正しい」聞き方やコミュニケーションスキルを磨くというようなことを目指しているわけではありません。もしかすると、このゼミを受けたあとに、受講者の皆さんそれぞれにとっての「正しいきき方」や「より良いきき方」というものができるようになるかもしれません。が、それ自体はこのゼミの目的ではありません。あくまで、自分のきき方の「現在地」を知る、それがこのゼミの目指すところです。

＜授業の目標＞
•自分が他人の話を聞くときに、どのように聞いているかを知る。
•話の聞き手の姿勢や態度が話し手にどのような影響を与えるかを知る。
•話し手、聞き手によって、話の内容がどのように変化するかを理解する。
•自分が持っているフレームワークや仮説から離れて他人の話をきけるようになる。
•相手の話に対して、要約を試みたり、評価をしたり、アドバイスをしたりせずにきけるようになる。
•一緒にゼミに参加する人の話をできるだけありのままきく。
•できるだけ多くの先輩の東大入学後からこれまでを振り返った話を知っている状態になる。
•“20 年先輩”から聞いた話を、他人に伝えられるような形でまとめる。

＜ゲスト講師からのメッセージ＞
駒場を離れてから、だいたい 20 年くらいになります。自分も周りの友人も、本当に多様な人生を歩んでいます。 大学生の頃には、卒業後の生活にこんなにも多様なストーリーがありうるなんて全く想像もつきませんでした。
仕事の肩書だけを見れば、民間企業で働いていたり、起業していたり、 弁護士だったり公務員だったり研究者だったりします。でも、どんなことを得意として働いているか、それまでどんな経験をしてきたか、それを純粋にきいてみると、それぞれに全く異なる多様な働き方・生き方があったりします。そうした先輩のリアルを駒場の頃の僕が知っていたら、今とはまた異なるかたちでの人生の選択があったかもしれない。そんな思いからこの講義を企画しました。
みなさんにはこの１３回の講義を通じて、できるだけ多くの先輩のできるだけリアルな卒業後のストーリーを知ってほしいと思っています。しかも、先輩の”かっこいい”プレゼンテーションや完成されたインタビュー記事からではなく、みなさん自身が話をききにいき、この場所でシェアすることを通じて。そうすることで、できるだけリアルな部分が残った、みなさんからの距離が近いストーリーが知れるんじゃないかと思っています。
ただし、「話し手が言いたいことは何か」と要約することに集中したり、事前に立てた仮説を検証したり、内容の良し悪しや優劣をジャッジしたりするようなききかたでは、そうした話はとらえられません。だから、どうすればありのままの話がきけるのかを数回に渡って一緒に考えるところから、講義をスタートしていくつもりです。 その後、僕たちが用意した先輩リストの中からみなさんに対象を選んでもらい、各々でストーリーをきいてきてもらおうと思います。その結果をここにいるみなさんが何らかの方法でシェアしあって、 結果としてみなさんができるだけ多くの先輩のリアルを知っている状態になる。というのが理想の進み方です。
基本的にはこの手順通りに、事前に毎回やることを決めて進めていきますが、 様子をみながら変えていく可能性はありますのでご了承ください。
また、きくゼミといっても、インタビューのテクニックの講義ではないですし、 先輩から将来へのアドバイスをもらおうというものでもないです。なので、すぐに役立つ類の話はないかもしれません。 でも、人の話をじっくりきいてみることやその話をもとにみなさんで対話することを通じて、何かが強く心に残るだろうということだけは保証します。
概要は以上です。これから約３ヶ月間、20 年のリアルを一緒に味わってみましょう。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31495	S 1	3次元スキャナ・プリンタを使ったデジタルものづくり体験	吉元 俊輔、大竹 豊	工学部	集中	1	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

物体の形状をスキャンする装置を用いて、3 次元形状をコンピュータに取り込み、そのデータ処理について実習する。また、処理したデータを 3D プリンタで出力し、オリジナルの物体との比較をし、再現性の確認を行う。

※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31538	S	Christian Culture in Japanese Daily Life	Nanyan Guo	GLP 推進室	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

This course aims to open students' eyes to the fact that Christian culture has permeated through many aspects of Japanese daily life, without being noticed consciously. For instance, private educational institutes established by Christian missionaries ranging from kindergartens to universities are highly respected and well attended. Terms originated from the Bible, such as 救世主, 目から鱗が落ちる, 十字架を負う, are being used every day. Christian literature written by Japanese authors is a major genre in modern Japanese literature. And the images of the Cross, angels, churches, and Christmas, often accompanied by Christian music, appear in film, drama, and mass media so frequently that Japanese people no longer take them as things foreign.

By analyzing various aspects of Japanese history, language, literature, education, art, film, and media, students shall understand how contemporary Japan has been deeply influenced by Christianity which has become part of Japanese culture. In fact, today's Japanese people may know more about Christianity than Buddhism or Shintoism.

Through this course, students will learn how to understand Christian influence on Japan and to discover the multi-cultural nature of Japanese society by objectively examining complicated social phenomena.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31579	S	Medical Biology 入門：生命現象から病気の治療へ 多様な医学研究	菅谷 佑樹	医学部	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

当講義は、文系理系を問わず全科類の学生に向けて、医学部の教員によって行われる講義である。本学医学部では、「解明されていないこと、解決法が求められていることに対して新しい医学を発信する」、すなわち広い意味で医学研究を推進する人材の育成を目指している。本講義はその一環として行われる。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより社会が大きな変革を迫られたが、一方で mRNA ワクチンなどの新しい技術によってこれまでにない速いペースで感染症の克服が進んでいる。また、ゲノム編集を用いた生理機能の解明や遺伝子情報を活用したテーラーメイド医療など、医学研究の発展とそれに向けられた興味は学際的で多岐にわたる。こうした最先端の医学研究の背後には長年にわたる地道な基礎研究の積み重ねがあるが、そこに携わる研究者から直接研究についての考え方やより深い背景を学ぶ機会は驚くほど限られている。高校まではこうした最先端の医学研究を研究者自身が深く紹介するカリキュラムはほとんどなかったのではないだろうか。そこで将来多方面で活躍するだろう本学のみなさんに、この大学の医学系研究科で行われているこれらの研究活動についてなじみを持ってもらいたいと考え、本講義を企画した。2022 年の講師陣と内容は以下を予定している。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31470	S	Road to 2050 環境エネルギー政策の現状と課題	瀬川 浩司	教養教育高度化機構	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	2020 年 10 月わが国は世界に向けて「2050 年カーボンニュートラル」を宣言した。その後、2030 年には温室効果ガスの排出量を 2013 年度比でマイナス４６％とし、さらに 50%の高みに向けて努力する方針を示している。2021 年には第 6 次エネルギー基本計画が策定され、様々な政策が動員されているが、本講義ではこれらの現状と課題について取り上げる。民間でも、ESG 投資の広がりや RE100 宣言企業の増加に加え、コロナ禍からの回復を見据えたグリーンリカバリーに関する取り組みが広がっているが、「2050 年カーボンニュートラル達成」は、そんなにたやすいものではないことも事実である。本自由研究ゼミナールでは、2050 年カーボンニュートラルに向けた戦略を議論する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31465	S	SDGs を学べる授業をつくろう	中澤 明子、中村 長史	教養教育高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	持続可能な開発目標（SDGs）は、ミレニアム開発目標（MDGs）の後継として 2015 年の国連総会で採択され、17 の目標が定められている。MDGs が途上国の貧困削減や社会開発に焦点を当てていたのに対し、SDGs は世界中の国々の経済・社会・環境といったより広い問題を扱うものである。その広さゆえ総花的であるという批判もある一方、多くのアクターを巻き込めるという利点も指摘されている。 この授業では、このような SDGs について高校生が効果的に学べるオンライン授業を設計してみることで、SDGs についての自分自身の学びを深めることを目指す。他者に教えることそのものや、オンライン授業を設計する過程での調査や議論は、本人にとって最も身につく学びとなる。また、この授業では「効果的に学べる」ためにアクティブラーニングという手法を用いたオンライン授業を設計することを目指す。 具体的な到達目標は、以下の通りである。 ①SDGs が作成された背景について説明することができる ②SDGs の意義について説明することができる ③SDGs の課題について説明することができる ④SDGs の 17 の目標について説明することができる ⑤学習者の学びを深める授業の方法について説明できる ⑥SDGs について学習者の学びを深める 50 分間のオンライン授業を設計することができる						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31583	S	Understanding Cities	FACIUS Michael	東京カレッジ	水 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	このセミナーは、東京カレッジの研究テーマに基づき、現在および将来の都市の約束と課題について、批判的で幅広い理解を深めることを目的としています。都市は、特定の地理的境界の中にある空間というだけでなく、文明と人々に関するものです。また、都市は、建築環境、自然環境、複数の人間システムからなる複雑でダイナミックなシステムでもあります。したがって、都市を理解するには、都市計画、社会学、歴史、生態学、経済学、芸術など、学際的な視点が必要です。このセミナーでは、現代そして未来の都市の市民として、人類の持続可能で強靭な未来にどのように貢献できるかを敏感に観察し、分析し、考察することを奨励します。 【学びの目標】 ▶ 現代都市を形成する学際的な視点、傾向、アプローチに関する基礎的かつ科学的な知識を有している ▶ 特に日本の文脈で、また広く世界の文脈で、都市の様々な約束と課題を特定するための分析的思考を身につける ▶ 都市が実施する持続可能で強靭な施策について、特に日本の文脈で、また広く世界の文脈で、論旨、意見、評価を展開することができる This seminar builds on the research themes of the Tokyo College and aims to develop your critical and broad understanding about promises and challenges of cities today and in future. More than a space within a particular geographic boundary, a city is about civilizations and people. A city is also a complex and dynamic system of the built environment, natural environment, and multiple human systems. Understanding cities, therefore, requires interdisciplinary perspectives of urban planning, sociology, history, ecology, economy, arts, and beyond. This seminar encourages you to sensitively observe, analyze, and reflect how, as the citizens of contemporary and future cities, to contribute to sustainable and resilient future of humanity. After successfully completing this course, you will 1.have a basic and scientific knowledge of multidisciplinary perspectives, trends, and approaches shaping contemporary cities 2.develop analytical thinking in identifying various promises and challenges of cities particularly in the context of Japan and broadly in global context 3.be able to critically develop argumentations, opinions, evaluations of sustainable and resilient measures implemented by cities particularly in the context of Japan and broadly in global context						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31581	S	インクルーシブな社会に向けて – 障害学への入門	FACIUS Michael	東京カレッジ	水 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	障害の有無にかかわらず、誰もが暮らしやすいインクルーシブな社会を実現するとはどういうことでしょうか。そして、その実現に向けて、私たちはどのような貢献ができるのでしょうか。この授業では、これらの疑問について考える機会を提供していきます。公平な未来を作るため、過去から存在していた社会問題の歴史を振り返って、現在の対策について考えていきましょう。 学習目標 1.インクルーシブな社会を実現する課題について基礎的な知識と理解を得ること。 2.多様な障害に関する研究の必要性を知り、その特徴を理解すること。 3.学際的アプローチを用いて各分野の資料を分析し、自分自身の批判的立場を確立すること。 4.国境を越えて行われている当事者運動の日本への貢献、又、日本がそれらの運動に与える影響の可能性について検討し、評価すること。 5.誰もが取り残されない未来を作るため、自分の役割について一緒に考えること。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31496	S 1	ウェアラブル体感型 VR システムを作ってみよう	吉元 俊輔、高松 誠一	工学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要	布などウェアラブルな基板のうえに電子回路を精密に配線、実装する精密組み立て技術の基礎を学ぶ。さらに、この精密組み立て技術で作ったウェアラブルセンサ、アクチュエータを用いて、振動等をフィードバックする体感型 VR システムの構築を試みる。講義と実習を交えた体験型講義形式で学ぶ。 --- ※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ---						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31545	S	カオス力学系入門	林 修平	数理科学研究科	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	決定性の中に潜む予測不可能性や不確定性を扱うカオス理論は自然科学のみならず広範な分野に登場します。この講義では、教養 1 年生程度の予備知識を前提として、数学としてのカオス力学系理論の重要なアイデアや手法を、下記の教科書前半の輪講を通して学びます。初等的な 1 変数関数を繰り返して適用するだけで豊かなカオスの数学理論が展開されることを示したこの本は、カオス力学系を数学的に扱った最初の入門書として世界的に好評を博してきました。例えば、 $f(x)=ax(1-x)$ のような簡単な 2 次関数を通して、 一般の非線形力学系においても重要な概念が提供されるので、必ずしも数学科志望でない学生にとっても近づきやすい内容になっています。 ※ 履修人数を 20 名程度に制限する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31764	S	グラフィックデザイン概論	保田 容之介	学生による全学自由研究ゼミナール	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	講義の目標：デザインの本来の意味である「設計」という機能的な側面を概論的に解説し、基礎教養とすることで、将来各分野を牽引していく学生がデザインの視点から新たな価値を生み出すことを期待しています。 講義の概要：機能性と美しさを両立するという狭義の意味での「デザイン」はますます日常生活と切り離せない身近な存在になりました。例えばそれはみなさんが近い将来に頻繁に使用するプレゼンテーション資料のレイアウトなどでも感じ取ることが出来るでしょう。 本講義では現役のデザイナー / クリエイティブディレクターにより、論理的・学術的な視点で「デザイン」をひもといていきます。 座学としてグラフィックデザインの歴史から始まり、色などの基礎教養、書体解説、写真技法、デジタルツール解説などのデザインの実務で使用する知識や、UI/UX などの基礎知識を学び、積極的に手を動かして考えを発表するワークショップやフィールドワークも行います。 それによって講義の外でもデザインを楽しみ、将来各分野を牽引していくみなさんがデザインの視点から新たな価値を生み出すことを期待しています。 是非本講義を経る前と後の視点の変化を実感してください。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31520	S	グローバル共創型イノベーションプログラムI「Innovation for Well-being -GDP を超える世界を創り出す挑戦-」	吉田 塁	工学部	水 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

◆ 概要
私達はみなさんに日本だけでなく世界でも活躍できるようになってもらいたいと考えています。そのような気持ちを背景に、本授業では、「Innovation for Well-being -GDP を超える世界を創り出す挑戦-」をテーマとして、経済成長のみにフォーカスしない事業の提案を行ってもらいます。
授業を通して、これからの時代に必要不可欠となる、仲間と共創する力、イノベーションを創造する力、国際的な仲間と関係性を創り出す力などを培うと同時に、これからの時代の潮流、日本と他国の社会・経済・環境の現状・未来、そして、国際的な共創活動を通じた自分の新たな可能性への理解を深めることができます。
S セメスターの授業「グローバル共創型イノベーションプログラムI」では主に日本語に用いて内容の理解を深めながら事業提案について体験しながら学びます。A セメスターの授業「グローバル共創型イノベーションプログラムII」では、英語を用いて、海外大学の学生も含めてグループワークを行う予定です。日本にいながら国際的な共創を体験してもらう機会を提供しますので、是非 S セメスターの授業（本授業）を受けて基礎力をつけた上で A セメスターの授業に参加ください。
◆ 本授業の特徴
・本授業は、実践を重視する授業で、課題発見・解決をしてもらえるような仕掛けを多く設けます。例えば、世界の潮流、課題の発見の仕方、課題解決の方法、解決策をビジネスとして成り立たせる方法などを体験しながら学べるワークを授業の中に多く組み込みます。
・本授業では、学生と教員の対話、学生同士の対話から学べることが多いと考えるため、ペアワークやグループワークなどアクティブラーニングで学ぶ機会を多く作ります。
・本授業は、全学部生、全大学院生向けに開講するため、新入生から博士学生まで幅広く受講できます。学年が異なる学生との交流の場としても機能させたいと考えていますので、横と縦のつながりを作ってもらえればと思います。
・Slack を用いて、授業外でも交流できる場を設けます。

※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31467	S	こまとちゃんゼミナール～駒場図書館で学ぶ大学生のための情報検索・収集・発信スキル	山上 揚平	教養教育高度化機構	木 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

「こまとちゃんゼミナール」は、教養学部生のホームライブラリーである駒場図書館を活用しながら、大学での学習、研究はもちろん社会に出てからも役に立つ、情報の検索収集、そして活用の技術を身に付ける為の授業です。駒場図書館や情報システム部の協力のもと、大学図書館の様々な機能や学内で利用できる膨大な情報リソースの使いこなしを、グループワークを含む課題実習を通して学びます。
また講義や図書館見学などを通して、図書館という施設や制度自体についての理解も深めることが目指されます。
学期の終わりには、授業で磨いた情報検索・収集スキルを活かして、駒場図書館所蔵の資料を発信する実習を行います。駒場図書館内の展示スペースをお借りして、会期 2 週間ほどの展示企画(公開)の開催を目指します。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31454	S	サイバーセキュリティ	宮本 大輔	情報基盤センター	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

昨今、社会におけるサイバーセキュリティを脅かす事件や事故が毎日のように発生している。それらがどのような形で発生し、その裏側でどんなことが起きているのかについて、本学の情報セキュリティ教育研究センターの教員、ならびに、Z ホールディングス(ヤフー株式会社、LINE 株式会社)等からお招きするセキュリティ専門家が、わかりやすい言葉で解説していく。
はじめにセキュリティの概論や総論について、技術・経営・法律・人材育成などの観点から解説する。その後、セキュリティの最新のトレンドを形成している分野や、サイバー社会の多種多様なサービスと、セキュリティとの関係を解説する。それぞれの分野とセキュリティがどのように関係し、安心・安全なサービスを提供するためにどのような努力がなされているかについては、Z ホールディングス社などの現場の事例を基に、リアリティのある話題を、わかりやすく解説していく。
授業は講義形式で実施し、毎回提出する講義レポートにより成績評価を行う。全 11 回以上のレポート提出をもって単位取得とする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31473	S	ソーシャルビジネスをデザインする～課題発見と解決のアイディア創出へ	高橋 史子	教養教育高度化機構	木 6	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

＜概要＞
社会課題が複雑化し、不確実性が高まるなかで、本質的な課題発見能力、そしてイノベーティブなソリューション提案力が求められています。
本授業では、「クリエイティブな視点でソーシャルなビジネスアイディアを考案する」ということをゴールセットに、社会やビジネスにおける課題把握手法と、クリエイティブなソリューション提案と具体化していくための知識やスキルを学んでいきます。
ビジネスモデルの基本的な考え方や、社会課題の実態を学習し、アナロジー思考やデザインシンキングの手法を取り入れながら、ソーシャルなビジネスアイディア構築につなげていきます。「問いの立て方と目的の明確化」「状況分析と課題掌握」「達成するまでの工程の構築」「プレゼンテーションを含めたアウトプットづくり」など、今後の研究活動の向上やキャリア構築にも活きることとなるはずです。
さらにグループワークを通じて、自身の役割や強みを発見していくことになるため、ネットワークづくりやチームビルディングにも役立つこととなります。
＜目的＞
本授業では、社会人の責務として、利益追求だけではなく、社会の課題解決型でかつ持続的なビジネスの重要性を認識し、ソーシャルビジネスの企画・提案・設計を目的とします。
そのために知識やスキルを獲得しながら、多様な専門領域の受講生とともにビジネスアイディアを実践的に構築し、これを探究し続ける姿勢を身につけます。
＜目標＞
✓ 社会課題の基礎知識と関心を持ち、SDG s の実現を目指す人材を育成する
✓ 思考のフレームワークを用いながら、実社会で必要となってくる「上位概念から具体的プランづくり」、「具体事例から上位概念化」を行き来できる柔軟な思考力をつける
✓ 自身の強みを発見し、チームワークづくりの考え方の基礎をつける
✓ プロジェクトをタスクベースに落とし、実行に移す遂行力をつける
✓ 日本語（英語）のプレゼンテーション能力を身につける
✓ 他大学との交流を通じて、学生同士のネットワークを構築する
✓ 第一線で活躍する社会人のレクチャーやコメントを通じて、キャリアパスについて考え、日頃の活動や今後の展望について整理する
＜受講生の皆さんへのメッセージ＞
ビジネスとは、世の中の「不」の解決です。
誰かが困っていること、悩んでいることがあれば、
そこにニーズがあり、ビジネスチャンスがあります。
なかでも社会課題解決型のビジネスに求められるのは、
表層的だったり、私たちが固定概念的に捉えているニーズではなく、
より深いニーズの掘り起こしです。
またそのニーズは、ただの思いつきや閃きに基づくアイディアでは満たせません。
イノベーティブなビジネスソリューションも、
実はアイディアの掛け合わせでできています。
既存のアプローチの方程式を丁寧に分析すれば
これまで行われていない解決方法を発見できますし、
他の領域で行われてきた手法を
今の課題解決に導入できないかを考えてみるだけでも
アイディアは無数に生まれます。
ビジネス×社会課題×クリエイティブーー。
一見異なるように見える領域を横断しながら
社会が求めているニーズの深層を掘り起こし、
寄り添いながら、綿密なアイディアを考え出す。
そんなことを本プログラム通じて行う過程で
自身を突き動かすミッションや強み、
向き合いたい課題を見つけてもらえればと思います。
チームで協力しながら新しいソーシャルビジネスの種を
クリエイティブに生み出していきましょう！
※ソーシャルビジネスコンテスト等に出場予定の方は、ノウハウなどもお教えしますので、ぜひご参加ください。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31765	S	タイ医学ゼミナール	宮原 由佳	学生による全学自由研究ゼミナール	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【こんな方にオススメの集中講義です】
・タイ古式セルフケアで、自分の肩こりや疲労を癒したい！
・ヘルスプロモーションに興味がある！
・UNESCO 認定：無形文化遺産（タイ古式マッサージ）＆世界の記憶（ルーシーダットン（タイ古式ヨガ））のエッセンスを学びたい！
・タイの伝統医学に興味がある！
・タイの医療の現状について知りたい！
・タイ文化について知りたい！
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
【ゼミ目標】
タイでは伝統的な「タイ医学」を統合医療やヘルスプロモーション政策に組み込む等、多岐に渡り活用しています。ゼミでは「タイ医学」を通じて「タイ古式セルフケア法」を学び、「セルフケア」について考察を深めていきます。
【ゼミ概要】
理論編ではタイ医学の概要や活用法について多面的に学びます。実技編ではタイ伝統医療の中で行われているセルフケア療法（タイ古式マッサージのセルフバージョン・ルーシーダットンと呼ばれるタイ古式ヨガ）を学びます。日常生活の中で、自分で自分の疲れや凝りを癒し、自己免疫力を高めてくれる‘古の智慧’が詰まったタイ伝統セルフケア療法です。皆で一緒にレッスンをしながら体感とともに学びを深めていきます。
※ワットポー タイトラディショナル メディカルスクール（タイ王国第一級王立ワットポー寺院）にて、外国人として初めて伝統に基づいた本格的な修養を積み講師として認定された宮原が、多国籍にわたる方々への施術・指導経験をベースに行う東大生のためのスペシャルゼミです。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31572	S	チョコレートはお好き？外来種は？S （自由自主の企画系ゼミ） ～「チョコレートが好き」から広がる世界～	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

・チョコレートは好きだけど外来種は嫌いだと思った方は、ある意味で矛盾を抱えていることを意識してください。
【注目ください！】チョコレート作りから学ぶべきことがあると言っても、ぼんやりとチョコレートを作ってみたところで何も学んだことにならないのかもしれません。おそらく、大学生として何を学ぶことができるのかとゼミを通して探ってゆく姿勢が必要です。ただチョコレート作り体験をしてそれで終わりというつもりの方には、このゼミは不向きでしょう。
【本ゼミの背景】
南伊豆の樹芸研究所では温泉熱を利用した温室で熱帯産有用植物を育てており、その温室で収穫したカカオを使ってチョコレートを作り市販したのが 2015 年のことです。日本国産カカオによるチョコレートを市販した第一号案件となります。その製造には伊豆に学ぶ熱帯植物編の受講生から有志５名が関わりました。
その取り組みの中で考えたことは、「日本初」とかに関係なく、チョコレート作りのプロセスに参加すること自体に学びを見出すことができるということでした。
これまで、本自由研究ゼミは「伊豆に学ぶ」を下敷きとして、ゼミで考えたことや気付いたことなどを、言語化して他者（例えば伊豆に学ぶ未履修の東大生）に伝えることを軸として活動してきました。
その一方で樹芸研究所は、２０２１年７月７日に石川県加賀市で国産カカオ生産に取り組む共同研究に取り組むことを発表しました。共同研究契約は加賀市・東京大学・(株)DK-Power・(株)フェリシモの４者で結びました。加賀市において、バイオマス発電の排熱と温泉の廃熱を生かしてカカオ生産に取り組むというものです。
【目標】
今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響から、以前のようなスタイルでの体験ゼミの実施できず、体験ゼミの学びの実現は困難さを増している。
そこで本自由研究ゼミでは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」のチョコレート作りアクティビティを教材としてどのように活用することができるかに焦点を当てて受講生の皆さんと議論を重ねたいと考えています。
本ゼミの目指す目標として、いくつかの項目を挙げておきます。
前提として、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」をオンラインと自宅で実施する体験を組み合わせて実施するとした場合の、体験型教材のアレンジを本自由研究ゼミで行うものとします。
①オンライン型の体験ゼミ教材として、自宅で実施できるようにビーントゥーバーチョコレート作りのアクティビティをアレンジする。
②チョコレート作り体験から何かを引っ張り出してみる。
③引っ張り出したことを何とか言語にして、第三者に伝える体裁を整える
④②の成果を、学園祭企画として発表し、伊豆ゼミ OB/OG を招き討論会を催す。
⑤②③の成果を元に、冬学期に開講予定の体験ゼミ「伊豆に学ぶ 熱帯植物編」（ただしアレンジを変更する可能性もある）に参加し、自主研修（討論）をリードする。
受講後に達することを期待する変容をいくつか列挙してみましょう。
⑥自主・自律に動けるようになること。
⑦様々な問題を他人ごとにしない気分を身に付けること。
⑧議論することの楽しさを知ること。
⑨学ぶということの本質を見据えて、ゼミ生とともに学ぶ楽しさを知ること。
※受講者数：上限を１２人とする。
※開講場所：弥生キャンパス（土曜日か日曜日）と駒場キャンパス E39 教室（１０／１９（火）、１１／９（火）、１２／７（火）、１／１１（火）２限）
※弥生キャンパスでの講義：発酵の仕込みとビーントゥーバーチョコレート作り体験を行う。密にならないように、複数回に分けて実施する。
※オンライン講義：各自パワポを用いてオンラインでプレゼンを行う。学びのポイントについて討論・考察する。
※ガイダンスは伊豆に学ぶ・森に学ぶ（低山）と共通でオンライン（zoom）で行います。
１０／７，８，１１の６限
https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/87127581500?pwd=amk3bXFJb0FxdWVwZmh5dW5xM2w2Zz09
ミーティング ID: 871 2758 1500
パスコード: dMv9YT
・参加希望者は izu.seminar（アットマーク@）gmail.com まで、氏名・学籍番号を知らせてください。
・件名を「自由自主のチョコゼミ」としてください。
・履修登録後、講義用の ZoomURL を ITC-LMS でお知らせします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31521	S 1	デジファブでアクセサリーを鋳造してみよう	大竹 豊	工学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要	鋳造技術は古来から存在する金属加工法です。その鋳造を最新のデジタルファブリケーション設備でスマートに行うことを体験することを目標にします。 --- ※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ---						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31556	S	ドイツ語圏文学への誘い	山本 潤	文学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	ドイツ語によって書かれた文学作品を紹介し、その抜粋を原語（一部の作品は現代ドイツ語訳）で精読する。この授業はドイツ語圏文学入門としての意味を持ち、ドイツ語で文学作品を鑑賞するための語学能力を養うことを目標とするとともに、様々な時代の作品を取り上げ、ドイツ語圏文学史に関する知見を獲得することを目指す。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31494	S 1	ナノマイクロ 3D アートを探求しよう	吉元 俊輔、高橋 哲	工学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要	1．バイオミメティクスおよびナノマイクロ 3 D 構造創製法の基礎を学ぶ 2．自然界のマイクロ 3 D 構造を、先端顕微観察機器で、高分解能観察し、その芸術性を堪能するとともに、物理的機能を考察する。 ※このゼミは 4 月 6・7 日 6 限にオンラインにて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 --- ※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ---						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31469	S	ブランドデザインスタジオ 25 新しい「幸せ」のブランド (探求編)	真船 文隆、山上 揚平	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

●プログラムについて
『正解のない問いに、共に挑む』特別教育プログラムです。参加者の皆さんが今後、広く社会一般で活用し得る「共創」の手法を「21 KOMCEE （理想の教育棟）」を舞台に、東京大学×博報堂ブランド・イノベーションデザインのコラボレーションにより学んでいただきます。全回、ワークショップ形式で行われ、現役の広告会社社員、ブランド･コンサルタントがプログラム･デザインおよびファシリテーションを担当します。参加者でプロジェクトチームを結成し、チームでテーマに関するリサーチと分析を行ってもらうことを予定しています。
【URL】http://www.bdstudio.komex.c.u-tokyo.ac.jp/
●テーマについて
みなさんにとって、「幸せ」とはなんでしょうか？
日本政府は 2021 年 6 月 18 日に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針 2021」の中で、これからの「政府の各種の基本計画等について、Well-being に関する KPI を設定する」ことを表明しました。同日に発表された「成長戦略実行計画案」では「国民が Well-being を実感できる社会の実現」を目指すことも述べられています。
背景には、2011 年から OECD「より良い暮らし指標(Better Life Index)」を、2012 年から国連が「世界幸福度報告(World Happiness Report)」を、それぞれ調査・公表し、2019 年にはニュージーランド政府が「幸福予算」と訳されるウェルビーイング重視の予算編成を行うなど、世界的な「幸せ」や「ウェルビーイング」への注目の高まりがあるとされます。

私たちにとって非常に基本的なことがらでありながら、いま、改めて様々な議論がなされている「幸せ」や「ウェルビーイング(※)」。今回のブランドデザインスタジオは、この「幸せ(Well-being)」という概念をテーマとして取り上げます。(※Well-being は、直訳すると「善いあり方」。幸福、福利など様々な訳語があてられ、必ずしも「幸せ」と同一ではありませんが、この授業ではこの 2 つの言葉を検討・分析いただきたいと思います。)
参加いただく皆さんには、多様なリサーチや議論を通じて、「幸せ」を多面的に捉え直してもらいます。東京大学の研究者やみなさんの周りにいる若者など、さまざまな方をインタビューし、集めた情報を分析・統合し、「幸せ」について社会が抱える課題や生活者が期待する価値を深掘りしていただくことを予定しています。本授業における最終成果物として、「幸せ」についての、読み手を触発するクリエイティブな分析レポートを創出していただきたいと思います。授業終了後には、一般公開する形でプレゼンテーションをしていただく予定です。

なお、今年度の「ブランドデザインスタジオ」は、S セメスター・A セメスター通じて、「幸せ」をテーマとする予定です。A セメスターでは、S セメスターで制作した分析レポートに立脚し、「幸せ」に関する具体的な商品やサービスのアイデアを創造していただくことを予定しています。2 セメスター通してのご参加を推奨いたしますが、S セメスター・A セメスターいずれかのみのご参加も歓迎します。
「幸せ」とは、何か？ 根源的であり、かつ新しい、この問いにじっくりと向き合いたい。そんなあなたの参加をお待ちしています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31561	S 1	プロジェクト志向の翻訳と MT「実用化」時代の翻訳者コンピテンス	影浦 峡	教育学部	火 3, 火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

2016 年に Google が日本語に関わるニューラル MT を公開して以来、MT の実用性に関して（ほとんどの場合特に取るに足らない）議論がなされてきた。一方、翻訳論の領域では、翻訳者に必要なコンピテンスの概念が外在的に定式化される傾向にあり、それと翻訳の品質管理の関係も議論されている。本ゼミナールでは、プロジェクト志向の翻訳（実際のプロによる翻訳の大部分はプロジェクトとしてなされる）に必要な翻訳コンピテンスの概要を理解し、入門的にその一部を体験する。
※履修人数を 15 名に制限する

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31542	S	ホモトピー型理論	植田 一石	数理科学研究科	金 1	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

数学の形式化としては集合論、圏論、型理論などの様々な理論が提案されてきた。ホモトピー型理論は今世紀に入ってから導入された型理論の一分野であり、ホモトピー論や高次圏論との関係から活発に研究されている。この授業ではなるべく予備知識を仮定せずに、ホモトピー型理論に関する入門的な文献を読むことを目標にする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31544	S	もう一つの微積分学	阿部 紀行	数理科学研究科	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　実数の中に有理数はたくさん入っています．逆に，有理数の「穴を埋める」と実数ができる，ともいえます．このような手続きは完備化と呼ばれますが，この完備化によって得られた実数が，通常の微分や積分などを行う上での舞台となります．ところで，有理数に対して別の完備化を行うことができます．それは各素数 p に対して行うことができ，p 進数と呼ばれる数を与えます．では，p 進数の上で微分や積分といった理論を展開することはできるのでしょうか？ できたとして，どのようなことが得られるのでしょうか？ その一端を垣間見ることにします．

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31487	S	ロボティック医療システム	原田 香奈子	工学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要　本ゼミナールでは，当研究室で開発されている世界最先端の手術ロボットや理化学実験用ロボットシステム，VR 手術シミュレータ等を実際に操作する．また，ものづくり技術・知識，コンピュータ・ネットワークなどの情報学の知識，医学的知識を駆使して実現する手術支援システムはどのようにして構築されるのか，また，医工連携はどのように行われているか，その入門を学ぶ．
※受講人数：10 名に制限する．対面で受講可能な学生に履修者を限定する．

※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31570	S	伊豆に学ぶプラス S 「感じる・考える・行動する」サイクルの発動 南伊豆で SDG s を考える	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　【注意】この自由研究ゼミは対面で実施します。
この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテータとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。大役であればこそ、大きく成長する機会となるであろう。大役と聞いてちょっと尻込みする貴方・貴女へは、「できる様に育てるのがプラスの講義」「案ずるより産むが易し」と励ましたい。
この講義のもっと具体的な目標は、全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」の事前講義と事後講義を企画することである。その背景に、伊豆に学ぶへのより深い理解が重要であることは言うまでもない。
本講義「伊豆に学ぶプラス」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにするために、真剣に考え・顧みて、議論することを大切にする。最近の若者を支配する「空気を読む」ことを強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行っては、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になる。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」を本ゼミに具現したい。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待したい。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を実現すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念であり、伊豆に学ぶプラス生が果たす役割である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31529	S	学部学生のための研究入門コース-UROP1 (Undergraduate Research Opportunity Program 1)	川越 至桜	生産技術研究所	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。
駒場リサーチキャンパスにある生産技術研究所（生研）では、ＩＴ、ナノテクノロジー、バイオや環境の分野を始めとした、工学全般における様々な最先端の研究を行っている。このような先端研究について、従来の受動的な授業とは異なり、自分自身の手を動かしながら研究を進め、実験や実習を通して実践的に学んでいくのが、本ゼミナールの特徴である。
研究テーマに関しては、生研で行われている数々の研究から興味のあるテーマを選択する。授業の形態としては、選択したテーマを研究している研究室の一員として、設定した目的や計画のもと研究を進め、最後に研究成果の発表を行う。具体的な方法、内容や日時などの研究の進め方については、研究室の教員と相談しながら決めること。
このような実際の研究プロセスを体験することにより、研究のノウハウを学んでいく入門コースである。
授業内容や研究テーマの詳細については、ホームページ (http://www.oshimalab.iis.u-tokyo.ac.jp/UROP/) を参照のこと。
※履修人数を 20 名に制限する。
※開講場所：生産技術研究所
※ガイダンスは、4 月 6 日（水）および 4 月 7 日（木）の 2 日間、12 時 20 分よりオンラインにて行う。2 回とも同一内容で実施。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31559	S	鎌倉幕府法の史料を読む	酒井 智大	法学部	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

百五十年ほどに亘って存在した鎌倉幕府は、とりわけ最後の五十年ほどの間に、前近代の日本史上に類例を見ない精緻な紛争解決のシステムを発達させた。かかるシステムの運用によって生成された多数の文書その他の史料を読むことで、我々はこれを窺い知ることができる。この授業は、そうした史料の読解の手ほどきを目的とする。またそれを通じて、鎌倉幕府法と近代法との間に存する微妙な差異について省察をめぐらせることも、狙いとする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40268	S 2	環境浄化・保全の微生物学	野尻 秀昭、原 啓文、鈴木 研志、水口 千穂	農学部	水 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

我々は豊かな生活を享受して、現代の生活を謳歌しているが、その裏側では燃料、溶剤、農薬などの様々な化成品が毒性物質として環境を汚染し、我々自身や野生動植物を含むエコシステム自体の劣化・悪化を招いている。このような環境汚染の問題は年々深刻さを増しており、早急な対策が求められるのは言うまでもない。このような有機物による環境汚染の浄化においては、物理・化学的な処理に加えて、微生物を用いた環境浄化手法（バイオレメディエーション）も有効な選択肢の一つとなりうる。同様に、我々の家庭や工場などから排出される有機系排水の処理でも、微生物による排水処理がメインの処理技術として長く利用されている。
このように、環境・エコシステムを守るために目に見えない微生物の力は、実際に利用されている。この全学自由ゼミナールでは、環境分野における微生物利用の実際を紹介する講義を行った後に、参加する学生の興味を元に微生物利用が鍵となる環境問題を設定し、その解決のための方策を、調べた結果の発表や教員との議論を通じて練り上げてもらう。その過程を通して、環境分野での微生物利用についての現状を理解してもらうと共に、方策を議論するプロセスを見ることで技術・社会・コストなど環境問題を幅広く捉える視点を醸成することを目的とする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31549	S	基礎は地味だが役に立つ	西増 弘志	先端科学技術研究センター	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

近年、生命科学の基礎研究の成果を基盤とした予想外の技術革新が続いている。本ゼミナールでは、新型コロナウイルスに対する mRNA ワクチン、および、CRISPR-Cas9 を利用したゲノム編集技術（2020 年ノーベル化学賞）を例に、基礎研究の成果がいかにして技術革新につながったのかを解説する。講義ではまず、これらの理解に必要な生命科学の基礎知識（セントラルドグマ（DNA→RNA→タンパク質）や核酸・タンパク質の立体構造）から説明する。また、原著論文の読み方、便利なウェブツール、実際の研究生活などに関しても紹介したい。
参考
自己紹介
https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/research/frontrunner_nishimasu.html
コロナウイルスへのメッセンジャーRNA ワクチン
https://www.rnaj.org/component/k2/item/856-furuichi-28
CRISPR そしてゲノム編集へ…
https://www.rnaj.org/component/k2/item/844-nishimasu-1
Cas9-ガイド鎖 RNA-標的 DNA 三者複合体の結晶構造
http://first.lifesciencedb.jp/archives/8416

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31517	S	教育イノベーションプロジェクト	吉田 塁	工学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

◆ 概要
世の中には多くの教育課題があります。みなさんも身近なところで「教育がこうなったら良いのにな」と思うことはないでしょうか？
この授業では、そのような教育課題を見つけて、自分たちなりの具体的な解決策を提案・実践してもらうプロジェクト型学習を行います。
その目的に向けて、どのような教育課題があるのか、解決策がありうるのか、効果的な解決策を検討する方法など必要な知識を体験しながら学べる環境を提供します。また、EdTech（教育で活用できる技術・サービス）の世界最大のコンペティションである GESAwards（Global EdTech Startups Awards）R&D 部門の世界大会で私達が優勝した際の知見も惜しみなく共有します。
最終的には、自分たちがアプローチしたい教育課題とその解決策を発表してもらいます。その際、解決策の具体的なイメージを持ってもらえるようなプロトタイプも合わせて提示してもらいます。プロトタイプと言っても、実際に稼働するプロトタイプでなくても良く、相手にコンセプトが具体的に伝わるスライド、画像、動画でも大丈夫です。また、そのようなプロトタイプを作るために知識を提供したり、中間発表を 2 回行って最終発表のイメージを作ってもらったり、と作業する上で必要な情報提供は行うのでご安心ください。
◆ 本授業の特徴
・本授業は、実践を重視する授業で、課題発見・解決をしてもらえるような仕掛けを多く設けます。例えば、既存ツールの課題を見出してもらう、現状の課題を提示して，解決策を考えてもらうワークを授業の中に組み込みます。
・本授業では、学生と教員の対話、学生同士の対話から学べることが多いと考えるため、ペアワークやグループワークなどアクティブラーニングで学ぶ機会を多く作ります。
・本授業は、全学部生、全大学院生向けに開講するため、新入生から博士学生まで幅広く受講できます。学年が異なる学生との交流の場としても機能させたいと考えていますので、東大内で横と縦のつながりを作ってもらえればと思います。
・Slack を用いて、授業外でも交流できる場を設けます。

※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31533	S	駒場すずかんゼミナール「学藝饗宴」	鈴木 寛	公共政策大学院	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

爛熟期を迎えた19世紀末フランスのサロン、とりわけ詩人マラルメの「火曜会」を範とする本ゼミは、文部科学副大臣も務めた東京大学公共政策大学院教授の鈴木寛（すずかん）主催のもと、『学藝饗宴』と題して学術と藝術を綜合する教養教育を目指すものである。

「すずかんゼミ」として四半世紀に亘り開講されてきた歴史を持ち、2017 年度より新たに本題にて開講されている本ゼミの主な授業内容は、ゼミ生同士の対話および各界の第一線で活躍するゲストを講師に招き行うセッションである。過去にお招きした講師の方々については、是非下記の Facebook ページにて確認してほしい。

本ゼミは、特定の問題についての答えを与えるものではない。むしろ、関心のある領域をそれぞれが見出し、頭から離れなくなるような問いを得ることを目的とする。問いに際して、論理や経験から答えを導こうとするだけではなく、個々人が自らの真善美を追求し、感性を磨きあげることに重きをおく。分からないものの分からなさに好奇心を抱き自らの血肉として結実させようと試みる学生を歓迎する。

※本講義は集中講義形式の授業であるが、履修者・OB/OG・オムニバス講師等が主体的に開催する毎週のサブゼミが火曜日 19〜21 時に行われる。集中講義も基本的に同時間帯である。このサブゼミに毎回参加できることが履修に際しての前提条件となる。

※選考をガイダンス時に行い、受講者を若干名に限定する。

※過去の選考課題、その他の詳細は Facebook ページ（https://www.facebook.com/MinervaKomaba/）を参照すること。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31489	S	空飛ぶ車を実現するための機械工学	柳本 潤、杉田 直彦	工学部	集中	1	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

○工学部機械工学科が提供するゼミナールです。下記の２名の教員が主催する研究室が合同して行います。

柳本 潤 教授

杉田直彦 教授

空飛ぶ車には、社会インフラ、法制度のみならず、「車」そのものをどのようにして実現し製造するのか？を考え、技術開発を進めねばなりません。機械である「車」を実現するための機械要素、センシング、材料、について、以下の 1〜3 の項目から 1 件、4〜6 の項目から 1 件選択して、調査、設計、解析を行います。

１．歯車が加工される瞬間の温度を捉えるためのセンサを開発する.

最高温度が 1000℃に達する中，応答速度を 1ms まで短くするためには，素材の力学・熱特性を十分に検討して提案・設計する必要があります.

２．レーザ光が物質の中を光速で進む様子を捉えることのできる，超スローモーションカメラを開発する.

このカメラを使って，レーザ光がフェムト秒の時間スケール（1 フェムト秒は 10-15 秒）で進みながら引き起こす物理現象を映し出し，光の特性を探っていきます.

３．筋電位（EMG） 信号に基にした外骨格を開発する.

外骨格は，運動障害を持つ人が物をつかんだり歩行することを可能にし，体力，持久力と術後のリハビリテーションを向上させる.

４．空飛ぶ小型トラック・自動車に利用される骨格・スキン材料を開発する

空飛ぶ小型の個人用移動体に利用できる骨格・スキン材料を開発します。 軽量、高い強度、安全性、量産性と価格など考慮する必要があります。

５．ばねの変形と疲労を考えよう

機械の中には歯車、ばねが多用されます。ばねに作用する力を考察し、変 形を考え、疲労破壊を勉強し、壊れないばねにするための方法を考えます。

６．Computer Aided Engineering による棒線材圧延工程設計

非線形 FEM を利用した使いやすい CAE 解析システムを利用して、長大橋や自動車用部材の素材である棒線のための、圧延工程設計を体験します。

※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45〜）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31536	S	現代中東基礎講座 I	鈴木 啓之	教養学部	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	【授業の目的】 この授業では、現代中東の諸相を横断的に学び、現代社会を理解するための基礎教養を身につけていきます。 【到達目標】 （1）中東地域で起きた出来事について、具体例を 3 つ以上挙げて説明することができる。 （2）中東地域での事象を事例として、自らの意見を述べることができる。 （3）関連する 3 点以上の言葉を、因果関係で結びつけて整理し、示すことができる。 （4）任意のテーマについて、関連するキーワードを 3 点以上用いて論述することができる。 （5）自らの関心に引きつけて、中東地域の具体的な事象を論じることができる。 （6）中東地域に関わる任意のテーマに関して、自ら参考文献を調べ、まとめることができる。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31576	S	考える力を養う／コントラクトブリッジ	浅井 潔	理学部	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	コントラクトブリッジを基礎から学び、判断力・分析力を駆使し、確率に基づいた最適プレイを選ぶ考え方を実践を通じて身に着ける。 コントラクトブリッジは、カード（トランプ）を使用して行う競技であり、チェス、囲碁、将棋と共に頭脳スポーツと呼ばれている。世界中に愛好者がおり、ブリッジの国際組織（WBF = World Bridge Federation）には１００か国以上が加盟している。担当教員は日本リーグ 1 部に参加経験のある上級者である。本授業は公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟の協力を得る。 コントラクトブリッジは、本来、テーブルを囲んで行うカードゲームであるが、本講義では、オンラインゲームを活用して完全オンラインで行う。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31534	S 1	国家のグランドデザインを描く ～政策立案シミュレーション～	仲 浩史	公共政策大学院	木 4	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	現在、日本の経済・社会構造はかつてない変化を遂げており、次世代を見据えると、社会保障制度、国と地方のあり方等、様々な制度について改革が求められています。同時に世界経済の情勢も日々刻々と変化し、国際社会との関わりも新しいフェーズに入っています。そうした中、それらの構造変化への処方箋が「政策」になります。本講義では、国家財政という視点を踏まえ、日本の将来を考えつつ、様々な課題にどのように対応していくか、現役の財務省職員とともに、政策立案の体験を通して考えていきます。学生ならではの新しい角度から、自由な発想で大胆な提言がなされることを期待しています。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31777	S	国際環境エネルギー経済学「２０５０年カーボンニュートラル実現に向けて」。	瀬川 浩司、松井 英生	教養教育高度化機構	木 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

本授業は、新型コロナ禍による未曾有の経済危機に直面している世界情勢の中で、極めて厳しい状況下にあるわが国経済社会が今後発展していくための方途を探ること、特に２０５０年を目指してカーボンニュートラルを実現していくための課題を分析すること、及び経済社会のあらゆる分野に活用され始めており近い将来において人間の職を奪い去るのではないかと懸念されているＡＩの躍進の状況下においてＡＩに負けない人材になるための課題解決能力の向上を図ることを目的としています。

１．電気、石油、ガスの三大エネルギーは、経済社会に定着して必要不可欠なものとなっており、現代生活においては、いつでも簡単に使えるものとして空気のような、あって当たり前のような存在になっております。しかし、東日本大震災において、これらエネルギーの経済社会における重要性が再認識されました。すなわち、これらエネルギーが無くなると経済社会は立ち行かなるということです。

以降、国を挙げてエネルギー問題の議論がなされて来ております。マスコミなどを通じて表に出ているのは原子力発電の議論が中心に感じられますが、本問題は、わが国経済社会の在り方のみならず、わが国の安全保障問題にも直結する重要課題であり、実際はもっと幅が広くかつ奥が深い議論がなされております。同時に国際的に地球環境問題も重要課題として議論がなされており,

再生可能エネルギーの開発が進んでおります。エネルギー問題と地球環境問題は表裏の関係にあり、密接に関連して議論がなされております。一昨年菅政権は、２０５０年に向けてカーボンニュートラルを実現していく方針を打ち出しましたが、これは我が国経済社会のシステムを抜本的に変革させるものであり、人々のライフスタイル、価値観、文化までも大きく変化させるものであります。この実現に向けて経済社会のあらゆる分野で脱炭素に向けた取り組みが始められましたが、どれも簡単な課題ではなく、総合的に対応していく必要があり、国が国中の英知を集めて将来ビジョンを創り、その具体的実施を官民協力して進めることが必要不可欠であります。

２．カーボンニュートラルを実現していくためには、先ずエネルギー問題についての実情を理解することが必要です。エネルギーが無ければ、人々の生活は勿論のこと、経済社会は成り立たないのであり、エネルギーの輸入が貿易収支に大きな影響を与え、更には、エネルギーコストの上昇は、経済社会活動に大きなインパクトを与え、国に発展を左右します。加えて、エネルギー資源獲得競争は、紛争を惹起させたり、国際的軍事情勢に影響を与えるばかりでなく、原子力発電政策のあり様により世界の安全保障問題にも大きな影響を与えます。また、化石燃料によるエネルギーは地球環境問題を引き起こします。

３．国際環境エネルギー問題の扱い方如何によって今後の明るい我が国の将来像が見えてくると言っても過言ではないと思います。逆に言えば、国際環境問題に関する取り組みを間違えれば、わが国の先行きを不透明にすると言っても過言ではないと思います。

このような難しい課題を内在しているエネルギー問題について、脱炭素、すなわちカーボンニュートラルの実現を目指すということは極めて難しい課題で、エネルギー問題に上手く対応することによってクールでスマートな日本の実現を図っていくことができると思います。

４． 一方、アメリカのトランプ大統領の出現を契機に、従来正しいと信じられていた新自由主義、グローバリズム、自由貿易といった概念に疑問が呈せられております。アメリカ第一主義の名の下、保護主義的概念が台頭してきております。この背景には様々なものがありますが、一つにはアメリカがシェールガス、シェールオイルの開発生産により、エネルギーの輸入に頼る必要がなくなりエネルギーセキュリティの立場が極めて強固になったことが挙げられます。バイデン政権になり方向性に変化が見られましたが、米国内の政治状況から依然として先行きは不透明であると思います。更に脱炭素関連の技術を巡って中国の台頭が世界経済社会に大きな影響を与えかねない状況になっております。

このように今まさにエネルギー情勢等の変化によって世界の経済社会の価値観やルールに大きな変化が起きつつある重要な時期であると思います。

５．また現在世界的に蔓延している新型コロナ禍により世界的に経済状況が危機に瀕しており、それを受けて社会状況も差別が台頭するなど観覧が生じており、世界経済社会のブロック化が進展する恐れが出てきています。すなわち新型コロナの感染の拡大を抑えるためだけではなく、今後の新しい感染症の侵入を抑えるとともに他国に依存しない経済社会を志向して世界のブロック化が進む恐れがあると言えます。そのような状況下において各国が自国の経済社会の発展を図るためにはエネルギーの安定的確保が必要不可欠で、今後ますますエネルギー確保をめぐる競争が激化する可能性が高いと思われます。このような厳しい状況下においてカーボンニュートラルを実現していくためには解決すべき課題が山積しております。

６． そこで、本講義は、経済社会の帰趨を左右する国際環境エネルギー問題の実情を説明し、近い将来に経済界、官界,政界、学会、マスコミなどにおいて我が国を支えることとなる聴講生が、そのリーダーシップをとるに当たり参考となる考え方の材料を提供することを目的とします。したがって、細かい事象やデータを覚えるのではなく、エネルギーを巡る大きな流れを理解できるよう解説をします。

経済産業省においてエネルギー行政の最前線で政策立案に携わっている若手の官僚達を議題に応じて 4 名程ゲスト講師として迎えて、カーボンニュートラルを実現していくための課題について、再生可能エネルギー政策などの実状と政策立案の裏話などを披露して頂きます。

また、わが国トップの再生可能エネルギー関連のスタートアップ企業の経営者の方をゲスト講師として迎えて、民間企業における実業の具体的な内容や大学在学中に起業した苦労話や成功話などを披露して頂きます。

7. 更にＡＩ、ロボットの進展により人間の仕事がＡＩなどに置き換わって行く可能性があると危惧されていますが、このような懸念の払拭に資するよう、人間として似コミュニケーション能力や人間らしい判断力、構想力、など人間力を磨くための方途につき解説します。これは、社会に出て活動をするに際に必要不可欠な課題解決能力の向上に役に立つと思います。

８．後半の授業において、グループディスカッションをするほか、環境エネルギー問題に限らず聴講生からの様々な質問に答える機会を設けます。

９．若手の官僚たちによる、政府における政策立案に際しての裏話などの講義もあることから、文科系、理科系の全ての学生にとって有意義であると考えます。
講義のポイントは、以下の通りです。
１．石油、ガスの太宗は中東地域で賦存している。
２．中東地域は、民族上、宗教上の対立などにより紛争が頻繁に勃発している。
３．石油、ガスの利権確保などを目的に欧米ロシアなどの列強が中東地域の紛争に加担して、彼ら の代理戦争の様相を呈している。
４．我が国は、エネルギーの９割以上を輸入に依存している。
５．エネルギーが途絶すると我が国経済社会は立ち行かなくなる。
６．東日本大震災時の福島原発事故を契機に純国産エネルギーであるとともに地球温暖化対策に 貢献する原子力発電に対して反対論が台頭している。
７．地球温暖化問題への対応が国際的に高まっている。この観点から、２０５０年に向けてカーボン ニュートラルを実現していくために再生可能エネルギーの開発と導入促進が喫緊の課題となって いる。さらにあらゆる産業において脱炭素の取り組みが進めて行くことが求められている。
８．原子力発電がほとんど停止している現状において、雇用の喪失、地域経済の疲弊、産業構造の 変化、経済の停滞などが生じることに加え、代替燃料としての石油、ガスの輸入が大幅に増大し て貿易収支を赤字傾向に悪化させている。
９．．核燃料サイクル政策の帰趨が不明確になったことにより、使用済み燃料の処理問題とプルト ニウム処理問題が大きな課題となっている。
１０．原子力爆弾に直結する恐れのあるプルトニウム管理問題は世界の安全保障問題として最重 要な課題となっている。
１１．最近の脱炭素の動きから石油などの生産減と原油価格の大幅な上昇が世界の政治情勢、軍事情勢に大きな影響を及ぼしており、世界の国家間の枠組みに変化をきたす恐れが生じている。
１２．昨年末のＣＯＰ２６までに多くの国がカーボンニュートラルを宣言したが、目標年次が日米欧は 2050 年、中国、ロシアは 2060 年と違うなど各国とも国益を睨んでしたたかに対応するという経済戦争の側面があり、またこれまで志向されてきたグローバル化の動きとは相反するブロック化の動きが強まる恐れがあり、各国間でのエネルギー獲得競争が激化する恐れがある。
１３．電力・ガスに自由化、石油産業の再編など我が国エネルギー産業が大変革期を迎えている。
１４．以上のような最近の世界を揺るがす様々な状況変化の下で、今後の我が国の豊かな経済社 会を実現していくために、今後の国際環境エネルギー政策の在り方が極めて重要になっている。
１５．デジタル化、ＡＩの進展の下で、ＡＩを使いこなせる資質を持った社会人となるために人間力の向上が求められている

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31532	S	国際政治の新しい課題	鈴木 一人	公共政策大学院	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　現代の国際政治は伝統的な国家間関係だけでは説明できない。一方ではアメリカの超大国としての地位が衰退し、中国の台頭やロシアなどの地域大国の影響力が増しているが、他方で、世界は自由貿易を基調とした、グローバル市場の統合が進み、高度に相互依存関係にある。こうした中で国際政治を学ぶ上で必要なコンセプトをきちんと理解し、その上で国際政治の現状を理解するための基礎となる知識と解釈を身につけることを目的とする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31463	S 1	国連と文化 1	井筒 節	教養教育高度化機構	水 3	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　戦争の惨害から将来の世代を救い、全ての人の人権と尊厳を守り、一層大きな自由の中で社会的進歩と生活水準の向上を促進する決意のもとに創設され、2022 年に 77 周年を迎える国連。
国連教育科学文化機関（UNESCO）憲章に「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とあるように、国際社会では、これまでの軍事・経済・政治を中心とした視点に加え、人間の心のウェルビーイングに目を向けた国際的パートナーシップの必要性に注目が集まっています。
人々の心に働きかけるためには、文化や芸術が大きな役割を担います。よって、この授業では、国連システムの基礎や、2030 年までの国際優先事項である「持続可能な開発目標（SDGs）」について学びながら、心の交流や文化・芸術の力に注目した、未来志向の国際協力について考えます。
＊この授業は、S2 タームの「国連と文化 2」夏季 NY 集中講座履修希望者の必須クラスですが、2022 年度は、現在の世界情勢により、「国連と文化 2」夏季 NY 集中講座は中止となりました。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31578	S	最新の宇宙像	峰崎 岳夫	理学部	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　近年、宇宙観測の技術は急速に発展を遂げており、私達人類が持つ宇宙像は、大きく塗り替えられている。最先端の宇宙観測とその成果を、理学系研究科附属天文学教育研究センターに所属する様々な分野の専門家がわかりやすく紹介する。天体現象だけでなく観測手法についての解説も行う。天文学の知識を系統的に与えることが目的ではなく、多様な宇宙の姿やその観測技術・研究手法に興味を持ってもらい、科学的な思考方法に慣れてもらうことに主眼をおく。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31525	S	最先端の生命科学研究を駒場で体験する	大杉 美穂	教養学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　教養学部後期課程（理系）・統合自然科学科の「統合生命科学コース」には、ライフサイエンス研究の若きトップランナーが集結し、生命科学のフロンティアを開拓しています。本ゼミの履修学生は、最先端の研究を展開している研究室に数名ずつ配属され、未解明の研究課題に実際に取り組んでもらいます。
研究の進め方は教員と相談して決めます。研究室によって曜限を指定する場合、指定しない場合、集中して行う場合があります。セメスターの最後に、履修者全員が参加して成果報告会を開催する予定です。
統合生命科学コースの特徴は、先端性と多様性である。准教授が独立した研究室を運営できるため、２６もの研究室がある。その研究テーマは極めて多様であり、分子生物学や細胞生物学、植物生理学といった理学的な基礎研究から、神経科学、内分泌学といった医科学的な研究、そして、創薬などを目指した薬学・農学・工学的な研究まで多岐にわたる。ノーベル生理学・医学賞を受けたオートファジー研究が駒場で開始されたという事実が象徴するように、流行にとらわれない独創性の高い研究が行われている。実験や理論などのアプローチ法も多彩である。若き教員が柔軟な発想で、先端的でチャレンジングな研究テーマを選び、熱心に学生を指導するのみでなく、教員自らが現場に立って実験をしている研究室も多い。
生命科学が大好きで、新しい分野を切り拓きたいという熱い想いを持つ学生を歓迎する。また、文系から理系への転向を考えている学生も受講できる。教科書で学ぶことの先にある生命科学の最先端を体験して欲しい。
担当教員と研究テーマ（今後増える可能性があります）：
大杉 美穂 マウス受精卵の細胞分子生物学
道上 達男 ツメガエル胚の形づくりに力はどのように関わるか
畫間 敬 植物と共生する微生物の未知の機能の探索

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31457	S	災害現場と情報/Real disaster site and useful information	酒井 慎一	大学院情報学環	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　最近、災害が増えたと聞くことが多い。それは、本当だろうか？ その災害現場に行き、何が起きたのか、どう伝えられているのか、何が被害を拡大させたのか、何が足りなかったのか等を調査し、その結果をまとめる。「将来の社会への提言」を作ってみることが目標である。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31456	S	作曲＝指揮	伊東 乾	大学院情報学環	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	クラシック系統の音楽演奏、とりわけ指揮の基本と、西欧近代音楽に立脚する音楽作り、おのおのに担当者は一般的な体系を構築している。それを講義・演習する。具体的には Boulez＋Ito の Spectral Conducting の基礎からの演習と 動力学的な手法を活用する Post-Serial な音楽の実作を扱う。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31468	S	耳を啓く、音を創る ～感性と知性の協働のためのサウンドデザイン入門	山上 揚平	教養教育高度化機構	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	「耳を啓く、音を創る」は、様々な社会的・文化的な音に囲まれて生きる私たちにとっての「聴くこと」を深く理解する為に、世界に耳を澄ますと共に、自ら世界に音を付けてみるというアプローチを試みる授業です。社会の一線で「音付け」に携わる方々をゲスト講師としてお招きし、ワークショップや創作実践を通して、様々なサウンドデザインの思想と技術を学びます。そこから、自分と自分を取り巻く世界との「音」を介した関わりに、新たな気付きを得ることが本授業の目標となります。 2022 年度 S セメスターは「映像」と「ビデオゲーム」の 2 ジャンルを取り上げます。 ●ゲスト講師紹介 西岡龍彦（第 3～5 回） 作曲家、東京藝術大学名誉教授。東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科創設に関わり 17 年間勤務。コンサート作品、コンピュータミュージック、環境音楽、イベントや映像のための音楽を作曲。牟岐礼のペンネームで NHK のドキュメント番組、美術番組、ドラマ、放送技術研究所の 22.2 マルチチャンネル音響システムによる音楽を担当。 田中治久（hally）（第 7～9 回） ゲーム史／ゲーム音楽史研究家。チップチューンと呼ばれる領域を専門に作編曲家やエンジニアとしても活動しており、ビデオゲームへの楽曲提供、ライブ活動、音楽配信プロデュース、サウンドトラック CD 制作協力など多方面に実績がある。主著に『チップチューンのすべて』(誠文堂新光社)、『ゲーム音楽ディスクガイド』（監修,P-VINE）など。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31471	S	自然科学サロン(シーズン２) 身近な生命科学編 2022S	鹿島 勲	教養教育高度化機構	木 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

何の変哲もない身近にあること・現象への気づき、さまざまな学問領域への自由な横断

==========

【特徴】
＊少人数制
＊グループ作業あり
＊体験・プチ実験あり
＊文理融合

==========

本ゼミは、㋑普段とくに気に留めることもないような身の回りあることへ着目、気付きから知的興奮へ、㋺ニュースなどでもよく出てくる DNA、PCR といった生命科学用語・技術の理解、㋩それらを科学的に思考し批判することを主たる目的とした講義シリーズ、垂直／水平展開しながら進んでいく。
具体的には、身近な生命科学に関する事柄・現象・時事ニュースを題材／起点とし、㋥実体験・実験、㋭講義、㋬課題発見・解決、㋣特別ゲスト講義、㋮グループ作業および発表、にセメスターを通じ取り組む。この授業は駒場の自然科学サロン、気軽に楽しむ、教員と仲間とお話をする、こういう気持ちで取り組んでほしい。
この取り組みは、自然科学という分類が与えられた学問領域での普遍性・独創性への探求、その醍醐味の紹介を第一の目的とするが、同時に、工学、人文科学、芸術、音楽、歴史、文化、数理科学、時事ニュースなど、異なる領域をも恐れずに“自由に飛び回る”、そういった気風、“駒場らしい”教養教育の追求、環境／授業／教材開発を目指す。この授業を通じて、“自由に飛び回る” 練習、その面白さを体験してみたい学生さんにぜひ参加してほしい。
これらの試験的な試み、特別な体験を通じた “考えるトレーニング” の機会を提供すること、ピュアな自然科学の楽しみ、加えて、履修者のみなさんが世界が多様であることを受容し、様々な視点・観点でアイデンティティーを確認・確立する良いキッカケにもなること期待して 2022 年度も開講する。

==========

【導入／題材／起点】
ココに一人前のランチ寿司があります。中には、マグロの握りが多めに入っております。ただそれだけでは美味しいだけですが、ジーっとみていると、だんだん様々なことに気づき、不思議に思うことがあるはずです。タダの一人前のランチ寿司でも、自然の現象を観察し研究することの好きな人には、なかなかおもしろい食べものです。(寺田寅彦の「茶わんの湯」のようなエッセイ、鹿島、執筆中)
その後の展開は、授業中に説明する。

==========

【教室】
KOMCEE EAST 3 階 教育開発用実験室
https://goo.gl/maps/dmcwqNjYiUmNuvW88
【本授業をよりよく履修するための関連授業】
下記 2 つのゼミを履修することで、本授業はよりよい体験となり、よりよく楽しむことができる。併せての履修を勧める。
全学体験ゼミナール
S2 集中
「それ何マグロ？」身近な生命科学実習－マグロ属魚類の魚種類判別－
http://www.adves.c.u-tokyo.ac.jp/practical/molecular_biology/
→ 実験三昧、少人数制、もっと沢山実験したい人にお勧め。
→ 自然科学サロンとのセット履修を大歓迎。
全学自由研究ゼミナール
A セメ木 4
「茶わんの湯」から最新の科学を考える
http://www.adves.c.u-tokyo.ac.jp/chawan/
→2022 年で 8 年目。寺田寅彦の名随筆「茶わんの湯」をお手本に、ココにすでにある身近なコト・モノ・現象を多様な視点・観点・スケール感で考えるトレーニング。オムニバス授業。
【問い合わせ先】
salon@adves.c.u-tokyo.ac.jp

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31557	S	実践的プログラミング	金子 知適	教養学部（情報・図形科学部会）	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

プログラミングによる問題解決では、与えられた問題に対して、適切なアルゴリズムを考えることと、それを正確にプログラムとして実現することの両方が必要となる。本授業では「国際大学対抗プログラミングコンテスト」などに出題された問題を題材として、アルゴリズムを考えてプログラムを作る能力を実践的に養うことを目指す。
プログラミングの経験を受講の前提とする(授業では文法等は解説しない)。詳細は http://www.graco.c.u-tokyo.ac.jp/icpc-challenge/ を参照のこと.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31478	S	社会科学への招待	保城 広至	社会科学研究所	水 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	本郷にある社会科学研究所（社研）は、その創設以来、法学・政治学・経済学・社会学の専門家を有し、質の高い研究を現在まで継続してきた。本ゼミナールは、その社研の教員 6 人が「社会科学とは何か？」という問題意識に対して、初学者に対してもわかりやすく解説し、法学・政治学・経済学・社会学それぞれの分野の特徴、違いや共通点などを理解することを目標としている。理系・文系の区別は問わず、「社会科学」一般に興味がある学生であれば参加を歓迎する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31459	S	週刊・福島復興知学講義	秋光 信佳	アイソトープ総合センター	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故により、放射性物質による環境汚染はもとより、それに付随した超学際的な諸問題が発生した。この間、東京大学を含めた全国の大学関係者が福島を中心とした被災地に赴き、多様な復旧・復興活動を行った。その過程で多くの智恵と知識（これらを「復興知」と定義する）が蓄積された。本講義では、被災地で活動してきた各分野の専門家が、①放射線に関する基礎的知識、②社会科学的視座からの諸課題の分析、③実践的アプローチ（復興農学、廃炉研究、まちづくり、放射線利用研究、ドローンなどの新産業創出の取り組み、など）を通じた次世代型復興学、について体系的に講義する。この講義を通じて、専門課程に進学する前の学生に、社会科学、災害研究、リスク・コミュニケーション研究、政策研究、農学、工学、理学、医学、放射線影響学、など多様な分野を融合した「復興知学」を身につけてもらい、災害の多い日本の未来を総合的に設計できる人材育成を目指す。そして、日本ならではの新しい学問領域を世界に発信できる人材の育成を目指す。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31548	S	集合論入門	新井 敏康	数理科学研究科	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	集合は数学の基礎である。集合の初歩的事項として順序、基数、選択公理、フィルターなどについて、英文の教科書により学ぶ。同時に英文で書かれた数学のテキストを読むことに慣れる。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31571	S	獣害問題とは何の問題か S（自由自主の企画系ゼミ）～獣だけの話ではない。見えにくい防災問題や国土荒廃の連環～	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」で初めて獣害を意識したという方には、もう少しじっくりと向き合っていただきたい。それが獣害問題とは何の問題かということ。
もちろん、伊豆に学ぶの受講生ばかりではなく、獣害問題について考えてみたい、考える必要を感じる、重要なんだろうけどどこか他人ごとになってしまうという、普通の東大生に「皆で考える」場を提供するゼミにするつもりで居ります。
ただ考えるだけでなく、考えたことを交流させる「場」を学園祭に作ることを一つの具体的な目標とします。
本自由研究ゼミはこれまで、学園祭においてイノシシピザやイノシシソーセージの燻製を来訪者に提供する取り組みを通して、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」で扱ったイノシシ被害の問題が南伊豆地域に存在していることを伝えてきました。
しかし、新型コロナ禍にあって、従前のスタイルで学園祭にて演示することができなくなりました。２０２２年Ｓセメスタも「新型コロナ時代版」として、獣害問題と向き合う機会を提供します。
講義タイトルにはあえて「獣害問題」と書きました。
なぜ、野生動物と人との軋轢が増しているのでしょうか。
「オオカミを絶滅させてしまったからシカやイノシシが増えている。他所から捕食者オオカミを再導入すればこの問題は解決する」
という話を耳にすることがあります。
オオカミの再導入で問題は簡単に解決するのでしょうか？
問題はそれほど単純ではないと思われます。
オオカミを再導入する前に、なぜ日本人はニホンオオカミを絶滅させてしまったのかということにはしっかりと向き合う必要があるはずです。
ニホンオオカミと日本人との間に軋轢があり、その結果としてニホンオオカミを絶滅させることになったのであれば、他所から再導入するオオカミと私たちとの間に軋轢が生じないと考えるのは合理的ではありません。
「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持てないことが問題をさらに深刻化させているというとても重要な気付きを得られたと思います。
ゼミ中に得たその「感覚」も、そのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。
本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。
この自由研究ゼミの目標は「獣害問題」の解決策を提案することではありません。
複雑な問題に対して簡単に「解」を出そうとするのではなく、複雑な問題とじっくりと向き合うことを目標とします。
答えが出ないことと向き合うことは、東大生がもっとも不得手とすることかもしれません。
大学入学試験では、正しい解を素早く出すことが求められるので、多くの東大生はその手のことは得意でしょう。
皆さんが社会に出てから向き合うことは、一筋縄では行かないことが多く、最短距離で正解に直行する思考方法はあまり役に立たないかも知れません。
答えが出せない複雑な問題は、うまく避けて通ればよいのでしょうか。
新型コロナ禍により宿泊を伴う実習がままならない状況にあります。
本ゼミでは日帰りで、南伊豆を訪ね、獣害の現場を視察し、罠を作り、仕掛けてみます。せっかくなので手作りイノシシソーセージを試食していただきましょう。
従来は、東京大学体験活動プログラム「伊豆の体験活動 獣害編」によって
ゆっくりと向き合う時間を取ってきました。
本ゼミではその一部分だけ掻い摘んで体験してもらいます。
さて、前述した様に、
このゼミでは五月祭・駒場祭に「獣害問題と向き合う」企画を打ち出します。
問題の本質が何であるのかを一緒に考えるきっかけを提供するのがこの企画の狙いです。
S セメスタ開始後すぐに五月祭（５／１４－１５）があります。
駒場祭ではゼミの先人が用意してくれた企画に合流していただきます。
君たちの本番は次の駒場祭です。
2022 年の駒場祭企画を好きなように創作していきましょう。
※受講人数：１０人を上限とする
※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしない気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。
※講義：駒場で対面 4 回のほか、希望があれば南伊豆で獣害の現場視察や罠作りなどの体験をおこなう。
※学園祭に自分たちの企画を出展することを目標とする
※ガイダンスはオンライン（zoom）で行います。
・参加希望者は izu.seminar（アットマーク@）gmail.com まで、氏名・学籍番号を知らせてください。
・件名を「自由自主の獣害問題ゼミ」としてください。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31558	S	情報システム利用入門	松島 慎、中丸 智貴	教養学部（情報・図形科学部会）	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	一般的な情報システムの利用方法を初歩から学ぶ。情報システムのモデル、端末の操作方法、応用ソフトウェアの基本的な利用を中心とする。情報に関する深い理解や高度な機構の理解は対象としない。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31582	S	人類とデジタル // Humanity and the Digital	FACIUS Michael	東京カレッジ	木 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	コンピューターが人間の未来にもたらす最も重要なチャレンジと不確実性は何ですか？そして、デジタルテクノロジはそのチャレンジ や不確実性などをどのように調査し、考えることを可能にするのでしょうか？デジタルテクノロジーは単に非常に強力なツールですか？それともそれ以上になれるでしょうか？ このコースは、最近の急速なデジタル技術の進歩によってもたらされた個人として、特定の国のメンバーとして、そして世界的に、生活と研究の変化に焦点を当てています。このセミナーでは、私たちの生活における人類とデジタルの相互作用の理論、歴史、倫理についてディスカッションします。また、人文科学の研究におけるデジタル方法と実践についても学びます。東京カレッジの 2 つの研究テーマである 2050 年の人文科学と、デジタル革命と人文科学の未来を通じて、進歩、デジタル化、人文科学、人文科学という重要なテーマを探っていきましょう。 【学習目標】 ▶ 現在世界中の社会学者・哲学者が人類とデジタルのどの問題について議論しているのかを理解すること ▶ デジタル・ヒューマニティーズの用語と方法を基本的なレベルで理解すること ▶ 学際的な視点から人類とデジタルのテーマを議論することができますこと ▶ あなた自身の分野で人類とデジタルの問題について議論することができること -- What are the most important challenges and uncertainties that computer technology presents for our human future? And how does digital technology itself allow us to research and think about these problems? Is digital technology merely a very powerful tool? Or could it be more than that? This course is focusing on the changes in our life and research as individuals, as members of particular nations, and globally, brought by the recent rapid progress in digital technology. In this seminar, we will discuss the theory, history, and ethics of interaction of humanity and the digital in our lives. We will also learn about the methodology and practice of digital in our humanities research. Let's explore topics of progress, digitization, humanity, and humanities through the lens of two research themes of Tokyo College: Humanities in 2050, and the Digital Revolution and Future of Humanity together. After successfully completing this course, you will •understand what topics related to humanity and the digital are discussed by social scientist and philosophers today all over the world •have a basic understanding of terminology and methodology of digital humanities •be able to humanity and the digital from the interdisciplinary point of view •be able to discuss issues related to humanity and the digital in your own discipline						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31541	S	数理物理への誘い－解析力学と相対性理論－	加藤 晃史	数理科学研究科	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	現代的な物理学は難しいと考えられがちだが、数学的構造と物理的内容を区別してそれぞれをきちんと理解すれば、教養レベルの数学と物理の知識で充分に理解可能である。本ゼミナールは、解析力学と相対性理論を題材として数理物理の広大な世界への入門としたい。 予備知識としては 1 年次に学ぶ力学、線形代数、微積分、微分方程式などの基礎的な知識（特にテイラー展開や合成関数の微分の連鎖律など）を仮定するが、未修であっても必要に応じて適宜解説する予定である。 わずかな基本原理を仮定し、論理的な考察によって驚くべき結果を次々と見出したアインシュタインら先人達の驚きを追体験しよう。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31524	S	生命の普遍原理に迫る研究体験ゼミ	石原 秀至	生物普遍性研究機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。
東京大学生物普遍性連携研究機構（Universal Biology Institute, UBI）に関連する研究室で研究体験型のゼミをおこなう。過去半世紀にわたる生命科学の進展により、我々は生体内で起こる分子レベルの反応の詳細や、それに関わる分子種についての膨大な知識を集積してきた。一方で、それら分子が総体として織りなす「生きている状態」とは、そもそもどういう状態なのか？そして、そのような状態を特徴付ける法則や原理は何か？このような基本的な問題について、我々人類はまだほとんど理解できていない。この問いは生物学のみに閉じた課題ではなく、現象の記述と理解に必要な数理科学の発展や、新たな実験・計測技術の開発を必須とする。この意味で現代生命科学は科学諸分野のフロンティアを押し広げるとともに、これらを再統合する現場ともなっている。UBI では、生物に共通する普遍的な法則とメカニズムの解明を目指し、従来の生物学の枠を越えて、数理科学、理論物理、分子生物学、生物物理学、進化生物学、有機化学、ナノバイオテクノロジー、細胞イメージングなど、広範な分野の研究者が共同で研究に取り組んでいる。
本ゼミでは、通常の学生実験や授業とは異なる、最先端の科学研究の現場を体験する機会を提供する。履修者は下記のいずれかの研究室に配属し、学問分野の垣根を越えた、分野横断的な科学研究に触れながら、基本的な実験技術やデータ解析手法を学習したり、数理演習や計算機実習を通じて理論研究の基礎を学んだりする。未知の分野にチャレンジし、将来的に自ら新しい分野を開拓していこうと思う意欲的かつ野心的な学生を歓迎する。
担当教員と研究テーマ
【駒場キャンパス】
澤井 哲: 細胞のナビゲーションを、実験的・理論的に理解する
若本 祐一: 細胞表現型ゆらぎと適応・進化の関係を探る実験研究
石原 秀至: 生命現象の数理モデルのシミュレーション
道上 達男: 胚の形態形成に関わる”力”を調べる実験
豊田 太郎: 人工細胞観察デバイスを微細加工技術で創って，人工細胞を実際に観察する
市橋 伯一: 培養可能な最小の生物を探してみよう
柳澤 実穂: 細胞モデルを用いた生命現象の物理的理解
小林 徹也: 生体情報処理や自己複製過程を数理とデータから考える(駒場 II キャンパス)
【本郷キャンパス】
古澤 力: 進化過程の計算機シミュレーションによって何が解るか?
岡田 康志: 顕微鏡を作って生きた細胞を計測する
伊藤 創祐: 情報理論や確率的な熱力学を用いた生命現象の理論研究
入江 直樹: 最も進化した脊椎動物はどれだ？ -遺伝子発現情報解析からの探索-
杉村 薫: 多細胞パターン形成を物理と統計の眼で理解する(統計解析もしくは実験研究)
最新の情報は以下を参照。http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/UBI/education.html

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31523	S	生命科学の最前線	岡崎 拓	定量生命科学研究所	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要　定量生命科学研究所で行われている研究を題材に、その分野の歴史や最新の知見をオムニバス講義形式で紹介する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31527	S	先端科学技術のスポーツへの応用	中澤 公孝	スポーツ先端科学連携研究機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

スポーツパフォーマンスを高めるために様々な科学技術を応用することは今や必須の要件となっている。しかし、スポーツの現場でそれらを有効に利用するためには、導入する科学技術を選手や指導者に理解してもらう必要がある。そのためには、科学技術側の専門家と現場をつなぐ橋渡し人材が必要である。この授業では、この橋渡し人材(以後スポーツサイエンスインタプリタ;SSI）に必要と思われる知識や技術を提供する。それによって受講者が将来、SSI 的役割をスポーツ現場で果たし得る素養を身につけることが本授業の目標である。この目標に近づくために、本授業では、SSI の理念、役割についての学習、既にスポーツ科学を指導に取り入れている実践例の学習、最新スポーツテックの利用とそれを用いた指導の実習、を通じて、SSI の理念と実際について学ぶ。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31528	S	禅籍を読む	柳 幹康	東洋文化研究所	水 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	中国で興隆した禅宗は東アジア一帯に広まり、20 世紀には ZEN として欧米にも発信され、哲学や文学・芸術など多方面に多大な影響を及ぼした。禅宗において編まれた文献（禅籍）は難解であるが、近年の研究によりその独特の論理や思想の歴史的展開が解明されつつある。この授業では、その研究成果を紹介しつつ、中国の禅籍を時代順に取り上げ、その原文を一緒に読んでいく。これにより今日にいたるまで多くの人をひきつけてきた禅宗の思想・実践の魅力について考えてみたい。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31543	S	楕円曲線入門	三枝 洋一	数理科学研究科	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	楕円や放物線，双曲線は，二次方程式で定まる平面曲線であり，二次曲線と呼ばれている．それに対し，本講義で扱う楕円曲線は，三次方程式で定まる平面曲線のことである．方程式の次数が一つ上がっただけではあるが，楕円曲線は，二次曲線に比べてはるかに豊かな理論を有している．1995 年に解決されたフェルマー予想の証明に楕円曲線が使われたことをご存じの方もいることだろう．この講義では，楕円曲線を通して，代数幾何（代数方程式で定まる図形を扱う分野）や数論幾何（代数幾何的な手法によって数論的な問題にアプローチする分野）の入口を紹介することを目的とする．高校数学のみを前提知識とし，できる限り初等的な形で，証明を含めた解説を行う予定である．					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31462	S	大気海洋科学の最前線	山崎 俊嗣	大気海洋研究所	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	地球規模の気候変動による災害の増加や生態系の変化が地域的・国際的に大きな問題となっています。大気海洋研究所では、地球表層を覆う海洋と大気に関する様々な基礎的研究を推進し、地球環境の変動機構や生命の進化など、人類と生命圏の存続にとって重要な課題の解決につながる研究を展開しています。本ゼミナールでは、大気海洋研究所で行っている海底から大気に至る幅広い研究の中から興味深いトピックスを集めました。地球と人類の未来を左右する気候や海洋、そして海の生き物や生態系などについての理解を深めることにより、地球環境と我々の将来について考えるきっかけを提供します。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31460	S	地球社会におけるリアリズムの探求	馬路 智仁	教養学部（社会・社会思想史部会）	金 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	この授業では、グローバル化した地球社会における今日的問題を論じた英文記事を分析し、議論を重ねることで、どのような分野に進もうともその基礎的体力となる、知識と情報分析能力、そして「自立した思考」の獲得を目指します。誰かの受け売りではなく、自分の目で見て、自分の頭で考え、自分の言葉で表現する能力（仮に「思考のリアリズム」と呼びます）を培うことが、本授業の最大の目的です。同時にこの授業では、 ● 現代的課題をめぐる英文記事の分析を通じて、この世界で何が起こっているか、この世界はどのような方向に向かおうとしているかを知り、日本の位置を相対的に捉える視点を獲得すること、 ● 思考のリアリズムを培い、独立した個、そしてその表裏として、他者を正面から理解し協働する能力を養うこと、 ● 今後それぞれの進路においてリーダーシップを発揮する人材となるための知的体力を身に着けること、を目標とします。 なお本ゼミは、履修人数を 18 名に制限します。そのため選考を行いますので、「履修上の注意」を読んでください。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31839	S	電池レス IoT デバイスのためのエネルギーハーベスティング	鈴木 雄二、LEE YAERIM、三好 智也、塩見 淳一郎	工学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要	近年、IoT（モノのインターネット）が注目され、ばらまき型の無線センサやウエアラブルデバイスが我々の生活で使われ始めようとしています。これらのデバイスの電源には、ボタン電池などが用いられていますが、頻繁に交換や充電をしなければなりません。ある報告によれば，IoT への応用の 90%が電力供給に課題があるとされており、普及の大きな障害になっています。 本ゼミナールで対象とするエネルギーハーベスティング（Energy Harvesting、環境発電）は、環境の中に薄く広く存在する振動や熱などのエネルギーから微弱な電力を取り出すもので、無線センサやウエアラブルデバイスを電池なしに駆動できる技術として最近多くの取り組みが行われています。 本ゼミナールでは、特に、環境の振動を用いた振動発電、熱・温度差を用いた熱発電をとりあげ、講義と実験を通じて発電原理・しくみの理解と、腕時計型ウエアラブルデバイス、農業用無線センサなど、応用デバイスの社会への展開について学習します。 --- ※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ---					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31564	S	動物細胞研究法入門	田中 智、片岡 直行、伯野 史彦、杉浦 幸二、後藤 康之、高橋 伸一郎	農学部	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	動物の生命現象を解明しようという努力は、個体の観察から始まったことは言うまでもない。これが組織、そして細胞へと機能の解析が進んだのは、「細胞培養」という技術が開発されたことに依るところが大きい。細胞は、分離して培養することができる生物の最小単位と言われている。これらの細胞を用いて、それぞれの細胞に特異的な生命現象や、普遍的な現象の機構などを検討できるようになったのは大きな進歩である。その後、遺伝子工学技術が開発され、動物細胞に外来遺伝子を導入し高発現したり、内在性遺伝子の発現を抑制したりすることも可能となった。この技術の開発により、細胞レベルで、興味がある遺伝子の機能、これがコードするタンパク質の機能などを調べることができるようになり、細胞生物学的研究が開花した。本講義では、このような動物細胞を用いた研究の原理と手法、実例などを紹介、動物細胞を用いた研究で何ができるのかを知ることを目標とする。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31550	S	読み破る政治学 －多読・乱読・精読ゼミ－	牧原 出	先端科学技術研究センター	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

このゼミは対面で行います。説明会もまた第一週に対面で開催します。もっとも状況に応じて、オンラインでの参加を認めることもあるので、適宜掲示などを参照してください。なお、授業前にオンラインでの講義や打ち合わせがある学生については、東大先端研の牧原研究室でオンラインで視聴するスペースを用意しますので、事前に申し出た上でオンラインの打ち合わせなどに参加した上で、対面のゼミに参加して下さい。
牧原研の YouTube チャンネルに、ゼミの概要を配信していますので、そちらをご覧ください。
URL は https://www.youtube.com/channel/UCjmHAPyMqKTnE1NKAK_k6hg など、過去のものも含めて適宜参照してみてください。どうしても説明会に参加できないが（できなかったが）受講を希望する学生については、個別に contact@pha.rcast.u-tokyo.ac.jp までご連絡ください。
また事前に質問などがあれば、個別ないしはグループでのオンラインのプレゼミを開始します。上記アドレス宛にご質問など投げてください。
今年で１０年目となるこのゼミでは、多読、乱読、ときに精読を心がけ、古今東西の政治学に関する本を「読み破る」ことを目標にします。毎週１冊本を読んで短いペーパーを書いて全員が事前にそれを読んだ後ゼミが始まります。ゼミでは、いくつかのペーパーを取り上げて、全学生が意見を言う、質問をする、反論をする、といった議論を繰り返します。もちろん人の意見をじっくり聞くことも大事です。教員はできるだけ議事進行に努めますが、ここぞというときには今学生に必要と判断したコメントを出すようにします。学生同士の議論が基本です。そこから何が得られるのでしょうか。もちろん政治と政治学についてよりよい読みを目指して理解を深めることはとりあえずの目標です。しかしそれだけではありません。まずは自分の考えを構築してみましょう。その上で他の学生からの質問で驚いたり考えたりすることで、一冊の本に対する多様な理解があることを知るでしょう。集合知としての本に対する理解というものがあることに気づいてほしいと思います。そこから初めて自分の読みが広がります。このように自分の読みを深め広げることこそが、これから勉学を深めたり、研究に踏み込んだり、自分の人生を生きぬく力を得ることができるのです。ゼミでは、そのためにいろいろな仕掛けを用意しています。著者同席の回や、「私の勧める一冊」という回もあるでしょう。例年恒例だったゼミ終了後のブック・サロン、ブック・トリップ、ラボ・アドヴェンチャーも可能な範囲で行うことを考えます。すでの多くの修了生がいますが、夏休みには、修了生も一部参加する「合宿」（宿泊が難しい場合は、一日講義室でゼミを行う形をとります）を行います。合宿で何をするかは未定ですが、ここ数年、夏合宿は本の集中的な講読、冬合宿は本に関するドキュメンタリーを製作することが課題でした。
※受講人数：あらかじめ制限はしない。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31560	S	難民から学ぶ「人間の安全保障」：WITH コロナ時代の SDGs を考える	佐藤 安信	地域文化研究専攻	木 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

日本が外交の原則とし、政府開発援助(ODA)の指針ともしている、「人間の安全保障」を理解し、実践するための入門的なセミナー。とりわけ、その中心的な地球規模の課題の１つである、「難民」に焦点を当てる。ゲスト講師として難民やそれに準じる方々や、関係する国際機関、政府機関、弁護士や NGO、企業などのマルチ・ステークホールダーを招き、その体験談や実践、政策上の課題、活動の現状報告をいただき、難民など「人間の安全保障」を脅かされている人々の生活や、その支援の実態を知り、可能な解決と予防について考え、質疑をし、討議をする。とりわけ、新型コロナウィルスのパンデミックや日本との関係が深く混乱するミャンマー情勢を加味し、最近の国際政治状況による影響とそれへの対応についても考え、議論する。参加者は、グループで様々な難民や関連機関、支援団体、関係企業などについて、調査し、可能ならば、難民や庇護申請者などからの聞き取りをし、意見交換や議論をし、提言を含めた発表を行う。英語のみで行う場合もある。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31479	S	日本中世絵画史料論	藤原 重雄	史料編纂所	火 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

日本の歴史に限らず、社会を捉えるには、俯瞰的な視野と微視的な洞察とのバランスが求められます。おおまかな枠組みを学ぶとともに、個別具体的な素材を分析する方法を習得する必要があります。本講義では主に後者に力点を置いて、日本中世（12～16 世紀頃）に成立した絵画作品を対象とする研究実践を紹介します。歴史学の構えや可能性をお示ししたいと思いますが、むしろ個別の素材を通して、視覚表象とどのように接していったらよいのか、学術研究の範囲に限定せず、各人の「ものの見方」を育てることに資すればと思います。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31562	S 1	微生物の生きざま -基礎から応用研究のはなし-	石井 正治、亀谷 将史、西村 慎一、森脇 由隆、手塚 武揚、水口 千穂	農学部	水 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	食品、医療、環境、農業分野など、微生物は私たちの生活と密接に関わっています。本講義では、本学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻並びに応用生命工学専攻に所属する若手教員が、それぞれの専門分野における微生物研究に関して最先端のトピックスを紹介します。諸々の最先端手法を駆使して、多様な微生物についてどのような研究が行われているかを、基礎から応用に至るまで知る絶好の機会となることを請け合います。 履修の制限はありませんが、微生物に興味を持っている学生諸君の積極的な履修を期待します。 微生物のことをあまり知らないのだけれど、、という人も心配ご無用！ガイダンスにて、微生物学の基礎も講義いたします。（ガイダンス実施教員は、【若手】ではありませんが・・・・）						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31498	S	物理学汎論	沙川 貴大	工学部	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	物理学は、力学、熱力学、電磁気学、量子力学、…等といくつもの科目にわけて講義されることが多いが、実際は人類の膨大な思考の積み重ねによって、一つの統一された学問を形成している。そこで本講義では、歴史と最新の発展をふまえて、物理学の全体像を三部構成で俯瞰することを目標とする。 まず第一部では、相対性理論を解説する。時間の遅れやローレンツ収縮などの不思議な現象を通して、時空や対称性といった物理学の基本的な考え方を学ぶ。 第二部では、「光子」を題材にして量子力学をゼロから学び、ミクロな世界の物理法則が如何にマクロな世界とは異なっているかを議論する。さらに、量子暗号や量子テレポーテーションなど、量子力学の性質をフル活用した最先端の量子情報技術の紹介を通して、量子力学をより深く理解することを目指す。 最後に第三部では、統計力学について解説を行い、マクロな自然現象がミクロな粒子の集団的振る舞いによってどのように記述されるかを述べる。さらにフェルミ粒子やボーズ粒子といった異なる統計性をもつ粒子の集団的振る舞いの違いを示すことで、低温状態で現れる超伝導や超流動といった多彩な物性の発現を理解することを目指す。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31475	S	平和のために東大生ができること	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	戦争を知らないどころか、核戦争に巻き込まれる危険が真剣に議論されていた冷戦すら過去のものとなってから生まれた世代は、戦争体験や被爆証言をどのように受け継いでゆけばよいのか。特定の国民・民族・個人の歴史証言を記録する意味とは何か。そしてそれは世界の平和に寄与するものたりえるのか。このゼミでは軍縮と平和について、感情論に陥らず、イデオロギー色をできるだけ排して、学び合い、語り合う。 今学期は、SDGs（持続可能な開発目標）の Goal16「平和と公正をすべての人に」をテーマに、中央アジア諸国を事例として、ソ連からの政治・経済・社会の移行期に生じた（あるいは生じている）さまざまな問題を「体制移行国の課題」として取り上げる。関連する文献を多数読むほか、映像資料なども利用する予定である。とくに国連総会で承認された唯一の永世中立国トルクメニスタンと、2022 年初頭に大きな政治的混乱を経験したカザフスタンに今学期はとくに注目する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31535	S 1	豊かな人生設計に必要な金融リテラシーを学ぶ ～実務の最前線で奮闘する官僚が語る～	池田 宜睦、仲 浩史	公共政策大学院	火 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	人生 100 年時代の到来や、ライフスタイルの多様化など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しつつあります。加えて、FinTech の台頭や、低金利環境の長期化など、現在の金融をめぐる状況も急速に変化しています。こうした中で、豊かな人生を送る上では、金融についての正しい知識（金融リテラシー）を身に付け、安定的な資産形成を行っていくことの重要性が以前にも増して高まっています。 本講義では、昨今の経済社会や金融をめぐる環境変化を踏まえながら、私たち一人一人が豊かな人生を送る上で知っておくべき金融リテラシーについて講義を行います。具体的には、ライフプランニング、資産形成、保険、FinTech、暗号資産（仮想通貨）といったテーマを扱うことを予定しています。（必要に応じて、金融庁の現役官僚がゲストスピーカーとして参加します。） 文系・理系を問わず、金融リテラシーに関心のある学生の皆さんの幅広い参加を期待しています。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31464	S	未来の学びを考える【文献講読編】	中澤 明子	教養教育高度化機構	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	小学校から大学まで、教育・学習を取り巻く状況は日々変化しています。2000 年以降、大学では「アクティブラーニング」や「国際化」などの取り組みが多く行われるようになりました。また初等中等教育（小学・中学・高等学校）でも、「アクティブラーニング」や「GIGA スクール構想」などの取り組みが行われています。それでは、未来の学びはどうなるのでしょうか。 本授業の目的は、教育・学習に関する文献（章・節など短い分量）を読み、文献の内容や自身の経験（過去・現在）の意味を理解した上で、未来の学びがどうなるかを自分なりに考えることです。またその過程では、学期を通じてクラスのメンバーと「未来の学びがどうなるか」について議論し、自身の考えを深めていきます。文献の内容や学期を通じた議論を踏まえて、最終的には個人で考えた「未来の学び」（10 年後を想定）を発表・共有します。 ・授業の目標 授業を通じて、次のことを達成します。 1. 教育・学習に関する文献を読み内容を説明できる 2. 自分の教育・学習経験を、文献の内容と関連づけて示せる 3. 「未来の学び」について、クラスのメンバーと議論し、自分の意見を示せる 4. 文献や自身の経験、学期を通じた議論を踏まえ、自分なりの未来（10 年後を想定）の学びのあり方を示せる						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31466	S	模擬国連で学ぶ国際関係と合意形成I	星埜 守之、中村 長史	教養教育高度化機構	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	国際社会で生じる問題は、自然現象ではなく社会現象である以上、一人一人の力によっ てわずかながらでも良くすることもできるし、さらに悪くしてしまうこともあります。履修者の皆さんには、この点を意識し、自分の頭で国際問題の解決策を考えられるようになってほしいと考えています。 この授業では、「模擬国連会議（Model United Nations）」というアクティブラーニングの手法を用いて、国際問題の解決法を考えます。多様な利害・価値観に配慮することの重要性を理解するには体感してみることが早道ですが、模擬国連会議では、一人一人が米国政府代表や中国政府代表などの担当国になりきって国際問題について話し合います。立場を固定されている点ではディベートと同様です。しかし、 相手を論破することで勝利を目指すディベートと異なり、模擬国連会議では合意形成が目的であるため相手の利害・価値観を尊重したうえでの妥協が重要になります。この点を重視し、授業内では対立の激しい議題・担当国を設定して、 ロールプレイとシミュレーションに取り組みます。 2019 年度 A セメスターから開講してきましたが、6 期目の開講となります。 具体的な到達目標は、以下の通りです。 ①国際問題の構造や原因を説明できる【レポート 1, 2 で評価】 ②国際問題をめぐる多様な立場（利害・価値観）を説明できる【レポート 1, 2 で評価】 ③国際問題の解決・管理における妥協の重要性を説明できる【レポート 1, 2 で評価】 ④国連の資料を自ら調べて国際問題の分析に用いることができる【レポート 1, 2 で評価】 ⑤国際問題の解決策・管理策について、選択肢を複数挙げて比較衡量したうえで、妥当と考えられるものを説得的に示すことができる【レポート 1, 2 で評価】						

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40263	S 2	「それ何マグロ？」身近な生命科学実習－マグロ属魚類の魚種類判別－	鹿島 勲	教養教育高度化機構	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

＊対面授業に参加可能な学生のみに履修を制限
＊実験三昧・研究体験（生命科学
分子生物学）
＊少人数制
＊体験を通じた“考えるトレーニング”

==========

マグロの切り身の味や形状からその種別を判別・評価することは、魚の専門家でない限り極めて難しい。では、どうすれば誰でも正確に再現的にマグロの種別を判別できるであろうか？
本実習では、分子生物学的手法を用いたマグロ属に属する魚の種別判別実験の体験を通じて、1. 基礎的な実験スキル・考察方法習得、2. ニュースなどでもよく出てくる DNA、PCR といった生命科学用語・技術の理解を学習することを目的とする。
【実習の流れ】
① 本実習内容の説明
② マグロから DNA 抽出
③ 遺伝子増幅法（PCR 法）による DNA の増幅と DNA 配列特異的切断酵素による切断
④ DNA 断片を電気泳動により分離して検出
⑤ 得られた DNA のパターンからマグロの種別判別
⑥ サンガーシーケンス解析によるマグロの種別判別
⑦ 結果に関する発表および、ディスカッション
“考えるトレーニング”
上記の既定の作業に加え、参加している学生各自の学習到達度・実験の進行度合いに個別に対応し、初心者でも理解可能なシンプルな課題を個人／グループに随時与える。Web 検索や過去のプリント集を閲覧しても、答えは簡単には見つからない。各自／グループは、実験を自らデザインして各種の検討を行う必要もある。規定の実習の作業内容に追加するこの “考えるトレーニング”、答えが確定していない課題に挑戦する体験、楽しみながら実習に取り組んで欲しい。
【ガイダンス】
下記日程のお昼休みに実施する。
＊ガイダンスは、オンラインのみ。
＊昼食をとりながら参加可能。
＊実験室を見学したい場合は、相談に応じる。
2022 年 4 月 8 日（金）12:15～12:45
2022 年 4 月 11 日（月）12:15～12:45
2022 年 4 月 12 日（火）12:15～12:45
2022 年 4 月 13 日（水）12:15～12:45
2022 年 4 月 18 日（月）12:15～12:45
2022 年 4 月 19 日（火）12:15～12:45
2022 年 4 月 20 日（水）12:15～12:45
2022 年 4 月 22 日（金）12:15～12:45
2022 年 4 月 25 日（月）12:15～12:45
2022 年 4 月 27 日（水）12:15～12:45
【実習実施日】
2022 年 8 月 3 日（火）13:00～18:00
2022 年 8 月 4 日（水）13:00～18:00
2022 年 8 月 5 日（木）13:00～18:00
2022 年 8 月 8 日（月）13:00～17:00
2022 年 8 月 9 日（火）13:00～17:00
2022 年 8 月 10 日（水）13:00～17:00
【予備日】
2022 年 8 月 15 日（月）13:00～17:00
2022 年 8 月 16 日（火）13:00～17:00
2022 年 8 月 17 日（水）13:00～17:00
定期試験や個別の事情により、実習日に参加できない学生は、*必ず*事前にその旨を連絡すること。実習の進行に影響が出ないように個別スケジュール調整する。
【問い合わせ先】
practical-bio@adves.c.u-tokyo.ac.jp
【本授業をよりよく履修するための関連授業】
下記 2 つのゼミを履修することで、本授業はよりよい体験となり、よりよく楽しむことができる。併せての履修を勧める。
全学自由研究ゼミナール
S セメ木 4
自然科学サロン シーズン 2
https://bit.ly/33NH56H
全学自由研究ゼミナール
A セメ木 4
「茶わんの湯」から最新の科学を考える
http://www.adves.c.u-tokyo.ac.jp/chawan/

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31514	S	「ディープテック起業家への招待」	坂田 一郎	工学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【背景】 本講座における「ディープテック起業家」とは、①技術の新規性をコアバリューとし、②産業への大きなインパクトを与え、③グローバルイシューに取り組み世界への展開ポテンシャルを持つような事業（＝そのような事業を行う企業を「ディープテック企業」と呼んでいる）を立ち上げられる人材を指す。「研究開発型企業」と呼ばれることもあり、総じて高い学術的専門性、多くの時間や資金を要することが特徴である。分野例としては AI、ロボティクス、ゲノム・バイオ、素材、環境・エネルギー、量子コンピューター、ブロックチェーン、IoT・通信、宇宙、農・食などがあげられる。

近年、日本の製造業における国際競争力の低下が懸念されている中、上述した「ディープテック企業」と言えるようなスタートアップ/ベンチャー企業が少ないことが日本産業の課題と言われている。東京大学からは 400 社以上のベンチャー企業が生まれているものの、IT アプリケーション・ソフトウェア領域などに偏っており、本学が持つ、多様で先進的な研究成果を生かした起業はまだまだ少ないのが状況である。これは、日本の産業における課題感とも軌を一にする。この課題解決に向け、本講義の主体となる「アントレプレナーシップ教育デザイン寄付講座」は、東京大学が寄付企業 4 社と協力し、①ディープテック起業家の育成 ②起業家育成のための教育フォーマットの構築 ③スタートアップエコシステムの創造 の 3 点を目指して設立された。

学部 1-2 年生向けに開講される S セメスターの講座においては、参加学生が将来ディープテック起業を現実的な選択肢とできるよう、現時点での参加者各自の特性・知的好奇心・興味領域に応じ、熱意・アイディアを発散し合い、共に高めていく場を創出する。

東京大学は「東京大学ビジョン 2020」において、東京大学自体を「地球と人類の為に貢献する公共財」と位置付けた。参加学生においては、教室内での講師-学生間での学びに留まらず、校内や社会における多様なステークホルダーとの繋がりを存分に活かし、自らの学知が将来の社会変革を駆動するといった気概で臨んでいただきたい。

（なお本講義は、2021 年度から 2023 年度にかけて開講される「アントレプレナーシップ教育デザイン寄付講座」S セメスター講座の第 1 年目に当たる。A セメスターは大学院生向けに既に開講されており、概要はリンクの通りである https://entredu.t.u-tokyo.ac.jp/curriculum-2021/。）

【目標】

i.新たな技術や発想のもとで、新規事業などを通じた社会的価値の持続的創出に挑戦する姿勢（アントレプレナーシップ）が醸成されること

ii.講座を通じた対話と自己の内省を通じ、「将来何を実現したいか、誰のどのような課題をどのような技術を用いて解決するか」を深化・進化させること

iii.講座修了後に自ら飛躍できるアクションを行えること。そのために必要な知識や経験を得るのみならず、必要な学内外の人や機会との繋がりも獲得すること

【講義の概要】

i.将来何を実現したいか、誰のどのような課題をどのような技術を用いて解決するかを、視座を同じくする学生間チームで練り上げていく。選抜を経た多様な学生、本学第一線の教授陣、企業との密な関わりを通じ、学術の卓越性を基に将来地球規模の課題解決を行える人材輩出を目指す。

ii.履修は選抜による東京大学学部 1-2 生約 30 名（文理、科類不問）とする。マインドとしては、将来世界最先端の研究に取り組みたい、グローバルな社会課題を解決する新規ビジネスを考えてみたい、技術の事業化に関心がある、起業に関心があるという学生を歓迎する（参考として、2021 年 A セメスターでは、工学系のみならず、医、情報理工、理、経済、法など多岐に渡る学生が参加）。

iii.授業は、各回の事前課題、講義、講演、FW（フィールドワーク）、発表で構成する。全体を通じて、一般的なインプットベースではなく、学生のアウトプットに重きを置く。後半の発表は 1~4 名程度のチームでの発表を想定しており、チーミングについては起業の”リアル”に沿う形で、学生同士の発表から各自で仲間を集める形式とする。FW については、授業外の時間に、学内の研究室や企業へのヒアリング、現場リサーチ（工場見学等）を行ってもらう可能性がある。

iv.本講座の担当教員・寄付企業は以下の通り。

1.担当教員：

a.工学系研究科教授/総長特別補佐 坂田 一郎（講座代表）

b.工学系研究科教授/産学協創推進本部副本部長 各務 茂夫

c.工学系研究科教授 松尾 豊

d.工学系研究科准教授 田中 謙司

2.寄付企業（「アントレプレナーシップ教育デザイン寄付講座」）：

a.株式会社経営共創基盤（IGPI）

b.KDDI 株式会社

c.株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ（UTEC）

d.株式会社松尾研究所

【受講後に提供されるサポート】

i.修了証の発行、修了後コミュニティ（学生-教員-企業間のネットワーク、各種イベント、起業相談等）への招待

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31509	S	Informatics, Chemistry, and Engineering	杉山 弘和	工学部	集中	2	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

Data science has become a vital tool in today's world. This course explores some of its applications in the chemical and pharmaceutical industries. Together we learn how data science can help design new processes and products to advance society and protect the environment. The course will involve a brief introduction to programming tools available, in addition to the mathematical and statistical background required for data analysis.

※このゼミは4月7日（木）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoomの URLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31519	S	Understanding Computer-Assisted Language Learning Through International Collaboration	秋山 友香	工学部	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

Computer-Assisted Language Learning (CALL, コンピューター支援言語学習)とはテクノロジーを用いた外国語学習の効率化を追求する研究分野です。この授業では「第二言語習得理論(Second Language Acquisition Theories)」の基礎的知識を身につけ、Duolingo、チャットボット、Virtual Reality (VR)、オンライン英会話などの外国語学習方法・ツールをCALLの視点から分析します。また、ニーズ分析を行い、消費者のニーズを明らかにして、製品の開発に役立てるトレーニングをします。最終的にはニーズ分析の結果と第二言語習得理論に基づいて理想の外国語学習ツールを提案します。
これらの活動は、国際的なグループプロジェクトとして、海外の大学生や東大の留学生と共に進めます。講義は英語で行いますが、グループワークは英語や日本語で行うことがあります（チームメンバーの学習言語による）。互いの言語的資源・文化資源を駆使して成果物を作り上げることで、国際的思考、批判的思考、チームワークを身につけることを目標とします。
※1. 授業はZoomで実施します。授業のURLはITC-LMSにより通知されます。
※2. 説明会を開催する予定です。日程等は後ほどお知らせします。
※3. B1/B2の学生のみでなく、B3/B4・大学院生も参加する授業です。

※このゼミは4月7日（木）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoomの URLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。

****

Computer-Assisted Language Learning (CALL) is a research domain that pursuits the efficacy of technology-mediated foreign language learning. In this course, we will learn the theories of second language acquisition (SLA) and analyze existing foreign language learning tools and methods (e.g., Duolingo, chat bots, Virtual Reality, Italki) from the CALL perspective. We will also learn how to conduct a needs analysis to reveal the needs of consumers as part of program development. For the final project, students will draw on insights from the needs analysis and SLA theories to create an ideal foreign language learning program.
You will complete these tasks in collaboration with your international partner(s), who may be Japanese students at UTokyo, international students at UTokyo, or students in overseas universities. Lectures will be delivered in English, but you may engage in group work in Japanese (depending on your group members' language background). Students are expected to acquire a global mindset, critical thinking, and teamwork skills by collaboratively producing the products using each other's linguistic and cultural resources.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40264	S 2	アイデアを形にするモノづくり体験 ～ロボットから家電まで～	川原 圭博	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

人工知能や、バーチャルリアリティ、自動運転や 3D プリンタによるものづくり革命など、情報技術が今の時代の社会変革を牽引していると言っても過言では無い。今の時代、社会に出た後、どのような夢を実現するにおいても、情報技術を活用しない訳にはいかない。世界中でソフトウェアエンジニアが枯渇しており、腕利きのソフトウェアエンジニアは高待遇で迎え入れられている。とはいえ、ものづくりやプログラミングで必要となる知識は多岐にわたり、未だ初学者にはハードルが高い存在であることは確かである。
本ゼミは、ものづくりやプログラミングに興味はあるけれど、どこから手をつけていいか分からない、もしくは、初学者から中級者へのステップアップを目指したいと思っている人に、コンセプト立案から、ものづくり、そしてプレゼンテーションまでを一気に体験することができる機会を提供することを目的としている。
作るモノは、参加者一人一人が決める。例えば、日常の不便を解消する IoT デバイスやロボットなどなんでも構わない。ものづくりと、プログラミングの基礎を学ぶために、BBC Micro:bit のような初学者でも取りつきやすいシングルボードコンピュータを活用し、ものづくりのノウハウを体得し、流れを習得することに主眼を置く。

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40266	S 2	エネルギー資源の「開発」を学ぶ	小林 肇	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。
現代社会の基盤を支える一次エネルギー源の約 6 割は石油・天然ガスに依存しており，その傾向は今後も継続する。これら石油、天然ガスを含む地下資源の鉱床の探査、掘削、生産の一連の工程を「開発」と呼ぶ。石油産業は世界で最も巨大な産業の一つであり、石油企業大手（石油メジャー）の純利益は一社で 4 兆円を超えるが、その 7-8 割は「開発」部門での収益である。
一方、エネルギー資源の約 96%を海外から輸入している日本では、この「開発」を身近に感じる機会は少ない。しかし、先進国の中で石油産業が基幹産業となっていないのは日本だけであり、世界的には石油メジャーは収益力の強い超優良企業の代表と見なされている。また、近年のシェールガス革命でも明らかなように、資源開発は新技術が世界情勢を直接変革する技術革新の現場でもある。
本体験ゼミナールでは、エネルギー資源の乏しい日本において貴重な資源開発の現場である国内の油ガス田を見学し、エネルギー資源の開発と、資源開発に関わる技術システムを実フィールドで学習する。また、海外石油開発現場における石油開発の最先端の紹介及びその開発・生産された化石燃料 を環境負荷を最小限に抑えて有効に活用する水素 SS、総エネハウス等の取 り組みの紹介を通して、化石燃料の開発から生産・利用のそのライフサイクルの中での環境負荷低減・地球温暖化防止に向けての企業 の取り組みへの理解を深める。学生は，資源開発の実際とそのエンジニアリングセンスをこの体験を通して習得する。

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31497	S	ゲームデザイン論 ～先端技術が生み出す新しいあそび～	苗村 健	工学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

先端技術を駆使した新しい「あそび」として，さまざまな「ゲーム」が，産業的にも文化的にも大きな功績を残してきました。この全学体験ゼミナールでは，人類にとっての「あそび」とは何なのかを考え，その中で未来の「ゲーム」はどうあるべきかを発想するための基礎を体験的に学びます。
ゲーム制作においては，あそびとしてルールを作る・相互の関係性を結ぶ・ストーリーを空想する・身体を使うなどの要素を考慮するだけでなく，エンジニアリングやマーケティングの側面も重要になります。これらを総じて「ゲームデザイン論」と称し，総合的な学びの機会とします。

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31552	S	ささえあいレシピ ～ピアサポートを知る＆動く～	高野 明	相談支援研究開発センター	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ピアサポートとは、学生生活上で支援(援助)を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で手助けを行う活動です。本学では、学生のみなさんの支え合いと自主的成長を促進するために、学生ボランティアのピアサポーターを組織し、学生による学生を支えるピアサポート活動を全学的に展開しています。
この授業では、ピアサポートの理論と実践方法について体験的に学習し、相互扶助のキャンパスづくりに貢献できる知識とスキルを習得・体験することを目標とします。授業は、ピアサポート活動に関わる教員による講義と実習、学生同士のディスカッションによって構成されます。受講者には、相互扶助のキャンパス作りに関する学習への積極的なコミットメントが求められます。
なお、この授業を受講することで、ピアサポーター認定のための予備研修・総括講義を受けたことになり、登録後すぐに活動ができます。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31547	S	じっくり学ぶ数学 I	牛腸 徹、WILLOX RALPH	数理科学研究科	金 5	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

数学を学ぶ上で微積分学と線型代数学は最も基本的なものです。そこで、論理的な順番には余りこだわらずに、微積分学や線型代数学における基本的な考え方を順番に取り上げて、何をどう考えているのかとか、何がアイディアなのかということをなるべくはっきりした形で説明してみようと思います。それにより、正規の数学の講義と合わせて、皆さんにより良く微分積分学や線型代数学を身につけていただく助けになればと考えています。
一応、ゼミは講義形式で行おうと考えていますが、時間の余裕のある方には演習問題を解いて頂く時間を取りたいと思っています。また、文系の方でも十分理解していただけるのではないかと思いますので、文系、理系を問わず、興味のある方でしたらどなたでも歓迎します。
※開講場所：数理科学研究科棟 117 号室 (対面講義が行われる場合)
※授業登録はできませんが、もう一度、数学をじっくり学び直したいと思われている 2 年生の参加も歓迎します。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31503	S	バイオマテリアル作り体験	吉田 亮、坂田 利弥、秋元 文	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

人工臓器に代表される医療機器の材料をバイオマテリアルと呼ぶ。バイオマテリアルの中には、骨などを代替するセラミックス、金属材料、さらには血管などに使われる高分子材料がある。本講義では、高分子で機能性バイオマテリアルをつくる体験をする。また生体と材料が接した際に起こる反応を細胞実験を通して学ぶ。
（内容は年によって若干変わります)。

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31484	S	フォーミュラレーシングカーを作る A	草加 浩平	工学部	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。
本ゼミでは 9 月に開催が予定されている自動車技術会主催の「学生フォーミュラ日本大会」に出場するフォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味の有る分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。水曜日の 5・6 限に駒場(あるいはオンライン)で、あるいは土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。（詳細日程はゼミ参加者で相談して決める）
授業では自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習（この部分を必修とする）を通して教える。それらの基礎の上に、希望者に関しては「東京大学フォーミュラファクトリー」あるいは「東京大学 EV フォーミュラチーム」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。
本ゼミは 1 学年 S セメスターの「フォーミュラレーシングカーを作る A」に始まり、A セメスターの「同 B」・・・と各セメスターに開講するが、S セメスター開講の A で基礎を教える。2 年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講した学生は「同 B」以後の受講を可能とする。「同 B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の 3 年から 4 年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の 1 テーマとして、修士 1 年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の 1 テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。
具体的製作活動は「全日本学生フォーミュラ大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部 8 号館地下 2 階 0069 号室「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」、工学部 8 号館 0061N 号室「自動車の設計教育寄付講座(草加研究室)実験室」で行う。
※4 月 13 日(水)6 限に安全教育を実施します（対面で実施予定ですが、コロナ感染状況によってはオンラインに変更することもあります)。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。
※開講場所；講義；駒場あるいはオンライン、実習；本郷キャンパス工学部 8 号館地下 2 階 0069 号室「メカノデザイン工房」他

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31485	S	フォーミュラレーシングカーを作る C	草加 浩平	工学部	集中	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。
本ゼミでは 9 月に開催が予定されている自動車技術会主催の「全日本学生フォーミュラ大会」に出場するフォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味の有る分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。(詳細日程はゼミ参加者で相談して決める)
授業では自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習（この部分を必修とする）をフォーミュラレーシングカーを作る A で教え、それらの基礎の上に、「東京大学フォーミュラファクトリー」あるいは「東京大学 EV フォーミュラチーム」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。
本ゼミは 1 学年 S セメスターの「フォーミュラレーシングカーを作る A」に始まり、A セメスターの「同 B」・・・と各セメスターに開講するが、S セメスター開講の A で基礎を教える。2 年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講した学生は「同 B」以後の受講を可能とする。「同 B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の 3 年から 4 年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の 1 テーマとして、修士 1 年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の 1 テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。
具体的製作活動は「全日本学生フォーミュラ大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」あるいは「東京大学 EV フォーミュラチーム」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部 8 号館「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」、工学部 8 号館「自動車の設計教育寄付講座(草加研究室)実験室」で行う。
※4 月 13 日(水)6 限(18:45～)に安全教育を実施します（対面で実施)。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。
※開講場所；輪講会；駒場(あるいはオンライン)、実習；本郷キャンパス工学部 8 号館地下 2 階「メカノデザイン工房」他

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31481	S	まちを記録する：下北沢を「音」から捉える	小松崎 俊作	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

グローバル化，インターネットの発展により，逆に文化の均質性が高まっている．日本発の新しい価値を創出・発信できる「まち」の育成は，我が国の持続的発展のためにも今後重要性を増していく．
東京にはそうした新しい価値を創出・発信し続けるまちが複数存在する．なかでも下北沢は英国メディア Time Out による the 50 coolest neighbourhoods in the world 2019 において 2 位となるなど，魅力的なまちとして世界でも知る人ぞ知る地域であるが，メインストリームというよりカウンターカルチャーの側面が強い．
下北沢が独自の価値を作り出す背景や，それが世界で認知・称賛されるに至るプロセス，また下北沢が魅力的なまちであり続けるための課題について理解を深めることは，日本ならではの創造的人材の育成に有益である．
本ゼミでは，下北沢の街角で聞こえる「音」を収録・編集し，下北沢の魅力や特性を「音」で記録することを目指す．下北沢の魅力や特性を表現する「音」とはどのようなものか．カフェ店内の喧騒，駅前の雑踏，ライブハウス，通り過ぎる高校生の会話・・・．
下北沢で活動する方々（京王電鉄グループ関係者，ミュージシャン，建設コンサルタント等）や，ラジオ・動画制作，音声収録・編集等を学ぶ方々と連携して，下北沢を探索しながらより良い「記録」のあり方を模索していきたい．
加えて，まちの現在の記録を通じて，下北沢の持続的発展のために実践すべき（したい）さらなるアクションについても考えていきたい．
※このゼミは下北沢で様々な活動を実践する方々や，放送系専門学校等と連携して実施するため，ミーティングは原則オンライン，下北沢での探索・収録等は対面にて実施します．

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31482	S	ロボット競技を体験しよう A	國吉 康夫	工学部	金 6	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である．
本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う．
専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい．
本ゼミは 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される．A に参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが，どうするかは本人の自由である．
発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する．
講義はオンライン実施予定である．対面講義の実施が可能な状況の場合，機械加工に関する安全講習および実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜，長期休暇中に行う場合がある）．
※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31483	S	ロボット競技を体験しよう C	國吉 康夫	工学部	金 6	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である．
本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う．
専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい．
本ゼミは 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される．A に参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが，どうするかは本人の自由である．
発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する．
講義はオンライン実施予定である．対面講義の実施が可能な状況の場合，機械加工に関する安全講習および実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜，長期休暇中に行う場合がある）．
※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31476	S	囲碁で養う考える力	森畑 明昌	教養教育高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

囲碁は，古い歴史を持つ日本の伝統文化であるばかりでなく，国際的にも広く普及し親しまれている頭脳のスポーツである。本ゼミナールでは，囲碁のルールを学び，お互いの実戦を通じて，判断力，分析力，洞察力，集中力などを養う。指導に際しては日本棋院の全面的な協力を得る。 囲碁は初めての人を対象として，基本のルールから教える。
第 1 回にオンラインでガイダンスを行い，履修希望調査（ITC-LMS で提出）をふまえ受講者「40 名」を決定する。
※受講可能人数は 40 名
※受講者は囲碁の未経験者・初心者に限る
※ガイダンスはオンラインで、セレクション後の講義は対面で行う。オンラインでの参加はできない。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31580	S	医学に接する	石川 俊平	医学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。
参加する学生を４～６人のグループに分け、医学部の研究室や病院の医局における、現在の医学を実際に体験してもらう授業です。
平日の夕方に実施する定期コースと、夏休みを利用して実施する集中コースの２つがあります。
「授業計画」を確認し、履修希望者は４月７日（木）のガイダンスに必ず出席すること。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31515	S 1	医工学ってなんだろう？！	松永 行子	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

予防・診断・治療が一体化した未来型医療システムの創成に貢献する学問分野として「医工学(バイオメディカルエンジニアリング)」があります。医工学は物理・電気・機械・化学・材料・生命科学の学問分野を有機的につなぎ、革新的な医用技術を通じ、人類の健康と福祉の増進に貢献することを目指す分野です。本講義では、本学工学系研究科・バイオエンジニアリング専攻の教員が中心となり「研究室での実習体験」という形式で実施します。

※このゼミは4月7日（木）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoomの URLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31518	S	英語で拓く工学世界への扉 / Opening the Gateway to the World of Engineering in English	秋山 友香	工学部	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

「留学や海外での就職に興味はあるけど、実際どのような準備が必要なのか分からない・・・」
「工学部に行こうか迷っている・・・」
「工学部に行きたいとは思ってはいるけど、工学の知識を使って将来どのようなことができるのかイメージできない・・・」
「工学者はどんな場面でどのような英語を使うのか分からない・・・」
本ゼミナールはこのような疑問に答えることを目的とした授業です。
本授業では、国外の機関で留学・研究・技術開発の経験を積んだ研究者・企業の方々や言語習得・国際交渉を極めた達人をお招きし、彼らの成功秘話や失敗談を英語で聞き、話し合います。また、履歴書やEメールの書き方、グループプレゼンテーションの仕方など、実践的な英語力の強化にも取り組みます。Content and Language Integrated Learning (CLIL)という外国語学習方法を用いて、工学＋英語の学習を同時に行う授業であり、工学の分野での世界展開に興味を持ってもらい、世界への扉を拓くのに不可欠な英語力や異文化間能力(intercultural competence)を身につけてもらうことを目的としています。授業の使用言語は英語です。教員との連絡もすべて英語で行います。
※1. このゼミは4月7日（木）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoomの URLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。
※2. 対面の授業を基本としますが、ゲストスピーカーによる講義のいくつかはZoomで行います。
※3. 履修者の上限は25人です。履修希望者が上限を超えた場合、授業初日に行うアンケートの内容を考慮し、２週目の授業までに教員が選抜し、その結果をメールします。
In this seminar, we will hear lectures by guest speakers who have engaged in study, research, and technical development outside of Japan and/or who are experts of language acquisition and international negotiation and discuss their success stories as well as challenges in English. The class will also cover various topics including how to manage international negotiations, how to learn a second language and how to do so strategically, and how to write a resume/CV, email, and give a presentation in English. Through these activities, students are expected to acquire the English skills that are essential for "opening the gateway to the world of engineering" and develop a deeper understanding of engineering and its development overseas. English is the common language used in this class, and students are expected to communicate with the instructor and invited lecturers in English.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31504	S	応用化学の最先端研究を体験してみよう A	鈴木 康介	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本授業では工学部応用化学科の研究室で表記題目に関する化学実験を実施して、研究室の研究活動を体験することで化学に対する理解を深めることを目的とする。

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31508	S	化学システムとしての製薬工場	杉山 弘和	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

最新鋭の医薬品工場を見学し、「化学システム」としての理解を目指します。実施は 5 月 28 日（土）を予定しています。まず午前中に中外製薬浮間工場（JR 埼京線北赤羽駅徒歩約 15 分）を訪問し、最新・大規模製造ラインを見学します。見学する工場では、バイオ医薬品（具体的にはモノクローナル抗体と呼ばれるタンパク質からなる薬で、抗がん剤などに使われる）が製造されています。見学後、本郷キャンパスに移動し、見学内容をさらに理解するための講義とディスカッションを実施します。製薬工場のみならず、様々なプロセスを「化学システム」としてとらえるための視点を学びます。工場見学は、状況次第でオンラインでの実施もあり得ますのでご承知おきください。

※受け入れ人数に制限があるため、事前登録制とします。申し込みのメールには下記事項を含めてください。人数が多い場合には、申込内容をもとに選抜を実施します。受講可能者にはこちらから通知します。

1）名前・学籍番号
2）連絡先メールアドレス
3）志望動機（製薬に対する興味、化学システム工学に対する興味を、それぞれ含めてください）

締め切り：4 月 13 日（水）
連絡先：化学システム工学専攻 廣納 敬太
k-hirono@pse.t.u-tokyo.ac.jp

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31507	S	化学システム工学が拓く 医療・バイオを体験しよう！	伊藤 大知	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

化学システム工学のアプローチを用いた様々な医療・バイオ研究の最前線を体験する。
以下の 4 つの研究テーマを全 4 回で体験してもらう予定です。

1）医用材料：幹細胞封入インジェクタブルハイドロゲルを体験する。
https://www.cdbim.m.u-tokyo.ac.jp/itolab/index.html
2）ナノ医療診断：発光するナノ粒子を用いたがん診断を体験する。
http://www.ohta-lab.t.u-tokyo.ac.jp/
3）生体分子解析：色の変化で毒を検出することができるバイオセンサを作成する。
https://sugiharalab.iis.u-tokyo.ac.jp/
4）再生医療：幹細胞を高効率に大量培養する方法を体験する。
http://orgbiosys.t.u-tokyo.ac.jp/sakai/index.php

化学システム工学専攻 HP
http://www.chemsys.t.u-tokyo.ac.jp/

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31506	S	化学システム工学が拓くエネルギーを体験しよう！	高鍋 和広	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

「化学システム工学のアプローチを用いたエネルギー分野の研究の最前線を体験する」
具体的には、“リチウムイオン電池”と“水の電気分解”を取り上げ、それぞれどのようなデバイス・技術なのか、エネルギー問題の解決にどのように貢献するのか、について学びます。
リチウムイオン電池は、スマートフォンやノートパソコンなどに使われている繰り返し充電可能な電池です。最近は、電気自動車や電力貯蔵用途としての採用も進んでおり、貯蔵エネルギー量の更なる増加が求められています。本ゼミでは、まだ実用化されていない新材料を含むさまざまな電極を用いてリチウムイオン電池を作製し、その充放電特性の違いを評価します。それにより、リチウムイオン電池の構造と反応メカニズム、更なる高性能化に向けた課題について学びます。
一方で、電気エネルギーを化学エネルギーに直接変換するプロセスとして電極触媒反応があります。電極触媒を用いることで、例えば再生可能エネルギー由来の電力を駆動力とし、水から水素を製造することができます。本ゼミでは、その水電解プロセスのうちアノード反応である酸素生成反応に焦点をあて、種々の電極触媒を実際に調製し、かつその電極としての性能を評価します。その体験を通じて、電極反応やその反応機構についての理解を深め、本プロセスの課題について学びます。

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31505	S	化学システム工学が拓く環境を体験しよう！	脇原 徹、伊與木 健太、小倉 賢	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

「化学システム工学のアプローチを用いた環境分野の研究の最前線を体験する」
具体的には、ナノ空間材料”ゼオライト”を取り上げ、現在の環境問題にどのように貢献しているのか、また、今後どのような貢献が期待されるかを学びます。
“ゼオライト”は、シリコン・アルミニウム・酸素から構成され、その構造の中に分子サイズの空間を持っている結晶材料です。その空間を制御することで、触媒・吸着・イオン交換などの様々な機能を持たせることができ、人類が直面する様々な環境問題への応用が期待されています。
本ゼミは、本郷キャンパスにある大久保・脇原・伊與木研究室、駒場 II キャンパスにある小倉研究室の 2 か所で行います。状況が許せば講義は駒場 II キャンパス、対面演習・研究室見学は本郷キャンパスで実施したいと考えており、4 月の段階で詳細を決定する予定です。

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31575	S	化学の最前線を体験する	佃 達哉	理学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。
数人のグループを単位として理学部化学科の研究室に加わり、教員の指導の下、最先端の化学に関する実験を経験する。通常の学生実験とは異なり、各研究室において、現在研究が繰り広げれている、まさに「生きた」化学を体験する。本ゼミにより、化学研究のフロンティアに触れるとともに、基本的な研究の進め方や考え方、最新の実験設備の使用法や付随する技術を学ぶ。実験終了後には、成果発表会を開き、グループごとに研究の意義、実験の結果などについて報告する。同報告会を通し、研究成果のアピールの仕方やプレゼンテーションに関するスキルについても会得する。
※受講人数：20 名程度
※ガイダンス：4 月 11 日（月）6 限（18:45～）にオンラインで行う。方法の詳細は ITC-LMS で告知する。
※開講場所：理学部化学本館、西館、東館
※開講期間：8/1 (月)、8/2 (火)、8/3 (水)の 3 日間を予定している。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40273	S 2	夏版伊豆に学ぶ１ 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。
※基礎知識はあまり必要ない初級者向けの体験ゼミで、１年生に受講いただくことを意識している講義です。大学で学び始める１年時に受講することをお勧めします。このゼミでは、特別な装置や仕掛けに依らずに、ごくごくありふれたモノに気付き・学びを真摯に追求するものです。体験そのものも大事ですが、本ゼミでは体験自体よりも「学ぶ」ことにフォーカスします。文系・理系に関係なく、真剣に議論できることが受講生に求める条件となります。
※成績公開が所定日後となる場合がある。
※５日間の合宿スタイルのゼミを提供する予定であるが、新型コロナの感染状況によってはやむを得ず合宿スタイルを取りやめて、２回伊豆での日帰り＋２回東京（弥生キャンパスないし駒場キャンパス）でのオンサイトでの実施に切り替えることがある。
【注意】受講希望者はシラバスを熟読のうえ申し込むこと。面倒くさいゼミであることをよくご理解ください。
【注意２】本体験ゼミは農学部が主宰するものであるが、農学部以外の学部に進学するつもりの学生にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげる。文系学生にとってハードルが高いゼミにはしない。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。資本主義から半ば置き去りにされてしまった林業をこのまま放置して良いのか？ そういったことを疑問にすら思わないことが当たり前になっていまいか。 山林が荒れて行くのを林業を再起動せずに止める手立てがあるのだろうか？
樹芸研究所と聞いて何する所?と思われただろうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違うとどういう違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。
伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッ シュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。
本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。
「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40274	S 2	夏版伊豆に学ぶ２ 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。
※基礎知識はあまり必要ない初級者向けの体験ゼミで、１年生に受講いただくことを意識している講義です。大学で学び始める１年時に受講することをお勧めします。このゼミでは、特別な装置や仕掛けに依らずに、ごくごくありふれたモノに気付き・学びを真摯に追求するものです。体験そのものも大事ですが、本ゼミでは体験自体よりも「学ぶ」ことにフォーカスします。文系・理系に関係なく、真剣に議論できることが受講生に求める条件となります。
※成績公開が所定日後となる場合がある。
※５日間の合宿スタイルのゼミを提供する予定であるが、新型コロナの感染状況によってはやむを得ず合宿スタイルを取りやめて、２回伊豆での日帰り＋２回東京（弥生キャンパスないし駒場キャンパス）でのオンサイトでの実施に切り替えることがある。
【注意】受講希望者はシラバスを熟読のうえ申し込むこと。面倒くさいゼミであることをよくご理解ください。
【注意２】本体験ゼミは農学部が主宰するものであるが、農学部以外の学部に進学するつもりの学生にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげる。文系学生にとってハードルが高いゼミにはしない。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。資本主義から半ば置き去りにされてしまった林業をこのまま放置して良いのか？ そういったことを疑問にすら思わないことが当たり前になっていまいか。 山林が荒れて行くのを林業を再起動せずに止める手立てがあるのだろうか？
樹芸研究所と聞いて何する所?と思われただろうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違うとどういう違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。
伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッ シュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。
本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。
「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40275	S 2	夏版伊豆に学ぶ３ 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。
※基礎知識はあまり必要ない初級者向けの体験ゼミで、１年生に受講いただくことを意識している講義です。大学で学び始める１年時に受講することをお勧めします。このゼミでは、特別な装置や仕掛けに依らずに、ごくごくありふれたモノに気付き・学びを真摯に追求するものです。体験そのものも大事ですが、本ゼミでは体験自体よりも「学ぶ」ことにフォーカスします。文系・理系に関係なく、真剣に議論できることが受講生に求める条件となります。
※成績公開が所定日後となる場合がある。
※５日間の合宿スタイルのゼミを提供する予定であるが、新型コロナの感染状況によってはやむを得ず合宿スタイルを取りやめて、２回伊豆での日帰り＋２回東京（弥生キャンパスないし駒場キャンパス）でのオンサイトでの実施に切り替えることがある。
【注意】受講希望者はシラバスを熟読のうえ申し込むこと。面倒くさいゼミであることをよくご理解ください。
【注意２】本体験ゼミは農学部が主宰するものであるが、農学部以外の学部に進学するつもりの学生にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげる。文系学生にとってハードルが高いゼミにはしない。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。資本主義から半ば置き去りにされてしまった林業をこのまま放置して良いのか？ そういったことを疑問にすら思わないことが当たり前になっていまいか。 山林が荒れて行くのを林業を再起動せずに止める手立てがあるのだろうか？
樹芸研究所と聞いて何する所?と思われただろうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違うとどういう違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。
伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッ シュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。
本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。
「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31513	S	海で学ぶ －臨海実験所における海洋体験実習－	早稲田 卓爾	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】対面授業（実習）に参加可能な学生のみに履修を制限する
【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意して下さい。
海洋という幅広い分野を総合して考えることの出来る人材の育成および、海洋関連研究者・大学院生の活動を支援することが、機構「海洋アライアンス」の目的である。本講義は、海洋アライアンスに関連する教員が、東京大学三崎臨海実験所において行う学部1・2年生を対象とした体験ゼミナールである。臨海実験場は1886年にわが国最初の、世界でも最も古い臨海実験所の一つとして設立された。本講義では、海洋生物学だけでなく、広く理学・工学・農学における海洋分野の研究に関連する実習演習を、短期集中講義（宿泊施設を利用した合宿）として実施する。実験所内の最新設備を利用した実習、近隣の海浜における自然観察、定員25名の実習船臨海丸 （17トン）における航海実習などを行う。また、専門教員が関連するレクチャーを行う。http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/
以下は平常時に行われている実習内容です。
新型コロナ感染防止のため、オンラインによる講義、学生プロジェクトの実施と、臨海実験所での体験実習のハイブリッドで実施予定。ただし、状況により対面実習が難しい場合は、中止とする。
・臨海丸による乗船実習(プランクトンネット、ROV観察)
・臨海丸レーダー・ソナー見学
・和船の操船実習
・ROV操作実習（桟橋にて）
・桟橋での灯火採集
・採集生物の分類
・顕微鏡による生物観察
・海岸での地質見学
・海水分析
・油壺マリンパーク水族館見学
・Short Lecture Series
※受講人数：20名以下に制限する。
※ガイダンス：4月初め（未定、工学系ガイダンスで紹介あり）
※開講期間：8月8日―8月9日の間の3日間
※開講場所：東京大学三崎臨海実験所

※このゼミは4月6日（水）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40267	S 2	海の生命科学入門	菊池 潔、細谷 将、高橋 一生、平瀬 祥太朗	農学部	集中	2	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。
日本は海に囲まれた島国ですが、学生たちが海の科学を体験的に学ぶ機会は多くありません。本ゼミナールでは浜名湖という現場を通して、水圏生物を対象とした研究の一面を学ぶことをめざします。
浜名湖は狭い水路で太平洋とつながった海水・汽水湖です。入り口が浅く、奥が深い浜名湖の物理化学的な構造はどうなっているのでしょうか。そこではどのような生物が、どのように生息しているでしょうか。それらはどのように生まれ発達していくのでしょうか。そして人々は水の中の生物生産をどのように利用して来たのでしょうか。これらを考えることで、海の科学の入り口に立ちます。
※受講人数：6-12名程度に制限する。
※開講場所：附属水産実験所 静岡県浜松市西区舞阪町弁天島
※体験実習期間：未定。
※このゼミは4月に駒場キャンパスにて行われる農学部全学体験ゼミナール合同説明会への参加を予定しています。なお、covid19の感染状況によって、授業中止の可能性があります。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31502	S	感動体験！鉄の世界から未来を眺める	松浦 宏行	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。
※※※注意事項※※※
1) COVID-19の影響をふまえて講義形式・内容が変更になる可能性があります。
2) 製鉄所の受入人数制限によって、履修者を抽選で決定する可能性があります。
皆さんは「鉄鋼」という言葉にどのようなイメージを持っていますか。「鉄は国家なり」、「鉄は産業の米」などと言われるように遥か以前より国家・産業・社会の基盤となる重要なキーワードとして捉えられています。鉄鋼材料は過去から現在に渡って社会の基盤材料として活躍し、今後もその位置は変わることはありません。
本講義では鉄鋼材料の製造プロセスを学び、さらにその理解を深めるために、生産現場、つまり「製鉄所」を見学します。日本の製鉄所は100年以上の歴史と技術と先人の努力を蓄積し、世界随一の製造技術と効率を発揮しています。高さ100 mにも及ぶ「高炉」や1600 ℃以上の溶鋼が作り出される「転炉」、総延長1 km以上の「熱間圧延工程」など、いずれもテレビで見かけたことがあると思いますが、実際にそこでどのようなものがどのようにして作られ、そして最先端の製造技術が具体的にどうやって活かされているのか現場を通して学びます。
また、SDGsやカーボンニュートラルなど、鉄鋼材料製造技術の更なる発展に不可欠な観点で今後を概観します。
日本の製造業の根幹である鉄鋼材料を生み出す現場とその技術、そしてそこで働く方々の想いを一緒に学びましょう。

※このゼミは4月7日（木）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoomの URLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。
※このゼミの詳細は4月8日（金）6限にZoomで開催予定のマテリアル工学科3ゼミ合同説明会にて説明致します。履修希望者は★必ず★出席してください。どうしても難しい方は事前にメールにてご相談ください。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31567	S 1	危険生物の知識（春編）	石橋 整司、齋藤 暖生、井上 広喜、久本 洋子、前原 忠	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林に生息する生物の中には人間を含めた他の生物に対して有害ないしは不快なものも含まれている。こうした生物から被害を受けないようにする知識はフィールドで作業をする場合大切であるが、同時にそれらの生物が生態系の中で果たす役割についての理解なしに「有害」、「危険」と退けてしまうことは自然についての正しい知識を身につけることにはならない。そこで、人間にとって「有害」、「危険」、「不快」といわれる生物を実際のフィールドで観察、学習し、これらの生物に対する対処法を身につけると同時に、自然の中での人間との関わりについて学ぶ。
※受講可能人数：最大15名まで。
※ガイダンス：4/7（木）5限の第1回事前講義時にオンラインで行う。
※現地講義開講場所：大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所および千葉演習林。
※駒場キャンパス（オンラインを含む）での2回の事前講義と富士癒しの森研究所、千葉演習林における2回の現地講義、駒場での1回の事後講義を行う。開講日は以下のように予定している。
第1回事前講義（ガイダンスを含む）【オンライン】
4月7日（木） 5時限
第2回事前講義【駒場キャンパス】
4月21日（木） 5時限 109教室
第1回現地講義【富士癒しの森研究所管内】
5月7日（土）～8日（日）（1泊2日）
第2回現地講義【千葉演習林管内】
5月21日（土） 日帰り
事後講義【駒場キャンパス】
5月26日（木） 5時限 109教室
各演習林への交通費、宿泊費、食費等の実費は自己負担。負担額等の概要については第1回事前講義時に説明する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31461	S	極限的プラズマの世界―核融合から宇宙まで―	井 通暁	新領域創成科学研究科	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

宇宙空間の物質のほとんどはイオンと電子に分離した「プラズマ」状態にあり，惑星磁気圏や恒星表面，さらにはブラックホールなどの環境下においてプラズマの振る舞いが重要な役割を果たしている．また，半導体プロセスや医療分野，さらには電気推進ロケットや核融合発電などの幅広い分野でプラズマが応用されている．本ゼミナールでは，入門的なプラズマの講義を行った後に，日常では見られない極限的なプラズマとして核融合実験装置での実験および地球上層大気での流星プラズマの観測を中心とした体験学習を実施する．

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31537	S	空間デザイン実習	松本 文夫	総合研究博物館	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

空間デザインを通して「アイディアをカタチにする」体験をするのがこの授業の目標である。概念と形象をつなぐことは、アートやデザインなど多くの創造的活動の根幹をなす作業である。この授業では、受講者自身が空間デザインのアイディアを立案し、具体的なカタチをつくりあげるまでを実習する。概念構築と形態創造における独創的かつ意欲的な取り組みに期待する。空間設計の知識や模型制作の経験は必要としない。文系/理系に関わらず、デザイン・造形・建築などに関心があれば、ぜひ履修してほしい。
・2022 年 4 月 14 日(木)5 時限(17:05～)にオンラインで授業ガイダンスを実施する。
・当授業の履修希望者は、ITC-LMS に登録された小課題を 4 月 15 日(金)20:00 までに提出すること(必須)。
履修希望者が予定数を上回るときは、この小課題によって選抜を行う。
※履修人数：20 名に制限する。
※開講期間：2022 年 6 月 11 日(土)、6 月 18 日(土)、6 月 25 日(土)
※開講場所：駒場キャンパスの 159 教室（COVID-19 の状況によっては Zoom）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40265	S 2	原子力・核融合の研究開発現場を見てみよう	大野 雅史、山田 弘司、長谷川 秀一、山下 真一	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。
原子力や核融合の研究開発現場を視察し、関連技術の現状と課題を理解することにより、これらの技術に対する認識を深め、将来に向けた展望を培うための契機とすることを目的とする。具体的には、原子力発電や原子力関連技術研究開発の現状と課題、核融合研究開発に関する現状と課題、加速器や量子ビームに関する研究開発状況とその多方面への応用、などについての視察や、現場の研究者・技術者とのディスカッションを通した学習を行なうことにより、上記の目的を達成することとする。
※感染症再拡大等の状況次第で、このゼミは大幅な延期、または中止になる可能性もあります。学生個人の単位取得計画においては、このことに十分ご留意の上、登録してください。

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31531	S	工学研究の最前線を支える実験装置を体感・体験する	合田 和生	生産技術研究所	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

大学における基礎的学習やこれをベースに展開する研究が、その後どのように社会に還元され実装されるかを実感する機会はこれまであまり無かったであろう。本体験ゼミナールでは、工学研究を対象に、これが実社会とどのように結びついているか、その社会実装に向けてどのような工夫がなされているかについて、工学研究の実験的・実証的研究のために本学で活躍している試験装置や、普段は見かけることのあまり無い実験機器、可視化装置を実際に間近に見て体験することにより、工学研究の最前線・最先端の現場をより身近に臨場感を持って知り、理解を深めることを目的とする。本体験ゼミナールでは、これらの装置やそこから生み出される研究成果の理論的内容や背景を理解するというより、むしろこのような装置から社会に直接的・間接的に役立つアウトプットが生み出されている実態を「知ってもらう」ことに主眼を置いており、したがって文系、理系を問わず、実物を間近に見て体験することに興味を持つ学生諸君の参加を期待している。
※ガイダンスは 4 月 12 日（火）第 5 限（17:05-18:35）を予定していたが、この日は入学式が予定されていることから、代わりに 4 月 11 日（月）と 4 月 13 日（水）の 12:20～12:45 にオンラインで行う（両日とも同じ内容である）。
※受講人数を 15 名に制限する。 また、体験型講義であるため、現地実習に参加可能な学生のみに履修を制限する。なお、15 名を超えた場合は受講者の公平を期してくじ引き等で受講生を選抜することがある。また、新型コロナウイルス感染拡大等の状況に応じて、実習スケジュールの変更や演習自体の取り止めの可能性があるので、ガイダンスでの情報提供や UTAS、ITC-LMS からの情報等に注意されたい。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31530	S	工学体験ゼミーSTEAM を伝えるツール制作	川越 至桜	生産技術研究所	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

工学や科学技術は、私たちのくらしに深く関わる分野であり、実社会と密接に結びついている。一方で、これまでに学習してきた基礎的内容や、基礎がベースとなっている研究が、その後どのように社会に実装されているのかといった、科学技術と社会とのつながりを実感する機会は少ない。
本授業では、工学や科学技術を通して、基礎学習が研究や社会にどのようにつながっているのかを実感することを目的とする。自ら手を動かして簡単な実験等を体験し、ディスカッションを通して、工学や科学技術の社会的意義や役割を理解していく。また、STEAM（Science, Technology, Engineering, Arts, and Mathematics）的な領域を横断した学際的な視点から、科学技術を一般社会に伝えるツールを考え、デザインしていく。
※履修人数を 15 名に制限する
※開講場所：生産技術研究所 As 棟 3 階小セミナー室 5 （As309）（駒場 II リサーチキャンパス）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31511	S	鉱物資源はどこでできるのか？－フィールド調査と鉱物採集の旅－	加藤 泰浩	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

私達の文明の発展は，様々な鉱物資源によって支えられています．また，ある種の鉱物は宝石と呼ばれ，その美しさで私達の心を満たしてくれます．このような「鉱物資源」は，どこで，そしてどのようにして出来るのでしょうか？東京周辺でも，1970 年代までは様々な鉱山が稼行し，鉱物資源が採掘されていました．また実は，美しい鉱物が採れる場所というのも，東京近郊に多数存在しています．そこでこの授業では，東京周辺で日帰りの野外巡検を行い，こうした鉱物資源を実際に採取・観察してもらいます．そして，それを通じて鉱物の魅力に触れてもらうとともに，私達の生活を支える鉱物資源への理解を深めてもらうことを目標とします．

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31566	S	春の奥秩父を巡る	山田 利博、坂上 大翼、平尾 聡秀、浅野 友子	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林は多様な生物の生息場所であるとともに、人にとっても水や食物などさまざまな恩恵をもたらす存在です。日本の国土の約 7 割は森林に覆われていますので、森林を知ることは、自然の成り立ちや、人と自然のかかわりを知ることそのものであるといえます。しかし、現代の日常生活では、森林の生命の営みや森林の恵みを経験的に知る機会は決して多くありません。秩父演習林の位置する奥秩父山系は関東甲信越地方の水源地であり、深い森林と切り立った渓谷が原生的な自然を形作っています。気軽に行ける場所ではありませんが、関東地方で人間の影響の少ない自然に触れることができる数少ない地域です。

本ゼミでは、秩父地方の自然史や生業に関する事前講義を踏まえ、奥秩父山系の森林生態系や人と森林の関わりについて見学を行います。具体的には、標高に伴う森林の推移、森林に対する自然撹乱、樹木の更新、動植物の分布、シカによる植生衰退、山地森林のもつ水源涵養機能など、森林生態系の動きについて経験を通じて学びます。また、かつて薪炭林だった二次林や生産林としての人工林など、過去から現在までの森林利用を学ぶとともに、山村での郷土食作りを体験します。最終的には、手つかずの老齢林と、資源利用されてきた二次林・人工林を比較し、森林の成り立ち・人と森林のかかわりについて、自らの体験をもとに考えていただくことを目標とします。本ゼミを通じて、奥秩父地域の自然を体験し、経験的に自然を知るという科学の基本的なアプローチを学ぶことを期待しています。

※受講人数を 7 名以下に制限します。
※受講希望者は 4 月 14 日（木）のガイダンスに参加して下さい。
※担当教員：山田利博・平尾聡秀・浅野友子・坂上大翼
※このゼミは農学部合同説明会（実施形態未定）への参加を予定しています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31569	S 1	森に学ぶ SDG s と林業を意識する低山歩き S1 【注意】対面授業（野外実習≒山歩き）に参加可能な学生のみに履修を制限します。菩薩	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができているでしょうか。

日本の国土は 7 割近くが森林に覆われています。7 割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いですか？他の人は無関心でよいのでしょうか？

そして、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくい。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。

SDG s １７の目標の１３番目に「気候変動に具体的な対策を」が掲げられています。この度、あえて SDG s とこのゼミを関連付けてみたのは、皆さんにＳＤＧｓは特別な難しい目標ではなく、かなり身近な自分たちの生活に直結する目標であることを意識する必要を感じたからに他なりません。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。

【注意】この授業は山岳部やワンダーフォーゲル部の出身者向けではありません。歩くことが億劫でない限り、参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか。

このゼミは東京近郊の身近な山を森林・林業を意識しながら歩く機会を提供することを目的に立ち上げた講義です。

もともと、夏学期には富良野の大自然の中にお連れして、北海道演習林で林業と向き合うゼミと、冬学期に舞台を東京近郊の低山に移して提供して来たプログラムです。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響により北海道にお連れできなかったために、夏学期にも東京近郊の低山にお連れすることにしました。ところが、低山を林業を意識しながら 6 山歩いてみると、これがなかなかに味わい深いゼミであることを見出すことになりました。このＳ1 ターム低山ゼミで 3 山、S2 ターム低山ゼミで 3 山歩くことにしています。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、そう言った日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それもまたよし。

無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることもその一因であるでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。

このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。

資本主義経済が支配する社会では

資本主義は資本を投下して、利益を効率よく回収することを目的とします。利益を回収しづらい「林業」は資本主義経済の対象となりにくくなっています。それでは、日本社会に林業は不要でしょうか。林業をしないのであれば、山林も不要でしょうか。不要な山林は外資に売り払って現金化するのが妥当でしょうか。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある問題とは限りません。よく考えてみることそれ自体がこのゼミの目的と言えそうです。

よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。

新型コロナウイルスが収まりましたら、今年度は姉妹ゼミ「森に学ぶ（ふらの）」も実施する計画を立てています。こちらも是非どうぞ。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40272	S 2	森に学ぶ SDG s と林業を意識する低山歩き S 2 【注意】対面授業（野外実習≒山歩き）に参加可能な学生のみに履修を制限します。菩薩	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができているでしょうか。

日本の国土は 7 割近くが森林に覆われています。7 割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いですか？他の人は無関心でよいのでしょうか？

そして、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくい。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。

SDG s １７の目標の１３番目に「気候変動に具体的な対策を」が掲げられています。この度、あえて SDG s とこのゼミを関連付けてみたのは、皆さんにＳＤＧｓは特別な難しい目標ではなく、かなり身近な自分たちの生活に直結する目標であることを意識する必要を感じたからに他なりません。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。

【注意】この授業は山岳部やワンダーフォーゲル部の出身者向けではありません。歩くことが億劫でない限り、参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか。

このゼミは東京近郊の身近な山を森林・林業を意識しながら歩く機会を提供することを目的に立ち上げた講義です。

もともと、夏学期には富良野の大自然の中にお連れして、北海道演習林で林業と向き合うゼミと、冬学期に舞台を東京近郊の低山に移して提供して来たプログラムです。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響により北海道にお連れできなかったために、夏学期にも東京近郊の低山にお連れすることにしました。ところが、低山を林業を意識しながら 6 山歩いてみると、これがなかなかに味わい深いゼミであることを見出すことになりました。この S 1 ターム低山ゼミで 3 山、S2 ターム低山ゼミで 3 山歩くことにしています。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、そう言った日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それもまたよし。

無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることもその一因であるでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。

このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。

資本主義経済が支配する社会では

資本主義は資本を投下して、利益を効率よく回収することを目的とします。利益を回収しづらい「林業」は資本主義経済の対象となりにくくなっています。それでは、日本社会に林業は不要でしょうか。林業をしないのであれば、山林も不要でしょうか。不要な山林は外資に売り払って現金化するのが妥当でしょうか。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある問題とは限りません。よく考えてみることそれ自体がこのゼミの目的と言えそうです。

よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。

新型コロナウイルスが収まりましたら、今年度は姉妹ゼミ「森に学ぶ（ふらの）」も実施する計画を立てています。こちらも是非どうぞ。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40271	S 2	森に学ぶ（ふらの） 北海道の大地に学ぶ	鴨田 重裕、平尾 聡秀	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。
※成績公開が所定日後となる場合がある
【注意】この授業は高校時代に山岳部やワンダーフォーゲル部に所属した人を対象とするものではありません。山野に興味あるけど、サークルに属するほどではないかも知れない人に、安全に山を楽しんでもらう機会と、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらう機会を作るために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。
伊豆ゼミでは伝えきれない自然を感じる部分を本ゼミにてお届けしたいと思っています。伊豆ゼミとセットでの履修をお奨めします。
北海道・富良野と聞いて何を思い浮かべるだろうか。東大演習林！と答える君はもしかして演習林通？もちろんそういう答えを期待している訳ではない。でも、この体験ゼミ受講後、それはきっと強く印象に残るのではなかろうか（と書くのは簡単だ）。でもこのゼミではその北海道演習林にすぐには行かない。演習林にほど近い山を歩いてみる。十勝山系富良野岳。（ずっと演習林を見たいという向きは、もうひとつの体験ゼミを履修されるとよい。冬の北海道演習林を満喫できるゼミが用意されている。）富良野岳（ふらのだけ）は、北海道中央部にある山である。標高 1,912m、大雪山の南西部から連なる十勝岳連峰の最南端に位置する。火山ではあるが、山麓の安政火口を除き、古い時代に活動を終えたと考えられる。そのため、安政火口近辺を除いて全山高山植物が豊富で、特に山頂部は夏の時期は広大なお花畑が広がる。隣接する十勝岳が有史以来の激しい噴火のため、山頂部に植物に乏しいのと対照的である。出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』
本ゼミ主宰者が学生時分に何度も訪れた山。これまでに登った数ある北海道の山の中でもお気に入りの山の一つだ。自然、自然と言うけれど、手つかずの自然など日本のどこにもほとんど残っていない。北海道の山上といえども完全なる自然とは言えないかも知れないが、大自然を感じるにはうってつけの場所だ。いつ行ってもその大きさに圧倒される。大自然のただ中に身を置いて、人間の小ささを感じてみよう。そして、自分が押しつぶされそうな日頃の重大問題のことを思ってみよう。何かしら道が開けることがあるかも知れない。このゼミでは、少なからぬ百名山登山家に見受けられるような、ただ頂上に立つことを主目的とするようなせわしない登り方はしない。ゆっくりと、足下の植物たちを観察しながら、空気を、日差しを、そして歩くことそれ自体を楽しみながら歩くので、とくに健脚でなくても大丈夫。大自然を十分に満喫したそのあとに、今度は人が向きあう森に向きあってもらう。そこでは人が自然に向き合う営み、すなわち林業という一次産業を意識してみたい。大方の日本人は日本は先進国だと思っていると思う。先進国とは一次産業を捨て高次産業にシフトすることを意味するのだろうか？本当にそうなのだろうか？自然の中にどっぷりと身を置いたことで、内にちょっと変化が起った君たちには、たっぷりとその様なことを考えてもらいたい。答えはない。答えは君達が積み上げていくものなのだ。よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31553	S	図書館・文書館・博物館の裏側に迫る：制度・経営・資料の保存の実際	石原 俊時、小島 浩之	経済学部	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

図書館・文書館・博物館は大学での学習や研究になくてはならない施設であるとともに、過去から受け継いだ人類の知的営為により生まれた資料類を未来へと繋ぐ架け橋としての社会的使命をもった施設でもある。この授業では図書館・文書館・博物館の裏側を実体験することで、これらを下支えする制度・経営のしくみや、現場での資料保存の実態を知り、デジタル全盛の時代に現物資料を保存する意味や重要性を理解し、これらの施設を大学生活や社会の中でどのように活用すべきかを学ぶ。
この目標を実現するために、この授業では（1）講義、（2）学内外の図書館・文書館・博物館のバックヤード見学、（3）体験実習を組み合わせて行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31477	S	睡眠を操作して創造性を高める	開 一夫、坂口 菊恵	教養教育高度化機構	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ヒトの行う情報処理を AI に代替させ、死後の意識をサイバー空間にアップロードすることが目指される現在において、脳に電磁的に働きかけることによって認知能力を飛躍的に向上させる試みに各国がしのぎを削っている。これに対し国内においては、健康な人の脳を侵襲的に操作して機能拡張を目指すことについて、社会的なコンセンサスを得るには道のりは相当遠いと言わざるを得ない。
本授業では歴史的に蓄積されてきた能力開発方法を最新の神経科学・情報学の知見をもとに検証し、一般人が非侵襲的な方法で、潜在的に持つ創造性や記憶力を向上させる方法を開発することを目指す。代表的な切り口として、明晰夢のコントロールと共感覚、視覚イメージ力の強化がある。これらは、覚醒と半覚醒状態の中間の意識状態にアクセスことにより、言語的な逐次処理や、トップダウンにより取捨選択された通常の知覚を外れた認知プロセスを活用できるようにトレーニングしたり、知覚を鋭敏にしたりすることを目指している。
過去の夢研究が衰退した理由は、ナラティブデータや主観的な価値付けを客観的に評価することができなかったことによる。本授業では一人一台簡易脳波計を手にして睡眠データや生活習慣を分析し、主観的経験内容との対応付けの方法を模索する。更に、創造性や認知能力の向上効果を評価するためのオンライン実験プラットフォームの構築を目標とする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31480	S	全国高校生社会イノベーション選手権 I	小松崎 俊作	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

世界的に漂う閉塞感を打ち破るのは，新しい価値を生み出すイノベーションしかありません．世界の人々が賞賛する，日本らしい優れたモノやサービスを次々に生み出してゆくことが日本の生き残る道ではないでしょうか．そのためにはイノベーションを産み出すことのできる人材を育てることが重要です．
中等教育においても，創造性を育てることが新たな教育指導要領に盛り込まれ，イノベーション教育が爆発的に広まろうとしています．そこで私たち（工学部社会基盤学科）は，イノベーション創造に取り組む全国の高校生にとって目標とする大会を創出すべく，2018 年度から全国高校生社会イノベーション選手権（イノチャン）を開始しました．（2021 年 9 月の第 4 回大会には全国から 43 チームのエントリーがあり，広島学院高等学校・徳島県立脇町高等学校が優勝，愛媛県立松山西中等教育学校が準優勝，徳島県立城ノ内高等学校が審査員特別賞となりました．）
この全学体験ゼミナールは，駒場生の皆さんにもイノチャン企画・運営に参加していただき，イノベーションを生み出す作法や楽しさを知っていただくこと，自ら新規事業（イノチャン）を興す体験を一度でも得ていただくことを目的としています．
※全国高校生社会イノベーション選手権（イノチャン）は，東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻（工学部社会基盤学科）主催事業です．
イノチャンの詳細，ならびに最新情報は，
http://innochan.x0.com/ からご確認ください．
※本ゼミで用いるアイディア創出手法については，体験ワークショップをゼミ内で実施するが，下記の書籍も参考になる．
堀井秀之（2021）「イノベーションを生むワークショップの教科書：i.school 流アイディア創出法」

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31546	S	多変数関数の微分	清野 和彦、WILLOX RALPH	数理科学研究科	金 2	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

理系の 1 年生が S セメスターに学ぶ熱力学では、物理的な状態を表す関数が多変数関数であるため、状態の変化は多変数関数の微分によって表されます。しかし、大学に入学したばかりの 1 年生のほとんどは多変数関数の微分どころか多変数関数にさえ触れたことがありません。一方、多変数関数の微分が数学の講義で扱われるのは S2 タームの後半から A セメスターにかけてです。そこで、このゼミナールでは多変数関数の微分についてゆっくりと学びます。必要なことは熱力学の講義でも説明されますし、少し待てば数学の講義でも学ぶ内容ですので、数学が気になって熱力学の本当の内容に集中できない人や、数学が苦手で見たこともない数学の記号が出てきただけでめまいがして熱力学どころではなくなってしまう、というような人を念頭において話を進める予定です。
なお、熱力学の物理学としての内容には一切触れませんし、熱力学で使う数学のすべてを網羅するものでもありません。逆に、熱力学には直接出てこない内容も扱います。あくまでも数学の授業ですので、誤解のないようにお願いします。また、1 変数関数の微分をよく理解していることを前提にしませんので、多変数関数の微分とはどんなものかということに興味のある文系の学生も歓迎します。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31568	S	体験して考える森林ガイドボランティアの現在と未来	石橋 整司、竹本 周平	農学部	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

●授業の目標
東京大学大学院農学生命科学研究科の附属施設である田無演習林においては、地域貢献の一環として、身近な樹木に親しみその特徴を知る「子供樹木博士養成講座」（以下、「樹木博士」と略す）を春と秋の年 2 回実施しています。このような森林ガイドイベントはあちこちで催されており、その実施には多くの場合ボランティアが重要な役割を果たしています。しかし、現状としてイベント主催者側とボランティア側の希望がマッチングされる機会は十分でなく、前者には人手不足、後者には出番の不足の問題があるように見受けられます。本講義では、「樹木博士」に参加し実際に森林ガイドを担当することをつうじて、森林ガイドイベントの運営側やボランティア側の立場について考えを深め、最終的にはボランティアがいっそう活躍する未来についての具体的な議論につなげます。本講義で得られる体験や視座は、みなさんの今後のボランティア体験をより深いものにするだけでなく、将来みなさんがボランティア組織の運営側に立った際にも大いに活きてくるでしょう。
●授業の概要
講義は駒場キャンパスでの座学と西東京市の田無演習林（一部は駒場）での実地実習で構成されています。座学では、総論として森林ガイドボランティアの現状、具体論として「樹木博士」などイベント等の運営事例について、とくにボランティアの関わり方に重点をおいて学びます。実地実習では、「樹木博士」での森林ガイドボランティアの実践に備えるため、教員が実際のイベントを模してみなさんを指導します。基本的な樹木識別法だけでなく、樹木の特徴をわかりやすく伝えるためのポイントや、イベント参加者の自然体験をより深めることに役立つ「気づき」の「わかちあい」を促す方法、またイベント実施時の安全衛生リスク管理などを身につけて頂きます。また、上記のボランティア体験と学びを相対化することを目的として、森林あるいは科学館でガイド等のボランティア活動をしている一般市民、あるいはそうしたボランティア組織の管理者を対象に聞き取り調査をおこなう予定です。「樹木博士」の終了後、田無演習林を具体例として、ボランティアがよりいっそう活躍できるための課題とその解決策について議論します。
●「樹木博士」の概要とボランティアに求める役割
田無演習林での「樹木博士」は、子供を対象とした 10〜30 種類の樹木についての体験学習イベントです。ここ最近は、地域の小学生を中心に例年 30 人前後の参加があります。難易度別にいくつかのグループに分かれた参加者は、午前中にガイドの解説を聴きながら見学路を一周りして樹木の特徴と名前を学習し、午後には学習した樹木の枝を見て名前を当てるテストに取り組みます。テストの後、自然に親しむネイチャーゲームなどのアクティビティを楽しみます。学生のみなさんには、ボランティアとして森林ガイド（樹木解説の講師役）および、アクティビティ実施の補助を務めていただきます。テストの正答率にこだわる必要はありませんが、参加者が森林や樹木に興味をもち、それを持続させられるような働きかけをしてください。また、参加者が楽しく安全に過ごせるよう努めることも大切な役割のひとつです。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31486	S 1	知能化自動車開発入門	伊藤 太久磨	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

目標
知能化自動車開発のために必要となるソフトウェアの基礎を学び，マルチコンポーネントシステムに関する理解を深め，実践的な開発に向けた技能を培う．
概要
ロボット開発用のミドルウェアである ROS を利用し，卓上サイズの小型モデルカーの制御を学び，知能化自動車開発の基礎を学ぶ．

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31501	S	超高分解能電子顕微鏡で観る物質中の原子のならび	伊藤 剛仁	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

原子ってどんな姿をしていると思いますか？
本体験ゼミでは、世界最高性能の電子顕微鏡を用いて物質中の原子像の観察に挑戦します。そして、その原理や仕組みを学びます。物質中の原子１つ１つを並べて、物質の機能や性質を自在にデザインできたら・・・というナノテクノロジーの夢に、少しずつ近づいている最先端技術の一端を実感してほしいと思います。
本ゼミの個別ガイダンス(マテリアル合同)を別途行います。参加希望者は出席して下さい。

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40269	S 2	徹底検証・スギ＆ヒノキ～もっと知ろう木材のこと～	石橋 整司、齋藤 暖生、當山 啓介、安村 直樹、藤原 章雄	農学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

日本には「森林の文化」、「木の文化」があるといわれる。たしかに日本の国土は森林が成長するのに適した温暖多雨な気候であるため、高山などの一部の地域を除いて森林に覆われており、自然が少なくなったといわれている現在でも国土の約 7 割を森林が占めている。古来日本人はその生活の中で森林と密接な結びつきをもち、衣食住に関わるさまざまな資源を得る場として、また生活空間の一部として利用してきた。

こうした日本の「森林の文化」、「木の文化」を支えてきた代表的な樹種である「スギ」や「ヒノキ」は今でも国土の森林の多くの面積を占めており、日常的に森林や木材に関わることの少ない人々の間でもよく知られた樹種である。しかし、「スギ」や「ヒノキ」が日本で育くまれてきた「木の文化」にどのように貢献してきたのか、日本人は「スギ」や「ヒノキ」の何に価値を見出して利用してきたのか、そもそも「スギ」や「ヒノキ」とはどのような特性を持つ樹なのか、という一歩踏み込んだ知識を持っている人は意外に少ない。

全学体験ゼミナール「徹底検証・スギ＆ヒノキ～もっと知ろう木材のこと～」では、「スギ」や「ヒノキ」という樹種の特性や日本人との関わりの歴史、実態について広く学ぶことを通して、日本の「森林の文化」、「木の文化」そして日本人と森林との関係を学ぶものである。

本ゼミナールはガイダンスを含む駒場での 5 回の講義（木曜日 5 限）と千葉演習林と都内における 2 回の日帰り現地講義で構成されている。講義の日程（予定）は以下の通りであるが、各回の講義内容や講義の順番は変更となる可能性があるのでガイダンスで確認してほしい。

6 月 9 日（木） ガイダンス
6 月 16 日（木） 第 1 回講義「日本人とスギ＆ヒノキ」
6 月 23 日（木） 第 2 回講義「スギとヒノキの林業経営」
6 月 25 日（土） 千葉演習林での現地講義「スギとヒノキを育てる現場」
6 月 30 日（木） 第 3 回講義「木工素材としてのスギとヒノキ」
7 月 2 日（土） 都内での現地講義「林業、スギとヒノキの使い方」
7 月 7 日（木） 第 4 回講義「スギ花粉症と外部費用」
7 月 14 日（木） 第 5 回講義「スギとヒノキを活かす」
現地講義の際の交通費や施設見学料は自己負担となる。詳細な講義日程等についてはガイダンスの際に説明する。
履修者数は COVID-19 対策などの関係から最大 9 名とする。希望者多数の場合は選抜を行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31516	S	東京大学アントレプレナーシップ・サマー・ブートキャンプ（UTokyo Entrepreneurship Summer Bootcamp)	各務 茂夫	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

世界が直面する様々な問題の課題解決に主体的に貢献できるベンチャーマインドに溢れた東大生を育成するために、学部 1・2 年生を対象としたアントレプレナーシップ教育の短期集中プログラム（ブートキャンプ）を実施する。

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40270	S 2	東大の別荘「癒しの森」で心も体もリフレッシュ	齋藤 暖生、近藤 伸介、三浦 直子、藤原 章雄、後藤 晋、浅野 友子	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

現代社会において、職場等におけるストレス対策は極めて重大な課題となっている。厚生労働省によれば、強いストレスを感じている労働者は 6 割にのぼる。メンタルヘルスに不調をきたし休職や離職を余儀なくされる例、新卒就業者が早期に離職する例が多く報告されている。このようなストレス問題は労働者に限ったものではなく、キャンパス内においても無視はできない。東京大学においても、多くの学生が日常的に不安や悩みを抱えており、メンタルヘルスに問題を抱える学生が少なくないことが報告されている。

このような問題を克服するには、ストレスを生みにくい社会づくりを目指すと同時に、個人のストレス対処能力を高めることも重要である。個人がストレスに対処する上で必要とされる能力として、自らの異変に早く気付けること、そしてそれへの自分なりの解決方法を実行できること、が指摘されている。このような自己対処をセルフケアというが、これはキャンパスライフをより豊かに送るために、また卒業後の人生においても重要な能力となる。

本講義は、各人のセルフケアの能力向上の支援することを目的に、メンタルヘルスに関わる基礎的知識・応用事例について講義し、体験を通じて身近な環境を活用したセルフケアの可能性を学ぶことを目標とする。

本講義は、大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所（山梨県山中湖村）が中心となって企画する科目である。富士癒しの森研究所は、2011 年より「癒し」を軸に森林環境を社会に活かす実践的研究として「癒しの森プロジェクト」に取り組んできた。2021 年度からは、「続・癒しの森プロジェクト」として学内での連携強化を掲げており、本講義はその一環として、医学部附属病院および生産技術研究所の教員の協力を得て講義を構成する。

富士癒しの森研究所を拠点とした現地講義は 2 泊 3 日を予定しているが、新型コロナウイルス感染予防対策のため、1 日のみとする場合もある。研究所内に立地する東京大学山中寮内藤セミナーハウスは、東京大学の構成員は誰もが利用することができる。本講義を通じて、自然環境や東京大学の施設をフルに活用したセルフケアの可能性を体験していただきたい。

※受講可能人数：野外実習での安全管理のため 20 名までとする。受講希望者がこれを上回る場合は抽選を行う。
※ガイダンス：6 月 10 日に行う。
※駒場キャンパスにおける事前講義：9 月 5 日（月）に 2 コマ実施する。具体的な時間、講義室は受講者に直接連絡する。
※現地講義開講期間：9 月 6 日（火）に東京での現地講義を実施したのち、富士癒しの森研究所（山中寮）に移動する。9 月 7 日（水）の終日、富士癒しの森研究所での現地講義を行う。9 月 8 日（木）に東京に移動し、東京での現地講義を行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31493	S	飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司	工学部	水 5	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

飛行ロボットとは無人航空機（ドローン）である．室内で飛行する大きさ数 10cm～1m 程度，重量数 100g の飛行ロボットを自ら設計，製作し飛行させることを目標とする．小さくても飛行ロボットには航空工学の要素が詰まっており，講義，実習を通じてこれを理解する．

※このゼミは 4 月 7 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31573	S	房総の常緑樹林で森林動態を学ぶ	楠本 大、久本洋子、當山 啓介、鎌田 直人	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。
一見、変化の無いように見える森林であるが、長期の視点ではダイナミックな変化が起きている。たとえば、草原から森林への遷移初期は強い光を好み成長の早い先駆樹種（陽樹）が優占するが、その後、暗い場所でも生育できる遷移後期樹種（陰樹）が成長し、先駆樹種と置き換わる。一方、森林の樹冠を構成する樹木が老衰で枯死したり強風等で倒れたりすると、林冠ギャップが形成され、林床では実生が発芽したり稚樹が成長する。このようなギャップは森林内でパッチ状に発生し、また遷移段階や構成種の違いから、森林の構造は空間的・時間的にモザイク状を呈している。
…などと高校の生物では習ったかもしれないが、その教科書的知識は果たしてフィールドの現場で通用するだろうか？
本ゼミナールでは、千葉演習林が位置する房総丘陵のモミ・ツガの針葉樹が混交する常緑広葉樹林を対象として、森林生態学の基本的な調査方法を自ら実施して得られたデータと実際の森林の観察を通じて、リアルな森林動態を学ぶことを目的とする。
※最大履修受入人数を 12 名とします。希望者多数の場合は抽選を行います。

「国際研修」の履修について

国際研修の各授業では、以下の共通目標が定められている。

> 異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得る。

授業内容としては、（1）海外の学生との合同学習などを含む短期の海外研修、（2）海外教育機関との海外での共同教育プログラム、（3）海外の学生との日本国内での研修、（4）海外の教育機関が提供するプログラムを利用した研修、といったさまざまな活動がある。そのような機会によって得られる成果が、主題科目の単位として認定される。

国際研修の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問わない。国際研修はむしろ、学生にとってのはじめての海外経験を、後押しする科目である。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれる。

授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合がある。研修のため海外に渡航する前に事前講義が実施される授業や、他の科目の履修が条件とされる授業もある。履修科目登録期間後に選抜の結果が発表される授業もある。その場合は履修を希望する授業にまず登録し、選抜にもれた場合は履修科目確認・訂正期間に登録を削除すること。また、履修が許可された後から出発までの期間の履修の辞退は、担当教員に膨大な負担をかけることになるので、あらかじめ十分に授業内容、渡航に際する留意事項、費用を確認して履修登録すること（履修を取りやめることで学生個人に対して生じるキャンセル料は原則学生負担になる）。学生が負担する費用については、授業によって異なる。それぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスに出席して説明を受けること。

※ 新型コロナウィルス感染拡大の影響により、例年と開講形態や研修内容等が大幅に異なる可能性があるため、履修にあたっては必ず最新のシラバスを UTAS で確認すること。

国際研修

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40289	S 2	（web シラバス参照）	受田 宏之	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
31767	S	The University of Tokyo Summer Internship Program in Kashiwa (UTSIP Kashiwa)	徳永 朋祥	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。 【注意】開講日程の都合上、この授業を履修する場合は、S セメスター/ S2 ターム開講の他授業を履修することができないので、注意してください（開講日程の異なる集中講義等を除く）。 Students attending this course cannot take credits for other courses in S semester or S2 term, except for intensive courses whose schedule does not overlap with this course. UTSIP Kashiwa is an international internship program provided by the Graduate School of Frontier Sciences （GSFS:新領域創成科学研究科）where Junior Division students can study together with undergraduate students from abroad in laboratories as well as in lectures. The program will be conducted in English.					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40278	S 2	TLP フランス語夏季研修	寺田 寅彦	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 【注意１】本国際研修（TLP フランス語夏季研修）は 8 月あるいは 9 月にかけてアンジェ市（フランス）での研修実施を予定するものの、感染拡大状況次第でＡセメスターに延期、あるいはオンライン交流、あるいは国内研修に切り替える（あるいは研修自体を中止する）ものとする。6 月に実施有無を決定予定だが、場合によっては決定が 7 月上旬になることもある。 【注意２】この授業は選抜試験を 6 月、夏季研修を 8 ～ 9 月頃に実施予定。S2 タームの履修確認訂正期間（2020 年度は 6/13-18）までに選抜が終わらない可能性もあるため、その場合は、選抜者決定次第、教務課で履修登録をする。 成績報告についてはプログラム終了次第、可能な限り速やかに行われるが、所定の成績確認日より後に登録・公開される見込みが高い。 新型コロナウイルス感染症拡大のため不開講となる可能性が十分にある。 アンジェ市（Angers）フランスでフランス語研修を行いフランス語の運用能力を高め、学生交流を行うことで高い国際感覚を養う。各国の学生と授業だけではなくエクスカーションや各種催しを通じて交流の現場を体験し、またホームステイ（予定）を通じて異なる言語・文化の環境に触れてグローバルな視野を養う機会を得る取り組みを行う					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40282	S 2	イタリアで考古学を体験する	村松 真理子	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

【注意】この授業は、開講日程がまだ流動的なので、留意してください。

ナポリ近郊、ソンマ・ヴェスヴィアーナ市にある本学の研究施設で考古学発掘を体験する。ローマ時代のヴィラ建築で、専門家とともに発掘の現場がどのようなものか見学するだけでなく、その作業を体験する。国際的なチームによる発掘現場の作業やネットワークにふれると同時に、ナポリ近辺の他の発掘調査や研究機関・ 考古学博物館・大学を訪ね、現地の文化遺産と記憶の継承の問題についても考える。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40283	S 2	ギーセン大学ドイツ語サマースクール	川喜田 敦子	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意 1】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

【注意 2】新型コロナウィルスの感染状況によっては、実施形態の変更や研修自体の取り止めもありうることをあらかじめご了解ください。

「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現状を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とする。

ギーセン大学 Justus-Liebig-Universität Gießen で約 2 週間ドイツ語集中講座を受講し、実践的なドイツ語能力習得を目指す。午前中は話す、聞く、書くを中心としたドイツ語集中コース、午後や週末はドイツ・ヨーロッパ事情の講義やワークショップ、ドイツの社会や文化に触れる研修等を行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40280	S 2	ソウル大学校韓国語研修サマープログラム	三ツ井 崇	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

TLP 韓国朝鮮語を履修している 2 年生および共通韓国朝鮮語（前期課程において総合科目 L 系列の韓国朝鮮語）の中級以上の授業を履修している（履修したことがある）者を主たる対象として、ソウル大学校での語学研修を行う。会話を中心とした実践的な韓国朝鮮語力を身に付けることを目的とする。また、また、アクティブ・ラーニングや文化体験などを通じて韓国の社会や文化について学ぶ。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40284	S 2	国際研修＆後期国際研修 グローバルヘルス入門演習（Part2)/ Introduction to Global Health (Part 2)	佐藤 みどり	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。
この授業は、S2 ターム開講の集中授業として米国サンフランシスコにて、下記の 2 大学にて実施される.
1)University of San Francisco , School of Public Health (Master's level) URL: https://www.usfca.edu
2)University of California, Berkeley (東 京 大 学 戦 略 提 携 校 ） Undergraduate school of public health URL:https://publichealth.berkeley.edu/academics/undergraduate/public-health-ba/.

受講者は、S セメスター（4 –7 月）開講の、国際研修＆後期国際研修グローバルヘルス入門(Introduction to Global Health（Part1)（又は同等のコースを受講し合格した）者が、グローバルヘルス教育の本場アメリカで、現地大学の教員、学生（公衆衛生やグローバルヘルスを学部レベルあるいは大学院レベルで学ぶ学生）と共に、秋学期授業を聴講し、東大生向け特別授業への参加を通じて切磋琢磨（力試し）する、実践的なグローバルヘルス入門演習である。将来公衆衛生大学院修士・博士課程への進学や、国連機関、開発援助機関、INGO において国際開発研究や援助活動に従事したい学生の初めの一歩を後押しすることを目指す。

This training is a Global Praxis and Global Praxis Advanced course held in San Francisco, California, USA in partnership with two schools 1) University of San Francisco , School of Public Health (Master's level) URL: https://www.usfca.edu and 2) University of California, Berkeley (東 京 大 学 戦 略 提 携 校 ） Undergraduate school of public health URL:https://publichealth.berkeley.edu/academics/undergraduate/public-health-ba/.

Those participants who completed the preceding Global Praxis course (Introduction to Global Health Part1) or any equivalent course taken before will be permitted to attend this course.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
31766	S	国際研修＆後期国際研修グローバルヘルス入門/ Introduction to Global Health (Part 1)	佐藤 みどり	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

この授業は、SDGs(持続可能な開発目標)の Goal3「すべての人に健康と福祉を」が目指す世界の実現とグローバルヘルス課題にこれから世界を担う世代はどのように取り組んでいくべきなのか、分野や国境を超えて、市民社会、学生、研究者や行政が一体となってどのように取り組んでいるのかについて学ぶ。授業では、文献を読んだ上で、グローバルヘルスの第一線で活躍する内外部の講師や、開発協力の実務者、現場の医療従事者、途上国の行政管理者、研究者、国際機関や国際金融機関のアクターによるディスカッション形式の講義に参加することを通じて、学びを深めることを目指す。
This course introduces the principles and real-world practices of major global health challenges and it involves discussions/debates on current challenges we face and controversies in improving global population health. It equips students with fundamental knowledge and practical application of analytical methods to interpret global health issues and challenges.
Through this course, the student will be able to:
1. Understand global health as being shaped by the interaction of people, processes, power, politics, institutions and conditions at local, regional, national and global level,
2. Analyze epidemiological, economic, political, ethical, historical, environmental, social and organizational underpinnings of global health and disease patterns within national and international settings and how determinants of health affect the consequences of these patterns at global, societal and community levels,
3. Describe basic policy and people-centered health systems functions and governance of health care provision and public health systems at all levels, and
4. Examine the effect and methods of ranges of evidence-based community, local, national, international, global approaches and interventions that address global health problems.

国際研修

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40281	S 2	中国語サマースクール 【以下の情報は、2022 年 1 月に更新した情報。今後更に更新するので要注意。	伊藤 徳也	集中	2	2 年 文科 理科
授業の目標概要		■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。 夏休みを利用した中国語集中特訓講座。 オール中国語の授業を 3 週間開講するが、なんとかなるので恐れずに積極的に参加してほしい。 渡航して南京の現地で行う場合：8 月 7 日（日）～8 月 28 日（日） 募集人数は 20 名、選抜試験を行う予定。 事前説明会、事後反省会有り。 報告書を最後に提出していただきます。				

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30525	S	エネルギー工学の基礎 (PEAK)	杉山 正和	PEAK 前期	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Fundamentals of energy harvesting, conversion and management for using renewable energy as major energy sources. This lecture aims at obtaining fundamental knowledge about the conversion of energy from primary energy sources (renewable energy sources and fossil fuel) to secondary energy media (electricity, hydrogen, etc.), and the utilization of such energy sources/media in our energy system. The first objective is to understand the physical/chemical principles governing such energy conversion and the fundamental limit of conversion efficiency. Next, we will discuss how we can facilitate the transition of the energy sources from the conventional ones based on fossil fuel to renewable sources. The largest bottleneck lies in the intermittency of major renewable power sources (solar and wind) and the difficulty in the transportation and storage of the energy harvested from such renewable sources. The strategy for the massive dissemination of renewable energy differs among countries. Also, the role of policy is of tremendous importance to compensate the gap in energy cost between the conventional fossil and the emerging renewable. There is currently no singular answer to this issue and the participants in this lecture are expected to develop intensive discussions on how we can realize carbon-neutral towards 2050.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30951	S	ことばと文学(PEAK)	逆井 聡人	PEAK 前期	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Japanese Literature after 1945(part 1: Aftermath of the Collapse of the Empire) After the collapse of the Japanese Empire in 1945, the empire’s former domains came under occupation by Allied Forces. Numbers of reformations took place to transform the region from empire to a nation state. However, legacies of Japanese imperialism still remained throughout “Japan’s long post-war.” In this course, we will read works of the postwar Japanese literature as windows to survey significant and controversial issues in Japan such as gender equality, nuclear disaster, economic disparity and minority problems. We will also examine texts in detail to consider how each text critically approaches social issues.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30993	S	スポーツ・身体運動実習 I (PEAK)	竹下 大介、宮田 紘平、結城 笙子	PEAK 前期	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Recreational activities for the promotion of fitness and wellness Provide an understanding of the fitness components and the importance of good strength, flexibility and endurance in physical health and wellness. Expose students to variety of activities that can be incorporated into a daily lifestyle. Apply the training principles for the management of the fitness components.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30225	S	国際・地域II(PEAK)	曽根 康雄	PEAK 前期	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		China's political economy and its role in the world This course focuses on China's political economy and the future role in the world. In this course, students will study the economic development of China, its political and economic system, and its position in the global order. The course will also cover some current issues. Students will build a foundation which is required to understand the second largest economy in the world. The course will be conducted in English. The course will cover the following topics: a) China's political economy, b) reasons of successful economic development, c) features of policy-making, d) impact of China's rise for the rest of the world, e) China's role in the global order, and f) current issues (political events, US-China relationship, currency policy etc).				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30026	S	思想・芸術II(PEAK)	ダルグリーシュ ブレガム	PEAK 前期	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Political Theory (IPT) Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, make claims upon each other and encounter difference in a global world. It stands to reason that without philosophical reflection upon the core concepts at the heart of the social sciences and humanities, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely for these reasons that IPT introduces students to some of the core concepts that they encounter and deploy in their undergraduate studies.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30773	S	思想・芸術IV(PEAK)	HOLCA Irina	PEAK 前期	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		The world in modern and contemporary Japanese literature This course focuses on works of prose and poetry written by Japanese authors from the Meiji period to the early 2000s, which are set outside of Japan or engage with issues related to the world outside of Japan (mainly Europe and America). It encourages students to reflect on the ways in which Japanese literature was changed, in form and content, through its interaction with the “West” at the beginning of modernity, as well as on how contemporary Japanese authors contribute to the production of “global” literature nowadays.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31251	S	社会・制度II(PEAK)	ジロドウ イザベル	PEAK 前期	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Political institutions in sustainability transitions How can political systems move beyond institutional failure in turbulent but gridlocked governance contexts? Articulated around the notion of remaking institutions in sustainability transitions, this course explores the ongoing work involved in contesting, rethinking, and redeploying political institutions, and the challenges of doing so within complex existing setups. Through short interactive lectures, case studies and the elaboration of a final mini-project, students reflect on different types of struggles over deliberate institutional change and discuss their consequences for unfolding trajectories of institutional development in heterogeneous societies. On completion of this course, students should be able to analyse the purpose, coherence and fit of contemporary approaches to governance as they apply to major policy domains, and critically evaluate the processes by which political institutions are remade vis-à-vis weaknesses and failures to address many urgent challenges (including climate change, irregular migration, economic insecurity of citizens, and ageing societies).				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30838	S	社会・制度III(PEAK)	成田 大樹	PEAK 前期	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Introduction to Economic Policy				
授業の目標概要		This course is designed to supplement a standard introductory course of economics and will discuss some of the fundamental concepts of economics, with a focus on examination of economic policies. Drawing on the basics of microeconomics with references to some more contemporary frameworks (asymmetric information, game theory, behavioral economics, etc.), the course will provide conceptual foundations for evaluating various types of economic policy, including trade policy, antitrust policy, policy on public good provisions (environmental regulation, knowledge, etc.), and macroeconomic policies. While the knowledge of advanced mathematics is not required for course participation, the students should note that the lectures will include discussions of some mathematical economic models. Meanwhile, although the course mainly targets students who have already studied introductory economics, it sets no prerequisites for registration and is open to all students.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31107	S	心理(PEAK)	渡辺 安里依	PEAK 前期	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Introduction to Psychology				
授業の目標概要		This is an introductory course that will provide an overview of psychology. The course introduces basic concepts of psychology, including biological, developmental, and social explanations of human and animal behaviour, and how they apply to our everyday settings. Through discussions on various scientific approaches used in the field of psychology, the course provides opportunities for students to broaden their perspective, to pursue their interest, and to think critically.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30263	S	身体運動科学(PEAK)	竹下 大介、宮田 紘平、結城 笙子	PEAK 前期	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Exercise and health science: Application of physiological concepts for the promotion of fitness and wellness				
授業の目標概要		The course is designed to provide a theoretical basis for understanding the physiological responses to exercise and the adaptations that occur during exercise. The lecture/discussion areas include the wellness concept, nutrition and support system of the body (cardiovascular, respiratory, metabolic, musculoskeletal and nervous) function. Upon successful completion of the course, students will understand the physiological adaptations that occur following exercise training, the benefits of exercise and the health risks associated with inactivity.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30229	S	生態学の基礎(PEAK)	リチャード シェファーソン	PEAK 前期	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Fundamentals of Ecology (Basic Ecology)				
授業の目標概要		To provide students with a foundational understanding of ecology and evolution				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30675	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Decision Analysis Practice)	前田 章	PEAK 前期	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Decision Analysis practice This course serves as a practice session of the Decision Sciences course that has been offered in the autumn semester. It is designed to provide students who have taken that course with an opportunity to deepen their understanding of the theory and practice in Decision Analysis. Each student in this course will work on a group or individual project. The goal of the project is to identify, formulate, and solve a real world decision problem. First four weeks are review sessions. On the fifth week, students will start their project work, aiming at final presentations on the last two weeks.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30817	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Introduction to Classical Mechanics)	ﾄﾞﾛﾈｰ ｼﾞｬﾝ ｼﾞｬｯｸ	PEAK 前期	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Classical Mechanics This calculus-based Classical Mechanics course provides the foundation for further study of physics and engineering.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31225	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Introduction to regionalism: how do states cope with neighbors?)	鈴木 早苗	PEAK 前期	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to regionalism: how do states cope with neighbors? Regions have been increasingly important to analyze international cooperation, partly because each region has distinctive features affecting nature of cooperation. This course aims to understand how states cope with their neighbors. Beginning with introduction of theoretical perspectives on regionalism, this course invites a wide range of issues on regionalism; from security to economic, and other issue areas. It also gives opportunities to share phenomenon of regionalism in various regions; Europe, Americas, Africa, Middle East, Asia.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30597	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Introduction to Sociolinguistics)	片山 晶子	PEAK 前期	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Sociolinguistics: Languages in Japan Sociolinguistics attempts to explain how languages form social groups, and how social groups use, or refuse to use, languages. Sociolinguistics also deals with issues of power and identity, both of which also form, and are formed by, languages in society. It this course, students will read and discuss studies of sociolinguistic themes situated in Japan or involving speakers of Japanese. Some of the topics to be covered are returnees, sojourners in Japan, studying abroad, and the meaning of English in Japanese society. A typical class includes a short lecture and discussions facilitated by students. Each student is required to facilitate discussion of at least one assigned reading over the course of the semester.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30106	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Introductory Chemistry)	ウッドワード・ジョナサン・ロジャー	PEAK 前期	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 An introduction to the key physical principles underpinning the whole of modern chemistry, focusing on key ideas from quantum mechanics, molecular statistics and thermodynamics.

授業の目標概要 This course aims to provide a comprehensive introduction to the key ideas in Physical Chemistry with a focus on Quantum Mechanics and Thermodynamics.
By the end of the course, students should be able to
1) Understand the failure of classical mechanics.
2) Explain the key principles of quantum mechanics.
3) Rationalize the structure of atoms based on quantum mechanics.
4) Explain why the periodic table has the form that it has.
5) Describe the models of chemical bonding and use these models to predict the shapes and stabilities of molecules.
6) Understand the structure of gases including the effects of intermolecular forces.
7) Make calculations based on the kinetic theory of gases
8) Understand the relationship between the properties of individual molecules and of bulk samples.
9) Appreciate the significance of the Boltzmann distribution
10) Understanding key ideas in thermodynamic including work, heat, enthalpy, entropy and Gibbs energy.
11) Applying the basic concepts of thermodynamics to chemical equilibria

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31017	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Tokugawa Cities)	バクスター，ジョシュア	PEAK 前期	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 Tokugawa Cities
授業の目標概要 This course will explore the three most important cities of Tokugawa Japan: Edo, Kyoto and Osaka. These three cities were among the largest of the early modern world and were home to a vibrant urban culture. Edo, the shogun’s capital, was nothing but a small fishing village in the early 1600s but, within a century, grew to probably the largest city in the world with over a million people. Kyoto was the imperial capital, famous for its temples and the arts. Osaka was a merchant’s city, full of economic activity dominated by the growth of a money economy. While roaming the streets of these three cities, students will be asked to think about how people lived, worked and played. What did they think about the city around them? Who performed the labour to build such cities? And, where did they go to have fun? In order to explore these questions in class the use of maps, primary sources, screen paintings, prints, films, and short stories will be utilized.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30957	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(数学II②)(Mathematics II②)	松尾 厚	PEAK 前期	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 Introductory course in linear algebra, continued
授業の目標概要 Phenomena in natural and social sciences are usually complicated, and seldom described by linear equations. However, Linear Algebra is still powerful and effective in describing essential parts of the phenomena by linear approximation. Thus Linear Algebra has vast applications.
Linear Algebra will further provide basics for considering linear spaces that appear in quantum mechanics or Fourier analysis. The ideas in Linear Algebra are broadly utilized in sciences and engineering, including agriculture, medicine, and economy, as well as in mathematics and physics.
Although Linear Algebra is simple and clear in theory, one needs to be familiar with abstract concepts in mathematics to properly deal with it in practice. It is important for students to keep on deepening their understanding by working with exercise and related problems.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30745	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(数学 I ②)(MathematicsI②)	河野 俊丈	PEAK 前期	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		PEAK: Mathematics I (Spring 2022) – Multivariable Calculus Based on calculus for single variable functions we learned last semester, we continue to study calculus for multivariable functions. In particular, we will extend many of the basic concepts we learned so far to functions of two or more variables. Although many of the ideas that we developed for single variable functions will carry over naturally, there exist intrinsic differences between single and multivariable functions. So sometimes we need new tools and new ideas. In this course we introduce partial derivatives, multiple integrals, and their applications.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31222	S	統計学(PEAK)	リチャード シェファーソン	PEAK 前期	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Fundamentals of Statistics To provide students with a basic knowledge of probability and statistics, and to introduce students to scientific programming using R, the statistical programming language.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30560	S	歴史(PEAK)	バクスター，ジョシュア	PEAK 前期	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		History of Modern Japan This course is designed to introduce students to the history of Japan from the Tokugawa period until the end of the twentieth century. As a survey course, the content will focus on major historical events such as the Meiji Restoration, the colonization of Korea, the rise of fascism, the fifteen-year war, the postwar economic recovery, and the bursting of the bubble in the 1990s. The use of translated primary sources and films will be used to supplement the readings. The objective is to offer students a traditional historiography of Japan and to introduce them to prominent historical figures through readings of primary sources. Thus the structure of the course will follow the familiar narrative of western modernization, militarization and the postwar economic miracle so that students will have a strong foundation on which to later form a critique of this history in their senior courses.				